経営学
Business Administration

槇　谷　正　人（マキタニ　マサト）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標

経営学は経済学や商学とどのように違うのか、また、経営学を身の回りの生活や社会とのかかわりを通して説明します。会社を動かすしくみ、製品やサービスの製造プロセス、製品やサービスの販売プロセス、社員の行動や人材育成の実際、グローバルな事業活動、会社の利益のしくみまでを明らかにします。

1年生が今までの経験を通して経営学を理解するとともに、経営学の基本的な枠組みとして、①戦略を立てる、②組織をつくる、③人を動かす、の3つの要素について説明します。

【学習の到達目標】

①経営学を初めて学ぶ1年生が、基本的なキーワードを説明できるようにする。

②経営学の戦略・組織・人の機能を体系的に説明できるようにする。

③現実の企業活動を、新聞やインターネットで情報収集し事例研究できるようにする。

④現実の企業活動において、グローバル経営の課題について説明できるようにする。

授業方法と留意点

毎回講義を中心に行いますが、途中で理解促進テストと演習課題を実施します。また、課題レポート（800字）を数回実施します。尚、毎回の授業の出席はもちろん、ノートテイキングは必須とする。

科目学習の効果（資格）

経営学検定、中小企業診断士、販売士、社会保険労務士、キャリア・カウンセラー、税理士、公認会計士などの資格取得に役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス

【内容･方法　等】　講義の全体像を示します。

【事前･事後学習課題】　ノートを準備しておくこと。

第２回　**【授業テーマ】**　企業経営のキーワードを学ぶ

【内容･方法　等】　私たちの生活と身近な会社の関係を知り、経営に不可欠な経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）とは何かについて学びます。

【事前･事後学習課題】　第Ⅰ部「経営学の歴史と企業の発展」「4現代社会と企業」(pp.35-53)を読んでくること。

第３回　**【授業テーマ】**　経営学の歴史と企業の発展

【内容･方法　等】　企業と経営、企業と組織ついて理解を深めます。さらに、経営学はドイツ、アメリカ、日本でどのように研究されてきたのかを学びます。

【事前･事後学習課題】　第Ⅰ部「経営学の歴史と企業の発展」「1ドイツの経営学」「2アメリカの経営学」「3日本の経営学」を読んでくること。

第４回　**【授業テーマ】**　企業と社会の関係

【内容･方法　等】　会社とステークホルダー（顧客、従業員、取引先、株主、金融機関、市域社会、政府・行政、NPO/PGO）との関係を学びます。

【事前･事後学習課題】　興味のある企業のホームページの会社情報とトップの方針を、プリントアウトし読んでくること。

第５回　**【授業テーマ】**　企業の財務活動と会計活動

【内容･方法　等】　会社の利益はどのように測定するのか。財務（ファイナンス）と会計（アカウンティング）について、上場企業の有価証券報告書で学びます。

【事前･事後学習課題】　興味のある会社のホームページから、有価証券報告書を一覧してくること。

第６回　**【授業テーマ】**　企業の社会的責任（ＣＳＲ）

【内容･方法　等】　会社の事業の目的は利益追求にあるのか、それとも社会の持続的発展に貢献することにあるのか、企業の社会的責任について考えます。

【事前･事後学習課題】　携帯電話3社（NTTドコモ、au、ソフトバンク）のCSRをホームページで比較してくること。合わせて第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「8企業と法」(pp.176-195)を読んでくること。

第７回　**【授業テーマ】**　企業形態の種類

【内容･方法　等】　公企業と私企業の違いを理解し、具体的にどのような企業があるのかを学びます。また、主に私企業における株式会社の制度と仕組みを理解します。

【事前･事後学習課題】　関西電力とパナソニックの会社情報をホームページで調べてくること。合わせて第Ⅱ部「「現代企業とステークホルダー」「10企業と社会」（pp.210-227）を読んでくること。

第８回　**【授業テーマ】**　所有と経営の分離

【内容･方法　等】　誰が会社を動かしているのか、大企業、中小企業によって違いがあるのか、株主の権利と経営者の役割を通して学びます。

【事前･事後学習課題】　創業者の名前がついている企業を5社以上調査してくること。合わせて、現在の経営者は何代目にあるのか調べてくること。

第９回　**【授業テーマ】**　コーポレート・ガバナンス

【内容･方法　等】　企業統治の方法について、執行役員制度と社会取締役を取り上げて学びます。また日米独の比較研究によりその目的・方法・主権の違いを理解します。

【事前･事後学習課題】　第Ⅱ部「「現代企業とステークホルダー」「3企業と株主」（pp.98-113）を読んでくること。

第10回　**【授業テーマ】**　経営理念の役割

【内容･方法　等】　経営理念は、会社は経営の目的を社会に示すビジョンであり、同時にそこで働く人々をまとめる役割があることについても理解を深めます。

【事前･事後学習課題】　シャープの経営理念をホームページで調べてくること。合わせて、第Ⅱ部「「現代企業とステークホルダー」「11企業と戦略」(pp.228-230)を読んでくること。

第11回　**【授業テーマ】**　経営戦略の実行

【内容･方法　等】　会社は競合先やグローバル競争に勝ち残るのはどうすれば良いか、経営戦略の計画段階だけではなく実行プロセスを通して企業事例で学びます。

【事前･事後学習課題】　本田技研工業の経営戦略をホームページで調べてくること。合わせて、第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「11企業と戦略」(pp.231-248)を読んでくること。

第12回　**【授業テーマ】**　組織形態の変化

【内容･方法　等】　会社は環境変化に適応すると同時に、競争に打ち勝つために、組織形態をどのように変化させる必要があるのかを学びます。

【事前･事後学習課題】　京セラの組織形態（アメーバ経営）についてホームページで調べてくること。合わせて、第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「9企業と組織」（pp.196-209）を読んでくること。

第13回　**【授業テーマ】**　企業成長と組織形態の発展パターン

【内容･方法　等】　持続的に成長と発展を遂げる会社の特徴とは何か、中小企業から大企業に発展してきたパターンを事例企業で学びます。

【事前･事後学習課題】　キヤノンの会社の歴史をホームページで調べてくること。さらに興味のある企業を2社取り上げて、それぞれの会社の歴史を調べてくること。

第14回　**【授業テーマ】**　組織間関係の構造

【内容･方法　等】　会社と他の会社はどのように協力しているのか、またその目的な何かについて、企業集団、系列・下請の構造を学ぶことで理解を深めます。

【事前･事後学習課題】　トヨタと日立製作所のグループ会社をホームページで調べてくること。さらに2社は、環境技術の開発のため従来になかった会社と協力を行っていることを調査してくること。

第15回　**【授業テーマ】**　戦略的提携とM&A

【内容･方法　等】　なぜ戦略提携が行われるのか、また会社は何を目的としてM&A（合併・買収）するのかについて、グローバル企業事例で理解を深めます。

【事前･事後学習課題】　最近（この1カ月）の戦略提携とM&Aを新聞記事インターネットで調べてくること。合わせて、第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「11企業と戦略」(pp.231-248)を読んでくること。

第16回　**【授業テーマ】**　モノづくりの実際

【内容･方法　等】　会社はどのようにしてモノをつくりだす（生産・製造）のか、自動車産業の企業事例から高品質の製品が出来上がるプロセスを学びます。

【事前･事後学習課題】　トヨタ生産システムについて、文献やインターネットで調べてくること。

第17回　**【授業テーマ】**　価値を生み出す生産管理とコスト削減

【内容･方法　等】　顧客の満足を高めるために、品質向上とコスト削減の両方を実現するには何が必要か、その方法をQCサークルや小集団活動によって学びます。

【事前･事後学習課題】　トヨタの生産システムについて、文献やインターネットで調べてくること。

第18回　**【授業テーマ】**　新商品・新サービス開発の実際

【内容･方法　等】　グローバル競争に打ち勝つための魅力的な商品を開発する研究開発の最前線について調査します。研究開発投資・期間・コストの競争を学びます

【事前･事後学習課題】　アップルの商品（iPad,iPod,iPhone）の特徴を整理すること。また、スマートフォンを開発している企業を5社調べてくること。

第19回　**【授業テーマ】**　マーケティングと営業・販売

【内容･方法　等】　会社はどのようにしてモノを売るのか。マーケティング方法の変遷を通して、情報端末とインターネットを駆使した新たな方法について学びます。

【事前･事後学習課題】　マクドナルドのマーケティングについて、その歴史をホームページで調べてくること。合わせて、第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「4企業と消費者」(pp.114-129)を読んでくること。

第20回　**【授業テーマ】**　職務設計と業務改善

【内容･方法　等】　仕事の成果を高めるために、社員は仕事を

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　13　　2014/08/21　14:23:10

どのように分担しているのか。組織の有効性と能率を高める、標準化、専門化・分業について学びます。
【事前・事後学習課題】 セブンイレブンの店舗の仕事を店長とアルバイトの役割に分けて調べてくること。合わせて、第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「9企業と組織」（pp.196-209）

第21回 【授業テーマ】 組織デザインと組織能力
【内容・方法 等】 科学的管理法による仕事の専門化、職能に基づく部門化組織、公式化と分権化による官僚制組織について学びます。
【事前・事後学習課題】 第Ⅰ部「経営学の歴史と企業の発展」「2アメリカの経営学」（pp.14-29）を読んでくること。

第22回 【授業テーマ】 モチベーション
【内容・方法 等】 社員はなぜ働くのか、働くことの意味とその目的について理解を深めます。また、人間は組織の中でどのように動機づけられて働くのかを学びます。
【事前・事後学習課題】 ヤマト運輸のドライバーはどうして熱心に働くのか、また、東京ディスニーリゾートのキャストはなぜゲストに魔法をかけ続けられるのか、ホームページで調べてくること。

第23回 【授業テーマ】 リーダーシップ
【内容・方法 等】 人を動かすリーダーの役割とは、リーダーの行動特徴とはどのようなものか。環境変化に適応する創造的リーダーシップのモデルについて学びます。
【事前・事後学習課題】 ファーストリテイリング（ユニクロ）と、マクドナルドの経営者のリーダーシップについて、文献、新聞、インターネットなどで調べてくること。

第24回 【授業テーマ】 雇用システムの多様化
【内容・方法 等】 非正規雇用とグローバル人材の増加により、企業の雇用システムはどのように変化しているのか、事例企業から学びます。
【事前・事後学習課題】 非正規雇用者数の変化について過去10年以上に遡ってインターネットで調べてくること。

第25回 【授業テーマ】 報酬制度の変化
【内容・方法 等】 年功序列から成果主義へと移行してきたなかで、賃金形態と賃金体系はどのように変化するのか。賃金以外の仕事の報酬についても学びます。
【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「5企業と社員」（pp.130-141）を読んでくること。

第26回 【授業テーマ】 人事制度と評価システム
【内容・方法 等】 会社で重要な役職に就くにはどのような知識・技能・態度が必要か、会社の人事制度と仕事の評価の仕組みについて理解を深めます。
【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「1パナソニック株式会社-経営理念の再解釈が原動力（pp.56-74）を読んでくること。

第27回 【授業テーマ】 自律型人材とキャリア開発
【内容・方法 等】 会社が与えてくれる、OJTとOff-JTに頼るだけではなく、自らのキャリアプラン実現のための自己啓発の方法について学びます。
【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「2 GE社130年間の持続的成長の歴史」（pp.75-97）を読んでくること。

第28回 【授業テーマ】 グローバル企業と経営
【内容・方法 等】 企業は著しく成長を遂げるアジア諸国やインド、中南米諸国でどのように戦っているのか。グローバル経営を展開する企業事例で学びます。
【事前・事後学習課題】 第Ⅱ部「現代企業とステークホルダー」「13企業と国際化」（pp.268-287）を読んでくること。

第29回 【授業テーマ】 戦略と組織のマネジメント
【内容・方法 等】 グローバル経営における戦略と組織のマネジメントを企業事例で学びます。卓越した戦略と機能的な組織、それを動かす人の相互作用を学びます。
【事前・事後学習課題】 グローバル経営企業を1社あげて、その経緯と課題をレポートに整理してくること。

第30回 【授業テーマ】 まとめと各回要点解説（実学としての経営学）

評価方法（基準）
学年末試験80％、毎回理解促進テストと演習課題20％とします（尚、学年末試験、毎回理解促進テスト、課題レポートは、学習の到達目標に関する問題です）。

教材等
教科書…大平浩二編著・槇谷正人他（2009） 『ステークホルダーの経営学』中央経済社（3,200円+税）
参考書…槇谷正人（2012）『経営理念の機能－組織ルーティンが持続的成長を持続させる』中央経済社（3,000円+税）

学生へのメッセージ
「なぜ」企業はそのような経営を行っているのか？新聞、文献、書籍、インターネットなどから情報を収集し、客観的な事実やデータをもとに考える習慣を身につけましょう。

関連科目
経営戦略論、経営管理論、経営組織論、経営労務論

担当者の研究室等
１１号館７階(槇谷研究室)

企業簿記
Book keeping

紙 博 文（カミ ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCDE	前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標
この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点
簡単な説明を行い、自分で実際に練習問題を解く。その後、再度解説する。問題を解きながら理解していく。また、学生の理解に応じて練習問題を追加したりするので、授業計画が変更、修正されることもある。

科目学習の効果（資格）
日本商工会議所簿記検定、公認会計士試験、税理士試験を受験するためには必要不可欠な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 簿記の基本①
【内容・方法 等】 資産・負債・純資産と貸借対照表
【事前・事後学習課題】 必要に応じて練習問題を配布、教科書の該当箇所参照 以降同様

第２回 【授業テーマ】 簿記の基本②
【内容・方法 等】 収益・費用と損益計算書
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第３回 【授業テーマ】 簿記の基本③
【内容・方法 等】 取引と勘定、
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第４回 【授業テーマ】 簿記の基本④
【内容・方法 等】 仕訳・転記
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第５回 【授業テーマ】 簿記の基本⑤
【内容・方法 等】 試算表
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第６回 【授業テーマ】 簿記の基本⑥
【内容・方法 等】 決算と損益計算書と貸借対照表
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第７回 【授業テーマ】 簿記の基本⑦
【内容・方法 等】 精算表
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第８回 【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第９回 【授業テーマ】 現金・預金①
【内容・方法 等】 現金・現金過不足
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第10回 【授業テーマ】 現金・預金②
【内容・方法 等】 当座預金・当座借越、有価証券
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第11回 【授業テーマ】 受取手形・支払手形
【内容・方法 等】 受取手形・支払手形
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第12回 【授業テーマ】 商品売買
【内容・方法 等】 3分法（仕入、売上、繰越商品勘定）
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第13回 【授業テーマ】 商品有高帳
【内容・方法 等】 先入先出法、移動平均法
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第14回 【授業テーマ】 売掛金・買掛金
【内容・方法 等】 売掛金・買掛金、貸し倒れ・貸倒引当金
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第15回 【授業テーマ】 その他の債権・債務①
【内容・方法 等】 貸付金・借入金、未収金・未払金、前払金・前受金
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第16回 【授業テーマ】 その他の債権・債務②
【内容・方法 等】 立替金・預り金、仮払金・仮受金、商品券
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第17回 【授業テーマ】 まとめ、確認テスト
【内容・方法 等】 金融資産、棚卸資産、その他の債権・債務練習問題
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第18回 【授業テーマ】 固定資産
【内容・方法 等】 取得、減価償却、売却
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第19回 【授業テーマ】 資本金・引出金
【内容・方法 等】 資本金、引出金
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所参照

第20回 【授業テーマ】 決算①

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 14 2014/08/21 14:23:11

【内容・方法　等】　費用・収益の繰り延べ
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第21回　【授業テーマ】　決算②
【内容・方法　等】　費用・収益の見越し
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第22回　【授業テーマ】　決算③
【内容・方法　等】　精算表の作成
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照　練習問題
第23回　【授業テーマ】　統合演習１
【内容・方法　等】　簿記と財務会計
【事前・事後学習課題】　練習問題１
第24回　【授業テーマ】　統合演習２
【内容・方法　等】　簿記と原価計算・管理会計
【事前・事後学習課題】　練習問題２
第25回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　――――――
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第26回　【授業テーマ】　財務諸表の作成①
【内容・方法　等】　損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第27回　【授業テーマ】　財務諸表の作成②
【内容・方法　等】　貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第28回　【授業テーマ】　日商簿記検定問題①
【内容・方法　等】　仕訳の問題
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第29回　【授業テーマ】　日商簿記検定問題②
【内容・方法　等】　精算表の実教科書の該当箇所参照践問題
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第30回　【授業テーマ】　日商簿記検定問題③

評価方法（基準）
学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

教材等
教科書…紙博文著『企業簿記』大学教育出版（2,500円程度）但し、4月初旬に刊行予定。
参考書…学生諸君が授業時間又は時間外に使用するため補助教材として『日商簿記問題集3級』実教出版刊（900円）を指定する。

学生へのメッセージ
簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。毎週の講義を積み重ねていくことで、理論ではなくその処理を正確に身につけることが可能となります。とにかく授業に出席して、自分で問題を解いてみてください。

関連科目
財務会計論、原価計算論、会計情報論等。

担当者の研究室等
11号館８階(紙教授室)

企業簿記
Book keeping

三　木　僚　祐（ミキ　リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	FGHJK	前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標
この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点
簡単な説明を行い、自分で実際に練習問題を解く。その後、再度解説する。問題を解きながら理解していく。また、学生の理解に応じて練習問題を追加したりするので、授業計画が変更、修正されることもある。

科目学習の効果（資格）
日本商工会議所簿記検定、公認会計士試験、税理士試験を受験するためには必要不可欠な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　簿記の基本①
【内容・方法　等】　資産・負債・純資産と貸借対照表
【事前・事後学習課題】　必要に応じて練習問題を配布、教科書の該当箇所参照　以降同様
第２回　【授業テーマ】　簿記の基本②
【内容・方法　等】　収益・費用と損益計算書
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第３回　【授業テーマ】　簿記の基本③
【内容・方法　等】　取引と勘定、
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第４回　【授業テーマ】　簿記の基本④
【内容・方法　等】　仕訳・転記
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第５回　【授業テーマ】　簿記の基本⑤
【内容・方法　等】　試算表
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第６回　【授業テーマ】　簿記の基本⑥
【内容・方法　等】　決算と損益計算書と貸借対照表
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第７回　【授業テーマ】　簿記の基本⑦
【内容・方法　等】　精算表
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第８回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第９回　【授業テーマ】　現金・預金①
【内容・方法　等】　現金・現金過不足
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第10回　【授業テーマ】　現金・預金②
【内容・方法　等】　当座預金・当座借越、有価証券
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第11回　【授業テーマ】　受取手形・支払手形
【内容・方法　等】　受取手形・支払手形
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第12回　【授業テーマ】　商品売買
【内容・方法　等】　3分法（仕入、売上、繰越商品勘定）
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第13回　【授業テーマ】　商品有高帳
【内容・方法　等】　先入先出法、移動平均法
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第14回　【授業テーマ】　売掛金・買掛金
【内容・方法　等】　売掛金・買掛金、貸し倒れ・貸倒引当金
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第15回　【授業テーマ】　その他の債権・債務①
【内容・方法　等】　貸付金・借入金、未収金・未払金、前払金・前受金
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第16回　【授業テーマ】　その他の債権・債務②
【内容・方法　等】　立替金・預り金、仮払金・仮受金、商品券
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第17回　【授業テーマ】　まとめ、確認テスト
【内容・方法　等】　金融資産、棚卸資産、その他の債権・債務
練習問題
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第18回　【授業テーマ】　固定資産
【内容・方法　等】　取得、減価償却、売却
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第19回　【授業テーマ】　資本金・引出金
【内容・方法　等】　資本金、引出金
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第20回　【授業テーマ】　決算①
【内容・方法　等】　費用・収益の繰り延べ
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第21回　【授業テーマ】　決算②
【内容・方法　等】　費用・収益の見越し
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第22回　【授業テーマ】　決算③
【内容・方法　等】　精算表の作成
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照　練習問題
第23回　【授業テーマ】　統合演習１
【内容・方法　等】　簿記と財務会計
【事前・事後学習課題】　練習問題１
第24回　【授業テーマ】　統合演習２
【内容・方法　等】　簿記と原価計算・管理会計
【事前・事後学習課題】　練習問題２
第25回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　――――――
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第26回　【授業テーマ】　財務諸表の作成①
【内容・方法　等】　損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第27回　【授業テーマ】　財務諸表の作成②
【内容・方法　等】　貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第28回　【授業テーマ】　日商簿記検定問題①
【内容・方法　等】　仕訳の問題
【事前・事後学習課題】　練習問題、教科書の該当箇所参照
第29回　【授業テーマ】　日商簿記検定問題②
【内容・方法　等】　精算表の実教科書の該当箇所参照践問題
【事前・事後学習課題】　教科書の該当箇所参照
第30回　【授業テーマ】　日商簿記検定問題③

評価方法（基準）
学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によっ

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　15　　2014/08/21　14:23:11

てはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

教材等

教科書…紙博文著『企業簿記』大学教育出版（2,500円程度）但し、4月初旬に刊行予定。

参考書…学生諸君が授業時間又は時間外に使用するため補助教材として『日商簿記問題集3級』実教出版刊（900円）を指定する。

学生へのメッセージ

簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。毎週の講義を積み重ねていくことで、理論ではなくその処理を正確に身につけることが可能となります。とにかく授業に出席して、自分で問題を解いてみてください。

関連科目

財務会計論、原価計算論、会計情報論等。

担当者の研究室等

11号館８階(紙教授室)　11号館7階（三木准教授室）

企業簿記
Bookkeeping

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標

この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点

この講義は、前期開講科目の「企業簿記」を履修し、前期試験を受けて単位を取得できなかった学生を対象とした再履修クラスです。したがって前期に「企業簿記」を履修し試験を受けていない学生の履修は認めません。授業は最初に簡単な説明を行い、自分で実際に練習問題を解く。その後、再度解説する形式で進めます。問題を解きながら理解していく。また、学生の理解に応じて練習問題を追加したりするので、授業計画が変更、修正されることもある。

科目学習の効果（資格）

日本商工会議所簿記検定、公認会計士試験、税理士試験を受験するためには必要不可欠な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　簿記の基礎①
【内容・方法　等】　資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益計算書
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ４～ｐ１０
必要に応じて練習問題を配布、以降同様

第２回　**【授業テーマ】**　簿記の基礎②
【内容・方法　等】　取引と勘定、仕訳と転記
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１１～ｐ１６

第３回　**【授業テーマ】**　簿記の基礎③
【内容・方法　等】　試算表
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ２２～ｐ２５

第４回　**【授業テーマ】**　簿記の基礎④
【内容・方法　等】　決算と損益計算書と貸借対照表
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ２６～ｐ３２

第５回　**【授業テーマ】**　簿記の基礎⑤
【内容・方法　等】　精算表
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ３３～ｐ３５

第６回　**【授業テーマ】**　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　小テストの実施
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ４～ｐ３５

第７回　**【授業テーマ】**　現金・預金①
【内容・方法　等】　現金・現金過不足
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ３６～ｐ４０

第８回　**【授業テーマ】**　現金・預金②
【内容・方法　等】　当座預金・当座借越
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ４１～ｐ４５

第９回　**【授業テーマ】**　商品売買、売上原価
【内容・方法　等】　三分法と売上原価の算定、簿記と原価計算
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ５１～ｐ５９

第10回　**【授業テーマ】**　商品有高帳
【内容・方法　等】　先入先出法、移動平均法
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ６５～ｐ７１

第11回　**【授業テーマ】**　売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
【内容・方法　等】　買掛金、貸し倒れ・貸倒引当金、受取手形・支払手形
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ７２～ｐ８５

第12回　**【授業テーマ】**　その他の債権・債務①
【内容・方法　等】　貸付金・借入金、未収金・未払金、前払金・前受金
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ８６～ｐ８８

第13回　**【授業テーマ】**　その他の債権・債務②
【内容・方法　等】　立替金・預り金、仮払金・借受金、商品券
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ８９～ｐ９０

第14回　**【授業テーマ】**　有価証券、固定資産
【内容・方法　等】　有価証券の購入・売却・評価替え、固定資産の取得・減価償却・売却
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ９１～ｐ９８

第15回　**【授業テーマ】**　資本金・引出金
【内容・方法　等】　資本金・引出金
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１０１～ｐ１０３

第16回　**【授業テーマ】**　決算①
【内容・方法　等】　費用・収益の繰り延べ
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１０６～ｐ１０８

第17回　**【授業テーマ】**　決算②
【内容・方法　等】　費用・収益の見越し
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１０９～ｐ１１３

第18回　**【授業テーマ】**　決算③
【内容・方法　等】　精算表の作成１
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１２６～ｐ１２７

第19回　**【授業テーマ】**　決算④
【内容・方法　等】　精算表の作成２
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１２８～ｐ１３０

第20回　**【授業テーマ】**　決算⑤
【内容・方法　等】　精算表の作成３
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１３１～ｐ１３５

第21回　**【授業テーマ】**　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　小テストの実施
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ３６～ｐ１３５

第22回　**【授業テーマ】**　財務諸表の作成①
【内容・方法　等】　簿記と財務会計、損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１４０

第23回　**【授業テーマ】**　財務諸表の作成②
【内容・方法　等】　簿記と財務会計、貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１４１～ｐ１４３

第24回　**【授業テーマ】**　簿記と会計情報
【内容・方法　等】　簿記と管理会計
【事前・事後学習課題】　練習問題

第25回　**【授業テーマ】**　日商簿記検定問題①
【内容・方法　等】　仕訳のまとめ
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１５７～ｐ１６０

第26回　**【授業テーマ】**　日商簿記検定問題②
【内容・方法　等】　精算表のまとめ①
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１７０～ｐ１７１

第27回　**【授業テーマ】**　日商簿記検定問題③
【内容・方法　等】　精算表のまとめ②
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１７２～ｐ１７３

第28回　**【授業テーマ】**　日商簿記検定問題④
【内容・方法　等】　損益計算書・貸借対照表のまとめ
【事前・事後学習課題】　教科書１７４～ｐ１７３

第29回　**【授業テーマ】**　伝票
【内容・方法　等】　伝票の起票、伝票から仕訳帳・元帳への記入
【事前・事後学習課題】　教科書ｐ１４７～ｐ１５６

第30回　**【授業テーマ】**　まとめ

評価方法（基準）

小テスト（20％程度）、学期末試験の結果（80％程度）により評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。毎回プリントを配布します。

参考書…「日商簿記検定問題集３級」実教出版（900円）

学生へのメッセージ

簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。毎週の講義を積み重ねていくことで、理論ではなくその処理を正確に身につけることが可能となります。とにかく授業に出席して、自分で問題を解いてみてください。

関連科目

財務会計論、原価計算論、会計情報論等。

担当者の研究室等

11号館8階(佐井 教授室)

備考

前期開講の「企業簿記」を履修したが、単位を取得できなかった学生のみ履修できます。前期開講クラスの再履修クラスです。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　16　　2014/08/21　14:23:11

コンピュータ概論
Computer Science

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本講義は、現代社会を支える重要な社会基盤となったコンピュータおよびインターネットについて、その機能と仕組みを理解し、利用者として賢く利用していく方法について学ぶことを目的としている。前期では、コンピュータによってもたらされている現代社会の利便性の向上について考えると共に、情報に関する概念や表現方法、コンピュータの構成要素である論理回路や５大機能、コンピュータを制御するソフトウェアやプログラミング言語など、コンピュータに関する基礎的な知識の習得を目指す。後期では、インターネットの歴史、通信技術の仕組みや急速な勢いで展開される情報サービスの特徴や最新動向およびその利用方法などについて、適時、デモンストレーションや映像教材の視聴を行いながら解説していく。

授業方法と留意点

プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行う。定期的に小テストを実施する。

科目学習の効果（資格）

ＩＴパスポート試験・基本情報技術者試験などIT系の資格を取得するのに重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回
【授業テーマ】 オリエンテーション（コンピュータ概論（前期）について）
【内容･方法　等】 講義の狙い、進め方について
【事前･事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと

第２回
【授業テーマ】 コンピュータの活用（１）
【内容･方法　等】 現在のコンピュータ利用についての紹介
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第３回
【授業テーマ】 コンピュータの活用（２）
【内容･方法　等】 コンピュータを利用した学習や生活の変化
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第４回
【授業テーマ】 企業のIT活用（１）
【内容･方法　等】 企業におけるIT利活用の実状、その必要性について
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第５回
【授業テーマ】 企業のIT活用（２）
【内容･方法　等】 情報化社会のビジネスチャンスについて
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第６回
【授業テーマ】 コンピュータの歴史
【内容･方法　等】 コンピュータが登場した背景と発展の経緯
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第７回
【授業テーマ】 ソフトウェアの歴史
【内容･方法　等】 プログラミング言語の発展からオペレーティングシステムの発展について
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第８回
【授業テーマ】 情報の表現（１）
【内容･方法　等】 ２進数の表現
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：テストの解答内容を見直しておくこと。

第９回
【授業テーマ】 情報の表現（２）
【内容･方法　等】 画像や音声の圧縮について
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第10回
【授業テーマ】 ハードウェアの仕組み（１）
【内容･方法　等】 システムの構成について
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第11回
【授業テーマ】 ハードウェアの仕組み（２）
【内容･方法　等】 記憶装置や記録方式について
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第12回
【授業テーマ】 ソフトウェアの役割（１）
【内容･方法　等】 プログラムの必要性、開発方法について
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第13回
【授業テーマ】 ソフトウェアの役割（２）
【内容･方法　等】 データベースの設計について
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第14回
【授業テーマ】 情報倫理と情報セキュリティ
【内容･方法　等】 個人のセキュリティ対策、情報モラルと著作権などについて
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第15回
【授業テーマ】 前期のまとめ
【内容･方法　等】 ----------
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第16回
【授業テーマ】 コンピュータ概論（後期）について
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットが社会にもたらしたもの
・本講義の進め方
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第17回
【授業テーマ】 インターネットの歴史
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットの歴史
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第18回
【授業テーマ】 未来の情報社会
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・次世代情報通信技術
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第19回
【授業テーマ】 インターネットのサービス類型
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットを基盤とした各種サービス
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第20回
【授業テーマ】 インターネット・ビジネスの市場と動向
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・情報通信産業の規模，市場動向
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第21回
【授業テーマ】 マーケティングとIT（１）
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・マーケティングとメディア
・これからのマーケティングと情報通信技術
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第22回
【授業テーマ】 マーケティングとIT（２）
【内容･方法　等】 中間まとめとテスト
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：テストの解答内容を見直しておくこと。

第23回
【授業テーマ】 インターネットの仕組み（１）
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・コンピュータの基本構造
・インターネットの基本的仕組み
・HTTP
・メールの送受信とSMTPの仕組み
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第24回
【授業テーマ】 インターネットの仕組み（２）
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットの要素技術
【事前･事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第25回
【授業テーマ】 モバイル通信の仕組み（１）
【内容･方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・移動体情報通信とは

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　17　　2014/08/21　14:23:11

・携帯電話で通話できる仕組み
・モバイルキャリア
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第26回 【授業テーマ】 モバイル通信の仕組み（2）
【内容・方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・無線LAN
・データ通信
・スマートフォン
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第27回 【授業テーマ】 ソーシャルメディア（1）
【内容・方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第28回 【授業テーマ】 ソーシャルメディア（2）
【内容・方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第29回 【授業テーマ】 メディアリスクと企業対応
【内容・方法　等】 この回では、主に以下について解説する。
・企業のソーシャルメディア活用の失敗と対応事例
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第30回 【授業テーマ】 後期のまとめ

評価方法（基準）
前期：定期テスト80%、レポート等20%で評価する。
後期：定期テスト80%、レポート20%で評価する。なお出席が40%に満たない場合は評価の対象としない。
私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等
教科書…講義にて指定する。
参考書…適時、配布する。

学生へのメッセージ
受け身の姿勢では何も身につきません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目
情報関連科目全般

担当者の研究室等
前期：１１号館７階（久保准教授室）
後期：１１号館７階（針尾准教授室）

備考
シラバスの内容については、受講生の理解の程度、関心に合わせて適時調整する。

C言語プログラミング
C Programming

牧　野　　純（マキノ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標
コンピュータを理解するためにはプログラミングの学習が欠かせない.「プログラミング基礎」の授業では，Ｃ言語を用いた基礎的なプログラミングを通して，コンピュータの構造と動作について理解を深めた．この授業ではＣ言語についてさらに学習を進め，プログラミングの技術を高める．Ｃ言語の文法の基礎的な部分をマスターし，簡単なプログラムが自由に書けるようになることを目標とする.

授業方法と留意点
内容の解説と演習による．欠席や遅刻は授業の理解を著しく妨げる.

科目学習の効果（資格）
基本情報技術者試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 Cによるプログラミング
【内容・方法　等】 プログラミング作業の流れ，プログラムの書き方
【事前・事後学習課題】 プリント（１）の練習問題
第２回 【授業テーマ】 文字列の表示
【内容・方法　等】 文字列リテラル，拡張表記，コメント
【事前・事後学習課題】 プリント（２）の練習問題
第３回 【授業テーマ】 値の表示
【内容・方法　等】 整数値の表示，実数値の表示，四則演算
【事前・事後学習課題】 プリント（３）の練習問題
第４回 【授業テーマ】 変数
【内容・方法　等】 型，変数，代入，キーボードからの読み込み
【事前・事後学習課題】 プリント（４）の練習問題
第５回 【授業テーマ】 if文
【内容・方法　等】 if文，if文の入れ子，条件を表す式，ブロック
【事前・事後学習課題】 プリント（５）の練習問題
第６回 【授業テーマ】 switch文と条件演算子
【内容・方法　等】 switch文，条件演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（６）の練習問題
第７回 【授業テーマ】 while文とdo文
【内容・方法　等】 while文，do文，増分演算子，減分演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（７）の練習問題
第８回 【授業テーマ】 for文
【内容・方法　等】 for文，複合代入演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（８）の練習問題
第９回 【授業テーマ】 多重ループ
【内容・方法　等】 二重ループ，多重ループ
【事前・事後学習課題】 プリント（９）の練習問題
第10回 【授業テーマ】 break文とcontinue文とgoto文
【内容・方法　等】 break文，continue文，goto文
【事前・事後学習課題】 プリント（１０）の練習問題
第11回 【授業テーマ】 配列
【内容・方法　等】 配列，配列要素，添字，配列の初期化
【事前・事後学習課題】 プリント（１１）の練習問題
第12回 【授業テーマ】 多次元配列
【内容・方法　等】 2次元配列，多次元配列
【事前・事後学習課題】 プリント（１２）の練習問題
第13回 【授業テーマ】 関数（1）
【内容・方法　等】 標準ライブラリ関数の呼び出し，関数定義と関数呼び出し，関数プロトタイプ宣言
【事前・事後学習課題】 プリント（１３）の練習問題
第14回 【授業テーマ】 関数（2）
【内容・方法　等】 返却値のない関数，変数の有効範囲と寿命
【事前・事後学習課題】 プリント（１４）の練習問題
第15回 【授業テーマ】 関数演習
【内容・方法　等】 関数を作成し，利用するプログラムの練習
【事前・事後学習課題】 プリント（１５）の練習問題
第16回 【授業テーマ】 マクロ
【内容・方法　等】 オブジェクト形式マクロ，関数形式マクロ
【事前・事後学習課題】 プリント（１６）の練習問題
第17回 【授業テーマ】 再帰関数
【内容・方法　等】 再帰呼出し，再帰関数
【事前・事後学習課題】 プリント（１７）の練習問題
第18回 【授業テーマ】 ポインタ
【内容・方法　等】 アドレス演算子，ポインタ変数，間接参照演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（１８）の練習問題
第19回 【授業テーマ】 関数とポインタ（1）
【内容・方法　等】 関数に変数を渡したい
【事前・事後学習課題】 プリント（１９）の練習問題
第20回 【授業テーマ】 関数とポインタ（2）
【内容・方法　等】 複数の値を戻したい
【事前・事後学習課題】 プリント（２０）の練習問題
第21回 【授業テーマ】 配列とポインタ
【内容・方法　等】 ポインタとしての配列名，配列を関数に渡したい
【事前・事後学習課題】 プリント（２１）の練習問題
第22回 【授業テーマ】 文字と文字列
【内容・方法　等】 char型と文字定数，文字の入出力，文字列と文字列リテラル，文字配列の初期化，文字列の入出力
【事前・事後学習課題】 プリント（２２）の練習問題
第23回 【授業テーマ】 文字列とポインタ
【内容・方法　等】 配列を用いた文字列の表現，ポインタを用いた文字列の表現，関数に文字列を渡す，関数から文字列を受け取る
【事前・事後学習課題】 プリント（２３）の練習問題
第24回 【授業テーマ】 文字と文字列の標準ライブラリ関数
【内容・方法　等】 文字処理関数，文字列処理関数
【事前・事後学習課題】 プリント（２４）の練習問題
第25回 【授業テーマ】 構造体
【内容・方法　等】 構造体，構造体の配列とポインタ
【事前・事後学習課題】 プリント（２５）の練習問題
第26回 【授業テーマ】 動的メモリ割り付け
【内容・方法　等】 動的なメモリ割り付け，割り付けたメモリの解放
【事前・事後学習課題】 プリント（２６）の練習問題
第27回 【授業テーマ】 ファイル
【内容・方法　等】 逐次アクセス，ランダムアクセス
【事前・事後学習課題】 プリント（２７）の練習問題

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　18　　2014/08/21　14:23:12

第28回　【授業テーマ】　コマンドラインパラメータ
【内容・方法　等】　コマンドラインパラメータ，データ変換のライブラリ関数
【事前・事後学習課題】　プリント（２８）の練習問題
第29回　【授業テーマ】　総合演習（１）
【内容・方法　等】　タイプ練習ソフトの作成
【事前・事後学習課題】　プリント（２９）の練習問題
第30回　【授業テーマ】　総合演習（２）

評価方法（基準）
授業中に課せられる課題の提出（５０％）と，随時実施する小テスト（５０％）で評価する．

教材等
教科書…なし
参考書…柴田望洋「新版 明解Ｃ言語 入門編」ソフトバンク（2310円）

学生へのメッセージ
毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる．

関連科目
「プログラミング基礎」

担当者の研究室等
11号館7階(牧野(純)教授室)

基本情報処理I
Basic Information Processing I

皆　川　健多郎(ミナガワ　ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では，表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により，情報処理の基本的な部分の習得を目的としている．そして，卒業研究やビジネスの場において活用できるよう技能の習得を目指す．

授業方法と留意点
コンピュータを使用した実習を行う．習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある．

科目学習の効果（資格）
Microsoft Office Specialist　(Excel)に関する基本的な内容

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　Excelの基礎知識
【内容・方法　等】　データの入力
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　ワークシートの活用（１）
【内容・方法　等】　ワークシートの編集，初歩的な関数
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第３回　【授業テーマ】　ワークシートの活用（２）
【内容・方法　等】　相対参照と絶対参照
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第４回　【授業テーマ】　ワークシートの活用（３）
【内容・方法　等】　基礎的な関数，条件の判定
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第５回　【授業テーマ】　グラフ（１）
【内容・方法　等】　基本的なグラフ作成
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第６回　【授業テーマ】　グラフ（２）
【内容・方法　等】　応用的なグラフ作成
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第７回　【授業テーマ】　データベース（１）
【内容・方法　等】　データベースの入門
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第８回　【授業テーマ】　データベース（２）
【内容・方法　等】　データの並べ替え，検索，抽出
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第９回　【授業テーマ】　データベース（３）
【内容・方法　等】　データの集計
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第10回　【授業テーマ】　データベース（４）
【内容・方法　等】　データの解析
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第11回　【授業テーマ】　Excelの応用（１）
【内容・方法　等】　順位付けの関数
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第12回　【授業テーマ】　Excelの応用（２）
【内容・方法　等】　行・列の検索
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第13回　【授業テーマ】　Excelの応用（３）
【内容・方法　等】　文字列の操作
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第14回　【授業テーマ】　Excelの応用（４）
【内容・方法　等】　条件付き集計
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　復習
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
毎週の課題の提出状況により判断する

教材等
教科書…『30時間でマスターExcel2010―Windows7対応』実教出版，2010.（900円）
参考書…なし

学生へのメッセージ
積極的に手を動かして課題をおこなって，使い方を身に着けていくことを期待します．

関連科目
情報処理基礎，プログラミング基礎，基本情報処理II

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

基本情報処理II
Basic Information Processing II

皆　川　健多郎(ミナガワ　ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では，表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により，情報処理の基本的な部分の習得を目的としている．さまざまな観点からデータの集計を行い，分析できるよう手法の学習を行う．

授業方法と留意点
コンピュータを使用した実習を行う．習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある．

科目学習の効果（資格）
Microsoft Office Specialist　(Excel)に関する基本的な内容

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　Excelの基礎知識の確認
【内容・方法　等】　操作方法の確認
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　データベースの活用（１）
【内容・方法　等】　データの並び替えと抽出
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第３回　【授業テーマ】　データベースの活用（２）
【内容・方法　等】　ピボットテーブル・データの解析
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第４回　【授業テーマ】　データベースの活用（３）
【内容・方法　等】　ピボットテーブル・データの解析
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第５回　【授業テーマ】　課題演習
【内容・方法　等】　ピボットテーブル
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第６回　【授業テーマ】　グラフの活用（１）
【内容・方法　等】　グラフの書式設定・印刷
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第７回　【授業テーマ】　グラフの活用（２）
【内容・方法　等】　グラフ機能の応用
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第８回　【授業テーマ】　グラフの活用（３）
【内容・方法　等】　図形の操作
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　19　　2014/08/21　14:23:12

第９回　【授業テーマ】　課題演習
【内容・方法　等】　グラフ
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第10回　【授業テーマ】　マクロの作成（１）
【内容・方法　等】　マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第11回　【授業テーマ】　マクロの作成（２）
【内容・方法　等】　マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第12回　【授業テーマ】　マクロの作成（３）
【内容・方法　等】　マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第13回　【授業テーマ】　練習問題
【内容・方法　等】　課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第14回　【授業テーマ】　練習問題
【内容・方法　等】　課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　復習
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
毎週の課題提出状況により判断する

教材等
教科書…『30時間でマスターExcel2007 VBA』実教出版
参考書…『30時間でマスターExcel2010―Windows7対応』実教出版，2010.（900円）

学生へのメッセージ
言われたとおりにExcelを操作していくのではなく，自分で考えてExcelのシートを構成していくことを期待します.

関連科目
情報処理基礎，プログラミング基礎，基本情報処理I

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

応用情報処理I
Applied Information Processing I

藤　木　健　史（フジキ　タケフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
プレゼンテーションソフトは、研究成果や調査結果の報告、商品企画の発表など、様々な用途で用いられており、コンピュータ社会にとって重要なツールである。本講義では、プレゼンテーションソフトを応用的に活用するスキルを学ぶ。

授業方法と留意点
毎回コンピュータによる実習を行い，関連する演習課題に取り組む．習熟度合いに応じて，講義内容は適宜変更する場合がある.

科目学習の効果（資格）
ビジネスシーンを想定したスライド作成スキル以外に、簡易的な画像処理技術、ポスター制作スキルなども習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業の進め方、評価方法要
【事前・事後学習課題】　特になし
第２回　【授業テーマ】　PowerPoint基本操作１
【内容・方法　等】　基本操作の復習
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第３回　【授業テーマ】　PowerPoint基本操作２
【内容・方法　等】　基本操作の復習
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第４回　【授業テーマ】　PowerPoint　スライド作成１
【内容・方法　等】　PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第５回　【授業テーマ】　PowerPoint　スライド作成２
【内容・方法　等】　PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第６回　【授業テーマ】　PowerPoint　スライド作成３
【内容・方法　等】　PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第７回　【授業テーマ】　製作発表１
【内容・方法　等】　各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第８回　【授業テーマ】　PowerPoint　画像処理１
【内容・方法　等】　PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第９回　【授業テーマ】　PowerPoint　画像処理２
【内容・方法　等】　PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第10回　【授業テーマ】　PowerPoint　画像処理３
【内容・方法　等】　PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第11回　【授業テーマ】　PowerPoint　応用１
【内容・方法　等】　PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第12回　【授業テーマ】　PowerPoint　応用２
【内容・方法　等】　PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第13回　【授業テーマ】　PowerPoint　応用３
【内容・方法　等】　PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第14回　【授業テーマ】　製作発表２
【内容・方法　等】　各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】　該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　まとめ、およびフォローアップを行う
【事前・事後学習課題】　特に困難な箇所の確認と復習

評価方法（基準）
出席点、課題点をもとに評価する。この授業は演習中心であるため、出席および課題提出が単位取得の必要条件となります。

教材等
教科書…電子ファイルを資料として配布します。
参考書…指定しない.

学生へのメッセージ
毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，可能な限り欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解が困難となる．もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと.

関連科目
情報処理基礎、ビジネス情報処理Ⅱ

担当者の研究室等
11号館6階　経営学部事務室

応用情報処理II
Applied Information Processing II

藤　木　健　史（フジキ　タケフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では，これまで学習してきたExcelの知識を基礎とし，より大規模なデータを扱うことのできるデータベースソフトAccessを用いてデータベースの基礎知識および基本操作を習得する．本講義ではデータベースの概念や，テーブルの作成，データの挿入等のデータベース作成および検索等の操作について学習する．また，データベース標準言語であるSQLとの関係についても学習する.

授業方法と留意点
テキストを用いた演習中心の授業方式．各時間毎に演習結果をファイル，グラフ，レポート等の形で提出する．また，理解度を確認するため臨時のテスト，期末テスト等を行う場合がある．習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある.

科目学習の効果（資格）
基本情報技術者試験，Microsoft Office Specialist (Access)等の基礎となる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　データベースとは

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　20　2014/08/21　14:23:12

【内容・方法　等】 データベースの基本的な概念
【事前・事後学習課題】 データベースがどれほど現代社会に用いられているかをWeb等を利用して調べる
第２回 【授業テーマ】 Access の基本操作
【内容・方法　等】 データベースソフト Access の基本操作方法
基本用語の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第３回 【授業テーマ】 テーブル検索１
【内容・方法　等】 最も基本的なデータ検索
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第４回 【授業テーマ】 テーブル検索２
【内容・方法　等】 複雑なデータ検索方法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第５回 【授業テーマ】 データの読み込み
【内容・方法　等】 Excelやテキストファイルからデータを読み込む
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第６回 【授業テーマ】 データの挿入
【内容・方法　等】 テーブルに新しいデータを追加する手法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第７回 【授業テーマ】 画像データの入力とフォームの活用
【内容・方法　等】 画像データを取り込むフィールドの作成
フォームによるデータ入力の効率化
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第８回 【授業テーマ】 クエリ操作１
【内容・方法　等】 選択クエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第９回 【授業テーマ】 クエリ操作２
【内容・方法　等】 クエリを用いた集計
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第10回 【授業テーマ】 クエリ操作３
【内容・方法　等】 アクションクエリ（テーブル作成，更新，追加，削除クエリ）
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第11回 【授業テーマ】 SQL 文法
【内容・方法　等】 Accessで作成されたクエリがSQLで記述されていることの確認
SQL文法
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第12回 【授業テーマ】 データベースの設計１
【内容・方法　等】 新しいテーブルの挿入
リレーションシップの設定
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第13回 【授業テーマ】 データベースの設計２
【内容・方法　等】 リレーション設定を活用したクエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第14回 【授業テーマ】 レポート作成
【内容・方法　等】 レポート機能を利用した報告書の作成
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 これまでの復習
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法（基準）
授業時間内に行う演習，提出課題により評価する．

教材等
教科書…電子ファイルを資料として配布します。参考書は購入しなくてもＯＫですが、あると便利です。
参考書…『30時間でマスター　Windows 7対応　Access 2010』，実教出版，2011年1月．　（1200円）

学生へのメッセージ
毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる．もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと．

関連科目
情報処理基礎，応用情報処理I

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

経営統計学I
Business Statistics I

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
統計学を身につけるメリットは、データに裏打ちされた客観的な事実を見抜く技術を身につけることであり、論理的思考ができるようになることである。また、統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。この授業では、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、表計算ソフトを使用しながら統計学の基本的な考え方を学び、統計データの解析に必要となる基礎的知識を学ぶ。

授業方法と留意点
毎回提示される課題を提出すること。未提出の場合は欠席とみなす。なお、出席が8割未満の場合は単位を認めない。Microsoft EXCELを使用するので情報処理の基本知識を有していることが望ましい。

科目学習の効果（資格）
卒業論文やレポートなどにおけるデータの整理や解析方法の習得が期待される

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法、統計学とはどのような学問か
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 統計資料の整理（１）
【内容・方法　等】 統計資料の読み方
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第３回 【授業テーマ】 統計資料の整理（２）
【内容・方法　等】 統計資料の整理方法
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第４回 【授業テーマ】 データの集計（１）
【内容・方法　等】 代表値について、平均、分散、標準偏差
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第５回 【授業テーマ】 データの集計（２）
【内容・方法　等】 度数分布、ヒストグラム
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第６回 【授業テーマ】 データの集約（１）
【内容・方法　等】 データの集約、クロス集計
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第７回 【授業テーマ】 データの集約（２）
【内容・方法　等】 クロス集計の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第８回 【授業テーマ】 前半のまとめ・学力診断テスト１
【内容・方法　等】 前半部分のまとめ
【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
第９回 【授業テーマ】 データの相関関係（１）
【内容・方法　等】 相関関係について、相関係数の算出
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第10回 【授業テーマ】 データの相関関係（２）
【内容・方法　等】 相関関係と因果関係
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第11回 【授業テーマ】 空間と事象（１）
【内容・方法　等】 標本空間、ベン図
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第12回 【授業テーマ】 空間と事象（２）
【内容・方法　等】 和集合、積集合
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第13回 【授業テーマ】 経営における統計学
【内容・方法　等】 経営分野で用いられる統計学の手法
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第14回 【授業テーマ】 後半のまとめ・学力診断テスト２
【内容・方法　等】 後半部分のまとめ
【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
第15回 【授業テーマ】 統計学の応用
【内容・方法　等】 マネジメントに求められる統計学、全体復習
【事前・事後学習課題】 全体復習の内容を整理しておく

評価方法（基準）
平常点20％、課題提出20％、習得度確認試験（授業にて実施）60％を総合して評価する。

教材等
教科書…必要に応じて資料を配布する
参考書…「統計学がわかる」向後千春、富永敦子
技術評論社　（1680円+税）

学生へのメッセージ
数学が苦手でも問題はありませんが、教科書は必須です。使いこなすには多くの練習時間が必要です。空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　21　2014/08/21　14:23:12

情報処理基礎、ビジネス数学基礎

担当者の研究室等

７号館２階(非常勤講師室)

経営統計学II
Business Statistics II

能　勢　豊　一（ノセ　トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「統計学」という言葉を聞くと、多くの学生は難しいのではないかという印象を持つであろうが、手元にあるデータからその特徴を見つけ出すために必要となる学問である。統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。経営統計学では、統計学の基礎的知識を習得している学生を対象として、統計解析の応用的手法について身につける。

授業方法と留意点

配布資料を中心に、プロジェクターを用いて講義を行う。講義の前半は配付資料の解説を行い、後半は演習問題を解きながら統計解析の応用手法を身につけていく。

科目学習の効果（資格）

実用的な学問であるため、将来様々な分野の仕事で生かすことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 イントロダクション
【内容･方法　等】 基礎力テスト、授業の進め方、評価方法
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第２回　【授業テーマ】 統計の基礎
【内容･方法　等】 記述統計（平均、標準偏差、分散、中央値）
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第３回　【授業テーマ】 統計的データの整理方法
【内容･方法　等】 度数分布、ヒストグラムの作成
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第４回　【授業テーマ】 連続型分布
【内容･方法　等】 正規分布、中心極限定理、正規分布と確率の計算、指数分布、幾何分布、その他の分布
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第５回　【授業テーマ】 相関分析（１）
【内容･方法　等】 ピアソンの相関分析とその手順、相関係数と回帰式の算出
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第６回　【授業テーマ】 相関分析（２）
【内容･方法　等】 スペアマンの相関分析、相関比
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第７回　【授業テーマ】 離散型分布
【内容･方法　等】 2項分布、ポアソン分布、一様分布
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第８回　【授業テーマ】 前半のまとめ・学力診断テスト
【内容･方法　等】 前半部分のまとめ
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第９回　【授業テーマ】 標本分布（１）
【内容･方法　等】 和・差の分布、標本分布の例題
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第10回　【授業テーマ】 標本分布（２）
【内容･方法　等】 カイ分布、t分布、F分布
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第11回　【授業テーマ】 検定と推定（１）
【内容･方法　等】 バラツキが判っている場合の仮説検定、一つの母平均の検定と推定
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第12回　【授業テーマ】 検定と推定（２）
【内容･方法　等】 一つの母分散の検定と推定
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第13回　【授業テーマ】 検定と推定（３）
【内容･方法　等】 バラツキが判らない場合の仮説検定、t検定
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第14回　【授業テーマ】 検定と推定（４）
【内容･方法　等】 分散分析とは、分散分析の実践
【事前･事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第15回　【授業テーマ】 統計的検定の応用
【内容･方法　等】 統計的検定の問題点・適用上の留意点、全体復習
【事前･事後学習課題】 全体復習の内容を整理しておく

評価方法（基準）

小テストとレポート４０点、学期末試験の結果６０点を目安にして総合的に評価する。

教材等

教科書…配付資料
参考書…詳解演習　数理統計（守谷栄一）日本理工出版会（1974）
パソコンによるデータマイニング（浅利、能勢他4名）日刊工業新聞、（2001）
その他、適宜案内する。その他、適宜紹介する。

学生へのメッセージ

数学や統計学に関する基礎知識に自信がない受講者が多いと思うが、例題を中心に学習するので、１回の授業でどんな問題に取り組んだかを記憶することに集中します。答えが正しいかどうかより、問題を正しく捉えているかを学んでほしい。授業の開始時点と終了時点に予習、復習のポイントを説明する。
欠席や遅刻は、受講者が思っている以上に学習効果を半減させるのでこの科目についてはそのようなことがないことを願っている。

関連科目

経営統計学Ｉ、ビジネス数学

担当者の研究室等

金曜日：摂南大学１１号館６階（経営学部事務室）
その他の曜日：大阪工業大学９号館４階（経営情報システム研究室）

応用簿記
Applied Bookkeeping

竹　内　　淳（タケウチ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

簿記の目的は;一定時における財政状態を示すために資産、負債、資本の変動を秩序正しく計算すること、;一会計期間の正しい経営成績を計算してその原因と結果を明らかにすることの２点に要約されます。本講義では、これらの目的をしっかり理解して、実務に役立つ知識を修得することを目標とし、「わかりやすい講義」をモットーとします。

授業方法と留意点

テーマごとに説明を行った後、演習問題の時間を設け、その後解説を行います。受講者は必ず電卓を持参すること。

科目学習の効果（資格）

簿記検定２級の商業簿記について、合格水準までの実力をつける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 簿記の基本
【内容･方法　等】 簿記一巡の手続き
【事前･事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考

第２回　【授業テーマ】 特殊商品売買
【内容･方法　等】 予約・試用・割賦・未着・委託・受託品販売
【事前･事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考

第３回　【授業テーマ】 商品の評価
【内容･方法　等】 商品の期末評価
【事前･事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　22　　2014/08/21　14:23:12

第４回　【授業テーマ】　固定資産Ⅰ
【内容･方法　等】　固定資産の売却・買換え・廃棄・除却時の処理
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第５回　【授業テーマ】　固定資産Ⅱ
【内容･方法　等】　減価償却・資本的支出と収益的支出等
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第６回　【授業テーマ】　資金調達と利益処分
【内容･方法　等】　株式・社債発行時および利益処分時にかかる諸々の処理
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第７回　【授業テーマ】　当座預金と有価証券
【内容･方法　等】　当座預金と有価証券にかかる諸々の処理
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第８回　【授業テーマ】　引当金
【内容･方法　等】　貸倒・退職給与・修繕・商品保証引当金
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第９回　【授業テーマ】　手形
【内容･方法　等】　裏書・割引手形
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第10回　【授業テーマ】　保険と税金
【内容･方法　等】　保険金の請求時と受領時の処理、法人税等の引当処理と消費税の処理
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第11回　【授業テーマ】　帳簿等の締切
【内容･方法　等】　伝票・帳簿組織の集計、帳簿の締切と合計転記
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第12回　【授業テーマ】　決算処理
【内容･方法　等】　決算整理事項、財務諸表の作成
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第13回　【授業テーマ】　本支店会計
【内容･方法　等】　支店開設時の処理、本支店間取引、本支店会計の決算処理
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第14回　【授業テーマ】　総合問題
【内容･方法　等】　総合問題の解説
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考
第15回　【授業テーマ】　総合問題
【内容･方法　等】　総合問題の解説
【事前･事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

評価方法（基準）
期末試験の結果を６０％、講義中の小テストの結果を４０％としこれを基準に評価する。

教材等
教科書…最初の講義で、使用するプリント配布します。
参考書…授業中、適宜指示する。

学生へのメッセージ
できるだけ簿記の基本を理解してから受講してください。実務に密着した「わかりやすい講義」を行うつもりです。

関連科目
企業簿記、財務会計論;、原価計算論等

担当者の研究室等
１１号館６階（経営学部事務室）

マネジメントサイエンスI
Management Science I

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
マネジメントサイエンス(経営科学、オペレーションズ・リサーチ)とは、経営活動にかかわる種々の課題をモデル化して数学的に解析を行うことにより、経営の意思決定を科学的な方法で支援するための知識の体系である。本科目では、線形計画法、待ち行列や意思決定理論を中心とした基本的な知識と技法（解法）について修得することが目的・目標である。

授業方法と留意点
授業で配布するプリントを用いてモデルを解説し、次にゲーム形式の例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。

科目学習の効果（資格）
ＩＴパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの経営関係の資格試験にも関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　マネジメントサイエンスの学び方
【内容･方法　等】　授業計画とマネジメントサイエンスの対象と方法についてのあらまし
「価格決定ゲーム」による演習
【事前･事後学習課題】　復習：シラバスを読み直す
第２回　【授業テーマ】　線形計画法（１）
【内容･方法　等】　受注計画ゲーム（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を再確認する
第３回　【授業テーマ】　線形計画法（２）
【内容･方法　等】　線形計画問題の基礎概念、最大・最小問題の図的解法（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：課題を解いてみよう
第４回　【授業テーマ】　線形計画法（３）
【内容･方法　等】　シンプレックス法による最適解と最適値の解説とパソコンによる解法のデモ
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう
第５回　【授業テーマ】　整数計画法（１）
【内容･方法　等】　アルバイトの配置（割当）の計画（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す
第６回　【授業テーマ】　整数計画法（２）
【内容･方法　等】　輸送計画法の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す
第７回　【授業テーマ】　整数計画法（３）
【内容･方法　等】　出荷計画ゲーム（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す
第８回　【授業テーマ】　整数計画法（４）
【内容･方法　等】　職員の定期異動計画（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す
第９回　【授業テーマ】　整数計画法（５）
【内容･方法　等】　職員の適材配置計画（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
第10回　【授業テーマ】　待ち行列（１）
【内容･方法　等】　待ち行列の基礎
【事前･事後学習課題】　復習：配布されたプリントを読み直そう
第11回　【授業テーマ】　待ち行列（２）
【内容･方法　等】　待ち行列の理論
【事前･事後学習課題】　復習：配布されたプリントを読み直そう
第12回　【授業テーマ】　決定理論（１）
【内容･方法　等】　不確実性下の意思決定
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
第13回　【授業テーマ】　決定理論（２）
【内容･方法　等】　ゼロサムゲームと利得表
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
第14回　【授業テーマ】　決定理論（３）
【内容･方法　等】　囚人のジレンマ
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容･方法　等】　前期に学習した内容のまとめ
【事前･事後学習課題】　復習：前期試験の準備をしよう

評価方法（基準）
定期試験（60%）および授業中に行う課題に対する取り組みやレポート（40%）により評価する。

教材等
教科書…毎回、ハンドアウト（プリント）を配布する
参考書…『入門経営科学（改訂版)』宮川公男・野々山隆幸・佐藤修著、実教出版（2600円）

学生へのメッセージ
高度な数学は用いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、8割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓（関数電卓でなくてよい）を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅れないようにしてください。

関連科目
数学基礎I、数学基礎II、ビジネス数学、経営統計学

担当者の研究室等
11号館7階(黒澤教授室)

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　23　　2014/08/21　14:23:13

マネジメントサイエンスII
Management Science II

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンス(経営科学、オペレーションズ・リサーチ)とは、経営活動にかかわる種々の課題をモデル化して数学的に解析を行うことにより、経営の意思決定を科学的な方法で支援するための知識の体系である。マネジメントサイエンスIIでは、在庫計画や日程計画を中心としたマネジメントサイエンスに関わる基本的な知識と技法（解法）について修得することが目的・目標である。

授業方法と留意点

配布するプリントを用いて解説し、次に例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。

科目学習の効果（資格）

ＩＴパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの経営関係の資格試験にも関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　前期科目の総括
【内容･方法　等】　前期科目の試験答案の返却と解説
【事前･事後学習課題】　復習：家庭にある「たまご」の在庫状況の調査を始めよう

第２回　【授業テーマ】　在庫管理（１）
【内容･方法　等】　在庫の考え方：なぜ在庫は必要なのか、なぜ在庫を持ちすぎるとまずいのか？
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を読み直そう

第３回　【授業テーマ】　在庫管理（２）
【内容･方法　等】　在庫管理ゲームを用いて演習を行う。
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を再確認しよう

第４回　【授業テーマ】　在庫管理（３）
【内容･方法　等】　定量発注方式とEOQの公式の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：たまごの在庫についてのレポートを作成しよう

第５回　【授業テーマ】　在庫管理（４）
【内容･方法　等】　期待利益に基づく発注量の計算
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を読み直そう

第６回　【授業テーマ】　在庫管理（４）
【内容･方法　等】　ABC管理と定期発注方式の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を読み直そう

第７回　【授業テーマ】　日程計画（１）
【内容･方法　等】　日程計画ゲームを用いた演習を行う
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を読み直そう

第８回　【授業テーマ】　日程計画（２）
【内容･方法　等】　日程計画ゲーム（補習）
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を見直そう

第９回　【授業テーマ】　プロジェクトの管理（１）
【内容･方法　等】　PERTの基礎理論の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を見直そう

第10回　【授業テーマ】　プロジェクトの管理（２）
【内容･方法　等】　ダミーを用いたPERTの課題の演習
【事前･事後学習課題】　復習：配布されたプリントを読み直そう

第11回　【授業テーマ】　階層化意思決定法（１）
【内容･方法　等】　階層化意思決定法（AHP）の基礎理論と解法の解説
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう

第12回　【授業テーマ】　階層化意思決定法（２）
【内容･方法　等】　階層化意思決定法（AHP）の演習を行う
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう

第13回　【授業テーマ】　シミュレーション（１）
【内容･方法　等】　乱数の生成、モンテカルロ法と待ち行列のシミュレーションの解説と実習
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう

第14回　【授業テーマ】　シミュレーション（２）
【内容･方法　等】　在庫管理（定期発注方式）のシミュレーションの解説と実習
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう

第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容･方法　等】　後期に学習した内容のまとめと次年度科目への橋渡し
【事前･事後学習課題】　最終レポートに取り組もう

評価方法（基準）

授業中に毎回行う演習課題に対する取り組み（50%）やレポート（50%）により評価する。

教材等

教科書…毎回、ハンドアウト（プリント）を配布する
参考書…『入門経営科学（改訂版）』宮川公男・野々宮隆幸・佐藤修著、実教出版（2600円）

学生へのメッセージ

高度な数学は用いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、８割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓（関数電卓でなくてよい）を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅刻しないようにしてください。

関連科目

マネジメントサイエンスＩ

担当者の研究室等

11号館7階(黒澤教授室)

ベンチャービジネス論
Venture Business

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
河　田　正　興（カワタ　マサオキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：大学を卒業しても就職することだけが目的ではなく、自分自身で起業（ベンチャー企業）してみるのも一つの方法です。ベンチャービジネスとは何か、どうすれば起業できるのかについて、わかりやすく解説します。
目的：この授業では起業を目指す学生だけではなく、就職する学生にとってもベンチャースピリットがいかに大切かについて学習します。
到達目標：ベンチャースピリットの重要性についての理解。

授業方法と留意点

授業方法：
（1）専門家によるリレー講義です。
（2）経験豊富な実務家の貴重なビジネス体験談が受講できます。
（3）毎回、レジュメ（プリント）が配布されます。事前にファイリングするフォルダー（2穴）を準備すること。
留意点：重要な点をきちんとメモして、提出レポートに反映させること。また、聴講のマナーを厳守すること。

科目学習の効果（資格）

経験豊富なさまざまな専門家（起業家）の体験談を直接聞き学ぶことで、社会に対する認識と仕事選択に対する考え方や選択肢を広げることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　「ベンチャービジネス論」開講の意義、受講できる専門科目との関連性
【4月10日】
【内容･方法　等】　・ベンチャービジネス論の摂南大学のキャリア教育との関係について
（株）ビジネスファーム研究所　代表取締役　河田正興、安久典宏
【事前･事後学習課題】　予習：ベンチャービジネスについての意味を調べてください。

第２回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　概説
【4月17日】
【内容･方法　等】　・ベンチャービジネスの今日的な時代要請
（株）ビジネスファーム研究所　代表取締役　河田正興、安久典宏
【事前･事後学習課題】　予習：ベンチャービジネスについて雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第３回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　方法論（1）
【4月24日】
【内容･方法　等】　・ベンチャービジネス展開に関する手法-従業員採用における基礎知識-
総合事務所ネクスト　所長　特定社会保険労務士　小西勝、　安久典宏
【事前･事後学習課題】　予習：従業員の採用についてホームページで調べてみましょう。

第４回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　現状論（1）
【5月1日】
【内容･方法　等】　・ベンチャービジネス分野別の現状と課題－卸売業-
船井総合研究所　チーフコンサルタント　箕浦幸孝、　安久典宏
【事前･事後学習課題】　予習：卸売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第５回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　現状論（2）
【5月8日】
【内容･方法　等】　・国による中小・ベンチャー企業支援と東日本大震災の復興支援
（独）中小企業基盤整備機構　経営診断総括室兼震災復興支援局　参事／地域活性化伝導師（内閣府）　中小企業診断士（経済産業省）　長坂泰之、安久典宏

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　24　2014/08/21　14:23:13

【事前・事後学習課題】 予習：企業支援について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第６回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　現状論（3）
【5月15日】
【内容・方法　等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題
－製造業-
（株）ウィズダムマネジメント　長谷川中小企業診断士事務所長　長谷川好宏、
安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：製造業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第７回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　現状論（4）
【5月22日】
【内容・方法　等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-
設計製造分野でのIT活用-
キャディック（株）　代表取締役　筒井真作、　安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：キャディック㈱についてホームページで調べてみましょう。

第８回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　方法論（2）
【5月29日】
【内容・方法　等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題
－小売業-
ビジネスファームサカモト代表 マネジメントコンサルタント 坂元雅子、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第９回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　方法論（3）
【6月5日】
【内容・方法　等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-
デパ地下事業の活性化-
MDドクターK　代表　河崎友彦、　安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：流通業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第10回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　方法論（4）
【6月12日】
【内容・方法　等】 ・食品小売業界の現状
～大手ナショナルチェーン・生協・中小スーパーの今～
AKR共栄会　事務局長　大西基裕、質疑・討論 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：食品小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第11回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　方法論（5）
【6月19日】
【内容・方法　等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法
-NPO法人による社会救済支援-
グッド・サマリタン・チャーチ　牧師　金子道仁、　安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：ＮＰＯについて調べてみましょう。

第12回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　方法論（6）
【6月26日】
【内容・方法　等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-
投資育成の実践-
(株）ファンドファンクション　代表取締役 萩原貞幸
・コメント・質疑・討論　河田正興、　安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：投資育成についてホームページで調べてみましょう。

第13回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　課題論
【7月3日】
【内容・方法　等】 ・実体験を踏まえたビジネスの楽しさと苦しさについての実践事例
（株）ビジネスファーム研究所　顧問　永田賢次、　安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：黒字倒産について調べてみましょう。

第14回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス　課題論
【7月10日】
【内容・方法　等】 ・協同組合など、中小企業連携組織を活用したベンチャービジネスの事例
－東大阪の人工衛星開発などを中心に－
（株）ビジネスファーム研究所　主任研究員　佐久間雅　、質疑・討論 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 予習：協同組合など、中小企業連携組織についてしらべてみましょう

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【7月17日】
【内容・方法　等】 今までの講義内容を整理し、まとめを行います。
（株）ビジネスファーム研究所　代表取締役　河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】 －－

評価方法（基準）
原則、レポートの内容（50％）と定期期末試験結果（50％）で評価します。

教材等
教科書…各講師のレジュメ教材を配布します（各自レジュメ保管ファイル<2穴>を準備すること）。
参考書…今井哲、「ベンチャービジネス」、学文社、２００６、（２４００円）

学生へのメッセージ
ベンチャービジネスの専門家と直接話し合って見ませんか。
皆さんの将来に対する夢が膨らみます。

関連科目
ビジネスプラン、経営学

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

マクロ経済学
Macro Economics

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現代経済学は体系化された科学としてマクロ経済学とミクロ経済学に大別されます。マクロ経済学では，国家レベルの経済問題や社会全体など大きな動きについて論じます。なお，ミクロ経済学では，経済主体の意思決定プロセスや市場について議論することを目的とします。これによりビジネスニュースや新聞の経済面をより深く読むことが出来るようになることを目指します。

授業方法と留意点
教科書を中心にして行うが，適宜，新聞やTVで取り上げられたトピックも用いる。

科目学習の効果（資格）
公務員試験・経済学検定試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 経済学とは何か
【内容・方法　等】 経済学とはどのような学問か？
マクロ経済学とミクロ経済学の違い
【事前・事後学習課題】 経済記事や経済ニュースを普段から読んだり聞いたりする習慣を付けてください。

第２回 【授業テーマ】 ＧＤＰとは何だろうか？（1）
【内容・方法　等】 付加価値、三面等価の原則
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章を読んでおくこと。

第３回 【授業テーマ】 ＧＤＰとは何だろうか？（２）
【内容・方法　等】 GDPの範囲、GNI（GNP)との違い、名目値と実質値
【事前・事後学習課題】 テキスト第１章を読んでおくこと。

第４回 【授業テーマ】 消費と貯蓄はどのようにして決まるか？（１）
【内容・方法　等】 ケインズ型の消費関数
【事前・事後学習課題】 テキスト第２章を読んでおくこと。

第５回 【授業テーマ】 消費と貯蓄はどのようにして決まるか？（２）
【内容・方法　等】 ライフサイクル仮説、恒常所得仮説、流動性制約、日本の貯蓄率の動向
【事前・事後学習課題】 テキスト第２章を読んでおくこと。

第６回 【授業テーマ】 設備投資と在庫投資（１）
【内容・方法　等】 資本ストックと設備投資、投資の決定理論、新古典派の投資理論
【事前・事後学習課題】 テキスト第３章を読んでおくこと。

第７回 【授業テーマ】 設備投資と在庫投資（２）
【内容・方法　等】 調整費用モデル、在庫投資
【事前・事後学習課題】 テキスト第３章を読んでおくこと。

第８回 【授業テーマ】 金融と株価（１）
【内容・方法　等】 企業の資金調達手段、家計の資産選択
【事前・事後学習課題】 テキスト第４章までを復習しておくこと。

第９回 【授業テーマ】 金融と株価（２）
【内容・方法　等】 株価の決定理論、トービンのｑ
【事前・事後学習課題】 テキスト第４章を読んで復習しておくこと。

第10回 【授業テーマ】 貨幣の需要と供給（１）
【内容・方法　等】 貨幣の機能、貨幣需要関数、
【事前・事後学習課題】 テキスト第５章を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 貨幣の需要と供給（２）
【内容・方法　等】 貨幣量のコントロール、金融政策の手段、利子率の決定
【事前・事後学習課題】 テキスト第５章を復習しておくこと。

第12回 【授業テーマ】 乗数理論とIS-LM理論（１）
【内容・方法　等】 有効需要の原理、乗数理論
【事前・事後学習課題】 テキスト第６章を予習しておくこと。

第13回 【授業テーマ】 乗数理論とIS-LM理論（２）
【内容・方法　等】 財市場とIS曲線、貨幣市場とLM曲線、IS-LM分析

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　25　2014/08/21　14:23:13

【事前・事後学習課題】 テキスト第６章を読んでおくこと。
第14回 【授業テーマ】 経済政策の有効性
【内容・方法 等】 クラウディング・アウト、流動性のわな、非伝統的金融政策
【事前・事後学習課題】 テキスト第７章を読んでおくこと。
第15回 【授業テーマ】 財政赤字と国債
【内容・方法 等】 財政政策の意義、日本の財政赤字、国債の中立命題
【事前・事後学習課題】 テキスト第８章を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験 75%
平常点（レポート提出,小テストなど） 25%

教材等
教科書…福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ，￥2,205
参考書…伊藤元重『入門 経済学』日本評論社，￥3,000
福田慎一・照山博司『演習式 マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ，￥2,625

学生へのメッセージ
授業中は私語厳禁，携帯電話の利用禁止。
テキストやノートでの復習は必ずすること。

関連科目
ミクロ経済学、貿易と金融

担当者の研究室等
11号館6階(杉本研究室)
sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

ミクロ経済学
Micro Economics

岩 坪 加 紋（イワツボ カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現代経済学の理論は、体系化された科学としてミクロ経済学とマクロ経済学に大別される。本講義ではミクロ経済学を紹介し、経済主体の意思決定や市場について理解することを目標とする。

授業方法と留意点
講義は極力教科書に沿って行うので、必ず教科書を購入のこと。理解度を重視して進めるので、講義計画の変更もある。漠然と講義に出席するのではなく、予習・復習を行い、発言することを求める。発言は評価の対象である。

科目学習の効果（資格）
TVや新聞、インターネットから無造作に流される経済的事象を自らで整理し、自らで判断するための初歩的な能力が身につく。さらに、教員免許状取得・公務員試験・中小企業診断士試験など資格取得に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ミクロ経済学で学ぶこと
【内容・方法 等】 経済学を学ぶ理由、ミクロ経済学とマクロ経済学の違い、価格メカニズムの働き、図とグラフ
【事前・事後学習課題】 事前に第１章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第２回 【授業テーマ】 需要の理論
【内容・方法 等】 市場需要曲線、曲線のシフト要因、消費者余剰
【事前・事後学習課題】 事前に第２章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第３回 【授業テーマ】 消費者行動の理論（１）
【内容・方法 等】 最適消費点
【事前・事後学習課題】 事前に第３章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第４回 【授業テーマ】 消費者行動の理論（２）
【内容・方法 等】 需要曲線の導出、曲線のシフト要因再考
【事前・事後学習課題】 事前に第３章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第５回 【授業テーマ】 供給の理論（１）
【内容・方法 等】 限界費用、供給量の決定、供給曲線、生産者余剰
【事前・事後学習課題】 事前に第４章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第６回 【授業テーマ】 供給の理論（２）
【内容・方法 等】 右上がりの限界費用曲線、市場供給曲線、供給曲線のシフト要因
【事前・事後学習課題】 事前に第４章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第７回 【授業テーマ】 需給曲線と弾力性
【内容・方法 等】 需要と供給の弾力性、弾力性を左右する要因
【事前・事後学習課題】 事前に第５章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第８回 【授業テーマ】 ここまでのまとめ
【内容・方法 等】 まとめとして中間試験を行う
【事前・事後学習課題】 事前の復習を行っておくこと。
第９回 【授業テーマ】 市場の理論
【内容・方法 等】 さまざまな市場構造、社会的余剰、効率性、分配の公正性、市場の失敗
【事前・事後学習課題】 事前に第６章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第10回 【授業テーマ】 需要と供給で解く経済問題
【内容・方法 等】 経済問題を考える
【事前・事後学習課題】 事前に第７章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第11回 【授業テーマ】 余剰分析で解く経済問題
【内容・方法 等】 余剰を用い経済問題を考える
【事前・事後学習課題】 事前に第８章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第12回 【授業テーマ】 市場の失敗（１）
【内容・方法 等】 外部効果、公共財
【事前・事後学習課題】 事前に第９章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第13回 【授業テーマ】 市場の失敗（２）
【内容・方法 等】 情報の非対称性
【事前・事後学習課題】 事前に第１０章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第14回 【授業テーマ】 市場の失敗（３）
【内容・方法 等】 独占市場
【事前・事後学習課題】 事前に第１１章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第15回 【授業テーマ】 不確実性のもとでの選択行動
【内容・方法 等】 不確実性、リスク、期待効用
【事前・事後学習課題】 事前に第１２章を読んでおくこと。復習も行うこと。

評価方法（基準）
中間試験(40%)と期末試験(60%)ならびに学習状況（発言や小テストなど）(＋α)を総合して評価する。

教材等
教科書…家森信善・小川光『基礎からわかるミクロ経済学 第２版』中央経済社，￥2,100
参考書…岩田規久男『ゼミナール ミクロ経済学入門』日本経済新聞社，￥3,262
石川秀樹著『試験攻略 新経済学入門塾 II ミクロ編』中央経済社 ￥2,200

学生へのメッセージ
経済の基本的な考え方を身につけておくことは、社会人としてだけでなく日常生活においても“身を守る”という意味で極めて重要です。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進してください。

関連科目
くらしと経済、マクロ経済学、金融論 企業金融 等

担当者の研究室等
11号館8階（岩坪教授室）

ビジネス数学基礎
Basic Business Mathematics

能 勢 豊 一（ノセ トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
経営や情報システムに関する専門教科を修得するためには、ある程度の数学的な論理思考と基礎知識を身につけておくことが必要不可欠です。しかし、これまで数学を学習してきたにもかかわらず、十分に理解できていなかった人も少なくないと思います。そのために本講義では、数学の必要性を感じながら数学になじめない人や、数学を基礎から改めて学習し直したいと思っている人などを主な対象に、実社会で使われている具体的な事例を取り上げながら数学の基礎を解説します。

授業方法と留意点
授業は、配布プリント、プロジェクタを用いて、授業内演習を中心に時にはパソコンを用いて行います。授業内容の理解を確認する小テスト、例題解説、類似問題のレポートで確実に理解を促進します。

科目学習の効果（資格）
経営・経済・情報処理分野の資格試験の一助となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ビジネス数学の役割
【内容・方法 等】 ・現象をとらえ、現象から因子をとらえること
・因子からデータを採取し、データから情報を創出するこ

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 26 2014/08/21 14:23:13

と
・情報から仮説を立案し、ビジネスに存在する法則を見える化すること
以上を理解してもらいます
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第２回 【授業テーマ】 ビジネスをとらえる確率・統計の役割
【内容・方法　等】 ・不確実性が増大するビジネス社会
・確率と分布による不確実事象の把握
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第３回 【授業テーマ】 乱数による確率モデルの表現
【内容・方法　等】 ・シミュレーションによる不確実事象の把握
・乱数を活用した数学モデルの表現
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第４回 【授業テーマ】 経営計画と利益計画
【内容・方法　等】 散布図による売上高と費用分析
最小自乗法による売り上げと費用の分関
損益分岐点の算出
資本回収点の算出
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第５回 【授業テーマ】 データの関係を知る（１）
【内容・方法　等】 ピアソンの相関、スペアマンの順位相関、クラメールの関連指数、相関比
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第６回 【授業テーマ】 データの関係を知る（２）
【内容・方法　等】 潜在需要と相関のある因子を発見し、ビジネスモデルにする法則を発見する方法を解説する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第７回 【授業テーマ】 日程計画（１）
【内容・方法　等】 PERTによる日程計画と管理
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第８回 【授業テーマ】 日程計画（２）
【内容・方法　等】 前回､PERTによって説いた問題を､DP（動的計画法）により、定式化し、解答を導く
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第９回 【授業テーマ】 生産計画(1)
【内容・方法　等】 LP（線形計画法）によって目的関数、制約条件式を定式化し、生産計画を立案する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第10回 【授業テーマ】 生産計画(2)
【内容・方法　等】 ・需要の不確実性を正規分布によってとらえた場合の生産計画を立案する
・分布を考慮した安全在庫の理論を導入する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第11回 【授業テーマ】 在庫管理
【内容・方法　等】 ・在庫理論の変遷：2ビン法、発注点法、定期発注法、s-S法、MRP
・需要が確率分布に従う場合の在庫管理の定式化と最適化
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第12回 【授業テーマ】 取り換え問題
【内容・方法　等】 ・レンタルか買取りか
・設備の買替え
・故障部品の取換え
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第13回 【授業テーマ】 AHP法
【内容・方法　等】 感覚データの数値化とその評価
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第14回 【授業テーマ】 DEA法
【内容・方法　等】 数値データのグループ化とその評価
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
第15回 【授業テーマ】 ベイズ流の意思決定
【内容・方法　等】 ベイズの定理
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、前回と今回の講義内容をチェックするレポートを作成する

評価方法（基準）
レポート・小テスト４０％、期末テスト６０％

教材等
教科書…適宜プリント配布する。
参考書…パソコンによるデータマイニング（浅利、能勢他4名）日刊工業新聞、(2001)
その他、適宜案内する。

学生へのメッセージ
本講義の各々の領域で学ぶ数学は、一度は講義の中でそのメカニズムに触れておいてほしいと思いますが、触れたという記憶だけで十分です。実際の社会では、これらの数学を説明することはあまり重要ではありません。多くの場合、ソフトウエア化されたものが世の中に出回っており、むしろ、その理論や式、モデルが適切な条件と環境の下に使用できることの方が重要です。

関連科目
経営学、経営情報システム

担当者の研究室等
金曜日：摂南大学１１号館６階(経営学部事務室)
その他の曜日：大阪工業大学９号館４階（経営情報システム研究室）

情報倫理
Information and Morals

河　俣　英　美（カワマタ　ヒデミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
技術と経済最優先の現代情報社会において、一般市民が可能な限り自律的に豊かな人生をおくるための基礎的な理解を得る。
情報社会に生起している諸問題のうち、一般市民の生活の立場から問題となる諸領域についての現状を提示した後、ありうる考え方の道筋について考察する。
生活者としての情報ならびに情報システムの管理に最低限必要な情報社会の法制と倫理を身につけるだけでなく、将来社会人となった際にも職業上の対応を可能とするための基礎を身につける。

授業方法と留意点
板書講義形式　但し、授業の理解を深めるため、授業内に課題、レポート等の提出を求めることがある。

科目学習の効果（資格）
高等学校情報科教員免許状取得に必要。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 ・講義の概要、評価の方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 新聞の社会面、特にサイバー犯罪や個人情報漏えいなど情報倫理関連の記事に目を通す習慣を身につけてください。
第２回 【授業テーマ】 情報社会の光と影
【内容・方法　等】 ・ネットワーク・コンピュータ問題分析の視角
【事前・事後学習課題】 ネットワークの仕組みについて調べてみてください。
第３回 【授業テーマ】 不正競争
【内容・方法　等】 ・ドメインネーム、デジタルデバイド、ルックアンドフィールなど
【事前・事後学習課題】 デジタルデバイドの実態について調べて考えてみてください。
第４回 【授業テーマ】 電子商取引
【内容・方法　等】 ・電子認証、電子署名法など
【事前・事後学習課題】 電子商取引のしくみについて調べてみてください。
第５回 【授業テーマ】 消費者保護
【内容・方法　等】 ・ネットオークション、通信販売、消費者契約法など
【事前・事後学習課題】 売買トラブルの実態について調べてみてください。
第６回 【授業テーマ】 サイバー犯罪
【内容・方法　等】 ・不正アクセス、電子計算機関連犯罪など

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　27　2014/08/21　14:23:13

【事前・事後学習課題】 不正アクセスの実態について調べてみてください。

第７回 【授業テーマ】 情報政策
【内容・方法 等】 ・ＰＫＩ、情報基本法、情報公開法など
【事前・事後学習課題】 暗号化のしくみについて、テキストを読んでまとめてみてください。

第８回 【授業テーマ】 プライバシー
【内容・方法 等】 ・住基ネット、プライバシー権、プライバシーマークなど
【事前・事後学習課題】 プライバシー権侵害に関連する記事を探してまとめてみてください。

第９回 【授業テーマ】 誹謗中傷、名誉毀損
【内容・方法 等】 ・フレーミング、プロバイダ責任法など
【事前・事後学習課題】 誹謗・中傷関連の記事を探して、問題点を考察してください。

第10回 【授業テーマ】 監視社会
【内容・方法 等】 ・監視カメラ、携帯電話、電子通信傍受ソフト、チップ埋め込み、盗聴法など
【事前・事後学習課題】 身近な監視の実態を調べて考えてみてください。

第11回 【授業テーマ】 セキュリティ
【内容・方法 等】 ・セキュリティポリシー、利用規定など
【事前・事後学習課題】 情報セキュリティについて調べてまとめてください。

第12回 【授業テーマ】 個人情報保護
【内容・方法 等】 ・個人情報保護法、OECDプライバシー・ガイドラインなど
【事前・事後学習課題】 個人情報漏洩に関する記事を見つけて問題点を考えてみてください。

第13回 【授業テーマ】 知的財産権
【内容・方法 等】 ・知的財産基本法、産業財産権、著作権、中古販売など
【事前・事後学習課題】 違法コピーの実態について調べて考えてみてください。

第14回 【授業テーマ】 知的財産権（２）
【内容・方法 等】 ・著作権法、著作隣接権など
【事前・事後学習課題】 著作権侵害の記事を調べて考えてみてください。

第15回 【授業テーマ】 健全な情報社会
【内容・方法 等】 ・健全な情報社会の構築に向けての考察
【事前・事後学習課題】 健全な情報社会を構築するため方策について、自分自身の意見をまとめてみてください。

評価方法（基準）

定期試験を主とし、授業内での提出物（課題レポート等）を含めて、総合的に評価する。
【定期試験80%、授業内での提出物20%】

教材等

教科書…「インターネットの光と影（ver5）」情報教育研究会 北大路書房
参考書…・『情報社会の法と倫理』 サラ=バーズ著、日本情報倫理協会訳 ピアソン=エデュケーション
・『インターネットと法』[第4版] 松井茂記・高橋和之編 有斐閣

学生へのメッセージ

情報倫理学、情報法学は、企業社会で経営情報学を基本から支える分野である。生活上で、身を守る基本的な知識でもあるので身につけておこう。

関連科目

情報処理基礎

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

経営組織論I
Theory of Business Organization I

槇 谷 正 人（マキタニ マサト）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

今や多くの組織において、新しい企業環境の変化に応じた新たな組織づくりが問われている。
この講義では、経営学の主要領域である経営組織について基本的な理解を深め、現実に起こっている組織問題の本質を提示する。企業組織の基本形態を検討し、企業の戦略等によって組織がどのように変容する必要があるのか説明する。さらに、飛躍的に発展してきた組織論の基礎的な知識やロジックを学習しながら、現代的な諸問題を明らかにするとともに、それらの問題について実践的な対処法をケーススタディで解説する。

授業方法と留意点

講義、理解促進テストと演習課題、ディスカッションの3部構成で行う。
課題レポート（800字）を1～3回程度実施する。
日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業組織の現実的諸問題について情報収集を行う。
ディスカッションを中心に行うので積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

企業研究の基礎になる科目でもあり、将来、経営者、管理者、経営企画、コンサルタントを目指す人の必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士、販売士検定試験等の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 企業と経営組織
【内容・方法 等】 ガイダンス、講義の目的、講義概要、評価方法の提示を行い、本講義を学ぶ意義を解説する。
【事前・事後学習課題】 ノートと教科書を持参してください。

第２回 【授業テーマ】 組織研究（1）
組織研究の発展
【内容・方法 等】 組織研究の発展、組織の捉え方について、企業の成長と発展を事例研究で解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書「序章」（pp.1-8）を読んできてください。

第３回 【授業テーマ】 組織研究（2）
組織研究の方法
【内容・方法 等】 組織の多様性、組織の合理性、伝統的組織論の理論モデルについて解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ｉ部「第1章1.はじめに、2.企業成長と発展」（pp.11-20）を読んできてください。

第４回 【授業テーマ】 組織における諸問題（1）
組織の多様性
【内容・方法 等】 近代組織論の理論モデルと組織均衡、組織の非合理性、事例企業で解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ｉ部「第1章3.企業衰退、4.おわりに」（pp.20-29）を読んできてください。

第５回 【授業テーマ】 組織における諸問題（2）
テイラーの科学的管理法
【内容・方法 等】 Ｔ型フォードの生産、伝統的理論モデルの限界、科学的管理法と現代企業について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ｉ部「第2章1.はじめに、2.持続的成長と発展の意味」（pp.31-34）を読んできてください。

第６回 【授業テーマ】 組織における諸問題（3）
ホーソン実験
【内容・方法 等】 伝統的組織論と近代組織論、人間関係論、組織の環境適応について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ｉ部「第1章3.資源ベースの可能性、4.持続的成長と発展要因としての組織ルーティン」（pp.34-44）を読んできてください。

第７回 【授業テーマ】 組織の意思決定（1）
サイモンの制約された合理性
【内容・方法 等】 目的と手段の体系、意図せざる結果、組織におけるあいまいさと決定について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ｉ部「第2章5.個別的組織能力と職能別組織ルーティン」（pp.44-47）を事前に読んできてください。

第８回 【授業テーマ】 組織の意思決定（2）
サイモンのゴミ箱モデル
【内容・方法 等】 目的の設定、階層的秩序、ゴミ箱モデル4つの要素、事実前提と価値前提について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ｉ部「第2章6.組織ルーティンの実証研究、7.おわりに」（pp.47-51）を事前に読んできてください。

第９回 【授業テーマ】 組織化のプロセス（1）
バーナードとサイモン
【内容・方法 等】 組織化のロジックを、バーナードの理論、サイモンの理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章2.持続的成長と発展モデル」（pp.88-103）を事前に読んできてください。

第10回 【授業テーマ】 組織化のプロセス（2）
ワイクとマーチ
【内容・方法 等】 組織化のプロセスを、ワイクの理論、マーチの理論について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセスモデル」（pp.103-108）を事前に読んできてください。

第11回 【授業テーマ】 環境と組織（1）
コンティンジェンシー理論
【内容・方法 等】 オープン・システムとしての組織、機械的管理と有機的管理について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章4.経営理念の機能化のための経営管理制度」（pp.108-115）を事前に読んできてください。

第12回 【授業テーマ】 環境と組織（2）
ネオ・コンティンジェンシー理論
【内容・方法 等】 戦略と組織、経営戦略論の発展、組織の主体性と戦略的選択アプローチについて解説する。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 28 2014/08/21 14:23:14

【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章5.経営理念の機能化のための経営管理制度」(pp.108-110) を事前に読んできてください。

第13回 【授業テーマ】 組織デザイン (1)
組織形態の基本型
【内容・方法 等】 分業のメリット・ディメリット・組織構造の種類について、事例企業を通して解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第5章1.はじめに、2.戦略的組織ルーティンと経営理念の考察」(pp.119-154) を事前に読んできてください。

第14回 【授業テーマ】 組織デザイン (2)
分業・標準化
【内容・方法 等】 分業の種類 (垂直分業・水平分業・機能別分業・並行分業) について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第5章1.はじめに、2.戦略的組織ルーティンと経営理念の考察」(pp.119-154) を事前に読んできてください。

第15回 【授業テーマ】 組織デザイン (3)
分業とモチベーション
【内容・方法 等】 分業とモチベーションの関係と、経営組織論の要点について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第5章1.はじめに、2.戦略的組織ルーティンと経営理念の考察」(pp.119-154) を事前に読んできてください。

評価方法 (基準)
定期試験 (80%)、毎回理解促進テストと演習課題 (10%)、課題レポート (10%) により総合的に評価します。

教材等
教科書…槇谷正人 (2012)『経営理念の機能－組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社 (3,000円＋税)
参考書…大平浩二編著 (2009)『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社 (3,200円+税)
大月博司・高橋正泰 (2003)『経営組織』学文社。2,500円+税
沼上幹 (2004)『組織デザイン』日経文庫。950円+税

学生へのメッセージ
人間は、限定的で合理的な存在です。我々は全てのことがオールマイティではないのです。そこで、一人の人間ができることから、集団や組織でできることの可能性について一緒に勉強しましょう。

関連科目
経営学、経営戦略論、経営管理論

担当者の研究室等
槇谷研究室 (11号館7階)

経営組織論II
Theory of Business Organization II

槇 谷 正 人 (マキタニ マサト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
今や多くの組織において、新しい企業環境の変化に応じた新たな組織づくりが問われている。
この講義では、経営学の主要領域である経営組織について基本的な理解を深め、現実に起こっている組織問題の本質を提示する。企業組織の基本形態を検討し、企業の戦略等によって組織がどのように変容する必要があるのか説明する。さらに、飛躍的に発展してきた組織論の基礎的な知識やロジックを学習しながら、現代的な諸問題を明らかにするとともに、それらの問題について実践的な対処法をケーススタディで解説する。

授業方法と留意点
講義、理解促進テストと演習課題、ディスカッションの3部構成で行う。
課題レポート (800字) を1～3回程度実施する。
日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業組織の現実的諸問題について情報収集を行う。
ディスカッションを中心に行うので積極的な参加が求められる。

科目学習の効果 (資格)
企業研究の基礎になる科目でもあり、将来、経営者、管理者、経営企画、コンサルタントを目指す人の必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士、販売士検定試験等の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 組織をめぐる諸問題と組織研究
【内容・方法 等】 ガイダンス、講義の目的、講義概要、評価方法の提示を行い、本講義を学ぶ意義を解説する。
【事前・事後学習課題】 ノートと教科書を持参してください。

第２回 【授業テーマ】 組織能力と組織デザイン (1)
部門化・公式化
【内容・方法 等】 経営資源と組織能力を、組織デザイン (部門化・公式化) の関係から解説する
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅰ部「第2章5.個別的組織能力と職能別組織ルーティン」(pp.44-47) を事前に読んできてください。

第３回 【授業テーマ】 組織能力と組織デザイン (2)
標準化・分権化
【内容・方法 等】 経営資源と組織能力を、組織デザイン (標準化・分権化) の関係から解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅰ部「第2章6.組織ルーティンの実証研究」(pp.47-49) を事前に読んできてください。

第４回 【授業テーマ】 組織の内的コントロールと外的コントロール (1)
【内容・方法 等】 機械的コントロールと組織デザインによるコントロールについて、事例企業を通して解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第3章4.経営理念の構造と機能に関する研究、5.おわりに」(pp.78-85) を事前に読んできてください。

第５回 【授業テーマ】 組織の内的コントロールと外的コントロール (2)
【内容・方法 等】 正統性の獲得を、対外対内コントロールの事例企業の実際を通して解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第3章4.経営理念の構造と機能に関する研究、5.おわりに」(pp.78-85) を事前に読んできてください。

第６回 【授業テーマ】 組織の合理性と非合理性 (1)
【内容・方法 等】 官僚制組織の特徴、計画的戦略と創発的戦略を通して、組織の合理性と非合理性を解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章2.持続的成長と発展モデル」(pp.88-108) を事前に読んできてください。

第７回 【授業テーマ】 組織の合理性と非合理性 (2)
【内容・方法 等】 ミンツバーグの所論非合理性の導入と活用、合理性と非合理性のバランスの重要性を解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章2.持続的成長と発展モデル」(pp.88-108) を事前に読んできてください。

第８回 【授業テーマ】 組織文化と組織学習 (1)
【内容・方法 等】 トンプソン・モデルの限界、シャインの組織文化論を基に、事例企業を比較して解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第6章2.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.157-161) を事前に読んできてください。

第９回 【授業テーマ】 組織文化と組織学習 (2)
【内容・方法 等】 組織学習とルーティン、組織学習プロセスについて、事例企業を通して解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第6章2.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172) を事前に読んできてください。

第10回 【授業テーマ】 組織間関係
【内容・方法 等】 戦略的提携、ネットワーク型組織の探求、組織変革の展開について事例企業で解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅰ部「第1章3.企業の衰退」(pp.20-28) を事前に読んできてください。

第11回 【授業テーマ】 組織変革
【内容・方法 等】 組織変革のメカニズム、断続的均衡モデル、継続性モデル、学習する組織について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅱ部「第4章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセスモデル」(pp.103-108) を事前に読んできてください。

第12回 【授業テーマ】 組織イノベーション (1)
【内容・方法 等】 イノベーションの種類、テクノロジー・サイクルの理解を事例企業で解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第6章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172) を事前に読んできてください。

第13回 【授業テーマ】 組織イノベーション (2)
【内容・方法 等】 長期にわたり系統的に異なる種類のイノベーションの実現を、事例企業で解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第6章3.戦略的組織ルーティンの遂行プロセス」(pp.162-172) を事前に読んできてください。

第14回 【授業テーマ】 知識創造とナレッジマネジメント
【内容・方法 等】 持続的成長と発展を遂げる企業の知識創造のプロセスとマネジメントを解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第6章4.戦略的組織ルーティンの安定と変化における経営理念の機能化」(pp.172-179) を事前に読んできてください。

第15回 【授業テーマ】 持続的イノベーション企業
【内容・方法 等】 セルフオーガニゼーション企業と、近年の経営組織論の展開と考え方、要点を解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書Ⅲ部「第6章5.事例研究のインプリケーション」(pp.179-180) を事前に読んできてください。

評価方法 (基準)
定期試験 (80%)、毎回理解促進テストと演習課題 (10%)、課題レポート (10%) により総合的に評価します。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 29 2014/08/21 14:23:14

教材等

教科書…槇谷正人（2012）『経営理念の機能－組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社（3,000円＋税）

参考書…大平浩二編著（2009）『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社（3,200円+税）
大月博司・高橋正泰（2003）『経営組織』学文社（2,500円+税）
沼上幹（2004）『組織デザイン』日経文庫（950円+税）

学生へのメッセージ

人間は、限定的で合理的な存在です。我々は全てのことがオールマイティではないのです。そこで、一人の人間ができることから、集団や組織でできることの可能性について一緒に勉強しましょう。

関連科目

経営学、経営戦略論、経営管理論

担当者の研究室等

槇谷研究室（11号館7階）

経営史I
Business History I

佐　藤　正　志（サトウ　マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

企業経営の歴史的発展を英・米・日の事例を中心として比較史的に考察します。

前半は、経営史学の方法論や資本主義経済を生み出したイギリスの産業革命期の経営を取り上げます。とくに、技術の発展や規格化・標準化が企業経営のあり方を大きく規定することを考察します。

後半は、アメリカが生み出した大量生産システムであるフォードシステム、それがもたらせた消費社会の形成について概観して、それらが現代の生産や消費形態の原型であったことを、考えていきます。

授業方法と留意点

講義形式の授業。資料を配付して説明します。アメリカや日本の幅広い事例が出てきますので、板書事項をノートにとりながら、まとめてください。

科目学習の効果（資格）

企業経営に関する基本事項を歴史的視点から学びますので、他の専門科目の理解を理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　経営史の方法論（１）
【内容･方法　等】　マックス・ウェーバーの「エートス」論
【事前･事後学習課題】　企業の歴史について興味を持っている企業のHPで調べて、まとめる。また、ウェーバーについて調べる。

第２回　**【授業テーマ】**　経営史の方法論（２）
【内容･方法　等】　シュンペーター理論と企業者の役割
【事前･事後学習課題】　シュンペーターのイノベーション理論の概要を調べ、まとめる。

第３回　**【授業テーマ】**　技術の発展と企業（１）
【内容･方法　等】　マニュファクチュア経営の「革命」性
【事前･事後学習課題】　マニュファクチュア、問屋制家内工業について事典で調べ、まとめる。

第４回　**【授業テーマ】**　技術の発展と企業（２）
【内容･方法　等】　規格化と標準化が勝負を決める（ベータとＶＨＳの争い）
【事前･事後学習課題】　技術の発展が経営に与えた影響をまとめる。

第５回　**【授業テーマ】**　技術の発展と企業（３）
【内容･方法　等】　産業革命とは何か
【事前･事後学習課題】　産業革命について調べて、まとめる。

第６回　**【授業テーマ】**　技術の発展と企業（４）
【内容･方法　等】　産業革命期の経営
【事前･事後学習課題】　産業革命期の経営について調べて、まとめる。

第７回　**【授業テーマ】**　技術の発展と企業（５）
【内容･方法　等】　後進国の産業革命（工業化）
【事前･事後学習課題】　日本の産業革命の特質について調べて、まとめる。

第８回　**【授業テーマ】**　英国の衰退の経営的要因
【内容･方法　等】　英国経済衰退の経営的背景は何か
【事前･事後学習課題】　イギリス近代経済史について概要を把握する。また、文化と経営の関連性について調べ、まとめる。

第９回　**【授業テーマ】**　「アメリカ式生産システム」とフォード・システム（１）
【内容･方法　等】　互換性部品生産方式と「科学的管理法」
【事前･事後学習課題】　アメリカ式生産システムについて調べて、まとめる。

第10回　**【授業テーマ】**　「アメリカ式生産システム」とフォード・システム（２）
【内容･方法　等】　自動車産業の発展とフォード・システムの形成過程
【事前･事後学習課題】　「フォーディズム」と現代資本主義

第11回　**【授業テーマ】**　「アメリカ式生産システム」とフォード・システム（３）
【内容･方法　等】　「フォーディズム」と「JIT（ジャスト・イン・タイム）
【事前･事後学習課題】　JITについて事前学習し、講義後にまとめる。

第12回　**【授業テーマ】**　消費社会の成立（１）
【内容･方法　等】　「消費」の変容と現代社会の成立
【事前･事後学習課題】　消費社会論の議論を予習し、講義後にまとめる。

第13回　**【授業テーマ】**　消費社会の成立（２）
【内容･方法　等】　ブランドとは何か
【事前･事後学習課題】　ブランドの概念を事前学習し、講義後にまとめる。

第14回　**【授業テーマ】**　消費社会の成立（３）
【内容･方法　等】　ブランド商品の誕生
【事前･事後学習課題】　具体的なブランド商品の事例について事前学習し、講義後にまとめる。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容･方法　等】　――――――
【事前･事後学習課題】　練習問題

評価方法（基準）

定期試験結果(100点満点）で評価。

教材等

教科書…とくに指定しません。資料を配付します。
参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

講義内容に関して不明な点や疑問点は、遠慮せずに質問してください。
なお、紹介する参考文献にはできるだけ目をとおして、より理解を深めていただきたい。

関連科目

現代日本経営史、企業者史Ⅰ・Ⅱ（Ｓ科科目）

担当者の研究室等

11号館8階(佐藤教授室)

経営史II
Business History II

佐　藤　正　志（サトウ　マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

第２次大戦後の日本経済・産業の発展過程をたどりながら、各時代を代表する企業と経営者（企業家）を取り上げ、その経営活動と経営理念を分析します。企業の形成過程を、経済の発展段階との関連をふまえて考察し、これからの企業・企業者像を考えていきます。

授業方法と留意点

資料の配付やビデオ視聴を行いながら講義形式で実施します。

科目学習の効果（資格）

企業経営に関する基本的事項を歴史的観点から、また企業者の行動や考えを通して学びますので、他の専門科目の理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　戦後の経済発展の枠組みと企業経営（１）
【内容･方法　等】　戦後復興の過程と企業
【事前･事後学習課題】　第２次大戦後の経済と企業の変化について予習し、講義後にまとめる。

第２回　**【授業テーマ】**　戦後の経済発展の枠組みと企業経営（２）
【内容･方法　等】　高度経済成長と企業経営者
【事前･事後学習課題】　戦後を代表する企業とその経営者をリストアップし、講義後その共通点について、まとめる。

第３回　**【授業テーマ】**　高度経済成長と企業（１）
【内容･方法　等】　松下幸之助と松下電器
【事前･事後学習課題】　松下幸之助の履歴について、まとめる。

第４回　**【授業テーマ】**　高度経済成長と企業（２）
【内容･方法　等】　松下幸之助の経営哲学
【事前･事後学習課題】　松下の経営理念「水道哲学」とは何か。

第５回　**【授業テーマ】**　高度経済成長と企業（３）
【内容･方法　等】　ホンダの創業と本田宗一郎（１）
【事前･事後学習課題】　本田宗一郎の人物像について調べて、まとめる。

第６回　**【授業テーマ】**　高度経済成長と企業（４）

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　30　　2014/08/21　14:23:14

【内容・方法　等】 ホンダの創業と本田宗一郎（２）
【事前・事後学習課題】 ホンダが２輪車メーカーのトップメーカーへと成長した要因を調べてまとめる。
第７回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業（５）
【内容・方法　等】 SONYと井深大
【事前・事後学習課題】 SONYの発展をもたらした要因を調べて、まとめる。
第８回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（１）
【内容・方法　等】 戦後流通業の変化
【事前・事後学習課題】 流通業界の主役の移り変わりを調べて、まとめる。
第９回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（２）
【内容・方法　等】 中内・ダイエーの「流通革命」と挫折
【事前・事後学習課題】 ダイエーの経営の失敗について、その要因を調べて、まとめる。また、中内の「流通革命」の成果は現在どのような形で引き継がれているのかを考える。
第10回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（３）
【内容・方法　等】 コンビニの発展とセブンイレブン・鈴木敏文（１）
【事前・事後学習課題】 戦後の流通業界の変化とコンビニの登場までをまとめる。
第11回 【授業テーマ】 流通革命と企業経営（４）
【内容・方法　等】 コンビニの発展とセブンイレブン・鈴木敏文（２）
【事前・事後学習課題】 鈴木による小売業の革新は、海外においても通用するか考え、まとめる。
第12回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業（１）
【内容・方法　等】 IT革命は企業経営をいかに変革したか（１）
【事前・事後学習課題】 IT革命の企業経営への影響について調べ、まとめる。
第13回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業（２）
【内容・方法　等】 IT革命は企業経営をいかに変革したか（２）
【事前・事後学習課題】 IT革命の企業経営への影響について調べ、まとめる。
第14回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業（３）
【内容・方法　等】 IT革命は企業経営をいかに変革したか（３）
【事前・事後学習課題】 IT革命の企業経営への影響について調べ、まとめる。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 ――――――
【事前・事後学習課題】 練習問題

評価方法（基準）
定期試験結果(100点満点）で評価。

教材等
教科書…とくに指定しません。資料を配付します。
参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ
講義内容に対する不明点や疑問は遠慮なく質問してください。
また、紹介する参考文献にはできる限り目を通してください。

関連科目
経営史、企業者史Ⅰ（Ｓ科科目）

担当者の研究室等
１１号館８階（佐藤研究室）

経営労務論Ⅰ
Personnel Management Ⅰ

羽　石　寛　寿（ハネイシ　カンジュ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業概要：日本企業の人事管理の仕組みと課題を、わかりやすく解説します。人事管理の理論とともに日本企業の実例を紹介しながら理解を深めます。特に従来から日本的人事管理の特徴とも言われてきた、年功序列や終身雇用の変容や崩壊、そして今後の人事管理についての方向性についても解説します。
目的：経営における人事管理の大切さと人事管理の概要についての理解。
学習・教育目標：経営における人事管理の重要性が理解できること。

授業方法と留意点
講義を主としますが、必要に応じてパワーポイントやプリントを活用し、企業における人事管理の実態についても解説します。
この授業を受講するには経営学の基礎を理解していることが望まれます。

科目学習の効果（資格）
中小企業診断士や社会保険労務士の受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 人事・労務管理の概要
【内容・方法　等】 人事・労務管理の果たす役割，経営環境の変化との関係を解説します。
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んできて下さい。
第２回 【授業テーマ】 人事管理の発生と変遷
【内容・方法　等】 科学的管理法，人間関係論などの人事・労務管理の歴史を解説します。
【事前・事後学習課題】 経営学の発達について調べておいてください。
第３回 【授業テーマ】 日本の人事管理の特徴
【内容・方法　等】 終身雇用，年功序列，企業内組合などの1970年代以降の特徴と課題を述べて，日本的経営と人事管理の特徴を解説します。
【事前・事後学習課題】 日本の雇用の実態について新聞等で調べてください。
第４回 【授業テーマ】 人事計画と要員計画
【内容・方法　等】 人事情報のシステム化，人事・労務管理の計画，特に人員計画のつくり方に重点をおいて解説します。
【事前・事後学習課題】 人事管理や労務管理の意味を調べてください。
第５回 【授業テーマ】 職能資格制度について
【内容・方法　等】 日本企業の人事管理の柱である職能資格制度について解説します。
【事前・事後学習課題】 職能資格について教科書を読んでおいてください。
第６回 【授業テーマ】 昇進・昇格管理について
【内容・方法　等】 昇進・昇格管理の解説とその方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 昇進と昇格の意味はどう違いますか考えてください。
第７回 【授業テーマ】 人事考課について
【内容・方法　等】 能力主義管理のひとつのツールである人事考課について解説します。
【事前・事後学習課題】 仕事ぶりを評価すると言うことはどういうことでしょうか、調べてください。
第８回 【授業テーマ】 賃金の支払いと決め方
【内容・方法　等】 賃金の基本的な考え方とその決定方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 給与明細には何が書いてあるか調べてください。
第９回 【授業テーマ】 賃金体系の意味
【内容・方法　等】 職能給と年齢給からなる日本の賃金体系について解説します。
【事前・事後学習課題】 賃金とはどのようなものか考えてください。
第10回 【授業テーマ】 能力開発と教育訓練
【内容・方法　等】 企業における能力開発とOJTなどの教育訓練について解説します。
【事前・事後学習課題】 なぜ、企業において教育が必要なのでしょうか、考えてください。
第11回 【授業テーマ】 福利厚生について
【内容・方法　等】 企業における福利厚生について解説します。
【事前・事後学習課題】 福利厚生の意味を調べてください。
第12回 【授業テーマ】 労働関係法について
【内容・方法　等】 労働基準法などに関する法律について解説します。
【事前・事後学習課題】 労働法には、どのような法律があるか調べてください。
第13回 【授業テーマ】 演習課題についての発表Ⅰ
【内容・方法　等】 演習課題についての発表をして頂きます。
【事前・事後学習課題】 レポートについて発表の準備をしておいてください。
第14回 【授業テーマ】 演習課題についての発表Ⅱ
【内容・方法　等】 演習課題についての発表をして頂きます。
【事前・事後学習課題】 レポートについてパワーポイントで発表できる準備をしておいてください。
第15回 【授業テーマ】 人事管理のまとめ
【内容・方法　等】 前期で学んだことをまとめます。
【事前・事後学習課題】 レポートを必ず提出して頂きます。

評価方法（基準）
ミニッツ・レポート（30％）、レポート（20％）、期末テスト（50％）で評価します。

教材等
教科書…『人と組織のマネジメント』羽石寛寿著,清風出版，2014
参考書…『新しい人事労務管理』佐藤博樹・藤村博之・八代充史著，有斐閣，2001(1800円)

学生へのメッセージ
人事労務管理は，経営管理を理解する上で重要な分野です。
皆さんが就職する企業における皆さん方への管理の方法が学べます。
特に将来管理者や監督者を希望する皆さんには大切な科目ですから必ず履修しましょう。

関連科目
経営学、経営労務論Ⅱ

担当者の研究室等

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　31　2014/08/21　14:23:14

11号館8階(羽石教授室)

経営労務論II
Personnel Management II

羽　石　寛　寿（ハネイシ　カンジユ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：前期に引き続き，日本企業の人事管理の仕組みと課題をわかりやすく解説します。とくに後期は企業の人事管理の診断に重点をおきます。

目的：人事労務管理の理論とともに，企業の組織診断と意識調査の分析を通して人事管理の重要性”働くとは”について考えましょう。

学習・教育目標：人事管理の診断および組織診断の手法を使えるようにします。

授業方法と留意点

講義を主としますが，必要に応じてプリントやＯＨＰを活用し，実社会の理解に努めます。

人事労務のケーススタディをとおして人事管理のポイントを学習します。

学生が企業等でデータ収集を行い、実際に分析・考察を行います。

科目学習の効果（資格）

中小企業診断士と社会保険労務士の受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　モラールとモチベーション
【内容･方法　等】　仕事への意欲(モラール)と動機づけ（モチベーション）を解説します。
【事前･事後学習課題】　頑張る、一生懸命とはどういうことでしょうか、調べてください。

第２回　**【授業テーマ】**　モチベーションの理論について
【内容･方法　等】　マズロー、マグレガーの動機づけ理論いついて解説します。
【事前･事後学習課題】　やる気が出るとはどういうことでしょうか調べてください。

第３回　**【授業テーマ】**　ハーズバーグのＭ－Ｈ理論とＭ－Ｒ－Ｈ理論
【内容･方法　等】　ハーズバーグの動機づけ理論とＭ－Ｒ－Ｈ理論について解説します。
【事前･事後学習課題】　仕事をとおしての楽しみつらさとはどういうことでしょうか考えてください。

第４回　**【授業テーマ】**　モラールサーベイと労務関係調査
【内容･方法　等】　職場のモラールと労務管理施策を調査し問題点を把握する方法について解説します。
【事前･事後学習課題】　仕事を通しての満足はどのように計測すればよいでしょうか、考えてください。

第５回　**【授業テーマ】**　個人属性の診断について
【内容･方法　等】　職場ごとの個人の目標達成意欲度診断を行う方法について解説する。
【事前･事後学習課題】　あなたは仕事（課題）に対してどのような気持ちで向かい合っていますか考えてください。

第６回　**【授業テーマ】**　組織風土診断について
【内容･方法　等】　職場の組織的な雰囲気を調査しその特徴を把握する診断方法について解説する。
【事前･事後学習課題】　組織の雰囲気はどうあるべきと思いますか考えてください。

第７回　**【授業テーマ】**　リーダーシップの診断について
【内容･方法　等】　管理者のリーダーシップを調査し、その特徴を把握する診断方法について解説する。
【事前･事後学習課題】　リーダーシップの意味を調べてください。

第８回　**【授業テーマ】**　組織診断の総合演習
【内容･方法　等】　組織診断、意識調査のレポート作成の解説をします。
【事前･事後学習課題】　演習のデータを取るところを考えておいてください。

第９回　**【授業テーマ】**　年功型賃金体系から成果・能力型賃金体系への改善事例Ⅰ
【内容･方法　等】　企業の事例における、年功型から成果・能力型賃金への改善事例について演習します。
【事前･事後学習課題】　賃金体系について、あなたの考えをまとめておいてください。

第10回　**【授業テーマ】**　年功型賃金体系から成果・能力型賃金体系への改善事例Ⅱ
【内容･方法　等】　賃金制度の設計方法など演習を行います。
【事前･事後学習課題】　成果・能力主義の賃金について、あなたの考えを発表できるように準備してください。

第11回　**【授業テーマ】**　年功型賃金体系から成果・能力型賃金体系への改善事例Ⅲ
【内容･方法　等】　新賃金制度はどのように移行されていくのかについて解説します。
【事前･事後学習課題】　賃金体系のモデルを作成してください。

第12回　**【授業テーマ】**　組織診断調査の事例Ⅰ
【内容･方法　等】　個人属性、組織風土の診断について事例を用いて解説します。
【事前･事後学習課題】　組織診断の演習をして頂きます。準備をしてください。

第13回　**【授業テーマ】**　人事管理の総合演習
【内容･方法　等】　人事管理における総合診断の方法について解説します。
【事前･事後学習課題】　人事管理の総合演習をして頂きます、準備してください。

第14回　**【授業テーマ】**　総合演習の発表
【内容･方法　等】　総合演習の発表をパワーポイントを使用して発表して頂きます。
【事前･事後学習課題】　発表の準備をしてください。

第15回　**【授業テーマ】**　人事管理のまとめ
【内容･方法　等】　後期の授業についてまとめをします。
【事前･事後学習課題】　パワーポイントで発表をして頂きます、準備をしてください。

評価方法（基準）

・ミニッツ・レポート（30％）、ワークシート（20％）、期末テスト（50％）で評価します。
・ワークシート（ケーススタディ）の提出は必須です。

教材等

教科書…羽石寛寿『人と組織のマネジメント』清風出版、2014年度版
参考書…羽石寛寿・地代憲弘著，『経営組織診断の理論と技法』同友館、(3,000円)

学生へのメッセージ

人事労務管理は，経営管理部門に必要であるのみでなく，将来，管理・監督者を希望する皆さんに必要な管理知識です。

「働くこと」とはどういうことかについて、皆で真剣に考えてみましょう。

関連科目

経営学、経営労務論Ⅰ

担当者の研究室等

11号館8階(羽石教授室)

マーケティング論
Marketing Management

武　居　奈緒子（タケスエ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

近年の成熟市場環境下における企業間競争の激化によって、マーケティングの重要性が高まっています。マーケティング活動の内容が、企業の成否を決するといっても過言ではないでしょう。

マーケティング論の講義では、マーケティングの諸問題について解説していきます。初めてマーケティングを学習する人を対象としていて、マーケティングの基本的概念、枠組みを理解することを目指します。この講義を通じて、マーケティングの楽しさ・面白さを伝えていきたいと思っています。

授業方法と留意点

講義が中心ですが、企業の実態にそったマーケティングを理解していきます。

科目学習の効果（資格）

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容･方法　等】　マーケティング論の全体像を示します。
【事前･事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第２回　**【授業テーマ】**　マーケティングとは
【内容･方法　等】　マーケティングの概略について、説明します。
【事前･事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第３回　**【授業テーマ】**　マーケティングの誕生
【内容･方法　等】　マーケティングがいかに誕生したのかについて、説明していきます。
【事前･事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第４回　**【授業テーマ】**　マーケティング志向
【内容･方法　等】　マーケティングの原点であるマーケティング志向について考えます。
【事前･事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第５回　**【授業テーマ】**　製品政策（１）

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　32　2014/08/21　14:23:14

【内容・方法　等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第６回 【授業テーマ】 製品政策（２）
【内容・方法　等】 製品政策について、企業の具体的事例を取り上げて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第７回 【授業テーマ】 価格政策（１）
【内容・方法　等】 価格の設定方法について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第８回 【授業テーマ】 価格政策（２）
【内容・方法　等】 価格政策について、企業の具体的事例を取り上げて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第９回 【授業テーマ】 流通チャネル政策（１）
【内容・方法　等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第10回 【授業テーマ】 流通チャネル政策（２）
【内容・方法　等】 流通チャネル政策について、企業の具体的事例を取り上げて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第11回 【授業テーマ】 マーケティングと広告
【内容・方法　等】 外部講師による講演
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第12回 【授業テーマ】 マーケティングのＳＴＰアプローチ（１）
【内容・方法　等】 市場細分化戦略について、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第13回 【授業テーマ】 マーケティングのＳＴＰアプローチ（２）
【内容・方法　等】 製品のポジショニングについて、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第14回 【授業テーマ】 マーケティングのダイナミクス
【内容・方法　等】 製品ライフサイクル戦略について、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第15回 【授業テーマ】 中間的まとめ
【内容・方法　等】 前半部分のまとめをします。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第16回 【授業テーマ】 マーケティング・ミックス
【内容・方法　等】 マーケティング・ミックスの諸手段について、考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第17回 【授業テーマ】 トータル・マーケティング
【内容・方法　等】 消費者を起点とするトータル・マーケティングについて考えていきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第18回 【授業テーマ】 消費行動（１）
【内容・方法　等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第19回 【授業テーマ】 消費行動（２）
【内容・方法　等】 消費行動の歴史的変遷について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第20回 【授業テーマ】 消費行動（３）
【内容・方法　等】 顧客満足とブランドロイヤルティについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第21回 【授業テーマ】 競争の３角形
【内容・方法　等】 戦略論の基礎である競争の３角形や成長戦略について考察していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第22回 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（１）
【内容・方法　等】 マーケティング・リサーチの意義・役割について解説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第23回 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（２）
【内容・方法　等】 マーケティング・リサーチの方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第24回 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（３）
【内容・方法　等】 質問票を作成していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第25回 【授業テーマ】 競争の戦略（１）
【内容・方法　等】 企業の資金配分の方法について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第26回 【授業テーマ】 競争の戦略（２）
【内容・方法　等】 ポーターの競争の戦略、企業の地位別戦略について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第27回 【授業テーマ】 競争の戦略（３）
【内容・方法　等】 バリューチェーン分析、SWOT分析等について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第28回 【授業テーマ】 流通の役割（１）
【内容・方法　等】 流通の存立根拠について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第29回 【授業テーマ】 流通の役割（２）
【内容・方法　等】 卸売商業、小売商業について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第30回 【授業テーマ】 まとめ

評価方法（基準）
期末テストの成績70％、授業内課題30％

教材等
教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ
授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましょう。

関連科目
経営学、マーケティングと歴史

担当者の研究室等
１１号館８階（武居教授室）

生産管理論Ⅰ
Production and Inventory Control I

伊　田　嘉　昌（イダ　ヨシマサ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
生産管理の全体構造を明らかにし、生産管理の要点をマクロ的に解説することにより、生産管理のアウトラインと同時に基礎理論ならびに手法を理解することを目的とする。又、企業におけるカイゼン活動・品質保証システムの構築等を通じて、会社が「生き残る」のに必要な市場環境への適応・体質革新等の手法や問題解決への管理科学的見方・考え方の基礎知識を理解・修得する。生産管理論Ⅰでは、とくに生産管理総論、生産管理の歴史、作業研究、生産計画と生産統制、コスト管理、工程管理および品質管理につき講述する。

授業方法と留意点
講義にはプロジェクターを用い、講義内容に関する資料を適宜配布する。演習にも重点をおくので、授業には必ず出席し、演習問題は自力で解き、理解を深めること。

科目学習の効果（資格）
中小企業診断士、技術士、ビジネス・キャリア検定の資格を取得するのに大いに役立つ科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 生産管理の概説
【内容・方法　等】 ・生産管理の意義と内容・経営とは・生産とは・生産管理とは・生産管理の体系・生産管理の構成・生産管理の流れ・生産管理の管理項目・生産性の指標・生産性向上の進め方
【事前・事後学習課題】 ・演習　・小テスト
第２回 【授業テーマ】 生産管理の歴史
【内容・方法　等】 ・管理技術の形成・科学的管理の成立・テイラーの時間研究・ギルブレスの動作研究・エマーソンの能率・フォードの大量生産方式・管理技術の発展・日本の管理技術の発展・最新の生産管理システム
【事前・事後学習課題】 ・演習　・小テスト

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　33　2014/08/21　14:23:15

第３回　【授業テーマ】　作業研究手法
【内容･方法　等】　・作業研究手法の意義・ＩＥの発展系譜と関連する思想と手法・工程分析・動作分析・時間研究・ストップ・ウォッチ法・レイティング・ワークサンプリング・ＰＴＳ法・標準時間を用いた生産性測定
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト　・レポート
第４回　【授業テーマ】　作業改善技術
【内容･方法　等】　・作業改善の考え方・作業簡素化計画・作業改善のための一般原則・動作経済の原則・モダブツの考えと応用事例・稼動分析による改善・トヨタにおける稼動分析・標準時間の設定の手法
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第５回　【授業テーマ】　作業管理と作業編成技術
【内容･方法　等】　・作業計画と統制・能率管理・能率分析と向上策・作業編成技術・工程設計・習熟・流れ作業・ラインバランス・標準時間組み合わせ票の活用・目標とする生産管理システム
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第６回　【授業テーマ】　工程管理の概説
【内容･方法　等】　・工程管理の意義と体系・工程管理の目的・工程管理の機能と体系・手順計画・負荷計画（工数計画）・日程計画・進行管理と生産統制・納期遅延対策・製造期間の短縮
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第７回　【授業テーマ】　工程管理の手法
【内容･方法　等】　・生産計画の意義と手配・ガントチャート・ジョブショップスケジューリング・ＰＥＲＴ・かんばん方式・流動数曲線・基準日程の活用・製番管理（個別生産）・余力管理と進度管理
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト　・レポート
第８回　【授業テーマ】　品質管理の概説
【内容･方法　等】　・品質管理の意義と歴史・品質とは・品質管理の定義・品質管理の歴史・日本の品質管理の特徴・品質の総構造・方針管理・ＱＣサークル・シックスシグマ・ＴＱＭの概念
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第９回　【授業テーマ】　統計的手法
【内容･方法　等】　・統計的品質管理の概念・統計的品質管理の方法・検査とは・品質水準の用語・ＯＣ曲線とは・実験計画法・工程能力・品質機能展開・ＦＭＥＡ
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第10回　【授業テーマ】　ＱＣ７つ道具
【内容･方法　等】　・特性要因図・パレート図・ヒストグラム・散布図・チェックリスト・管理図・グラフ・ＱＣストーリー・ＱＣ的問題解決法・新ＱＣ７つ道具・ビジュアルデータ分析
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第11回　【授業テーマ】　コスト管理の概説
【内容･方法　等】　・経営の多目標と採算性の関係・損益分岐点分析・ＢＳとＰＬ・原価に対する考え方・変動費型企業と固定費型企業・利益構造改革への改善・原価管理の体系・採算管理の意義
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第12回　【授業テーマ】　価値的管理の追求
【内容･方法　等】　・最小コスト志向・コスト体系・原価構築のしくみ・原価低減と目標管理・原価低減の手段展開法・ミニマムコストの追求・改善検討の原則と改善の４原則・ＲＩＡＬ生産システム
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第13回　【授業テーマ】　需要予測
【内容･方法　等】　・需要予測とは・需要予測の目的・需要予測は本当に当たるか・需要予測には何が必要か・需要予測モデル・移動平均法・一次指数平滑モデル・回帰曲線近似モデル・需要予測システム
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第14回　【授業テーマ】　マーケティングと製品開発
【内容･方法　等】　・マーケティングとは・販売戦略（ＰＰＭ、ライフサイクル）・販売促進・製品開発のマネジメント・製品開発とイノベーション・製品開発プロセス・コンカレントエンジニアリング
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容･方法　等】　・復習と要約　・質疑応答
【事前･事後学習課題】　・配布資料の熟読

評価方法（基準）
小テスト、レポートおよび定期試験によって総合的に評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…その都度、紹介する

学生へのメッセージ
企業において、顧客が必要とする製品を「良質で、やすく、はやく作る」ために、生産管理の確立は重要な問題です。生産管理に関わる各種管理　手法をしっかりと修得しましょう。又、製造業以外の会社においても必ず役に立ちます。

関連科目
経営管理論、マネジメントサイエンス、経営統計学、原価計算論、経営労務論等を修得しておくこと。

担当者の研究室等
11号館６階（経営学部事務室）

生産管理論II
Production and Inventory Control II

伊　田　嘉　昌（イダ　ヨシマサ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
生産管理の全体構造を明らかにし、生産管理の要点をマクロ的に解説することにより、生産管理のアウトラインと同時に基礎理論ならびに手法を理解することを目的とする。又、企業におけるカイゼン活動・品質保証システムの構築等を通じて、会社が「生き残る」のに必要な市場環境への適応・体質革新等の手法や問題解決への管理科学的見方・考え方の基礎知識を理解・修得する。生産管理論Ⅱでは、工場計画、運搬管理、設備管理、外注管理、トヨタ生産システム、セル生産方式および生産システムのニューパラダイムにつき講述する。

授業方法と留意点
授業にはプロジェクターを用い、講義内容に関する資料を適宜配布する。演習にも重点をおくので、授業には必ず出席し、演習問題は自力で解き、理解を深めること。

科目学習の効果（資格）
中小企業診断士、技術士、ビジネス・キャリア検定の資格を取得するのに大いに役立つ科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　工場計画の概説
【内容･方法　等】　・工場計画の意義と手順・工場計画の目的・工場施設に求められる機能・工場計画のインターフェイス・設備配置・工場立地の現状と今後の方向・大阪の製造業
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第２回　【授業テーマ】　工場レイアウトの手法
【内容･方法　等】　・工場レイアウトの原則・工場レイアウトの基本手法・Ｐ－Ｑ分析・アクテイビテイ相互関連分析・物の流れの分析・レイアウトの評価・工場レイアウトに必要な帳票・レイアウト改善の必要性
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第３回　【授業テーマ】　運搬管理の基本と手法
【内容･方法　等】　・運搬管理の意義と目的・運搬経済原則・運搬改善の原則・運搬計画・運搬経路計画・運搬方法計画・運搬管理の手法・運搬工程分析・カラ運搬分析・改善の着眼点チェックリスト
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第４回　【授業テーマ】　運搬設備
【内容･方法　等】　・運搬設備とは・運搬設備の種類・今日的課題（ロジステイクス）・ねらいとしくみの繰り返しの原則・運搬改善・運搬に関するレイアウトのチェック・運搬物に関するチェックシート
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト　・レポート
第５回　【授業テーマ】　設備管理の概説
【内容･方法　等】　・設備管理の意義・設備管理の要点・設備管理における１６のロス・設備計画・設備管理の組織・保全の計画と管理・保全の歴史・ＴＰＭについて・設備保全の評価法
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第６回　【授業テーマ】　設備投資と採算分析
【内容･方法　等】　・設備投資の種類・減価償却の方式・現価と終価・現価と年価・年価と終価・経済計算の方法・ＭＡＰＩ方式・投資利益率法・投資評価の経済計算・生産活動での設備管理の位置
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第７回　【授業テーマ】　外注管理の概説とＶＥ
【内容･方法　等】　・外注管理とは・外注管理の目的・外注先決定の３要素・外注管理の原則・発注の方式・外注単価の決定・ＶＡとＶＥ・ＶＥの実施手順・ＶＥの７原則
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト　・レポート
第８回　【授業テーマ】　外注方針と外注指導
【内容･方法　等】　・外注方針とは・内外作決定の基準・外注能力編成・外注工場の指導・外注品の納期管理・外注品の品質管理・外注管理の機能・開発購買の推進・グローバル競争に勝ち残るサプライヤー
【事前･事後学習課題】　・演習　・小テスト
第９回　【授業テーマ】　在庫管理とＥＯＱの概説とＭＲＰシステム
【内容･方法　等】　・在庫とは・在庫のさまざまな呼称・在庫理論とは・在庫管理の目的と対象・ＡＢＣ分析による重点管理・定量発注方式と定期発注方式の比較・ＥＯＱとは・

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　34　2014/08/21　14:23:15

ＭＲＰシステム
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
第10回 【授業テーマ】 トヨタ生産方式
【内容・方法 等】 ・トヨタ生産方式の目的・トヨタ７つのムダ・トヨタ生産方式の８方式と４手段・トヨタ生産方式の特徴・トヨタ生産方式の体系・トヨタの原価企画・トヨタの新製品開発・トヨタウェイ
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
第11回 【授業テーマ】 個別受注生産の生産管理とＧＴ・セル生産システム
【内容・方法 等】 ・個別受注生産の特徴・受注選択・設計管理・工程管理・手配部門の管理・組立調整部門・ＧＴ（グループテクノロジー）とは・セル生産方式の歴史・セル生産の定義・セル生産の長短
【事前・事後学習課題】 ・演習 小テスト
第12回 【授業テーマ】 海外生産管理
【内容・方法 等】 ・モノづくりの海外生産への発展・海外生産の分類・Ｐ社の海外生産・日本的経営と欧米経営の比較・日本的生産管理の発展と特質・日本のモノづくりを見直そう・グローバルＳＣＭの実現
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
第13回 【授業テーマ】 生産管理の周辺（ＩＳＯについて）
【内容・方法 等】 ・ＩＳＯとは・マネジメントシステムとは・ＩＳＯを認証取得するためには・品質マネジメントシステムとは・環境マネジメントシステムとは・労働安全衛生・情報セキュリテイ ・他
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
第14回 【授業テーマ】 生産管理用語
【内容・方法 等】 ・製造業における生産管理に用いる主な用語・基本・生産システム・生産計画・生産統制・作業管理・設備管理・資材管理 ・他
【事前・事後学習課題】 ・演習 ・小テスト
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 ・復習と要約 ・質疑応答
【事前・事後学習課題】 ・配布資料の熟読

評価方法（基準）
小テスト、レポートおよび定期試験によって総合的に評価する。

教材等
教科書…使用しない。
参考書…その都度、紹介する。

学生へのメッセージ
企業において、顧客が必要とする製品を「良質で、やすく、はやく作る」ために、生産管理の確立は重要な問題です。生産管理に関わる各種管理 手法をしっかりと修得しましょう。又、製造業以外の会社においても必ず役に立ちます。

関連科目
経営管理論、マネジメントサイエンス、経営統計学、原価計算論、経営労務論、生産管理論Ｉ等を修得しておくこと。

担当者の研究室等
11号館６階(経営学部事務室)

企業論
Theory of Corporate Management

鶴 坂 貴 恵（ツルサカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現代の企業は複雑な様相を呈している。その全体像を具体的な事例を通じて多角的に解説し、企業の実態を学ぶことを目的とする。
社会における企業の様々な働きを理解できるようになることを到達目標とする。

授業方法と留意点
講義が中心だが、授業の中で課題の考察・検討の時間を設ける。

科目学習の効果（資格）
大局的な視野から物事を捉えて課題を発掘・解決できるような素養の修得・キャリアデザインに役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 企業とは
【内容・方法 等】 本講義のガイダンスを行う。
現代企業をみる視点について解説し、授業の概観を説明する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第２回 【授業テーマ】 財・サービスの提供と企業
【内容・方法 等】 経済発展と生活の変化を理解した上で、企業の果たす役割について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第３回 【授業テーマ】 株式会社としての企業
【内容・方法 等】 株式会社の機能や実態について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第４回 【授業テーマ】 大企業としての企業
【内容・方法 等】 現代社会における大企業の実態について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第５回 【授業テーマ】 中小企業としての企業
【内容・方法 等】 中小企業の実態や役割について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第６回 【授業テーマ】 組織としての企業
【内容・方法 等】 企業の組織形態と管理について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第７回 【授業テーマ】 日本型企業
【内容・方法 等】 日本の会社制度の構造と実態について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第８回 【授業テーマ】 労働者と企業
【内容・方法 等】 日本における人事システムについて考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第９回 【授業テーマ】 「家」と企業
【内容・方法 等】 「家」とは何か。家の歴史や発展過程について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第10回 【授業テーマ】 系列化と企業
【内容・方法 等】 系列化の歴史と実態について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第11回 【授業テーマ】 国際化と企業
【内容・方法 等】 グロバール展開する企業の実態と課題について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第12回 【授業テーマ】 ＣＳＲと企業
【内容・方法 等】 企業の社会的貢献とは何か。その具体的な活動について考察する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第13回 【授業テーマ】 企業統治・企業倫理
【内容・方法 等】 ガバナンス、コンプライアンスの重要性とその理由について考える。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第14回 【授業テーマ】 社会、自然と調和した企業
【内容・方法 等】 地球環境問題に貢献できる企業の姿について考察する。
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を理解する。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 企業の実態を総括する。
【事前・事後学習課題】 半年間のふりかえりを行う。

評価方法（基準）
期末試験（６０％）、授業の参加度（40%）

教材等
教科書…三戸浩、池内秀己、勝部信夫著『企業論 第３版』、有斐閣、２０１１年
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
真摯な態度で授業を受けてほしい。

関連科目
経営学、経営組織論、経営戦略論など

担当者の研究室等
鶴坂貴恵研究室

経営戦略論
Strategic Management

槇 谷 正 人（マキタニ マサト）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
経営戦略論の系譜を概観し経営環境の変化に適合する経営戦略策定の方法を説明します。また、実際企業の経営戦略のケースを代表的なアプローチで比較検討します。
本講義の目的は、グローバル企業の競争優位の源泉と持続となっている経営戦略と組織能力について具体的に説明します。
学習の到達目標は、第一に経営戦略論で繰り広げられるキーワードを理解し説明できること。第二に現実の企業活動を新聞やインターネットで情報収集し分析できること。第三に代表的理論アプローチを比較し、共通点と相違点を説明できることです。

授業方法と留意点
講義を教科書とプロジェクターで行いますが、途中で理解促進演習も実施します。
最初の5分間、前回の復習のため理解促進小テストを実施します。理解促進のためケーススタディのプリントを配布しディスカッションします。
質疑応答とディスカッションの時間を設けるため積極的な発言

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 35 2014/08/21 14:23:15

を求めます。
日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業の経営戦略に関する情報収集を行う習慣を身につけてください。

科目学習の効果（資格）
企業研究の基礎になる科目でもあり、将来、経営者、管理者、経営企画、コンサルタントを目指す人の必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　経営戦略とは何か
【内容・方法　等】　ガイダンス：講義の目的、講義概要、評価方法を提示します。
【事前・事後学習課題】　教科書第Ｉ部4「現代社会と企業」を事前に読んできてください。

第２回　**【授業テーマ】**　経営戦略論の基礎
【内容・方法　等】　戦略論の系譜と概念を解説します。
【事前・事後学習課題】　事後に教科書第Ｉ部2「アメリカの経営学」をノートに体系的に纏めてください。

第３回　**【授業テーマ】**　経営戦略の内容
【内容・方法　等】　ドメイン、全社戦略、事業戦略、機能別戦略を解説します。
【事前・事後学習課題】　事後に各自で事例企業を選定し経営戦略の要素を整理しておいてください。

第４回　**【授業テーマ】**　戦略の策定
【内容・方法　等】　環境分析、資源分析、策定プロセスを解説します。
【事前・事後学習課題】　事例企業の経営戦略の構造について分析できるように整理しておいてください。

第５回　**【授業テーマ】**　安定期の戦略論
【内容・方法　等】　成長ベクトル、多角化戦略を解説します。
【事前・事後学習課題】　安定期の企業をとりあげ、成長ベクトルで具体的に整理できるようにしてください。

第６回　**【授業テーマ】**　競争のメカニズム
【内容・方法　等】　経済学と戦略、競争優位の源泉、多角化とシナジーを解説します。
【事前・事後学習課題】　事例企業を挙げ、多角化のシナジー効果と失敗要因を整理してください。また、課題を提示しますのでレポートを提出してください。

第７回　**【授業テーマ】**　競争戦略の考え方（1）
【内容・方法　等】　ポジショニング・アプローチ、競争優位の構築と持続（ケーススタディ）を解説します。
【事前・事後学習課題】　5つの競争要因、3つの基本戦略、価値連鎖の説明ができるよう発表の準備をしてきてください。

第８回　**【授業テーマ】**　競争戦略の考え方（2）
【内容・方法　等】　資源アプローチと能力アプローチ、ドメインの再定義（ケーススタディ）を解説します。
【事前・事後学習課題】　事例企業の資源と能力について抽出するための資料を準備してきてください。

第９回　**【授業テーマ】**　競争戦略の考え方（3）
【内容・方法　等】　学習アプローチ、SWOT分析と戦略構想（ケーススタディ）を解説します。
【事前・事後学習課題】　事例企業を挙げ、企業の学習行動のプロセスをSWOT分析できるようにしてください。

第10回　**【授業テーマ】**　競争戦略の考え方（4）
【内容・方法　等】　ゲーム・アプローチ、競争戦略と連動（ケーススタディ）を解説します。
【事前・事後学習課題】　特定業種の競合企業をとりあげ、ゲーム理論で説明できるよう発表の準備をしておいてください。

第11回　**【授業テーマ】**　経営戦略と組織のインタラクション
【内容・方法　等】　戦略経営の考え方、計画プロセスと創発プロセスを解説します。
【事前・事後学習課題】　戦略形成と戦略実行における戦略と組織の連動を理解するため、第二部11「企業と戦略」を読んできてください。

第12回　**【授業テーマ】**　戦略形成プロセスとマネジメント
【内容・方法　等】　経営理念、ビジョン、ミッション、経営者とリーダーシップを解説します。
【事前・事後学習課題】　経営理念と経営戦略の関係を図解で説明できるように準備してきてください。

第13回　**【授業テーマ】**　新事業、新製品開発の戦略と組織
【内容・方法　等】　イノベーションと組織、テクノロジーとマーケティングを解説します。
【事前・事後学習課題】　企業の持続的成長と発展の重要な要因について事例企業を挙げて準備してきてください。

第14回　**【授業テーマ】**　現代企業の戦略課題
【内容・方法　等】　外部資源活用戦略、グローバル戦略と組織を解説します。
【事前・事後学習課題】　企業間提携の事例と、グローバル企業事例を事前に選んで準備してきてください。

第15回　**【授業テーマ】**　近年の経営戦略論の展開と考え方
【内容・方法　等】　企業の社会的戦略を解説します。
【事前・事後学習課題】　CSRと経営戦略の関係について身近な企業事例の取り組みを整理して発表できるようにしていてください。

評価方法（基準）
定期試験（80%）、毎回理解促進テストと演習課題（10%）、課題レポート（10%）により総合的に評価します。

教材等
教科書…槇谷正人（2012）『経営理念の機能－組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社（3,000円＋税）
参考書…授業中に指示します。また、独自に作成した資料を配布します。

学生へのメッセージ
・企業の成長と発展を方向づける経営戦略を学ぶことによって、自らの人生の戦略プランであるキャリア開発にもその考え方を活かせます。
・受講期間中、新聞記事で企業戦略の収集が必要です。
・

関連科目
経営学、経営組織論Ｉ、経営組織論Ⅱ、経営管理論等

担当者の研究室等
11号館7階（槇谷研究室）

グローバルビジネス論
Global Business

岸　田　未　来（キシダ　ミキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
企業活動の目的の一つは、新規市場を開拓し、既存の市場においては他社に対する支配的な地位を確立することである。本講義の目的は、そのような市場を対象とした活動の一つとして、生成・発展してきた宣伝・広告、ブランド戦略、市場調査などの多様なマーケティング活動の役割を、企業の国際的な経営活動の観点から明らかにすることである。講義では、企業による国際的なマーケティング活動を、市場環境の変化と関連付けながら体系的に理解することを目標とする。

授業方法と留意点
講義形式で行う。必要に応じて資料や映像などを使用する。

科目学習の効果（資格）
現代企業のグローバルな経営活動を理解し、国際マーケティングに関連する諸問題について分析できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　現代企業とマーケティング活動の役割
【内容・方法　等】　講義に関するガイダンス、マーケティングとは何か、国際マーケティングの役割について
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第２回　**【授業テーマ】**　現代マーケティングの基本概念
【内容・方法　等】　現代マーケティングにおけるSTPとマーケティング・ミックス
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第３回　**【授業テーマ】**　企業活動のグローバル化と国際マーケティング
【内容・方法　等】　多国籍企業の成長とマーケティング活動、国際マーケティングの特徴
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第４回　**【授業テーマ】**　グローバル・マーケットとSTP
【内容・方法　等】　世界の市場におけるセグメンテーションと、当該国市場でのターゲティング・ポジショニング
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第５回　**【授業テーマ】**　グローバルな市場参入戦略
【内容・方法　等】　参入方法の決定基準と参入方法の選択
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第６回　**【授業テーマ】**　国際マーケティングと製品政策①
【内容・方法　等】　複数国市場に対応した製品開発戦略
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第７回　**【授業テーマ】**　国際マーケティングと製品政策②
【内容・方法　等】　製品政策における世界同一商品戦略と現地適応化戦略
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第８回　**【授業テーマ】**　国際マーケティングと価格政策①
【内容・方法　等】　生産の多国籍化と国際価格設定
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第９回　**【授業テーマ】**　国際マーケティングと価格政策②
【内容・方法　等】　グローバルな価格設定の諸要因と価格政策のマネジメント
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第10回　**【授業テーマ】**　国際マーケティングと流通政策①
【内容・方法　等】　流通の国際化とグローバル・サプライチェーン
【事前・事後学習課題】　配布プリントでの復習

第11回　**【授業テーマ】**　国際マーケティングと流通政策②
【内容・方法　等】　各国における流通チャネルの開拓とグローバル小売の役割

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　36　　2014/08/21　14:23:15

【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
第12回 【授業テーマ】 国際マーケティングとプロモーション政策①
【内容・方法 等】 国際プロモーション戦略の多様性
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
第13回 【授業テーマ】 国際マーケティングとプロモーション政策②
【内容・方法 等】 プロモーション政策における文化問題と各国の広告規制
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
第14回 【授業テーマ】 企業の国際ブランド戦略
【内容・方法 等】 国境を越えるブランドを作り出す企業戦略とマーケティング活動
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習
第15回 【授業テーマ】 新規市場の創出とマーケティング活動
【内容・方法 等】 途上国市場におけるマーケティング活動
【事前・事後学習課題】 配布プリントでの復習

評価方法（基準）
定期試験80%、授業中に行うミニレポート（20%）や授業参加態度（質問、感想等）を総合的に評価する。

教材等
教科書…特になし。
参考書…授業中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
企業経営に関連するニュースや記事を、普段から意識的にフォローしておくことをお勧めします。

関連科目
経営学

担当者の研究室等
1号館7階　岸田准教授室（経済学部）

グローバル経済論
International Economics

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義のテーマは、まず、外国為替市場取引の仕組みを理解し、為替レートの決定理論を理解することである。そしてマクロ的な政策の効果は、マクロ経済学のモデルにおいて説明される。さらに国際金融市場の現状と役割について説明する.

授業方法と留意点
テキストに従った講義形式。必要に応じてプリントなどを配布.

科目学習の効果（資格）
公務員試験・経済学検定試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 グローバル経済論とは
【内容・方法 等】 国際経済の現状
【事前・事後学習課題】 テキストを事前に読む、配布プリントを復習
第２回 【授業テーマ】 国際貿易の基本構造（１）
【内容・方法 等】 貿易の発生する理由、比較生産費説
【事前・事後学習課題】 テキストの第１章
第３回 【授業テーマ】 国際貿易の基本構造（２）
【内容・方法 等】 ヘクシャー=オーリン理論
【事前・事後学習課題】 テキストの第１章
第４回 【授業テーマ】 国際貿易の基本構造（３）
【内容・方法 等】 産業内貿易、その他の貿易理論、
【事前・事後学習課題】 テキストの第１章
第５回 【授業テーマ】 国際貿易システム
【内容・方法 等】 WTO、自由貿易協定
【事前・事後学習課題】 テキストの第２章
第６回 【授業テーマ】 経常収支とマクロ経済（１）
【内容・方法 等】 国際収支表、経常収支、資本収支
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第７回 【授業テーマ】 経常収支とマクロ経済（２）
【内容・方法 等】 資金過不足と貯蓄・投資バランス、双子の赤字
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第８回 【授業テーマ】 為替レートの理論（１）
【内容・方法 等】 外国為替市場、為替レートの変動による影響
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第９回 【授業テーマ】 為替レートの理論（２）
【内容・方法 等】 購買力平価説
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第10回 【授業テーマ】 為替レートの理論（３）
【内容・方法 等】 アセットアプローチ
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第11回 【授業テーマ】 為替レートの理論(４)
【内容・方法 等】 ファンダメンタルズとバブル、為替レート変動のリスク
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第12回 【授業テーマ】 金融のグローバル化と国際通貨システム(１)
【内容・方法 等】 ブレトンウッズ体制、ドル本位制
【事前・事後学習課題】 テキストの第４章
第13回 【授業テーマ】 金融のグローバル化と国際通貨システム(２)
【内容・方法 等】 デリバティブ取引、国際金融市場のこれから
【事前・事後学習課題】 テキストの第４章
第14回 【授業テーマ】 グローバル化と経済開発
【内容・方法 等】 貧困問題と市場経済機能、政府の役割
【事前・事後学習課題】 テキストの第5章
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
定期試験75%
平常点（レポート、小テストなど）25%

教材等
教科書…「グローバル・エコノミー」　岩本武和 他　有斐閣
参考書…「国際金融入門」　岩田規久男　岩波新書
「ゼミナール国際経済入門」伊藤元重　東洋経済

学生へのメッセージ
現在の日本経済を理解するのには、不可欠の知識となるであろう。普段から、新聞やテレビを通じて、現実の経済の動向には興味を持っておくこと。また、マクロ経済学、ミクロ経済学の理解が必要なので、並行して履修して下さい。

関連科目
マクロ経済学、ミクロ経済学、ベンチャーファイナンス、グローバルビジネス、経済発展論Ⅰ,Ⅱ

担当者の研究室等
11号館6階(杉本研究室)
sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

グローバル経済論
International Economics

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義のテーマは、まず、外国為替市場取引の仕組みを理解し、為替レートの決定理論を理解することである。そしてマクロ的な政策の効果は、マクロ経済学のモデルにおいて説明される。さらに国際金融市場の現状と役割について説明する.

授業方法と留意点
テキストに従った講義形式。必要に応じてプリントなどを配布.

科目学習の効果（資格）
公務員試験・経済学検定試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 グローバル経済論とは
【内容・方法 等】 国際経済の現状
【事前・事後学習課題】 テキストを事前に読む、配布プリントを復習
第２回 【授業テーマ】 国際貿易の基本構造（１）
【内容・方法 等】 貿易の発生する理由、比較生産費説
【事前・事後学習課題】 テキストの第１章
第３回 【授業テーマ】 国際貿易の基本構造（２）
【内容・方法 等】 ヘクシャー=オーリン理論
【事前・事後学習課題】 テキストの第１章
第４回 【授業テーマ】 国際貿易の基本構造（３）
【内容・方法 等】 産業内貿易、その他の貿易理論、
【事前・事後学習課題】 テキストの第１章
第５回 【授業テーマ】 国際貿易システム
【内容・方法 等】 WTO、自由貿易協定
【事前・事後学習課題】 テキストの第２章
第６回 【授業テーマ】 経常収支とマクロ経済（１）
【内容・方法 等】 国際収支表、経常収支、資本収支
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第７回 【授業テーマ】 経常収支とマクロ経済（２）
【内容・方法 等】 資金過不足と貯蓄・投資バランス、双子の赤字
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第８回 【授業テーマ】 為替レートの理論（１）
【内容・方法 等】 外国為替市場、為替レートの変動による影響
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章
第９回 【授業テーマ】 為替レートの理論（２）
【内容・方法 等】 購買力平価説
【事前・事後学習課題】 テキストの第３章

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　37　2014/08/21　14:23:15

第10回　【授業テーマ】　為替レートの理論（３）
【内容・方法　等】　アセットアプローチ
【事前・事後学習課題】　テキストの第３章
第11回　【授業テーマ】　為替レートの理論(４)
【内容・方法　等】　ファンダメンタルズとバブル、為替レート変動のリスク
【事前・事後学習課題】　テキストの第３章
第12回　【授業テーマ】　金融のグローバル化と国際通貨システム(１)
【内容・方法　等】　ブレトンウッズ体制、ドル本位制
【事前・事後学習課題】　テキストの第４章
第13回　【授業テーマ】　金融のグローバル化と国際通貨システム(２)
【内容・方法　等】　デリバティブ取引、国際金融市場のこれから
【事前・事後学習課題】　テキストの第４章
第14回　【授業テーマ】　グローバル化と経済開発
【内容・方法　等】　貧困問題と市場経済機能、政府の役割
【事前・事後学習課題】　テキストの第5章
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　――――――
【事前・事後学習課題】　――――――

評価方法（基準）
定期試験75%
平常点（レポート、小テストなど）25%

教材等
教科書…「グローバル・エコノミー」　岩本武和 他　有斐閣
参考書…「国際金融入門」　岩田規久男　岩波新書
「ゼミナール国際経済入門」伊藤元重　東洋経済

学生へのメッセージ
現在の日本経済を理解するのには、不可欠の知識となるであろう。普段から、新聞やテレビを通じて、現実の経済の動向には興味を持っておくこと。また、マクロ経済学、ミクロ経済学の理解が必要なので、並行して履修して下さい。

関連科目
マクロ経済学、ミクロ経済学、ベンチャーファイナンス、グローバルビジネス、経済発展論Ⅰ,Ⅱ

担当者の研究室等
11号館6階(杉本研究室)
sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

経営倫理I
Management Ethics I

岩　田　　浩（イワタ　ヒロシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
経営倫理学は、２０世紀末になって台頭してきた比較的新しい学問分野である。また、その名称からもうかがえるように、経営学と倫理学とが融合した学際的な性格を帯びている。本講義では、1980年代以降の、経営の社会的責任の議論を辿りながら、経営倫理への関心がどのような形で高まり、その理論研究がどのように展開されてきたかを概観していく。それにより、経営倫理の必要性・重要性の認識を深めてもらいたい。

授業方法と留意点
板書を中心とした講義。

科目学習の効果（資格）
公認会計士、税理士、中小企業診断士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　シラバスを基に授業の進め方・留意点などを示していく
【事前・事後学習課題】　シラバスの確認
第２回　【授業テーマ】　経営と社会
【内容・方法　等】　経営のモラルや責任が問われる社会的背景を解説する
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第３回　【授業テーマ】　経営の社会的責任への基本的視角（１）
【内容・方法　等】　経営の社会的責任を支える論拠を中心にＣＳＲ理論の基本を考察する
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第４回　【授業テーマ】　経営の社会的責任論への基本的視角（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第５回　【授業テーマ】　経営の社会的責任論への基本的視角（３）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第６回　【授業テーマ】　経営の社会的責任論の新展開（１）
【内容・方法　等】　1980年代に台頭してきたＣＳＰ（企業の社会的パフォーマンス）をめぐる諸理論を紹介する
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第７回　【授業テーマ】　経営の社会的責任の新展開（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第８回　【授業テーマ】　経営の社会的責任の新展開（３）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第９回　【授業テーマ】　小テスト
【内容・方法　等】　小テストを行う
【事前・事後学習課題】　これまでの講義を復習し、テストに備える
第10回　【授業テーマ】　経営倫理学の台頭
【内容・方法　等】　経営倫理学が台頭してきた背景について解説する
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第11回　【授業テーマ】　経営倫理学の初期のアプローチ（１）
【内容・方法　等】　経営倫理学の初期のオーソドックスな研究手法について解説する
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第12回　【授業テーマ】　経営倫理学の初期のアプローチ（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第13回　【授業テーマ】　経営倫理学の初期のアプローチ（３）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第14回　【授業テーマ】　経営倫理学の初期のアプローチ（４）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第15回　【授業テーマ】　小テスト
【内容・方法　等】　小テストを行う
【事前・事後学習課題】　これまでの講義の見直しとテストの準備

評価方法（基準）
試験の成績で評価する

教材等
教科書…未定
参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
連続性のある講義なので出席するのが望ましい。私語は厳禁。著しく授業を妨害する者は退出を命じる。

関連科目
経営学、経営管理論、経営組織論、企業論

担当者の研究室等
１１号館８階個人研究室

経営倫理II
Management Ethics II

岩　田　　浩（イワタ　ヒロシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
主として「経営倫理１」を履修した学生を対象に、経営倫理学の最近の傾向を解説する。それにより、経営倫理への更なる理解を深めていく。

授業方法と留意点
板書中心の講義

科目学習の効果（資格）
公認会計士、税理士、中小企業診断士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　シラバスを基に授業の進め方・留意点などを示していく
【事前・事後学習課題】　シラバスの確認
第２回　【授業テーマ】　経営倫理学の転機
【内容・方法　等】　1990年代半ばに新たな経営倫理学の研究手法が台頭してきた背景を解説する
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第３回　【授業テーマ】　経営倫理の統合社会契約論（１）
【内容・方法　等】　経営倫理の統合社会契約論について解説する
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第４回　【授業テーマ】　経営倫理の統合社会契約論（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第５回　【授業テーマ】　経営倫理のプラグマティズム的転回（１）
【内容・方法　等】　プラグマティックな経営倫理学の可能性を探る
【事前・事後学習課題】　今回の講義の論点整理
第６回　【授業テーマ】　経営倫理のプラグマティズム的転回（２）
【内容・方法　等】　前回の続き

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　38　　2014/08/21　14:23:16

【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
第７回 【授業テーマ】 経営倫理のプラグマティズム的転回（３）
【内容・方法 等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
第８回 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法 等】 小テストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を復習し、テストに備える
第９回 【授業テーマ】 経営倫理と環境倫理（１）
【内容・方法 等】 企業経営と地球環境問題との関係を経営倫理学的に考察する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
第10回 【授業テーマ】 経営倫理と環境倫理（２）
【内容・方法 等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
第11回 【授業テーマ】 経営倫理と環境倫理（３）
【内容・方法 等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
第12回 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法 等】 小テストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を復習し、テストに備える
第13回 【授業テーマ】 経営倫理と企業市民（１）
【内容・方法 等】 変貌する民主主義社会における企業経営のあり方を経営倫理学的に考察する
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
第14回 【授業テーマ】 経営倫理と企業市民（２）
【内容・方法 等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 今回の講義の論点整理
第15回 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法 等】 小テストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を復習し、テストに備える

評価方法（基準）
試験の成績で評価する

教材等
教科書…未定
参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
連続性のある講義なので出席するのが望ましい。

関連科目
経営倫理Ⅰ、経営学、企業論、経営管理論、経営組織論

担当者の研究室等
１１号館８階個人研究室

地域経営論I
Management of Local Government I

相 川 康 子（アイカワ ヤスコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
人口減少社会を迎え、日本では地域間の格差が広がるとともに、大都市、地方都市、中山間地域それぞれに、高度経済成長期とは様相が異なる「都市問題」や「過疎問題」を抱えています。地域の暮らしを維持するため、さまざまな行政施策や民間の事業が行われており、それらを包括的にとらえる「地域経営」の視点が、ますます重要になります。
本講では、経済社会状況の変化や地域政策の変遷を踏まえた上で、自治体の規模ごとに、どんな課題に直面しているのか、それをどう克服しようとしているのか、を概観していきます。目的は、受講生が身近な地域の歴史や現況に関心を持ち、維持や活性化の方策を考えられる知見を得ることです。また、そのためのデータ収集や分析手法の基本を身につけられることを目指します。

授業方法と留意点
配布するレジュメや資料に沿って講義形式で行いますが、自ら考える力を養うため、学生同士や学生―教員との対話を積極的に取り入れます。

科目学習の効果（資格）
地域の現状について、経済社会状況の変化や政策の変遷、統計等の基礎データをもとに、構造的に理解できる手法や視点を学びます。公務員志望者や地域課題に取り組む事業者への就職を考えている人、さらにこれから社会人になろうとするすべての学生の現状把握能力や「率先市民」としての素養を高めます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション／導入
【内容・方法 等】 この講義で学ぶことや学習方法、評価基準、スケジュール等の説明。
導入として、なぜ「地域」が注目されるのかを、トピックを紹介しながら考える。
【事前・事後学習課題】 自分の住む地域に関心を持ち、自治体のホームページなどをチエックしてみる。
第２回 【授業テーマ】 地域の概念をつかむ（１） 地方自治体の多様性
【内容・方法 等】 地方公共団体の多様性（都道府県と基礎自治体、政令指定都市、中核市、特例市など）を理解するとともに、新たな地域の括り（広域連合、道州制、都構想など）について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 自分が居住する（出身の）自治体について規模や特徴を調べる。
第３回 【授業テーマ】 地域の概念をつかむ（２） 少子化・高齢化と地域間格差
【内容・方法 等】 少子高齢化について、日本全体の影響と、局地的な地域への影響について、それぞれ考察する。また、それに伴う地域間格差についても考える。
【事前・事後学習課題】 少子高齢化が急激に進むのはどんな地域なのか、どんなことになるのか、を配布資料をもとに考察する。
第４回 【授業テーマ】 地域の概要をつかむ（３） 地域政策の変遷
【内容・方法 等】 中央集権と地方分権の違い、全国総合開発計画の変遷、特区などによる地域間競争の激化など、国の地域政策の変遷を概観する。
【事前・事後学習課題】 特区や地域再生でどんなプランが出ているのか調べてみる。地域間競争のプラス面・マイナス面について考察する。
第５回 【授業テーマ】 地域の概要をつかむ（４） 適正規模を考える
【内容・方法 等】 市町村合併の背景、影響などについて考察し、どのような課題に対して、どのような地域単位で取り組むのがいいのか、補完性の原則に照らして考える。
【事前・事後学習課題】 市町村合併のプラス面とマイナス面について考えてみる。
第６回 【授業テーマ】 地域経営のためのデータを集める
【内容・方法 等】 地域分析の手法を学び、公開されている統計データから地域の特徴をつかむ。どこに、どんなデータがあるか、アクセス方法と読み解き方について。
【事前・事後学習課題】 ※ミニレポート（１） 自分のまちの人口に関する基礎データを引き出して分析する
第７回 【授業テーマ】 都市の経営（１） 都市とはなにか
【内容・方法 等】 なぜ人口集積が起こるのかを考え、利点と問題点を整理する。歴史や成り立ちが異なる世界の都市をいくつか取り上げ、日本の都市の特徴を探る。
【事前・事後学習課題】 様々な都市の成り立ちやそれに派生する特徴について、復習しておく。
第８回 【授業テーマ】 都市の経営（２） 都市問題の変遷と都市政策
【内容・方法 等】 新旧の都市問題と、それらを解決しようとしてきた都市政策の概観を学ぶ。また、環境問題（ヒートアイランド現象）や災害に対する脆弱性など、新たな都市問題について考える。
【事前・事後学習課題】 自分のまちの都市計画や環境問題への取り組みについて調べてみる。
第９回 【授業テーマ】 都市の経営（３） 大都市を考える
【内容・方法 等】 人口集中が進む大都市の強み・弱みを考え、都市間競争の機会や近い将来起こりうる脅威について、SWOT分析で考えてみる。
【事前・事後学習課題】 大阪や神戸など身近な大都市のホームページなどから、そのまちのSWOTを考えてみる。
第10回 【授業テーマ】 都市の経営（４） 地方都市を考える
【内容・方法 等】 急激に変化する地方都市の姿（オールドニュータウン化、商業や工業の衰退）を、人口や就業構造からとらえ、地域活性化に向けた取り組みのいくつかを解説する。
【事前・事後学習課題】 自分のまちの人口構造や地域活性化の取り組みについて調べておく。
第11回 【授業テーマ】 都市の経営（５） 地方都市の生き残り戦略
【内容・方法 等】 地方都市に対する施策の中で、中心市街地活性化や定住自立圏構想などを取り上げて法制度の背景や変遷、効果などを探る。
【事前・事後学習課題】 ※ミニレポート（２） 地元の自治体のSWOT分析を行う
第12回 【授業テーマ】 非都市部の経営（１） 中山間地域を考える
【内容・方法 等】 中山間地域の実態や多面的機能について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 地方都市の人口減少と、中山間地域の人口減少との相違点について考えてみる。
第13回 【授業テーマ】 非都市部の経営（２） 過疎集落を考える
【内容・方法 等】 過疎の定義や実態、これまでの政策を解説し、都市農村交集落による活性化の可能性と、その対極にあるゆるやかな衰退方策について考える。
【事前・事後学習課題】 ※ミニレポート（３） 配布資料などから過去の過疎集落対策を分析し、その応用や新たな対策を考えてみる

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 39 2014/08/21 14:23:16

第14回　【授業テーマ】　地域の持続可能性を探る
【内容・方法　等】　コンパクトタウン、スマートグロース、縮退などの人口減少下の都市政策の新たな試みについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】　地域社会の持続可能性について考える。
第15回　【授業テーマ】　総括
【内容・方法　等】　あらためて「地域とはなにか」「地域経営とはなにか」を考える。
【事前・事後学習課題】　地域の諸課題について、自分に何ができるかを考える。

評価方法（基準）
受講態度やコメントペーパーの内容（30%）
ミニレポート３回（各10%）
定期試験(40%)により評価します。

教材等
教科書…適宜、レジュメ及び参考資料を配布します。
参考書…日端康雄著『都市計画の世界史』講談社現代新書、2008年（1000円）
根本祐二著『「豊かな地域」はどこかちがうのか―地域間競争の時代』ちくま新書、2013年（840円）
矢作弘著「『都市縮小』」の時代」角川書店、2009年（705円）
西村幸夫、野澤康編『まちの見方・調べ方―地域づくりのための調査法入門』朝倉書店、2010年（3200円）

学生へのメッセージ
ここ十数年で、地域は急激に変化しています。今後、さらに都市間競争が促され、自治体の破たんも懸念される中で、地域経営の知見はますます重要になってくるでしょう。
そんな地域の現状を正しく捉えるためには、過去の政策を知るとともに、必要なデータを集めて分析する作業が欠かせません。新聞記事などで地域のトピックを知ると同時に、背景や構造についても、関心を持って学んでください。

関連科目
公共経営論、NPO論、地方自治論

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

地域経営論II
Management of Local Government II

相　川　康　子（アイカワ　ヤスコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
今日の地域課題を概観したうえで、課題解決や持続可能なまちづくりなど、地域経営の手法について学びます。具体的には、人口減少で地域間格差・地域間競争が激しくなる中で、活性化や観光振興、防災、社会資本整備といった公共的課題に対して、地域の多様な主体（個々の住民、事業者・商店、地縁団体、NPO、産業・商業団体、議会、行政等）が、どのように連携・役割分担すれば良いかを考えます。
本講義の目的及び到達目標は、受講生が自ら地域課題の解決に向けたマネジメントのデザインを考えられるようになることです。また、地域分析の手法（統計データ、SWOT分析等）の基礎を習得できることも目指します。

授業方法と留意点
テキストおよび配布するレジュメや資料をもとに講義形式で行いますが、学生間、学生 - 教員間の対話を重視します。

科目学習の効果（資格）
地域経営に多様な主体があることや連携の方策を学ぶことで、視野が広がり、課題解決能力が身に付きます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション／概要
【内容・方法　等】　この講義で学ぶこと、学習方法・評価方法。前期の地域経営論Ｉで学んだことの復習。
【事前・事後学習課題】　配布資料に目を通し、全体の講義の流れを理解しておくこと。
第２回　【授業テーマ】　いま、地域は（１）　少子化・高齢化のインパクト
【内容・方法　等】　地域が共通に直面している課題として少子化・高齢化があるが、その影響の出方は一律ではない。統計データをみながら、大都市、地方都市、中山間地域それぞれの長期的なインパクトを考察する。
【事前・事後学習課題】　国立社会保障・人口問題研究所のホームページなどをチェックし、人口統計に慣れておくこと。
第３回　【授業テーマ】　いま、地域は（２）　安全・安心をどう確保するか
【内容・方法　等】　社会資本の老朽化や共助のほころび等により、地域の体感治安が低下している中で、安全・安心や災害に対する備えについて考察する。
【事前・事後学習課題】　国及び地元の自治体の社会資本の劣化状況や長寿命化計画について、調べてみること。
第４回　【授業テーマ】　いま、地域は（３）　地域間の連携・競争
【内容・方法　等】　地域政策の変遷を見たうえで、特区や地域再生など地域間競争を進める政策と、広域連合や定住自立圏構想など連携を進める政策の両方をみていく。
【事前・事後学習課題】　全国総合開発計画の時代から現在までの、主な地域政策について予習・復習しておく。
第５回　【授業テーマ】　地域マネジメント（１）企業経営と地域経営の共通点・相違点
【内容・方法　等】　「マネジメント」とは。企業経営の手法を自治体・地域の経営に活用するための注意点などを解説する。
【事前・事後学習課題】　企業の経営手法を地域経営に応用する際の注意点について、自分なりの考えをまとめておく。
第６回　【授業テーマ】　地域マネジメント（２）　地域経営の主体と地域資源
【内容・方法　等】　経営の要素である「主体」および「地域資源」について、どんなものあるのか、潜在的な資源をどう発掘するかを考える。
【事前・事後学習課題】　地元の自治体の「地域資源」について考えてみる。
第７回　【授業テーマ】　地域マネジメント（３）　課題とエリア設定
【内容・方法　等】　近隣コミュニティ、校区、地区、基礎自治体域、都道府県域、都市圏などの違いを知り、どんな課題がどんな圏域で取り組まれているか・取り組むべきかを考察する。
【事前・事後学習課題】　基礎自治体や都道府県、広域行政などで手掛ける政策分野の違いについて、あらかじめ調べておく。
第８回　【授業テーマ】　地域のマーケティング（１）　まちの調べ方
【内容・方法　等】　マーケティングとは。関係性や情報共有に注目した地域のマーケティングについて解説するとともに、地域診断の方法の１つとして、どこにどんなデータがあるかを学ぶ。
【事前・事後学習課題】　国勢調査や経済センサスなど、基本的な統計について理解し、政府のホームページなどからダウンロードしてみる。
地元の自治体に関する統計データをまとめたミニレポートを作成・提出
第９回　【授業テーマ】　地域のマーケティング（２）　まちの特徴を知り、課題を見つける
【内容・方法　等】　自治体の総合計画や各種計画からまちの特徴や課題を調べる。
【事前・事後学習課題】　地元のまちをタウン・ウオッチングして、良いところや問題点を探しておく。
第10回　【授業テーマ】　地域のマーケティング（３）　まちを分析してみる
【内容・方法　等】　SWOT分析の手法を地域にあてはめてみる。
【事前・事後学習課題】　これまでの学習をもとに、地元のまちについてSWOT分析を行ったミニレポートを作成し、提出すること。
第11回　【授業テーマ】　補論：ステイクホルダーと社会関係資本
【内容・方法　等】　地域経営に特徴的なマルチステイクホルダーへの対応と、社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の概念に関する基本を知る。
【事前・事後学習課題】　ソーシャル・キャピタルに関する論文やレポートを読んでみる。
第12回　【授業テーマ】　具体の地域経営課題（１）公共施設のマネジメント
【内容・方法　等】　少子高齢化を迎え遊休化した施設やスペースを、どう活用するかファシリティマネジメントの基礎と具体例について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　地元の公共施設の状況について調べてみる。
第13回　【授業テーマ】　具体の地域経営課題（２）　中心市街地活性化／観光振興
【内容・方法　等】　まちの活性化や交流人口の増加に向けた取り組みについて、政策の変遷や具体例を見ながら考える。
【事前・事後学習課題】　活性化の取り組みの成功事例・失敗事例について調べてみる。
第14回　【授業テーマ】　地域経営の人材・仕事～タウンマネージャー
【内容・方法　等】　複雑な地域経営を調整する専門職として近年注目を浴びているタウンマネージャーや「まちづくり会社」に関する動向を解説する。
【事前・事後学習課題】　タウンマネージャーの仕事や待遇について調べてみる。
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　これまで学習したことをもとに、地域経営の理念・手法・課題について改めて考える。
【事前・事後学習課題】　期末レポートの策定に向けた準備を行う。

評価方法（基準）
受講態度(授業への参画度、コメントペーパーの内容など)：30%
ミニレポート（２回）：各10%

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　40　　2014/08/21　14:23:16

期末レポート：50%

教材等

教科書…特に指定せず、レジュメと参考資料とで進めます。また新聞や雑誌の記事も適宜紹介して読み解いていきます。

参考書…海野進著『地域を経営する―ガバメント、ガバナンスからマネジメントへ』同友館、2009年（2400円）
石原武政『タウンマネージャー～「町の経営」を支える人と仕事』学芸出版社、2013年（2200円）
小島卓弥編著『ファシリティマネジメント』学陽書房、2012年（2800円）

学生へのメッセージ

自治体や地域の経営にも「効率化」が求められていますが、民間に丸投げしたり、費用対効果だけで判断したりするのではなく、公共を意識したマネジメントが求められます。なにが本質なのか、皆さんと議論しながら深めていきたいと思います。

関連科目

地域経営論Ⅰ、公共経営論、NPO論、地方自治論

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

環境ガバナンス論
Environmental Governance

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

環境問題は一個人や一組織だけでは解決できない問題であり、社会の中でさまざまな主体の協働と連携が必要である。この授業では、環境問題解決のためにどのような組織がどのような役割を担っているのかを明確にしたうえで、環境ガバナンスとは何かを考える。最終的には、環境問題解決のために自分の立場から、どのようなことができるのかを考える能力を習得することを目的とする。

授業方法と留意点

板書や画面上の資料提示を中心とするのでしっかりとノートを取ること。この授業では、自らがインターネットや文献、新聞資料などを検索して課題を作成することになります。授業中に配布・収集した資料は自己管理してください。

科目学習の効果（資格）

社会人として環境経営・環境政策を理解する上での必須知識と政策論の習得。CSR部門担当者には必須知識の取得をめざす。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　授業概要の説明
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第２回　**【授業テーマ】**　環境問題とは
【内容・方法　等】　現在の環境問題の多様化複雑化、さまざまな政策種類、企業や市民との連携の重要性
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第３回　**【授業テーマ】**　公害時代から環境問題の時代へ
【内容・方法　等】　公害問題から地球環境問題への変遷と現在の状況について
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第４回　**【授業テーマ】**　私たちの生活と環境問題
【内容・方法　等】　私たちの生活と環境問題（水、廃棄物、交通問題、化学物質、環境教育など）
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第５回　**【授業テーマ】**　地球環境問題の現状
【内容・方法　等】　地球環境問題とはどのようなものなのか、現状の把握
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第６回　**【授業テーマ】**　市民と環境問題
【内容・方法　等】　市民活動、ＮＰＯの活躍、私たち一市民にできること
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第７回　**【授業テーマ】**　企業と環境問題（１）
【内容・方法　等】　公害問題時代における企業の対応
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第８回　**【授業テーマ】**　企業と環境問題　（２）
【内容・方法　等】　地球環境問題と経済問題、企業の自主的な対応促進
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第９回　**【授業テーマ】**　企業と環境問題　（３）
【内容・方法　等】　企業における更なる取組の最新事例について
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第10回　**【授業テーマ】**　国における政府の役割
【内容・方法　等】　環境省、環境法制度、さまざまな経済的手法など
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第11回　**【授業テーマ】**　地域における地方自治体の役割
【内容・方法　等】　地方分権時代における環境対応、自治体の最新事例について
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第12回　**【授業テーマ】**　国際的な取り組みの現状について
【内容・方法　等】　実務家による具体的事例の報告
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第13回　**【授業テーマ】**　私たち自身はどのような役割を担うべきか
【内容・方法　等】　一市民として、将来の社会人として何ができるか
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第14回　**【授業テーマ】**　ガバナンスとは
【内容・方法　等】　これまでの授業を振り返り、ガバナンスとはどのようなものであるのかを各主体とのかかわりで具体的な事例から考える
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】　授業内容にかかわるトピックスを収集して感想を提出

評価方法（基準）

随時提出を求める事前事後課題と授業での発表を80%、期末試験20%を勘案して総合的に評価する。

教材等

教科書…授業中に随時提示する資料
配布資料

参考書…授業中に随時指示します。

学生へのメッセージ

現在の環境問題は、誰もが加害者になり、被害者になりうる問題です。そのため環境問題解決のためには、さまざまな主体を取りまとめることが重要となります。この授業を通じて日常生活の中でガバナンスとは何なのかを考えるきっかけにしてほしいです。

関連科目

環境マネジメントシステム、地域と環境法、地球温暖化問題と経営、環境と経営

担当者の研究室等

11号館８階（山本准教授室）

地域と国際ビジネス
Regional International Business

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現在どのような企業であっても国際ビジネスを切り離しては、成立しない世の中になってきている。この授業においては、とくに地域ということで自らが生活する基盤である関西を事例として取上げてどのようなビジネスが国際的に行われているかを習得する。こうしたケーススタディの中で、地域企業がどのように国際的に活躍していけばよいのか、さらには地域全体としてこうした国際化の流れの中で経済をとらえるのかについて自ら考えられる能力を得ることを最終目標とする。

授業方法と留意点

この授業では、自らがインターネットや文献、資料などを検索して課題を作成することになる。授業中に配布した資料は必ずファイルしておくこと。ビジネス上で求められる基礎的な能力の習得もあわせてめざす。

科目学習の効果（資格）

現在の地域産業の特徴をとらえ、将来に向けた国際的ビジネスの素養を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　41　2014/08/21　14:23:16

【内容・方法　等】 授業概要の説明、地域の特性と国際ビジネスについて
【事前・事後学習課題】 国際ビジネスについての関連情報をインターネットから収集してレポートを作成し提出する
第２回 【授業テーマ】 地域とはなにか
【内容・方法　等】 アジア、東アジア、日本、関西など
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第３回 【授業テーマ】 国際ビジネスの種類と特性（１）
【内容・方法　等】 国際的なビジネス展開をしている組織について　多国籍企業、日本企業
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第４回 【授業テーマ】 国際ビジネスの種類と特性（２）
【内容・方法　等】 中国、韓国、日本、台湾を中心とした国際ビジネスの現状
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第５回 【授業テーマ】 国際ビジネスの種類と特性（３）
【内容・方法　等】 ASEAN諸国、インドとの国際ビジネス
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第６回 【授業テーマ】 国際ビジネスの種類と特性（４）
【内容・方法　等】 輸出中心の国際ビジネスからの展開
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第７回 【授業テーマ】 世界の中の日本企業
【内容・方法　等】 さまざまな企業の国際ビジネス事例～多国籍企業事例、商社事例など
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第８回 【授業テーマ】 関西地域における産業特性について
【内容・方法　等】 関西地域の産業特性と経済力
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第９回 【授業テーマ】 私たちの生活と国際ビジネス（1）
【内容・方法　等】 地域に求められる国際競争力
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第10回 【授業テーマ】 私たちの生活と国際ビジネス（2）
【内容・方法　等】 地域特性と産業構造について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第11回 【授業テーマ】 私たちの生活と国際ビジネス（3）
【内容・方法　等】 地域特性を国際ビジネスに展開させるために
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第12回 【授業テーマ】 私たちの生活と国際ビジネス（4）
【内容・方法　等】 実務家による具体的事例報告
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第13回 【授業テーマ】 私たちの生活と国際ビジネス（５）
【内容・方法　等】 事例調査
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第14回 【授業テーマ】 ビジネスモデルの作成
【内容・方法　等】 地域特性からみた国際的なビジネスモデルの構築を考える
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出

評価方法（基準）
随時提出をもとめる事前事後課題、さらには授業での発表を80％と期末試験20％を勘案して総合評価する。

教材等
教科書…配布資料
参考書…授業中に随時指示します。

学生へのメッセージ
地域に根付く企業が特性を活かして国際的に活躍するケースは少なくありません。この授業を通じて、地域の中で信念を持って活動する企業が、世界でも活躍できることを知ってもらえればと思います。

関連科目
地域産業論

担当者の研究室等
11号館８階（山本准教授室）

環境マネジメントシステム
Environmental Management System

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	選択	4

授業概要・目的・到達目標
現在、組織における自発的な環境問題への取組が求められている。この授業では企業や自治体などの組織が取り組んでいる環境マネジメントシステムとはどのようなシステムであるのかという基礎知識と共に、システム構築にあたりどのような点が重要であるのかを学ぶ。マネジメントシステムの一部を自らで作成することによって、システム内容を体得する。また、組織の中で環境マネジメントシステムがどのような位置づけになっているかを企業事例を考察しながら学び、政策との関連を学ぶ。

授業方法と留意点
授業では、実際に自分でマネジメントシステムを構築します。そのため、授業でもとめられる課題提出は必ず提出してください。また、事業中に配布する資料はかならず自分でファイルして管理をしておいてください。

科目学習の効果（資格）
企業組織における環境マネジメントシステムの基礎知識を得ると共に、その組織経営への活用方法を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 授業概要
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第２回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムとは何か
【内容・方法　等】 環境マネジメントシステムの基礎
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第３回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの背景
【内容・方法　等】 ISO14001の背景と成り立ち
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第４回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法　等】 計画項目について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第５回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法　等】 運用項目について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第６回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法　等】 チェック項目について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第７回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法　等】 監査について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第８回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法　等】 経営層の見直しについて
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第９回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムの構築
【内容・方法　等】 監査模擬実習
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第10回 【授業テーマ】 企業における環境マネジメントシステムの実際
【内容・方法　等】 企業ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第11回 【授業テーマ】 自治体における環境マネジメントシステムの実際
【内容・方法　等】 自治体ケーススタディ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第12回 【授業テーマ】 ISO14001以外の環境マネジメントシステム規格
【内容・方法　等】 エコアクション21、エコステージ、KES、ISO14005
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第13回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステム認証審査システム
【内容・方法　等】 認証組織の仕組みと今後の課題
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第14回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムと私たち
【内容・方法　等】 一市民として、将来の社会人として自分とのかかわり
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第15回 【授業テーマ】 中間まとめ
【内容・方法　等】 中間まとめと今後の授業について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第16回 【授業テーマ】 企業の中の環境マネジメントシステムの位置づけ
【内容・方法　等】 CSRでの環境問題の位置づけ、企業経営の中での環境問題
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第17回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステム構築による効果
【内容・方法　等】 環境マネジメントシステムを構築することによるメリットデメリット
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第18回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステム規格認証取得による効果
【内容・方法　等】 グリーンサプライヤーチェーン、入札条件、ＰＲ効果など
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第19回 【授業テーマ】 認証制度のあり方について
【内容・方法　等】 現在の国際標準化機構を中心とした国際規格の流れについて
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第20回 【授業テーマ】 国内環境マネジメントシステムの現状について
【内容・方法　等】 多様な環境マネジメントシステムの連携と協力体制

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　42　2014/08/21　14:23:17

【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第21回 【授業テーマ】 環境報告書から見た企業の環境活動
【内容・方法 等】 環境報告書の取り寄せと環境マネジメントシステムの位置づけ
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第22回 【授業テーマ】 環境報告書から見た企業の環境活動
【内容・方法 等】 報告書の中での環境指標について
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第23回 【授業テーマ】 企業の社会的責任
【内容・方法 等】 CSR時代における企業の環境マネジメントシステム
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第24回 【授業テーマ】 企業の自主的取り組みを活用する環境政策
【内容・方法 等】 地球温暖化対策、欧州排出権取引制度
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第25回 【授業テーマ】 企業における環境マネジメントシステムの実際例
【内容・方法 等】 ケーススタディ （企業見学）
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第26回 【授業テーマ】 環境マネジメントシステムと環境政策事例
【内容・方法 等】 ケーススタディ （実務家からの説明）
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第27回 【授業テーマ】 自分たちの生活の中での環境マネジメントシステム（1）
【内容・方法 等】 自分たちがどのように環境マネジメントシステムを役立てられるか考える
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第28回 【授業テーマ】 自分たちの生活の中での環境マネジメントシステム（2）
【内容・方法 等】 自分たちがどのように環境マネジメントシステムを役立てられるかについて、PDCAの概念を使ってシステムモデルを構築する
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第29回 【授業テーマ】 自分たちの生活の中での環境マネジメントシステム（3）
【内容・方法 等】 自分たちがどのように環境マネジメントシステムを役立てられるかについて、PDCAの概念を使ってシステムモデルを構築する
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第30回 【授業テーマ】 まとめ

評価方法（基準）
事前事後課題やレポートを80％、期末試験20％などを総合して評価する。

教材等
教科書…石川宗孝編著 『環境読本』 電気書院（2500円）
参考書…授業中に随時指示します。

学生へのメッセージ
環境マネジメントシステムの基礎知識の下に、「ISO14001認証取得」の本当の意味を学んでほしいです。その上で、これらのシステムをどのようにしたら社会の中で活用できるかを自らで考えられる力を養ってもらえればと思います。

関連科目
地域と環境法

担当者の研究室等
11号館８階（山本准教授室）

備考
この授業では実務家の講演や企業見学が含まれます。

公共経営論
Public Management

平 野 泰 朗（ヒラノ ヤスロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
社会には市場経済の展開だけでは実現できない社会全体の利益が存在する。それを実現するためには、公的部門の活動が不可欠であることを理解した上で、それを実現するさまざまな手段を学習する。

授業方法と留意点
講義形式で行う。
毎回レジュメを配布して、それをもとに、説明を行う。

科目学習の効果（資格）
経済政策に関するニュースが分かるようになる。
教員免許状の「教科に関する科目」の１つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 社会全体の利益と市場の失敗：公共財・外部性・所得再分配
【内容・方法 等】 市場経済に任せていては実現できない社会全体の利益（公益）が存在する。その代表的例として、公共財（一般道路、治安、国防等）、外部性（環境問題等）、所得分配（生活保護、医療・福祉等）がある。本講義では主としてこれらの問題を取り上げ、公益を実現する方法を考える。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第２回 【授業テーマ】 税と公債
【内容・方法 等】 公益を実現する最も強力な機関が、政府である。その政府の収入源の主なものは、税と公債である。ここでは、課税の基本原則、その種類、民間経済への影響を考察するとともに、公債の特徴、税との相違を考察する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第３回 【授業テーマ】 公共財とは何か：純粋な公共財と純粋でない公共財
【内容・方法 等】 公共財は、私的財と比べてどのような特徴を有するのかを、さまざまな例を通して検討する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第４回 【授業テーマ】 外部性と環境問題
【内容・方法 等】 私的活動が他の人々に、市場を通さずに害を与える場合がある。環境汚染が、その典型例の１つである。それを外部性の問題という。これは、市場経済のルールだけでは制御しきれない。その場合、どういう対策があり得るか。まず、私的解決策のケースを検討する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第５回 【授業テーマ】 環境政策(1)擬似市場メカニズムによる解決
【内容・方法 等】 環境政策において擬似的市場メカニズムを利用する方法（罰金・税金、補助金、取引許可書）について考察する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第６回 【授業テーマ】 環境政策(2)規制と国際条約
【内容・方法 等】 環境政策において一国政府の取る各種の規制と規制の国際条約について考察する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第７回 【授業テーマ】 所得再分配と政府の役割：平等と生存権
【内容・方法 等】 市場メカニズムが所得の不平等を解決できない理由を理解し、次に、それが、平等や正義とどう関わるかという政治哲学的問題を、経済学の視点から考察する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第８回 【授業テーマ】 社会保険と財政
【内容・方法 等】 所得再分配を実現する２つの方法、社会保険と財政のそれぞれの特徴を明らかにする。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第９回 【授業テーマ】 公的年金
【内容・方法 等】 老後の所得保障等を公的に行う理由と、その多様な方式を明らかにする。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第10回 【授業テーマ】 公的に供給される私的財(1)医療
【内容・方法 等】 医療は、人の生存権に関わる財・サービスである。それゆえ、それは、しばしば公的に供給される。ここでは、その方法と課題を考察する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第11回 【授業テーマ】 公的に供給される私的財(2)福祉と教育
【内容・方法 等】 福祉サービスや教育は、人の生存権・社会権に関わる財・サービスである。それゆえ、それは、しばしば公的に供給される。ここでは、その方法と課題を考察する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第12回 【授業テーマ】 失業問題と社会政策：失業保険・職業紹介・職業訓練
【内容・方法 等】 失業対策は、一方で、労働者の生存権を保障するものとして、他方で、経済的・社会的秩序の安定化策として用いられるようになった。その手段としての、失業保険・職業紹介・職業訓練の方法と課題を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第13回 【授業テーマ】 地域振興と地方分権
【内容・方法 等】 ここまで、主として公共空間を一国と想定してきたが、ここでは地域を公共空間としてみた場合の公益確保策について考察する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。
第14回 【授業テーマ】 民間の役割：社会的企業とCSR
【内容・方法 等】 現代では、公的利益を実現する主体として、政府ばかりでなくNPOや企業も参加するようになってきた。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 43 2014/08/21 14:23:17

その主体や活動の例として、社会的企業とCSR(企業の社会的責任）を取り上げ、その具体的方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 これまでの授業のまとめ学び、同時に補足点があれば、それを確認する。
【事前・事後学習課題】 ノート、配布資料を読み返して復習する。

評価方法（基準）
２回あるいは３回、中間レポートを課します。レポート40％、定期試験60％で評価します。
なお、出席日数が不足する者は、単位取得の資格を失う場合がある。

教材等
教科書…使用しません。
参考書…スティグリッツ『公共経済学　上』東洋経済新報社（4,500円＋税）

学生へのメッセージ
政策がわれわれの生活に影響する度合いは、われわれが意識するよりも大きいものです。
その影響を及ぼす経路が分かると、政策関連のニュースもよく分かるようになります。年配者と話をするネタにも使えます。

関連科目
財政学、公共政策論

担当者の研究室等
１号館７階　平野教授室（経済学部）

ＮＰＯ論
Non Profit Organization

相　川　康　子（アイカワ　ヤスコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
NPO（民間非営利組織）とは、市民の有志が集まり、行政や企業とは異なる手法で、社会の課題を解決しようとする組織です。そのような市民活動は古くからありましたが、1998年に「特定非営利活動促進法」が制定されて以降、法人格を取得し、事務所や有給スタッフを抱えて幅広く活動を展開する団体が増えてきました。本講義では、そのようなNPOについて▽歴史的経緯や社会経済情勢の変化の中で捉えることで、今日的な意義を考察し▽実際にどんなNPOの活動があるのかを概観し▽営利企業とは異なるマネジメントの手法を学ぶ―ことを目的とします。
到達目標は、今後、社会の担い手としてますます重要になるNPOへの知見を深めるとともに、将来、自分が何らかのNPO活動を行うための基礎知識を習得することです。また、NPO論を学ぶことで、一般の営利企業や行政組織の経営についても、多角的に分析できるようになってもらいたいと思います。

授業方法と留意点
授業はレジュメをもとに講義形式で行いますが、NPOに関する記事等を読んでのディスカッションなど、講師と学生あるいは学生間による対話で考察を深めることを重視します。また、講義の中盤に理解度を深める小テストを行い、後半では地域や社会の課題を解決するNPOのプロジェクトを考案するレポートを課す予定です。

科目学習の効果（資格）
地域や社会の問題点を見つけ、課題を分析して、自ら解決する力が身に付きます。また、非営利組織の経営を学ぶことで、将来の選択（NPOでの就労、社会起業家など）を広げることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 講義全体の狙い、進め方、評価法の説明／導入として「ＮＰＯ」のイメージや疑問点を出し合う。
【事前・事後学習課題】 事後に、全体スケジュールを確認し、「ＮＰＯ」という言葉や概念について自分なりに調べてみる。

第２回 【授業テーマ】 ＮＰＯの定義、領域、多様性
【内容・方法 等】 広義・狭義の定義や諸形態を解説し、ＮＰＯ・行政・企業のセクター論の中で位置づけや役割を解説する。
【事前・事後学習課題】 事前に、インターネットや書式でＮＰＯの定義を調べておく。
事後に、ペストフの三角形モデルについて、実例をあてはめながら理解を深めておく。

第３回 【授業テーマ】 ＮＰＯ／市民活動と社会・経済とのかかわり　その１（４回シリーズ）
【内容・方法 等】 どのような時代（経済・社会状況）に、ＮＰＯなどの市民活動が活発になるかを考え、年表や統計資料をもとに、近代ボランティア以降の変遷を探る。（以降４回シリーズ）
【事前・事後学習課題】 事前に、これまでに習った近代以降の日本史・世界史の主な出来事をさらっておく。
事後に、経済成長や人口、世帯など日本の変化が分かる長期の統計資料を調べてみる。

第４回 【授業テーマ】 ＮＰＯ／市民活動と社会・経済とのかかわり　その２
【内容・方法 等】 戦中・戦後の市民活動の様相、戦後憲法に記された「公私社会福祉分離の原則」の解釈などを解説する。
【事前・事後学習課題】 事後に、戦時下の国民生活および戦後に整えられた社会の制度について、自分なりに調べてみる。

第５回 【授業テーマ】 ＮＰＯ／市民活動と社会・経済とのかかわり　その３
【内容・方法 等】 行政によるボランティアの「育成」と、有償ボランティアの登場した背景について、統計資料などをもとに考える。
【事前・事後学習課題】 事後に「有償ボランティア」が出てきた時代背景について調べ、当時の資料などから論争のポイントを理解しておく。

第６回 【授業テーマ】 ＮＰＯ／市民活動と社会・経済とのかかわり　その４
【内容・方法 等】 活動分野の広がりと阪神・淡路大震災（1995）のインパクトについて考察する。
【事前・事後学習課題】 事前・事後に、阪神・淡路大震災についてＷＥＢや本で調べ、1995年がなぜ「ボランティア元年」と呼ばれたか考えておく。

第７回 【授業テーマ】 特定非営利活動促進法について
【内容・方法 等】 議員立法で制定された法制度の特徴を解説し、認証・認定ＮＰＯの実態を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前に、許認可制（以前の公益法人等）と準則主義（会社設立の際など）の違いについて調べておく。
事後に、法制度の特徴と改正のポイントについて復習しておく。

第８回 【授業テーマ】 公益法人改革／ソーシャル・キャピタル（社会関係資本）
【内容・方法 等】 「公益」を行う主体の変遷について法制度面から考察する／ソーシャル・キャピタルの考え方を理解する。
【事前・事後学習課題】 事前に「ソーシャル・キャピタル」について、どのような領域で、どんな使われ方をしているか調べておく。
事後に「公益法人改革」の現在の進行状況について調べてみる。

第９回 【授業テーマ】 小テスト
非営利組織のマネジメント　その１　（４回シリーズ）
【内容・方法 等】 これまでの講義内容の理解度をはかる小テストを行う。
マネジメントシリーズ（４回）のはじめに、営利企業と非営利組織の比較を行う。
【事前・事後学習課題】 事前・事後に、これまで経営学部で学んできた営利企業のマネジメントについて復習しておく。

第10回 【授業テーマ】 非営利組織のマネジメント　その２
【内容・方法 等】 組織運営、人材管理、情報共有などの面からNPOの特性を探る。
【事前・事後学習課題】 事後に、NPOにおける組織運営の特徴（営利企業との相違点）についてまとめておく。

第11回 【授業テーマ】 非営利組織のマネジメント　その３
【内容・方法 等】 NPO活動にかかる経費の積算と、その資金を調達する方法について考える。
【事前・事後学習課題】 事前に、NPOには、どんな資金調達法があるか考えておく。
事後に、何らかのＮＰＯ活動を想定し、必要な経費や調達方法をシミュレーションしてみる。

第12回 【授業テーマ】 非営利組織のマネジメント　その４
【内容・方法 等】 ＮＰＯのマルチ・ステイクホルダーの特性に注目した連携について考え、賛同者を増やすための広報や、アドボカシーについて考える。
【事前・事後学習課題】 事後にNPOの事業とアドボカシーのバランスについて考えてみる。

第13回 【授業テーマ】 今後のＮＰＯの活動領域を考える
【内容・方法 等】 少子化・高齢化や格差の拡大、地方の衰退など、現在の社会的課題とその解決・改善に有効なNPOのプロジェクトについて考え、レポート作成の準備をする。
また補論として、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスの実践についても紹介する。
【事前・事後学習課題】 事後に、各自が考えた社会課題とそのためのＮＰＯプロジェクトの関するレポートを作成し、提出すること

第14回 【授業テーマ】 ＮＰＯを支える仕組み
【内容・方法 等】 ＮＰＯセンターなど中間支援団体の機能、実態／CSR/ 寄付文化を根付かせる取り組みなどをについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前に、自分が考えるプロジェクトだったら、どんな支援が必要か考えてみる。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　44　2014/08/21　14:23:17

事後に、地元行政や企業のＣＳＲによるＮＰＯ支援の取り組みについて調べてみる

第15回 **【授業テーマ】** まとめにかえて
【内容・方法　等】 講義全体の振り返りと、今後のNPOへの期待や課題に関するj話し合い。
【事前・事後学習課題】 事後に、NPOの歴史や特徴、マネジメントなどを復習し、期末テストに備えること。

評価方法（基準）
定期試験50％、学期中に行うミニテスト10％、学期中に課すレポート20％、平常点（講義への参画度、コメントペーパーの内容等）20％を目安に、総合的に評価します。

教材等
教科書…特に指定しません。
参考書…P.H.ドラッカー著、上田惇生・田代正美訳　『非営利組織の経営』　ダイヤモンド社（1991）
R.D.パットナム著、河田潤一訳　『哲学する民主主義』　ＮＴＴ出版（2001）
今田忠著　『日本のＮＰＯ史』　ぎょうせい（2006）

学生へのメッセージ
ＮＰＯの経営は「儲けない」ことではなく、儲けを関係者間で配分しない（課題解決の資金源とする）ことで、営利企業の経営より難しい場面もあります。現在、企業もＣＳＲに力を入れており、ＮＰＯについて学ぶことは将来の皆さんの視野を広げ、職業選択の幅を広げることとなるでしょう。

関連科目
経営学、公共経営論など

担当者の研究室等
11号館6階の非常勤講師控室

環境倫理I
Environmental Ethics I

有　馬　善　一（アリマ　ゼンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「地球環境問題」という言葉が端的に表しているように、現代の環境問題はまさに地球規模で起きている。この講義では自然環境の問題を中心に、現代の文明・社会がどのような問題を抱えているかを取り上げる。地球温暖化、森林破壊、水と食糧の問題などどれも深刻で簡単に解決できないものであるが、現状を知ることなしにはその解決もおぼつかない。まずは、我々の置かれている現状を知って欲しいと思う。

授業方法と留意点
テキストを用いない「ノート講義」方式。適宜プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）
現代社会が直面している地球問題を理解することは、これからの社会を担う若者にとって欠かすことのできない教養であろう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 授業への導入
【内容・方法　等】 ・環境と倫理
・環境と人間
・環境問題へのアプローチの基本
【事前・事後学習課題】 地球とは何か？どのように説明するか。自分の考えをまとめてくる。

第２回 **【授業テーマ】** 生態系の問題（１）
【内容・方法　等】 ・生態系に関する基礎的知識
・ミクロコズムと生態系
【事前・事後学習課題】 生態系、ミクロコズムについて調べておく。

第３回 **【授業テーマ】** 生態系の問題（２）
【内容・方法　等】 ・生態系におけるストックとフロー
・「自然」の生態系と人工的生態系
【事前・事後学習課題】 配布離礁を参照すること。

第４回 **【授業テーマ】** ガイア理論をめぐって（１）
【内容・方法　等】 ・ガイア理論と地球システム論
・人間の生態系における位置とガイアの「意志」
【事前・事後学習課題】 ガイア理論について調べておく。

第５回 **【授業テーマ】** ガイア理論をめぐって（２）
【内容・方法　等】 ・ミクロコズムとガイア
・生態系の破壊と種の絶滅の帰結
【事前・事後学習課題】 ガイア理論に対する自分なりの評価をまとめる。

第６回 **【授業テーマ】** 公害問題の過去と現在（１）
【内容・方法　等】 ・公害問題とは何か
・日本における「四大公害問題」と世界の公害問題
【事前・事後学習課題】 四大公害とは何かを調べておく。

第７回 **【授業テーマ】** 公害問題の過去と現在（２）
【内容・方法　等】 ・公害問題の原型のとしての水俣病
・近年の公害問題（ヒートアイランド現象、酸性雨）
【事前・事後学習課題】 ヒートアイランド現象、酸性雨について調べておく。

第８回 **【授業テーマ】** 公害問題から地球環境問題へ
【内容・方法　等】 ・公害問題の地理的拡大と地球環境問題
・オゾンホールとフロンガス規制
【事前・事後学習課題】 地球環境問題にはどんなものがあるか調べておく。

第９回 **【授業テーマ】** 地球温暖化問題（１）
【内容・方法　等】 ・地球温暖化とは何か
・地球温暖化を巡る論争
【事前・事後学習課題】 地球温暖化についてニュースを検索しておく。配付資料を参照。

第10回 **【授業テーマ】** 地球温暖化問題（２）
【内容・方法　等】 ・国際政治と二酸化炭素排出規制
・京都議定書と今後の国際交渉の行方
【事前・事後学習課題】 COP、IPCCについて調べておく。

第11回 **【授業テーマ】** 地球温暖化問題（３）
【内容・方法　等】 ・日本の地球温暖化問題にたいするこれまでの対応
・今後の課題
【事前・事後学習課題】 日本の地球温暖化問題への対応について自分の考えをまとめる。

第12回 **【授業テーマ】** 森林破壊の問題
【内容・方法　等】 ・森林破壊と文明の興亡
・現代における森林破壊の進行と森林再生への可能性
【事前・事後学習課題】 配付資料を参照。

第13回 **【授業テーマ】** 人口問題と地球環境
【内容・方法　等】 ・20世紀の人口爆発
・南の貧困と食糧危機
【事前・事後学習課題】 配付資料を参照。

第14回 **【授業テーマ】** 農業と水の問題
【内容・方法　等】 ・農業の産業化と農薬の問題
・将来の農業の危機
・水を巡る戦争
【事前・事後学習課題】 日本の農業について自分なりの考えをまとめてくる。

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法　等】 ・講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 これまでの講義ノートをまとめておく。

評価方法（基準）
・講義内容に沿ってレポートを作成してもらう。課題は適宜指示する。
・期末試験を実施。
・レポート4割、期末試験6割。なお、第１回目の授業時などで、単位取得の条件は説明をするので、それをきちんと聞いておくこと。
・授業態度（正当な理由のない欠席、遅刻・途中退席・私語・携帯電話の使用）も評価の対象とする。

教材等
教科書…なし
参考書…『地球生命圏―ガイアの科学』　ラブロック　工作舎(2520円)

学生へのメッセージ
人間が自然とともに生きるためにはどうしたらいいのか。なかなか難しい問題ですが、ともに考えていきましょう。

関連科目
環境倫理Ⅱ

担当者の研究室等
11号館7階(有馬准教授室)

環境倫理II
Environmental Ethics II

有　馬　善　一（アリマ　ゼンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
いわゆる日本の高度成長期には「消費は美徳」という言葉が流行した。「大量生産／大量消費社会」を賛美したものである。しかし、現在ではこれはもはや死語である。代わって、時代をリードしているのは「Mottainai」（もったいない）であるが、現代社会は本当にエコロジーを主軸に転換することに成功しているだろうか。この講義では、20世紀の半ば以降、今日に至るまで社会を動かしている経済のシステムを理解した上で、それを変革するための道を探る。

授業方法と留意点
テキストを用いない「ノート講義」方式。適宜プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　45　2014/08/21　14:23:17

現代社会の根幹をなす資本主義を理解することによって、自分たちが混沌の時代に生きていること、また、これにどう対処すべきかのヒントが得られるはず。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　授業への導入
【内容・方法　等】　・現代＝近代の特徴とは何か
・〈熱い〉社会と〈冷たい〉社会（レヴィ＝ストロース）
・資本主義と成長の「神話」
【事前・事後学習課題】　現代社会の特徴と問題点を自分なりに考えてみる。

第２回　**【授業テーマ】**　資本主義社会の成立（1）
【内容・方法　等】　・冒険商人と資本家
・「倫理」としての資本主義（マックス・ウェーバー）
【事前・事後学習課題】　配付資料について自分なりの考えをまとめる。

第３回　**【授業テーマ】**　資本主義社会の成立（２）
【内容・方法　等】　・恋愛と贅沢と資本主義（ゾンバルト）
・禁欲的生産と享楽的消費の関係
【事前・事後学習課題】　ウェーバーとゾンバルトの着眼点の違いを整理して、現代の商品開発に当てはめてみる。

第４回　**【授業テーマ】**　古典的資本主義の限界と現代資本主義
【内容・方法　等】　・資本主義の帰結としての恐慌と帝国主義
・現代資本主義の登場（フォードとGMの経営戦略）
【事前・事後学習課題】　『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。

第５回　**【授業テーマ】**　現代資本主義社会の特徴
【内容・方法　等】　・大量生産／大量消費社会
・情報化／消費化社会におけるゆたかさ
【事前・事後学習課題】　『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。

第６回　**【授業テーマ】**　産業の文明論的進化と情報化社会
【内容・方法　等】　・梅棹忠夫の「情報産業論」
・情報化と脱工業化
・情報化と消費化
【事前・事後学習課題】　『情報の文明学』の該当箇所を読んでおく。

第７回　**【授業テーマ】**　情報化と人間社会
【内容・方法　等】　・インターネットの発達とコミュニケーションの変質
・ネット社会の光と影
【事前・事後学習課題】　ネット社会の問題点を自分なりに考えてくる。

第８回　**【授業テーマ】**　大衆社会と消費文化
【内容・方法　等】　・社会の大衆化と文化としての消費
・情報の消費としてのマス・コミュニケーション
・消費と消尽（バタイユ）
【事前・事後学習課題】　社会の大衆化によって形成されてきた消費文化の事例を考えてみる。

第９回　**【授業テーマ】**　現代社会の「外部問題」（１）
【内容・方法　等】　・経済システムと物理システム
・資源・エネルギーと環境の経済的「価値」
【事前・事後学習課題】　『現代社会の理論』の該当箇所を読んでおく。

第10回　**【授業テーマ】**　現代社会の「外部問題」（２）
【内容・方法　等】　・貨幣の謎とエントロピー
・エコロジー経済学の可能性
【事前・事後学習課題】　エントロピー概念についての資料を理解する。

第11回　**【授業テーマ】**　現代社会の「外部問題」（３）
【内容・方法　等】　・社会システムの限界としての「共有地の悲劇」
・外部問題としての南北問題
・途上国の人口爆発と先進国の少子高齢化
【事前・事後学習課題】　「共有地の悲劇」について調べてくる。

第12回　**【授業テーマ】**　「成長の限界」をめぐって（１）
【内容・方法　等】　・『成長の限界』の予測とそれに対する様々な評価
・エネルギー・資源の限界と「2050年問題」
【事前・事後学習課題】　「算術級数的増加」と「幾何級数的増加」の意味について調べてくる。

第13回　**【授業テーマ】**　「成長の限界」をめぐって（２）
【内容・方法　等】　・成長神話からの脱却
・江戸時代における循環型社会
・循環型社会の構築のための条件
【事前・事後学習課題】　フローとストックについて調べてくる。

第14回　**【授業テーマ】**　グローバル化と自由主義
【内容・方法　等】　・グローバル化の様々な局面
・市場主義と経済の自由
・リバタリアンとコミュニタリアン
【事前・事後学習課題】　グローバル化の事例について調べてみる。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　・講義全体のまとめ
【事前・事後学習課題】　これまでの講義ノートをまとめておく。

評価方法（基準）
・講義内容に沿ってレポートを作成してもらう。課題は適宜指示する。
・期末試験を実施。
・レポート4割、期末試験6割。なお、第１回目の授業時などで、単位取得の条件は説明をするので、それをきちんと聞いておくこと。
・授業態度（正当な理由のない欠席、遅刻・途中退席・私語・携帯電話の使用）も評価の対象とする。

教材等
教科書…なし
参考書…『現代社会の理論』　見田宗介　岩波書店 (735円)
『環境を守るほど経済は発展する』　倉阪秀史　朝日新聞社 (1260円)

学生へのメッセージ
環境問題の解決のためには現代社会全体の変革が必要です。21世紀のあるべき企業の姿もそこに重なっていきます。

関連科目
環境倫理Ⅱ

担当者の研究室等
11号館7階(有馬准教授室)

地方自治論
Local Autonomy

片　本　　隆（カタモト　タカシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
地方自治にとって、地域の活性化は最重要事項である。しかし、その前提ともいうべき地方分権改革の取組みは、さほど進んでいない。地方財政の危機的状況や地方自治体の地域間格差の状況も変化のきざしは見られない。このような状況の中で、この授業においては、わが国の地方自治制度の基本的な枠組みや現状と課題について学び、今後の地方自治のあり方を考えるための基本的な能力を得ることを目標とする。

授業方法と留意点
配布プリント、参考書等を用いて講義方式で行う。また、常に地方自治に関する新たな動向を取り上げ、現状と課題を意識して授業を進める。

科目学習の効果（資格）
公務員試験の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　授業の概要と進め方。地方自治を取り巻く近時の社会情勢。
【事前・事後学習課題】　「地方自治論」を学ぶ目的・目標

第２回　**【授業テーマ】**　地方自治体
【内容・方法　等】　地方自治体の概念。地方自治の存在根拠。
【事前・事後学習課題】　身近な地方自治体の役割

第３回　**【授業テーマ】**　地方自治制度
【内容・方法　等】　地方自治制度の形成過程とその特徴
【事前・事後学習課題】　身近な地方自治体の歴史

第４回　**【授業テーマ】**　地方分権改革
【内容・方法　等】　地方分権改革の経過と成果。現状と今後の方向性。
【事前・事後学習課題】　地方分権改革の必要性

第５回　**【授業テーマ】**　都道府県と市区町村(1)
【内容・方法　等】　二層制の政府体系。広域行政制度。定住自立圏。
【事前・事後学習課題】　関西広域連合の目的と活動内容

第６回　**【授業テーマ】**　都道府県と市区町村(2)
【内容・方法　等】　政令指定都市制度。中核市制度。特例市制度。都区制度。市町村合併。
【事前・事後学習課題】　大都市制度のあり方

第７回　**【授業テーマ】**　地方自治体の議会
【内容・方法　等】　二元代表制。議会の役割と権能。議会改革。
【事前・事後学習課題】　議会の機能の向上

第８回　**【授業テーマ】**　地方自治体の執行機関(1)
【内容・方法　等】　執行機関。地方自治体の長の権限。執行機関多元主義。
【事前・事後学習課題】　教育委員会のあり方

第９回　**【授業テーマ】**　地方自治体の執行機関(2)
【内容・方法　等】　地方自治体の長と議会の関係。地方自治体統治機構の国際比較。
【事前・事後学習課題】　機関対立主義制度の意義

第10回　**【授業テーマ】**　地方自治体の組織・機構
【内容・方法　等】　地方自治体の組織の基本形態。組織の意思決定。地方公営企業。
【事前・事後学習課題】　地方自治体組織と民間企業組織の比較

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　46　　2014/08/21　14:23:17

第11回 【授業テーマ】 地方自治体の財政制度
【内容・方法 等】 地方自治体の財政制度と運営。財政改革の取組み。
【事前・事後学習課題】 地方自治体の会計制度と民間企業の会計制度の比較
第12回 【授業テーマ】 地方公務員制度
【内容・方法 等】 地方公務員法。任命権者。人事委員会・公平委員会。人事管理制度。
【事前・事後学習課題】 地方自治体の人事管理制度と民間企業の人事管理制度の比較
第13回 【授業テーマ】 地方自治体の行政統制
【内容・方法 等】 行政統制の内容。地方自治体改革。
【事前・事後学習課題】 地方自治体改革の手法
第14回 【授業テーマ】 住民と地方自治体の関係
【内容・方法 等】 住民との協働。コミュニティ。住民運動・住民参加。直接請求。住民投票制度。
【事前・事後学習課題】 住民投票制度の必要性
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業の全体的なまとめ。
【事前・事後学習課題】 「地方自治論」を学んで得たこと。

評価方法（基準）
期末試験により評価する。

教材等
教科書…特に指定しない。プリントを配布する。
参考書…磯崎初仁・金井利之・伊藤正次『ホーンブック地方自治[改訂版]』北樹出版,2011年(2,700円＋税)

学生へのメッセージ
地方自治をめぐる現実的な課題について、より理解を深めるため、後期の「地方行政実務」の受講を勧める。
何事も常に課題意識を持つことの重要性を学んでほしい。

関連科目
地方行政実務

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

地方行政実務
Practical Local Administration

片　本　　隆（カタモト　タカシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
私たちの生活に密接な関わりのある地方自治体、とりわけ基礎的自治体である市町村の行政サービスにはどのようなものがあるのか。そして、それは私たちの生活全体の向上にどのように役立っているのか。この授業では、このような行政サービスの内容及び現状と課題について、都道府県や国の関連する施策等も視野に入れて学び、あるべき行政サービスを考える契機とすることを目標とする。

授業方法と留意点
配布プリント、参考書等を用いて講義方式で行う。また、常に地方行政実務に関する新たな動向を取り上げ、現状と課題を意識して授業を進める。

科目学習の効果（資格）
公務員試験の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業の概要と進め方。地方行政実務を取り巻く近時の社会情勢。
【事前・事後学習課題】 「地方行政実務」を学ぶ目的・目標
第２回 【授業テーマ】 地方自治体の政策
【内容・方法 等】 地方自治体のさまざまな政策の内容・評価。地方自治体の総合計画。
【事前・事後学習課題】 身近な地方自治体の政策内容
第３回 【授業テーマ】 政策法務
【内容・方法 等】 政策法務の意義と役割。条例制定の過程。
【事前・事後学習課題】 興味のある条例
第４回 【授業テーマ】 都市計画とまちづくり
【内容・方法 等】 都市計画法等のまちづくりの法制度。地方自治体独自の取組み。
【事前・事後学習課題】 どのような「まち」が住みよいと考えるか。
第５回 【授業テーマ】 公共事業
【内容・方法 等】 公共事業と地域づくり。公共事業の制度と実態。公共施設の老朽化問題。
【事前・事後学習課題】 公共事業はどうあるべきか。
第６回 【授業テーマ】 産業政策
【内容・方法 等】 工業、商業、観光、農林水産業等の振興。
【事前・事後学習課題】 中心市街地の再生はどうすればよいか。
第７回 【授業テーマ】 地域振興
【内容・方法 等】 地域の振興、活性化、再生。限界集落。コンパクトシティ。定住自立圏。
【事前・事後学習課題】 地域振興政策の具体例
第８回 【授業テーマ】 福祉政策(1)
【内容・方法 等】 福祉政策の概要。社会福祉基礎構造改革。生活保護制度。
【事前・事後学習課題】 生活保護制度改革の内容
第９回 【授業テーマ】 福祉政策(2)
【内容・方法 等】 児童福祉政策。障害者福祉。高齢者福祉。母子寡婦(父子)政策。
【事前・事後学習課題】 なぜ人口は減少を続けているのか。
第10回 【授業テーマ】 保健医療政策
【内容・方法 等】 健康増進施策。疾病予防。国民健康保険制度。地域医療。
【事前・事後学習課題】 国民健康保険制度はどこが運営すべきか。
第11回 【授業テーマ】 住民と生活
【内容・方法 等】 人権政策。共通番号制度。消費者政策。
【事前・事後学習課題】 共通番号制度の適用範囲
第12回 【授業テーマ】 危機管理
【内容・方法 等】 危機管理の概要。災害対策の基本的課題と個別的課題。防犯。
【事前・事後学習課題】 危機管理における自助・共助・公助。
第13回 【授業テーマ】 環境政策
【内容・方法 等】 環境問題の構造の変化。温暖化対策。産業廃棄物。ごみの減量化。リサイクル。
【事前・事後学習課題】 地方自治体の再生可能エネルギー政策
第14回 【授業テーマ】 教育文化政策
【内容・方法 等】 教育行政の仕組み。学校教育。文化行政。
【事前・事後学習課題】 身近な図書館の運営で考えること。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業の全体的なまとめ。
【事前・事後学習課題】 「地方行政実務」を学んで得たこと。

評価方法（基準）
期末試験により評価する。

教材等
教科書…特に指定しない。プリントを配布する。
参考書…磯崎初仁・金井利之・伊藤正次『ホーンブック地方自治[改訂版]』北樹出版,2011年(2700円＋税)。その他適宜、授業で紹介する。

学生へのメッセージ
地方行政実務の理解を助けるという意味で、前期の「地方自治論」を受講しておくことを勧める。
何事も常に課題意識を持つことの重要性を学んでほしい。

関連科目
地方自治論

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

地球温暖化問題と経営I
Global Warming and Corporate Management I

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
環境問題のなかで解決が難しいと言われているもののうちのひとつに地球温暖化問題がある。地球温暖化による影響は徐々にあらわれてきているといわれている。この授業では、地球温暖化問題の基礎となるさまざまな情報の見方とともに、問題解決のために重要となる経済発展との関連性や企業経営の係わり合いを学ぶ。さらに総合的な解決のための政策のあり方についても考察を行う。

授業方法と留意点
地球温暖化問題の現状は、日々新しい情報によって更新されていきます。そのため、授業での板書に加えて、新聞記事やニュースなどの情報を自ら集めてノートにまとめていくことが求められます。レポートや発表が求められます。

科目学習の効果（資格）
経済と環境問題、企業経営の関連性から地球環境問題を捉える能力を身につけることができ、将来社会人となったときに業務のなかで地球温暖化問題の現状と特性を知った上で、ビジネスにいかすことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業概要説明と環境問題の基礎
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出
第２回 【授業テーマ】 地球環境問題
【内容・方法 等】 地球環境問題の特性
【事前・事後学習課題】 授業に関するレポート提出

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 47 2014/08/21 14:23:18

第３回　【授業テーマ】　地球環境問題と各主体
【内容・方法　等】　各主体と地球環境問題とのかかわり
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第４回　【授業テーマ】　地球温暖化問題と解決手法
【内容・方法　等】　国際的解決手法と国内的解決手法
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第５回　【授業テーマ】　地球温暖化とはなにか（１）
【内容・方法　等】　地球温暖化のメカニズムについて
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第６回　【授業テーマ】　地球温暖化とはなにか（２）
【内容・方法　等】　地球温暖化のメカニズムと温暖化データについて
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第７回　【授業テーマ】　経済発展と地球温暖化問題（１）
【内容・方法　等】　地球温暖化による経済発展への影響　国際問題（京都議定書ほか）
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第８回　【授業テーマ】　経済発展と地球温暖化問題（２）
【内容・方法　等】　地球温暖化による経済発展への影響　国内問題
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第９回　【授業テーマ】　企業経営と地球温暖化問題（１）
【内容・方法　等】　温暖化ガスを排出する主体としての企業
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第10回　【授業テーマ】　企業経営と地球温暖化問題（２）
【内容・方法　等】　企業経営と温暖化ガス抑制の取り組み
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第11回　【授業テーマ】　企業経営と地球温暖化問題（３）
【内容・方法　等】　排出権取引と企業経営
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第12回　【授業テーマ】　企業経営と地球温暖化問題（４）
【内容・方法　等】　企業戦略と地球温暖化対策
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第13回　【授業テーマ】　地球温暖化政策と企業のかかわり（１）
【内容・方法　等】　地球温暖化対応と戦略的企業経営　ケーススタディ
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第14回　【授業テーマ】　地球温暖化政策と企業のかかわり（２）
【内容・方法　等】　地球温暖化対応と戦略的企業経営　ケーススタディ
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出

評価方法（基準）
事前事後課題提出、レポートなどの平常点を80％、定期試験20％の結果をふまえて、総合的に評価する。

教材等
教科書…石川宗孝編著　『環境読本』　電気書院（2500円）
参考書…随時指定します。

学生へのメッセージ
地球温暖化問題は自らの生活に深くかかわる問題です。日常生活の中でどのように問題が解決できるかを考えながら授業を受けてもらえればとおもいます。

関連科目
地球温暖化問題と経営、環境ガバナンス論、環境経済学、環境マネジメントシステム、環境倫理、地域と環境法

担当者の研究室等
11号館８階（山本教授室）

地球温暖化問題と経営II
Global Warming and Corporate Management II

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
環境問題のなかで解決が難しいと言われているもののうちのひとつに地球温暖化問題がある。地球温暖化による影響は徐々にあらわれてきているといわれている。この授業では、問題解決のための方法と各主体のかかわりあいについて考察する。

授業方法と留意点
地球温暖化問題の現状は、日々新しい情報によって更新されていきます。そのため、授業での板書に加えて、新聞記事やニュースなどの情報を自ら集めてノートにまとめていくことが求められます。レポートや発表が求められます。

科目学習の効果（資格）
経済と環境問題、企業経営の関連性から地球環境問題を捉える能力を身につけることができ、将来社会人となったときに業務のなかで地球温暖化問題の現状と特性を知った上で、ビジネスにいかすことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　はじめに
【内容・方法　等】　授業概要説明
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第２回　【授業テーマ】　国際的な地球温暖化問題（１）
【内容・方法　等】　京都議定書にいたる経緯
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第３回　【授業テーマ】　国際的な地球温暖化問題（１）
【内容・方法　等】　地球温暖化問題をめぐる現在の状況と日本
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第４回　【授業テーマ】　地球温暖化と国内対策（１）
【内容・方法　等】　排出事業者である企業と国内対策
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第５回　【授業テーマ】　地球温暖化と国内対策（２）
【内容・方法　等】　企業の自発的な取り組みと地球温暖化防止対策
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第６回　【授業テーマ】　地球温暖化と地域（１）
【内容・方法　等】　地域における地方自治体の役割
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第７回　【授業テーマ】　地球温暖化と地域（２）
【内容・方法　等】　地域の地球温暖化対策と企業経営
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第８回　【授業テーマ】　地球温暖化問題と社会（１）
【内容・方法　等】　各主体の協力体制と地球温暖化防止
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第９回　【授業テーマ】　地球温暖化問題と社会（２）
【内容・方法　等】　エネルギー政策などの各政策と地球温暖化問題解決
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第10回　【授業テーマ】　地球温暖化問題と社会（３）
【内容・方法　等】　低炭素社会実現にむけて
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第11回　【授業テーマ】　私たちの暮らしと地球温暖化問題（１）
【内容・方法　等】　私たちの生活と地球温暖化問題のかかわり
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第12回　【授業テーマ】　私たちの暮らしと地球温暖化問題（２）
【内容・方法　等】　私たちの生活と地球温暖化問題のかかわり
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第13回　【授業テーマ】　社会全体での地球温暖化問題の解決にむけて（１）
【内容・方法　等】　社会全体での地球温暖化対応　ケーススタディ
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第14回　【授業テーマ】　社会全体での地球温暖化問題の解決にむけて（２）
【内容・方法　等】　社会全体での地球温暖化対応　ケーススタディ
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】　授業に関するレポート提出

評価方法（基準）
事前事後課題提出、レポートなどの平常点を80％、定期試験20％の結果をふまえて、総合的に評価する。

教材等
教科書…石川宗孝編著　『環境読本』　電気書院（2500円）
参考書…随時提示します。

学生へのメッセージ
地球温暖化問題は自らの生活に深くかかわる問題です。日常生活の中でどのように問題が解決できるかを考えながら授業を受けてもらえればとおもいます。

関連科目
地球温暖化問題と経営、環境ガバナンス論、環境経済学、環境マネジメントシステム、環境倫理、地域と環境法

担当者の研究室等
11号館８階（山本教授室）

環境経済学
Environmental Economics

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
地球温暖化、増え続けるゴミ、廃棄物など環境問題はますます深刻になってきています。様々な対策もされていますが、なかなか成果が上がらないのが現状です。環境問題を経済の観点から考えて、その困難性は何から生じるのかを明らかにし、その

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　48　2014/08/21　14:23:18

解決策を模索することが授業の目的です。環境問題の現状を知ること、そして経済学的把握ができることが、授業の目的となる。

授業方法と留意点

テキストと配布プリントを用いた講義。必要に応じてレポートなどを行うので、話をよく聞くこと。

科目学習の効果（資格）

経済学をどのように環境問題に応用するのかを理解する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　環境経済学とは
【内容・方法　等】　環境問題は経済問題として把握できる
【事前・事後学習課題】　シラバスを読んでおく。

第２回　**【授業テーマ】**　市場システムの役割と限界１
【内容・方法　等】　需要と供給により価格が決まり、効率的生産量が決まる
【事前・事後学習課題】　ミクロ経済学の復習、テキストの該当部分を読む。

第３回　**【授業テーマ】**　市場システムの役割と限界２
【内容・方法　等】　外部効果、公共財により市場システムは失敗する
【事前・事後学習課題】　ミクロ経済学の復習、テキストの該当部分を読む

第４回　**【授業テーマ】**　環境問題への対策１
【内容・方法　等】　税や補助金や数量規制により、公害をなくすことができる
【事前・事後学習課題】　ミクロ経済学の復習、テキストの該当部分を読む

第５回　**【授業テーマ】**　環境問題への対策２
【内容・方法　等】　税、補助金、数量規制の効果はどのように違うのか
【事前・事後学習課題】　ミクロ経済学の復習、テキストの該当部分を読む、

第６回　**【授業テーマ】**　問題解決への困難性
【内容・方法　等】　環境問題を解決を難しくするのは、グローバル化や世代間の分配に関連している
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第７回　**【授業テーマ】**　地球温暖化問題
【内容・方法　等】　温室効果ガスの排出の増加により、地球の温度が上昇してきている
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第８回　**【授業テーマ】**　京都議定書の意義と問題点
【内容・方法　等】　京都議定書による地球温暖化対策が始まった
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第９回　**【授業テーマ】**　エネルギー問題
【内容・方法　等】　代替エネルギーの開発は、石油などの化石燃料エネルギー依存からの脱却を可能にするのか
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第10回　**【授業テーマ】**　循環型社会
【内容・方法　等】　大量消費、大量投棄の経済システムは見直さなければならない
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第11回　**【授業テーマ】**　我が国の公害問題
【内容・方法　等】　高度成長期にあった公害について
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第12回　**【授業テーマ】**　企業、消費者の対応
【内容・方法　等】　企業、消費者はどのように環境問題に対応するべきか
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第13回　**【授業テーマ】**　温暖化問題と「不確実性」
【内容・方法　等】　原因や将来の展望が不確実な地球温暖化への対策をどう捉えるべきか
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む。

第14回　**【授業テーマ】**　グローバル化と環境問題
【内容・方法　等】　経済発展と環境保全は両立するのか
【事前・事後学習課題】　テキストの該当部分と配布プリントを読む

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　――――――
【事前・事後学習課題】　――――――

評価方法（基準）

定期試験75%
平常点（レポート、小テストなど）25%

教材等

教科書…「入門環境経済学」日引・有村 (中公新書)819円
参考書…「経済学は温暖化を解決できるか」山本隆三（平凡社新書）720円
「環境・循環型社会・生物多様性白書」（環境省のHPでダウンロードできます）

学生へのメッセージ

ミクロ経済学は履修済みを前提に講義します。履修できていない方は、並行して履修するか、自力で習得してください。

関連科目

ミクロ経済学、マクロ経済学、環境マネージメントシステム、環境倫理

担当者の研究室等

11号館６階（杉本研究室）
sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

地域と環境法

Environmental Laws & Regulations in Local Communities

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私たちの生活の中で一番身近な地域社会における環境問題を解決するにあたって、法律は重要な役割をもつ。この授業では、環境に関連する法規を理解する前提として、立法、司法、行政の役割の基礎知識を学ぶ。その上で、地域において重要な役割を担う地方自治体、さらにはその地域で活動をする企業、そしてその地域に住む市民からの視点から環境問題解決のための手法としての法律とはどのようなものであるのかを習得する。

授業方法と留意点

板書や資料提示を中心とするのでしっかりとノートやメモを取ること。この授業では、自らがインターネットや文献、新聞資料などを検索して課題を作成することになる。レポートに重点をおくので、自分の意見をまとめられるように授業を受けてください。

科目学習の効果（資格）

組織で働く上で必要となる環境問題と法律の知識を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに
【内容・方法　等】　授業概要の説明
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第２回　**【授業テーマ】**　法とは
【内容・方法　等】　日本における法体系を学びます。司法、行政、立法の三権分立や国と行政の関係を学びます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第３回　**【授業テーマ】**　法律と私たちの生活～身近にある法律
【内容・方法　等】　私たちの中で法がどのような働きをしているのかについて学びます。とくに地域との関連を学びます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第４回　**【授業テーマ】**　法律と私たちの生活～環境問題を題材にして
【内容・方法　等】　環境問題を解決するために法律がどのような役割を果たしているのかを学びます。地方自治体が作成している条例なども取上げます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第５回　**【授業テーマ】**　環境問題と立法
【内容・方法　等】　国会や県議会、市議会といった立法機関の基礎的な流れとさまざまな環境に関する法律について学びます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第６回　**【授業テーマ】**　環境問題を取り扱う法律について
【内容・方法　等】　環境問題を取り扱う法律にはどのようなものがあるのかについて学びます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第７回　**【授業テーマ】**　環境問題を取り扱う法律について
【内容・方法　等】　さまざまな環境問題をめぐってどのように法律を調べていけばいいのか、さらには法律の内容の読み方を学びます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第８回　**【授業テーマ】**　環境問題を取り扱う法律について
【内容・方法　等】　一つの環境問題を取上げて、地域の特性を重視して自分ならばどのように解決するのかを考えます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第９回　**【授業テーマ】**　環境問題と行政
【内容・方法　等】　各行政が行っている環境問題への法解決について学びます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第10回　**【授業テーマ】**　環境問題と行政～地域行政から
【内容・方法　等】　地方自治体が地域においてどのような環境問題を取り扱っているかをケーススタディで学びます。
【事前・事後学習課題】　授業内容に関連するレポート提出

第11回　**【授業テーマ】**　環境問題と司法
【内容・方法　等】　日本における裁判制度の中でどのように環

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　49　　2014/08/21　14:23:18

境問題が解決されてきたのかを学びます。法曹界の実務家による講義を受けます。
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第12回 【授業テーマ】 環境問題と司法
【内容・方法 等】 これからの裁判制度のなかでの環境問題の解決方法について考えます。
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第13回 【授業テーマ】 地域と環境についての総合考察
【内容・方法 等】 地域が持つ特性と環境問題についての総合考察を行います。
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第14回 【授業テーマ】 法律と環境についての総合考察
【内容・方法 等】 一市民として、そして社会人として、組織人として環境問題にどのように関わっていけるのか、法律との付き合い方を考えます。具体的には法律の有識者を招いて講義を行います。
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 この授業のまとめを行います。
【事前・事後学習課題】 授業内容に関連するレポート提出

評価方法（基準）
事前事後課題、提出物、小テスト、授業中での発表を80%、期末試験20%を総合して評価する。

教材等
教科書…授業中に提示する資料や配布資料
参考書…授業中に随時指示します。

学生へのメッセージ
社会に出ると法律にふれる機会も増えてきます。授業で学んだ法の基礎知識を持って、学生時代のうちにニュースなどから環境問題のみならず多くの社会問題を法的な視点から考えてみると新しい発見があるかと思います。

関連科目
環境ガバナンス論、地域と環境ビジネス　地球温暖化問題と経営

担当者の研究室等
11号館８階（山本准教授室）

備考
この授業では実務家による講義も含まれます。

経営財務論I
Business Finance I

高　尾　裕　二（タカオ　ヒロジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
一般に企業は、ヒト、モノ、カネ、情報から構成されるといわれることがある。経営財務論（最近では、「コーポレート・ファイナンス」とよばれることが多い）は、株主の立場に立って、これら４つの企業構成要素のうち、主に、カネ（資金）の観点から企業の行動を分析し、どのような資金の調達と運用が企業価値の創造に結びつくのかを検討する経営学関連の主要な領域の一つである。経営財務論Ｉでは、経営財務論を構成する一連の主要な基礎概念なり計算方法（企業の資金調達方法、リスクとリターンの意義とその関係、資本コスト、アセット・プライシング、キャッシュフローと現在価値計算、企業価値など）を学ぶ。現在の企業行動を理解するために必要不可欠なこれらの基礎概念・計算方法およびそれらの相互の関係を十分に理解し体得することがまずは本講義の目標である。

授業方法と留意点
配布する講義資料に沿って講義を進める。経営財務論における論点を十分に理解するためには、実際に数値例に取り組み、自分自身で計算してみることが不可欠であり、また早道である。必要に応じて演習問題を適宜配布し、またそれらの演習問題に取り組む時間を可能な限り与えたいと考えているので、（講義時間内に）それらの問題に熱心に取り組み、疑問があれば質問すること。私語を慎み、真面目な態度で講義に臨むこと。

科目学習の効果（資格）
企業への就職希望にとって必要な知識であり、専門的職業人（とくに公認会計士、証券アナリストなど）の資格取得に関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション－経営財務論（コーポレート・ファイナンス）とは何か
【内容・方法 等】 経営財務論の目的を理解し、経営財務論で取り上げられる主要な論点の概観を得る。加えて、授業の進め方、評価方法等について説明する。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。質問は大いに歓迎する。
第２回 【授業テーマ】 企業の資金調達（１）－自己資金調達（エクイティ・ファイナンス）
【内容・方法 等】 現行制度のもとでの企業の資金調達の主要な手段を概観するとともに、自己資金調達（株式発行、内部資金などによる資金調達）について検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第３回 【授業テーマ】 企業の資金調達（２）－負債調達（デット・ファイナンス）
【内容・方法 等】 現行制度のもとでの企業の資金調達方法のもう一つの主要な手段である各種の負債調達（社債発行、銀行借入などによる資金調達）について検討するとともに、自己資金調達との比較を行う。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第４回 【授業テーマ】 資本コストと期待収益率（リターン）
【内容・方法 等】 経営財務論におけるキーワードの一つである、企業サイドからの「資本コスト」および資金提供者サイドからの「期待収益率」（リターン）の一般的な意味とその計算方法の基礎を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第５回 【授業テーマ】 リスクと期待収益率（リターン）
【内容・方法 等】 経営財務論のキーワードの一つである「リスク」の意味を学び、リスクとリターン（期待収益率）の関係、さらに、「リスク・プレミアム」の意味を理解する。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第６回 【授業テーマ】 企業の資本コスト（１）
【内容・方法 等】 第４回および第５回の講義内容を前提に、企業が資金調達するうえで極めて重要な「負債コスト」・「株式資本コスト（自己資本コスト）」・「総資本コスト」の意味とそれらの関係を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。質問は大いに歓迎する。
第７回 【授業テーマ】 企業の資本コスト（２）
【内容・方法 等】 前回の講義内容に基づいて、今回は具体的的に、「株式資本コスト（自己資本コスト）」・「総資本コスト」の推計方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第８回 【授業テーマ】 資本資産評価モデル（ＣＡＰＭ）の基礎（１）
【内容・方法 等】 リスクとリターンの関係を理解し、株式資本コストを推計するうえで極めて重要な資本資産評価モデル（ＣＡＰＭ）の基礎的な考え方を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。質問は大いに歓迎する。
第９回 【授業テーマ】 資本資産評価モデル（ＣＡＰＭ）の基礎（２）
【内容・方法 等】 前回の講義に引き続き、リスクとリターンの関係を理解し、株式資本コストを推計するうえで極めて重要な資本資産評価モデル（ＣＡＰＭ）の基礎的な考え方とその意義を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第10回 【授業テーマ】 整理と復習（１）－リスク、リターン、資本コストおよび資本資産評価モデル（ＣＡＰＭ）
【内容・方法 等】 企業の資本コスト（負債コスト、株式資本コスト、総資本コスト）を中心に、リスクおよびリターンの関係およびＣＡＰＭの各論点について、整理を行い、復習し、改めてこれらの概念ないしモデルの正確な理解に努める。
【事前・事後学習課題】 これまでの講義において配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について各自整理しておくこと。質問を受ける。
第11回 【授業テーマ】 キャッシュフローと現在価値計算（１）
【内容・方法 等】 経営財務論の根幹をなすキャッシュフローの（割引）現在価値の計算方法の基礎を、リスクがない場合とリスクがある場合について、学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第12回 【授業テーマ】 キャッシュフローと現在価値計算（２）
【内容・方法 等】 前回の講義に引き続き、キャッシュフローの（割引）現在価値の計算方法を学ぶ。今回の講義で取りあげるのは、多期間キャシュフローを前提とした現在価値計算の方法である。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第13回 【授業テーマ】 企業価値とＤＣＦ法
【内容・方法 等】 前々回・前回の講義内容をもとに、負債価値と株主資本価値の合計としての「企業価値」がどのように求められるのかを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。
第14回 【授業テーマ】 企業のリスクとコーポレート・ガバナンス
【内容・方法 等】 近時の経営財務論において、主要な論点の一つとして注目されているコーポレート・ガバナンスにつ

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　50　2014/08/21　14:23:18

いて、企業を取り巻く各種リスクの意味をふまえて、企業価値創造の観点から検討する

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第15回 【授業テーマ】 整理と復習（２）－現在価値計算と企業価値

【内容・方法　等】 後半の主要なテーマである割引計算の方法と企業価値の算定方法、さらに経営財務論Ｉ全体の講義の整理と復習

【事前・事後学習課題】 これまでの講義全体を通じて（特に、後半のテーマである割引計算と企業価値に関するする講義）において配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について整理しておくこと。質問を受ける。、

評価方法（基準）

期末テストの結果（95%）と１回～２回程度の演習問題の提出（提出の場合は事前に通知する）（5%）にもとづいて評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。

参考書…津森信也著「入門　企業財務　理論と実践」、東洋経済新報社（２，９００円）。
井手正介・高橋文郎著「ビジネス・ゼミナール　経営財務入門」日本経済新聞社（３，６００円）

学生へのメッセージ

経営財務論の議論は、経済学の分析枠組みを基礎に展開されることが多く、そのため、経営学部の学生にとっては比較的見慣れない専門用語が多く登場し、またかなり難解な内容も含まれることをあらかじめ念頭においておくこと。従って可能な限りわかり易い講義を心がけるつもりである。電卓は常に持参すること。私語は他の熱心な受講者の迷惑となることから絶対に慎むこと。質問は大いに歓迎する。

関連科目

企業簿記、ミクロ経済学、財務会計論、金融論、経営分析論、会計情報論など

担当者の研究室等

１１号館８階（高尾研究室）

備考

講義の内容が前後するなど若干の変更等がある場合は、可能な限り事前に伝える。原則として講義資料はほぼ講義２～３回分について１回のペースで配布する。最後まで終了しなかった講義資料は翌週に必ず持参することが必要である。また欠席した場合の過去の配布資料の提供にはどのような理由であれ応じないので、注意すること。

経営財務論II
Business Finance II

高　尾　裕　二（タカオ　ヒロジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

一般に企業は、ヒト、モノ、カネ、情報から構成されるといわれることがある。経営財務論（最近では、「コーポレート・ファイナンス」とよばれることが多い）は、株主の立場に立って、これら４つの企業構成要素のうち、主に、カネ（資金）の観点から企業の行動を分析し、どのような資金の調達と運用が企業価値の創造に結びつくのかを検討する経営学関連の主要な領域の一つである。経営財務論Ⅱでは、経営財務論Ⅰの学習した知識を前提として、（１）企業の投資行動、（２）企業の資金調達と資本構成、（３）企業の配当政策、を順次取り上げ、それらが企業価値や株主価値にどのような影響を与えるのかという観点から検討する。本講義の目標は、現在の企業行動を理解するうえで必要不可欠な知識や分析手段となっているこれらの議論を十分に理解し体得することである。

授業方法と留意点

配布する講義資料に沿って講義を進める。経営財務論における論点を十分に理解するためには、実際に数値例に取り組み、自分自身で計算してみることが不可欠であり、また早道である。必要に応じて演習問題を適宜配布し、またそれらの演習問題に取り組む時間を可能な限り与えたいと考えているので、（講義時間内に）それらの問題に熱心に取り組み、疑問があれば質問すること。私語を慎み、真面目な態度で講義に臨むこと。

科目学習の効果（資格）

企業への就職希望にとって必要な知識であり、専門的職業人（とくに公認会計士、証券アナリストなど）の資格取得に関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 イントロダクション－経営財務論（コーポレート・ファイナンス）とは何か

【内容・方法　等】 経営財務論の目的を理解し、特に経営財務論Ⅱで取り上げられる主要な論点を概観する。加えて、授業の進め方、評価方法等について説明する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。質問は大いに歓迎する。

第２回 【授業テーマ】 企業の投資決定と正味現在価値（ＮＰＶ）

【内容・方法　等】 企業の投資決定の判断基準として用いられる「正味現在価値」（ＮＰＶ）の意味を理解するとともに、企業の投資決定が、正味現在価値法を用いて、具体的にどのように行われるのかを検討する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第３回 【授業テーマ】 正味現在価値法（ＮＰＶ法）の検討（１）

【内容・方法　等】 設例にもとづいて、正味現在価値法（ＮＰＶ法）の具体的な利用方法を改めて理解するとともに、企業の投資決定ルールとしての正味現在価値（ＮＰＶ）法の特徴を探る。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第４回 【授業テーマ】 正味現在価値法（ＮＰＶ法）の検討（２）

【内容・方法　等】 設例にもとづいて、前回の講義内容とは異なり、「株主価値」への影響という観点から、企業の投資決定ルールとしての正味現在価値（ＮＰＶ）法の特徴を改めて探る。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第５回 【授業テーマ】 もう一つの投資決定基準－内部収益率法（ＩＲＲ法）

【内容・方法　等】 正味現在価値法（ＮＰＶ法）とともに、企業の投資決定基準とされる内部収益率法（ＩＲＲ法）を理解する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第６回 【授業テーマ】 正味現在価値法（ＮＰＶ法）と内部収益率法（ＩＲＲ法）の比較検討

【内容・方法　等】 二つの主要な企業の投資決定基準である正味現在価値法（ＮＰＶ法）と内部収益率法（ＩＲＲ法）を比較し、その長所・短所を検討する。加えて、実社会において用いられている、これら二つ以外の投資決定ルールについても簡単に取り上げる。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第７回 【授業テーマ】 リアル・オプション分析の基礎

【内容・方法　等】 リアル・オプションの意義を説明するとともに、企業の投資決定判断において、リアル・オプション分析が用いられる場合の企業投資判断への影響を検討する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第８回 【授業テーマ】 整理と復習（１）－企業の投資決定ルール

【内容・方法　等】 企業の投資決定基準に関する各論点について、改めて整理を行い、復習・確認し、これらの意義と計算方法の確固とした理解を目指す。

【事前・事後学習課題】 これまでの講義において配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について各自整理しておくこと。質問を受ける。

第９回 【授業テーマ】 企業の資金調達と投資行動

【内容・方法　等】 経営財務論Ⅱの後半の主要テーマの一つは企業の資金調達行動である。資金調達行動の分析に際して、まずは投資行動との関係から、資金調達のあり方が企業の投資行動に影響するのかどうかを考えてみる。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第10回 【授業テーマ】 企業の資本構成と企業価値（１）

【内容・方法　等】 前回の講義内容に続いて、企業の資金調達行動の違い、よって資本構成のあり方は「企業価値」に影響するのかどうかに関する有名な「MMの無関連命題」を説明する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第11回 【授業テーマ】 企業の資本構成と企業価値（２）

【内容・方法　等】 今回は、企業の資金調達が「株主価値」にどのような影響を与えるのかという観点から、企業の資金調達を検討する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第12回 【授業テーマ】 企業の最適資本構成

【内容・方法　等】 これまでの企業の資金調達行動の検討を踏まえたうえで、法人税の存在といった現実的・制度的な状況のもとで、企業にとって望ましい資本構成のあり方を検討する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第13回 【授業テーマ】 企業の配当政策（１）

【内容・方法　等】 企業の配当政策が「株主価値」にどのように影響するのかについて、有名な「MMの配当政策無関連命題」を取り上げ、検討する。

【事前・事後学習課題】 配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　51　2014/08/21　14:23:18

第14回　【授業テーマ】　企業の配当政策（２）
【内容･方法　等】　今回は、企業の配当政策が「株主価値」に与える影響について、法人税の存在といった現実的・制度的な状況のもとで、改めて検討する。
【事前･事後学習課題】　配布資料をしっかり理解すること。演習問題に取り組む。質問は大いに歓迎する。

第15回　【授業テーマ】　整理と復習（２）－企業の資金調達と配当政策
【内容･方法　等】　後半の主要なテーマである企業の資金調達行動と配当政策、さらに経営財務論Ⅱで取り上げたすべての論点の整理と復習・確認
【事前･事後学習課題】　これまでの講義全体を通じて（特に、後半のテーマであるに関するする企業の資金調達と配当政策講義）において配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について整理しておくこと。質問を受ける。、

評価方法（基準）
期末テストの結果（95％）と１回～２回程度の演習問題の提出（提出の場合は事前に通知する）（5％）にもとづいて評価する。

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…津森信也著「入門　企業財務　理論と実践」、東洋経済新報社（２，９００円）。
井手正介・高橋文郎著「ビジネス・ゼミナール　経営財務入門」日本経済新聞社（３，６００円）

学生へのメッセージ
経営財務論の議論は、経済学の分析枠組みを用いて展開されることが多く、そのため、経営学部の学生にとっては比較的見慣れない専門用語が多く登場し、また一部難解な内容も含まれることをあらかじめ念頭においておくこと。従って可能な限りわかり易い講義を心がけるつもりである。電卓は常に持参すること。私語は他の熱心な受講者の迷惑となることから絶対に慎むこと。質問は大いに歓迎する。

関連科目
企業簿記、ミクロ経済学、財務会計論、金融論、経営分析論、会計情報論など

担当者の研究室等
１１号館８階（高尾研究室）

備考
講義の内容が前後するなど若干の変更等がある場合は、可能な限り事前に伝える。原則として講義資料はほぼ講義２～３回分について１回のペースで配布する。最後まで終了しなかった講義資料は翌週に必ず持参することが必要である。また欠席した場合の過去の配布資料の提供にはどのような理由であれ応じないので、注意すること。

管理会計論I
Management AccountingI

三　木　僚　祐（ミキ　リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
管理会計は、企業内部の経営管理者が適切な意思決定や業績管理を行う上で役に立つ会計情報の提供を目的とする会計領域である。本講義では、管理会計とは何かについて学んだ上で、損益分岐点分析や標準原価計算など伝統的な管理会計の諸技法について学んでいく。本講義の到達目標は、管理会計の基礎的事項について一通り理解することである。

授業方法と留意点
講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テストを行う予定である。

科目学習の効果（資格）
日商簿記検定2級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容･方法　等】　授業内容、授業の進め方、評価基準等についての説明
【事前･事後学習課題】　――――

第２回　【授業テーマ】　管理会計の意義(1)
【内容･方法　等】　企業会計とは何か、財務会計と管理会計の相違
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.3-10を読んでおくこと。

第３回　【授業テーマ】　管理会計の意義(2)
【内容･方法　等】　管理会計の体系(業績管理会計と意思決定会計)
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.10-20を読んでおくこと。

第４回　【授業テーマ】　原価計算の基礎知識
【内容･方法　等】　原価計算の目的、原価計算の種類、原価要素、原価計算の手続き
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.32-43を読んでおくこと。

第５回　【授業テーマ】　予算管理(1)
【内容･方法　等】　利益管理の意義、予算管理の意義、予算管理の機能
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.47-50を読んでおくこと。

第６回　【授業テーマ】　予算管理(2)
【内容･方法　等】　予算の種類と体系、予算の編成、参加的予算管理
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.51-57を読んでおくこと。

第７回　【授業テーマ】　予算管理(3)
【内容･方法　等】　予算統制、予算管理の新しい展開
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.57-60を読んでおくこと。

第８回　【授業テーマ】　CVP分析
【内容･方法　等】　CVP分析の意義、CVP分析の計算方法、原価の固変分解
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.61-68を読んでおくこと。

第９回　【授業テーマ】　直接原価計算
【内容･方法　等】　直接原価計算の意義、直接原価計算の計算構造、直接原価計算と経営管理
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.68-77を読んでおくこと。

第10回　【授業テーマ】　標準原価計算(1)
【内容･方法　等】　原価管理の意味、標準原価計算の意義と目的、標準原価の種類
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.78-82を読んでおくこと。

第11回　【授業テーマ】　標準原価計算(2)
【内容･方法　等】　原価標準の設定、原価差異の分析
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.82-91を読んでおくこと。

第12回　【授業テーマ】　業務執行的意思決定(1)
【内容･方法　等】　経営意思決定の意義と分類、差額原価収益分析
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.109-113を読んでおくこと。

第13回　【授業テーマ】　業務執行的意思決定(2)
【内容･方法　等】　業務執行的意思決定の計算例
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.113-121を読んでおくこと。

第14回　【授業テーマ】　戦略的意思決定
【内容･方法　等】　戦略的意思決定の必要性、設備投資の経済性計算
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.122-133を読んでおくこと。

第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容･方法　等】　授業全体のまとめ
【事前･事後学習課題】　今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
定期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等
教科書…山田庫平、吉村聡編著「経営管理会計の基礎」東京経済情報出版、3,360円(税込)、2006年
参考書…浅田孝幸、頼誠、鈴木研一、中川優、佐々木郁子著「管理会計・入門 第３版– 戦略経営のためのマネジリアル・アカウンティング」有斐閣、2,310円(税込)、2011年

学生へのメッセージ
授業中の私語は周りの受講生の迷惑になりますので慎んで下さい。また、講義の内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目
企業簿記、応用簿記、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、経営分析論Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
11号館7階(三木准教授室)

管理会計論II
Management AccountingII

三　木　僚　祐（ミキ　リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　52　　2014/08/21　14:23:19

管理会計は、企業内部の経営管理者が適切な意思決定や業績管理を行う上で役に立つ会計情報の提供を目的とする会計領域である。本講義では、管理会計の基礎的事項を理解していることを前提にして、1980年代後半から登場してきた戦略管理会計と呼ばれる新しい管理会計の領域について学習していく。本講義の到達目標は、戦略管理会計の意義および戦略管理会計で用いられる諸技法について理解することである。

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テスト行う予定である。

科目学習の効果（資格）

日商簿記検定1級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容･方法　等】　授業内容、授業の進め方、評価基準等の説明
【事前･事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　戦略管理会計の展開(1)
【内容･方法　等】　企業環境の変化と管理会計、経営戦略と戦略マネジメント
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.141-150を読んでおくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　戦略管理会計の展開(2)
【内容･方法　等】　戦略管理会計の目的とそれを実現する手法
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.150-156を読んでおくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　ライフサイクル・コスティング(1)
【内容･方法　等】　ライフサイクル・コスティングの意義、製品ライフサイクルとライフサイクル・コスト
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.157-161を読んでおくこと。

第５回　**【授業テーマ】**　ライフサイクル・コスティング(2)
【内容･方法　等】　戦略的ライフサイクル・コストマネジメント
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.161-168を読んでおくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　原価企画(1)
【内容･方法　等】　原価企画の生成とその背景、原価企画の手続き
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.169-176を読んでおくこと。

第７回　**【授業テーマ】**　原価企画(2)
【内容･方法　等】　原価企画の実施状況、原価企画の課題
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp176.-180を読んでおくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　ABCとABM(1)
【内容･方法　等】　ABC台頭の背景、ABCの意義、ABCの計算構造
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.181-192を読んでおくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　ABCとABM(2)
【内容･方法　等】　ABMの意義、活動分析、コスト・ドライバー分析、業績分析、ABCとABMの今後の展開
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.192-196を読んでおくこと。

第10回　**【授業テーマ】**　品質原価計算(1)
【内容･方法　等】　品質原価計算の必要性、品質の意義、品質コストの定義・分類
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.197-201を読んでおくこと。

第11回　**【授業テーマ】**　品質原価計算(2)
【内容･方法　等】　品質コストの測定と報告、品質原価計算のトレードオフ関係
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.201-208を読んでおくこと。

第12回　**【授業テーマ】**　BSCとEVA(1)
【内容･方法　等】　業績評価指標の多元化、BSCの意義
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.209-212を読んでおくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　BSCとEVA(2)
【内容･方法　等】　BSCの基本構造、因果連鎖、戦略マップ
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.213-218を読んでおくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　BSCとEVA(3)
【内容･方法　等】　EVAの意義、EVAの特徴
【事前･事後学習課題】　事前に教科書pp.218-222を読んでおくこと。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容･方法　等】　授業全体のまとめ
【事前･事後学習課題】　今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）

定期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等

教科書…山田庫平、吉村聡編著「経営管理会計の基礎」東京経済情報出版、3,360円、2006年
参考書…浅田孝幸、頼誠、鈴木研一、中川優、佐々木郁子著「管理会計・入門 第３版– 戦略経営のためのマネジリアル・アカウンティング」有斐閣、2,310円(税込)、2011年

学生へのメッセージ

授業中の私語は周りの受講生の迷惑になりますので慎んで下さい。また、講義の内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目

企業簿記、応用簿記、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、経営分析論Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

11号館7階(三木准教授室)

財務会計論I
Financial Accounting I

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会計とは、経済主体の経済活動を一定のルールに従って、計数的に認識し、測定し、報告することである。このルールとは、商法、証券取引法等の法律の他に、各種の省令や通達および会計基準や会計慣行を意味している。今日、企業を取り巻く環境の多様化、国際化に伴い、この会計ルールもより複雑に、国際的統一化の方向へ変化している。財務諸表を理解するためには、この会計ルールの理解が不可欠となる。この講義では、会計情報開示制度と財務諸表の作成方法に重点を置き、財務会計の基礎的知識の修得に努める。

授業方法と留意点

テキストや配布資料にに基づいた講義方式。講義内容を確認するために、原則的には毎回授業の最後に練習問題を解いて提出する。

科目学習の効果（資格）

簿記検定試験２級以上、税理士試験、公認会計士試験には不可欠である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　会計の意義
【内容･方法　等】　財務会計の目的と役割
【事前･事後学習課題】　当日配布プリントと板書を整理する

第２回　**【授業テーマ】**　会計情報開示制度①
【内容･方法　等】　会計制度の変遷、
【事前･事後学習課題】　当日配布プリントと板書を整理する

第３回　**【授業テーマ】**　会計情報開示制度②
【内容･方法　等】　新会計基準と国際会計基準
【事前･事後学習課題】　練習問題１

第４回　**【授業テーマ】**　企業会計原則
【内容･方法　等】　企業会計原則ー一般原則と会計公準ー
【事前･事後学習課題】　練習問題２

第５回　**【授業テーマ】**　２つの損益計算方法
【内容･方法　等】　複式簿記と貸借対照表および損益計算書
【事前･事後学習課題】　練習問題３

第６回　**【授業テーマ】**　まとめと確認テスト
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　１回～５回までの資料、練習問題
教科書P17-P35

第７回　**【授業テーマ】**　資産会計①
【内容･方法　等】　貸借対照表の役割、貸借対照表の概観と表示原則
【事前･事後学習課題】　練習問題４

第８回　**【授業テーマ】**　資産会計②
【内容･方法　等】　資産の本質と分類、評価
【事前･事後学習課題】　連取問題５

第９回　**【授業テーマ】**　資産会計③
【内容･方法　等】　流動資産、金融商品の処理
【事前･事後学習課題】　練習問題６

第10回　**【授業テーマ】**　資産会計④
【内容･方法　等】　有形固定資産の処理
【事前･事後学習課題】　練習問題７

第11回　**【授業テーマ】**　資産会計⑤
【内容･方法　等】　無形固定資産、のれん、ソフトウェアの処理
【事前･事後学習課題】　練習問題８

第12回　**【授業テーマ】**　資産会計⑥
【内容･方法　等】　投資その他の資産の処理
【事前･事後学習課題】　練習問題９

第13回　**【授業テーマ】**　資産会計⑦

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　53　　2014/08/21　14:23:19

【内容・方法　等】　繰延資産の処理
【事前・事後学習課題】　練習問題１０
第14回　【授業テーマ】　資産会計⑧
【内容・方法　等】　リース会計
【事前・事後学習課題】　練習問題１１
第15回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　７回～１４回の練習問題
教科書P37~P52

評価方法（基準）
定期試験の評価（５０％）、課題（練習問題）提出（３０％）、中間テスト（２０％）

教材等
教科書…「会計情報分析」鳥邊・東原 中央経済社（2,800円）
参考書…適宜、指定する。

学生へのメッセージ
講義に出席して、その後必ず教科書を読み直して、講義の内容を整理して理解してください。その上で理解できないところは、どんどん質問して下さい。

関連科目
企業簿記システム、会計情報論、管理会計論、経営分析論、国際会計論、税務会計論

担当者の研究室等
11号館8階(佐井教授室)

財務会計論II
Financial Accounting II

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
財務会計論Ⅰに引き続き、貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書、キヤシュ・フロー計算書、についてその意義と内容を解説する。また、例えば退職給付会計では、年金の積立不足問題、税効果会計では繰延税金資産の資産性についての問題点及び会計処理方法が及ぼす影響等、具体的な事例を紹介しながら説明していく。

授業方法と留意点
テキストや配布資料に基づいた講義方式　その日の講義内容を確認するために、最後に練習問題を解いて提出する。
財務会計論Ⅰからの続きですから、必ず財務会計論Ⅰを受講して下さい。

科目学習の効果（資格）
簿記検定２級以上、税理士試験、公認会計士試験には不可欠である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　負債会計①
【内容・方法　等】　負債の本質と分類
【事前・事後学習課題】　練習問題１
第２回　【授業テーマ】　負債会計②
【内容・方法　等】　引当金の処理、退職給付引当金
【事前・事後学習課題】　練習問題２
第３回　【授業テーマ】　純資産の会計①
【内容・方法　等】　会計理論上の資本概念と資本の分類
【事前・事後学習課題】　練習問題３
第４回　【授業テーマ】　純資産の会計②
【内容・方法　等】　企業会計上の資本の分類、純資産と資本
【事前・事後学習課題】　練習問題４
第５回　【授業テーマ】　純資産の会計③
【内容・方法　等】　資本金と剰余金
【事前・事後学習課題】　練習問題５
第６回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　１回～５回の練習問題と教科書
P52～P６６
第７回　【授業テーマ】　損益計算書①
【内容・方法　等】　損益計算書の役割と概観
【事前・事後学習課題】　練習問題６
第８回　【授業テーマ】　損益計算書②
【内容・方法　等】　費用収益の対応原則と期間配分
【事前・事後学習課題】　練習問題７
第９回　【授業テーマ】　損益計算書③
【内容・方法　等】　費用収益の認識・測定原則
【事前・事後学習課題】　練習問題８
第10回　【授業テーマ】　損益計算書④
【内容・方法　等】　経常損益計算
【事前・事後学習課題】　練習問題９
第11回　【授業テーマ】　損益計算書⑤
【内容・方法　等】　特別損益計算
【事前・事後学習課題】　練習問題１０
第12回　【授業テーマ】　税効果会計①
【内容・方法　等】　税効果会計とは、企業会計と税務会計
【事前・事後学習課題】　練習問題１１
第13回　【授業テーマ】　税効果会計②
【内容・方法　等】　一時差異と永久差異
【事前・事後学習課題】　練習問題１２
第14回　【授業テーマ】　包括利益計算書
【内容・方法　等】　包括利益とは
【事前・事後学習課題】　練習問題１３
第15回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　５回～１３回の練習問題、教科書
P67～P82

評価方法（基準）
定期試験の評価（５０％）、課題（練習問題）の提出（３０％）、中間テスト（２０％）

教材等
教科書…「会計情報分析」　鳥邊　東原　中央経済社　（２，８００円）
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ
講義に出席して、ノートをとり、その後教科書を読み直して下さい。わからないところは、どんどん質問して下さい。

関連科目
企業簿記システム、会計情報論、管理会計論、経営分析論、国際会計論、税務会計論、財務会計論Ⅰ

担当者の研究室等
11号館8階(佐井教授室)

原価計算論I
Cost Accounting I

三　木　僚　祐（ミキ　リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
製造業を営む企業にとって、原価計算はなくてはならない計算技術である。製造業においては、原価計算がなければ、財務諸表作成だけでなく、価格決定など様々な経営管理上の課題も解決することができない。本講義では、原価とは何か、原価計算の目的は何か、原価計算はどのように行われていくのかなど原価計算を理解する上で必要不可欠な基礎知識を身につけてもらうことを目標として授業を進める。

授業方法と留意点
講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テストを行う予定である。

科目学習の効果（資格）
日商簿記検定２級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の内容、授業の進め方、評価基準等についての説明
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　原価計算の目的(1)
【内容・方法　等】　財務諸表作成目的、原価管理目的
【事前・事後学習課題】　事前に教科書pp.3-12を読んでおくこと。
第３回　【授業テーマ】　原価計算の目的(2)
【内容・方法　等】　利益管理目的、経営意思決定目的
【事前・事後学習課題】　事前に教科書pp.12-15を読んでおくこと。
第４回　【授業テーマ】　原価計算の種類
【内容・方法　等】　原価計算制度と特殊原価調査
【事前・事後学習課題】　事前に教科書pp.16-20を読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】　原価概念(1)
【内容・方法　等】　広義における原価の一般概念、原価計算制度における原価の一般概念、原価計算制度における原価の諸概念
【事前・事後学習課題】　事前に教科書pp.21-28を読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】　原価概念(2)
【内容・方法　等】　特殊原価調査における原価の諸概念
【事前・事後学習課題】　事前に教科書pp210-212を読んでおくこと。
第７回　【授業テーマ】　原価要素
【内容・方法　等】　形態別分類、製品との関連による分類、機能別分類、操業度との関連における分類、原価の管理可能性にもとづく分類

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　54　　2014/08/21　14:23:19

【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.28-32を読んでおくこと。

第８回 【授業テーマ】 原価計算の手続(1)
【内容・方法 等】 原価計算の手続過程、原価単位、原価計算期間
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.34-36を読んでおくこと。

第９回 【授業テーマ】 原価計算の手続(2)
【内容・方法 等】 個別原価計算、総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.36-38を読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 原価管理のための原価計算(1)
【内容・方法 等】 標準原価計算の意義、標準原価の種類、原価標準の設定
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.157-165を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 原価管理のための原価計算(2)
【内容・方法 等】 標準原価差異の計算と分析(直接材料費・直接労務費)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.167-174を読んでおくこと。

第12回 【授業テーマ】 原価管理のための原価計算(3)
【内容・方法 等】 標準原価差異の計算と分析(製造間接費)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.175-179を読んでおくこと。

第13回 【授業テーマ】 利益管理のための原価計算(1)
【内容・方法 等】 損益分岐点分析の意義、損益分岐点の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.183-190を読んでおくこと。

第14回 【授業テーマ】 利益管理のための原価計算(2)
【内容・方法 等】 原価の固変分解、直接原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.190-207を読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
定期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等
教科書…山田庫平、吉村聡編著「原価計算の基礎」東京経済情報出版3,360円(税込)2008年
参考書…山田庫平編著「基本原価計算用語辞典」白桃書房、2,000円(税込)2004年

学生へのメッセージ
授業中の私語は周りの受講生の迷惑になるので絶対に慎んで下さい。また、講義内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目
企業簿記、応用簿記、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、管理会計論Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
11号館7階(三木准教授室)

原価計算論II
Cost Accounting II

三 木 僚 祐（ミキ リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
原価計算論Ⅰで学んだことを踏まえて、本講義では財務諸表作成のための原価計算の具体的な手続過程について学習していく。原価計算は、費目別計算、部門別計算、製品別計算の3つの手続過程を経て行われるが、本講義では、3つの手続過程の基礎的な事項について理解することを目標として授業を進める。

授業方法と留意点
講義形式で授業を進める。また、受講者の理解度を知るため、毎回小テストを行う予定である。

科目学習の効果（資格）
日商簿記検定2級以上や公認会計士試験の受験のための基礎となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等の説明
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 【授業テーマ】 費目別計算(1)
【内容・方法 等】 材料費の分類、材料購入原価の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.41-52を読んでおくこと。

第３回 【授業テーマ】 費目別計算(2)
【内容・方法 等】 材料消費量の計算、材料消費価格の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.52-68を読んでおくこと。

第４回 【授業テーマ】 費目別計算(3)
【内容・方法 等】 労務費の分類、支払賃金の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.69-75を読んでおくこと。

第５回 【授業テーマ】 費目別計算(4)
【内容・方法 等】 消費賃金の計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.75-82を読んでおくこと。

第６回 【授業テーマ】 費目別計算(5)
【内容・方法 等】 経費の分類、経費の計算、費目別計算のまとめ
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.83-86を読んでおくこと。

第７回 【授業テーマ】 部門別計算(1)
【内容・方法 等】 部門別計算の目的、原価部門の設定、部門に集計される原価要素の範囲
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.87-91を読んでおくこと。

第８回 【授業テーマ】 部門別計算(2)
【内容・方法 等】 部門別計算の手続き(部門費の第1次集計)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp91-95を読んでおくこと。

第９回 【授業テーマ】 部門別計算(3)
【内容・方法 等】 部門別計算の手続き(部門費の第2次集計)
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp95-102を読んでおくこと。

第10回 【授業テーマ】 製品別計算(1)
【内容・方法 等】 個別原価計算の意義、個別原価計算の手続
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.103-110を読んでおくこと。

第11回 【授業テーマ】 製品別計算(2)
【内容・方法 等】 総合原価計算の意義、単純総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.118-127を読んでおくこと。

第12回 【授業テーマ】 製品別計算(3)
【内容・方法 等】 工程別総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.132-136を読んでおくこと。

第13回 【授業テーマ】 製品別計算(4)
【内容・方法 等】 組別総合原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.140-143を読んでおくこと。

第14回 【授業テーマ】 製品別計算(5)
【内容・方法 等】 等級別総合原価計算、連産品の原価計算
【事前・事後学習課題】 事前に教科書pp.143-153を読んでおくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今まで学んできた内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
定期試験の点数(70点)と毎回の授業で行う小テストの合計点数(30点)に基づいて評価する。

教材等
教科書…山田庫平、吉村聡編著「原価計算の基礎」東京経済情報出版3,360円(税込)2008年
参考書…山田庫平編著「基本原価計算用語辞典」白桃書房、2,000円(税込)、2004年

学生へのメッセージ
授業中の私語は周りの受講者の迷惑になるので絶対に慎んで下さい。また、講義内容で分からないところがあれば、遠慮なく質問して下さい。

関連科目
企業簿記、応用簿記、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、管理会計論Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等
11号館7階(三木准教授室)

経営分析論I
Business Analysis I

高 尾 裕 二（タカオ ヒロジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
企業の現状を知り、企業の今後の展開を予測するために、また

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 55 2014/08/21 14:23:19

企業の価値評価の手掛かりを得るために、貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書といった財務諸表を中核に、企業に関する各種の資料をさまざまな角度から検討するための重要かつ不可欠な分析手法を取り上げ、検討するのが経営分析論（「財務諸表分析」ともよばれる）の目的である。このように経営分析論は、会計情報の利用・分析という意味では、会計情報の作成から始まる会計学の最終段階の領域であるといえる。
到達目標は、企業の現状（企業ファンダメンタルズ）を理解するうえて有意義な経営分析の基本的な手法を体得し、自ら現実の企業を分析することのできる能力を身につけることである。

授業方法と留意点

配布する講義資料に沿って講義を進める。経営分析論の各種の分析手法を理解する早道は、財務諸表のデータを用いて自ら実際に分析してみることである。それゆえ、適宜、企業の財務諸表データを分析するための演習問題を配布し、それらの問題に取り組む時間を可能な限り与えたいと考えている。（講義時間において）それらの問題に熱心に取り組み、疑問があればその都度質問すること。私語を慎み、真面目な受講態度で講義に臨むこと。

科目学習の効果（資格）

企業への就職希望者、専門的職業人（とくに中小企業診断士、証券アナリストなど）の資格取得に関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション－経営分析とは
【内容・方法　等】　経営分析の意義と目的を理解するため、経営分析論で取り上げる主要なテーマについて概説する。加えて、授業の進め方、評価方法などについても説明する。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。どのような質問であれ質問は大いに歓迎する。

第２回　**【授業テーマ】**　貸借対照表を読む（１）
【内容・方法　等】　経営分析の主な分析対象となる財務諸表のうち、貸借対照表とは企業のいかなる側面に関する情報を提供するものであるのかを改めて復習し、貸借対照表の見方を説明する。今回の講義の焦点は「資産」である。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第３回　**【授業テーマ】**　貸借対照表を読む（２）
【内容・方法　等】　前回の講義に引き続いて、貸借対照表とは企業のいかなる側面に関する情報を提供するものであるのかを改めて復習し、貸借対照表の見方を説明する。今回の講義の焦点は「負債」・「純資産」である。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第４回　**【授業テーマ】**　貸借対照表データの基本分析
【内容・方法　等】　貸借対照表データに関する主要な分析手法（主に「安全性分析」に含められる財務比率分析）を説明したうえで、配布した資料にもとづいて、実際に財務比率等を計算し、計算した数値の意味を考えてみる。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第５回　**【授業テーマ】**　損益計算書を読む
【内容・方法　等】　経営分析の主な分析対象となる財務諸表のうち、損益計算書とは企業活動のいかなる側面に関する情報を提供するものであるのかを改めて復習し、損益計算書の見方を説明する。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第６回　**【授業テーマ】**　損益計算書データの基本分析
【内容・方法　等】　損益計算書データに関する主要な分析手法（主に「収益性分析」に含められる財務比率分析）を説明したうえで、配布した資料にもとづいて、実際に財務比率等を計算し、計算した数値の意味を考えてみる。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第７回　**【授業テーマ】**　キャッシュフロー計算書を読む
【内容・方法　等】　経営分析の主な分析対象となる財務諸表のうち、キャッシュフロー計算書とは企業活動のいかなる側面に関する情報を提供するものであるのかを改めて復習し、キャッシュフロー計算書の見方を説明する。加えて、経営分析においてしばしば利用される「株主資本等変動計算書」・「製造原価報告書」についても取り上げ解説する。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第８回　**【授業テーマ】**　キャッシュフロー計算書データの基本分析
【内容・方法　等】　キャッシュフロー計算書データに関する主要な分析手法を説明したうえで、配布した資料にもとづいて、実際に財務比率等を計算し、計算した数値の意味を考えてみる。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第９回　**【授業テーマ】**　整理と復習（１）
【内容・方法　等】　前半の講義の主要な内容を改めて整理し復習する（講義の進捗に応じて前後することがある）。
【事前・事後学習課題】　これまで配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について整理しておくこと。質問を受ける。

第10回　**【授業テーマ】**　統合的財務比率としての資本利益率
【内容・方法　等】　前半の講義では、個々の財務表のデータの分析手法（主に財務比率分析）を検討した。今回は、個々の財務表のデータを相互に結びつけた統合的・総合的な財務比率に焦点をあて検討する。加えて、算定された数値の意味を考えてみる。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第11回　**【授業テーマ】**　効率性分析の基礎
【内容・方法　等】　統合的財務比率である資本利益率を分解することによって初めて登場することになる「回転率」に焦点を当て、活動性分析（効率性分析）の解説する。加えて、算定された数値の意味を考えてみる。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第12回　**【授業テーマ】**　生産性分析の基礎（１）
【内容・方法　等】　安全性分析、収益性分析、効率性分析と並んで、経営分析論における主要な分析視点として企業の「付加価値」を用いた生産性分析がある。今回は主に生産性分析で用いられる付加価値の意味とその算定方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第13回　**【授業テーマ】**　生産性分析の基礎（２）
【内容・方法　等】　前回の講義に続き、付加価値を用いた、企業の生産性と成果分配に関する財務比率を取り上げ、説明する。加えて、算定された数値の意味を考えてみる。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第14回　**【授業テーマ】**　資本市場ベースの分析指標
【内容・方法　等】　株式上場企業には、財務諸表データに加えてもう一つ、「株価」という企業価値を評価する重要な指標が存在する。これまで取り上げてきた財務諸表データを用いた各種の財務比率と資本市場で形成される株価の関係を念頭においた主要な「資本市場ベースの分析指標」を取り上げ、その意味を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第15回　**【授業テーマ】**　整理と復習（２）
【内容・方法　等】　後半の講義の主要な内容を改めて整理し復習する。
【事前・事後学習課題】　これまでの講義全体（特に後半の講義）においてで配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について整理しておくこと。質問を受ける。

評価方法（基準）

学期末のテストの結果（95％）と１～２回程度の演習問題の提出（提出の場合は事前に通知する）（5％）にもとづいて評価する。

教材等

教科書…とくに指定しない。
参考書…日本経済新聞社編「財務諸表の見方」日本経済新聞出版会（８６０円）
渋谷武夫著「ベーシック　経営分析」中央経済社（２，６００円）
森田松太郎著「ゼミナール　経営分析入門」日本経済新聞出版会（３，２００円）

学生へのメッセージ

経営分析論での主な作業は、貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書といった財務諸表の内容を理解したうえで、それらのデータを分析することである。そえゆえ、「財務諸表に関する基礎的な知識をある程度有している」という前提で講義が開始される。もとより本講義においても財務諸表の内容について改めて時間を割いて説明するが、履修に際しては、この点をあらかじめ念頭においておくこと。電卓は常に持参すること。熱心かつ真面目な態度で授業に臨み、私語は他の受講生の迷惑となることから絶対に慎むこと。質問は大いに歓迎する。

関連科目

企業簿記、財務会計論、管理会計論、会計情報論、企業分析（財務戦略ケース分析）、経営財務論。

担当者の研究室等

１１号館８階（高尾研究室）

備考

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　56　2014/08/21　14:23:19

講義内容が前後するなど若干の変更等が必要となる場合には、可能な限り事前に伝える。

経営分析論II
Business Analysis II

高　尾　裕　二（タカオ　ヒロジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経営分析論（ないし経営分析論Ⅰ）の基本的な知識を前提に、上場企業の財務データに経営分析や企業評価に向けた各種の分析手法を実際に適用することによって、企業の（主に財務的な）強み・弱みを把握し、企業の経営戦略の評価を試みる。加えて、改善点を模索するとともに企業の今後を予測する。

到達目標は、現実の世界に適用される場合の各種分析手法の意義と限界を理解するとともに、自らの手で現実の企業を分析し評価する実践的な能力を養うことである。

授業方法と留意点

配布する講義資料に沿って講義を進める。主な作業は、経営分析・企業評価の各種分析手法を正確に理解し具体的に適用するという側面とそれらの手法を適用して得られた結果を受講生自ら適切に評価するという側面の二つから構成される。ただし、経営分析論（ないし経営分析論Ⅰ）とは異なり、本科目では、どちらかといえば後者が重視されることに留意する。適宜、演習問題を配布し、これら二つの側面に取り組む時間を可能な限り与えたいと考えている。（講義時間において）それらの問題に熱心に取り組み、疑問があればその都度質問すること。私語を慎み、真面目な受講態度で講義に臨むこと。

科目学習の効果（資格）

企業への就職希望者、専門的職業人（とくに中小企業診断士、証券アナリストなど）の資格取得に関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション

【内容・方法　等】　本講義で取り上げる主要なテーマについて概説する。加えて、授業の進め方、評価方法などについても説明する。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。どのような質問であれ質問は大いに歓迎する。

第２回　**【授業テーマ】**　個別財務諸表と連結財務諸表

【内容・方法　等】　分析のために利用する財務データの中心である現実の企業の財務諸表は連結財務諸表であることから、まずは、連結財務諸表固有の項目（セグメント情報を含む）について概観する。近時、作成が強制された包括利益計算書についても合わせて説明する。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第３回　**【授業テーマ】**　企業の強さ・弱さをどのように把握するのか（１）

【内容・方法　等】　企業の総合力をどのようにとらえるのか、企業価値評価はなぜ必要なのか、財務的な視点から企業はどのように分析されるのか、など、企業の強さ・弱さを適切に把握する意味と方法を概観する。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第４回　**【授業テーマ】**　企業の強さ・弱さをどのように把握するのか（２）

【内容・方法　等】　企業の総合力をとらえるうえで重要な経営分析手法について、収益性、安全性（流動性）、生産性、効率性などの各視点およびそれらの相互の関係について説明する。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第５回　**【授業テーマ】**　企業の収益性をみる（１）

【内容・方法　等】　企業の収益性分析に関する総合的な指標である資本利益率に焦点をあて、実際の上場企業の財務データを用いて分析し、取り上げた企業の収益力を比較検討する。加えて、企業の強み・弱みを把握し、企業戦略の改善点を模索する。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第６回　**【授業テーマ】**　企業の収益性をみる（２）

【内容・方法　等】　上場企業の財務データを用いて、今回は、企業利益の質を分析し、取り上げた企業間で比較検討する。加えて、企業の強み・弱みを把握し、企業戦略の改善点を模索する。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第７回　**【授業テーマ】**　企業の収益性をみる（３）

【内容・方法　等】　上場企業の財務データを用いて、今回は、企業グループの収益力という視点から、取り上げたライバル企業間で比較し、企業の特徴をとらえる。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第８回　**【授業テーマ】**　企業の収益性をみる（４）

【内容・方法　等】　上場企業の財務データを用いて、今回は、成長性の視点から、取り上げたライバル企業間で比較する。加えて、企業の強み・弱みを把握し、改善点を模索し、今後の企業成長の予測を試みる。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第９回　**【授業テーマ】**　整理と復習（１）

【内容・方法　等】　前半の講義の主要な内容を改めて整理し、復習する（講義の進捗に応じて前後することがある）。

【事前・事後学習課題】　これまで配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について整理しておくこと。質問を受ける。

第10回　**【授業テーマ】**　企業の安全性をみる（１）

【内容・方法　等】　上場企業の財務データを用いて、安全性という視点から、取り上げたライバル企業間同士比較し、各企業の特徴をとらえる。今回は、特に、「短期安全性」（流動性）に焦点をあて、企業の営業活動に注目する。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第11回　**【授業テーマ】**　企業の安全性をみる（２）

【内容・方法　等】　前回に引き続き、安全性という視点から、上場企業の財務データを用いて取り上げたライバル企業間同士比較する。今回は、特に、「長期安全性」（流動性）に焦点、各企業の資金調達行動の特徴をとらえる。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第12回　**【授業テーマ】**　企業の生産性をみる（１）

【内容・方法　等】　上場企業の財務データを用いて、付加価値概念を用いた、生産性という視点から、取り上げたライバル企業間同士比較し、各企業の特徴をとらえる。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第13回　**【授業テーマ】**　企業の生産性をみる（２）

【内容・方法　等】　前回の講義に続き、上場企業の財務データを用いて、付加価値概念を用いた生産性分析という視点から、取り上げたライバル企業間同士比較する。今回の焦点は、特に、企業の成果分配の特徴である。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第14回　**【授業テーマ】**　企業業績と株価

【内容・方法　等】　上場企業の財務データを用いて、これまでの講義の中心であった企業業績に関する各種の経営分析結果と資本市場における投資者の評価を照らし合わせ、経営者の経営戦略のあり方と投資者の企業評価の関係を考える。

【事前・事後学習課題】　配布資料をしっかり読み理解すること。演習問題に取り組む。いかなる質問であれ質問は大いに歓迎する。

第15回　**【授業テーマ】**　整理と復習（２）

【内容・方法　等】　後半の講義の主要な内容を改めて整理し、復習する。

【事前・事後学習課題】　これまでの講義全体（特に後半の講義）においてで配布した資料と演習問題を復習し、疑問点・理解不十分な箇所について整理しておくこと。質問を受ける。

評価方法（基準）

学期末のテストの結果（95%）と１～２回程度の演習問題の提出（提出の場合は事前に通知する）（5%）にもとづいて評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。

参考書…日本経済新聞社編「財務諸表の見方」日本経済新聞出版会（８６０円）
渋谷武夫著「ベーシック　経営分析」中央経済社（２，６００円）
森田松太郎著「ゼミナール　経営分析入門」日本経済新聞出版会（３，２００円）
伊藤邦雄著「ゼミナール　企業価値評価」日本経済新聞出版界（３，９００円）

学生へのメッセージ

本科目の重要な作業は、現実の企業の財務データを分析し、受

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　57　2014/08/21　14:23:20

講生自らの手で企業を評価してみることである。そえゆえ、「財務諸表や経営分析に関する基礎的な知識をある程度有している」という前提のもとで講義が開始されることになる。。もとより本科目においても経営分析の重要な手法などについて改めて時間を割いて説明するが、履修に際しては、この点をあらかじめ念頭においておくこと。電卓は常に持参すること。熱心かつ真面目な態度で授業に臨み、私語は他の受講生の迷惑となることから絶対に慎むこと。質問は大いに歓迎する。

関連科目

企業簿記、財務会計論、管理会計論、会計情報論、経営財務論、企業金融論。

担当者の研究室等

１１号館８階（高尾研究室）

備考

講義内容が前後するなど若干の変更等が必要となる場合がある。

会計情報論I

Accounting and Information Systems I

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会計情報とは、企業の経済活動という現実の事象を、会計ルールに従って加工ないし写像したものである。ゆえに会計情報を解釈し、その背後にある現実の事象を正しく把握するには、会計ルールすなわち会計固有の用語とその仕組みに関する知識が不可欠である。特に近年、企業活動の多様化、グローバル化に伴い会計ルールは、さまざまな形で新設、変更された。本講義では、キャッシュフロー計算書、連結会計情報、連結株主資本等変動計算書、金融商品会計等について解説する。

授業方法と留意点

テキストを用いた講義及び事例研究のため資料を配付する。講義内容の理解を深めるために練習問題を解く。

科目学習の効果（資格）

公認会計士試験、税理士試験、証券アナリスト試験等の会計資格取得に有用である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　連結財務諸表の作成①
【内容・方法　等】　連結財務諸表とは、連結主体論、連結範囲、少数株主持分の処理、持分法
【事前・事後学習課題】　練習問題１（講義後に配布）

第２回　【授業テーマ】　連結財務諸表の作成②
【内容・方法　等】　連結貸借対照表の作成
【事前・事後学習課題】　練習問題２

第３回　【授業テーマ】　連結財務諸表の作成③
【内容・方法　等】　連結損益計算書の作成
【事前・事後学習課題】　練習問題３

第４回　【授業テーマ】　セグメント情報
【内容・方法　等】　セグメント別会計情報
【事前・事後学習課題】　練習問題４

第５回　【授業テーマ】　キャッシュ・フロー計算書①
【内容・方法　等】　キャッシュ・フロー計算書の意義と目的、間接法と直接法
【事前・事後学習課題】　練習問題５

第６回　【授業テーマ】　キャッシュ・フロー計算書②
【内容・方法　等】　営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フロー
【事前・事後学習課題】　練習問題６

第７回　【授業テーマ】　為替換算会計
【内容・方法　等】　為替相場と会計数値、換算とは、在外支店、在外子会社の財務諸表項目の換算
【事前・事後学習課題】　練習問題７

第８回　【授業テーマ】　株主資本等変動計算書
【内容・方法　等】　株主資本等変動計算書の意義と目的、表示区分と作成方法
【事前・事後学習課題】　練習問題８

第９回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　配布プリント
【事前・事後学習課題】　１回～８回までに配布した練習問題、例題の復習、教科書ｐ８３～ｐ１２０を理解する

第10回　【授業テーマ】　会計情報の特質①
【内容・方法　等】　会計情報の有用性と限界、情報の非対称性
【事前・事後学習課題】　練習問題９

第11回　【授業テーマ】　会計情報の特質②
【内容・方法　等】　会計戦略と会計数値
【事前・事後学習課題】　練習問題１０

第12回　【授業テーマ】　会計情報の特質③
【内容・方法　等】　会計情報のフィードバック効果
【事前・事後学習課題】　練習問題１１

第13回　【授業テーマ】　企業価値とディスクロージャー①
【内容・方法　等】　企業価値とは、なぜディスクロージャーが必要とされるのか
【事前・事後学習課題】　練習問題１２

第14回　【授業テーマ】　企業価値とディスクロージャー②
【内容・方法　等】　資本コストと企業価値、自発的開示とＩＲ
【事前・事後学習課題】　練習問題１３

第15回　【授業テーマ】　まとめと確認テスト
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　１０回～１４回までに配布した資料、練習問題

評価方法（基準）

課題提出（４０％）と確認テスト（２０％）、定期テスト（４０％）

教材等

教科書…【教材など】
教科書・・「会計情報分析」鳥邊・東原 中央経済社（２，８００円）
参考書・・適宜指定する。

参考書…適宜、指定する。

学生へのメッセージ

会計情報を分析し、活用するためには、会計ルール（基準）やその作成プロセスを理解することが必要です。企業活動の多様化、グローバルに伴い、会計ルールも複雑化しています。本講義では、連結財務諸表やキャッシュフロー計算書などより高度な会計情報について学びます。

関連科目

企業簿記システム、財務会計論、管理会計論、経営分析論、国際会計論

担当者の研究室等

11号館8階(佐井教授室)

会計情報論II

Accounting and Information Systems II

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会計情報とは、現実の複雑な事象が、詳細性と理解可能性のバランスを考慮して、統合・集約されたものである。ゆえに財務諸表に開示される情報はすべての経営活動がありのままの形で表現されたものではなく、不可避的に情報のロスが存在している。また、企業環境が複雑さを増すにつれて、同一企業の会計情報であってもそこから得られる分析結果の解釈には多面的評価が不可欠である。この講義では、会計情報の利用という観点からいくつかの企業を取り上げ、各種分析の意義や分析プロセス等の説明を行う。

授業方法と留意点

前半では、会計情報の利用という観点から、収益性、安定性等の企業分析の理論と手法を学ぶ。後半では、学生が興味のある会社を１社選択し、有価証券報告書から様々な情報を入手し、経営内容、戦略などを調べ、企業分析をおこなう。前半は講義の後、練習問題を解くという形式で進めるが、後半は、企業のホームページやＥＤＩＮＥＴを利用し、個々に情報収集、分析をおこなう実習形式で進める。講義は、前半、後半とも情報処理室でおこなう。

科目学習の効果（資格）

公認会計士試験、税理士試験等の会計関連資格に関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　収益性分析①①
【内容・方法　等】　収益性分析とは、いろいろな資本利益率
【事前・事後学習課題】　講義終了時に練習問題を配布、練習問題①
教科書P121～130

第２回　【授業テーマ】　収益性分析②②
【内容・方法　等】　収益性分析の手順
【事前・事後学習課題】　練習問題②
教科書P131～P15

第３回　【授業テーマ】　会計情報開示制度
【内容・方法　等】　有価証券報告書の見方、ＩＲ情報の活用法
【事前・事後学習課題】　練習問題３
教科書P24～P31

第４回　【授業テーマ】　企業分析①
【内容・方法　等】　分析対象企業の選択、企業概要の調査
【事前・事後学習課題】　レポートの作成、提出

第５回　【授業テーマ】　企業分析②
【内容・方法　等】　調査対象企業の事業戦略、製品戦略、市場戦略を調べる。
【事前・事後学習課題】　レポートの作成、提出

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　58　　2014/08/21　14:23:20

第６回　【授業テーマ】　企業分析③
【内容・方法　等】　調査対象企業の財務情報を調べる。
【事前・事後学習課題】　レポートの作成、提出
第７回　【授業テーマ】　企業分析④
【内容・方法　等】　短期的分析ー2年間の売上高、営業利益、純利益の増減の要因を調べる。
【事前・事後学習課題】　レポートの作成、提出
第８回　【授業テーマ】　企業分析⑤
【内容・方法　等】　トレンド分析ー企業の長期的動向を把握し、総合的に評価する。また、その要因を探る。
【事前・事後学習課題】　レポートの作成、提出
第９回　【授業テーマ】　企業分析⑥
【内容・方法　等】　同業他社との比較と評価
【事前・事後学習課題】　レポートの作成と提出
第10回　【授業テーマ】　中間報告会
【内容・方法　等】　分析結果の発表を行う。
【事前・事後学習課題】　プレゼンの準備
第11回　【授業テーマ】　損益分岐点分析①
【内容・方法　等】　損益分岐点図表と限界利益図表、固定費・変動費の分解
【事前・事後学習課題】　練習問題④
教科書P152～p160
第12回　【授業テーマ】　損益分岐点分析②
【内容・方法　等】　固定費・変動費の分解
【事前・事後学習課題】　練習問題⑤
教科書P161～P178
第13回　【授業テーマ】　企業分析⑦
【内容・方法　等】　調査対象企業のキャッシュ・フロー分析
【事前・事後学習課題】　レポートの作成と提出
教科書P197～208
第14回　【授業テーマ】　企業分析⑧
【内容・方法　等】　調査対象企業のキャシュ・フロー分析
【事前・事後学習課題】　レポートの作成と提出
教科書P209～P221
第15回　【授業テーマ】　最終報告会と確認テスト
【内容・方法　等】　確認テストを行う
【事前・事後学習課題】　授業中配布配布したプリント、教科書Ｐ１２１～P178、P197～P222

評価方法（基準）
課題提出（４０％）、中間報告会（２０％）と最終報告会（４０％）でのプレゼン内容

教材等
教科書…「会計情報分析」鳥邊・東原　中央経済社（２，８００円）
参考書…適宜、指定する。

学生へのメッセージ
ビジネスや企業行動を理解するために会計に対する素養は不可欠です。現在、会計情報は企業のHPから、誰でも容易に入手できます。しかし、企業情報の要であり、宝庫でもある『有価証券報告書』を実際に活用するには、会計の知識と技術、経験が必要です。本講義では、会計情報の利用、分析とプレゼンに焦点をあて進めていきます。卒論の準備や就活にも役立つ内容ですので、積極的に受講してください。事例を多く紹介しますので、積極的に参加してください。

関連科目
財務会計論Ⅰ・Ⅱ、会計情報論Ⅰ、管理会計論、経営分析論、（企業簿記）

担当者の研究室等
11号館8階(佐井教授室)

税務会計論I
Tax Accounting I

紙　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
税務会計は、法人税法という法律に基づいた会計である。税務会計の目的である課税所得計算は、確定決算による企業の利益をベースに算定されるものである。本講義では、多分、初めて法人税という分野を学ぶ学生諸君に対し、税務会計の基本的な構造を中心として、入門・基礎的な部分を主に講義する。

授業方法と留意点
講義ノート方式。随時、練習問題も行う。わかりやすく、そして興味の持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。

科目学習の効果（資格）
法人税の基礎知識を得ることによって、法人の課税所得の計算ができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　税務会計の基礎①
【内容・方法　等】　租税法の基礎
法律・施行令・施行規則・通達
【事前・事後学習課題】　税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等
第２回　【授業テーマ】　税務会計の基礎②
【内容・方法　等】　法人課税の基礎　課税所得の計算　確定申告書（別表）
【事前・事後学習課題】　税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等
第３回　【授業テーマ】　税務会計の基礎③
【内容・方法　等】　基本的な用語Ⅰ（益金算入、損金算入、課税所得と当期純利益）　日本の徴税組織（国税庁・国税局・税務署）の役割
【事前・事後学習課題】　税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等
第４回　【授業テーマ】　税務会計の基礎④
【内容・方法　等】　基本的な用語Ⅱ（租税法律主義、確定決算主義　損金経理、青色申告）　税務調査と不服申立て
【事前・事後学習課題】　税金に興味を持つこと。身近な税を知ること。新聞記事等
第５回　【授業テーマ】　益金の処理①
【内容・方法　等】　一般的な収益の認識
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第６回　【授業テーマ】　益金の処理②
【内容・方法　等】　一般的な収益の認識
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第７回　【授業テーマ】　長期割賦販売等・長期請負工事等の益金計上益金の処理
【内容・方法　等】　特別な収益の認識
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第８回　【授業テーマ】　受取配当益金不算入
【内容・方法　等】　法人擬制説
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第９回　【授業テーマ】　損金経理の意味とその役割・確定決算主義Ⅰ
【内容・方法　等】　損金経理の意味Ⅰ
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第10回　【授業テーマ】　損金経理の意味とその役割・確定決算主義Ⅱ
【内容・方法　等】　損金経理の意味Ⅱ
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第11回　【授業テーマ】　棚卸資産の範囲・取得価額棚卸資産の評価方法Ⅰ
【内容・方法　等】　商品・製品等の売上原価Ⅰ
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第12回　【授業テーマ】　棚卸資産の範囲・取得価額棚卸資産の評価方法Ⅱ
【内容・方法　等】　商品・製品等の売上原価Ⅱ
【事前・事後学習課題】　財務会計論の復習
第13回　【授業テーマ】　総合課題Ⅰ
【内容・方法　等】　まとめと練習問題Ⅰ
【事前・事後学習課題】　――――
第14回　【授業テーマ】　総合課題Ⅱ
【内容・方法　等】　まとめと練習問題Ⅱ
【事前・事後学習課題】　――――
第15回　【授業テーマ】　総合課題Ⅲ
【内容・方法　等】　まとめと練習問題Ⅲ
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
試験による。ただ、数回、出席をとるが、私から見て、学生諸君には、良い出席と悪い出席があるので、その点はよく考えておくように。

教材等
教科書…紙　博文著「税務会計論概説平成25年～平成26年版」プリント版2000円。
参考書…別途、指示する。

学生へのメッセージ
税は毎年変わる。これは政府の政策方針の実現のためである。本テキストも26年版を範囲としているいるが、既に25年に変更しているところもあり、それらは授業中に別途プリントを配布して補足する。また、適宜、新聞記事を私の方で用意する（所得税、法人税、消費税等も含）。税、とりわけ、この授業での法人税が企業の経営に如何に大きくかかわりを持っているかを知ってもらいたい。

関連科目
企業簿記システム、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、税務会計論Ⅱ

担当者の研究室等
11号館8階（紙　教授室）

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　59　2014/08/21　14:23:20

税務会計論II
Tax Accounting II

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
税務会計は、法人税法という法律に基づいた会計である。税務会計の目的である課税所得計算は、確定決算による企業の利益をベースに算定されるものである。本講義では、前期の税務会計Ｉを踏まえて基本的な損金・益金計算を中心として講義する。とりわけ、損金算入項目として、役員給与、減価償却費、交際費、寄付金、圧縮記帳等について講義する。

授業方法と留意点
講義ノート方式。随時、練習問題も行う。わかりやすく、そして興味の持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。

科目学習の効果（資格）
法人税の基礎知識を得ることによって、法人の課税所得計算が出来るようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　減価償却
【内容･方法　等】　減価償却の計算方法
少額の減価償却資産の内容
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習
第２回　【授業テーマ】　特別償却・割増償却・繰延資産
【内容･方法　等】　特別償却・割増償却の内容
税務上の繰延資産の内容
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習
第３回　【授業テーマ】　修繕費と資本的支出・除却損失等
【内容･方法　等】　修繕費と資本的支出の区分基準
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習
第４回　【授業テーマ】　役員給与Ｉ
【内容･方法　等】　役員の範囲　同属会社
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、ＡＳＢＪ基準の復習
第５回　【授業テーマ】　役員給与Ⅱ
【内容･方法　等】　みなし役員　使用人兼務役員　過大給与の損金不算入
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、ＡＳＢＪ基準の復習
第６回　【授業テーマ】　役員給与Ⅲ
【内容･方法　等】　練習問題
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、ＡＳＢＪ基準の復習
第７回　【授業テーマ】　寄付金　Ｉ
【内容･方法　等】　寄付金の性格、寄付金課税
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、ＡＳＢＪ基準の復習、新聞記事等に注目
第８回　【授業テーマ】　寄付金　Ⅱ
【内容･方法　等】　練習問題
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、ＡＳＢＪ基準の復習、新聞記事等に注目
第９回　【授業テーマ】　交際費
【内容･方法　等】　交際費の性格と損金算入の要件
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、新聞記事等に注目
第10回　【授業テーマ】　租税公課・損害賠償金・罰科金
【内容･方法　等】　租税公課・損害賠償金・罰金の取扱い
租税公課等の取扱いの留意点
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、ＡＳＢＪ基準の復習、新聞記事等に注目
第11回　【授業テーマ】　貸倒損失、貸倒引当金への繰入
【内容･方法　等】　貸倒損失と不良債権
法律上・事実上・形式上の貸倒れ、法定繰入率
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、ＡＳＢＪ基準の復習、新聞記事等に注目
第12回　【授業テーマ】　圧縮記帳
【内容･方法　等】　意義、計算方法
【事前･事後学習課題】　財務会計の復習、新聞記事等に注目
第13回　【授業テーマ】　申告と納税　グループ納税制度
【内容･方法　等】　税額計算の仕組　同属会社の留保金課税
青色申告納税　連結納税
【事前･事後学習課題】　――――
第14回　【授業テーマ】　総合課題　Ｉ
【内容･方法　等】　練習問題と復習　その１
【事前･事後学習課題】　――――
第15回　【授業テーマ】　総合問題　Ⅱ
【内容･方法　等】　練習問題と復習　その２
【事前･事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
期末試験の結果による。ただ、数回出席をとる。良い出席と悪い出席があることを心に刻んでおくように。単なる出席ではダメである。真剣勝負、厳粛なる、そして笑いのある（面白い）授業を心掛ける。

教材等
教科書…紙 博文著「税務会計論概説　平成２５年ー平成２６年版」
学内プリント版、２０００円。
参考書…授業中、適宜指示する。なお、新聞記事を多用する。それは、最新の税務情報が掲載されているからである。とりわけ、租税回避、脱税行為、不服審判所に対する申し立て等の記事である。平成２６年版とタイトルには記してあるものの平成２５年中に税法改定がなされたため、その点はプリント等で補足する。

学生へのメッセージ
税務会計論Ｉと比べて、内容はより詳細に、また、より実際的になっている。実務に近い内容を盛り込み会計とはいうものの、企業会計との違いに注目してほしい。

関連科目
企業簿記システム、財務会計論、税務会計論Ｉ

担当者の研究室等
11号館8階(紙　教授室)
気軽に訪ねてきて下さい。用事のある時は、その旨言います。

国際会計論I
International Accounting I

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
次の内容について講義する。①国際会計の意義②各国の会計制度の比較考察　③IASCの成立からIASBへの経緯、④会計基準のコンバージェンスからアドプション⑤会計基準の統一化に関する最近の動向。以上、国際会計基準（IFRS）に関する基礎的な項目を踏まえて、国際会計基準についての特質を講義する。なお、国際会計基準を学ぶことは、これから（未来）の会計学を学ぶことでもある。

授業方法と留意点
講義方式。わかりやすく、そして興味の持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。新聞記事も利用する。

科目学習の効果（資格）
財務会計論をより発展させた科目で未来（将来）の会計であるともいえる。会計の内容をより深める科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　国際会計の意義
【内容･方法　等】　・会計の国際化と国際会計の定義
【事前･事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　国際会計の課題
【内容･方法　等】　・個別企業、国家、国際各レベルでの課題
【事前･事後学習課題】　新聞記事等にて国際会計に関する記事を読む。
第３回　【授業テーマ】　国際会計へのアプローチ　Ｉ
【内容･方法　等】　・ＩＡＳＣの成立からＩＡＳＢへ
【事前･事後学習課題】　新聞記事等にて国際会計に関する記事を読む。
第４回　【授業テーマ】　国際会計へのアプローチ　Ⅱ
【内容･方法　等】　・コンバージェンスからアドプションへ
【事前･事後学習課題】　新聞記事等にて国際会計に関する記事を読む。
第５回　【授業テーマ】　わが国の会計規制Ｉ
【内容･方法　等】　・会社法の会計、金融商品取引法の会計、税務会計
【事前･事後学習課題】　日本の会計制度に関する予備知識をもつこと。ＡＳＢＪの機能等
第６回　【授業テーマ】　わが国の会計規制Ⅱ
【内容･方法　等】　・わが国会計規制の変容と理論的基礎
【事前･事後学習課題】　日本の会計制度に関する予備知識をもつこと。ＡＳＢＪの機能等
第７回　【授業テーマ】　アングロ・アメリカン型会計制度
【内容･方法　等】　・アングロ・アメリカン型会計制度の特徴（アメリカ、イギリス）
【事前･事後学習課題】　アメリカのＦＡＳＢ、ＳＥＣの役割を調べておく。
第８回　【授業テーマ】　フランコ・ジャーマン型会計制度
【内容･方法　等】　・フランコ・ジャーマン型会計制度の特徴（ドイツ、フランス）
【事前･事後学習課題】　正規の簿記の諸原則、プラン・コンタブル・ジェネラル等に関する予備知識
第９回　【授業テーマ】　国際会計基準（IFRS）に関する最近の動向Ｉ
【内容･方法　等】　ＥＵ、アメリカ、日本の対応
【事前･事後学習課題】　新聞記事等を読み込む。最近の動向を知ること
第10回　【授業テーマ】　国際会計基準（IFRS）に関する最近の動向

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　60　　2014/08/21　14:23:20

Ⅱ
【内容・方法　等】 アメリカ、日本のロードマップとその対応
【事前・事後学習課題】 新聞記事等を読み込む。最近の動向を知ること
第11回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳの基礎知識　Ⅰ
【内容・方法　等】 ＩＦＲＳの構成、特徴、実質優先思考
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
第12回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳの基礎知識　Ⅱ
【内容・方法　等】 原則主義と細則主義、資産・負債アプローチ、公正価値の概念
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
第13回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳの基礎知識　Ⅲ
【内容・方法　等】 概念フレームワークの説明　Ⅰ
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
第14回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳの基礎知識　Ⅳ
【内容・方法　等】 概念フレームワークの説明　Ⅱ
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておく
第15回 【授業テーマ】 総復習とまとめ
【内容・方法　等】 練習問題とまとめ
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
期末試験による。ただ、数回、出席をとる。単なる出席は出席にはあらず。

教材等
教科書…なし。国際会計の分野は変化が激しくとても活字にはできない。このため最新の国際会計の動向は黒板に板書きする。
参考書…なし。

学生へのメッセージ
最新の会計学の基礎となる領域を学ぶので日本の会計とどのように異なるのかその点を頭において学習してほしい。ただ、国際会計基準と称されるIFRSは報告書の基準であるから会計理論では必ずしも解明することはできない点があることも留意していてほしい。

関連科目
企業簿記（簿記論）・財務会計論Ⅰ・Ⅱをあらかじめ修得しておくこと。

担当者の研究室等
11号館8階(紙教授室)

国際会計論II
International Accounting II

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
国際会計論Ⅰに引続き次の内容を講義する。①ＩＦＲＳの特質、②ＩＦＲＳの内容、③IFASの将来像、④変わりゆくＩＦＲＳ。国際会計論Ⅰより内容を進化させ、ＩＦＲＳの実際の会計基準を学ぶ。もちろん２年次履修した財務会計論の知識が必要となるのでその復習も各自行っておく。また、国際会計論Ⅱの履修にあたっては、必ず国際会計論Ⅰの履修をしておくこと。この科目だけの履修は難しい。

授業方法と留意点
講義方式。わかりやすく、そして興味の持てる内容の講義を心掛ける。年間を通して数回出席をとる。新聞記事も利用し最新の「国際会計」に関するニュースを知らせるとともに学生諸君も新聞等には常に注目しておくこと。

科目学習の効果（資格）
財務会計論をより発展させた科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅰ
【内容・方法　等】 時価概念、資産・負債アプローチ
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第２回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅱ
【内容・方法　等】 包括利益概念
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第３回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅲ
【内容・方法　等】 財務諸表の表示、包括利益計算書、財政状態計算書
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第４回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅳ
【内容・方法　等】 キャッシュ・フロー計算書
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第５回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅴ
【内容・方法　等】 収益の認識、工事進行基準
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第６回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅵ
【内容・方法　等】 棚卸資産
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第７回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅶ
【内容・方法　等】 金融商品、その他
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第８回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅷ
【内容・方法　等】 有形固定資産、無形固定資産
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第９回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準 Ⅸ
【内容・方法　等】 減損会計
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第10回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準　Ⅹ
【内容・方法　等】 リース
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第11回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準 Ⅺ
【内容・方法　等】 退職給付会計
【事前・事後学習課題】 財務会計論の復習をしておくこと
第12回 【授業テーマ】 ＩＦＲＳ基準の将来象とＩＦＲＳ基準の最新の話題
【内容・方法　等】 新聞記事等を中心に
【事前・事後学習課題】 ＡＳＢＪ基準、国際会計論Ⅰの復習
第13回 【授業テーマ】 変わりゆくＩＦＲＳ基準
【内容・方法　等】 IASB/FASBの共同プロジェクト
【事前・事後学習課題】 ＡＳＢＪ基準、国際会計論Ⅰの復習
第14回 【授業テーマ】 まとめと復習　Ⅰ
【内容・方法　等】 総復習
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 まとめと復讐　Ⅱ
【内容・方法　等】 総復習
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
学期末テストによって評価する。また、受講態度も評価する。

教材等
教科書…なし。黒板に板書きをする。国際会計論Ⅰと同じ。
参考書…なし。

学生へのメッセージ
講義中、私語は慎んでください。板書きをしますのでそれを後で復習してください。不明な点があれば臆することなく質問してください。

関連科目
企業簿記（簿記論）・財務会計論をあらかじめ修得しておくこと。

担当者の研究室等
11号館8階(紙 教授室)

金融論
Theory of Money and Banking

岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	4

授業概要・目的・到達目標
本講義では、新聞やTV、インターネットを通した、さらに言えば身の回りにも潜む金融的事象を整理・理解するために、金融の基礎的知識の修得を目標とする。私たちの暮らし、サラリーマンとして、経営者として、主婦・主夫として等々、どのような立場にあってもその暮らしには金融的事象が付きまとう。これは暮らしを支える経済が金融と密接な関係にあるからである。本講義では、貨幣や金利といった基本から金融政策まで、金融をやや幅広く概観する。

授業方法と留意点
教科書を中心に適宜資料を配布しながら講義形式で進める。できる限り学生との対話をしながら進めるので、恐れず恥ずかしがらずに参加して欲しい。

科目学習の効果（資格）
金融的事象について適格に判断し対応できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法　等】 金融論で学ぶこと
【事前・事後学習課題】 教科書第１章について予習・復習のこと
第２回 【授業テーマ】 貨幣について
【内容・方法　等】 貨幣の役割・定義、貨幣需要と貨幣供給等
【事前・事後学習課題】 教科書第２章について予習・復習のこと
第３回 【授業テーマ】 金利について
【内容・方法　等】 単利と複利、実質利子率と名目利子率　等
【事前・事後学習課題】 教科書第３章について予習・復習のこと
第４回 【授業テーマ】 代表的な金融市場
【内容・方法　等】 長短金融市場、金融市場の規制、商品先物

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　61　　2014/08/21　14:23:20

市場
【事前・事後学習課題】 教科書第１３章を予習・復習のこと
第５回 【授業テーマ】 金融商品
【内容・方法 等】 預貯金、保険、年金、公社債、株式、金融派生商品 等
【事前・事後学習課題】 教科書第１１，１２章を予習・復習のこと
第６回 【授業テーマ】 金融政策（１）
【内容・方法 等】 マクロ経済変数、金融政策の長期効果の分析
【事前・事後学習課題】 教科書第４章を予習・復習のこと
第７回 【授業テーマ】 金融政策（２）
【内容・方法 等】 金融政策の短期効果の分析
【事前・事後学習課題】 教科書第４章を予習・復習のこと
第８回 【授業テーマ】 金融政策（３）
【内容・方法 等】 金融政策の実際
【事前・事後学習課題】 教科書第５，６章を予習・復習のこと
第９回 【授業テーマ】 金融システム
【内容・方法 等】 金融システムの機能、日本の金融システム
【事前・事後学習課題】 教科書第７章を予習・復習のこと
第10回 【授業テーマ】 金融仲介機関の理論
【内容・方法 等】 金融仲介機関の機能
【事前・事後学習課題】 教科書第８章を予習・復習のこと
第11回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業（１）
【内容・方法 等】 銀行、信託会社（信託銀行）
【事前・事後学習課題】 教科書第８，９章を予習・復習のこと
第12回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業（２）
【内容・方法 等】 保険会社
【事前・事後学習課題】 教科書第９章を予習・復習のこと
第13回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業（３）
【内容・方法 等】 証券会社、証券取引所、格付け機関
【事前・事後学習課題】 教科書第９章を予習・復習のこ
第14回 【授業テーマ】 わが国の金融サービス業（４）
【内容・方法 等】 公的金融機関と財政投融資
【事前・事後学習課題】 教科書第９章を予習・復習のこと
第15回 【授業テーマ】 金融システムの安定化
【内容・方法 等】 プルーデンス政策
【事前・事後学習課題】 教科書第10章を予習・復習のこと

評価方法（基準）
学習状況(+α)と期末試験(100%)の結果を基に総合的に評価する。詳しくは初回講義時に発表する。

教材等
教科書…家森信善『はじめて学ぶ金融のしくみ』中央経済社
参考書…大野早苗他『金融論』有斐閣

学生へのメッセージ
周知のように就職環境は極めて厳しく、企業は即戦力を求めている。単位を稼ぐための受動的な受講ではなく、学ぶための能動的な受講姿勢を希望する。

関連科目
ミクロ経済学、マクロ経済学、企業金融論

担当者の研究室等
１１号館８階（岩坪教授室）

キャリアデザイン入門
Introduction to Career Design

安 久 典 宏（アグ ミチヒロ）
高 尾 明 照（タカオ アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。
この講義を通して、
①主体的に行動するための自己理解を深める。
②コミュニケーションについて、理解を深める。
③社会（企業）の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果（資格）
将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前・事後学習課題】 テキストに目を通してから、出席してください
第２回 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか①
【内容・方法 等】 ・4年間の行動計画を考える
・講義の内容と目標設定
【事前・事後学習課題】 大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください
第３回 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか②
【内容・方法 等】 ・大学生活を充実したものに
・4年間の目標と計画作りの立て方（PDCA）
【事前・事後学習課題】 4年間での3大目標をはっきりと決めてきてください。
第４回 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか③
【内容・方法 等】 ・4年間の目標と計画作り
・目標達成意欲度診断の実施
【事前・事後学習課題】 学年ごとの目標を具体的に考えてきてください
第５回 【授業テーマ】 「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容・方法 等】 ・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PRワークをおこなう
【事前・事後学習課題】 アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください
第６回 【授業テーマ】 自分発見マップ作り①
【内容・方法 等】 ・大学生活のすごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする。
【事前・事後学習課題】 自分の将来の夢や目標について、考えてきてください
第７回 【授業テーマ】 自分発見マップ作り②
【内容・方法 等】 ・自分発見マップのレイアウトと内容を整理
【事前・事後学習課題】 カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください
第８回 【授業テーマ】 自分発見マップ作り③
【内容・方法 等】 ・自分の将来像を一枚の絵にまとめる
【事前・事後学習課題】 自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しながら、一枚の絵としてどのように表現するかを考えてきてください
第９回 【授業テーマ】 ワーキングスタイルについて考える①
【内容・方法 等】 ・行動適応診断の実施
・自己発見リファインシートの作成
【事前・事後学習課題】 周り人から自分はどのような行動の特徴があるかを確認しておいてください
第10回 【授業テーマ】 コミュニケーションとは①
【内容・方法 等】 ・コミュニケーションについて再考する
・正確に伝え聞くためのコミュニケーションとは
【事前・事後学習課題】 コミュニケーションの意味について考えてきてください
第11回 【授業テーマ】 コミュニケーションとは②
【内容・方法 等】 ・コミュニケーションワーク
【事前・事後学習課題】 ノンバーバルスキルの意味を調べてきてください
第12回 【授業テーマ】 ワーキングスタイルについて考える②
【内容・方法 等】 ・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリータ、ニートについて考える
【事前・事後学習課題】 働き方の形態について調べてきてください
第13回 【授業テーマ】 キャリア教育とは
【内容・方法 等】 ・キャリア教育とは
・マズローの5段階の欲求説
・キャリアスタイル診断の実施
【事前・事後学習課題】 身近な人の仕事ぶりを観察してください
第14回 【授業テーマ】 SPI試験対策
【内容・方法 等】 ・SPI模擬試験
【事前・事後学習課題】 SPI試験の問題などで事前に対策をしておいてください
第15回 【授業テーマ】 大学生活とライフプランの設計図を作成しよう
【内容・方法 等】 ・各人が大学生活とライフプランの設計図を作成し、グループ内で発表
【事前・事後学習課題】 将来計画につて、まとめてきてください

評価方法（基準）
原則、レポートおよび提出課題の内容（50%）と定期期末試験結果（50%）で評価します。

教材等
教科書…「キャリアデザイン」 安久典宏、羽石寛寿 清風出版
参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」 渡辺峻 中央経済社、 「就職筆記試験パーフェクト問題集」 安久典宏 ＰＨＰ研究所

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd 62 2014/08/21 14:23:21

学生へのメッセージ

・毎回、講義レポートや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループ学習などでは、他人に迷惑（遅刻・欠席）をかけないように。
・大学生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目

・「キャリアデザイン（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているので、2科目履修することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

11号館8階　安久研究室

キャリアデザイン入門
Introduction to Career Design

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。
　この講義を通して、
①主体的に行動するための自己理解を深める。
②コミュニケーションについて、理解を深める。
③社会（企業）の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果（資格）

将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容･方法　等】　・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前･事後学習課題】　テキストに目を通してから、出席してください

第２回　【授業テーマ】　大学4年間で何をするか①
【内容･方法　等】　・4年間の行動計画を考える
・講義の内容と目標設定
【事前･事後学習課題】　大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください

第３回　【授業テーマ】　大学4年間で何をするか②
【内容･方法　等】　・大学生活を充実したものに
・4年間の目標と計画作りの立て方（PDCA）
【事前･事後学習課題】　4年間での3大目標をはっきりと決めてきてください。

第４回　【授業テーマ】　大学4年間で何をするか③
【内容･方法　等】　・4年間の目標と計画作り
・目標達成意欲度診断の実施
【事前･事後学習課題】　学年ごとの目標を具体的に考えてきてください

第５回　【授業テーマ】　「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容･方法　等】　・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PRワークをおこなう
【事前･事後学習課題】　アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください

第６回　【授業テーマ】　自分発見マップ作り①
【内容･方法　等】　・大学生活のすごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする。
【事前･事後学習課題】　自分の将来の夢や目標について、考えてきてください

第７回　【授業テーマ】　自分発見マップ作り②
【内容･方法　等】　・自分発見マップのレイアウトと内容を整理
【事前･事後学習課題】　カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください

第８回　【授業テーマ】　自分発見マップ作り③
【内容･方法　等】　・自分の将来像を一枚の絵にまとめる
【事前･事後学習課題】　自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しながら、一枚の絵としてどのように表現するかを考えてきてください

第９回　【授業テーマ】　ワーキングスタイルについて考える①
【内容･方法　等】　・行動適応診断の実施
・自己発見リファインシートの作成
【事前･事後学習課題】　周り人から自分はどのような行動の特徴があるかを確認しておいてください

第10回　【授業テーマ】　コミュニケーションとは①
【内容･方法　等】　・コミュニケーションについて再考する
・正確に伝え聞くためのコミュニケーションとは
【事前･事後学習課題】　コミュニケーションの意味について考えてきてください

第11回　【授業テーマ】　コミュニケーションとは②
【内容･方法　等】　・コミュニケーションワーク
【事前･事後学習課題】　ノンバーバルスキルの意味を調べてきてください

第12回　【授業テーマ】　ワーキングスタイルについて考える②
【内容･方法　等】　・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリータ、ニートについて考える
【事前･事後学習課題】　働き方の形態について調べてきてください

第13回　【授業テーマ】　キャリア教育とは
【内容･方法　等】　・キャリア教育とは
・マズローの5段階の欲求説
・キャリアスタイル診断の実施
【事前･事後学習課題】　身近な人の仕事ぶりを観察してください

第14回　【授業テーマ】　SPI試験対策
【内容･方法　等】　・SPI模擬試験
【事前･事後学習課題】　SPI試験の問題などで事前に対策をしておいてください

第15回　【授業テーマ】　大学生活とライフプランの設計図を作成しよう
【内容･方法　等】　・各人が大学生活とライフプランの設計図を作成し、グループ内で発表
【事前･事後学習課題】　将来計画につて、まとめてきてください

評価方法（基準）

原則、レポートおよび提出課題の内容（50%）と定期期末試験結果（50%）で評価します。

教材等

教科書…「キャリアデザイン」　安久典宏、羽石寛寿　清風出版
参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」　渡辺峻　中央経済社、　「就職筆記試験パーフェクト問題集」　安久典宏　ＰＨＰ研究所

学生へのメッセージ

・毎回、講義レポートや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループ学習などでは、他人に迷惑（遅刻・欠席）をかけないように。
・大学生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目

・「キャリアデザイン（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているので、2科目履修することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

11号館8階　安久研究室

インターンシップ基礎
Introduction to Internship

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
高　尾　明　照（タカオ　アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

①前期のキャリアデザインで履修した自己理解をさらに深め、グループワークなどを通じて自ら発信できるコミュニケーション能力を高めていく。
②履歴書の書き方やアピールの方法を学ぶことにより、今やる

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　63　2014/08/21　14:23:21

べきことや将来設計を明確にする。
③希望者による工場見学や短期インターンシップを実施し、仕事や社会に対する理解を深める。

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的・自律的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。
また、より深く仕事について学ぶため、企業見学を行う。

科目学習の効果（資格）
「ビジネスインターンシップⅡ」の就業体験を有意義に行うための基礎的な考え方や社会の理解を深めるのに役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容･方法　等】　・授業ガイダンス
・インターンシップとは
【事前･事後学習課題】　インターンシップの意味を調べてください。
第２回　**【授業テーマ】**　SPI試験対策
【内容･方法　等】　・SPI模擬試験
【事前･事後学習課題】　SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
第３回　**【授業テーマ】**　コミュニケーション①
【内容･方法　等】　・コミュニケーションの目的
・傾聴とは
【事前･事後学習課題】　傾聴の意味を調べてきてください。
第４回　**【授業テーマ】**　コミュニケーション②
【内容･方法　等】　・グループワーク
・ジョハリの窓
・SPI模擬試験結果の解説
【事前･事後学習課題】　自分の主張をうまく伝えるには、どうすればいいか考えてきてください。
第５回　**【授業テーマ】**　グループ討論①
【内容･方法　等】　・グループ討論とは
・ブレイン・ストーミング
【事前･事後学習課題】　グループで話をする場合に大切なことを３つ考えてきてください
第６回　**【授業テーマ】**　グループ討論②
【内容･方法　等】　・グループワーク
・グループの討論結果の集計と発表
【事前･事後学習課題】　ブレーンストーミングの意味について調べてきてください
第７回　**【授業テーマ】**　社会人基礎力
【内容･方法　等】　・社会人基礎力の理解
・働くことについて再確認
【事前･事後学習課題】　社会人に求められる能力について調べてきてください。
第８回　**【授業テーマ】**　自己分析①
【内容･方法　等】　・自分自身の振り返り
・心の中にいる5人の私について考える
【事前･事後学習課題】　今までに思い出に残る出来事を５つ書き出してきてください。
第９回　**【授業テーマ】**　自己分析②
【内容･方法　等】　・エゴグラムから見えてきた自分について考える
【事前･事後学習課題】　他人からほめられたことを３つ書き出してきてください。
第10回　**【授業テーマ】**　履歴書の書き方を学ぶ①
【内容･方法　等】　・履歴書の書き方のポイントを学ぶ
【事前･事後学習課題】　履歴書を見る人の立場になって、どんなところに注意したらいいかを３つ考えてきてください。
第11回　**【授業テーマ】**　履歴書の書き方を学ぶ②
【内容･方法　等】　・自分の履歴書を書いてみる
・自己PR文を書いてみる
【事前･事後学習課題】　履歴書にある「自己PR欄」に書ける題材を考えてきてください
第12回　**【授業テーマ】**　インターンシップに参加した先輩から学ぶ
【内容･方法　等】　・インターンシップに参加した先輩による体験談（予定）
【事前･事後学習課題】　先輩への質問を考えてきてください
第13回　**【授業テーマ】**　これから求められる人材について考える
【内容･方法　等】　・企業の管理者による講演(予定)
【事前･事後学習課題】　講演いただく企業のことを事前に調べておいてください
第14回　**【授業テーマ】**　産業界について考える
【内容･方法　等】　・日経新聞の産業景気予測から景気動向を学ぶ
【事前･事後学習課題】　日経新聞の産業景気予測について調べてきてください
第15回　**【授業テーマ】**　企業見学・短期インターンシップのための準備
【内容･方法　等】　・企業見学や短期インターンシップのために何を準備すべきかを考えていきます
・それらの体験を通じ、何を学びたいのかを深めます
【事前･事後学習課題】　企業見学やインターンシップになぜ参加したいかを考えてきてください。

評価方法（基準）
原則、レポートおよび提出課題の内容（50％）と定期期末試験結果（50％）で評価します。

教材等
教科書…・「キャリア教育ワークブック」　羽石寛寿　安久典宏　清風出版
・必要に応じてプリントを配布します
参考書…摂南大学「インターンシップ体験報告集」(2013年度)、「就職筆記試験パーフェクト問題集」（ＰＨＰ研究所）

学生へのメッセージ
・毎回、講義レポートや提出物で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループワークを取り入れます積極的に参画し発言してください
・グループ学習などでは、他人に迷惑を（遅刻・欠席）をかけないように
・企業見学・短期インターンシップ等は、授業終了後の補講・特別教育機関の間に実施予定です。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目
・「キャリアデザイン（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているので、通年受講することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

ビジネスプラン
Business Plan

萩　原　貞　幸（ハギハラ　サダユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	全	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
社会経済が激動する昨今、キャリアプランを考える際に「起業」が一つの選択肢になりつつあります。起業は自らの価値観にあった働き方であり、ひいては経済に活力を与える源泉であるといえます。
そこで「ビジネスプラン」の講義では、起業環境を認識し、そして起業する際に必要とされるものの学習をはじめ、起業成功確率を高める「ビジネスプラン」の書き方、作り方学びます。
また「ビジネスプラン」を実行する際の経営戦略法、市場戦略手法についても解説します。

授業方法と留意点
レジメ（プリント）を用い講義し、起業・ビジネスプラン・経営戦略に関する知識の習得だけでなく、実際の起業現場において、どのようなビジネスプランが作成されているのかを体験します。

科目学習の効果（資格）
ビジネス系資格取得のプラス知識になります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　起業・起業環境を知る
【内容･方法　等】　起業の現状と課題
日本経済社会の現状とこれからを考える
【事前･事後学習課題】　「生きる」「仕事をする」ことについて考える機会を得る
第２回　**【授業テーマ】**　「働くということ」を考える
【内容･方法　等】　自分のキャリアプランを考える
【事前･事後学習課題】　自分の人生について考えてみる
第３回　**【授業テーマ】**　起業家の条件
【内容･方法　等】　起業を成功させるためのポイント
【事前･事後学習課題】　自分自身の「起業家」に向いている部分について考えてみる
第４回　**【授業テーマ】**　ビジネスプランとは？
【内容･方法　等】　ビジネスプランの目的・必要性・ポイント
【事前･事後学習課題】　ビジネスをはじめるということについて考える
第５回　**【授業テーマ】**　ビジネスアイデアとビジネスモデル
【内容･方法　等】　ビジネスアイデアによるビジネスモデルの違い
【事前･事後学習課題】　同業態企業であってもアイデアによってビジネスモデルが違っている
その違いを分析してみる
第６回　**【授業テーマ】**　ビジネスアイデア
【内容･方法　等】　ビジネスアイデア発想とビジネスとしての採算性
【事前･事後学習課題】　ビジネスを発想してみる

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　64　2014/08/21　14:23:21

そしてその採算性について検討しビジネスとして成立するかどうかを考える

第７回　【授業テーマ】 ビジネスモデルの構築
【内容･方法　等】 ビジネスモデルとは何か、またそのポイントを知る
【事前･事後学習課題】 知っている企業のビジネスモデルについて考える

第８回　【授業テーマ】 起業とＳＮＳマーケティング
【内容･方法　等】 ＳＮＳを活用したマーケティングを知る
【事前･事後学習課題】 ＳＮＳを体験してみる

第９回　【授業テーマ】 ビジネスプランの書き方・作り方
【内容･方法　等】 ビジネスプランの書き方について学ぶ
【事前･事後学習課題】 ビジネスプランを書いてみる

第10回　【授業テーマ】 ビジネスプランの構成と経営戦略
【内容･方法　等】 ビジネスプランの構成を学び、実行する際の経営戦略について考える
【事前･事後学習課題】 知っている企業の戦略について考える

第11回　【授業テーマ】 ビジネスプラン作成実習（１）
【内容･方法　等】 起業家になったつもりで自分の考えていることを、ビジネスプランとして明文化する
【事前･事後学習課題】 いろいろな業種業態について考えてみる

第12回　【授業テーマ】 ビジネスプラン作成実習（２）
【内容･方法　等】 フリー時代にマッチしたビジネスプランを作成する
【事前･事後学習課題】 フリー時代の生き方について考えてみる

第13回　【授業テーマ】 ビジネスプランのプレゼンテーション
【内容･方法　等】 ビジネスプランを完成させ、表現する
【事前･事後学習課題】 作成したビジネスプランをプレゼンテーションしてみる

第14回　【授業テーマ】 実践現場のビジネスプラン
【内容･方法　等】 実際のビジネスプランをみてみる
【事前･事後学習課題】 実際の起業や新規事業において、どんなビジネスプランが作られているかを知る

第15回　【授業テーマ】 ビジネスプランのまとめ
【内容･方法　等】 ビジネスプラン作成のポイントをおさえる
【事前･事後学習課題】 ビジネスプランのポイントを覚える

評価方法（基準）
レポートと試験　（レポートの評価５０％、試験の評価５０％）
（レポートは３回提出、試験は後期試験期間中に実施）

教材等
教科書…プリントを配布します
参考書…中小企業白書（簡易版）

学生へのメッセージ
起業・事業創業は生きがいを求める人生へのチャレンジ。
今後のキャリアプランにおいて「起業」という選択肢を用意しておいた方がいいです。
また、会社員であっても　これからはますます新しい思考、アイデアが求められる時代　ビジネスプランとしてアウトプットできる能力が必要です。

関連科目
「ベンチャービジネス論」「ビジネスインターンシップI・II」

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)
11号館8階(羽石教授室)

ビジネスインターンシップI
Business Internship I

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
高　尾　明　照（タカオ　アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
①組織人に求められる社会的役割および責任、仕事への情熱等を身につけ、主体的に発言できるプレゼンテーション能力の開発を目指す。
②インターンシップ体験や就職活動などを積極的にアプローチし、かつ、臨機応変な対応ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参加方式の授業のため、演習や発表を多く取り入れたものにする。

科目学習の効果（資格）
将来の職業選択意識を高め適切に行動できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容･方法　等】 ・授業の全体的な流れと進め方に関する説明
・インターンシップの狙いと重要性について
【事前･事後学習課題】 自分がなぜ、インターンシップに参加したいのかを考え、整理しておいてください
(安久・高尾)

第２回　【授業テーマ】 やりたい仕事を探してみよう
【内容･方法　等】 ・自分がやりたい仕事についてワークを通じて考える
・自分の行動特性を考える
【事前･事後学習課題】 自分のやりたい職種を3つ考えてきてください
(安久・高尾)

第３回　【授業テーマ】 アルバイトと正社員の違いについて考える
【内容･方法　等】 ・仕事の内容から求められる能力や資質について考える
・目標達成意欲度診断の実施
【事前･事後学習課題】 アルバイトと正社員との違いを比較表にしてまとめてきてください
(安久・高尾)

第４回　【授業テーマ】 職種から求められる資質と行動・考え方
【内容･方法　等】 ・職種から求められる資質と行動・考え方
・インターンシップ先希望調査
【事前･事後学習課題】 職種から求められる資質はどのようなものがあるのかを考えてきてください
(安久・高尾)

第５回　【授業テーマ】 自分のキャリアスタイルを考える
【内容･方法　等】 ・キャリアスタイルの分析を通じて、自分の行動特性をチェックする
・目標達成意欲度診断の実施
【事前･事後学習課題】 自分の長所と短所を3つづつ考えてきてください

第６回　【授業テーマ】 インターンシップの狙いと重要性
【内容･方法　等】 ・インターンシップの狙いと重要性
・先輩たちの就業体験報告（PPT）から学ぶ
【事前･事後学習課題】 インターンシップに参加する目的を整理しておいてください
(安久・高尾)

第７回　【授業テーマ】 社会人基礎力について①
【内容･方法　等】 ・社会が求める資質・能力について考える
・採用企業と学生の認識の違いについてグループワーク
【事前･事後学習課題】 社会人基礎力について調べてきてください
(安久・高尾)

第８回　【授業テーマ】 社会人基礎力について②
【内容･方法　等】 ・採用企業と学生の認識の違いについてグループ発表
・社会人基礎力診断の実施
【事前･事後学習課題】 企業は社会人基礎力の中のどの能力を優先するかを考えてきてください
(安久・高尾)

第９回　【授業テーマ】 事前訪問事業所の調査
【内容･方法　等】 ・事業所への事前訪問のシナリオを考える
【事前･事後学習課題】 事前訪問事業所の情報をWebページで調べておいてください
(安久・高尾)

第10回　【授業テーマ】 企業の求める人材像
【内容･方法　等】 ・企業管理者による講演会（予定）
【事前･事後学習課題】 事前に講演者の企業情報を調べ、積極的に質問できるようにしておくこと
(安久・高尾)

第11回　【授業テーマ】 先輩たちの就活アンケート結果から学ぶ
【内容･方法　等】 ・先輩たちの就活アンケート結果から学ぶ
・先輩たちの就活の失敗談から学ぶ
【事前･事後学習課題】 面接場面を想定し、自己アピールできる文章を考えてきてください
(安久・高尾)

第12回　【授業テーマ】 業界研究
【内容･方法　等】 ・インタ-ン先の業界が同種のグループごとに特徴や課題をプレストする
・課題等をKJ法を使ってまとめグループごとに発表する
【事前･事後学習課題】 インターンシップ先が属する業界について調べてきてください
(安久・高尾)

第13回　【授業テーマ】 マナーについて知ろう
【内容･方法　等】 ・基本的なマナーについて考える
・挨拶、席次、敬語など
【事前･事後学習課題】 マナーとエチケットの違いについて調べてきてください
(安久・高尾)

第14回　【授業テーマ】 事前訪問の報告
【内容･方法　等】 ・グループで事前訪問した事業所の報告
・グループでの代表者による発表
【事前･事後学習課題】 事前訪問結果をまとめておいてください

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　65　2014/08/21　14:23:21

(安久・高尾)

第15回　【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法　等】 ・インターンシップ体験に向けての準備
・インターンシップに参加するための目的を明確にする
・インターンシップに参加した先輩（2名）との意見交換（予定）

【事前・事後学習課題】 なぜ、インターンシップに参加するかを明確にし、200字程度の文章にまとめてください
(安久・高尾)

評価方法（基準）

原則、レポートおよび提出課題の内容（50％）と定期期末試験結果（50％）で評価します。

教材等

教科書…「キャリア教育ワークブック」羽石寛寿、安久典宏　清風出版

参考書…摂南大学「インターンシップ体験レポート集」、「就職筆記試験パーフェクト問題集」安久典宏　ＰＨＰ研究所

学生へのメッセージ

インターンシップの流れ（予定）
4月下旬に事業所リスト公開→5月上旬に希望事業所の絞り込み→5月下旬に受け入れ可能かの回答→7月上旬に事前訪問→8月13日（水）～9月9日（火）の間（夏季休暇期間中）に、原則2週間（実質10日以上）のインターンシップ体験をすること。

関連科目

「ビジネスインターンシップⅡ」（企業等での就業体験実習）を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること。

担当者の研究室等

11号館8階　安久研究室

備考

授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがあります。

ビジネスインターンシップII
Business Internship II

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
高　尾　明　照（タカオ　アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期非終講	選択	2

授業概要・目的・到達目標

①就職の準備をしている学生を対象に、職業人としての社会的役割および責任、仕事への情熱と意欲、組織人としての在り方等について自ら学習します。
②責任を自覚して主体的に発言・行動ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。
③インターンシップを通して「企業とは」「組織とは」「仕事とは」について学び、就職に対する心構えを養う。

授業方法と留意点

①「事前指導（講義)」「インターンシップ（実習・研修)」「事後指導（就業体験の発表)」すべてに出席（参加）すること。
②無断欠席は絶対にしないこと。必ず事前連絡を事務室にすること。
③事前に授業のある土曜日のスケジュール（以下の「授業テーマ」内に明記）は、確保しておくこと。
④全学部代表による発表会を11月上旬の土曜日に予定しているので、全員リクルートスーツ着用で出席のこと。
⑤体験報告書のゼミ担当教員氏名欄には署名と押印がされたものを、期日までに提出のこと。
⑥「ビジネスインターンシップ」実習記録簿は、毎日実習日誌を書き、受け入れ先担当者のコメントと署名押印をもらい、インターンシップ終了後は、所定の必要事項を記入しゼミ担当教員氏名欄に署名、押印されたものを、期日までに提出のこと。
⑦実習期間は、実質10日間以上でないと単位履修したことにはならないので、くれぐれも注意すること。

科目学習の効果（資格）

①就業体験を通して、実社会への足掛かりをつかむ
②職業意識を高め、職業選択を適切に行い、就職活動への意欲を高める。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 事前教育　6月28日(土)　1限目

【内容・方法　等】 ・インターンシップの心構え、体験報告書等について
・マナー講座　（学外講師を含む）

【事前・事後学習課題】 ・ビジネスマナーについて考える
★スーツ着用で参加してください
（安久・高尾）

第２回　【授業テーマ】 事前教育　6月28日(土)　2限目

【内容・方法　等】 ・マナー講座　（学外講師を含む）
★授業終了後、インターンシップ先が同一の他学部の学生との顔合わせを行います

【事前・事後学習課題】 正しい電話のかけ方を考える
★次回の授業前に「履歴書」と体験実習先での「目的（テーマ）と実習内容」をまとめたレポートを提出してください
（安久・高尾）

第３回　【授業テーマ】 事前教育　7月26日(土)　1限目

【内容・方法　等】 ・パソコン講習Ⅰ（情報センター職員を含む）

【事前・事後学習課題】 学んだことを実習先で活用できるように機能などをマスターしておいてください
（安久・高尾）

第４回　【授業テーマ】 事前教育　7月26日(土)　2限目

【内容・方法　等】 ・パソコン講習Ⅱ（情報センター職員を含む）

【事前・事後学習課題】 学んだことを実習先で活用できるように機能などをマスターしておいてください
（安久・高尾）

第５回　【授業テーマ】 インターンシップ（就業体験実習）

【内容・方法　等】 ・夏期休暇期間中の8月13日（水）～9月9日（火）の間、原則2週間（実質10日間以上）の実習を行う

【事前・事後学習課題】 事前に企業等の理念や事業内容について調べ、ノートにまとめておいてください
（安久・高尾）

第６回　【授業テーマ】 インターンシップ（就業体験実習）

【内容・方法　等】 ・夏期休暇期間中の8月13日（水）～9月9日（火）の間、原則2週間（実質10日間以上）の実習を行う

【事前・事後学習課題】 インターンシップのテーマ（ねらい、目的）を明確にしたうえで参加してください
（安久・高尾）

第７回　【授業テーマ】 体験報告書の作成

【内容・方法　等】 ・体験報告書の作成指導

【事前・事後学習課題】 報告書の書き方を熟読してください
（安久・高尾）

第８回　【授業テーマ】 体験報告書のゼミ教員指導

【内容・方法　等】 ・ゼミの先生による体験報告書のチェックと指導（署名、押印）

【事前・事後学習課題】 誤字・脱字がないか確かめてから指導を受けてください
（安久・高尾）

第９回　【授業テーマ】 報告書の提出

【内容・方法　等】 ・インターンシップ担当教員による体験報告書のチェックと指導
★担当教員への提出と教務課へ電子データを9月19日（木）までに提出<期日厳守>

【事前・事後学習課題】 「インターンシップ体験報告集」に掲載されますので、何度も読み返して報告書の内容を推敲してください
（安久・高尾）

第10回　【授業テーマ】 事後指導　9月20日(土)　1限目

【内容・方法　等】 ・「インターンシップに参加して」①
・インターンシップ終了学生によるグループ発表と選抜

【事前・事後学習課題】 ７分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
（時間が短かったり、長すぎないように注意してください）
（安久・高尾）

第11回　【授業テーマ】 事後指導　9月20日(土)　2限目

【内容・方法　等】 ・「インターンシップに参加して」②
・グループ代表の選抜
・目標達成意欲度、キャリアスタイル、社会人基礎力診断の実施

【事前・事後学習課題】 ７分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
（時間が短かったり、長すぎないように注意してください）
（安久・高尾）

第12回　【授業テーマ】 事後指導　9月27日(土)　1限目

【内容・方法　等】 ・「インターンシップに参加して」③
・グループ代表による発表
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください

【事前・事後学習課題】 グループ代表者は12分で報告できるようパワーポイントにまとめてください
（パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配ってください）
（安久・高尾）

第13回　【授業テーマ】 事後指導　9月27日(土)　)2限目

【内容・方法　等】 ・「インターンシップに参加して」④
・グループ代表による発表と選抜選抜
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください

【事前・事後学習課題】 グループ代表者は12分で報告できるようパワーポイントにまとめてください
（パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配っ

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　66　2014/08/21　14:23:21

てください）
（安久・高尾）

第14回 【授業テーマ】 事後指導　10月25日（土）　1限目
【内容・方法　等】 ・「インターンシップに参加して」⑤
・学部代表報告　発表
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
★授業開始前までに体験報告書と実習記録簿を提出すること
【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで報告してください(15分程度)
（安久・高尾）

第15回 【授業テーマ】 事後指導⑥　10月25日（土）　2限目
【内容・方法　等】 ・「インターンシップに参加して」⑥
・学部代表報告　発表と全学代表者の選抜
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
【事前・事後学習課題】 ★参加者全員、リクルートスーツ着用
★報告会の感想をレポートにまとめ提出してください
（安久・高尾）

評価方法（基準）
原則、事前指導（20%）、インターンシップ-受け入れ事業所の評価および実習記録簿、報告書の提出を含む-（45%）、事後指導（35%）のすべての受講態度、提出物等により決定します。インターンシップだけの参加では、単位認定はできません。

教材等
教科書…・「キャリア教育ワークブック」　羽石寛寿　安久典宏　清風出版
・適宜プリントやDVD、パワーポイントを使用する。
参考書…摂南大学「インターンシップ体験報告集」(2013年度)

学生へのメッセージ
①「ビジネスインターンシップⅠ」を同時履修すること。
②3年次で履修するのが望ましい。
③3月26日（水）のガイダンスに出席し、「ビジネスインターンシップⅠ、Ⅱ」の受講申込書を提出すること。
④11月8日（土）午前は、全学部の各代表による報告会があります。当日はスーツ着用。
⑤履修希望者が多い場合は、選考する場合がある。

関連科目
教養科目「ビジネスインターンシップⅠ」を必ず合格していること。

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

備考
授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがある。

情報と職業
Information and Caree

北　尾　隆　夫（キタオ　タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
社会に巣立っていく学生諸氏を対象に、情報化の進展がいろいろな職業や我々の生活に及ぼす影響、情報社会における職業観や勤労観について講義する。特に職業人としての情報活用能力の必要性や社会的役割および責任、組織人としてのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の重要性について探求する。
学習・教育目標：情報の教員免許として要求されている「情報と職業」の内容について理解させます。
学科の学習・教育目標との対応[A]

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。
必要に応じてプリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介します。

科目学習の効果（資格）
教員免許(情報)を取得するためには、この科目が必修となっています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 はじめに　－職業開発と情報化の意義－
【内容・方法　等】 ・授業ガイダンス
・教育免許法施行規則での位置づけについて解説します。
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んできてください。

第２回 【授業テーマ】 情報社会の概念
【内容・方法　等】 ・情報社会とは、どの様なことを指すのかを説明すると同時に、情報社会への対応策について解説します。
【事前・事後学習課題】 新聞から情報社会についての記事を探して持ってきてください。

第３回 【授業テーマ】 情報社会における職業観や勤労観
【内容・方法　等】 ・わが国の産業界の特徴について解説します。
・職業観と職業生活に対する意識について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報産業についてどのようなものがあるか調べてください。

第４回 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし　Ⅰ
【内容・方法　等】 ・情報化社会における危機管理について解説します。
・高齢化社会と社会保障について解説します。
【事前・事後学習課題】 高齢化社会の問題について調べてください。

第５回 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし　Ⅱ
【内容・方法　等】 ・高学歴社会と自己学習力について解説します。
・労働時間の短縮と余暇の利用について解説します。
【事前・事後学習課題】 余暇の使い方について考えてください。

第６回 【授業テーマ】 情報社会と高等教育
【内容・方法　等】 ・情報社会で活躍する人材について解説します。
・情報通信技術遠隔学習について解説します。
【事前・事後学習課題】 生涯学習の意味を調べてください。

第７回 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革　Ⅰ
【内容・方法　等】 ・情報と情報通信技術について解説します。
・情報化社会とIT革命について解説します。
【事前・事後学習課題】 ＩＴ革命とは何でしょう、調べてください。

第８回 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革　Ⅱ
【内容・方法　等】 ・企業組織の情報化について解説します。
・政府・電子自治体の情報化について解説します。
【事前・事後学習課題】 電子決済について調べてください。

第９回 【授業テーマ】 情報技術と人材育成　Ⅰ
【内容・方法　等】 ・企業活動と人材育成について解説します。
・公的資格と社会認知について解説します。
【事前・事後学習課題】 皆さんに関係する資格を書き出してください。

第10回 【授業テーマ】 情報技術と人材育成　Ⅱ
【内容・方法　等】 ・情報技術を利用した企業教育について解説します。
・情報産業における職制と職種について解説します。
【事前・事後学習課題】 企業における教育の必要性について考えてください。

第11回 【授業テーマ】 情報産業と国際化　Ⅰ
【内容・方法　等】 ・情報技術革命とは何かについて解説します。
・インターネット革命と日本企業について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報社会における企業の姿について考えてください。

第12回 【授業テーマ】 情報産業と国際化　Ⅱ
【内容・方法　等】 ・情報産業における国際規格について解説します。
・情報産業におけるビジネスモデルと情報倫理について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報と国際化について、今後の姿を考えてください。

第13回 【授業テーマ】 情報と職業のまとめ
【内容・方法　等】 ・情報が職業開発に及ぼす影響につ いてのプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 授業を受けてのまとめをしてください。

第14回 【授業テーマ】 情報と職業のレポート発表
【内容・方法　等】 ・レポートを発表していただきます。
【事前・事後学習課題】 レポートの発表準備をしてください。

第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法　等】 ・情報と職業の講義についてのまとめと感想
【事前・事後学習課題】 情報と職業の全体のまとめをしてください。

評価方法（基準）
全体評価は、平常評価（３５％）と学期末試験評価（６５％）により行います。
平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。

教材等
教科書…近藤　勲編著　「情報と職業」　丸善株式会社
参考書…熊田三喜男編著　「情報時代の社会・経営」　学文社

学生へのメッセージ
・　毎回出席をとります〔連絡カード配付〕。　遅刻をしないようにしてください。
・　座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。
・　授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害と

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　67　2014/08/21　14:23:22

なる場合は退場戴く場合もあります〕。

関連科目

情報科学関連や職業開発に関する講義を受講しておくことが理解を深めることに役立ちます。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

民法I
Civil Law I

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

民法Ⅰおよび民法Ⅱを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法衡は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点

講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもします。また、法律科目ですので、六法が必要であるということを留意してください。

科目学習の効果（資格）

宅地建物取引主任者、行政書士などを目指す人の入門として

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　法律学および民法

【内容･方法　等】　法律科目というもののガイダンス、法律一般および民法の概要について確認する予定です。

【事前･事後学習課題】　新聞などから、目次も含め、教科書から興味を持てる部分を是非見つけてください。

第２回　**【授業テーマ】**　民法と財産法総論

【内容･方法　等】　法律というものが対象としているものなどを大きく捉え、その中で民法典の役割を確認し、さらに財産法の内容を確認していく予定です。

【事前･事後学習課題】　1回目の内容から、自分の周りに存在する財産法と関連する問題を考えてみて下さい。

第３回　**【授業テーマ】**　民法と契約という制度①

【内容･方法　等】　契約という制度を通して、社会における法律関係を確認していく予定です。

【事前･事後学習課題】　現実の生活の中で、どのような契約をしているのかなどを把握してみてください。

第４回　**【授業テーマ】**　民法と契約という制度②

【内容･方法　等】　契約をするうえで、何らかの問題がある場合を前回に続いて確認する予定です。

【事前･事後学習課題】　人は間違いをしてしまうものです。契約において何らかの問題があった場合の事例の対処方法などを考えてください。

第５回　**【授業テーマ】**　民法における人という存在

【内容･方法　等】　契約をすることができるのは誰なのか、また単独では契約ができない人がいるのかなどを確認する予定です。

【事前･事後学習課題】　これまでの経験から、法的に自分が置かれている立場を理解し、なぜ親の同意が必要だったのかを考えてください。

第６回　**【授業テーマ】**　代理

【内容･方法　等】　人は完全に自分ひとりで物事を処理できません。契約もそうです。その場合に、代わりに契約を行ってくれる人が必要となります。そのような人についてみていく予定です。

【事前･事後学習課題】　他人が自分のために契約をしてくれる便利さと怖さを確認してください。

第７回　**【授業テーマ】**　時効

【内容･方法　等】　契約は無限に続くのか、他人の物を知らずに占有しているとどのようなこととなるのかなどを確認する予定。

【事前･事後学習課題】　犯罪捜査における時効とは何が違い、また時効の必要性についても考えてください。

第８回　**【授業テーマ】**　契約の締結

【内容･方法　等】　契約を締結するとはどのようなことなのかを確認する予定です。

【事前･事後学習課題】　友達との約束についても法的に考えてみて下さい。

第９回　**【授業テーマ】**　所有権を通しての物権

【内容･方法　等】　人が物を所持すること、すなわち支配することを、法律はどのように考えているのかを見ていく予定です。

【事前･事後学習課題】　他人が自分の物を返さないという経験がこれまでありましたか？これを、法的に考えてみてください。

第10回　**【授業テーマ】**　不法行為①

【内容･方法　等】　他人に損害を与えてしまい、賠償をしなければならないことを、法的に見ていきます。

【事前･事後学習課題】　交通事故や約束違反によって生じた損害は、賠償により回復することができるのでしょうか。考えてみてください。

第11回　**【授業テーマ】**　不法行為②

【内容･方法　等】　現代社会は進歩が激しく、法律も新しい局面に向かいあう必要が生じています。そこで、不法行為の制度をより多角的に見ていく予定です。

【事前･事後学習課題】　他人に損害賠償を請求するということの難しさを考えてみてください。

第12回　**【授業テーマ】**　事務管理・不当利得

【内容･方法　等】　契約や不法行為とは異なった形で、他人との間で法的な関係が生じる場合をみます。

【事前･事後学習課題】　人情を法律でとらえることや、契約終了後の関係について考えてください。

第13回　**【授業テーマ】**　債務の弁済について①

【内容･方法　等】　契約を守ってもらえない場合に対して、あらかじめ対処する方法などを見る予定です。

【事前･事後学習課題】　お金の貸し借りの難しさと、その対処方法を考えてみてください。

第14回　**【授業テーマ】**　債務の弁済について②

【内容･方法　等】　担保をという制度を把握し、それが実行されたのちの関係などをみる予定です。

【事前･事後学習課題】　他人を信頼することの難しさ、債権というものを担保する必要性を今一度考えてください。

第15回　**【授業テーマ】**　講義のまとめ

【内容･方法　等】　講義全体のまとめをしながら、財産法の持つ意義をもう一度確認する予定です。

【事前･事後学習課題】　全体的な復習を通して、財産法とはどのような視点から見るべきかを考えてみてください。

評価方法（基準）

講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等

教科書…野村豊弘『民事法入門（第5版補訂版）』（有斐閣）(1600円+税)。出版社は問いませんので、六法を必携としています。初回に案内はいたします。

参考書…適宜指示いたします。

学生へのメッセージ

講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目

後期の民法Ⅱと共に受講をしていただきたいと思います。

担当者の研究室等

11号館9階大川研究室

民法II
Civil Law II

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

民法Ⅰおよび民法Ⅱを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法衡は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点

講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもします。また、法律科目ですので、六法が必要であるということを留意してください。

科目学習の効果（資格）

民法は私法の一般法といわれ、数多くの資格試験や公務員試験にも必要とされています。基礎理論を是非押さえましょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　財産法と家族法の確認

【内容･方法　等】　民法衡でみた財産法の内容について確認しつつ、家族法の全体を確認する予定です。

【事前･事後学習課題】　前期で扱った財産法の部分を復習しておいて下さい。

第２回　**【授業テーマ】**　家族法総論

【内容･方法　等】　家族法全体について、また家族とはどのようなものなのかを見ていく予定です。

【事前･事後学習課題】　家族とはどのような人たちか、法的に

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　68　2014/08/21　14:23:22

どのように考えられているのかを確認すること。ここで確認した用語を今後使用します。

第３回　【授業テーマ】　婚姻
【内容・方法　等】　婚姻がどのようにすると成立し、その結果どのような義務が生じるのかなどを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】　誰とでも婚姻できるのか、婚姻する意味を考えてください。

第４回　【授業テーマ】　婚姻の効果ならびに離婚
【内容・方法　等】　婚姻が成立するとどのような権利義務が生じるのかを確認する予定。また、婚姻関係が終了する場合の一つである、離婚についても簡単に確認する予定。
【事前・事後学習課題】　一緒に住むこと以外にも、婚姻には大きな意義があることを確認すること。

第５回　【授業テーマ】　離婚に関する諸問題
【内容・方法　等】　離婚原因を確認し、離婚の際に生じる問題を確認していく。
【事前・事後学習課題】　国家が認める婚姻関係を解消することの重大性を今一度確認すること。

第６回　【授業テーマ】　婚姻類似の関係
【内容・方法　等】　婚姻関係にないが内縁関係のように、類似する場面もある。それを法的にどのようにとらえるのかをみる。
【事前・事後学習課題】　なぜ、そのような関係を保護するのか、その必要性を考えること。

第７回　【授業テーマ】　親子関係
【内容・方法　等】　親子は互いにどのような権利義務関係があるのか、また、子の扱いが異なる現状を確認する。
【事前・事後学習課題】　法律が完全に正義を実現しているのかどうかを考える重要な問題が出てきます（非嫡出子の問題）。それを考えること。

第８回　【授業テーマ】　養子縁組
【内容・方法　等】　実子以外と親子関係を形成する手段である養子縁組の制度を見ながら、現代の生殖補助の問題も確認する予定。
【事前・事後学習課題】　養子制度の必要性や現代における科学技術の進歩についても意識する必要がある。

第９回　【授業テーマ】　親権
【内容・方法　等】　親は子に対してどのような義務を負うのかを確認していく。
【事前・事後学習課題】　法的に負わされた義務を本当に社会において実現されているのかを考えてみること。

第10回　【授業テーマ】　相続について
【内容・方法　等】　相続の意義や誰が相続できるのかについて確認する。
【事前・事後学習課題】　法律がどのような範囲で相続を認めているのかを理解するため、家族というものを復習しておくこと。

第11回　【授業テーマ】　相続できる者とは
【内容・方法　等】　相続とはどのような人間関係に成立するのかを見る予定です。
【事前・事後学習課題】　誰でも相続できるのでしょうか。なぜ相続で争うのでしょうか。考えて下さい。

第12回　【授業テーマ】　相続分について
【内容・方法　等】　誰がどのような内容を相続するのかについて確認する。
【事前・事後学習課題】　多少の計算が必要となります。自分の家族などに置き換えて、頭の中で考えること。

第13回　【授業テーマ】　相続分の調整原理
【内容・方法　等】　相続が開始したとしても、それまでに多くの財産をもらっていた人や、財産形成に寄与した人もいるはず。その場合の調整方法を確認する。
【事前・事後学習課題】　計算などの場合、具体例を想定して考える必要があるので、あわてずに考えること。

第14回　【授業テーマ】　遺言
【内容・方法　等】　相続における被相続人の意思を遺す方法やその問題点を確認する。
【事前・事後学習課題】　遺言の重要性と、不明確な場合の問題を現実の例から確認すること。

第15回　【授業テーマ】　遺留分および講義のまとめ
【内容・方法　等】　相続人が最低限確保することが認められている相続分の意義について確認していく。また、講義全体のまとめにも入りたい。
【事前・事後学習課題】　全体の復習をしておくこと。

評価方法（基準）
講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等
教科書…教科書の指定はしません。ただし、出版社は問いませんので、六法を必携としています。初回に案内はいたします。
参考書…野村豊弘『民事法入門（第5版補訂版）』（有斐閣）(1600円+税)。

学生へのメッセージ
講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目
民法Ⅰの内容を前提に講義をいたします。ただし、やる気のある方は受講してくださってかまいません。

担当者の研究室等
11号館9階　大川研究室

会社法Ⅰ
Corporate Lawl

高　田　尚　彦（タカダ　ナオヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
会社法Ⅰでは、各種会社のうち株式会社を中心に会社法の講義を行います。株式会社の設立、株式、株式会社の機関について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点
会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果（資格）
会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験（法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など）の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】　教科書p.1～p.4を読んでおくこと。

第２回　【授業テーマ】　会社法総論
【内容・方法　等】　会社の概念、会社の種類、会社法総則。
【事前・事後学習課題】　教科書p.5～p.18を読んでおくこと。

第３回　【授業テーマ】　株式会社の設立
【内容・方法　等】　株式会社の設立総説、設立手続、設立の無効。
【事前・事後学習課題】　教科書p.19～p.34を読んでおくこと。

第４回　【授業テーマ】　株式（１）
【内容・方法　等】　株式総説、株主名簿。
【事前・事後学習課題】　教科書p.34～p.41を読んでおくこと。

第５回　【授業テーマ】　株式（２）
【内容・方法　等】　株式の譲渡、自己株式。
【事前・事後学習課題】　教科書p.41～p.47を読んでおくこと。

第６回　【授業テーマ】　株式（３）
【内容・方法　等】　株式の併合・分割・無償割当て、単元株式数、募集株式の発行、株券。
【事前・事後学習課題】　教科書p.47～p.54を読んでおくこと。

第７回　【授業テーマ】　新株予約権
【内容・方法　等】　新株予約権の意義、新株予約権原簿、新株予約権の譲渡。
【事前・事後学習課題】　教科書p.54～p.59を読んでおくこと。

第８回　【授業テーマ】　株式会社の機関（１）
【内容・方法　等】　株式会社の機関総説。
【事前・事後学習課題】　教科書p.59～p.61を読んでおくこと。

第９回　【授業テーマ】　株式会社の機関（２）
【内容・方法　等】　株主総会、種類株主総会。
【事前・事後学習課題】　教科書p.62～p.76を読んでおくこと。

第10回　【授業テーマ】　株式会社の機関（３）
【内容・方法　等】　役員等の選任および終任、取締役、取締役会。
【事前・事後学習課題】　教科書p.76～p.95を読んでおくこと。

第11回　【授業テーマ】　株式会社の機関（４）
【内容・方法　等】　会計参与、監査役・監査役会、会計監査人。
【事前・事後学習課題】　教科書p.95～p.104を読んでおくこと。

第12回　【授業テーマ】　株式会社の機関（５）
【内容・方法　等】　委員会設置会社。
【事前・事後学習課題】　教科書p.104～p.115を読んでおくこと。

第13回　【授業テーマ】　株式会社の機関（６）
【内容・方法　等】　役員等の責任、株主の差止請求権、株主代表訴訟。
【事前・事後学習課題】　教科書第p.115～p.132を読んでおくこと。

第14回　【授業テーマ】　計算、定款の変更
【内容・方法　等】　会計帳簿、計算書類、資本金と準備金、剰余金の配当、定款の変更。
【事前・事後学習課題】　教科書p.132～p.145を読んでおくこと。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　69　2014/08/21　14:23:22

第15回　【授業テーマ】　解散、清算、会社法Ⅰまとめ
【内容・方法　等】　解散原因、解散の効果、通常清算、特別清算、会社法Ⅰ総括。
【事前・事後学習課題】　教科書p.146～p.150を読んでおくこと。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の結果によって評価する。

教材等
教科書…加藤徹・塚本和彦（編）『新会社法の基礎(第2版)』（法律文化社（2013年））（2,600円+税）
参考書…授業中に適宜示します。

学生へのメッセージ
会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。

関連科目
会社法Ⅱ、民法、企業論、企業簿記。

担当者の研究室等
11号館6階　法学部

会社法II
Corporate Law II

高　田　尚　彦（タカダ　ナオヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
会社法Ⅱでは、会社法Ⅰで習得した知識をもとに、組織再編を中心に会社法の講義を行います。株式会社の合併・分割・事業譲渡について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点
会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果（資格）
会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験（法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など）の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】　教科書p.1～p.4を読んでおくこと。
第２回　【授業テーマ】　会社法Ⅰまとめ（１）
【内容・方法　等】　会社法総論、株式会社の設立について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】　教科書p.5～p.34を読んでおくこと。
第３回　【授業テーマ】　会社法Ⅰまとめ（２）
【内容・方法　等】　株式、新株予約権について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】　教科書p.34～p.59を読んでおくこと。
第４回　【授業テーマ】　会社法Ⅰまとめ（３）
【内容・方法　等】　株式会社の機関、計算について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】　教科書p.59～p.148を読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】　持分会社
【内容・方法　等】　持分会社の設立、社員、計算等。
【事前・事後学習課題】　教科書p.151～p.169を読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】　社債
【内容・方法　等】　社債の種類、社債の発行、社債権者の権利、社債権者集会。
【事前・事後学習課題】　教科書p.170～p.180を読んでおくこと。
第７回　【授業テーマ】　組織再編（１）
【内容・方法　等】　組織再編総説
【事前・事後学習課題】　事前に配布する補足資料を読んでおくこと。
第８回　【授業テーマ】　組織再編（２）
【内容・方法　等】　合併の手続き、簡易合併、合併無効の訴え、合併対価の柔軟化。
【事前・事後学習課題】　教科書p.181～p.191を読んでおくこと。
第９回　【授業テーマ】　組織再編（３）
【内容・方法　等】　会社分割の意義、吸収分割と新設分割、分割手続、会社分割無効の訴え。
【事前・事後学習課題】　教科書p.191～p.194を読んでおくこと。
第10回　【授業テーマ】　組織再編（４）
【内容・方法　等】　株式交換の意義、手続、株式交換の無効の訴え。
【事前・事後学習課題】　教科書p.194～p.197を読んでおくこと。
第11回　【授業テーマ】　組織再編（５）
【内容・方法　等】　株式移転の意義、手続、株式移転の無効の訴え。
【事前・事後学習課題】　前回の授業の復習をしておくこと。
第12回　【授業テーマ】　組織再編（６）
【内容・方法　等】　事業譲渡・事業の譲受け
【事前・事後学習課題】　教科書p.197～p.200を読んでおくこと。
第13回　【授業テーマ】　組織再編（７）
【内容・方法　等】　組織変更の意義、株式会社から持分会社への組織変更、持分会社から株式会社への組織変更。
【事前・事後学習課題】　教科書p.200～p.202を読んでおくこと。
第14回　【授業テーマ】　外国会社・雑則
【内容・方法　等】　外国会社、会社の解散命令、公告。
【事前・事後学習課題】　教科書p.203～p.211を読んでおくこと。
第15回　【授業テーマ】　会社法Ⅱまとめ
【内容・方法　等】　会社法Ⅱ総括
【事前・事後学習課題】　会社法Ⅱで学習したことを見直しておくこと。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の結果によって評価する。

教材等
教科書…加藤徹・塚本和彦（編）『新会社法の基礎(第2版)』（法律文化社（2013年））（2,600円+税）
参考書…授業中に適宜示します。

学生へのメッセージ
会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。

関連科目
会社法Ⅰ、民法、企業論、企業簿記。

担当者の研究室等
11号館6階　法学部

労働法I
Labor Law I

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
労働者の保護を目的とする法規のすべてを労働法の中でも労働者保護法と呼ぶことがある。この授業では、労働者保護法の分野の中から、労働契約、労働時間、休憩、休日、変形労働時間制、年次有給休暇、賃金、退職金、人事異動、就業規則、労働契約の終了、雇用保障などの問題を取り上げる。授業の中では、判例の中から近時問題となっている論争的テーマを織込み、紛争解決のあり方などを検討する。

授業方法と留意点
教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
労働基準監督官試験受験のため

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　労働契約
【内容・方法　等】　・募集、採用、採用内定、試用期間、契約上の権利義務、労務の提供と報酬の支払、職場規律の維持、配慮義務
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.７８－８９
第２回　【授業テーマ】　労働契約
【内容・方法　等】　・労働契約と法的規制、契約の期間、労働条件の明示義務、賠償予定の禁止、前借金相殺の禁止、強制貯金の禁止
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.８９－９６
第３回　【授業テーマ】　有期労働契約等
【内容・方法　等】　・労働者派遣法
・パートタイム労働者、外人労働者問題
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.３７－４９
第４回　【授業テーマ】　労働時間
【内容・方法　等】　・労働時間の規制、規制の弾力化、除外と例外、割増賃金、時間外・休日労働
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１３２－１５９
第５回　【授業テーマ】　休憩、休日
【内容・方法　等】　・休憩時間の長さ、一斉休憩の原則、自由利用の原則
・週休の付与、週休の振替、代休、変形労働時間と振替
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１５２－１５９
第６回　【授業テーマ】　変形労働時間制
【内容・方法　等】　・一ヶ月以内変形労働時間制、一年以内変形労働時間制、非定型変形労働時間制

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　70　2014/08/21　14:23:22

【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１４０－１４２
第７回　【授業テーマ】 変形労働時間制
【内容・方法　等】 ・一週間単位の変形労働時間制
・フレックスタイム制
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１４２－１４４
第８回　【授業テーマ】 労働時間制の適用除外
【内容・方法　等】 ・除外と例外、対象労働者
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１４４－１４８
第９回　【授業テーマ】 年次有給休暇
【内容・方法　等】 ・意義、成立要件、時季指定権、時季変更権、年休権の行使と不利益変更
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp１６０－１７０.
第10回　【授業テーマ】 賃金
【内容・方法　等】 ・労基法上の賃金、賃金請求権、支払方法、平均賃金
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１１３－１１７
第11回　【授業テーマ】 退職金
【内容・方法　等】 ・退職金、退職年金
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１１７－１２０
第12回　【授業テーマ】 人事異動
【内容・方法　等】 ・配転、出向、転籍
・会社分割と労働契約承継法、営業譲渡
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１０２－１１１
第13回　【授業テーマ】 就業規則
【内容・方法　等】 ・就業規則の意義と法規制、作成義務と記載事項
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１９８－２０４
第14回　【授業テーマ】 就業規則
【内容・方法　等】 ・就業規則の法的性質、就業規則の不利益変更
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２０４－２１４
第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 以上の総括
【事前・事後学習課題】 課題　レポート提出

評価方法（基準）
学期末試験の結果により評価する

教材等
教科書…「労働法（第10版）」安枝英訥・西村健一郎著（有斐閣）
参考書…「労働法（第七版補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）

学生へのメッセージ
教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目
法学入門、日本国憲法、民法、労働法Ⅱ

担当者の研究室等
11号館10階(樫原研究室)

労働法II
Labor Law II

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
労働組合と使用者もしくは使用者団体の関係、あるいは労働組合内部の関係を規律する法として団体的労働関係法があり、同法は労使関係法とも呼ばれる。団体的労働関係法の分野の中から、労働組合、団体交渉、争議行為、労働協約、不当労働行為などの問題を取り扱う。授業の中では、近時問題となっている論争的テーマを織込み、問題の背景、状況、判例などの分析を通じて法的対応や紛争解決のあり方を検討する。

授業方法と留意点
教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
労働基準監督官試験受験のため

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 労働法の授業
【内容・方法　等】 ・労働法の意義
・労働法の性格
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２－６
第２回　【授業テーマ】 労働基本権
【内容・方法　等】 ・団結権、団体交渉権、団体行動権（労働三権）、理念、限界
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.１５－２２
第３回　【授業テーマ】 労働組合
【内容・方法　等】 ・目的、態様
・労働組合法上の要件
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２７０－２７６
第４回　【授業テーマ】 労働組合
【内容・方法　等】 ・内部統制、ユニオンショップ協定
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２７６－２８３
第５回　【授業テーマ】 団体交渉
【内容・方法　等】 ・意義、形態、当事者、担当者
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２８４－２８８
第６回　【授業テーマ】 団体交渉
【内容・方法　等】 ・団交事項、効力
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２８９－２９０
第７回　【授業テーマ】 団体行動
【内容・方法　等】 ・組織活動
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３３４－３４４
第８回　【授業テーマ】 争議行為
【内容・方法　等】 ・争議行為
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３０９－３２５
第９回　【授業テーマ】 争議行為
【内容・方法　等】 ・ロックアウト
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp３２５－３２８.
第10回　【授業テーマ】 労働協約
【内容・方法　等】 ・意義、効力発生、要件、効力－規範的効力、債務的効力
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.２９１－３０３
第11回　【授業テーマ】 労働協約
【内容・方法　等】 ・協約の拡張、一般的拘束力
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３０３－３０５
第12回　【授業テーマ】 不当労働行為
【内容・方法　等】 ・意義、態様－不利益取扱、団交拒否、支配介入、経費援助
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３４５－３６１
第13回　【授業テーマ】 不当労働行為の救済
【内容・方法　等】 ・行政救済
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３６４－３７０
第14回　【授業テーマ】 不当労働行為の救済
【内容・方法　等】 ・司法救済
【事前・事後学習課題】 課題　テキストp.３６６
第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 ・以上の総括
【事前・事後学習課題】 レポートの提出

評価方法（基準）
学期末試験の結果により評価する

教材等
教科書…「労働法（第10版）」安枝英訥・西村健一郎著（有斐閣）
参考書…「労働法（第七版第補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）

学生へのメッセージ
教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目
日本国憲法、民法、刑法（法学部科目）、労働法Ⅰ

担当者の研究室等
11号館10階(樫原研究室)

経営学特講V
Up-to-date Topics of Business Administration V

仲　　秀　樹（ナカ　ヒデキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
当授業では、監査の中でも企業会計の監査である財務諸表監査を中心に講義する。監査の本質を理解するために、監査の意義・種類について解説し、監査の基本的概念について検討したい。また実際の財務諸表監査とは、いかなる証拠を収集し、評価するのかなど、監査人の具体的な手続についても見ていくことにする。

授業方法と留意点
教科書にもとづいた講義方式。監査について受講生はイメージを描きにくいと思われるので、具体例を交えながら平易な講義を心がけたい。

科目学習の効果（資格）
監査論の基礎知識を得ることにより、公認会計士試験の初歩的な知識を獲得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 監査のフレームワーク（1）
【内容・方法　等】 監査とは何か。監査がなぜ必要とされるのか。その意義について検討する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それを

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　71　2014/08/21　14:23:23

もとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第２回　【授業テーマ】　監査のフレームワーク（2）
【内容･方法　等】　監査の生成要因と監査の種類について解説する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第３回　【授業テーマ】　監査のフレームワーク（3）
【内容･方法　等】　財務諸表監査の特質と監査の経済的機能について説明する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第４回　【授業テーマ】　監査制度のフレームワーク
【内容･方法　等】　アメリカにおける監査基準の生成と展開を概説し、わが国の商法監査制度および証券取引法監査制度について説明する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第５回　【授業テーマ】　監査規範の意義とわが国の監査基準（1）
【内容･方法　等】　監査規範の意義と体系について解説する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第６回　【授業テーマ】　監査規範の意義とわが国の監査基準（2）
【内容･方法　等】　監査基準の生成と展開について解説する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第７回　【授業テーマ】　監査規範の意義とわが国の監査基準（3）
【内容･方法　等】　監査基準における一般基準、実施基準、報告基準について概説する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第８回　【授業テーマ】　監査意見形成のプロセス（1）
【内容･方法　等】　監査意見形成のプロセスはどのような論理に支えられているか、を説明する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第９回　【授業テーマ】　監査意見形成のプロセス（2）
【内容･方法　等】　財務諸表監査における経営者の主張と監査要点について考える。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第10回　【授業テーマ】　監査意見形成のプロセス（3）
【内容･方法　等】　監査手続と監査技術の関係、および監査技術の詳細につき講義する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第11回　【授業テーマ】　リスク・アプローチと監査戦略
【内容･方法　等】　リスク・アプローチの意義と監査リスクの構成要素について説明する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第12回　【授業テーマ】　リスク評価、実証手続および監査の完了
【内容･方法　等】　固有リスクの評価や統制リスクの評価について講義する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第13回　【授業テーマ】　監査報告書と情報提供機能
【内容･方法　等】　監査業務の最終成果物である監査報告書について、その意義と機能、利害関係者にとっての意味や監査報告書の利用方法について説明する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第14回　【授業テーマ】　総論
【内容･方法　等】　現在の会計監査の重要性とその将来性について検討する。
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第15回　【授業テーマ】　おわりに
【内容･方法　等】　講義のまとめ
【事前･事後学習課題】　講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

評価方法（基準）
評価方法は定期試験が８０％、レポートが２０％として評価する。

教材等
教科書…「六訂版　ベーシック監査論」伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏共著　同文館出版3,800円（税別）
参考書…特になし

学生へのメッセージ
講義中の私語は厳禁。質問は大歓迎です。学生の講義の理解度に応じて講義内容を変更する場合があります。

関連科目
会計関連科目、とくに財務会計論を履修していることが望ましい。

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

岩　田　　浩（イワタ　ヒロシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
現代は組織の時代である。私たちは、好むと好まざるとにかかわらず、この組織との関係抜きに生活することはできない。それゆえ、組織についての知識を深めることは、今後ますます重要視されてくるものと考えられる。そこで本演習では、この組織とその存続・発展を担う管理について基礎から段階的に学んでいくことを通して、そうした知識の蓄積を図っていきたい。

授業方法と留意点
教科書の輪読を通して、組織と管理の理解を深めていく

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
テーマ：組織と管理に関する基本的考察
教科書の輪読を通して、標記についての理解を深めていく。報告者はレジュメを用意し、他の者はあらかじめ質問事項を用意しておくこと。

評価方法・評価基準
出席（40％）と提出物（60％）の総合評価

教材等
教科書…庭本佳和・藤井一弘編著『経営を動かす』文眞堂、2,835円
参考書…適宜指示する

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

佐　藤　正　志（サトウ　マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
テーマ「経営者の研究・企業経営の歴史的研究（経営史）」

各自が興味ある経営者（企業家）や企業の歴史・現状についての研究をおこなうゼミです。
（２年次～３年次前半）教科書に即して、その内容の報告と討論を行い、明治・大正期から現代にかけての日本の企業家・企業経営の歴史的な流れを学習していきます。
（３年次後半～４年次）本格的に各自のテーマに即して研究を進めます。
ところで、経営史研究では史料（資料）が必要です。基本的な文献を入手するのみならず、本ゼミでは、インターネットをとおして文献を検索したり、外部のデータベースを利用して研究対象の資料を検索し、詳しいデータを調査・入手します。こうした作業は、いわゆる「情報リテラシー」を修得するための勉強を兼ねています。さらに、より歴史的な認識力や感覚を磨くために、企業博物館の見学なども実施する予定です。

授業方法と留意点
【授業内容】
２年次には教科書をもとに、その報告と質疑を行いながら、日本経営史の基礎知識を身につけていきます。
第１回　本演習のオリエンテーション
（前期）　近代経営の発展・展開（明治後期～昭和初期）　と経営者
（後期）　企業経営の変容・大企業体制の成立と経営者
情報・消費社会のなかでの経営者活動

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
日本を代表する企業家の経営活動を分析します。基本的には事前学習が大切です。まずは、教科書を読んでおいてください。また、事後学習は、より詳しく、専門書などにあたり、深く研究してもらいたいと思います。

評価方法・評価基準
研究発表の内容・方法（50％）、ゼミ活動への積極的参加態度（50％）。

教材等
教科書…宇田川勝編『企業家に学ぶ経営史』有斐閣（2,800円＋税）
参考書…適宜、紹介します。

備考
【学生へのメッセージ】
楽しく充実したゼミにするには、ひとえにゼミ生の意気込みにかかってます。積極的に企画を出すなどして、ゼミ活動に主体的に参加してください。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　72　　2014/08/21　14:23:23

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ　経済データの利用

日本経済に関する様々な問題を分析するため、基本的なデータの利用の仕方をを身に付ける。そして以下のような目標を達成する。

（1）現状をよく知るために、新聞などを読む。
（2）理論的な知識をつけるために、多くの本を読む。
（3）論理的な思考をする。
（4）自分の考えを、口頭で発表する。
（5）形式の整った、内容のあるレポートを書く。

授業方法と留意点

【授業内容】
[授業内容]
データの意味。利用の仕方。経済の現状の把握。
[授業方法と留意点]
テキストを利用した、発表と討論。出席と授業中の発言が、最も重視される。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

日本の企業、経済、社会に関する問題を分析するためのデータを利用する方法やその意義について考えていく。テキストなどの担当項目の報告を通じ、理論的に思考し、また自分の考えを表現する力をつけていく。

評価方法・評価基準

平常点、授業での取り組み、レポートなどで総合的に評価。

教材等

教科書…吉本佳生『高校生からの経済データ入門』ちくま新書,￥780
参考書…授業中に紹介します

備考

【学生へのメッセージ】
上にも書いたように、できるだけ多くの本を読むようにしてほしい。基本的知識をつけることは、どのような分野を勉強するにも大事なことである。また自分の考えをまとめ、人に伝える技量をつけてほしい。

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

槇　谷　正　人（マキタニ　マサト）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】
テーマ「カイシャのマネジメント研究」
皆さんが社会で起きている現象に興味関心を持ち、特に身の回りの商品やサービスを提供するカイシャの活動について解説します。
【目的】
カイシャのマネジメントを研究することで、皆さんが社会で活躍できるよう、自らの視点で問題を解決する基礎能力を鍛えます。
【到達目標】
経営学における戦略と組織のマネジメントを研究し、日本のカイシャが直面する課題を実証研究します。そのうえで、4年次には卒業論文を完成させます。

授業方法と留意点

【授業内容】
カイシャの課題を解決するために必要なマネジメント（戦略を立てる・組織をつくる・人を動かす）を研究（文献・現場・卒業論文）します。
【授業方法と留意点】
２年次では、課題図書の要約と問題提起を行います。そのため毎回チーム学習で、プレゼンテーション、ディスカッションなど相互学習を行います。
３年次では、ロジカルシンキングと情報分析方法について理解を深めます。
４年次では卒業論文を完成させます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ】カイシャのマネジメント研究
皆さんにとって身近な商品やサービスについて学びます。そのため、それらを創り出しているカイシャのとりくみを研究します。たとえば、グローバル経営を展開する自動車・電機・通信・情報などの産業を始め、流通・小売業・外食などの産業に至るまで、広く皆さんが興味関心を寄せているカイシャを対象にします。
【事前事後学習課題】
「読み・書き・話す」能力のトレーニングを図るため、「課題図書の選定、要約、プレゼンテーション」を毎回行います。また、毎回各自発表を行うため、A4×1枚、あるいはパワーポイント8枚の資料を作成してもらいます。主な研究方法は、書籍などの文献調査を中心に、新聞、インターネット、現場での観察、聞き取り調査などです。

評価方法・評価基準

1.プロセスの評価：出席は必須とし、調査・報告・ディスカッションなど、貢献の量
2.結果の評価：卒業論文のテーマの独自性と内容など、成果の質

教材等

教科書…槇谷正人（2012）『経営理念の機能-組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社（3,000円+税）
参考書…大平浩二編著（2009）『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社
戸田山和久（2002）『論文の教室－レポートから卒論まで』日本放送出版
P.F.ドラッカー（2001）『マネジメント-基本と原則-』ダイヤモンド社

備考

本ゼミでは4年生までに頭を柔軟に鍛える習慣を身に着けます。そのためには、夢に向かって失敗を恐れず挑戦し続けることが必要です。

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

目標：経営と心理学
前期では、経営における心理学の関わりについて概説する。特に、組織管理における人的要素、労働者の健康管理、マーケッティングにおける心理学などを学ぶ。後期は、これらの領域における心理学の役割について実践的な授業を通して理解を深めていく。

授業方法と留意点

経営学における心理学的なテーマは多彩である。個々のテーマに関する資料を収集・整理し、ゼミの中で発表する。ゼミ生の積極的な議論を通して、新たな着想が得られるように心掛ける。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

ゼミでは自由な発想を重視する。ゼミ生の発言は全て貴重な情報であり、特色のある意見と考える。また、本ゼミでは、自らが問題を発見し解決するというプロセスを大事にし、実践を重んずる学習を優先する。学習する場を学外に求め、地域との関係を深めるなどの活動を行う予定である。

評価方法・評価基準

ゼミ授業への参加態度、ゼミでの発言、資料の整理と分析、成果のプレゼンテーションなどをもとに総合的に評価する。

教材等

教科書…指定せず。
参考書…授業の中で随時参考となる図書を推薦する。

備考

本演習の課題は社会に対する関心を深め、様々な社会事象について考える姿勢を身につけることである。新聞を読み社会の動向に敏感になるように。

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

高　尾　裕　二（タカオ　ヒロジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

３年間の演習（ゼミナール）を通して、財務会計を学ぶ。現在では、資本市場における投資者の証券投資意思決定に資することと捉える「情報提供機能」が会計情報の役割・機能の中核に位置づけられていることから、会計情報の意義・目的に関わる範囲で、コーポレート・ファイナンス分野にもかなりの程度、関心の目を向ける。

演習Ⅰでは、今後３年間の基礎ステップとして、主に日商簿

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　73　2014/08/21　14:23:23

記検定に向けた検定用の学習を行う予定である。併せて、随時、各自の関心も踏まえ、会計学での近時のトピックスと思われる特定のテーマについての課題を与える。

授業方法と留意点

【授業内容】

財務会計の基礎としての簿記の学習については、これまでの学習量・知識量を踏まえ、各自の進捗度に合わせた学習方法を採用する予定であるが、最終的にはゼミ生全員の日商３～２級の資格取得を期待する。トピックスとして取り上げた特定のテーマについては、各自、レジュメの作成し、プレゼンテーションを実施する予定である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

簿記の学習については、授業中に課題に取り組み、正解と照合し、間違った箇所を納得した後、次の課題へと着実に前進することをモットーとする。特定のテーマ課題については、将来の卒業論文の作成を念頭に、資料の収集方法・レポートの様式を含む作成方法の基礎が順次体得できるよう段階的・計画的に指導する。

評価方法・評価基準

出席状況（50％）と課題への取組み姿勢・態度（50％）にもとづいて評価する。

教材等

教科書…テキストは後日指示する。

参考書…必要に応じて、授業中に指示する。

備考

【学生へのメッセージ】

勉学に際しては、与えられた課題や自身の関心事について、積極的・前向きに取り組むこと。基本的な簿記・会計の知識を学習した後は、各自の関心事を大いに尊重するので、ビジネスに関して、いろいろ・さまざまな関心を示してもらえればと思う。

演習I
Seminar I

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

英語、パソコン、会計（国際）が現代の「三種の神器」である、といわれるがこの三者に共通していることは、どれもグローバルなコミニュケーション手段であるということです。会計は企業活動を計数的に写像したものであり、企業経営そのものを指し示している。経営者による裁量的な会計行動による不祥事が次々と発覚し、近年、会計の重要性が再認識されつつある。本演習では、会計情報を利用する立場から会計の基礎知識の修得に努める。

授業方法と留意点

基本的知識を習得するために、入門書を輪読し、各自内容をまとめ発表する。また簿記、工業簿記の基本も習得する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

会計と経営、経済社会の関わりについて学び、会計の基本的な枠組み、知識を習得する。ゼミでは、毎回、各自の発言を求め、質疑、応答形式で進めていく。

評価方法・評価基準

演習への参加（出席、レポートの提出、発表等）

教材等

教科書…未定。参加者と相談の上決定します。

参考書…適宜、指定する。

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミは、必ず出席し、積極的に参加してください。一方的に知識が与えられる場としてではなく、活発な討論を通じて教員もゼミ生も互いに切磋琢磨していける場としてゼミを考えています。

演習I
Seminar I

岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

2008年の金融危機は米国のサブプライムローンという住宅ローンに端を発している。巨大国家米国とはいえ、一国家の住宅ローンの問題、さらに言えばサブプライムローンは全住宅ローンの一部に過ぎず、その一国家の一部の住宅ローン問題が、世界のあらゆる国の経済に損失をもたらした。この問題を通して我々は如何に金融が身近な存在であるのかを改めて痛感させられた。

本演習では主として金融問題を扱い、学生諸君自身がこれらを解き明かすことを目的とする。扱うテーマは、例えば資金の借り手としての企業や貸し手としての銀行、また証券会社、格付け機関といった金融市場のプレイヤーから、株式・債券市場といったマクロ的な金融市場を取り上げても良い。また、マクロ金融政策やプルーデンス政策など政策的観点からテーマを選んでも良い。

ただし、本演習の論文作成においては、論理・理論に基づくことは言うまでもないが、さらにそれらを支えるデータや統計学的手法、同時にパソコンを駆使する傾向が強くなる。したがって本演習を希望する学生には、入門水準でよいので、できうる限りこれらの知識を習得しておいて欲しい。そして何より、ヤル気や積極性が重要である。テーマ選定や演習の運営については学生諸君に任せるという意味で自由だがその反面、積極的な参加姿勢が求められると思っておいて欲しい。

授業方法と留意点

基本的に学生によるプレゼンテーション形式で進める。プレゼンテーションの準備をする人はいうまでもないが、プレゼンテーションを聞いている学生にも積極性を求める。なおテキストは開講時に知らせる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

演習Iでは、金融に関する基礎的な知識の修得を目標とする。

(1) 事前に課したレポートをもとに討論・プレゼンテーション形式で演習を進める。(2)必要に応じ論文の書き方やアイデアの作り方を教授する。(3)後期は知識として不足している分野について臨機応変に対応する。

評価方法・評価基準

学習態度(40%)、プレゼンテーションの出来映えなど(60%)を総合的に判断する。

教材等

教科書…別途指示する

参考書…別途指示する

備考

【学生へのメッセージ】

昨今の就職状況を鑑み、本演習では卒業論文の作成を前倒しに行う。したがって、演習の進捗状況は通常よりも早く、少々、キツイかもしれない。その点、覚悟願う。

演習I
Seminar I

三　木　僚　祐（ミキ　リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本演習では、管理会計について学んでいく。管理会計とは、企業内部の各階層の経営管理者に、経営管理に有用な会計情報の提供を目的とする会計である。管理会計は、経営管理を有効に行うために不可欠な手段であり、管理会計を学ぶことは今後社会に出るにあたって、大変意義のあることであると考える。

本演習の目的は、管理会計の基礎的事項を理解することである。そこで、管理会計とは何かや、予算管理、標準原価計算といった伝統的な管理会計技法の意義・手続きについて理解してもらう。

授業方法と留意点

管理会計の基礎的な教科書を用いて授業を行なう。毎回当番を決めて、事前に演習参加者に教科書の内容についてまとめた資料を作成してもらう。その資料を授業中に発表してもらい、発表後は、その内容について議論を行う。活発な議論を期待する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

管理会計に関する基礎的な教科書を用いて、授業を進める。毎回の進度は、教科書1章分。前期は、管理会計を理解する上で欠かすことのできない原価計算の基礎的な事項について学ぶ。後期は、予算管理や標準原価計算など伝統的な管理会計技法について学んでいく。授業での発表者以外の人も、当日の授業内容について事前に自分なりにまとめておくこと。

評価方法・評価基準

授業態度、授業中の発言などを考慮して評価する。

教材等

教科書…未定、第1回目の授業のときに指示する。

参考書…未定、第1回目の授業のときに指示する。

備考

授業の無断欠席や遅刻は認めません。授業には、真剣に取り組んで下さい。また、授業中は、積極的に発言することを期待します。演習参加者全員の努力で、演習での学びを、充実した実りのあるものにしましょう。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　74　　2014/08/21　14:23:23

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

基本的な会計の知識を身につけるため、会計用語の知識を高めることをを目的とする。

授業方法と留意点

授業には出席すること。ただ、居眠りや携帯を操作することは禁じる。

また、担当箇所の要約等は自らがレジメを作成し準備（リハーサル）もして臨んでほしい。自分が担当箇所の欠席は認めない。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

3年間の演習（ゼミナール）を通して、会計学、簿記、税法を学ぶ。

演習Ⅰでは、3級簿記のマスターと会計学及び税法の基本を学ぶ。「簿記」については日商検定に向けて検定用の学習をする。「税法」「会計学」は、その基本的なテキストを輪読し各自レジメを作成し発表してもらう。プレゼンがしっかりできるようになること。

評価方法・評価基準

授業態度、意欲、姿勢等を総合的に評価する。

教材等

教科書…授業中に指示をする。

参考書…授業中に指示をする。

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

組織のマネジメントシステムを分析するための基礎的な理論を学習しながら、さまざまなデータを収集、入力、整理、分析していきます。また、さまざまな分野の専門家、実務家の方にお話をおうかがいするチャンスもあります。こうした情報を適切に整理し、分析していくことが重要となります。そのためには、情報収集能力のためのスキルや、多くの人との交渉能力などが必要となります。各個人の関心によって、ゼミ活動で追求するテーマを選択することとなります。自分が得意とするテーマを追求します。

授業方法と留意点

【授業内容】

前期は社会における環境問題の位置づけを理解するための基礎理論を中心に学習します。特に、組織におけるマネジメントにかかわる基礎理論や、環境問題の歴史、社会制度、環境政策の基礎などについて学びます。

後期はこれらの知識を基礎として各自が追求したいテーマについてプレゼンテーションが中心となります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ〈環境経営の基礎を学ぶ〉

組織のマネジメントシステムを分析するための基礎的な理論を学習しながら、さまざまなデータを収集、入力、整理、分析していきます。

自らが積極的にデータを収集し、ゼミで発表をする機会で議論をします。そのことでさらに理解を深めます。また事前事後学習としては、発表準備やレポート提出などが含まれます。

評価方法・評価基準

発表内容、レポートなどの平常点を100％で評価します。

教材等

教科書…随時指示します。

参考書…随時指示します。

備考

大人として未来の社会人として、自分から積極的に問題を発見して解決していくための方法を考え出すような力をつけてもらいたいと考えています。基本的には自主性と積極性を尊重した大人のゼミを目指しますので、仲良く楽しくかつ責任を持ってゼミ活動をしてください。また、専門性に関しては、自分だけにしかできないと自信を持てる領域を磨いてください。大きく期待しています。

演習Ⅱ
Seminar Ⅱ

佐　藤　正　志（サトウ　マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「経営者の研究・企業経営の歴史的研究（経営史）」

各自が興味ある経営者（企業家）や企業の歴史・現状についての研究をおこなうゼミです。

（３年次前半）教科書に即して、その内容の報告と討論を行い、明治・大正期から現代にかけての日本の企業家・企業経営の歴史的な流れを学習していきます。

（３年次後半～４年次）本格的に各自のテーマに即して研究を進めます。また、各自がホームページを作成して、「情報発信能力」や「自己表現能力」をたかめていきます。

ところで、経営史研究では史料（資料）が必要です。基本的な文献を入手するのみならず、本ゼミでは、インターネットをとおして文献を検索したり、外部のデータベースを利用して研究対象の資料を検索し、詳しいデータを調査・入手します。こうした作業は、いわゆる「情報リテラシー」を修得するための勉強を兼ねています。さらに、より歴史的な認識力や感覚を磨くために、企業博物館の見学なども実施する予定です。

授業方法と留意点

【授業内容】

（前期）２年次に続いて、テキストを講読しますが、課外学習（ゼミ旅行）やホームページ作成、コンパなど、盛りだくさんの行事・活動が予定されています。

（後期）卒論の研究テーマを各自が決めていきながら、個別に資料収集についての方法論を学んでいきます。また、就職活動についてゼミの先輩からの体験談を聞いたり、交流する会を開きます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

企業家の経営活動が彼らが経営した企業の発展過程といかに関わったのか分析します。基本的には事前学習が大切です。まずは、教科書を読んでおいてください。また、事後学習は、より詳しく、専門書などにあたり、深く研究して、卒論のテーマや内容について考えてください。

評価方法・評価基準

研究発表の内容・方法（50％）、ゼミ活動への積極的参加態度（50％）。

教材等

教科書…宇田川勝編『ケースブック　日本の企業家活動』有斐閣（2,800円＋税）

参考書…適宜、紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】

楽しく充実したゼミにするには、ひとえにゼミ生の意気込みにかかってます。積極的に企画を出すなどして、ゼミ活動に主体的に参加してください。

演習Ⅱ
Seminar Ⅱ

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

3年間の演習（ゼミナール）を通して、会計学、簿記、税法を学ぶ。

演習Ⅱは、会計学、税法主体にゼミナールを展開する。テキストをどうするかはゼミ生皆で相談して決めたい。

会計は、企業の経済活動を貨幣額で認識、測定、記録、伝達する行為である、とされる。こうした行為（企業活動）の成果としての貸借対照表、損益計算書等の内容を学び、理論としての会計を知る。　一方、税法は法人税法、所得税法、消費税法等を学ぶ。学生諸君にとって税法を学ぶのは初めてであると思うが、税法が現代社会に及ぼす影響の大きさをよく知ってもらいたい。

授業方法と留意点

【授業内容】

会計学、税法を主として学ぶ。会計学は個別の会計基準を、また税法は課税計算等も含めて学習する。

[授業方法と留意点]

テキストの輪読、各自担当箇所のレジメを作成し発表する。後にディスカッションする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自、テキストの担当箇所のレジメを作成し発表する。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　75　　2014/08/21　14:23:23

評価方法・評価基準

出席とレジメ発表内容、受講態度（基本的なマナー）、本人の頑張り度をみる。

教材等

教科書…別途指示する。
参考書…授業中指示する

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミナールは、社会人となる前段階の人間修行の場であると思ってもらいたい。基本的なマナーとして、次のことをゼミ生には要求する。”約束を守る。時間を守る。挨拶をする。キチッとした服装をする。授業中は私語慎み,また寝ないこと。先輩（年配者）を敬うこと、言葉で、また態度で・・・。責任感を持つ。努力をすることを忘れない。”等々　いずれも最低限のマナーである。
なお、当ゼミは、明るく陽気な、頑張り力のあるゼミナールとしたい。そして、そうした気風を皆で創りあげたい。また、ゼミ生は、全員、簿記検定はじめ何らかの資格を取得してほしい。なお、ゼミナールでは就職対策も行う。

演習II
Seminar II

羽　石　寛　寿（ハネイシ　カンジユ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習Ⅱの前期では「問題発見能力」と「問題解決能力」を習得するために、「QCの７つ道具」、「新QC７つ道具」を学習し、問題の発見、整理、改善の方法について学びます。
演習Ⅱの後期では卒業論文の書き方について学習します。
目的と到達目標：「問題発見能力」と「問題解決能力」を身に着ける。卒業論文の書き方を理解する。

授業方法と留意点

授業方法：　前期はQCの７つ道具、新QCの７つ道具を学習します。各人が選んだ課題についてパワーポイントを使って発表し、出された課題について全員で演習を行います。
後期は卒業の準備として、人事労務の研究方法について、人事労務資料の収集について、人事労務資料の解析について、卒業論文のテーマ設定について、卒業論文作成のグループ作成について、事例研究のための企業選択についてを行います。
留意点　：遅刻、欠席はしないようにしましょう。発表は創意工夫をして臨みましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業内容：前期は「ＱＣの7つ道具」と「新ＱＣの7つ道具」のテキストを使用し数値データおよび言語データについての問題の発見方法や整理、改善の方法についてグループ学習をします。
後期は卒業研究の準備として「卒業論文の書き方」のテキストを使用し、テーマの選び方、テーマの決定、データの取方と分析の仕方、考察の仕方。プレゼンの仕方などについて学びます。
授業方法：欠席はしないように欠席するときは事前に連絡をしてください。グループ学習が多いので協力して進めてください。

評価方法・評価基準

発表（50%）、レポート（50%）で評価します。

教材等

教科書…日科技連「QCの７つ道具」、（１８００円）。滝川好夫「レポート／論文はこう書く」税務経理協会、（１２００円）。過去の卒業論文、プリントなど
参考書…日科技連 、「新QCの７つ道具」、（２８００円）

備考

【学生へのメッセージ】
３年間を、同じメンバーで、過ごすのですから楽しく愉快にやっていきましょう。
そのためにはルールを守って、お互いを認め合い、信頼感を持って協力しましょう。
グループまたは個人での発表は、発表する日の3日前にはワードでレジュメを作成し、提出してください。

演習II
Seminar II

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

英語、パソコン、会計（国際）が現代の「三種の神器」である、といわれるがこの三者に共通していることは、どれもグローバルなコミニュケーション手段であるということです。会計は企業活動を計数的に写像したものであり、企業経営そのものを指し示している。経営者による裁量的な会計行動による不祥事が次々と発覚し、近年、会計の重要性が再認識されつつある。本演習では、会計情報を利用する立場から会計の基礎知識の修得に努める。

授業方法と留意点

会計に関する基本書を読み、各自報告・発表し、内容について議論する。
グループに分かれて、実際の企業のデータを用いて、企業分析、業界分析を行い発表する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

会計が実際の社会で果たしている役割について、新聞、雑誌等の記事を取り上げ、考察する。各自が調べて、発表する形式で進めていく。

評価方法・評価基準

演習の参加（出席、レポートの提出、発表等）

教材等

教科書…未定、新聞、雑誌等の資料も利用する。
後期より卒業論文に取り組む。
テーマの設定、作成方法の指導、文献研究
参考書…適宜、指定する。

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミは、必ず出席し、積極的に参加してください。一方的に知識が与えられる場としてではなく、活発な討論を通じて教員もゼミ生も互いに切磋琢磨していける場としてゼミを考えています。

演習II
Seminar II

佐　藤　正　志（サトウ　マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「経営者の研究・企業経営の歴史的研究（経営史）」

各自が興味ある経営者（企業家）や企業の歴史・現状についての研究をおこなうゼミです。
（２年次～３年次前半）教科書に即して、その内容の報告と討論を行い、明治・大正期から現代にかけての日本の企業家・企業経営の歴史的な流れを学習していきます。
（３年次後半～４年次）本格的に各自のテーマに即して研究を進めます。また、各自がホームページを作成して、「情報発信能力」や「自己表現能力」をたかめていきます。
ところで、経営史研究では史料（資料）が必要です。基本的な文献を入手するのみならず、本ゼミでは、インターネットをとおして文献を検索したり、外部のデータベースを利用して研究対象の資料を検索し、詳しいデータを調査・入手します。こうした作業は、いわゆる「情報リテラシー」を修得するための勉強を兼ねています。さらに、より歴史的な認識力や感覚を磨くために、企業博物館の見学なども実施する予定です。

授業方法と留意点

【授業内容】
（前期）２年次に続いて、テキストを講読しますが、課外学習（ゼミ旅行）やホームページ作成、コンパなど、盛りだくさんの行事・活動が予定されています。
（後期）卒論の研究テーマを各自が決めていきながら、個別に資料収集についての方法論を学んでいきます。また、就職活動についてゼミの先輩からの体験談を聞いたり、交流する会を開きます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

企業家の経営活動が彼らが経営した企業の発展過程といかに関わったのか分析します。基本的には事前学習が大切です。まずは、教科書を読んでおいてください。また、事後学習は、より詳しく、専門書などにあたり、深く研究して、卒論のテーマや内容について考えてください。

評価方法・評価基準

研究発表の内容・方法（50%）、ゼミ活動への積極的参加態度（50%）。

教材等

教科書…宇田川勝編『ケースブック　日本の企業家活動』有斐閣（2,800円＋税）
参考書…適宜、紹介します。

備考

【学生へのメッセージ】
楽しく充実したゼミにするには、ひとえにゼミ生の意気込みにかかってます。積極的に企画を出すなどして、ゼミ活動に主

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　76　　2014/08/21　14:23:23

体的に参加してください。

演習II
Seminar II

紙　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

3年間の演習（ゼミナール）を通して、会計学、簿記、税法を学ぶ。

演習Ⅱは、会計学、税法主体にゼミナールを展開する。テキストをどうするかはゼミ生皆で相談して決めたい。

会計は、企業の経済活動を貨幣額で認識、測定、記録、伝達する行為である、とされる。こうした行為（企業活動）の成果としての貸借対照表、損益計算書等の内容を学び、理論としての会計を知る。　一方、税法は法人税法、所得税法、消費税法等を学ぶ。学生諸君にとって税法を学ぶのは初めてであると思うが、税法が現代社会に及ぼす影響の大きさをよく知ってもらいたい。

授業方法と留意点

【授業内容】

会計学、税法を主として学ぶ。会計学は個別の会計基準を、また税法は課税計算等も含めて学習する。

[授業方法と留意点]

テキストの輪読、各自担当箇所のレジメを作成し発表する。後にディスカッションする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自、テキストの担当箇所のレジメを作成し発表する。

評価方法・評価基準

出席とレジメ発表内容、受講態度（基本的なマナー）、本人の頑張り度をみる。

教材等

教科書…別途指示する。

参考書…授業中指示する

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミナールは、社会人となる前段階の人間修行の場であると思ってもらいたい。基本的なマナーとして、次のことをゼミ生には要求する。”約束を守る。時間を守る。挨拶をする。キチッとした服装をする。授業中は私語慎み,また寝ないこと。先輩（年配者）を敬うこと、言葉で、また態度で・・・。責任感を持つ。努力をすることを忘れない。”等々　いずれも最低限のマナーである。

なお、当ゼミは、明るく陽気な、頑張り力のあるゼミナールとしたい。そして、そうした気風を皆で創りあげたい。また、ゼミ生は、全員、簿記検定はじめ何らかの資格を取得してほしい。なお、ゼミナールでは就職対策も行う。

演習II
Seminar II

槇　谷　正　人（マキタニ　マサト）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「企業の戦略・組織・人」の理論研究

卒業論文のテーマと参考文献のレビューを行います。

（1）概要書・事典などで主要文献を絞る
（2）主要文献をテキスト批評する
（3）問題の設定をする
（4）議論構成のための複数の意見検討する
（5）補助的資料・文献を集める

【目的】

「卒業研究に向けたテーマの絞込み」

卒論を書くために一番難しいことは、テーマ設定です。他の人が興味深いと思うような卒論タイトルを見つけるため、参考文献を10冊選定し、「テキスト批評」行います。

【到達目標】

参考文献の要約・問題意識やテーマ設定能力の養成

授業方法と留意点

【授業内容】

企業が環境変化に適応し克服すべき課題を解決するため、必要なマネジメント（戦略を立てる・組織をつくる・人を動かす）について解説します。例えば、企業の「イノベーション」「マーケティング」活動などに着目し、事例企業の文献調査を行います。

【授業方法と留意点】

３年次では、ロジカルシンキングと情報分析方法について理解を深めます。また、卒論のテーマに該当しそうな本や論文を集めることから始めてください。同時に、テーマが決めは、チーム学習によるディスカッションとプレゼンテーションによる相互コメントで、焦点を絞っていきます。

参考文献や論文を読んで、テキスト批評を自分でしておくと、それ自体が卒論用のノートや準備メモとなります。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ】「企業の戦略・組織・人」の理論研究

【内容】

マネジメント(1)戦略を立てる
・企業の成長と発展
・企業の競争戦略
・戦略的組織ルーティン
マネジメント(2)組織をつくる
・企業の組織構造
・企業の組織形態
・企業の組織文化
マネジメント(3)人を動かす
・企業の組織能力
・企業のインセンティブ・システム
・企業のリーダーシップ

【事前事後学習課題】

参考文献の「テキスト批評」を10冊行い、Power Pointでプレゼンテーションを6回以上行う。各回の相互コメントなどから、毎回、A4(1,600字)×1枚以上Wordで、先行研究の要約と課題を提出します。

評価方法・評価基準

1.プロセスの評価：調査・報告・ディスカッションなど、貢献の量

2.結果の評価：卒業論文のテーマの独自性と内容など、成果の質

教材等

教科書…槇谷正人（2012）『経営理念の機能-組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社

参考書…坂下昭宣（2000）『経営学への招待』白桃書房
大平浩二編著（2009）『ステークホルダーの経営学-開かれた社会の到来』中央経済社
戸田山和久（2002）『論文の教室－レポートから卒論まで』日本放送出版協会
河野哲也（2011）『レポート・論文の書き方入門（第3版）慶應義塾大学出版会
T.W.クルーシアス、C.E.チャンネル・杉野俊子他訳（2004）『大学で学ぶ議論の技法』慶應義塾大学出版会

備考

本ゼミでは参考文献の調査（読み・書き・話す）を、チーム学習・ディスカッション・プレゼンテーション・フィードバックを通したサーキットトレーニングを行います。

演習II
Seminar II

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ　日本経済の分析

日本経済に関する様々な問題を分析するため、基本的な経済理論を身に付ける。そして以下のような目標を達成する。

（1）現状をよく知るために、新聞などを読む。
（2）理論的な知識をつけるために、多くの本を読む。
（3）論理的な思考をする。
（4）自分の考えを、口頭で発表する。
（5）形式の整った、内容のあるレポートを書く。

授業方法と留意点

【授業内容】

[授業内容]

経済理論の理解。経済の現状の把握。各自の研究のテーマに関する発表。これらは踏まえて卒業研究の主要部分を仕上げる。

[授業方法と留意点]

個人発表と討論。出席と授業中の発言などが、最も重視される。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

日本の企業、経済、社会に関する問題をとりあげ、検討していく。テキストなどの担当項目の報告を通じ、理論的に思考し、また自分の考えを表現する力をつけていく。前期に卒業研究のテーマを決定し、後期には論文の作成に取り掛かります。

評価方法・評価基準

平常点、授業での取り組み、レポートなどで総合的に評価。

教材等

教科書…未定（相談の上で決定）

参考書…授業中に紹介します

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　77　2014/08/21　14:23:24

備考

【学生へのメッセージ】
上にも書いたように、できるだけ多くの本を読むようにしてほしい。基本的知識をつけることは、どのような分野を勉強するにも大事なことである。また自分の考えをまとめ、人に伝える技量をつけてほしい。

演習II
Seminar II

有　馬　善　一（アリマ　ゼンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ～〈環境と経営と社会〉
21世紀の社会が存続していくために環境問題の解決は不可欠である。そのためには社会全体の方向転換が必要である。古い日本の言葉で言えば「世直し」である。そして、世直しを通じて社会の発展、ひいては経済の成長を達成することができる。
3.11以後の日本の進むべき進路は大きく転換を迫られている。昨年に引き続き、スマートシティを中心テーマとして取り上げる。

授業方法と留意点

1. 調査報告　関連トピックに関する質問を考えてくる。これも担当者を決めて、調査報告をしてもらう。
2. 学生自身のレポート・発表を重視する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業計画】
前期は昨年に引き続き、スマートシティについて取りあげる。必要な資料は適宜配布し、近隣の自治体のスマートシティの取り組みについて実地見学に行く予定。
また、これと並行して卒論のテーマを考えて、資料集めも進めてもらう。
後期は卒論のテーマを決めて、具体的な準備に入っていく。

評価方法・評価基準

発表、レポート、授業における積極的な参加態度、出席状況を総合的に評価する。レポート５割、その他５割。ただし、レポート未提出の場合、単位を認定しない。

教材等

教科書…河野哲也　『レポート・論文の書き方』　慶応大学出版会　1000円
参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】
日本のこれからをどうすべきか、一緒に考えていきましょう。

卒業研究
Senior Thesis

羽　石　寛　寿（ハネイシ　カンジユ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

卒業研究では過去３年間で学んできた中で興味を持った組織や人間に関すること、また、経営管理に関することや企業のこと等について、研究します。
テーマはグループごとに自由に決めてもらいます。　なお、企業などの協力による事例研究等もあります。

授業方法と留意点

研究方法：　まず文献研究を行い、その内容について実際の企業等に出向き、直接インタビューをしたりデータを収集して分析考察を行います。
研究はグループ研究が原則です。
今までの卒業研究のテーマの一部を紹介します。　「ヒトを生かす人事制度の構築」「人的資源管理における能力開発の研究」「モチベーション理論の実証的研究」「成果主義管理における賃金システムの研究」「組織診断の実証的研究」「職能資格制度による人事システム」
留意点：　発表は積極的にしましょう。企業等へ出向くときには必ず事前にアポイントを取り、特に服装や言葉使い、マナーに気をつけましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業内容：3年生の後半より文献を読みまとめを行っていきます。進め方は一般的に実践的な研究をしますので、企業や組織に出向き、アンケートでデータを取ったり、インタビューをしたりしながらデータを集め、分析、考察を行います。完成した論文の内容は企業での報告や学内での報告を行って終了となります。

評価方法・評価基準

中間発表（20％）、最終発表（30％）、論文の内容（50％）で評価します。

教材等

教科書…過去の卒業論文、プリントや各人が必要とする専門書など
参考書…各人が必要とする専門書、白書など10冊以上

備考

【学生へのメッセージ】
グループ研究ではルールを守って、お互いを認め合い、信頼感を持って協力していきましょう。
グループまたは個人での発表は、発表する日の3日前にはワードでレジュメを作成し、先生まで提出してください。

卒業研究
Senior Thesis

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

英語、パソコン、会計（国際）が現代の「三種の神器」である、といわれるがこの三者に共通していることは、どれもグローバルなコミニュケ－ション手段であるということです。会計は企業活動を計数的に写像したものであり、企業経営そのものを指し示している。経営者による裁量的な会計行動による不祥事が次々と発覚し、近年、会計の重要性が再認識されつつある。本演習では、会計情報を利用する立場から会計の基礎知識の修得に努める。

授業方法と留意点

基本的には、各自の進捗度の沿った個人指導が中心となるが、全員で中間発表、最終発表を行う卒業論文の経過発表を行い、必要に応じて修正、加筆を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自のテーマにそって卒論を作成し、ゼミで報告すること。

評価方法・評価基準

平常点（演習の参加）と卒業論文を総合的に評価する。

教材等

教科書…卒論のテーマの応じて適宜決定する。
参考書…「大学生のためのレポート・論文術」、小笠原善康、講談社現代新書、

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミは、必ず出席し、積極的に参加してください。一方的に知識が与えられる場としてではなく、活発な討論を通じて教員もゼミ生も互いに切磋琢磨していける場としてゼミを考えています。

卒業研究
Senior Thesis

佐　藤　正　志（サトウ　マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ「経営者の研究・企業経営の歴史的研究（経営史）」

各自が興味ある経営者（企業家）や企業の歴史・現状についての研究をおこなうゼミです。
（２年次～３年次前半）教科書に即して、その内容の報告と討論を行い、明治・大正期から現代にかけての日本の企業家・企業経営の歴史的な流れを学習していきます。
（３年次後半～４年次）本格的に各自のテーマに即して研究を進めます。また、各自がホームページを作成して、「情報発信能力」や「自己表現能力」をたかめていきます。
ところで、経営史研究では史料（資料）が必要です。基本的な文献を入手するのみならず、本ゼミでは、インターネットをとおして文献を検索したり、外部のデータベースを利用して研究対象の資料を検索し、詳しいデータを調査・入手します。こうした作業は、いわゆる「情報リテラシー」を修得するための勉強を兼ねています。さらに、より歴史的な認識力や感覚を磨くために、企業博物館の見学なども実施する予定です。

授業方法と留意点

【授業内容】
卒論執筆の基本的な方法について全体的に説明し、個別指導を経て、各自締め切りまでに研究をまとめます。最終的な論文内

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　78　　2014/08/21　14:23:24

容等の個別指導の後、卒論を完成させ、提出します。
（前期）　（1）卒業論文のテーマの確定と章立ての確認
（2）論文作成の関する具体的な方法（目次、内容の展開、資料収集・分析、文献引用など）
についての指導・説明
（後期）　（1）論文執筆に関する個別指導（データベースの利用）
（2）卒論内容の発表、質疑

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
企業家の経営活動が彼らが経営した企業の発展過程といかに関わったのか分析します。レベルが高くオリジナリティのある卒論執筆のために、関連論文や専門書などにあたり、深く研究していきます。

評価方法・評価基準
卒論内容で評価する。その際、研究の独自性（30%）、資料の適切な引用と分析(30%)、論理的展開(20%)、論文の完成度(20%)の基準から評価する。.

教材等
教科書…特に指定しません。
参考書…適宜、紹介します。

備考
【学生へのメッセージ】
楽しく充実したゼミにするには、ひとえにゼミ生の意気込みにかかってます。積極的に企画を出すなどして、ゼミ活動に主体的に参加してください。

卒業研究
Senior Thesis

紙　博　文（カミ　ヒロフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
卒業研究は、演習（ゼミナール）の締め括りである。これまで学んだ会計学、簿記、税法の領域から自分で研究テーマをみつけ、自分で調べて、自分の力で論文を書く。

授業方法と留意点
4月末までに研究テーマを決めること。そして、各自の研究テーマを論文としてまとめあげていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
決められた期日までに該当箇所を調べ、文章にしてくること。なお、各自のテーマが異なることから、各自個別の指導となる。

評価方法・評価基準
研究論文の内容をみる。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

備考
【学生へのメッセージ】
就活と平行しての勉強となるが、毎日、少しでもよいから参考文献を読み、テーマについて考える時間を持つこと。

卒業研究
Senior Thesis

槇　谷　正　人（マキタニ　マサト）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
テーマ「企業の戦略・組織・人」の理論と実践の研究
【目的】
企業の成長と発展要因を、戦略と組織の考察・調査を通して卒業論文を完成させます。
【到達目標】
皆さんが社会で活躍できるよう、情報収集と分析能力を習得し、論理思考を高めて自らの視点で問題を解決するビジネス実務能力を鍛えます。

授業方法と留意点
【授業内容】
卒業論文の構造（「問い」－「答え」という形式で出来ている）について解説します。
（1）複数の人間に読まれることを想定した文章表現である。
（2）問題設定し、論理的・実証的に論述し、最後に問題解決を提示する。
【授業方法と留意点】
1. 卒業論文作成の留意点：各部分で何を書くか？
（1）目次　(2)序論　(3)本論　(4)結論　(5)付録・脚注　(6)参考文献

2. テキスト批評（先行研究）のレポート作成とプレゼンテーション
3. 事例研究（文献調査、アンケート調査、インタビュー調査など）とプレゼンテーション
4.卒業研究途中経過発表（口頭試問など）

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
【テーマ】
「企業の戦略・組織・人」の理論と実践の研究
【方法】
経営学における戦略と組織のマネジメントを研究し、日本の企業が直面する課題を実証研究します。そのため、最初に、各自取り上げた事例企業が、激変する環境や競争状況をどのようにして乗り越えてきたのか、その活動を調査します。次に、「戦略と組織のダイナミックな相互作用」の優位性ついて解明することにより、体系化・モデル化します。
【事前事後学習課題】
参考文献の「テキスト批評」を行います。尚、A4(1,600字)×1枚以上Wordで作成し、全体構成は下記の通りです。
1. 表題
2. 目的の提示（5～10行ほど）
3. 要約（全体の30～40%ほど）
4. 問題の提起（全体の10～20%ほど）
5. 議論（全体の30～40%ほど）
6. まとめ（全体の10～20%ほど）

評価方法・評価基準
1.プロセスの評価：参考文献の「テキスト批評」、調査研究の量
2.結果の評価：卒業論文内容の独自性・実証的記述・論理一貫性など、成果の質

教材等
教科書…槇谷正人（2012）『経営理念の機能-組織ルーティンが成長を持続させる』中央経済社（3,000円+税）
参考書…戸田山和久（2002）『論文の教室－レポートから卒論まで』日本放送出版協会

備考
本ゼミでは、参考文献の「テキスト批評」のプレゼンテーションとフィードバック、及び、事例企業の調査研究によるアクションラーニングも取り入れて、卒業論文を完成させます。

卒業研究
Senior Thesis

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
テーマ　日本経済の分析
日本経済に関する様々な問題を分析するため、基本的な経済理論を身に付ける。そして以下のような目標を達成する。
（1）現状をよく知るために、新聞などを読む。
（2）理論的な知識をつけるために、多くの本を読む。
（3）論理的な思考をする。
（4）自分の考えを、口頭で発表する。
（5）形式の整った、内容のあるレポートを書く。

授業方法と留意点
【授業内容】
[授業内容]
各自の卒業研究のテーマに関する発表。個人的な論文の指導。
[授業方法と留意点]
個人発表と討論。出席と授業中の発言などが、最も重視される。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
卒業研究の製作

評価方法・評価基準
平常点、授業での取り組み、卒研レポートなどで総合的に評価。

教材等
教科書…特になし
参考書…授業中に紹介します

備考
【学生へのメッセージ】
上にも書いたように、できるだけ多くの本を読むようにしてほしい。基本的知識をつけることは、どのような分野を勉強するにも大事なことである。また自分の考えをまとめ、人に伝える技量をつけてほしい。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　79　2014/08/21　14:23:24

卒業研究
Senior Thesis

有　馬　善　一（アリマ　ゼンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

テーマ～〈環境と経営と社会〉

２１世紀の社会が存続していくために環境問題の解決は不可欠である。そのためには社会全体の方向転換が必要である。古い日本の言葉で言えば「世直し」である。そして、世直しを通じて社会の発展、ひいては経済の成長を達成することができる。そのための具体的方策について考える。

授業方法と留意点

【授業内容】

[授業内容]　卒業論文を仕上げるための個別指導を中心とする。

[授業方法と留意点]　昨年度中に決定した「テーマ」の確認、発表、卒論の執筆、草稿段階での指導、最終的な完成という手順で進める。序章、第１章の原稿は、早い時期に一度発表を行うが、その際には特定質問者を設定し、お互いの議論の中から学ぶことも求める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[前期]

昨年度に引き続き、卒業論文の作成を進める。

全体のプランについて、発表を行う。

[後期]

卒業論文の原稿の完成とチェック。最終的なOKが出るまで。

卒業論文の発表と論集の発行。

評価方法・評価基準

授業への参加態度、卒業論文。卒業論文８割。未提出の場合は単位を認定しない。

教材等

教科書…特に指定しない。

参考書…小笠原 喜康　『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書　（756円）

備考

【学生へのメッセージ】

「環境問題」は単にゴミをポイ捨てにしないとか「地球に優しい」商品を買うということだけの話ではない。２１世紀の社会を変革することなしには、人類そのものが生き延びることができないということなのである。そして、先進的な企業、「草の根」、地方自治体、さらには、環境先進国では、既に変革の試みが始まっているのである。２１世紀の日本の変革ができるかどうかは若い諸君の双肩にかかっている。

卒業研究
Senior Thesis

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

「生産のマネジメント」についての研究を行います。

生産とは企業の活動で付加価値をつける行動（オペレーション）のことで、ハードウェアの製造だけでなく、ソフトウェアや販売・物流・観光などの各種サービスも対象に含まれます。卒業研究を通じて、このような活動を合理的に行い、高い生産性をあげるためのさまざまな理論や手法を学び、企業でどのように活用されているのか、についてを中心に調査・研究を行い、その結果を論文としてまとめます。

授業方法と留意点

卒業研究では、個人あるいはグループで「企業の付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを１年間にわたり実施し、最終的に卒業研究論文として完成させます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

個人あるいはグループで対象となる企業数社を選び、それらの企業の「付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを１年間にわたり実施し、その内容を論文としてまとめます。それらのプロセスを通じて生産やサービスのマネジメントに関わるさまざまな知識や方法を修得します。

評価方法・評価基準

まずは調査・研究し、その結果を発表することが必要です。そのようなプロセスと最終的に提出された卒業論文とをあわせて総合的に評価します。

教材等

教科書…とくに必要とはしませんが、対象分野で標準的な書籍は所持する方が望ましいので、適宜推薦します。

参考書…適切な参考書を適宜紹介します。

卒業研究
Senior Thesis

山　本　芳　華（ヤマモト　ヨシカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミのテーマ　：　地球環境問題とマネジメント

自らが選択したテーマに基づいて情報を収集し卒論形式にまとめる。特に、定期的に卒業研究テーマをパワーポイントにて報告することで、研究成果の進捗状況とプレゼンテーション能力の向上を図る。ゼミ全体での報告会では、ほかの発表者に対して適切なアドバイスを行うなど、他者と協力しながら卒業研究の完成度を高めることを目標とする。

授業方法と留意点

今まで行ってきた研究を統括し、卒業論文を完成します。自らが集めてきた情報を文章をもってわかりやすく他者に伝える能力は社会においても重要です。3年間の成果を形にすることに全力を注いでください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

自らの卒業研究テーマに関しては、自主的に情報を収集し論文作成を図ること。

評価方法・評価基準

レポート提出、発表、課題の提出などの平常点を100％で評価します。

教材等

教科書…随時提示します。

参考書…随時提示します。

備考

随時、卒業論文進行についての報告を行います。日々の準備を行ってください。

013-080_130_経営情報学部-1330_経営学科-01_専門科目.indd　80　　2014/08/21　14:23:24

英語Ⅰa
English Ia

曽　我　直　隆（ソガ　ナオタカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	5	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

・　英語を「勘で」理解するのではなく、構文を把握して理解できるようになろう
・　大学生にふさわしい教養を身につけよう

授業方法と留意点

授業方法
・　CALL教室でのパソコンを使った授業
留意点
・　辞書を持ってくること。
・　毎回の授業初めにQuiz（小テスト）を実施する。遅刻すると受けられなくなるので、注意すること。

科目学習の効果（資格）

・　英語の構文をとらえられるようになる
・　TOEICの問題形式に慣れる
・　メディアリテラシーを身につけ、ものごとを多角的に見られるようになる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の概要説明
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第２回　【授業テーマ】　多読学習法
【内容・方法　等】　Quiz01
Graded Readersを使った多読学習法を体験
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第３回　【授業テーマ】　Unit 1 part I
【内容・方法　等】　Quiz02
基礎演習
カタカナ英語でも通じる発音方法
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第４回　【授業テーマ】　Unit 1 part II
【内容・方法　等】　Quiz03
応用演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第５回　【授業テーマ】　Unit 2 part I
【内容・方法　等】　Quiz04
基礎演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第６回　【授業テーマ】　Unit 2 part II
【内容・方法　等】　Quiz05
応用演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第７回　【授業テーマ】　Unit 3 part I
【内容・方法　等】　Quiz06
基礎演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第８回　【授業テーマ】　Unit 3 part II
【内容・方法　等】　Quiz07
応用演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第９回　【授業テーマ】　Unit 4 part I
【内容・方法　等】　Quiz08
基礎演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第10回　【授業テーマ】　Unit 4 part II
【内容・方法　等】　Quiz09
応用演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第11回　【授業テーマ】　Unit 5 part I
【内容・方法　等】　Quiz10
基礎演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第12回　【授業テーマ】　Unit 5 part II
【内容・方法　等】　Quiz11
応用演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第13回　【授業テーマ】　Unit 6 part I
【内容・方法　等】　Quiz12
基礎演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第14回　【授業テーマ】　Unit 6 part II
【内容・方法　等】　Quiz13
応用演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第15回　【授業テーマ】　総復習
【内容・方法　等】　実力チェック
【事前・事後学習課題】　授業内で指示

評価方法（基準）

Quiz（毎回の小テスト）：　40%
課題提出：　20%
実力チェック：　40%
なお、多読マラソンへの参加（任意）をボーナス点とし、実力チェックの得点に加算する（詳細は初回授業で）。

教材等

教科書…・『Network Starter Student Book（ISBN: 978-0-19-467157-6）』オックスフォード大学出版局（通常価格2300円程度）
・『学校語彙で学ぶTOEICテスト（単語集）』成美堂（1,700円＋税）
参考書…授業内で指示

学生へのメッセージ

皆さんには、在学中にひとりで外国を旅してくることを勧めます。
旅行会社のツアーではなく、すべて自分で計画して手配する個人旅行です。
若者の旅行者が集まる安宿が、どこの国に行ってもあります。
そこに泊まって、いろいろな国の人と英語でコミュニケーションしてみましょう。
今のあなたの英語力でも大丈夫。
インド英語、中国英語、ヒスパニック英語…　いろいろな英語に触れれば、自分のジャパニーズ イングリッシュでも臆せず使えるようになります。
海外一人旅は、自分のことや日本のことを見つめ直す機会にもなるでしょう。
帰国する頃には、ひとまわり大きくなった自分に気づくかもしれません。
時間と体力と柔軟な心のある学生時代こそ、旅をする絶好のチャンスです。
お金もそんなに要りません。バイトで十分貯められます。
英語もなんとかなるでしょう。大学での授業を、ぜひ役立ててください。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

７号館２階　非常勤講師室

備考

・辞書について
中級（TOEIC750～850点程度）になるまでは、紙の辞書を薦める。電子辞書を使うなら、ディスプレイの大きなもの（＝表示される情報量の多いもの）を。携帯端末の辞書アプリ等は、上級者以外には薦めない。
・資格試験（TOEICなど）について
資格試験は語学習得のための手段であり、目的ではない。目的は「英語が使えるようになる」こと。小手先の受験テクニックに走らず、力をつけるための本道を進もう。

英語Ⅰb
English I

曽　我　直　隆（ソガ　ナオタカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	5	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

・　英語を「勘で」理解するのではなく、構文を把握して理解できるようになろう
・　大学生にふさわしい教養を身につけよう

授業方法と留意点

授業方法
・　CALL教室でのパソコンを使った授業
留意点
・　辞書を持ってくること。
・　毎回の授業初めにQuiz（小テスト）を実施する。遅刻すると受けられなくなるので、注意すること。

科目学習の効果（資格）

・　英語の構文をとらえられるようになる
・　TOEICの問題形式に慣れる
・　メディアリテラシーを身につけ、ものごとを多角的に見られるようになる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の概要説明
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第２回　【授業テーマ】　Unit 7 Part I
【内容・方法　等】　Quiz01
基礎演習
【事前・事後学習課題】　授業内で指示
第３回　【授業テーマ】　Unit 7 Part II
【内容・方法　等】　Quiz02

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　83　2014/08/21　14:23:38

応用演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第４回 【授業テーマ】 Unit 8 part I
【内容・方法 等】 Quiz03
基礎演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第５回 【授業テーマ】 Unit 8 part II
【内容・方法 等】 Quiz04
応用演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第６回 【授業テーマ】 Unit 9 part I
【内容・方法 等】 Quiz05
基礎演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第７回 【授業テーマ】 Unit 9 part II
【内容・方法 等】 Quiz06
応用演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第８回 【授業テーマ】 Unit 10 part I
【内容・方法 等】 Quiz07
基礎演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第９回 【授業テーマ】 Unit 10 part II
【内容・方法 等】 Quiz08
応用演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第10回 【授業テーマ】 Unit 11 part I
【内容・方法 等】 Quiz09
基礎演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第11回 【授業テーマ】 Unit 11 part II
【内容・方法 等】 Quiz10
応用演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第12回 【授業テーマ】 Unit 12 part I
【内容・方法 等】 Quiz11
基礎演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第13回 【授業テーマ】 Unit 12 part II
【内容・方法 等】 Quiz12
応用演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第14回 【授業テーマ】 Unit 13
【内容・方法 等】 Quiz13
総合演習
【事前・事後学習課題】 授業内で指示
第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法 等】 実力チェック
【事前・事後学習課題】 授業内で指示

評価方法（基準）
Quiz（毎回の小テスト）： 40%
課題提出： 20%
実力チェック： 40%
なお、多読マラソンへの参加（任意）をボーナス点とし、実力チェックの得点に加算する（詳細は初回授業で）。

教材等
教科書…・『Network Starter Student Book（ISBN: 978-0-19-467157-6)』オックスフォード大学出版局（通常価格2300円程度）
・『学校語彙で学ぶTOEICテスト（単語集）』成美堂（1,700円＋税）
参考書…授業内で指示

学生へのメッセージ
皆さんには、在学中にひとりで外国を旅してくることを勧めます。旅行会社のツアーではなく、すべて自分で計画して手配する個人旅行です。
若者の旅行者が集まる安宿が、どこの国に行ってもあります。そこに泊まって、いろいろな国の人と英語でコミュニケーションしてみましょう。
今のあなたの英語力でも大丈夫。
インド英語、中国英語、ヒスパニック英語… いろいろな英語に触れれば、自分のジャパニーズ イングリッシュでも臆せず使えるようになります。
海外一人旅は、自分のことや日本のことを見つめ直す機会にもなるでしょう。
帰国する頃には、ひとまわり大きくなった自分に気づくかもしれません。
時間と体力と柔軟な心のある学生時代こそ、旅をする絶好のチャンスです。
お金もそんなに要りません。バイトで十分貯められます。
英語もなんとかなるでしょう。大学での授業を、ぜひ役立ててください。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
７号館２階 非常勤講師室

備考
・辞書について
中級（TOEIC750～850点程度）になるまでは、紙の辞書を薦める。電子辞書を使うなら、ディスプレイの大きなもの（＝表示される情報量の多いもの）を。携帯端末の辞書アプリ等は、上級者以外には薦めない。
・資格試験（TOEICなど）について
資格試験は語学学習得のための手段であり、目的ではない。目的は「英語が使えるようになる」こと。小手先の受験テクニックに走らず、力をつけるための本道を進もう。

英語IIａ
English IIa

関 初 海（セキ ハツミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、基本的な英文法を再確認し英語運用能力を身につけることが目標です。語彙、英文法、読解、聴解、英作文の基礎能力の定着。語彙力と構文に基づいた英語読解力・聴解力・表現力・運用能力の向上。学習した文法事項を実際のシチュエーションで使用できるようになることが到達目標です。

授業方法と留意点
毎回、授業始めに「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」から単語小テストと、教科書から「予習・復習確認クイズ」を行います。授業は教科書を中心に行います。その内容は各章とも「読んでみよう！」で、CDを聴きながらオーバーラッピング、シャドーイングをし、日本語に訳します。「聴いてみよう！」で、本文内容に関するリスニング問題を聴き、選択肢から適切な答えを選びます。そして、本文に出てくる文法を解説、関連問題を解く。最後に「表現してみよう！」で、自分のことを発信する能力を身につけます。各回授業の終わりには「授業確認クイズ」を行いますので、授業に集中して重要な項目はノートに記入するなど意欲的に取り組んでください。

科目学習の効果（資格）
TOEIC、TOEFL、英語検定試験等に役立つ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション（授業の進め方と予習・復習の仕方を説明）と発音練習1回目、第１回単語テスト範囲と第2回単語テスト範囲の学習、教科書Unit 1：be動詞の現在形。授業確認クイズ
【内容・方法 等】 授業の進め方、予習・復習の仕方を説明。発音記号表（母音・子音）、母音の図と音声器官の図を配布。発音の仕方を解説、発音練習。第１回単語テスト範囲と第2回単語テスト範囲を解説、音読練習。教科書Unit 1：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第2回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習
第２回 【授業テーマ】 発音練習２回目。第２回単語テスト。第３回単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 1：be動詞の否定文・疑問文。授業確認クイズ
【内容・方法 等】 発音記号表（母音・子音）、母音の図と音声器官の図を参照。発音の仕方を解説、発音練習。第2回単語テストと予習・復習確認クイズ、第3回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 1：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第3回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習
第３回 【授業テーマ】 第３回単語テスト。第４回単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 2：一般動詞の現在形。授業確認クイズ
【内容・方法 等】 第３回単語テストと予習・復習確認クイズ、第４回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 2：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第４回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習
第４回 【授業テーマ】 第４回単語テスト。第５単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 2: 一般動詞の現在形の疑問文・否定文。授業確認クイズ
【内容・方法 等】 第４回単語テストと予習・復習確認クイズ、第５回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 2：本文に関する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第5回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習
第５回 【授業テーマ】 第５回単語テスト。第６単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 3：過去形。授業確認クイズ
【内容・方法 等】 第５回単語テストと予習・復習確認クイズ、

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd 84 2014/08/21 14:23:39

第６回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 3：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第６回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第６回 【授業テーマ】 第６回単語テスト。第７単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 3：過去形の疑問文・否定文。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第６回単語テストと予習・復習確認クイズ、第７回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 3：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第７回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第７回 【授業テーマ】 第７回単語テスト。第８単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 4：現在進行形。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第７回単語テストと予習・復習確認クイズ、第８回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 4：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第８回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第８回 【授業テーマ】 第８回単語テスト。第９回単語テスト範囲の学習。中間まとめテスト（プリント１～７）。Unit 4：現在進行形の疑問文・否定文
【内容・方法　等】 第８回単語テスト。第９回単語テスト範囲を解説、音読練習。中間まとめテスト（プリント１～７）。Unit 4：本文に関連する練習問題を解く
【事前・事後学習課題】 第９回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第９回 【授業テーマ】 第９回単語テスト。第１０単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 5：未来時制。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第９回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１０回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 5：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１０回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第10回 【授業テーマ】 第１０回単語テスト。第１１単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 5: 未来時制の疑問文・否定文。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１０回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１１回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 5：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１１回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第11回 【授業テーマ】 第１１回単語テスト。第１２単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 6：助動詞。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１１回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１２回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 6：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１２回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第12回 【授業テーマ】 第１２回単語テスト。第１３単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 6：助動詞の語順。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１２回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１３回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 6：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１３回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第13回 【授業テーマ】 第１３回単語テスト。第１４単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 7：名詞・冠詞。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１３回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１４回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 7：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１４回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第14回 【授業テーマ】 第１４回単語テスト。第１５単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 7：加算名詞・付加算名詞。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１４回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１５回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 7：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１５回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第15回 【授業テーマ】 第１５回単語テスト。予習・復習確認クイズ。教科書の復習（Unit 1～7）とUnit 8：代名詞。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１５回単語テストと教科書の復習（Unit 1～7）とUnit 8
【事前・事後学習課題】 後期単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

評価方法（基準）
単語小テスト３０％＋「教科書予習・復習確認クイズ」と「授業確認クイズ」２０％＋中間まとめテスト２０％＋期末まとめテスト２０％＋授業態度・発表など１０％の割合で総合的に評価します。
欠席は3回までを評価基準とします。遅刻は3回で欠席1回とみなす。

教材等
教科書…学部共通：「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」成美堂(1700円)
主教材： 愛甲ゆかり / 池田有花 / 原口治　共著「English Once More!（イングリッシュ・ワンス・モア！—これならわかる！基礎英語—）」1800円
参考書…各自が持っている辞書や文法書

学生へのメッセージ
授業は解説だけでなく学生の発表を中心に進めます。予習・復習を怠らないようにし、必ず辞書を持って来ること。積極的な授業への参加を期待しています。また、授業始めに行う「教科書予習・復習確認クイズ」と授業終わりに行う「授業確認クイズ」は評価の20%を占めるため重視してください。

関連科目
他の全ての英語科目

担当者の研究室等
７号館２階 非常勤講師室

備考
授業進度は、必ずしも授業計画通りに進むとは限りません。前期に終えることができなかった範囲は後期に持ち越す可能性があります。そして後期には授業計画に変更が生じる可能性があります。

英語IIｂ
English II

李　　孝　聖（リ　ヒョソン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
リスニングとライティングを中心に日常生活に必要な英語の語彙力、表現力、理解力をつける事を目標とする。又、並行して英語の資格、検定の練習問題を用いて文法事項の復習及び弱点補強も行う。授業計画は進度によって変わる場合がある。

授業方法と留意点
単なる聞き取りのみならず、理解力を上げるために英文に隠れているアメリカと日本の違いについても色々学んでいきたい。新出単語や学んだ内容を繰り返して覚えるのが上達への早道！

科目学習の効果（資格）
基本的文法の復習、リスニング、語彙力、英検やTOEIC等の検定・資格試験にも役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 導入。コース全体の組み立て。授業の進め方。成績のつけ方。出席・欠席への注意など。
【内容・方法　等】 どうしてこのコースを選択したか。キャリアデザインとの関係。英語はどう役立つか。
【事前・事後学習課題】 Chapter I: Money: The Basics　の Chapter I: Money: The Basics を読んでくる。

第２回 【授業テーマ】 お金の機能について
【内容・方法　等】 I-1 Money has three functions.
【事前・事後学習課題】 Chapter I: Money: The Basics　の When you borrow money, you have to pay interest. を読んでくる。

第３回 【授業テーマ】 お金を借りたら利息がつく。
【内容・方法　等】 When you borrow money, you have to pay interest.
【事前・事後学習課題】 Chapter I: Money: The Basics　の What happens to money you deposit in a bank? を読んでくる。

第４回 【授業テーマ】 銀行に預けたお金はどうなるのか。
【内容・方法　等】 What happens to money you deposit in a bank?
【事前・事後学習課題】 Chapter I: Money: The Basics　の Banks aren't the only financial institutions.

第５回 【授業テーマ】 銀行が唯一の金融機関ではない。
【内容・方法　等】 Banks aren't the only financial institutions.
【事前・事後学習課題】 Chapter II: The Value of Money Constantly Changes　の Prices are set according to the principle of supply and demand. を読んでくる。

第６回 【授業テーマ】 価格は需要と供給によって決まる。
【内容・方法　等】 Prices are set according to the principle of supply and demand.
【事前・事後学習課題】 Chapter II: The Value of Money Constantly Changes の Foreign trade is a two-way street.

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　85　2014/08/21　14:23:39

を読んでくる。

第７回　【授業テーマ】 海外貿易は二方向。

【内容・方法　等】 Foreign trade is a two-way street.

【事前・事後学習課題】 Chapter II: The Value of Money Constantly Changes　の Exchange rates also vary according to supply and demand. を読んでくる。

第８回　【授業テーマ】 為替レートも需要と供給。

【内容・方法　等】 Exchange rates also vary according to supply and demand.

【事前・事後学習課題】 Chapter II: The Value of Money Constantly Changes　の Currencies continuously strengthen and weaken against one another. を読んでくる。

第９回　【授業テーマ】 通貨の強弱。

【内容・方法　等】 Currencies continuously strengthen and weaken against one another.

【事前・事後学習課題】 Chapter III: How Companies Work の Joint-stock companies: how they came about を読んでくる。

第10回　【授業テーマ】 株式会社はどう生まれたか。

【内容・方法　等】 Joint-stock companies: how they came about?

【事前・事後学習課題】 Chapter III: How Companies Work の Companies share their profits among their shareholders. を読んでくる。

第11回　【授業テーマ】 企業は株主と利益を分配する。

【内容・方法　等】 Companies share their profits among their shareholders.

【事前・事後学習課題】 Chapter III: How Companies Work の Trading in Stocks has beome a full-fledged market. を読んでくる。

第12回　【授業テーマ】 株式の取引は本物の市場になった。

【内容・方法　等】 Trading in Stocks has beome a full-fledged market.

【事前・事後学習課題】 Chapter III: How Companies Work の E-trading has changed the nature of stock trading dramatically. を読んでくる。

第13回　【授業テーマ】 E-trading は株式の取引を根本的に変えた。

【内容・方法　等】 E-trading has changed the nature of stock trading dramatically.

【事前・事後学習課題】 Chapter III: How Companies Work の A company doesn't belong only to its shareholders. を読んでくる。

第14回　【授業テーマ】 企業は株主のものだけではない。

【内容・方法　等】 A company doesn't belong only to its shareholders.

【事前・事後学習課題】 これまでのまとめ。

第15回　【授業テーマ】 総復習。

【内容・方法　等】 これまでのまとめ。

【事前・事後学習課題】 期末テストへの注意と解説。

評価方法（基準）

2回のテストと出席・授業参加の度合い（70％）と通常授業の単語テスト（30％）

教材等

教科書…All About Money and the Economy, Akira IKegami他、朝日出版　1700円
単語集　成美堂

参考書…特になし。

学生へのメッセージ

出席重視。授業態度を重んじるので受講生はきちんと授業に参加してください。

関連科目

他の英語関係科目

担当者の研究室等

7号館2階非常勤講師室

備考

辞書を必ず持参する。予習・復習をきちんとしてください。

英語IIｃ
English IIc

関　　初　海（セキ　ハツミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、基本的な英文法を再確認し英語運用能力を身につけることが目標です。語彙、英文法、読解、聴解、英作文の基礎能力の定着。語彙力と構文に基づいた英語読解力・聴解力・表現力・運用能力の向上。学習した文法事項を実際のシチュエーションで使用できるようになることが到達目標です。

授業方法と留意点

毎回、授業始めに「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」から単語小テストと、教科書から「予習・復習確認クイズ」を行います。授業は教科書を中心に行います。その内容は各章とも「読んでみよう！」で、CDを聴きながらオーバーラッピング、シャドーイングをし、日本語に訳します。「聴いてみよう！」で、本文内容に関するリスニング問題を聴き、選択肢から適切な答えを選びます。そして、本文に出てくる文法を解説、関連問題を解く。最後に「表現してみよう！」で、自分のことを発信する能力を身につけます。各回授業の終わりには「授業確認クイズ」を行いますので、授業に集中して重要な項目はノートに記入するなど意欲的に取り組んでください。

科目学習の効果（資格）

TOEIC、TOEFL、英語検定等に役立つ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション（授業の進め方と教科書予習・復習の仕方を説明）と発音練習1回目、第１回単語テスト範囲と第2回単語テスト範囲の学習、Unit 8：人称代名詞：itの用法

【内容・方法　等】 授業の進め方、予習・復習の仕方を説明。発音記号表（母音・子音）、母音の図と音声器官の図を配布。発音の仕方を解説、発音練習。第１回単語テスト範囲と第2回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 8：本文に関連する練習問題を解く

【事前・事後学習課題】 第2回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第２回　【授業テーマ】 発音練習２回目。第２回単語テスト。第３回単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 8：指示代名詞：不定代名詞。授業確認クイズ

【内容・方法　等】 発音記号表（母音・子音）、母音の図と音声器官の図を参照。発音の仕方を解説、発音練習。第2回単語テストと予習・復習確認クイズ、第3回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 8：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ

【事前・事後学習課題】 第3回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第３回　【授業テーマ】 第３回単語テスト。第４回単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 9：形容詞。授業確認クイズ

【内容・方法　等】 第３回単語テストと予習・復習確認クイズ、第４回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 9：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ

【事前・事後学習課題】 第４回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第４回　【授業テーマ】 第４回単語テスト。第５単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 9：数量を表す形容詞。授業確認クイズ

【内容・方法　等】 第４回単語テストと予習・復習確認クイズ、第５回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 9：本文に関する練習問題を解く。授業確認クイズ

【事前・事後学習課題】 第５回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第５回　【授業テーマ】 第５回単語テスト。第６単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 10：副詞。授業確認クイズ

【内容・方法　等】 第５回単語テストと予習・復習確認クイズ、第６回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 10：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ

【事前・事後学習課題】 第６回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第６回　【授業テーマ】 第６回単語テスト。第７単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 10：副詞の位置。授業確認クイズ

【内容・方法　等】 第６回単語テストと予習・復習確認クイズ、第７回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 10：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ

【事前・事後学習課題】 第７回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第７回　【授業テーマ】 第７回単語テスト。第８単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 11：比較。授業確認クイズ

【内容・方法　等】 第７回単語テストと予習・復習確認クイズ、第８回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 11：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ

【事前・事後学習課題】 第８回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第８回　【授業テーマ】 第８回単語テスト。第９回単語テスト範囲の学習。中間まとめテスト（プリント１～７）。Unit 11：最上級による比較

【内容・方法　等】 第８回単語テスト。第９回単語テスト範囲を解説、音読練習。中間まとめテスト。Unit 11：本文に関連する練習問題を解く

【事前・事後学習課題】 第９回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第９回　【授業テーマ】 第９回単語テスト。第１０単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 12：前置詞。授業確認クイズ

【内容・方法　等】 第９回単語テストと予習・復習確認クイズ、

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　86　　2014/08/21　14:23:39

第１０回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 12：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１０回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第10回 【授業テーマ】 第１０回単語テスト。第１１単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 12：場所・時を表す前置詞。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１０回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１１回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 12：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１１回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第11回 【授業テーマ】 第１１回単語テスト。第１２単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 13：受動態。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１１回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１２回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 13：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１２回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第12回 【授業テーマ】 第１２回単語テスト。第１３単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 13: 注意すべき受動態。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１２回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１３回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 13：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１３回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第13回 【授業テーマ】 第１３回単語テスト。第１４単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 14：現在完了形①。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１３回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１４回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 14：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１４回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第14回 【授業テーマ】 第１４回単語テスト。第１５単語テスト範囲の学習。予習・復習確認クイズ。Unit 14: 現在完了形の用法。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１４回単語テストと予習・復習確認クイズ、第１５回単語テスト範囲を解説、音読練習。Unit 14：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 第１５回単語テスト範囲の予習、指示された範囲を予習・復習

第15回 【授業テーマ】 第１５回単語テスト。予習・復習確認クイズ。Unit 15：現在完了形②。授業確認クイズ
【内容・方法　等】 第１５回単語テストと予習・復習確認クイズ。Unit 15：本文に関連する練習問題を解く。授業確認クイズ
【事前・事後学習課題】 指示された範囲を予習・復習

評価方法（基準）

単語小テスト３０％＋「教科書予習・復習確認クイズ」と「授業確認クイズ」２０％＋中間まとめテスト２０％＋期末まとめテスト２０％＋授業態度・発表など１０％の割合で総合的に評価します。
欠席は3回までを評価基準とします。遅刻は3回で欠席1回とみなす。

教材等

教科書…学部共通：「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」成美堂(1700円)
主教材：愛甲ゆかり／池田有花／原口治　共著「English Once More!（イングリッシュ・ワンス・モア！—これならわかる！基礎英語—）」1800円
参考書…各自が持っている辞書や文法書

学生へのメッセージ

授業は解説だけでなく学生の発表を中心に進めます。予習・復習を怠らないようにし、必ず辞書を持って来ること。積極的な授業への参加を期待しています。また、授業始めに行う「教科書予習・復習確認クイズ」と授業終わりに行う「授業確認クイズ」は評価の20%を占めるため重視してください。

関連科目

他の全ての英語科目

担当者の研究室等

７号館２階 非常勤講師室

備考

授業進度は、必ずしも授業計画通りに進むとは限りません。前期に終えることができなかった範囲は後期に持ち越す可能性があります。そして後期には授業計画に変更が生じる可能性があります。

英語IIｄ
English IId

李　　孝　聖（リ　ヒョソン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	5	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業ではリスニングとライティングを中心に、英語の4技能の強化を図ります。
到達目標：日常生活で必要とする基礎的な英語の理解力・表現力を身につける。

授業方法と留意点

授業に出席しても、授業活動に参加しない学生には単位は与えません。しっかり予習して授業に臨み、積極的に授業参加してください。

科目学習の効果（資格）

リスニング・ライティングの訓練を継続的に行えば、半年でかなりの実力が付きます。最初は難しいと感じても、根気よく続けてください。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 後期にあたって、新たな気持ちで英語に取り組む姿勢を喚起する。
【内容・方法　等】 各レッスンの訳、要約。自発的で積極的な授業への取り組み方を考える。
【事前・事後学習課題】 Chapter III: The State of the Economy の The economy fluctuates in cycle. を読んでくる。

第２回 【授業テーマ】 経済は周期的に変動する。
【内容・方法　等】 The economy fluctuates in cycle.
【事前・事後学習課題】 Chapter III: The State of the Economy　の There are two basic ways conutries can stimulate their economics. を読んでくる。

第３回 【授業テーマ】 経済を活性化する２方法。
【内容・方法　等】 There are two basic ways conutries can stimulate their economics.
【事前・事後学習課題】 Chapter III: The State of the Economy　の Sometimes an economy can become too robust. を読んでくる。

第４回 【授業テーマ】 経済はときには強すぎる。
【内容・方法　等】 Sometimes an economy can become too robust.
【事前・事後学習課題】 Chapter III: The State of the Economy の In extrem casas, the economy can grow like a bubble.　を読んでくる。

第５回 【授業テーマ】 経済は泡のように膨らむ。
【内容・方法　等】 In extrem casas, the economy can grow like a bubble.
【事前・事後学習課題】 Chapter v: Economic Systems　の There are two main economic systems in operation today. を読んでくる。

第６回 【授業テーマ】 今日の２つの経済システム。
【内容・方法　等】 There are two main economic systems in operation today.
【事前・事後学習課題】 これまでの復習。

第７回 【授業テーマ】 Review, Midterm Exam
【内容・方法　等】 復習、期間外試験１
【事前・事後学習課題】 Chapter v: Economic Systems　の Socialism largely ended in failure. を読んでくる。

第８回 【授業テーマ】 社会主義の失敗。
【内容・方法　等】 Socialism largely ended in failure.
【事前・事後学習課題】 Chapter v: Economic Systems　の Globalization has its good points and its bad. を読んでくる。

第９回 【授業テーマ】 グローバリゼーションの良い点と悪い点。
【内容・方法　等】 Globalization has its good points and its bad.
【事前・事後学習課題】 Chapter v: Economic Systems　の Neo-liberalism is changing the way business done. を読んでくる。

第10回 【授業テーマ】 新自由主義はビジネスを変える。
【内容・方法　等】 Neo-liberalism is changing the way business done.
【事前・事後学習課題】 Chapter v: Economic Systems　の Economic policies can serve to protect the natural environment. を読んでくる。

第11回 【授業テーマ】 経済政策は自然環境の保護に役立つ。
【内容・方法　等】 Economic policies can serve to protect the natural environment.
【事前・事後学習課題】 プリントを用意する。

第12回 【授業テーマ】 食物アレルギー
【内容・方法　等】 Food allergies
【事前・事後学習課題】 Food allergies を読んでくる。

第13回 【授業テーマ】 食物アレルギー

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　87　2014/08/21　14:23:39

【内容・方法　等】 Food allergies
【事前・事後学習課題】 プリントを用意する。
第14回 【授業テーマ】 青色発光ダイオード
【内容・方法　等】 Blue LED
【事前・事後学習課題】 Blue LED を読んでくる。
第15回 【授業テーマ】 青色発光ダイオード
【内容・方法　等】 Blue LED
【事前・事後学習課題】 期末テストの注意と重点項目。

評価方法（基準）
授業活動への参加度、課題、テストの成績・・・70%
通常授業の単語テスト・・・30%

教材等
教科書…All About Money and the Economy, Akira IKegami
朝日出版　1700円
単語集　成美堂
プリント
参考書…電子辞書の購入を考えている人は、英和中辞典以外に英英辞典が付いているものを選んでください。

学生へのメッセージ
英語を効果的にマスターしたい人は、少しずつでも必ず毎日英語に触れましょう。週に一日だけ1時間勉強するよりも、毎日15分勉強するほうがはるかに効果が上がります。

関連科目
英語関連科目

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

備考
辞書持参。予習と復習に心がける。

英語III a
English IIIa

松　浦　茂　寿（マツウラ　シゲトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
今までに習得した読解力を駆使して、より長い文章を読める能力養成に目標をおく。ただ英文を日本語に訳すだけでなく、各章のテーマを通して様々な分野の知識も知識を養ってもらえればと願っている。授業計画は進度によって変わる場合がある。

授業方法と留意点
毎週、教科書の単語から単語テストを行う予定。「とにかく読んで読みまくろう！」－英文は毎日少しずつ音読や和訳の練習を続けるなど、読めば読むほどどんどん読めるようになるので、必ず予習、復習をして授業に臨もう。

科目学習の効果（資格）
語彙力と読解力の強化及び英検やTOEICなど資格、検定試験にも役立つ知識の養成。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業方法、提出物、評価方法等ついての説明。
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 Unit 1:English Rakugo
【内容・方法　等】 英語落語にチャレンジした落語家、桂かい枝の奮闘話。内容予測の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 1
第３回 【授業テーマ】 Unit 1: English Rakugo
【内容・方法　等】 英語落語にチャレンジした落語家、桂かい枝の奮闘話。内容予測の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 1
第４回 【授業テーマ】 Unit 2: Silent CEOs
【内容・方法　等】 最高経営責任者に向いている性格は内向性？外向性？どんな人が向いているだろう？単語ごとにとまらず、まとまりごと意味をつかむPhrase Readingの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 2
第５回 【授業テーマ】 Unit 2: Silent CEOs
【内容・方法　等】 最高経営責任者に向いている性格は内向性？外向性？どんな人が向いているだろう？単語ごとにとまらず、まとまりごと意味をつかむ。Phrase Readingの練習。.
【事前・事後学習課題】 Unit 2
第６回 【授業テーマ】 Unit 3:Cappadocia
【内容・方法　等】 トルコの世界遺産、カッパドキアの話。WPM-1分間あたりに読む単語数を上げる練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 3
第７回 【授業テーマ】 Unit 3:Cappadocia
【内容・方法　等】 トルコの世界遺産、カッパドキアの話。WPM-1分間あたりに読む単語数を上げる練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 3
第８回 【授業テーマ】 Unit 4:Eco-cars
【内容・方法　等】 エコカーとはどんな車でどのように環境に優しいのか？どんな問題点があるか。パラグラフ(段落)の構造を意識しながらtopic sentenceを見つける練習。
【事前・事後学習課題】 Uni t 4
第９回 【授業テーマ】 Unit 4: Eco-cars
【内容・方法　等】 エコカーとはどんな車でどのように環境に優しいのか？どんな問題点があるか。パラグラフ(段落)の構造を意識しながらtopic sentenceを見つける練習。。
【事前・事後学習課題】 Unit 4
第10回 【授業テーマ】 Unit 5: Finance for Kids
【内容・方法　等】 明日の日本を背負う子供たちへいかにお金の大事さ、使い方、貯蓄方法を教えていくか？paragraph(段落)がひとまとまりになったもの、passageについて。
【事前・事後学習課題】 Unit 5
第11回 【授業テーマ】 Unit 5: Finance for Kids
【内容・方法　等】 明日の日本を背負う子供たちへいかにお金の大事さ、使い方、貯蓄方法を教えていくか？paragraph(段落)がひとまとまりになった文章、passageについて。
【事前・事後学習課題】 Unit 5
第12回 【授業テーマ】 Unit 6: Jazz
【内容・方法　等】 音楽の代表的ジャンル、ジャズの歴史。英文から解答に必要な情報を拾い出すScanningの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 6
第13回 【授業テーマ】 Unit 6: Jazz
【内容・方法　等】 音楽の代表的ジャンル、ジャズの歴史。英文から解答に必要な情報を拾い出すScanningの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 6
第14回 【授業テーマ】 資格、検定対策問題の練習
【内容・方法　等】 読解または語彙問題など、授業の進度によって決める。
【事前・事後学習課題】 プリント配布予定。
第15回 【授業テーマ】 試験直前総合復習
【内容・方法　等】 定期試験対策
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
平常点、授業時の単語小テスト、提出物、定期試験の点数を総合評価する。また、日頃の授業態度も重視する。

教材等
教科書…教科書・・「Power Reading 2　Reading in Paragraphs パラグラフで読むリーディングスキル演習」土屋武久, 湯舟英一、Bill Benfield著 成美堂 (￥1,800＋税)
参考書…辞書を用意しましょう。新出単語が沢山出ますよ！

学生へのメッセージ
「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。また折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ等を見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

関連科目
他の英語科目

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

英語III b
English III

松　浦　茂　寿（マツウラ　シゲトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
前期に続いて今までに習得した読解力を駆使して、より長い文章を読める能力養成に目標をおく。ただ英文を日本語に」訳すだけでなく、各章のテーマを通して様々な分野の知識も知識を養ってもらえればと願っている。授業計画は進度によって変わる場合がある。

授業方法と留意点
毎週、教科書の単語から単語テストを行う予定。「とにかく読んで読みまくろう！」－英文は毎日少しずつ音読や和訳の練習を続けるなど、読めば読むほどどんどん読めるようになるので、必ず予習、復習をして授業に臨もう。

科目学習の効果（資格）
語彙力と読解力の強化及び英検やTOEICなど資格、検定試験にも役立つ知識の養成。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 前期の復習

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　88　2014/08/21　14:23:40

【内容・方法　等】 前期中に習った内容の復習など。
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 Unit 8: How Fast Can Humans Run?
【内容・方法　等】 人はどれだけ速く走れるのだろうか。細部よりとにかく全体を読み取る拾い読み、Skimmingの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 8
第３回 【授業テーマ】 Unit 8: How Fast Can Humans Run?
【内容・方法　等】 人はどれだけ速く走れるのだろうか。細部よりとにかく全体を読み取る拾い読み、Skimmingの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 8
第４回 【授業テーマ】 Unit 10: Hot Springs
【内容・方法　等】 ブームで観光客が伸びていき世界一、数が多い日本の温泉。その成り立ち、種類や効能について。未知の単語に出くわしても意味を推測して行きながらの文章に読んでいく練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 10
第５回 【授業テーマ】 Unit 10: Hot Springs
【内容・方法　等】 ブームで観光客が伸びていき世界一、数が多い日本の温泉。その成り立ち、種類や効能について。未知の単語に出くわしても意味を推測して行きながらの文章に読んでいく練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 10
第６回 【授業テーマ】 Unit 11: Abraham Lincoln
【内容・方法　等】 アメリカで最も偉大なる大統領、リンカーンの半生記。英文の展開方法の一つ、Time Orderについて勉強。
【事前・事後学習課題】 Unit 11
第７回 【授業テーマ】 Unit 11: Abraham Lincoln
【内容・方法　等】 アメリカで最も偉大なる大統領、リンカーンの半生記。英文の展開方法の一つ、Time Orderについて勉強。
【事前・事後学習課題】 Unit 11
第８回 【授業テーマ】 Unit 12: Eating Oil
【内容・方法　等】 どれだけ私たちは普段、石油を使っているのだろうか？かなり現実的な話。英文構造に慣れよう。
【事前・事後学習課題】 Unit　12
第９回 【授業テーマ】 Unit 12: Eating Oil
【内容・方法　等】 どれだけ私たちは普段、石油を使っているのだろうか？かなり現実的な話。英文構造に慣れよう。
【事前・事後学習課題】 Unit　12
第10回 【授業テーマ】 Unit 14: Regenerative Medicine
【内容・方法　等】 「再生医療」とは何か、どんな治療が可能か？文中からfact(事実)とopinion(意見)を判別する練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 14
第11回 【授業テーマ】 Unit 14: Regenerative Medicine
【内容・方法　等】 「再生医療」とは何か、どんな治療が可能か？文中からfact(事実)とopinion(意見)を判別する練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 14
第12回 【授業テーマ】 Unit 15: Fair Trade
【内容・方法　等】 百円ショップなどに乱立する安い商品。しかし、この裏でどういった事情や背景が隠れているか。フェアトレード運動とは何か？読解で最も大切なCritical Reading(批判的に読む技法)の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 15
第13回 【授業テーマ】 Unit 15: Fair Trade
【内容・方法　等】 百円ショップなどに乱立する安い商品。しかし、この裏でどういった事情や背景が隠れているか。フェアトレード運動とは何か？読解で最も大切なCritical Reading(批判的に読む技法)の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 15
第14回 【授業テーマ】 資格、検定などの問題練習
【内容・方法　等】 資格、検定問題にあわせた語彙、長文問題の練習。授業の進度によって教材を決める。
【事前・事後学習課題】 プリント
第15回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法　等】 定期試験対策
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
平常点、授業時の単語小テスト、提出物、定期試験の点数を総合評価する。また、日頃の授業態度も重視する。

教材等
教科書…教科書・・「Power Reading 2　Reading in Paragraphs パラグラフで読むリーディングスキル演習」土屋武久, 湯舟英一、Bill Benfield著 成美堂 (￥1,800＋税)
参考書…辞書を用意しましょう。新出単語が沢山出ますよ！

学生へのメッセージ
「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。また折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ等を見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

関連科目
他の英語科目

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

ビジネスイングリッシュI
Business EnglishI

松　井　信　義（マツイ　ノブヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
グローバル化・通信技術の進歩とともにビジネス英語を取り巻く環境も変化している。この講座は会話文・通信文などを通して、新しいビジネス環境に対応したビジネス英語を基礎から総合的に学ぶことを目的とし、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの４技能を高めることを目標とする。

授業方法と留意点
授業は‘Active Participation in Class’（授業への前向きな参加）が大前提である。双方向の全員参加の活発な授業を目指すので予習が必須で、辞書（特に、英和辞典）は必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）
ビジネス英語の基礎知識を習得することに加え、所謂、英語の４技能を高めることを目指すので結果としてTOEICのスコアアップにもつながる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 シラバス説明
Part 1 の導入
【内容・方法　等】 授業目的・計画・方法の説明、受講の心構え、英語学習の方法など
【事前・事後学習課題】 Part Ⅰ. ビジネス通信の基本
１.「手紙」の予習
第２回 【授業テーマ】 １.「手紙」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １.「手紙」・TOEIC問題の復習・定着
２.「ファックス」の予習
第３回 【授業テーマ】 ２.「ファックス」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ２.「ファックス」・TOEIC問題の復習・定着
３.「電子メール」の予習
第４回 【授業テーマ】 ３.「電子メール」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ３.「電子メール」・TOEIC問題の復習・定着
４.「電話」の予習
第５回 【授業テーマ】 ４.「電話」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ４.「電話」・TOEIC問題の復習・定着
Part Ⅱ. 社交関係の英語
５.「面会の申し入れ」の予習
第６回 【授業テーマ】 ５.「面会の申し入れ」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ５.「面会の申し入れ」・TOEIC問題の復習・定着
６.「ホテルの予約」の予習
第７回 【授業テーマ】 ６.「ホテルの予約」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ６.「ホテルの予約」・TOEIC問題の復習・定着
７.「オフィスの移転通知」の予習
第８回 【授業テーマ】 ７.「オフィスの移転通知」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ７.「オフィスの移転通知」・TOEIC問題の復習・定着

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　89　2014/08/21　14:23:40

８.「支店の開設案内」の予習
第９回 **【授業テーマ】** ８.「支店の開設案内」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ８.「支店の開設案内」・TOEIC問題の復習・定着
９.「レセプションへの招待」の予習
第10回 **【授業テーマ】** ９.「レセプションへの招待」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ９.「レセプションへの招待」・TOEIC問題の復習・定着
１０.「アンケートの回答依頼」の予習
第11回 **【授業テーマ】** １０.「アンケートの回答依頼」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １０.「アンケートの回答依頼」・TOEIC問題の復習・定着
１１.「資料の送付依頼」の予習
第12回 **【授業テーマ】** １１.「資料の送付依頼」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １１.「資料の送付依頼」・TOEIC問題の復習・定着
１２.「慶弔」の予習
第13回 **【授業テーマ】** １２.「慶弔」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １２.「慶弔」・TOEIC問題の復習・定着
Part Ⅲ. 社内の英語
１３.「会議の通知」の予習
第14回 **【授業テーマ】** １３.「会議の通知」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １３.「会議の通知」・TOEIC問題の復習・定着
１４.「議事録」の予習
第15回 **【授業テーマ】** １４.「議事録」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １４.「議事録」・TOEIC問題の復習・定着
定期試験（前期末）の準備

評価方法（基準）
定期試験　７０％
Quiz（小テスト）　２０％
授業への参加度　１０％

教材等
教科書…「Essentials of Global Business English」、南雲堂、豊田暁、2100円＋税
参考書…英和・和英辞典

学生へのメッセージ
There is no royal road to English learning.（英語学習に王道なし）にあるように英語学習に王道などありません。英語に触れる絶対的な量を増やさない限り、英語の力は絶対に伸びません。Slow and (or but) steady wins the race.（急がば回れ）を心に留め、ゆっくりでも着実に勉強を続けることです。そうすれば英語の力は必ず上達します。諦めずに頑張ってください・・・。

関連科目
他の英語科目

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

備考
特になし

ビジネスイングリッシュII
Business English II

松　井　信　義（マツイ　ノブヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
グローバル化・通信技術の進歩とともにビジネス英語を取り巻く環境も変化している。この講座は会話文・通信文などを通して、新しいビジネス環境に対応したビジネス英語を基礎から総合的に学ぶことを目的とし、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの４技能を高めることを目標とする。

授業方法と留意点
授業は‘Active Participation in Class’（授業への前向きな参加）が大前提である。双方向の全員参加の活発な授業を目指すので予習が必須で、辞書（特に、英和辞典）は必ず持ってくること。

科目学習の効果（資格）
ビジネス英語の基礎知識を習得することに加え、所謂、英語の４技能を高めることを目指すので結果としてTOEICのスコアアップにもつながる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** シラバス説明
Part Ⅲ「社内の英語」の導入
【内容・方法　等】 授業目的・計画・方法の説明、受講の心構え、英語学習の方法など
【事前・事後学習課題】 Part Ⅲ「社内の英語」
１３.「会議の通知」の予習
第２回 **【授業テーマ】** １３.「会議の通知」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １３.「会議の通知」・TOEIC問題の復習・定着
１４.「議事録」の予習
第３回 **【授業テーマ】** １４.「議事録」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １４.「議事録」・TOEIC問題の復習・定着
１５.「物品の購入」の予習
第４回 **【授業テーマ】** １５.「物品の購入」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １５.「物品の購入」・TOEIC問題の復習・定着
１６.「社内研修の案内」の予習
第５回 **【授業テーマ】** １６.「社内研修の案内」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １６.「社内研修の案内」・TOEIC問題の復習・定着
１７.「社外研修の報告」の予習
第６回 **【授業テーマ】** １７.「社外研修の報告」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １７.「社外研修の報告」・TOEIC問題の復習・定着
１８.「日程の中間報告」の予習
第７回 **【授業テーマ】** １８.「日程の中間報告」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １８.「日程の中間報告」・TOEIC問題の復習・定着
Part Ⅳ「取引関係の英語」
１９.「引合い（1）」の予習
第８回 **【授業テーマ】** １９.「引合い（1）」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 １９.「引合い（1）」・TOEIC問題の復習・定着
２０.「引合い（2）」の予習
第９回 **【授業テーマ】** ２０.「引合い（2）」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ２０.「引合い（2）」・TOEIC問題の復習・定着
２１.「注文」の予習
第10回 **【授業テーマ】** ２１.「注文」
TOEIC問題
【内容・方法　等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 ２１.「注文」・TOEIC問題の復習・定着
２２.「代金の回収」の予習

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　90　2014/08/21　14:23:40

第11回　【授業テーマ】　２２.「代金の回収」
TOEIC問題
【内容・方法　等】　内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】　２２.「代金の回収」・TOEIC問題の復習・定着
２３.「クレームと調整」の予習

第12回　【授業テーマ】　２３.「クレームと調整」
TOEIC問題
【内容・方法　等】　内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】　２３.「クレームと調整」・TOEIC問題の復習・定着
Part Ⅴ「雇用関係の英語」
２４.「履歴書」の予習

第13回　【授業テーマ】　２４.「履歴書」
TOEIC問題
【内容・方法　等】　内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】　２４.「履歴書」・TOEIC問題の復習・定着
２５.「応募の手紙」

第14回　【授業テーマ】　２５.「応募の手紙」
TOEIC問題
【内容・方法　等】　内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】　２５.「応募の手紙」・TOEIC問題の復習・定着
２６.「推薦状」の予習

第15回　【授業テーマ】　２６.「推薦状」
TOEIC問題
【内容・方法　等】　内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】　２６.「推薦状」・TOEIC問題の復習・定着
定期試験（後期末）の準備

評価方法（基準）
定期試験　７０％
Quiz（小テスト）　２０％
授業への参加度　１０％

教材等
教科書…「Essentials of Global Business English」、南雲堂、豊田暁、2100円＋税
参考書…英和・和英辞典

学生へのメッセージ
There is no royal road to English learning.（英語学習に王道なし）にあるように英語学習に王道などありません。英語に触れる絶対的な量を増やさない限り、英語の力は絶対に伸びません。Slow and (or but) steady wins the race.（急がば回れ）を心に留め、ゆっくりでも着実に勉強を続けることです。そうすれば英語の力は必ず上達します。諦めずに頑張ってください・・・。

関連科目
他の英語科目

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

備考
特になし

英語基礎会話ａ
Basic English Conversation a

本　多　　善（ホンダ　タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
コミュニケーションのチェックをしながら、生活英語を身につけてもらいます。
繰り返しの音読、対人コミュニケーション、英語の言い回しの基礎を完璧に身につけることにより、、TOEICの聞き取りと読解能力を養います。
将来海外で日常生活における英語を使えることを目標に毎回英語コミュニケーションの基礎を築きます。

授業方法と留意点
出席は単位取得の最低条件です。
基本的に毎時間、授業のはじめに単語ノートを提出してもらいます（1回目の授業で説明します）。
辞書は必ず持参するように。

科目学習の効果（資格）
TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の概要説明、座席決定、各自で英会話の達成目標を設定
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第２回　【授業テーマ】　Lesson 1: Hot Spring Bath
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第３回　【授業テーマ】　Lesson 2: Taking out the Garbage
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第４回　【授業テーマ】　Lesson 3:　Sitting for an Exam
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第５回　【授業テーマ】　Lesson 4: Job Interview
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第６回　【授業テーマ】　Lesson 5: Illness
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回実施する対話テストの練習。

第７回　【授業テーマ】　Review
Lesson 1～5の対話テスト
【内容・方法　等】　これまでの学習内容を確認する
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第８回　【授業テーマ】　Lesson 6: A Companion Animal
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第９回　【授業テーマ】　Lesson 7: Checking a Schedule
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第10回　【授業テーマ】　Lesson 8: Making an Apology
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第11回　【授業テーマ】　Lesson 9: Dinne
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第12回　【授業テーマ】　Lesson 10: Proper Clothes to Wea
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第13回　【授業テーマ】　Lesson 11: Checking in at the Airport
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習、スピーチ練習
【事前・事後学習課題】　関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習

第14回　【授業テーマ】　Lesson 12: Immigration and Customs
スピーチ発表
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回の対話文テストに向けた練習。

第15回　【授業テーマ】　復習演習
Lesson 1～12で練習した対話文のテスト
スピーチ発表
【内容・方法　等】　TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】　レッスンの総復習

評価方法（基準）
出席は単位取得の必要条件です。
単語ノート30%，スピーチ評価20%，コミュニケーション＆プレゼンテーション・テスト50%を目安に評価する。

教材等
教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book（学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集）』成美堂（1,700円＋税）

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　91　　2014/08/21　14:23:40

Mitsushige Kaneko他『A Check Book for Survival English(大学生のための生活英語チェックブック)』南雲堂（1,365円税込）

参考書…辞書

学生へのメッセージ

日常会話の英語ができるようになるためには繰り返しの音読と対人コミュニケーションに慣れることが必要です。この講義で、TOEICの聞き取りや英会話の上達を目指します。

関連科目

他の英語関連科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語基礎会話ｂ
Basic English Conversation

本　多　　善（ホンダ　タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

コミュニケーションのチェックをしながら、生活英語を身につけてもらいます。

繰り返しの音読、対人コミュニケーション、英語の言い回しの基礎を完璧に身につけることにより、、TOEICの聞き取りと読解能力を養います。

将来海外で日常生活における英語を使えることを目標に毎回英語コミュニケーションの基礎を築きます。

授業方法と留意点

出席は単位取得の最低条件です。

基本的に毎時間、授業のはじめに単語ノートを提出してもらいます（1回目の授業で説明します）。

辞書は必ず持参するように。

科目学習の効果（資格）

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の概要説明、座席決定、各自で英会話の達成目標を設定
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第２回　**【授業テーマ】**　Lesson 13: Asking for Repitition
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第３回　**【授業テーマ】**　Lesson 14: At the Post Office
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第４回　**【授業テーマ】**　Lesson 15:　Restroom
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第５回　**【授業テーマ】**　Lesson 16: At a Bank
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第６回　**【授業テーマ】**　Lesson 17: Making a Complaint
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回実施する対話テストの練習。

第７回　**【授業テーマ】**　Review
Lesson 13～17の対話テスト
【内容・方法　等】　これまでの学習内容を確認する
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第８回　**【授業テーマ】**　Lesson 18: At a Shoe Shop
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第９回　**【授業テーマ】**　Lesson 19: Asking Questions
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第10回　**【授業テーマ】**　Lesson 19: Asking Questions
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第11回　**【授業テーマ】**　Lesson 20: Booking a Table
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第12回　**【授業テーマ】**　Lesson 20: Booking a Table
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

第13回　**【授業テーマ】**　Lesson 21: Lunch
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習、スピーチ練習
【事前・事後学習課題】　関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習

第14回　**【授業テーマ】**　Lesson 21: Lunch
スピーチ発表
【内容・方法　等】　英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】　テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回の対話文テストに向けた練習。

第15回　**【授業テーマ】**　復習演習
Lesson 13～21で練習した対話文のテスト
スピーチ発表
【内容・方法　等】　TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】　レッスンの総復習

評価方法（基準）

出席は単位取得の必要条件です。

単語ノート30%，スピーチ評価20%，コミュニケーション＆プレゼンテーション・テスト50%を目安に評価する。

教材等

教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book（学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集）』成美堂（1,700円＋税）

Mitsushige Kaneko他『A Check Book for Survival English(大学生のための生活英語チェックブック)』南雲堂（1,365円税込）

参考書…辞書

学生へのメッセージ

日常会話の英語ができるようになるためには繰り返しの音読と対人コミュニケーションに慣れることが必要です。この講義で、TOEICの聞き取りや英会話の上達を目指します。

関連科目

他の英語関連科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

海外語学研修
Overseas Language Training

齋　藤　安以子（サイトウ　アイコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この研修は、語学力（英語力）の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。 研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は40万円前後を予定（為替レートにより変動の可能性あり）。

＊詳細は、３月～４月の募集ガイダンスで周知する。

授業方法と留意点

・研修前に３回の事前ガイダンスを行う（６月～８月）

・研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。２週間、３週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。

・研修後に他の参加者と共に成果報告会で研修成果をプレゼンテーションする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

３月上旬～４月下旬

募集ガイダンス（日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する）、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられて

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　92　　2014/08/21　14:23:40

いる。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。
５月
申込書の提出
５月下旬
派遣学生の決定および履修申請
６月～８月
事前ガイダンスを実施（全３回）
８月上旬
結団式
研修スケジュール＞
[２週間コース]
８月中旬～８月下旬（予定）
[３週間コース]
８月中旬～９月上旬（予定）
９月
成果報告書の提出
９月中旬
成果報告会

評価方法・評価基準
帰国後に提出する成果報告書（２０％）および研修先での成績（８０％）を基に評価する。

教材等
教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。
参考書…・研修先の国、地域の観光局等のホームページ
・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

備考
・参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡をしてください。
・事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意。
・各学部の期末試験等のスケジュールを確認の上、履修を検討すること。学部・学年によっては、今年度は受講できない場合もあります。

日本語表現I
Japanese Expression I

舩　田　淳　一（フナタ　ジュンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCD	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　導入
【内容・方法　等】　授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　**【授業テーマ】**　文章の書き方１
【内容・方法　等】　文章表現の基礎を学ぶ（第１章）
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第３回　**【授業テーマ】**　文章の書き方２
【内容・方法　等】　文章表現の基礎を学ぶ（第２章）
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第４回　**【授業テーマ】**　事実の記述と意見の記述
【内容・方法　等】　事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ（第２章、第３章（１））
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第５回　**【授業テーマ】**　【課題１】
【内容・方法　等】　ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第６回　**【授業テーマ】**　要約１
【内容・方法　等】　要約の方法を学ぶ（第３章（２）（３））
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第７回　**【授業テーマ】**　フィードバック
要約２
【内容・方法　等】　課題１のフィードバック
要約文を作成する
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第８回　**【授業テーマ】**　引用１
【内容・方法　等】　文章を引用する方法を学ぶ（第３章（２）（３））
【事前・事後学習課題】　課題１を見直す
第９回　**【授業テーマ】**　引用２
【内容・方法　等】　グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第10回　**【授業テーマ】**　構成
【内容・方法　等】　レポートなどの文章構成を学ぶ（第４章）
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第11回　**【授業テーマ】**　【課題２】
【内容・方法　等】　資料を引用して意見を述べる
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第12回　**【授業テーマ】**　レポートの書き方
【内容・方法　等】　レポートの書き方を学ぶ（第４章）
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第13回　**【授業テーマ】**　フィードバック
【内容・方法　等】　課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第14回　**【授業テーマ】**　小テストの復習
【レポート】
【内容・方法　等】　小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】　課題２を見直す
レポートを作成する
第15回　**【授業テーマ】**　フィードバック
【内容・方法　等】　レポートを返却し、講評する
【事前・事後学習課題】　これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70％）、授業への取り組みなど（30％）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法〔改訂版〕21世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房（980円＋税）
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現I
Japanese Expression I

高　嶋　　藍（タカシマ　アイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	EFG	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】　授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　**【授業テーマ】**　文章の書き方２
【内容・方法　等】　文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第３回　**【授業テーマ】**　事実と意見

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　93　　2014/08/21　14:23:40

【内容・方法　等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回 【授業テーマ】 【課題１】
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第６回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第７回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法　等】 要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第８回 【授業テーマ】 引用１
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第９回 【授業テーマ】 引用２
【内容・方法　等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回 【授業テーマ】 【課題２】
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方１
【内容・方法　等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第13回 【授業テーマ】 レポートの書き方３
【内容・方法　等】 レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法　等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現I
Japanese Expression I

大　石　真由香（オオイシ　マユカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	HJK	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 文章の書き方２
【内容・方法　等】 文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回 【授業テーマ】 事実と意見
【内容・方法　等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回 【授業テーマ】 【課題１】
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第６回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第７回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法　等】 要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第８回 【授業テーマ】 引用１
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第９回 【授業テーマ】 引用２
【内容・方法　等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回 【授業テーマ】 【課題２】
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方１
【内容・方法　等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第13回 【授業テーマ】 レポートの書き方３
【内容・方法　等】 レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法　等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　94　2014/08/21　14:23:41

日本語表現II
Japanese Expression II

舩　田　淳　一（フナタ　ジュンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABCD	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、スピーチ、文章作成を行う。３回の課題を提出する。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　導入
【内容･方法　等】　授業の目的、進め方の説明
第1・２章
【事前･事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　レポートの書き方
【内容･方法　等】　レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方（第３・４章）
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第３回　【授業テーマ】　【課題１】レポートの作成
【内容･方法　等】　資料を引用して、意見を述べる
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第４回　【授業テーマ】　敬意を表す言葉
【内容･方法　等】　敬語の種類と用法（第６章）
【事前･事後学習課題】　教科書による予習
第５回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前･事後学習課題】　課題１の見直し
第６回　【授業テーマ】　手紙
【内容･方法　等】　手紙の書式・用語・マナー（第７章）
【事前･事後学習課題】　教科書による予習
第７回　【授業テーマ】　【課題２】手紙
【内容･方法　等】　手紙の作成
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第８回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題２のフィードバック
【事前･事後学習課題】　課題２の見直し
第９回　【授業テーマ】　電子メールの書き方
【内容･方法　等】　電子メールの基本とマナー（第８章）
敬語と手紙の復習
【事前･事後学習課題】　これまでの復習
第10回　【授業テーマ】　ディスカッション１
【内容･方法　等】　グループ分けとディスカッション
【事前･事後学習課題】　テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】　ディスカッション２
【内容･方法　等】　ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第12回　【授業テーマ】　プレゼンテーション１
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う（第５章）
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第13回　【授業テーマ】　プレゼンテーション２
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う（第５章）
報告文の準備
【事前･事後学習課題】　発表の反省
第14回　【授業テーマ】　【課題３】報告文
【内容･方法　等】　ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前･事後学習課題】　報告文の準備
第15回　【授業テーマ】　授業の総括
【内容･方法　等】　小テストの復習テスト
【事前･事後学習課題】　小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70％）、授業への取り組みなど（30％）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法〔改訂版〕２１世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房（980円＋税）
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現II
Japanese Expression II

高　嶋　　藍（タカシマ　アイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	EFG	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　導入
【内容･方法　等】　授業の目的、進め方の説明
【事前･事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　レポートの書き方
【内容･方法　等】　レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第３回　【授業テーマ】　【課題１】レポートの作成
【内容･方法　等】　資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第４回　【授業テーマ】　敬意を表す言葉
【内容･方法　等】　敬語の種類と用法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　これまでの復習
第５回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第６回　【授業テーマ】　手紙
【内容･方法　等】　手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前･事後学習課題】　課題１を見直す
第７回　【授業テーマ】　【課題２】手紙
【内容･方法　等】　手紙を作成する
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第８回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題２のフィードバック
【事前･事後学習課題】　これまでの復習
第９回　【授業テーマ】　電子メールの書き方
【内容･方法　等】　電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前･事後学習課題】　課題２の見直し
第10回　【授業テーマ】　ディスカッション１
【内容･方法　等】　グループ分けとディスカッション
【事前･事後学習課題】　テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】　ディスカッション２
【内容･方法　等】　ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前･事後学習課題】　資料作成の準備
第12回　【授業テーマ】　プレゼンテーション１
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第13回　【授業テーマ】　プレゼンテーション２
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第14回　【授業テーマ】　【課題３】報告文
【内容･方法　等】　ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前･事後学習課題】　報告文の準備
第15回　【授業テーマ】　小テストの復習

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　95　　2014/08/21　14:23:41

授業の総括
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現II
Japanese Expression II

大　石　真由香（オオイシ　マユカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	HJK	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 導入
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　【授業テーマ】 レポートの書き方
【内容・方法　等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回　【授業テーマ】 【課題１】レポートの作成
【内容・方法　等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回　【授業テーマ】 敬意を表す言葉
【内容・方法　等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第５回　【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第６回　【授業テーマ】 手紙
【内容・方法　等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第７回　【授業テーマ】 【課題２】手紙
【内容・方法　等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第８回　【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第９回　【授業テーマ】 電子メールの書き方
【内容・方法　等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２の見直し
第10回　【授業テーマ】 ディスカッション１
【内容・方法　等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】 ディスカッション２
【内容・方法　等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備
第12回　【授業テーマ】 プレゼンテーション１
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備
第13回　【授業テーマ】 プレゼンテーション２
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の準備
第14回　【授業テーマ】 【課題３】報告文
【内容・方法　等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備
第15回　【授業テーマ】 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

心理学I
Psychology I

毛　　新　華（モウ　シンカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。
到達目標：以下の項目の理解を目標とする。
１）心理学という学問に対する理解　２）情報を捉えるメカニズム ３）自己を探求するための手がかり

授業方法と留意点
講義方式で適宜資料を配布する。心理テストや視聴覚教材、デモンストレーション、実験・調査なども積極的に取り入れる。

科目学習の効果（資格）
取得できる資格は特にない。しかしながら、自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるために重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。
【事前・事後学習課題】 身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。
第２回　【授業テーマ】 心理学概論
【内容・方法　等】 心理学の歴史、発展、学派、研究対象、研究手法、研究分野について概説します。
【事前・事後学習課題】 心理学に対するこれまでのイメージと比較しながら、新たに認識した心理学を考えましょう。
第３回　【授業テーマ】 心と脳
【内容・方法　等】 心と脳、脳と行動、脳の特徴・構造、部位の損傷と症状、脳波と自律系反応、睡眠と夢、記憶と脳、発達と脳について解説します。
【事前・事後学習課題】 脳に関する写真・ビデオなどを図書館などで見つけ、授業内容を映像で理解してください。
第４回　【授業テーマ】 知覚のプロセス(1)
【内容・方法　等】 感覚（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚）の種類と特性、感覚の役割・相互作用・基本特性について解説します。
【事前・事後学習課題】 教科書の第2章を事前に予習しましょう。
第５回　【授業テーマ】 知覚のプロセス(2)
【内容・方法　等】 知覚の体系化、知覚の恒常性、距離・奥行きの知覚、動きの知覚、知覚から認知へについて解説します。
【事前・事後学習課題】 関連する映像資料を紹介するので、視聴してください。

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　96　2014/08/21　14:23:41

第６回　【授業テーマ】　学習理論
【内容･方法　等】　学習とは、学習の方法、古典的条件づけ、オペラント条件付け、二つの条件付けの違いについて解説します。
【事前･事後学習課題】　例を挙げながら、二つの条件付けの違いについてA4用紙にまとめて提出してください。

第７回　【授業テーマ】　心の構造
【内容･方法　等】　精神分析理論、局所論、構造論、エディプス・コンプレックスについて解説します。
【事前･事後学習課題】　教科書の第8章を事前に予習しましょう。

第８回　【授業テーマ】　パーソナリティ
【内容･方法　等】　精神分析学とパーソナリティ、外見とパーソナリティ、類型論、特性論、血液型とパーソナリティについて解説します。
【事前･事後学習課題】　教科書の第6章を読んで、要約をA4用紙にまとめて、提出してください。

第９回　【授業テーマ】　自己の形成
【内容･方法　等】　自己概念の形成、他者の評価、自己知覚、上方比較、下方比較について解説します。
【事前･事後学習課題】　例を挙げながら、自己概念はどのように作り上げたかを説明するレポートを作成してください。

第10回　【授業テーマ】　自尊感情(1)
【内容･方法　等】　自尊感情とは、自尊感情を脅かすもの（可能自己・理想自己・当為自己・セルフ・ディスクレパンシー）、ソシオメーター理論について解説します。
【事前･事後学習課題】　自尊感情の心理テストを答え、配布する関係資料と照らし合わせ、自分の自尊心を測定します。

第11回　【授業テーマ】　自尊感情(2)
【内容･方法　等】　自尊感情の維持と高揚（利己的帰属・セルフ・ハンディキャッピング・防衛的悲観主義・栄光浴）自尊感情の文化比較（自己高揚・自己卑下）、自尊感情の存在意義について解説します。
【事前･事後学習課題】　紹介する文献を読んで、感想文をまとめて、提出してください。

第12回　【授業テーマ】　自己表現
【内容･方法　等】　自己制御（客体的自覚状態・没個性化状態・公的自己・私的自己）、自己表現（自己開示・自己呈示）・ジョハリの窓について解説します。
【事前･事後学習課題】　第7章の後半部分を事前に予習してください。

第13回　【授業テーマ】　印象形成
【内容･方法　等】　中心特性と周辺特性説、初頭効果と新近効果説、ステレオタイプ、第一印象について解説します。
【事前･事後学習課題】　紹介する関連文献リストから一冊を選び、読んでおきましょう。

第14回　【授業テーマ】　健康と適応
【内容･方法　等】　心の健康と身体の健康、ストレスと健康、心の健康と適応
【事前･事後学習課題】　自分なりに、半期の内容からもっとも関心深いテーマを選び、レポートにまとめてください。

第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容･方法　等】　授業全体のまとめ
【事前･事後学習課題】　授業後、教科書およびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください。

評価方法（基準）
原則として出席率80％以上の学生のみを成績評価の対象とする。小レポート、学期末試験の結果を総合し、到達目標の理解度によって合否を判定する。
【定期試験６０％、レポート２０％、小テスト２０％】

教材等
教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』
北大路書房（￥2,500＋税）
参考書…講義中に適宜紹介する

学生へのメッセージ
心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

関連科目
心理学Ⅱもあわせて履修することが望ましい。

担当者の研究室等
11号館6階 経営学部事務室

心理学II
Psychology II

毛　　新　華（モウ　シンカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
心理学は、人間の行動を予測することを究極的な目標としている。私たちは、これまでに得られた心理学的知見を学ぶことで、自己と他者、そして自分の周囲を取り巻く社会を科学的な視点から見直すことができる。
到達目標：以下の項目の理解を目標とする。
１）集団の中での個々人の行動　２）対人的コミュニケーション　３）文化と心理

授業方法と留意点
講義方式で適宜資料を配布する。心理テストや視聴覚教材、デモンストレーション、実験・調査なども積極的に取り入れる。

科目学習の効果（資格）
取得できる資格は特にない。しかしながら、自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるために重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容･方法　等】　授業概要、目的、内容、授業の進め方、授業のルール、評価基準について説明します。
【事前･事後学習課題】　身の回りで起きているさまざまなことについて心理学的に考える習慣をつけましょう。

第２回　【授業テーマ】　対人的魅力(1)
【内容･方法　等】　外見的要因、美の定義・タイプ、魅力度、性役割、マッチング仮説、ハロー効果について解説します。
【事前･事後学習課題】　授業の前に、教科書第12章を予習してください。

第３回　【授業テーマ】　対人的魅力(2)
【内容･方法　等】　環境要因、単純接触効果、類似性・相補性、生理的覚醒、錯誤帰属について解説します。
【事前･事後学習課題】　日常生活にある対人魅力に関係する事柄を留意して観察してください。

第４回　【授業テーマ】　対人的魅力(3)
【内容･方法　等】　ラブタイプ、恋愛行動の進展段階、友情・愛情、別れ、失恋について解説します。
【事前･事後学習課題】　対人的魅力について、関心のあるテーマを選び、レポートを作成し、提出してください。

第５回　【授業テーマ】　援助行動
【内容･方法　等】　傍観者効果効果、モデリング、責任の分散、多数の無知、多数派同調バイアス、援助のプロセス、援助される側の責任について解説します。
【事前･事後学習課題】　教科書のp206-214を事前に予習してください。

第６回　【授業テーマ】　社会的迷惑行為
【内容･方法　等】　迷惑行為の定義・範囲、迷惑行為の増加背景について解説します。
【事前･事後学習課題】　自ら社会的迷惑行為の経験を考え、生活しやすい社会のあり方を考えてください。

第７回　【授業テーマ】　説得
【内容･方法　等】　広告、バランス理論、逆説得の免疫効果、フット・イン・ザ・ドア・テクニック、ドア・イン・ザ・フェイス・テクニック、ロー・ボール・テクニックについて解説します。
【事前･事後学習課題】　教科書第16章を予習してください。

第８回　【授業テーマ】　同調
【内容･方法　等】　同調の定義、規範的影響、情報的影響、同調の種類、社会的インパクト理論、沈黙の螺旋理論について解説します。
【事前･事後学習課題】　多数派の意見に流されないように、養う必要のあることを考えましょう。

第９回　【授業テーマ】　権威への服従
【内容･方法　等】　服従のプロセス、代理状態、服従と同調の異動について解説します。
【事前･事後学習課題】　ユダヤ人虐殺などの歴史事件を踏まえ、人間の服従の心理について感想文を書きましょう。

第10回　【授業テーマ】　社会的ジレンマ
【内容･方法　等】　囚人のジレンマ、共有地の悲劇、社会的トラップ、社会的フェンス、協力行動について解説します。
【事前･事後学習課題】　環境問題の解決には、社会的ジレンマの知識を用いて、考えてください。

第11回　【授業テーマ】　社会的アイデンティティ
【内容･方法　等】　個人的アイデンティティ、社会的アイデンティティ、内集団、外集団について解説します。
【事前･事後学習課題】　社会的アイデンティティがもたらしたメリットとデメリットについて、考えましょう。

第12回　【授業テーマ】　社会的促進・抑制
【内容･方法　等】　社会的促進、社会的抑制、社会的手抜きについて解説します。
【事前･事後学習課題】　他者の存在は自分に対する影響を考えてください。

第13回　【授業テーマ】　攻撃
【内容･方法　等】　対人葛藤、攻撃、攻撃の過程モデル、攻撃の影響要因、タイプA、攻撃の抑制方法について解説します。
【事前･事後学習課題】　事前に第17章を予習してください。

第14回　【授業テーマ】　心と文化

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　97　　2014/08/21　14:23:41

【内容・方法　等】 日本人らしさ、集団主義・個人主義、文化の変容について解説します。
【事前・事後学習課題】 事前に第17章を予習してください。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 授業後、教科書およびこれまで配布したプリントに基づき、すべての内容を復習してください。

評価方法（基準）
原則として出席率80％以上の学生のみを成績評価の対象とする。小レポート、学期末試験の結果を総合し、到達目標の理解度によって合否を判定する。
【定期試験６０％、レポート２０％、小テスト２０％】

教材等
教科書…大坊郁夫編『わたしそしてわれわれ ミレニアムバージョン』
北大路書房（￥2,500＋税）
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
心理学は、みなさんが想像しているよりもはるかに幅広い領域を扱っており、人間の社会生活の全てを研究対象としていると言っても過言ではありません。講義を通じ、自分を取り巻く社会と結びつけて考えることによって理解を深めて下さい。

関連科目
心理学Ｉを履修していることが望ましい。

担当者の研究室等
11号館6階 経営学部事務室

哲学I
Philosophy I

島　田　喜　行（シマダ　ヨシユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。その際、私たちの社会のルールや規範はいかなる仕方で決定するのがよいのか、という問いを軸にしてこの問いと格闘した代表的な哲学者の思想を取り上げる。
到達目標：
（1）社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎的知識が習得できる。
（2）合意説や契約説についての代表的な理論を学ぶことを通じて、哲学的な視点からこの社会の一員として主体的に生きていくことの意味を考えられるようになる。

授業方法と留意点
ノート講義方式
講義内容の理解を問う小テストを数回行う
講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート（1200～1600字）を1回課す

科目学習の効果（資格）
人間と社会の関わりについての哲学的な見方を学ぶことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 特になし
第２回 【授業テーマ】 ソクラテス・プラトンの哲学
【内容・方法　等】 哲学とは何か、哲学と倫理学とは別物か
【事前・事後学習課題】 予習　ソクラテスとプラトンがどのような哲学者か調べる。
第３回 【授業テーマ】 ホッブズの哲学
【内容・方法　等】 合意説／国家の役割について
【事前・事後学習課題】 予習　ホッブズがどのような哲学者か調べる。
第４回 【授業テーマ】 ロックの哲学
【内容・方法　等】 自然状態／自然法／所有権について
【事前・事後学習課題】 予習　ロックがどのような哲学者か調べる。
第５回 【授業テーマ】 ルソーの哲学
【内容・方法　等】 自然人／社会契約説について
【事前・事後学習課題】 予習　ルソーがどのような哲学者か調べる。
第６回 【授業テーマ】 カントの哲学（1）
【内容・方法　等】 義務論的／形式主義的／人格について
【事前・事後学習課題】 予習　カントがどのような哲学者か調べる。
第７回 【授業テーマ】 カントの哲学（2）
【内容・方法　等】 自律とは何か
【事前・事後学習課題】 事後学習　講義ノートの復習
第８回 【授業テーマ】 道徳感情学派の哲学
【内容・方法　等】 理性と感情について
【事前・事後学習課題】 事後学習　講義ノートの復習
第９回 【授業テーマ】 アーペルの哲学
【内容・方法　等】 討議倫理学の思想（1）
【事前・事後学習課題】 予習　アーペルがどのような哲学者か調べる。
第10回 【授業テーマ】 ハーバーマスの哲学
【内容・方法　等】 討議倫理学の思想（2）
【事前・事後学習課題】 予習　ハーバーマスがどのような哲学者か調べる。
第11回 【授業テーマ】 ベンサムの哲学
【内容・方法　等】 功利的快楽計算の思想（1）
【事前・事後学習課題】 予習　ベンサムがどのような哲学者か調べる。
第12回 【授業テーマ】 J. S. ミルの哲学
【内容・方法　等】 功利的快楽計算の思想（2）
【事前・事後学習課題】 予習　J. S. ミルがどのような哲学者か調べる。
第13回 【授業テーマ】 功利主義批判
【内容・方法　等】 功利主義の問題点とその克服の可能性
【事前・事後学習課題】 事後学習　講義ノートの復習
第14回 【授業テーマ】 ロールズの哲学
【内容・方法　等】 無知のヴェール／重なり合う合意について
【事前・事後学習課題】 予習　ロールズがどのような哲学者か調べる。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】 事後学習　講義ノートの復習

評価方法（基準）
定期試験60％、平常点（小テスト、小レポート1200～1600字、受講態度、出席状況）40％の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…今道友信『西洋哲学史』講談社学術文庫、1987年。
その他は、講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
わたしたちの社会のきまりやルールがどのような考え方に基づいて作り出されてきたのかを知ることから、これからの社会の在り方について考えるヒントを見つけてください。
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
哲学ＩＩ

担当者の研究室等
非常勤講師控室

哲学II
Philosophy II

島　田　喜　行（シマダ　ヨシユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、「良心」とは何かという問いを中心に人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。
到達目標
（1）社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎的知識が習得できる。
（2）他者と共にこの世界のなかで生きる私とはいかなる存在かを知り、私の「良心」と真摯に向き合うことの意義について考えられるようになる。

授業方法と留意点
ノート講義方式
講義内容の理解を問う小テストを数回行う
講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート（1200～1600字）を1回課す

科目学習の効果（資格）
この世界のなかで他者と共に生きるという当たり前だと思われていることのなかにこそ解決困難な問題が潜んでいることを知り、自ら深く考えるという姿勢を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 特になし
第２回 【授業テーマ】 良心とは何か
【内容・方法　等】 「良心」の原義
【事前・事後学習課題】 事後学習　講義ノートの復習

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　98　2014/08/21　14:23:42

第３回　【授業テーマ】　共に知ること（1）
【内容・方法　等】　世間と共に知ること
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第４回　【授業テーマ】　共に知ること（2）
【内容・方法　等】　神と共に知ること
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第５回　【授業テーマ】　ソクラテスの思想と良心（1）
【内容・方法　等】　「無知の知」という問い
【事前・事後学習課題】　予習　ソクラテスについて調べる
第６回　【授業テーマ】　ソクラテスの思想と良心（2）
【内容・方法　等】　知を愛し求める者の在り方
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第７回　【授業テーマ】　プラトンの思想と良心
【内容・方法　等】　イデア論について
【事前・事後学習課題】　予習　プラトンについて調べる
第８回　【授業テーマ】　ストア派の良心論（1）
【内容・方法　等】　キケロの思想
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第９回　【授業テーマ】　ストア派の良心論（2）
【内容・方法　等】　マルクス・アウレリウスの思想
【事前・事後学習課題】　予習　マルクス・アウレリウスについて調べる
第10回　【授業テーマ】　デカルトの思想と良心
【内容・方法　等】　絶対確実なものを求めて
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第11回　【授業テーマ】　モンテーニュの思想と良心
【内容・方法　等】　「無知の知」の問い再考
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第12回　【授業テーマ】　パスカルの思想と良心
【内容・方法　等】　「人間は考える葦である」とはどういうことか
【事前・事後学習課題】　予習　パスカルについて調べる
第13回　【授業テーマ】　カントの思想と良心（1）
【内容・方法　等】　目的と手段について
【事前・事後学習課題】　予習　カントについて調べる
第14回　【授業テーマ】　カントの思想と良心（2）
【内容・方法　等】　自律について
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習

評価方法（基準）
定期試験60％、平常点（1200～1600字の小レポート、小テスト、受講態度、出席状況）40％の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…石川康文『良心論--その哲学的試み--』名古屋大学出版会、2001年。
その他は、講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
「良心」とは何かという問いを通じて哲学的な「自己探求」という迷宮に足を踏み入れてみましょう。
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
哲学Ⅰ

担当者の研究室等
非常勤講師控室

スポーツ科学実習Ⅰ
Practice of Sports Science Ⅰ

近　藤　　潤（コンドウ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～テニスコース～
テニスはもともと手のひらでボールを打ち合うという人間の本能にも根ざした遊びの中から発展してきたスポーツであり、長い歴史と伝統を持っている。見る楽しみもさることながら、どちらかといえば自分で実践するスポーツであり、老若男女を問わず幅広く楽しめるものである。
本授業では、テニスの基本的な技術はもちろんのこと、テニスを通じて人間関係を築く事を目的とする。また、テニスをする事によって生涯を通じて楽しめるスポーツへと発展させる。

授業方法と留意点
実技形式で行う。（雨天の場合、講義形式を行う場合がある。）
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできません。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　各履修コースを決定
【事前・事後学習課題】　選択種目の確認
第２回　【授業テーマ】　体力測定①
【内容・方法　等】　屋外種目
【事前・事後学習課題】　体力測定評価
第３回　【授業テーマ】　体力測定②
【内容・方法　等】　屋内種目
【事前・事後学習課題】　体力測定評価
第４回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　基本技術（ストローク）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第５回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　基本技術（ストローク・サーブ）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第６回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　基本技術（ストローク・サーブ・ボレー）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第７回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　基本技術（ストローク・サーブ・ボレー）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第８回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム・形式練習）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第９回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　応用練習（ミニゲーム・形式練習）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第10回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第11回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第12回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第13回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第14回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第15回　【授業テーマ】　テニス
【内容・方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Ｆスポーツ振興センター事務室にきてください。
実施場所は、テニスコートで行う。服装はスポーツウェア及びテニスシューズを準備すること。（ラケットは授業で用意しますが、自分で持っている学生は自分のラケットのほうが良いでしょう）

関連科目
生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
体育館１Ｆ　近藤研究室

スポーツ科学実習Ⅰ
Practice of Sports Science Ⅰ

西　村　和　恵（ニシムラ　カズエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　99　　2014/08/21　14:23:42

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】

スポーツ科学実習Ⅰでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。

開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　各履修の注意と説明
各コース分け
【事前・事後学習課題】　ルールの理解

第２回　**【授業テーマ】**　体力測定①
【内容・方法　等】　50m走、立ち幅跳、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】　体力測定評価

第３回　**【授業テーマ】**　体力測定②
【内容・方法　等】　20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】　体力測定評価

第４回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　対人パス、1対1、2対1、6人円陣パス、基本技術練習
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第５回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　基本技術練習、パス～レシーブ、簡易試合
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第６回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第７回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第８回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第９回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第10回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第11回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　ゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第12回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　ゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第13回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　ゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第14回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　ゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

第15回　**【授業テーマ】**　バレーボール
【内容・方法　等】　ゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

評価方法（基準）

単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F事務室にきてください。

実施場所は総合体育館アリーナで行う。

服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館１Ｆ　体育館事務室

スポーツ科学実習Ⅰ
Practice of Sports Science Ⅰ

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】

スポーツ科学実習Ⅰでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。

開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】　観察記録

第２回　**【授業テーマ】**　体力測定①
【内容・方法　等】　50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】　観察記録

第３回　**【授業テーマ】**　体力測定②
【内容・方法　等】　20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】　観察記録

第４回　**【授業テーマ】**　ソフトボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】　観察記録

第５回　**【授業テーマ】**　ソフトボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】　観察記録

第６回　**【授業テーマ】**　ソフトボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】　観察記録

第７回　**【授業テーマ】**　ソフトボール
【内容・方法　等】　基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前・事後学習課題】　観察記録

第８回　**【授業テーマ】**　ソフトボール
【内容・方法　等】　基本技術練習・ゲーム
【事前・事後学習課題】　観察記録

第９回　**【授業テーマ】**　ソフトボール
【内容・方法　等】　基本技術練習・ゲーム
【事前・事後学習課題】　観察記録

第10回　**【授業テーマ】**　ソフトボール
【内容・方法　等】　基本技術練習・ゲーム
【事前・事後学習課題】　観察記録

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　100　2014/08/21　14:23:42

第11回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　リーグ戦
【事前・事後学習課題】　観察記録
第12回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　リーグ戦
【事前・事後学習課題】　観察記録
第13回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　リーグ戦
【事前・事後学習課題】　観察記録
第14回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　リーグ戦
【事前・事後学習課題】　観察記録
第15回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　リーグ戦
【事前・事後学習課題】　観察記録

評価方法（基準）
単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１Ｆ　横山講師室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

近　藤　　潤（コンドウ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅱはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

授業方法と留意点
１回目のガイダンスで種目選択をします。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　履修上の注意　コース種目分け
【事前・事後学習課題】　選択種目の確認
第２回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　基本技術（キャッチボール、トスバッティング）ゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第３回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　基本技術（キャッチボール、トスバッティング）ゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第４回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第５回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第６回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第７回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第８回　【授業テーマ】　ソフトボール
【内容・方法　等】　ゲーム（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第９回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術（パス・キック・ランニング等）ミニゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第10回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術（トラップ・シュート等）ミニゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第11回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　ミニゲーム・オールコート
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第12回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第13回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第14回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ
第15回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　オールコート（成績記録）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Fスポーツ振興センター事務室にきてください。
実施場所は、グラウンドで行う。
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
生涯スポーツ実習・保健論

担当者の研究室等
体育館１Ｆ　近藤研究室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

西　村　和　恵（ニシムラ　カズエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅱはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅱでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　各履修の注意と説明
各コース分け
【事前・事後学習課題】　ルールの理解
第２回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　基本技術練習、ルール説明
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第３回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　基本技術練習、簡易試合(シングルス)
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第４回　【授業テーマ】　バドミントン

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　101　2014/08/21　14:23:42

【内容・方法　等】　シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第５回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第６回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第７回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　ダブルス、ルール説明
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第８回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　ダブルスゲーム
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第９回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第10回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第11回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第12回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　ダブルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第13回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第14回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ
第15回　【授業テーマ】　バドミントン
【内容・方法　等】　シングルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】　授業内容まとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F事務室にきてください。
実施場所は総合体育館アリーナで行う。
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１Ｆ　体育館事務室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅱはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅱでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】　観察記録
第２回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第３回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第４回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第５回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第６回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】　観察記録
第７回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】　観察記録
第８回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】　観察記録
第９回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】　観察記録
第10回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第11回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第12回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第13回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第14回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】　観察記録
第15回　【授業テーマ】　サッカー
【内容・方法　等】　フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】　観察記録

評価方法（基準）
単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１Ｆ　横山講師室

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）
西　村　和　恵（ニシムラ　カズエ）
木　梨　雅　子（キナシ　マサコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　102　2014/08/21　14:23:42

内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的にする。
《到達目標》
①運動技術の向上
②競技ルールの理解
③学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

【授業内容】
授業での開講種目は下記のとおりである。
[開講予定種目]
サッカー、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球
これらの種目の他に、集中授業としてゴルフを開講しますが、通年授業の生涯スポーツ実習との重複履修は出来ません。
※尚、各種目の人数が多すぎる場合や少なすぎる場合は、他の種目に移動、もしくは開講しないことがあります。また、1回目の授業はガイダンスの他、各種目のコース分けをするので、必ず出席すること。何らかの事情で出席できない場合は、事前に体育館事務室まで連絡するように。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容･方法　等】　ガイダンス（履修上の注意事項の説明）
コース種目分け
【事前･事後学習課題】　ルールの理解
第２回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　競技の概要説明、基礎技術練習
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第３回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　基礎技術練習
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第４回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第５回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第６回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　基礎技術練習・簡易試合
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第７回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　基礎技術練習・簡易試合
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第８回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第９回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第10回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第11回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第12回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第13回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第14回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ
第15回　**【授業テーマ】**　各コース別実技
【内容･方法　等】　ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前･事後学習課題】　授業内容のまとめ

評価方法（基準）

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ　健康論　保健論

担当者の研究室等

体育館１Ｆ　体育館事務室

備考

【準備物】
トレーニングウエア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

近　藤　　潤（コンドウ　ジュン）
菅　生　貴　之（スゴウ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的にする。
《到達目標》
運動技術の向上
競技ルールの理解
学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

事前ガイダンスと集中授業４日間合わせて５日間で行う。
後期の生涯スポーツ実習が履修できること。
５日間すべて受講できること。
事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ　学習内容　場所
１回目　：事前ガイダンス　目的、日程、準備する物、ゴルフについて　総合体育館
２回目ＡＭ：ゴルフの基礎知識　ゴルフのルール・マナーについて　総合体育館
ＰＭ：基礎技術　グリップ・スウィング・パター　多目的グラウンドおよび第１グラウンド
３回目ＡＭ：基礎技術　打球練習場での練習　打球練習場
ＰＭ：基礎技術　アプローチ、パター練習　第１グラウンド
４回目ＡＭ：基礎技術　打球練習場での練習　打球練習場
ＰＭ：基礎技術　アプローチ、パター練習　第１グラウンド
５回目ＰＭ：応用編　ラウンド（９Ｈ）　京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準

平常点５０％、態度点２５％、技能点２５％として、総合評価する。

教材等

教科書…指定なし
参考書…使用しない

備考

ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス（半ズボンの場合はハイソックス着用）、運動靴（スパイク類は禁止）

保健論
Theory of Health

藤　林　真　美（フジバヤシ　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会は利便さと引き換えに人々の身体活動量が著しく減少し、その結果、子どもから高齢者まで年齢階層を問わず生活習慣病に罹患する人口が激増している。この予防・改善には、「運動」「食事」「休養」のバランスが取れた生活を送ることが望ましい。
本講義では、健康について幅広い知識を習得することを目的とする。

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康な大学生活を送り、さらに生涯にわたって健康を維持するための正しい知識や習慣を得る事ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに～健康とは～
【内容･方法　等】　健康の定義。厚生労働省の「健康日本２１」の概要を解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第２回　**【授業テーマ】**　「運動」「栄養」「休養」
【内容･方法　等】　「運動」「栄養」「休養」について概説し、それらと生活習慣病との関連性について説明する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　103　2014/08/21　14:23:43

第３回　【授業テーマ】　五大栄養素
【内容･方法　等】　五大栄養素とその役割について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第４回　【授業テーマ】　身体を動かす仕組み～筋・骨格系～
【内容･方法　等】　筋・骨格系の解剖学的、形態学的特性と神経系の役割について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第５回　【授業テーマ】　身体を動かすしくみ～呼吸器系～
【内容･方法　等】　呼吸器の構造と機能について解説する。運動時の呼吸応答、酸素摂取量の変動、さらに運動トレーニングによる最大酸素摂取量の増大について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第６回　【授業テーマ】　身体を動かすしくみ～循環器系～
【内容･方法　等】　循環器の構造と機能、血液成分について解説する。運動時の心拍数、心拍出量の変動、さらに運動トレーニングによる循環器系の形態・機能の向上について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第７回　【授業テーマ】　生活習慣病予防としての運動の役割
【内容･方法　等】　エネルギー供給系について説明し、運動トレーニングによるエネルギー代謝の変化を解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第８回　【授業テーマ】　発育・発達
【内容･方法　等】　幼少期から青年期にいたる身体の形態発育・機能発達と、それらに運動トレーニングが及ぼす効果について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第９回　【授業テーマ】　老化
【内容･方法　等】　身体の形態・機能の老化について解説する。また中・高齢者における運動トレーニングの効果について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第10回　【授業テーマ】　様々な環境下における生理学的しくみ
【内容･方法　等】　暑熱下・寒冷下における体温調節のしくみを解説する。さらに暑熱環境下における水分補給について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第11回　【授業テーマ】　運動障害と予防、応急処置
【内容･方法　等】　スポーツ障害、過換気症候群、RICE処置、心肺蘇生法について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第12回　【授業テーマ】　健康づくりのための運動処方
【内容･方法　等】　有酸素・無酸素運動、レジスタンストレーニングについて、健康づくりの観点から解説する。また年代・性差による違いについても説明する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第13回　【授業テーマ】　ストレス・疲労への対策
【内容･方法　等】　ストレス要因の軽減・ストレスへの早期対応としてのスポーツの関わりを解説する。
また疲労が起こるしくみとその対策について解説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第14回　【授業テーマ】　アルコール、タバコ、薬物、性感染症
【内容･方法　等】　アルコールやタバコ、薬物が身体へ及ぼす影響について解説する。またHIVなど性感染症についても概説する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント
第15回　【授業テーマ】　総括
【内容･方法　等】　皆さんのQOL（Quality of life: 生活の質）向上の観点から、「運動」「食事」「休養」の有用性について総括する。
【事前･事後学習課題】　配布プリント

評価方法（基準）
主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
皆さんが将来知的職業人として社会で活躍するためには、まず「健康」が基盤です。自分の身体・健康に興味を持って、より充実した大学生活を過ごしてください。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習、健康科学

担当者の研究室等
総合体育館1階　藤林研究室

くらしと経済
Life and Economy

岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本を含む世界経済はダイナミックな変化の過程にある。先進国の経済成長率が鈍化する一方、新興国は世界経済の動力源として機能しつつある。ここで重要なのは、これらは私たちのくらしと決して無縁ではなく、むしろ私たちはこれらの経済問題を積極的に理解し、自らの力で対処しなければならない、ということである。本講義の目標は経済問題を考えるための初歩的なスキルを身につけることである。

授業方法と留意点
教科書を用いた講義形式で行う。ただし、受動的な受講姿勢とならないよう、“声を出す”ことを重視する。例えば教科書の音読、臨機応変な質疑応答等である。言うまでもなく教科書は必携である。ただし、私語への対処は、他の講義よりも厳しいと心得ておいて欲しい。また高校と異なり、大学の講義では板書よりも口頭説明が多く、自分なりのノートの取り方を工夫しておくこと。

科目学習の効果（資格）
日々のくらしの中で遭遇する経営・経済問題を深く理解し、対処するスキルを身につけることができる。また専門科目をより深く理解するための基礎となり、資格取得・公務員試験などにも役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容･方法　等】　経済現象と日々のくらしとの結びつきについて概説し、「くらしと経済」で何を考え学ぶのかを解説する。新聞の読み方についても解説する。
【事前･事後学習課題】　復習すること
第２回　【授業テーマ】　分業の利益
【内容･方法　等】　分業、比較優位、機会費用について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１章を予習復習のこと
第３回　【授業テーマ】　需要と供給
【内容･方法　等】　需要曲線、供給曲線について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第２章を予習復習のこと
第４回　【授業テーマ】　価格メカニズム
【内容･方法　等】　市場取引や価格決定のメカニズムについて解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第３章を予習復習のこと
第５回　【授業テーマ】　市場の効率性
【内容･方法　等】　望ましい経済の基準として効率性について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第４章を予習復習のこと
第６回　【授業テーマ】　市場の失敗
【内容･方法　等】　市場は万能ではない。市場の失敗について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第５章を予習復習のこと
第７回　【授業テーマ】　市場の限界
【内容･方法　等】　市場の失敗の原因の一つである情報の非対称性や市場の限界について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第６章を予習復習のこと
第８回　【授業テーマ】　中間試験
【内容･方法　等】　前回までの内容について試験を行う。
【事前･事後学習課題】　復習を行っておくこと
第９回　【授業テーマ】　労働市場
【内容･方法　等】　学生にとって最も身に染みて感じるであろう労働市場について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第７章を予習復習のこと
第10回　【授業テーマ】　ＧＤＰについて
【内容･方法　等】　国の豊かさを測るＧＤＰにについて解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第８、９章を予習復習のこと
第11回　【授業テーマ】　消費需要と投資需要
【内容･方法　等】　ＧＤＰ構成要素の消費と投資について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１０章を予習復習のこと
第12回　【授業テーマ】　貨幣と金融
【内容･方法　等】　経済取引に欠かせない貨幣と経済取引の大半を占める金融について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１１章を予習復習のこと
第13回　【授業テーマ】　政府の役割
【内容･方法　等】　市場は万能ではなく、政府の存在意義の一つもそこにある。政府の経済的な役割について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１２章を予習復習のこと
第14回　【授業テーマ】　外国貿易と為替レート
【内容･方法　等】　資源小国かつ技術立国日本は海外諸国との貿易で生計を立てている。日本の貿易の状況や為替レート

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　104　2014/08/21　14:23:43

の決定について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第１３章を予習復習のこと
第15回 【授業テーマ】 経済成長と国民生活
【内容・方法 等】 経済の成長は豊かさの維持と密接に関わる。経済成長率の表し方やその分析方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 教科書第１４章を予習復習のこと

評価方法（基準）
中間試験(50%)＋期末試験(50%)+発言点(+α)をもとに評価する。中間・期末双方の試験を受験しなければ評価の対象とならない。私語は減点の対象となる。

教材等
教科書…中谷武・中村保編著『１からの経済学』碩学舎、2520円ISBN978-4-502-68080-9
参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
単位取得のためではなく、自身の能力向上のために受講するんだ、という姿勢であって欲しい。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進願いたい。

関連科目
本学部開講科目の全ての科目

担当者の研究室等
１１号館８階(岩坪教授室)

社会学I
Sociology I

山 本 圭 三（ヤマモト ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
私たちの生きる社会は、どのような仕組みで動いているのか。社会にはどのような問題があり、それはなぜ生じているのか。これらの問いに向きあう際のもっとも基本的な社会(科)学の認識枠組みを紹介する。教育、仕事、産業と経済、という3つのテーマを事例として、社会(科)学的に考えることの重要性を理解してもらうことが本講義の目標である。

授業方法と留意点
テーマに関連するデータ資料や視聴覚教材をもちいる。

科目学習の効果（資格）
社会生活を送る上で何かと直面することになるであろう「人と人」「人と集団」「集団と集団」に関わる問題に対する、幅広い視点を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義をはじめるにあたって
【内容・方法 等】 講義へのオリエンテーション
【事前・事後学習課題】 授業内容に関する復習
第２回 【授業テーマ】 1 社会学とは
【内容・方法 等】 社会学における基礎的な知識と発想（1）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第３回 【授業テーマ】 1 社会学とは
【内容・方法 等】 社会学における基礎的な知識と発想（2）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第４回 【授業テーマ】 1 社会学とは
【内容・方法 等】 社会学における基礎的な知識と発想（3）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第５回 【授業テーマ】 1 社会学とは
【内容・方法 等】 社会学における基礎的な知識と発想 (4)
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第６回 【授業テーマ】 1 社会学とは
【内容・方法 等】 社会学における基礎的な知識と発想 (5)
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第７回 【授業テーマ】 中テスト
【内容・方法 等】 まとめと授業内容の理解度を問う記述式のテスト
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習
第８回 【授業テーマ】 2 教育の社会学
【内容・方法 等】 学歴社会のメカニズム（1）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第９回 【授業テーマ】 2 教育の社会学
【内容・方法 等】 学歴社会のメカニズム（2）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第10回 【授業テーマ】 2 教育の社会学
【内容・方法 等】 学歴社会のメカニズム（3）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第11回 【授業テーマ】 3 仕事の社会学
【内容・方法 等】 働き方の変化とその背景 (1)
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第12回 【授業テーマ】 3 仕事の社会学
【内容・方法 等】 働き方の変化とその背景（2）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第13回 【授業テーマ】 4 産業と経済の社会学
【内容・方法 等】 豊かな社会への道（1）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第14回 【授業テーマ】 4 産業と経済の社会学
【内容・方法 等】 豊かな社会への道（2）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第15回 【授業テーマ】 講義を終えるにあたって
【内容・方法 等】 まとめ
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

評価方法（基準）
授業態度10%、試験（中間、期末）90%で評価する。

教材等
教科書…使用しない。
参考書…適宜提示する。

学生へのメッセージ
やや厳しい授業ですが、テーマに関心をもったやる気のある学生は受講してください。大事なのは「正解のない問題」に向きあう際の姿勢です。

関連科目
社会学Ⅱ

担当者の研究室等
11号館7階 山本講師室

社会学II
Sociology II

山 本 圭 三（ヤマモト ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
私たちの生きる社会はどのような仕組みで動いているのか。社会にはどのような問題があり、それはなぜ生じているのか。これらの問いに向きあう際のもっとも基本的な社会(科)学の認識枠組みを紹介する。家族と子ども、政治、宗教、社会意識、という4つのテーマを事例として、社会(科)学的に考えることの重要性を理解してもらうことが本講義の目標である。

授業方法と留意点
テーマに関連するデータ資料や視聴覚教材をもちいる。

科目学習の効果（資格）
社会生活を送る上で何かと直面することになるであろう「人と人」「人と集団」「集団と集団」に関わる問題に対する、幅広い視点を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義をはじめるにあたって
【内容・方法 等】 講義へのオリエンテーション
【事前・事後学習課題】 授業内容に関する復習
第２回 【授業テーマ】 1 家族と子どもの社会学
【内容・方法 等】 家族は危機に陥ったのか（1）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第３回 【授業テーマ】 1 家族と子どもの社会学
【内容・方法 等】 家族は危機に陥ったのか（2）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第４回 【授業テーマ】 1 家族と子どもの社会学
【内容・方法 等】 家族は危機に陥ったのか（3）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第５回 【授業テーマ】 2 宗教の社会学
【内容・方法 等】 人はなぜ宗教に惹かれるのか（1）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第６回 【授業テーマ】 2 宗教の社会学
【内容・方法 等】 人はなぜ宗教に惹かれるのか（2）
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第７回 【授業テーマ】 2 宗教の社会学

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd 105 2014/08/21 14:23:43

【内容・方法　等】　人はなぜ宗教に惹かれるのか（3）
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第８回　【授業テーマ】　中テスト
【内容・方法　等】　まとめと授業内容の理解度を問う記述式のテスト
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習
第９回　【授業テーマ】　3　政治の社会学
【内容・方法　等】　平和と共存の作法を求めて（1）
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第10回　【授業テーマ】　3　政治の社会学
【内容・方法　等】　平和と共存の作法を求めて（2）
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第11回　【授業テーマ】　3　政治の社会学
【内容・方法　等】　平和と共存の作法を求めて（3）
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第12回　【授業テーマ】　4　社会意識
【内容・方法　等】　社会に生きるわれわれの「意識」(1)
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第13回　【授業テーマ】　4　社会意識
【内容・方法　等】　社会に生きるわれわれの「意識」(2)
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第14回　【授業テーマ】　4　社会意識
【内容・方法　等】　社会に生きるわれわれの「意識」(3)
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
第15回　【授業テーマ】　講義を終えるにあたって
【内容・方法　等】　まとめ
【事前・事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

評価方法（基準）
授業態度10%、試験（中間、期末）90%で評価する。

教材等
教科書…使用しない。
参考書…適宜提示する。

学生へのメッセージ
やや厳しい授業ですが、テーマに関心をもったやる気のある学生は受講してください。大事なのは「正解のない問題」に向きあう際の姿勢です。

関連科目
社会学Ⅰ

担当者の研究室等
11号館7階　山本講師室

歴史学I
HistoryI

佐　伯　智　広（サエキ　トモヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
自国の文化や海外の文化を理解するためには、まず私達たち自身の歴史を知り、文化の起こり・移り変わり・成り立ち・特色について考えることが欠かせません。この講義では、そのための歴史の基礎知識を学んで行きます。対象は古代から現代までの全時代です。

授業方法と留意点
板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。参考図書は講義内で適宜示します。

科目学習の効果（資格）
日本文化の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション　歴史と文化の接点
【内容・方法　等】　歴史と文化との関わり全般について概観します。
【事前・事後学習課題】　なし
第２回　【授業テーマ】　飛鳥時代　―仏教伝来―
【内容・方法　等】　飛鳥時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「聖徳太子」という人物について辞書的な経歴を調べる。
第３回　【授業テーマ】　奈良時代　―仏教興隆―
【内容・方法　等】　奈良時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「鎮護国家」という語について辞書的な意味を調べる。
第４回　【授業テーマ】　平安時代前期　―仏教再編―
【内容・方法　等】　平安時代前期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「密教」という語について辞書的な意味を調べる。
第５回　【授業テーマ】　平安時代中期　―消化と吸収―
【内容・方法　等】　平安時代中期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「念仏」という語について辞書的な意味を調べる。
第６回　【授業テーマ】　平安時代後期・鎌倉時代前期　―地方への拡大―
【内容・方法　等】　平安時代後期・鎌倉時代前期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「武士」という語について辞書的な意味を調べる。
第７回　【授業テーマ】　鎌倉時代後期　―異端の力―
【内容・方法　等】　鎌倉時代後期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「鎌倉新仏教」という語について辞書的な意味を調べる。
第８回　【授業テーマ】　南北朝時代・室町時代　―京都への回帰―
【内容・方法　等】　南北朝時代・室町時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「南北朝」という語について辞書的な意味を調べる。
第９回　【授業テーマ】　戦国時代・安土桃山時代　―力と平和―
【内容・方法　等】　戦国時代・安土桃山時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「小京都」という語について辞書的な意味を調べる。
第10回　【授業テーマ】　江戸時代前期・中期　―天下泰平―
【内容・方法　等】　江戸時代前期・中期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「鎖国」という語について辞書的な意味を調べる。
第11回　【授業テーマ】　江戸時代後期・末期　―世界的激動の中で―
【内容・方法　等】　江戸時代後期・末期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「開国」という語について辞書的な意味を調べる。
第12回　【授業テーマ】　明治時代　―西洋文明との出会い―
【内容・方法　等】　明治時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。
第13回　【授業テーマ】　大正時代・戦前　―植民地時代の光と影―
【内容・方法　等】　大正時代・戦前の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「モダニズム」という語について辞書的な意味を調べる。
第14回　【授業テーマ】　戦後　―高度経済成長と現代―
【内容・方法　等】　戦後の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「高度経済成長」という語について辞書的な意味を調べる。
第15回　【授業テーマ】　冠婚葬祭にまつわるエトセトラ
【内容・方法　等】　冠婚葬祭にまつわる文化について学びます。
【事前・事後学習課題】　予習として、「冠婚葬祭」という語について辞書的な意味を調べる。

評価方法（基準）
予習シート３０%、定期試験７０%

教材等
教科書…ありません。
参考書…講義内で適宜示します。

学生へのメッセージ
教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきゅうくつな枠組みはありません。
ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！
また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

関連科目
ありません。

担当者の研究室等
７号館２階非常勤講師室

歴史学II
HistoryII

村　上　司　樹（ムラカミ　モトキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　106　2014/08/21　14:23:43

授業概要・目的・到達目標

「都市」と聞いて私たちが思い浮かべるのは、経済・産業の中心であり、自由な活動の場といったイメージではなかろうか。経済と自由、この２つの特徴の歴史的ルーツをたどっていけば、ヨーロッパ中世都市に行き着く。高校世界史において、商業の復活がヨーロッパ中世都市を生み出し、市民の自治がこれを発展させたと教わった人も少なくないだろう。古代や中国の例なども広く視野に入れることで、一種、常識となっているこのような通説を疑い、考えなおす。そのようにして、都市を窓口に歴史を展望する。以上が本講義の目的である。支配と消費の中心ではなく、周辺の自然環境や地域社会と共存できる都市のあり方など、現代的な問題を解決するためのヒントも探りたい。

授業方法と留意点

毎回プリントを配布し、図像史料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低２回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がある。そのための２度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。

科目学習の効果（資格）

商業や市民に限られない、中世都市の多様なあり方とダイナミズムを中心として、経営を学ぶための基礎体力となる幅広い教養と具体的思考の習慣を身に付ける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　はじめに
【内容・方法　等】　授業のルール・方針・全体計画
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第２回　【授業テーマ】　アジアの都市、ヨーロッパの都市Ⅰ
【内容・方法　等】　中国都市　―停滞というウソ
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第３回　【授業テーマ】　アジアの都市、ヨーロッパの都市ⅠⅠ
【内容・方法　等】　中国都市　―停滞というウソ（続）
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第４回　【授業テーマ】　アジアの都市、ヨーロッパの都市ⅠⅠⅠ
【内容・方法　等】　イスラーム都市　―不合理というウソ
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第５回　【授業テーマ】　アジアの都市、ヨーロッパの都市ⅠＶ
【内容・方法　等】　イスラーム都市　―不合理というウソ（続）
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第６回　【授業テーマ】　アジアの都市、ヨーロッパの都市Ｖ
【内容・方法　等】　イスラーム都市　―不合理というウソ（続々）
【事前・事後学習課題】　小レポート

第７回　【授業テーマ】　古代の都市、中世の都市Ⅰ
【内容・方法　等】　古代ギリシャ・ローマ都市　―経済より政治
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第８回　【授業テーマ】　古代の都市、中世の都市ⅠⅠ
【内容・方法　等】　都市古代ギリシャ・ローマ都市　―経済より政治（続）
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第９回　【授業テーマ】　古代の都市、中世の都市ⅠⅠⅠ
【内容・方法　等】　古代ギリシャ・ローマ都市　―経済より政治（続々）
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第10回　【授業テーマ】　古代の都市、中世の都市ⅠＶ
【内容・方法　等】　古代ギリシャ・ローマ都市　―ライフスタイルを支える施設
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第11回　【授業テーマ】　古代の都市、中世の都市ⅠＶ
【内容・方法　等】　古代ギリシャ・ローマ都市　―ライフスタイルを支える施設（続）
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第12回　【授業テーマ】　中世ヨーロッパ都市Ⅰ
【内容・方法　等】　はじめに教会があった
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第13回　【授業テーマ】　中世ヨーロッパ都市ⅠⅠ
【内容・方法　等】　はじめに教会があった（続）
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第14回　【授業テーマ】　中世ヨーロッパ都市ⅠⅠⅠ
【内容・方法　等】　自由と経済
【事前・事後学習課題】　最低2回は資料を読み返す

第15回　【授業テーマ】　中世ヨーロッパ都市ⅠＶ
【内容・方法　等】　自由と経済（続）
【事前・事後学習課題】　試験の準備

評価方法（基準）

暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験（40％）、②小レポート（30％）、③レスポンスペーパー（30％）の３つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。

教材等

教科書…参考資料を適宜配布する。
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やることが多い」などとネガティヴに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティヴに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

7号館2階　非常勤講師室

備考

【教職科目】教科に関する科目（中学校　社会）
【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史
【履修区分】必修

法学入門
Jurisprudence

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

法は私たちの日常生活と密接な関係にあり、私たちが普段あまり意識しないで行動していても、その行為の裏には法律関係若しくは法律的問題のあるものが沢山あります。法を学ぶことは世の中を知ることにもつながります。この講義では、現実の社会と法の世界がどのように関係しあっているかということについて理解してもらいたいと思います。法についての基本的な知識と考え方を身につけ、世の中の動きに関心を持ってもらえたらと思います。

授業方法と留意点

講義方式をとります。決まった教科書は使用しませんが、レジュメと参考資料を配付しますので参考にしてください。

科目学習の効果（資格）

公務員試験や教員免許の取得等に参考になると思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　法とは何か
【内容・方法　等】　法規範と道徳の違い、法源とは何かなど
【事前・事後学習課題】　随時資料を配付する

第２回　【授業テーマ】　法の解釈
【内容・方法　等】　法令解釈の基本
【事前・事後学習課題】　随時資料を配付する

第３回　【授業テーマ】　国家と法
【内容・方法　等】　国家と憲法、国民主権、三権分立
【事前・事後学習課題】　随時資料を配付する

第４回　【授業テーマ】　平和と法
【内容・方法　等】　平和主義
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第５回　【授業テーマ】　人権と法（Ⅰ）
【内容・方法　等】　基本的人権の保障（自由権）
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第６回　【授業テーマ】　人権と法（Ⅱ）
【内容・方法　等】　基本的人権の保障（社会権）
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第７回　【授業テーマ】　政治と法
【内容・方法　等】　統治機構
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第８回　【授業テーマ】　国と地方
【内容・方法　等】　地方自治
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第９回　【授業テーマ】　財産と法
【内容・方法　等】　所有権の絶対性
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第10回　【授業テーマ】　契約と法（Ⅰ）
【内容・方法　等】　契約自由の原則
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付するので読んでおくこと

第11回　【授業テーマ】　契約と法（Ⅱ）
【内容・方法　等】　契約各論
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第12回　【授業テーマ】　家族と法
【内容・方法　等】　婚姻と離婚、相続
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第13回　【授業テーマ】　犯罪と法
【内容・方法　等】　罪刑法定主義、刑法の機能
【事前・事後学習課題】　随時参考資料を配付する

第14回　【授業テーマ】　行政と法

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　107　2014/08/21　14:23:43

【内容・方法　等】 行政の仕組みと行政行為
【事前・事後学習課題】 随時参考資料を配付する
第15回 【授業テーマ】 紛争解決と法
まとめ
【内容・方法　等】 争訟制度
授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 ノートと配付資料をよく読んでおくこと

評価方法（基準）
定期試験の結果で評価します。

教材等
教科書…レジュメを配付する
参考書…なし

学生へのメッセージ
学生時代には、いろいろなことに興味を持ち、専門分野はもち論のこと他の分野について勉強することも将来何かの役に立つことと思います。法の世界もそのひとつです。授業が進めば、一つの世界が見えてくると思います。

関連科目
日本国憲法

担当者の研究室等
11号館10階　小島教授室

備考
なし

日本国憲法
The Japanese Constitutional Law

大　仲　淳　介（オオナカ　アツヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
概要：日本国憲法の基本的な内容を理解できるように、授業テーマと関連する憲法上の問題をとりあげ、これと関わりのある基本事項、判例、学説を解説・検討します。目的：身近に生じる憲法上の問題を通して憲法の基本的な考え方を理解してもらうこと。目標：憲法の基本的な知識を修得し、身近に生じる憲法上の問題を憲法の視点から考えるようになることを目指します。

授業方法と留意点
教科書と配布プリントを用いて講義形式で行います。小テストは授業中に、適宜、行います。なお小テストを実施した回に欠席した者のための再試験は行いませんので注意して下さい。

科目学習の効果（資格）
各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得になると思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 日本国憲法とは
【内容・方法　等】 憲法の意味、憲法の最高法規性、違憲審査制などについて説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書9頁から18頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第２回 【授業テーマ】 基本的人権の保障１
【内容・方法　等】 人権の歴史、人権の分類、人権の限界について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書19頁から25頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第３回 【授業テーマ】 基本的人権の保障２
【内容・方法　等】 人権の享有主体について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書25頁から38頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第４回 【授業テーマ】 基本的人権の保障３
【内容・方法　等】 人権規定の私人間効力について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書39頁から46頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第５回 【授業テーマ】 基本的人権の保障４
【内容・方法　等】 幸福追求権と法の下の平等について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書47頁から66頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第６回 【授業テーマ】 基本的人権の保障５
【内容・方法　等】 信教の自由と政教分離について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書67頁から78頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第７回 【授業テーマ】 基本的人権の保障６
【内容・方法　等】 表現の自由の保障とその限界について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書79頁から90頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第８回 【授業テーマ】 基本的人権の保障７
【内容・方法　等】 表現活動の規制（検閲と事前抑制）について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書91頁から100頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第９回 【授業テーマ】 基本的人権の保障８
【内容・方法　等】 職業選択の自由とその規制を中心に経済的自由権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書101頁から110頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第10回 【授業テーマ】 基本的人権の保障９
【内容・方法　等】 生存権を中心に社会権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書111頁から129頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第11回 【授業テーマ】 基本的人権の保障10
【内容・方法　等】 刑罰、刑事手続と憲法について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書131頁から140頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第12回 【授業テーマ】 統治機構１
【内容・方法　等】 立法の委任を中心に国会と立法権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に155頁から166頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第13回 【授業テーマ】 統治機構２
【内容・方法　等】 議院内閣制、内閣の組織と権能について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書167頁から178頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第14回 【授業テーマ】 統治機構３
【内容・方法　等】 司法権、違憲立法審査権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書179頁から200頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第15回 【授業テーマ】 統治機構４
【内容・方法　等】 地方自治の本旨、条例制定権、住民投票について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書201頁から210頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

評価方法（基準）
定期試験（60％）、小テスト（40％）の割合で評価します。小テストは、適宜、行います。

教材等
教科書…中村睦男、岩本一郎、大島佳代子、木下和朗、齊藤正彰、佐々木雅寿、寺島壽一「はじめての憲法学」（第2版）三省堂
参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ
授業で生じた疑問は必ず質問して下さい。

関連科目
法学入門

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

政治学概論I
Introduction to Politics I

森　　康　一（モリ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日々ニュースで報じられる政治の動きを、政治学という学問的な裏付けを基礎にしてとらえることを目標とする。
政治体制・政党制など、政治学の理論的な整理を試みるとともに、国際政治についても目を向けていきたい。

授業方法と留意点
プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　108　2014/08/21　14:23:44

るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果（資格）

政治学の基本となる知識を習得できるようにしたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法　等】　講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】　新聞の政治目・国際面を読む習慣をつける

第２回　**【授業テーマ】**　「政治」とはなにか
【内容・方法　等】　「政治」の概念について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第３回　**【授業テーマ】**　近代国家の誕生
【内容・方法　等】　近代国家とはなにか、またその誕生について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第４回　**【授業テーマ】**　国家の政治体制（1）
【内容・方法　等】　政治体制とは何か、および政治体制の分類について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第５回　**【授業テーマ】**　国家の政治体制（2）
【内容・方法　等】　自由民主主義体制の分類について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第６回　**【授業テーマ】**　国家の政治体制（3）
【内容・方法　等】　非自由民主主義体制の分類について、および体制変動について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第７回　**【授業テーマ】**　政治と経済・福祉（1）
【内容・方法　等】　政治と経済の関わりについて
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第８回　**【授業テーマ】**　政治と経済・福祉（2）
【内容・方法　等】　戦後の福祉国家について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第９回　**【授業テーマ】**　政治制度と政治過程
【内容・方法　等】　国民代表・利益代表の政治過程について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第10回　**【授業テーマ】**　政策と行政
【内容・方法　等】　政策過程について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第11回　**【授業テーマ】**　政党制
【内容・方法　等】　政党とはなにか、また政党システムの類型について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第12回　**【授業テーマ】**　集権と分権
【内容・方法　等】　分権と連邦主義、国際統合について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく

第13回　**【授業テーマ】**　近代の国際政治と現代の国際政治（1）
【内容・方法　等】　近代の国際体系＝ウェストファリア体制について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第14回　**【授業テーマ】**　近代の国際政治と現代の国際政治（2）
【内容・方法　等】　現代の国際政治の特色について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　講義のまとめと、試験について
【事前・事後学習課題】　試験に向けたノート作りをしておく

評価方法（基準）

期末の試験の結果によって評価を行います。持ち込みは認めません。

教材等

教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…加茂利男他『現代政治学』（有斐閣, 1800円）

学生へのメッセージ

日々ニュースや新聞にふれて、世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようにしてください。共に勉強しましょう。

関連科目

国際関係論、外交史および政治学

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

備考

出席をとる予定です。

政治学概論II
Introduction to Politics II

森　　康　一（モリ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、第二次世界大戦後から現在までの国際関係についてとりあげる。
前半では米ソを中心とする冷戦時代の国際政治を説明し、後半では冷戦後の国際関係と個別的な時事問題を考える。
歴史をふまえた上で、現在の国際政治を理解する土台を作ることを目的とする。

授業方法と留意点

プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果（資格）

現在の世界情勢を理解するうえで必要な知識を習得できるようにしたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法　等】　講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】　新聞の国際面を読む習慣をつける

第２回　**【授業テーマ】**　冷戦時代の国際関係（1）
【内容・方法　等】　ヤルタ体制および冷戦初期の国際政治について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第３回　**【授業テーマ】**　冷戦時代の国際関係（2）
【内容・方法　等】　第三世界の台頭、ヨーロッパ統合の理想と現実について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第４回　**【授業テーマ】**　冷戦時代の国際関係（3）
【内容・方法　等】　多極化とデタントについて
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第５回　**【授業テーマ】**　冷戦時代の国際関係（4）
【内容・方法　等】　「新冷戦」と冷戦の終焉について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第６回　**【授業テーマ】**　ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ（1）
【内容・方法　等】　冷戦終結後の国際政治全般について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第７回　**【授業テーマ】**　ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ（2）
【内容・方法　等】　ヨーロッパを中心とした冷戦終結後の国際政治について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第８回　**【授業テーマ】**　グローバルな問題群
【内容・方法　等】　核・食料・環境問題について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第９回　**【授業テーマ】**　同時テロと「イラク戦争」後の世界秩序
【内容・方法　等】　「9.11」以後の国際政治について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第10回　**【授業テーマ】**　米ロの核軍縮
【内容・方法　等】　核問題をめぐる米ロ関係について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第11回　**【授業テーマ】**　米中関係のゆくえ
【内容・方法　等】　アメリカと中国の外交関係について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく

第12回　**【授業テーマ】**　中東問題のゆくえ
【内容・方法　等】　中東問題の経緯と「中東和平」の展望について
【事前・事後学習課題】　イスラエル、パレスチナ問題について調べておく

第13回　**【授業テーマ】**　緊迫する朝鮮半島情勢
【内容・方法　等】　韓国・北朝鮮をめぐる国際関係について
【事前・事後学習課題】　最近の朝鮮半島情勢について調べておく

第14回　**【授業テーマ】**　日本の安全保障
【内容・方法　等】　現在の日本がかかえる国際問題について
【事前・事後学習課題】　最近の日本の外交に関して調べておく

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　講義のまとめと試験について
【事前・事後学習課題】　試験に向けたノート作りをする

評価方法（基準）

期末の試験（論述式）の結果によって評価を行う。持ち込みは認めません。

教材等

教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』（有斐閣, 2000円）
須藤眞志編『20世紀現代史』（一芸社, 3000円）
伊藤芳明監修『国際紛争地図』（ダイヤモンド社, 1400円）

学生へのメッセージ

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　109　2014/08/21　14:23:44

日々ニュースや新聞にふれて、世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようにしてください。共に勉強しましょう。

関連科目

国際関係論、外交史、国際関係史など、国際関係の科目

担当者の研究室等

11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

備考

出席をとる予定です。

数学基礎I
Basic Mathematics I

妻　鳥　淳　彦（メンドリ　アツヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

高校でのカリキュラムの多岐化、大学入学以前の教育課程の多面化、さらに入学選抜試験も様々にわたることから、入学時点での数学習熟度にはかなりのバラツキが認められる。 一方で経営・経済系科目、情報系科目の多くでは、かなりの数学的知識、力量を前提にして授業が進められる。この間隙を埋めるため、最低限必要な数学的素養を大学初年度前期で確実に身につけることをこの授業の目標とする。

授業方法と留意点

テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。

科目学習の効果（資格）

問題を定式化すること、定式化できれば論理的に解けることを体得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 整式の計算(1)
【内容･方法　等】 ・計算の法則
・因数分解
【事前･事後学習課題】 第1章の問　課題レポート

第２回　【授業テーマ】 整式の計算(2)
【内容･方法　等】 ・整式の割り算
・剰余，因数の定理
【事前･事後学習課題】 第1章の問　課題レポート

第３回　【授業テーマ】 分数式・無理式(1)
【内容･方法　等】 ・通分の規則
【事前･事後学習課題】 第2章の問　課題レポート

第４回　【授業テーマ】 分数式・無理式(2)
【内容･方法　等】 ・平方根，立方根
・有理化の計算
【事前･事後学習課題】 第2章の問　課題レポート

第５回　【授業テーマ】 1次方程式(1)
【内容･方法　等】 ・等式の基本法則
【事前･事後学習課題】 第3章の問　課題レポート

第６回　【授業テーマ】 1次方程式(2)
【内容･方法　等】 ・方程式の導き方
・解き方
【事前･事後学習課題】 第3章の問　課題レポート

第７回　【授業テーマ】 1次不等式(1)
【内容･方法　等】 ・不等式の基本法則
【事前･事後学習課題】 第3章の問　課題レポート

第８回　【授業テーマ】 1次不等式(2)
【内容･方法　等】 ・不等式の導き方
・解き方
【事前･事後学習課題】 第3章の問　課題レポート

第９回　【授業テーマ】 連立1次方程式(1)
【内容･方法　等】 ・連立方程式の導き方
【事前･事後学習課題】 第4章の問　課題レポート

第10回　【授業テーマ】 連立1次方程式(2)
【内容･方法　等】 ・解き方
・基本法則
【事前･事後学習課題】 第4章の問　課題レポート

第11回　【授業テーマ】 連立1次方程式(3)
【内容･方法　等】 ・消去法
【事前･事後学習課題】 第4章の問　課題レポート

第12回　【授業テーマ】 場合の数(1)
【内容･方法　等】 ・数え上げの原則
【事前･事後学習課題】 第5章の問　課題レポート

第13回　【授業テーマ】 場合の数(2)
【内容･方法　等】 ・並べ方，選び方
・順列，組み合わせ
【事前･事後学習課題】 第5章の問　課題レポート

第14回　【授業テーマ】 確率(1)
【内容･方法　等】 ・確率の計算
【事前･事後学習課題】 第6章の問　課題レポート

第15回　【授業テーマ】 確率(2)
【内容･方法　等】 ・くりかえす試行の確率
【事前･事後学習課題】 第6章の問　課題レポート

評価方法（基準）

演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等

教科書…数学研究室編　数学基礎　1400円
参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ

数学については各自様々な思いを持っているでしょうが、あらためて出発する新鮮な気分で授業に参加して下さい。どのような些細なことでもかまいませんから、遠慮することなくいつでも質問してください。

関連科目

数学基礎 II、経営統計学、ビジネス数学基礎

担当者の研究室等

3号館3階(数学準備室)

数学基礎II
Basic Mathematics II

妻　鳥　淳　彦（メンドリ　アツヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では，1次関数，2次関数のグラフの復習を出発点として，様々な関数の変化の様子をとらえられることを目標にする。

授業方法と留意点

テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。

科目学習の効果（資格）

数学基礎 I に引き続き，筋道をたてた論理的思考と計算技量を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 関数とグラフ
【内容･方法　等】 ・座標平面　・点の表し方
【事前･事後学習課題】 第7章の問　課題レポート

第２回　【授業テーマ】 1次関数
【内容･方法　等】 ・グラフの書き方
・傾き，切片
【事前･事後学習課題】 第7章の問　課題レポート

第３回　【授業テーマ】 2次関数(1)
【内容･方法　等】 ・グラフの書き方
・頂点，対称軸
【事前･事後学習課題】 第7章の問　課題レポート

第４回　【授業テーマ】 2次関数(2)
【内容･方法　等】 ・最大値，最小値
・応用例
【事前･事後学習課題】 第7章の問　課題レポート

第５回　【授業テーマ】 無理関数
【内容･方法　等】 ・逆関数
・定義域
【事前･事後学習課題】 第7章の問　課題レポート

第６回　【授業テーマ】 数列(1)
【内容･方法　等】 ・等差数列
・和の公式
【事前･事後学習課題】 第8章の問　課題レポート

第７回　【授業テーマ】 数列(2)
【内容･方法　等】 ・等比数列
・和の公式
【事前･事後学習課題】 第8章の問　課題レポート

第８回　【授業テーマ】 整関数の微分(1)
【内容･方法　等】 ・変化率
・微分係数，接線
【事前･事後学習課題】 第9章の問　課題レポート

第９回　【授業テーマ】 整関数の微分(2)
【内容･方法　等】 ・導関数
・極大値，極小値
【事前･事後学習課題】 第9章の問　課題レポート

第10回　【授業テーマ】 整関数の微分(3)
【内容･方法　等】 ・関数の増加，減少
・関数のグラフ
【事前･事後学習課題】 第9章の問　課題レポート

第11回　【授業テーマ】 整関数の微分(4)
【内容･方法　等】 ・最大値，最小値
・応用問題
【事前･事後学習課題】 第9章の問　課題レポート

第12回　【授業テーマ】 積分(1)
【内容･方法　等】 ・不定積分

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　110　2014/08/21　14:23:44

・原始関数
【事前・事後学習課題】 第10章の問　課題レポート
第13回 【授業テーマ】 積分(2)
【内容・方法　等】 ・区分求積法
・定積分
【事前・事後学習課題】 第10章の問　課題レポート
第14回 【授業テーマ】 積分(3)
【内容・方法　等】 ・微積分の基本定理
・定積分の計算
【事前・事後学習課題】 第10章の問　課題レポート
第15回 【授業テーマ】 積分(4)
【内容・方法　等】 ・面積，体積
・応用問題
【事前・事後学習課題】 第10章の問　課題レポート

評価方法（基準）
演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等
教科書…数学研究室編　数学基礎　1400円
参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ
どのような些細なことでもかまいませんから，遠慮することなくいつでも質問してください。数学の学習は積み重ねである一方で，後になって以前不明だったことが理解できることもよくあります。続けることで充実した初年度にしましょう。

関連科目
数学基礎Ⅰ、統計学、経営数学

担当者の研究室等
3号館3階(数学準備室)

自然科学I
Introduction to Natural SciencesI

松　浦　哲　郎（マツウラ　テツロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業内容はほぼヒトの生体の話である。生体内とはとりもなおさず、10の器官系からなる我々の体の中のしくみと働きである。しかしながら、案外、我々は自分の体の中で行われていることを知らない。この半年間、生物学のうちで最も身近な対象である人体の構造・生理を中心に解説し、併せて最近話題となっているトピックスについて解説する。

授業方法と留意点
ノート・講義方式。教科書およびビデオ教材を用い、ビジュアルに解りやすくやっていきたい。授業中に理解してしまえば、特に新たな勉強は必要ない。

科目学習の効果（資格）
一般教養の充実。生物・医学関連に関する記事あるいは専門書を読む際の助けとなるような知識の向上をめざす。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業中のルール説明・試験方法について
アンケート・生物の基礎知識を問う
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 細胞・組織・器官・器官系
【内容・方法　等】 ビデオ「動物の体」。ヒトは約６０兆個の細胞から構成されている。細胞は組織を構成し、組織は器官を造る。生物における個体と細胞の関係を理解する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第３回 【授業テーマ】 細胞説・・・細胞は生物の基本単位
【内容・方法　等】 ビデオ「細胞説」。自然発生説から細胞説への転換。レディの実験とパスツールの実験を通して細胞の概念を理解する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第４回 【授業テーマ】 細胞膜
【内容・方法　等】 ビデオ高校生物「細胞膜」。細胞膜とシャボン玉の類似点と相違点。細胞膜は脂質で構成され、様々な物質を選択的に通過することができる。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第５回 【授業テーマ】 原形質と原形質流動
【内容・方法　等】 ビデオ高校生物「細胞小器官」。細胞の内部に様々な小器官が存在することを理解する。植物の細胞質を観察し、「原形質」と「原形質流動」のイメージをつかむ。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第６回 【授業テーマ】 細胞小器官
【内容・方法　等】 ビデオ「細胞と組織」。細胞の核と細胞質の概念を理解するとともに細胞内のミトコンドリアを初めとする様々な細胞小器官の名前とその機能を覚える。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第７回 【授業テーマ】 胃の構造と機能
【内容・方法　等】 ビデオ「人体-消化吸収の妙」。消化器系について基礎知識を身につける。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について授業内容をもとに復習を行うこと
第８回 【授業テーマ】 循環器系
【内容・方法　等】 循環器系について基礎知識を身につける。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第９回 【授業テーマ】 循環器系
【内容・方法　等】 ビデオ高校生物「体液」。生物の循環器系についてのしくみを理解する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第10回 【授業テーマ】 循環器系
【内容・方法　等】 ビデオ「人体②しなやかなポンプ心臓・血管」。ヒトの心臓の構造と機能について理解する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第11回 【授業テーマ】 肝臓の構造と機能
【内容・方法　等】 ビデオ「人体-壮大な化学工場・・肝臓」
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第12回 【授業テーマ】 生殖器系・性周期・排卵・妊娠・出産のしくみ
【内容・方法　等】 男性と女性のそれぞれの生殖器系の基本的な器官とそのしくみを覚える。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第13回 【授業テーマ】 生殖器系
【内容・方法　等】 ビデオ「人体①生命誕生・・・驚異の小宇宙」。生命の神秘とともに生殖器系のしくみを理解する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第14回 【授業テーマ】 総括質問とプレゼンテーション
【内容・方法　等】 すべての授業内容に関する質問について答えるとともに、難解だった部分を詳細に解説する。
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 習熟度試験
【内容・方法　等】 すべての授業範囲について総括試験を実施する。
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
小テストを４０％、臨時テストを４０％および授業態度を２０％で評価する

教材等
教科書…ニューステージ「生物図表」浜島書店
参考書…なし

学生へのメッセージ
社会人としての一般教養の幅を拡げる授業です。次週に小テストを実施するので十分に復習してください。

関連科目
自然科学Ⅱと連動している。

担当者の研究室等
枚方・薬学部6号館3階病理学研究室１

備考
なし

自然科学II
Introduction to Natural Sciences II

未決定（看護学部）　（ミケッテイ　カンゴガクブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
人体の構造や機能から健康を害するしくみについて理解し、健康維持と病気治療への積極的な参加に必要な知識を得ることを目的とする。

授業方法と留意点
講義は、主として配付資料を利用して進める。

科目学習の効果（資格）
人体の構造や機能の知識を習得することで、自然科学および健康に関する教養を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 生命の基本単位

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　111　2014/08/21　14:23:44

【内容・方法　等】 身体組織を構成し、機能する細胞のしくみとはたらきについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第２回 【授業テーマ】 遺伝と生命
【内容・方法　等】 身体が機能するしくみと遺伝との関係について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第３回 【授業テーマ】 刺激と反応
【内容・方法　等】 身体が外界から受けた刺激を伝達し、反応を示すしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第４回 【授業テーマ】 生体の恒常性
【内容・方法　等】 体液の恒常性と生体防御のしくみについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第５回 【授業テーマ】 循環と呼吸の機能
【内容・方法　等】 酸素と栄養を全身に供給する循環と呼吸のしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第６回 【授業テーマ】 排泄・吸収・代謝の機能
【内容・方法　等】 栄養の吸収と老廃物の排泄、ホルモンのしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第７回 【授業テーマ】 体温調節と自律神経の機能
【内容・方法　等】 身体の機能を維持する熱の産生と調節のしくみ、自律神経系のしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第８回 【授業テーマ】 炎症と感染症
【内容・方法　等】 身体への有害な刺激に対する炎症反応と病気、および、微生物に対する身体の反応と感染症について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第９回 【授業テーマ】 細胞や組織の障害と病気
【内容・方法　等】 細胞の障害とその原因、細胞や組織の障害を背景として発症する病気について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第10回 【授業テーマ】 生殖と発生、および、先天性奇形
【内容・方法　等】 精子と卵子の形成から生命の誕生のしくみについて理解し、発生の過程で生じる先天性奇形について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第11回 【授業テーマ】 がん
【内容・方法　等】 がんの発生と分類、がんの進行と転移、がん患者の療養生活について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第12回 【授業テーマ】 生活習慣と健康
【内容・方法　等】 食生活やライフスタイル、生活ストレス、嗜癖、運動習慣などの生活習慣による病気について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第13回 【授業テーマ】 さまざまな医療
【内容・方法　等】 健康の維持増進、病気の治療に寄与する医療のしくみや機能について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第14回 【授業テーマ】 病気になることと病気とのつきあい方
【内容・方法　等】 健康を害してから治療を受ける過程における人の心理と行動について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第15回 【授業テーマ】 死と死にゆくこと
【内容・方法　等】 生物学的な死について学び、人が死にゆくことについて自分の考えを明らかにする。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。

評価方法（基準）
定期試験（80％）、小課題（20％）により評価する。授業への出席や態度も加味して評価する。小課題は授業時間内に提示し、提出してもらいます。

教材等
教科書…授業毎に配付するプリント。
参考書…「文系のための生命科学　第2版」東京大学生命科学教科書編集委員会、羊土社（2,800円＋税）
「これだけはおさえたい生命科学―身近な話題から学ぶ (Primary大学テキスト)」武村政春ら共著、実教出版（2,100円＋税）

学生へのメッセージ
担当者の専門は看護学です。質問は適宜受け付けます。
授業中に他の学生の迷惑になるおしゃべりをしている学生には、退席してもらいます。

関連科目
自然科学Ⅰ，保健論

担当者の研究室等
枚方学舎7号館3階　研究室28

地誌学
Regional Geography

高　崎　章　裕（タカサキ　アキヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業の目的は、日本の農村、河川、環境問題、近代産業、ツーリズム、エスニック問題、米軍基地問題、捕鯨問題、パレスチナ問題と幅広い地域や国を取り上げ、それらの地域の社会的・文化的・政治的状況を深く理解することである。本講義では、地誌学の方法論を習得し、グローバリゼーション化における地域社会の諸問題を学び、単なる地誌の把握に終わることなく、相対的なものの見方や地理学的想像力の涵養が期待される。

授業方法と留意点
授業はパワーポイントで行う。基本的には毎回の授業で資料を配布する。また、必要に応じて映像資料の活用も行なう。

科目学習の効果（資格）
中学社会・高校地理歴史教育職員免許

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義ガイダンス
【内容・方法　等】 講義の目的・方法・進め方
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第２回 【授業テーマ】 地誌学とは何か
【内容・方法　等】 地理学と地誌
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第３回 【授業テーマ】 日本の農村と森林
【内容・方法　等】 農村における耕作放棄地の増加や山間地域における林業の衰退
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第４回 【授業テーマ】 日本の河川とダム
【内容・方法　等】 日本の河川政策の変遷とダム問題
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第５回 【授業テーマ】 水俣病ともやい運動
【内容・方法　等】 水俣病の発生からもやい運動に至る環境都市みなまたが形成されていくまでのプロセス
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第６回 【授業テーマ】 繊維産業の盛衰
【内容・方法　等】 女工哀史と東洋の魔女
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第７回 【授業テーマ】 産業遺産とまちづくり
【内容・方法　等】 近代産業遺産を活用したまちづくりの事例
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第８回 【授業テーマ】 場所を消費する
【内容・方法　等】 ツーリズムと観光のまなざし
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。
第９回 【授業テーマ】 エスニックコミュニティ
【内容・方法　等】 日本各地や世界のエスニックコミュニティの形成
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するの

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　112　2014/08/21　14:23:44

で、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第10回 **【授業テーマ】** 沖縄と基地問題（1）
【内容・方法　等】 冷戦後の沖縄
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第11回 **【授業テーマ】** 沖縄と基地問題（2）
【内容・方法　等】 普天間基地の辺野古移設をめぐる問題
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第12回 **【授業テーマ】** 沖縄と基地問題（3）
【内容・方法　等】 標的の村－高江の事例
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第13回 **【授業テーマ】** 捕鯨問題と日本
【内容・方法　等】 日本の食文化と映画『ザ・コーヴ』
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第14回 **【授業テーマ】** パレスチナ問題とスペシオサイド（空間の扼殺）
【内容・方法　等】 イスラエルの対パレスチナ人政策を中心に
【事前・事後学習課題】 次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第15回 **【授業テーマ】** 講義のまとめ
【内容・方法　等】 講義の総括、および定期試験に関する説明。
【事前・事後学習課題】 全講義の内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
定期試験

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…伊藤喜栄・藤塚吉浩（編）『図説２１世紀日本の地域問題』古今書院
その他、講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
授業は基本的に講義形式で行ないますが、疑問点や不明な点がある場合は積極的に質問をしてください。
ニュースで扱われる現象や身近な出来事を地理学的視点で見た場合にどのようなことがいえるのか、普段から敏感に考えるようにしてください。

関連科目
地理学

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
講義の内容および評価方法に変更が生じるときには、講義中に随時連絡する。

地理学I
Geography I

笠　原　俊　則（カサハラ　トシノリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
『環境』ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な述語の一つである。これは人間生活に影響を及ぼす種々の外的要因の全体を意味する。近年、人間活動にともなってこの環境に著しい変化が生じている。本講義は、環境改変者としての人類が、自然環境をどのように改変してきたかを自然地理学的視点から理解することを目的としている。学生諸君には、我々人類は環境改変者であり、自分自身もその一員であるという自覚を持ってもらえたら、講義の目的の半分は達成されたものといえる。

授業方法と留意点
講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。不定期に作業を行うので、15cmの物差し、12色の色鉛筆を持参して欲しい。

科目学習の効果（資格）
人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** 地理学および自然地理学について
【内容・方法　等】 ・地理学の歴史および自然地理学の分野
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。

第２回 **【授業テーマ】** 地理学と環境
【内容・方法　等】 人類による涵養への働きかけの歴史（過去から現在まで）
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

第３回 **【授業テーマ】** 様々な地形と生活－その１－
【内容・方法　等】 谷底平野・台地・河岸段丘の地形と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

第４回 **【授業テーマ】** 様々な地形と生活－その２－
【内容・方法　等】 扇状地・自然堤防帯・三角州の地形と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

第５回 **【授業テーマ】** 世界の気候－その１－
【内容・方法　等】 熱帯気候・乾燥気候・高山気候
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

第６回 **【授業テーマ】** 世界の気候－その２－
【内容・方法　等】 温帯気候・冷帯気候・寒帯気候
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

第７回 **【授業テーマ】** ハイサーグラフの形からみる世界の気候
【内容・方法　等】 ハイサーグラフの活用方法
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

第８回 **【授業テーマ】** 日本の気候
【内容・方法　等】 日本各地の気候と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

第９回 **【授業テーマ】** 世界の植生と土壌
【内容・方法　等】 世界の気候との関連からみたと植生および土壌
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

第10回 **【授業テーマ】** 水文環境と生活
【内容・方法　等】 水が我々の生活にいかなる影響を与えているか
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

第11回 **【授業テーマ】** 水文環境と水収支
【内容・方法　等】 水資源の算定
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

第12回 **【授業テーマ】** ダムの歴史
【内容・方法　等】 ・世界のダムの歴史
・日本のダムの歴史
・日本における近代近代ダム建設の歩み
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

第13回 **【授業テーマ】** ダム上流における自然環境の変化
【内容・方法　等】 ・ダム堆砂
・ダム上流における河床上昇とその影響
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

第14回 **【授業テーマ】** ダム下流における自然環境の変化
【内容・方法　等】 ・ダム下流における河床の低下
・日本における海岸浸食の状況
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

第15回 **【授業テーマ】** 自然地理学の役割を考える
【内容・方法　等】 ・全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 配布プリントおよび指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を各自で確認しておいて下さい。

評価方法（基準）
定期試験８０％、授業への参加状況２０％とする。なお参加状況を把握するため、時々、チェックシートを配布し、授業内容について記入してもらうことにする。

教材等
教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編，古今書院　（2400円＋税）

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　113　2014/08/21　14:23:45

参考書…「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子，岩波書店（700円＋税）
「風景の中の自然地理」杉谷隆ほか、古今書院（2500円＋税）

学生へのメッセージ
地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。なお、指定テキストは後期の「地理学Ⅱ」でも使用する予定である。

関連科目
「環境関連科目」等

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

地理学II
Geography II

笠　原　俊　則（カサハラ　トシノリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
我々人類は過去から現在まで環境に種々の働きかけを行い、これを変化させてきた。後期の講義では前期の講義内容を受けて、このような人間活動による環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしてもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら３点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。

授業方法と留意点
講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。

科目学習の効果（資格）
人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　都市化の進展と水文環境の変化
【内容・方法　等】　都市化が進展することによって水の環境がどのように変化するか
【事前・事後学習課題】　指定テキストに目を通しておいて下さい。

第２回　**【授業テーマ】**　都市化にともなう流出の変化
【内容・方法　等】　都市化にともなって流出がどのように変化するか
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第３回　**【授業テーマ】**　都市化にともなう水災害の変化
【内容・方法　等】　・都市化にともなう流出変化の実例
・都市の水害と下水道整備
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第４回　**【授業テーマ】**　農業地域における都市化と中小河川の治水
【内容・方法　等】　農業地域の都市化にともない農業水利組織によって行われてきた面的治水はどのように維持されたか
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第５回　**【授業テーマ】**　親水と多自然型川づくり
【内容・方法　等】　・親水について
・多自然型川づくりについて
【事前・事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第６回　**【授業テーマ】**　都市気候について－その１－
【内容・方法　等】　・都市気候とは
・都市気候と緑地
【事前・事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第７回　**【授業テーマ】**　都市気候について－その２－
【内容・方法　等】　都市気候の具体的な例
【事前・事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第８回　**【授業テーマ】**　ため池の多面的機能
【内容・方法　等】　ため池の持つ多面的な機能とその利用
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第９回　**【授業テーマ】**　日本における干拓の歴史
【内容・方法　等】　干拓の歴史と戦後の干拓
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第10回　**【授業テーマ】**　干拓地の自然的特性
【内容・方法　等】　・干拓地の地形と水文環境
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第11回　**【授業テーマ】**　諫早湾干拓と環境変化
【内容・方法　等】　諫早湾干拓にともなってどのような環境問題が発生したか
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第12回　**【授業テーマ】**　すみわけられた都市社会空間
【内容・方法　等】　・エスニックマイノリティー社会
・インナーシティー問題
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第13回　**【授業テーマ】**　ニュータウンの高齢化
【内容・方法　等】　・日本におけるニュータウンの成立
・千里ニュータウンの高齢化
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第14回　**【授業テーマ】**　都市商業の盛衰と多様化
【内容・方法　等】　・都市商業の発展と社会環境の変化
・都市中心部の空洞化と都市商業の変化
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

第15回　**【授業テーマ】**　伝統工業の地域構成
【内容・方法　等】　京の伝統文化と伝統工業
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

評価方法（基準）
定期試験８０％、授業への参加状況２０％とする。なお、参加状況を把握するため、時々チェックシートを配布し、授業内容について記入してもらうことにする。

教材等
教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編，古今書院　（2400円＋税）
参考書…「都市の水文環境」新井正ほか，共立出版（3990円）
「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子，岩波書店（700円＋税）
「川と国土の危機　水害と社会（岩波新書1387）」高橋裕，岩波書店（700円＋税）

学生へのメッセージ
地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

関連科目
「環境関連科目」等

担当者の研究室等
7号館2階　非常勤講師室

教養特別講義I～V「社会と人権」
Human rights and Society

太　田　義　器（オオタ　ヨシキ）
有　馬　善　一（アリマ　ゼンイチ）
林　田　敏　子（ハヤシダ　トシコ）
古　川　行　男（フルカワ　ユキオ）
松　島　裕　一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的】
本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　114　2014/08/21　14:23:45

そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。
　本年度は、太田(政治哲学)、古川(判事経験者)、有馬(倫理学)、林田(西洋史)、松島(法哲学)を専門する教員が、それぞれ3回ずつ授業を行う。
【到達目標】
本授業を履修した学生は、次の項目について一定水準に達することが期待されます。
①　社会と人権にかかわる事柄について政治哲学的観点から説明できる
②　社会と人権にかかわる事柄について裁判事例の観点から説明できる
③　社会と人権にかかわる事柄について倫理学的観点から説明できる
④　社会と人権にかかわる事柄について西洋史的観点から説明できる
⑤　社会と人権にかかわる事柄について法哲学的観点から説明できる
⑥　社会と人権にかかわる事柄について、具体的な自分の生活と行動の場面に即して考えることができる

授業方法と留意点
(有馬担当分）板書・配付資料による講義形式。

科目学習の効果（資格）
人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　「社会と人権について考える」ことを考える
【内容･方法　等】　担当者:太田
シラバス内容の確認(10分)
社会と人権について履修生がどのような考え方をもっているのかの確認(20分)
「社会と人権について考える」ことを考える　ための話題提供(40分)
質疑およびミニッツペーハー(20分)
【事前･事後学習課題】　【事後学習】
Web上のプレ・アンケートをしてもらいます。
結果については、担当教員5名で共有します。

第２回　**【授業テーマ】**　正義とは何か？
【内容･方法　等】　担当者:松島
「人権」という考え方が明確に意識されるようになるのは近代以降ですが、古典古代にもその思想的萌芽が見られます。この回の講義では古代ギリシアにさかのぼって、人間社会における「正しさ（正義)」とは何かについて考えてみます。
【事前･事後学習課題】　【事後学習】
「正義」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。

第３回　**【授業テーマ】**　自由とは何か？
【内容･方法　等】　担当者:松島
日本国憲法にはさまざまな自由権が規定されていますが、そもそも「自由」とは何でしょうか？　J・S・ミルやI・バーリンらの議論を手掛かりにしながら、人権概念の根幹をなす「自由」というものの本質について考えてみます。
【事前･事後学習課題】　【事後学習】
「自由」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。

第４回　**【授業テーマ】**　平等とは何か？
【内容･方法　等】　担当者:松島
「自由」と並び、「平等」は人権概念の根幹をなす重要な概念ですが、そもそも平等とは何なのでしょうか？　J・ロールズやR・ドゥオーキンらの議論を手がかりにして、平等の本質について考えてみたいと思います。
【事前･事後学習課題】　【事後学習】
「平等」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。

第５回　**【授業テーマ】**　人工妊娠中絶の是非をめぐって（１）
【内容･方法　等】　担当者:有馬
・人工妊娠中絶をめぐる「プロ・ライフ」(中絶反対派）と「プロ・チョイス」(中絶擁護派）の論争とその社会的背景について解説をする。
・トムソンの論文について解説をした上で、トムソンの主張について周囲の学生とディスカッションをする。
【事前･事後学習課題】　トムソンの主張についての自分の考えをまとめる。

第６回　**【授業テーマ】**　人工妊娠中絶の是非をめぐって（２）
【内容･方法　等】　担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ。
・パーソン論と人工妊娠中絶問題とのつながりを説明する。
・トゥーリの論文について解説をした上で、トゥーリの主張についてディスカッションをする。
【事前･事後学習課題】　トゥーリの主張について自分の考えをまとめる。

第７回　**【授業テーマ】**　安楽死をめぐって
【内容･方法　等】　担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ
・「死ぬ権利」に対するオランダやベルギーの考え方を紹介する。また、日本における「尊厳死」の問題について解説をする。
・安楽死の是非についてディスカッションをする。
【事前･事後学習課題】　安楽死について自分の考えをまとめる。

第８回　**【授業テーマ】**　正義と政治:対テロ戦争は、本当に正義の戦争なのか
【内容･方法　等】　担当者:太田
対テロ戦争についての履修生の考えの確認(10分)
「正しい戦争」という考え方の説明(30分)
「正しい戦争」という考え方を聞いて、何を考えたか、履修生の考えの確認(10分)
米国が主導している「正しい戦争」の現実についての説明(20分)
質疑およびミニッツペーパー(20分)
【事前･事後学習課題】　【事後学習】
これまでの授業についての確認のwebアンケートに応えてもらいます。

第９回　**【授業テーマ】**　憲法と基本的人権
【内容･方法　等】　担当者:古川
総論、基本的人権と公共の福祉
【事前･事後学習課題】　自分の基本的人権と他人の基本的人権との関係をどのように考えるか
最近のニュースなどで基本的人権が問題となったケースにつき話し合う。

第10回　**【授業テーマ】**　憲法における自由権
【内容･方法　等】　担当者：古川
精神的自由権、経済的自由権、人身の自由についての具体的な憲法の規定
それぞれの自由権の歴史的な流れ。愚弟的な内容
【事前･事後学習課題】　それぞれの自由権について各自はどのように考えるのか。

第11回　**【授業テーマ】**　社会権、参政権、その他
【内容･方法　等】　担当者：古川
社会的、経済的弱者を守るための人権にはどのようなものがあるか。
国民主権と参政権
一般的な幸福追求権
【事前･事後学習課題】　この3回の授業で自分として考えたことをまとめる。

第12回　**【授業テーマ】**　女性と人権
【内容･方法　等】　担当者：林田
・歴史学と「人権」
・人権概念の歴史的生成過程～アメリカ独立宣言を中心に～
・もう一つのフランス革命～オランプ・ドゥ・グージュの「女性の人権宣言」～
【事前･事後学習課題】　【事前学習】
「女性と人権」という言葉から連想するものを書き出してくる。

第13回　**【授業テーマ】**　女性は戦争をどう「戦った」か
【内容･方法　等】　担当者：林田
・犠牲者としての女性
・戦いを鼓舞する女性
・「戦う」女性～募兵運動、兵器製造、従軍～
・女性兵士をめぐって
【事前･事後学習課題】　【事後学習】
「戦争があぶりだすジェンダー問題」についてまとめる。

第14回　**【授業テーマ】**　「ジェンダー・フリー」の罠
【内容･方法　等】　担当者:林田
セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスから女性専用車両にいたるまで、身近にあるジェンダー問題を通して、ジェンダー・フリーへ向けた取り組みが抱える問題について考える（ディスカッションもしくは、小発表形式)。
【事前･事後学習課題】　【事後学習】
ディスカッション（もしくは小発表）の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる。

第15回　**【授業テーマ】**　総括
【内容･方法　等】　担当者:太田
履修生全員に「社会と人権」について考えたことを20秒でまとめて発言してもらいます。
履修人数によりますが、一人ひとりに太田が10秒でコメントします。
【事前･事後学習課題】　【事前学習】
発言した内容を中心としたレポートを提出してもらい、それを太田担当回の評価資料とします。

評価方法（基準）
5名の担当者が課す課題を100点満点で評価し、その平均点で評価します。(5つの課題それぞれの比重は20%)
それぞれの担当者の評価方法については、授業計画で確認くだ

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　115　2014/08/21　14:23:45

さい。

教材等

教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。

参考書…とくになし。

学生へのメッセージ

教室に来て、座って聞いているだけでも、もちろんためになりますが、それだけではなく、自分で考えてもらうための作業をたくさん行います。

関連科目

法学などのさまざまな科目

担当者の研究室等

太田(7号館4階)
古川(11号館10階)
有馬(11号館7階)
林田(7号館4階)
松島(11号館9階)

備考

有馬担当分　参考図書　加藤・飯田編　『バイオエシックスの基礎』、東海大学出版会

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「役立つ金融知力」

Useful Financial Literacy

陸　川　富　盛（リクカワ　ヨシモリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自ら考え判断し行動する「賢い経済主体」となるためには、先ずは市場経済や契約社会の仕組みを実感覚として理解し、様々なリスクや不確実性に果敢に立ち向かっていく必要があります。経済や法律そして金融に関する正しい知識を得てそれらを日常的に活用していくことは、実は単に金銭トラブルの回避に役立つだけでなく、より良い人生や社会の実現に欠かせないのです。

本講義の目標は、人生のさまざまな局面で的確に決断し行動できるよう、金融知識を活用する実戦的な金融インテリジェンスの基本を身に着けることです。

授業方法と留意点

教科書を使用した講義形式を中心に、先ずは経済主体としての視点で、社会の仕組みと様々な課題や対処法を認識します。
更に、それらを統合的に活用する金融インテリジェンスの基礎を学び応用します。

科目学習の効果（資格）

経済生活やビジネスライフに必要な意思決定を適宜適切に行えるよう、金融知識を活用する実戦的な金融インテリジェンスの基本を身に着けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション
【内容・方法　等】　「金融知力の必要性 」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P4～15＞
・私たちのくらしと経済
・戦後の社会発展
・パラダイムシフト
・変革の必要性

第２回　**【授業テーマ】**　金融・経済の基礎知識 ①
【内容・方法　等】　「国際経済と国家財政」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P38～49＞
・国際経済
・国家の財政

第３回　**【授業テーマ】**　金融・経済の基礎知識 ②
【内容・方法　等】　「市場経済と金融の役割」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P16～29＞
・金融の役割
・市場経済のしくみと意義
・金融の役割と銀行

第４回　**【授業テーマ】**　法律の基礎知識
【内容・方法　等】　「契約の基本」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P147～149・152～159＞
・契約社会 Ⅰ
・ローン・クレジット
・契約社会 Ⅱ

第５回　**【授業テーマ】**　リスクと向き合う ①
【内容・方法　等】　「リスクマネジメント」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P74～81・150～152・159～161＞
・リスクマネジメント
・契約社会 Ⅲ

第６回　**【授業テーマ】**　リスクと向き合う ②
【内容・方法　等】　「リタイアメント」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P82～91＞
・年金制度
・老後生活資金

第７回　**【授業テーマ】**　投資の基礎知識
【内容・方法　等】　「投資とは何か」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P92～98＞
・投資とは
・投資意思決定プロセス

第８回　**【授業テーマ】**　経済活動と金融市場
【内容・方法　等】　「景気・株価」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P30～37・50～53＞
景気
景気と株価

第９回　**【授業テーマ】**　金融商品の基礎知識 ①
【内容・方法　等】　「代表的な金融商品（株式等）」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P118～129＞
・株式
・投資信託
・外貨建て商品
・保険商品
・デリバティブ

第10回　**【授業テーマ】**　金融商品の基礎知識 ②
【内容・方法　等】　「代表的な金融商品（債券他）」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P111～118＞
・預貯金
・信託
・債券

第11回　**【授業テーマ】**　金融商品の基礎知識 ③
【内容・方法　等】　「金融市場と金融商品の性格」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P99～111＞
・直接金融と間接金融
・金融商品の性格

第12回　**【授業テーマ】**　投資のリスク管理
【内容・方法　等】　「資産分散と時間分散」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P130～146＞
・分散投資
・時間分散
・長期投資

第13回　**【授業テーマ】**　ライフプランニング ①
【内容・方法　等】　「ライフプランニング表」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P54～63＞
・ライフプランニング

第14回　**【授業テーマ】**　ライフプランニング ②
【内容・方法　等】　「ライフイベントごとの課題」
【事前・事後学習課題】　テキスト＜P64～73＞
・キャッシュフロー表の見直し
・ライフイベントごとの課題

第15回　**【授業テーマ】**　試験（レポート提出）
【内容・方法　等】　課題レポート提出
試験
【事前・事後学習課題】　講義で得た金融インテリジェンスの応用

評価方法（基準）

課題レポートを50％、試験を20％、平常点を30％とし、本科目への取り組み姿勢や理解度等を総合的に評価します。

教材等

教科書…『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』
発行：特定非営利活動法人　金融知力普及協会
(必須。授業では毎回この教科書を使用します。)

参考書…特定のものは指定しません

学生へのメッセージ

・受講内容の復習を行い、身近な経済・時事問題などに興味や疑問を持って考えること。
・最終回までに表計算ソフト「エクセル」（自習。講義では教えません。）で簡易な表を作成できること。
本講義でより高い効果を得るには、受講内容を復習し自分自身で深く考え調査した上で、友人たちと議論してみることが役立ちます。

関連科目

民法、会社法、経済学、国際経済、経営学、経営戦略　など

担当者の研究室等

11号館1階（教務課）

備考

この授業は、ＳＭＢＣ日興証券グループによる「寄附講座」です。

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　116　2014/08/21　14:23:45

教養特別講義I～V「地域連携教育活動I」
Communitiy-Based Education Support ActivitiesI

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）
浦　野　崇　央（ウラノ　タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週１回９０分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年１月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動I」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　事前教育－１（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法　等】　活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第２回　**【授業テーマ】**　事前教育－２
【内容・方法　等】　マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第３回　**【授業テーマ】**　事前教育－３
【内容・方法　等】　「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第４回　**【授業テーマ】**　活動準備
【内容・方法　等】　受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】　年間計画（案）の作成

第５回　**【授業テーマ】**　活動－１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第６回　**【授業テーマ】**　活動－２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第７回　**【授業テーマ】**　活動－３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第８回　**【授業テーマ】**　活動－４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第９回　**【授業テーマ】**　活動－５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第10回　**【授業テーマ】**　活動－６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第11回　**【授業テーマ】**　活動－７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第12回　**【授業テーマ】**　活動－８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成発表準備

第13回　**【授業テーマ】**　活動－９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第14回　**【授業テーマ】**　活動－１０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第15回　**【授業テーマ】**　活動－１１
【内容・方法　等】　活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第16回　**【授業テーマ】**　活動－１２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第17回　**【授業テーマ】**　活動－１３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第18回　**【授業テーマ】**　活動－１４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第19回　**【授業テーマ】**　活動－１５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第20回　**【授業テーマ】**　活動－１６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第21回　**【授業テーマ】**　活動－１７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第22回　**【授業テーマ】**　活動－１８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第23回　**【授業テーマ】**　活動－１９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第24回　**【授業テーマ】**　活動－２０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第25回　**【授業テーマ】**　活動－２１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第26回　**【授業テーマ】**　活動－２２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第27回　**【授業テーマ】**　活動－２３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第28回　**【授業テーマ】**　活動－２４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第29回　**【授業テーマ】**　活動－２５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第30回　**【授業テーマ】**　活動－２６・最終報告会

評価方法（基準）

①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

７号館５階　（浅野研究室）
７号館４階　（浦野研究室）

備考

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　117　2014/08/21　14:23:45

授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義I～V「地域連携教育活動II」
Communitiy-Based Education Support ActivitiesII

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）
浦　野　崇　央（ウラノ　タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週１回９０分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年１月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動I」を履修した学生のみが登録できる。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　事前教育－１（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法　等】　活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第２回　**【授業テーマ】**　事前教育－２
【内容・方法　等】　マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第３回　**【授業テーマ】**　事前教育－３
【内容・方法　等】　「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】　授業内容のまとめ作成

第４回　**【授業テーマ】**　活動準備
【内容・方法　等】　受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】　年間計画（案）の作成

第５回　**【授業テーマ】**　活動－１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第６回　**【授業テーマ】**　活動－２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第７回　**【授業テーマ】**　活動－３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第８回　**【授業テーマ】**　活動－４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第９回　**【授業テーマ】**　活動－５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第10回　**【授業テーマ】**　活動－６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第11回　**【授業テーマ】**　活動－７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第12回　**【授業テーマ】**　活動－８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成発表準備

第13回　**【授業テーマ】**　活動－９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第14回　**【授業テーマ】**　活動－１０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第15回　**【授業テーマ】**　活動－１１
【内容・方法　等】　活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第16回　**【授業テーマ】**　活動－１２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第17回　**【授業テーマ】**　活動－１３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第18回　**【授業テーマ】**　活動－１４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第19回　**【授業テーマ】**　活動－１５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第20回　**【授業テーマ】**　活動－１６
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第21回　**【授業テーマ】**　活動－１７
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第22回　**【授業テーマ】**　活動－１８
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第23回　**【授業テーマ】**　活動－１９
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第24回　**【授業テーマ】**　活動－２０
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第25回　**【授業テーマ】**　活動－２１
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第26回　**【授業テーマ】**　活動－２２
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第27回　**【授業テーマ】**　活動－２３
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第28回　**【授業テーマ】**　活動－２４
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第29回　**【授業テーマ】**　活動－２５
【内容・方法　等】　受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】　活動業務日報・活動時間票の作成

第30回　**【授業テーマ】**　活動－２６・最終報告会

評価方法（基準）

①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することが

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　118　2014/08/21　14:23:46

できる。

担当者の研究室等

７号館５階　（浅野研究室）
７号館４階　（浦野研究室）

備考

授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「青少年育成ファシリテーター養成講座」

Facilitator Training Program

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、サービスラーニングの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立ったという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市内の小学校、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、交野市役所、門真市役所、すさみ町役場、寝屋川青年会議所等の主催・共催事業。

授業方法と留意点

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動をします。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果（資格）

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　事前教育－１（授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法　等】　活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「活動についての心構え」

第２回　**【授業テーマ】**　事前教育－２
【内容・方法　等】　守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「守秘義務について」

第３回　**【授業テーマ】**　事前教育－３
【内容・方法　等】　安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「安全管理スキルについて」

第４回　**【授業テーマ】**　事前教育－４
【内容・方法　等】　救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、ＡＥＤの使用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「救命救護スキルについて」

第５回　**【授業テーマ】**　事前教育－５
【内容・方法　等】　安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「安全対策スキルについて」

第６回　**【授業テーマ】**　事前教育－６
【内容・方法　等】　コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「人とのかかわり方について」

第７回　**【授業テーマ】**　事前教育－７
【内容・方法　等】　コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「報告、連絡、相談について」

第８回　**【授業テーマ】**　事前教育－８
【内容・方法　等】　コミュニケーションスキル③：アイスブレーキング手法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「アイスブレーキング手法について」

第９回　**【授業テーマ】**　事前教育－９
【内容・方法　等】　コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方
【事前・事後学習課題】　講義内容のまとめを作成する「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」

第10回　**【授業テーマ】**　事前教育－１０
【内容・方法　等】　活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法
【事前・事後学習課題】　活動計画（案）を作成する

第11回　**【授業テーマ】**　実践活動－１
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第12回　**【授業テーマ】**　実践活動－２
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第13回　**【授業テーマ】**　実践活動－３
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第14回　**【授業テーマ】**　実践活動－４
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第15回　**【授業テーマ】**　実践活動－５
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第16回　**【授業テーマ】**　実践活動－６
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第17回　**【授業テーマ】**　実践活動－７
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第18回　**【授業テーマ】**　実践活動－８
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第19回　**【授業テーマ】**　実践活動－９
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第20回　**【授業テーマ】**　実践活動－１０
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第21回　**【授業テーマ】**　実践活動－１１
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第22回　**【授業テーマ】**　実践活動－１２
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第23回　**【授業テーマ】**　実践活動－１３
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第24回　**【授業テーマ】**　実践活動－１４
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第25回　**【授業テーマ】**　実践活動－１５
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第26回　**【授業テーマ】**　実践活動－１６
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第27回　**【授業テーマ】**　実践活動－１７
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第28回　**【授業テーマ】**　実践活動－１８
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実⑱
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第29回　**【授業テーマ】**　実践活動－１９
【内容・方法　等】　受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
【事前・事後学習課題】　実習日誌の作成

第30回　**【授業テーマ】**　最終報告（後期分）

評価方法（基準）

①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調書、以上の４点を総合的に判断して評価する。

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　119　2014/08/21　14:23:46

教養科目

教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する
学生へのメッセージ
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。
担当者の研究室等
７号館５階　（浅野研究室）
備考
授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松　田　剛　典（マツダ　タケノリ）
亀　田　峻　宣（カメダ　タカノブ）
西　座　由　紀（ニシザ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦労する学生がとても多いですので、早めに対策をしておきましょう。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。
授業方法と留意点
授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。
科目学習の効果（資格）
就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　テスト
【内容・方法　等】　実力確認テスト
【事前・事後学習課題】　シラバス熟読
第２回　**【授業テーマ】**　数と計算
【内容・方法　等】　四則演算・小数・分数
【事前・事後学習課題】　四則演算を復習しておくこと
第３回　**【授業テーマ】**　方程式
【内容・方法　等】　方程式
【事前・事後学習課題】　方程式を復習しておくこと
第４回　**【授業テーマ】**　速度算
【内容・方法　等】　速度の基礎
【事前・事後学習課題】　文章題による速度算について復習しておくこと
第５回　**【授業テーマ】**　割合
【内容・方法　等】　割合の基礎・濃度算
【事前・事後学習課題】　文章題による割合について復習しておくこと
第６回　**【授業テーマ】**　分数問題
【内容・方法　等】　仕事算・分割払い
【事前・事後学習課題】　文章題による仕事算・分割払いについて復習しておく
第７回　**【授業テーマ】**　金銭問題
【内容・方法　等】　損益算
【事前・事後学習課題】　文章題による損益算について復習しておくこと
第８回　**【授業テーマ】**　場合の数・確率
【内容・方法　等】　場合の数・確率
【事前・事後学習課題】　文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
第９回　**【授業テーマ】**　テスト
【内容・方法　等】　中間テスト
【事前・事後学習課題】　2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
第10回　**【授業テーマ】**　集合・領域
【内容・方法　等】　集合の基礎・領域
【事前・事後学習課題】　集合・領域を復習しておくこと
第11回　**【授業テーマ】**　表の読み取り
【内容・方法　等】　表の読み取り
【事前・事後学習課題】　表の読み取り問題を復習しておくこと
第12回　**【授業テーマ】**　論理
【内容・方法　等】　命題・推論①
【事前・事後学習課題】　命題について復習しておくこと
第13回　**【授業テーマ】**　論理
【内容・方法　等】　推論②
【事前・事後学習課題】　推論について復習しておくこと
第14回　**【授業テーマ】**　総復習
【内容・方法　等】　総復習①
【事前・事後学習課題】　全ての範囲を事前に勉強しておくこと
第15回　**【授業テーマ】**　テスト
【内容・方法　等】　最終テスト
【事前・事後学習課題】　全ての範囲を事前に勉強しておくこと
評価方法（基準）
小テスト40％、テスト（中間・期末）40%、授業態度10％、Smart SPI10%の割合で評価する。
教材等
教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくと参考になります。
（例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所）
学生へのメッセージ
7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。
関連科目
キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ
担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松　田　剛　典（マツダ　タケノリ）
亀　田　峻　宣（カメダ　タカノブ）
西　座　由　紀（ニシザ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。筆記試験で特によく使われるSPI非言語分野の全ての範囲を学習し、実際に出題された際に説き方がすぐに思い出せるように練習します。実践レベルの問題を解きますので、就職活動の準備の一環として受講をお勧めします。
授業方法と留意点
授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。
科目学習の効果（資格）
就職活動に必要な数学力を身につける
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　テスト
【内容・方法　等】　実力確認テスト
【事前・事後学習課題】　シラバス熟読
第２回　**【授業テーマ】**　数と計算
【内容・方法　等】　四則演算・小数・分数
【事前・事後学習課題】　四則演算を復習しておくこと
第３回　**【授業テーマ】**　方程式
【内容・方法　等】　方程式
【事前・事後学習課題】　方程式を復習しておくこと
第４回　**【授業テーマ】**　速度算
【内容・方法　等】　速度の基礎
【事前・事後学習課題】　文章題による速度算について復習しておくこと
第５回　**【授業テーマ】**　割合
【内容・方法　等】　割合の基礎・濃度算
【事前・事後学習課題】　文章題による割合について復習しておくこと
第６回　**【授業テーマ】**　分数問題
【内容・方法　等】　仕事算・分割払い
【事前・事後学習課題】　文章題による仕事算・分割払いについて復習しておく
第７回　**【授業テーマ】**　金銭問題

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　120　2014/08/21　14:23:46

【内容・方法　等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
第８回 【授業テーマ】 場合の数・確率
【内容・方法　等】 場合の数・確率
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
第９回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法　等】 中間テスト
【事前・事後学習課題】 2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
第10回 【授業テーマ】 集合・領域
【内容・方法　等】 集合の基礎・領域
【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと
第11回 【授業テーマ】 表の読み取り
【内容・方法　等】 表の読み取り
【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと
第12回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法　等】 命題・推論①
【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと
第13回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法　等】 推論②
【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと
第14回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法　等】 総復習①
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
第15回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法　等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法（基準）
小テスト40％、テスト（中間・期末）40%、授業態度10％、Smart SPI10%の割合で評価する。

教材等
教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…その他SPIや玉手箱関連の問題集

学生へのメッセージ
7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくと、受けることのできる会社が広がります。その一方、3回生の秋・冬から筆記試験対策を始めたものの、他の活動や行事が忙しく対策が出来ていないこともあります。早めに対策をしておきましょう。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目
コミュニケーション能力開発

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」
Business Manners

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業概要：　マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。
目　的：　社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。
到達目標：　社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点
ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）
社会生活において必要なことが分かり、社会に出たときの理想の自分がイメージできる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か
【内容・方法　等】 授業のオリエンテーション
ビジネスマナーの必要性
ビジネスにおける最低限のルール
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
第２回 【授業テーマ】 第一印象
【内容・方法　等】 第一印象の重要性
第一印象をよくする方法
【事前・事後学習課題】 自分の第一印象を理想に近づけるよう意識してください。
第３回 【授業テーマ】 身だしなみ
【内容・方法　等】 身だしなみと態度について
【事前・事後学習課題】 身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。
第４回 【授業テーマ】 言葉づかい
【内容・方法　等】 敬語の仕組みと使い方
【事前・事後学習課題】 尊敬語と謙譲語の違いについて調べてきてください。
第５回 【授業テーマ】 指示の受け方
【内容・方法　等】 指示の受け方
スケジュール管理の仕方
【事前・事後学習課題】 授業内での課題を仕上げてください。
第６回 【授業テーマ】 電子メールのマナー
【内容・方法　等】 電子メールの書き方
【事前・事後学習課題】 事前に、電子メール、文書、電話、それぞれの特長を考えて来てください。
また、授業内で提示する事後課題をしてください。
第７回 【授業テーマ】 文書のマナー
【内容・方法　等】 文書の書き方
【事前・事後学習課題】 身の回りにある文書を確認してください。
第８回 【授業テーマ】 電話のマナー
【内容・方法　等】 電話のかけ方と受け方
【事前・事後学習課題】 授業内で提示する事後課題をしてください。
第９回 【授業テーマ】 ホウ・レン・ソウ
【内容・方法　等】 報告・連絡・相談の仕方
【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来てください。
第10回 【授業テーマ】 訪問のマナー（前編）
【内容・方法　等】 訪問の仕方
【事前・事後学習課題】 訪問する際に気を付けることを考えてください。
第11回 【授業テーマ】 訪問のマナー（後編）
【内容・方法　等】 訪問客への対応の仕方
【事前・事後学習課題】 先生の研究室や企業への訪問の際に実践してください。
第12回 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー
【内容・方法　等】 会社説明会で何をすればいいのか
【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。
第13回 【授業テーマ】 面接でのマナー
【内容・方法　等】 面接の種類と面接官の狙いについて
面接での基本的な振る舞い方
【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。
第14回 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー
【内容・方法　等】 グループディスカッションの特徴
グループディスカッションの注意点
【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ
【内容・方法　等】 授業の振り返り・まとめ
【事前・事後学習課題】 未提出の課題等がないか確認をして下さい。

評価方法（基準）
平常点30％、提出物20％、レポート50％で総合評価する。

教材等
教科書…レジュメ配布
参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ
マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

関連科目
キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、インターンシップⅠ、Ⅱ、エンプロイメントデザインⅡ

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶ－北河内学－」
Introduction to University and Kitakawachi Region

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
［授業概要］学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内に

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　121　2014/08/21　14:23:46

ある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。［目的］摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。［到達目標］摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

授業方法と留意点

摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

科目学習の効果（資格）

自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」

【内容・方法　等】　本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。

第２回　**【授業テーマ】**　北河内の地歴と文化を学ぶ（１）

【内容・方法　等】　北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。

第３回　**【授業テーマ】**　北河内の地歴と文化を学ぶ（２）

【内容・方法　等】　淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。

第４回　**【授業テーマ】**　北河内の地歴と文化を学ぶ（３）

【内容・方法　等】　都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。

第５回　**【授業テーマ】**　北河内のすがたを知る（１）寝屋川市

【内容・方法　等】　寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。

第６回　**【授業テーマ】**　北河内のすがたを知る（２）枚方市

【内容・方法　等】　枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。

第７回　**【授業テーマ】**　北河内のすがたを知る（３）交野市

【内容・方法　等】　交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。

第８回　**【授業テーマ】**　北河内のすがたを知る（４）門真市

【内容・方法　等】　門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。

第９回　**【授業テーマ】**　北河内で活躍する人びとや団体を知る（１）

【内容・方法　等】　本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第10回　**【授業テーマ】**　北河内で活躍する人びとや団体を知る（２）

【内容・方法　等】　本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第11回　**【授業テーマ】**　北河内で活躍する人びとや団体を知る（３）

【内容・方法　等】　本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第12回　**【授業テーマ】**　北河内で活躍する人びとや団体を知る（４）

【内容・方法　等】　本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第13回　**【授業テーマ】**　北河内で活躍する人びとや団体を知る（５）

【内容・方法　等】　本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第14回　**【授業テーマ】**　北河内で活躍する人びとや団体を知る（６）

【内容・方法　等】　本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第15回　**【授業テーマ】**　北河内の産業を知る

【内容・方法　等】　北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】　事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

評価方法（基準）

毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（７５％）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（２５％）を総合して評価する。

教材等

教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。

参考書…摂南大学の自校史集。
毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

学生へのメッセージ

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。

なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

関連科目

地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

担当者の研究室等

１１号館７階　福田教授室

備考

学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。
学外講師の関係者が聴講することがあります。
また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」

Health Science

藤　林　真　美（フジバヤシ　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　122　2014/08/21　14:23:47

授業概要・目的・到達目標

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。

本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容･方法　等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第２回　【授業テーマ】 健康づくりの三本柱
【内容･方法　等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第３回　【授業テーマ】 身体の生理機能
【内容･方法　等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？
生体の生理について復習する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第４回　【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以
【内容･方法　等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第５回　【授業テーマ】 運動トレーニングで何が変わるか？
【内容･方法　等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第６回　【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？
【内容･方法　等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第７回　【授業テーマ】 基礎栄養学
【内容･方法　等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第８回　【授業テーマ】 食生活と健康
【内容･方法　等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第９回　【授業テーマ】 ダイエット計画
【内容･方法　等】 近年、性別や年齢による身体の見た目や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第10回　【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康
【内容･方法　等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第11回　【授業テーマ】 ストレスマネジメント
【内容･方法　等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。
また他の精神障害についても概説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第12回　【授業テーマ】 睡眠
【内容･方法　等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第13回　【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症
【内容･方法　等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第14回　【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動
【内容･方法　等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。
【事前･事後学習課題】 配布資料

第15回　【授業テーマ】 総括
【内容･方法　等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。
【事前･事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）

期末試験50％、レポート30％、授業態度20％の割合で評価する。

教材等

教科書…特に指定しない
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ

皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館１階　藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと歴史」
Marketing and History

武　居　奈緒子（タケスエ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、マーケティングを歴史的に考察することを目的としています。特にマーケティングの発想を踏まえ、呉服商の経営活動について説明していきます。

授業方法と留意点

講義形式を基本としますが、実態分析にも力を入れます。

科目学習の効果（資格）

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 ガイダンス
【内容･方法　等】 マーケティングについて解説していきます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第２回　【授業テーマ】 製品政策
【内容･方法　等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第３回　【授業テーマ】 価格政策
【内容･方法　等】 価格の設定方法について考えます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第４回　【授業テーマ】 流通チャネル政策
【内容･方法　等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第５回　【授業テーマ】 販売促進政策
【内容･方法　等】 商品のアピールの仕方について考えます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第６回　【授業テーマ】 マーケティングのＳＴＰアプローチ
【内容･方法　等】 市場細分化について考えます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第７回　【授業テーマ】 消費行動
【内容･方法　等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第８回　【授業テーマ】 マーケティングの歴史的研究と三井越後屋
【内容･方法　等】 マーケティングにおける歴史的研究と三井越後屋の商法について説明していきます。
【事前･事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

第９回　【授業テーマ】 呉服商の流通機構
【内容･方法　等】 呉服商の流通機構について、概説していきます。

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　123　2014/08/21　14:23:47

【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第10回 【授業テーマ】 越後屋の仕入機構（１）
【内容・方法　等】 三井越後屋の絹の仕入機構について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第11回 【授業テーマ】 越後屋の仕入機構（２）
【内容・方法　等】 三井越後屋の木綿の仕入機構について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第12回 【授業テーマ】 いとう松坂屋、大丸屋の仕入機構
【内容・方法　等】 いとう松坂屋や大丸屋の仕入機構について、概説していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第13回 【授業テーマ】 呉服商から百貨店へ
【内容・方法　等】 呉服商から百貨店への変遷について概説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第14回 【授業テーマ】 百貨店業態の成立
【内容・方法　等】 百貨店について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 全体のまとめをします。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

評価方法（基準）
期末テストの成績70％、授業内課題30％

教材等
教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ
授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましょう。

関連科目
マーケティング論

担当者の研究室等
武居教授室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」
Theory of Budo

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。
また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やものの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点
講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）
武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 授業内容の説明と武道について
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
第２回 【授業テーマ】 武道とは何か
【内容・方法　等】 武道の意味や言語について概説する
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
第３回 【授業テーマ】 武道と武術について
【内容・方法　等】 武道と武術の違いについて
【事前・事後学習課題】 武芸十八般について調べてくる
第４回 【授業テーマ】 武道（柔道）
【内容・方法　等】 柔道について
【事前・事後学習課題】 柔道について調べ内容をまとめる
第５回 【授業テーマ】 武道（剣道）
【内容・方法　等】 剣道について調べ内容をまとめる
【事前・事後学習課題】 剣道について調べ内容をまとめる
第６回 【授業テーマ】 武道（弓道・相撲）
【内容・方法　等】 弓道・相撲について
【事前・事後学習課題】 弓道・相撲について調べ内容をまとめる
第７回 【授業テーマ】 武道（空手・合気道）
【内容・方法　等】 空手・合気道について
【事前・事後学習課題】 空手・合気道について調べ内容をまとめる
第８回 【授業テーマ】 武士道から見る日本人の道徳心①
【内容・方法　等】 武士道とは何か
【事前・事後学習課題】 著者・著作にいたる背景を調べまとめる
第９回 【授業テーマ】 武士道から見る日本人の道徳心②
【内容・方法　等】 武士道の道徳心について
【事前・事後学習課題】 武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる
第10回 【授業テーマ】 武士道から見る日本人の道徳心③
【内容・方法　等】 武士道の道徳心について
【事前・事後学習課題】 武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる
第11回 【授業テーマ】 武道と修行
【内容・方法　等】 武道における修行について
【事前・事後学習課題】 修行とは何かを調べまとめる
第12回 【授業テーマ】 武道の国際化
【内容・方法　等】 武道の国際化について
【事前・事後学習課題】 武道がどのように世界に普及したか調べまとめる
第13回 【授業テーマ】 武道の身体技法①
【内容・方法　等】 武道特有の身体技法について
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる
第14回 【授業テーマ】 武道の身体技法②
【内容・方法　等】 実際の身体技法を行う（総合体育館）
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる
第15回 【授業テーマ】 武道論総括（テスト）
【内容・方法　等】 １４回まで行った授業の内容に関してテストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

評価方法（基準）
出席率75%以上のものを試験資格者とする。遅刻は2回で１回の欠席と同等とみなす。（遅刻は授業開始から30分以内に入室したことをいう）
武道論総括(15回目)におけるテストを100％の割合で評価を行う。
(ただし、上記の出席率を満たした者のみを評価対象者とする。)

教材等
教科書…特に指定はしない。
参考書…中村民雄　『今、なぜ武道か』　日本武道館　2007
藤堂良明　『柔道の歴史と文化』　不昧堂出版　2007
村田直樹　『柔道の国際化《その歴史と課題》』　日本武道館　2012
『嘉納治五郎』　筑波大学出版会　2011

学生へのメッセージ
質問等がある場合には、横山講師室に来てください。

関連科目
スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
生涯スポーツ実習
健康論
保健論

担当者の研究室等
総合体育館１F横山講師室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based Learningl

本　多　友　常（ホンタ　トモツネ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
和歌山県すさみ町旧古座街道沿に位置する佐本地区集落一帯をコンパクトヴィレッジとして捉え、集落環境を特徴付けている文化的景観要素を収集し、過疎高齢化集落とその周辺域の優れた文化的景観を守りつつ、未来に向けて持続可能な社会的・空間的環境整備の可能性を探索する。

授業方法と留意点
地域資産である景観構成要素の探索とそれに引き続く実測、情報収集、コミュニティ活動参加を通して、住民との交流、話し合いを進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
すさみ町佐本地区を中心とした、集落空間の魅力（地域資産としての景観要素）発見に向けた調査・探索を行う。その後集落内の住民の方々を訪問し、自分たち学生の目から見て不思議なこと、面白いことについて教えていただき、昔の暮らしや今の生活、伝承や史跡などさまざまな事柄を記録する。
また集落生活の課題について、住民との交流ワークショップ、集落コミュニティ活動参加を介して地域資産の持続性について

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　124　2014/08/21　14:23:47

意見交換と考察を行い、文化的景観の持続性にむけた課題発見能力の向上を目指す。

評価方法・評価基準

フィールドノートのまとめ30%
ヒアリング内容のまとめ30%
発表40%

教材等

教科書…なし
参考書…すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌　上巻」昭和53年8月10日
すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌　下巻」昭和53年8月10日
すさみ町役場　地域未来課「広報すさみ」
大己小学校育友会「谷間の光　大己小学校沿革」(1971年)、
佐本小学校百周年事業実行委員会「創立百周年記念誌

学び舎の想い出」昭和54年3月1日
石垣が語る風土と文化－屋敷構えとしての石垣
紀伊続風土記

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

鳥　居　祐　介（トリイ　ユウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

＜寝屋川市と米国ニューポートニューズ市の姉妹都市交流支援プロジェクト＞を企画、運営するPBL授業です。NPO法人寝屋川市国際交流協会(NIEFA)とタイアップして、寝屋川市と姉妹都市提携関係にある米国ニューポートニューズ市との市民レベルの国際交流を支援し、市の国際化と経済振興に貢献することがプロジェクト全体の目標です。2014年度は、NIEFAが運営するイベント「新天地in Neyagawa」におけるニューポートニューズ市の学生マーチングバンド招聘公演を成功させることがプロジェクトの中心となる予定です。
・地域の非営利団体、自治体、企業、そして大学の相互連携について学び、社会人に相応しいコミュニケーション能力を身につけることが全履修者に共通の目標です。また各自の業務を通じて、アメリカ合衆国に関する知識や実践的な英語コミュニケーション能力を高めたり、イベント運営や広告営業の実地経験を積むことも目標にします。

授業方法と留意点

・年度を通じて定期ミーティングを行い、NIEFAスタッフの方々の協力を得ながら活動します。特に忙しくなるのは米国ニューポートニューズ市からの訪問団が来日する10月の前後になります。
・多様な関心分野、得意分野を持った学生の履修を期待しています。たとえば、
(1) 国際交流に関心があり、日本語を話せない外国人を相手に物怖じせず、簡単な英語でコミュニケーションがとれる人、またはとれるように努力する意欲のある人。訪問団の世話や案内をする人が必要です。
(2) アメリカ合衆国の一つの都市について詳しく学ぶことに興味のある人。翻訳に興味のある人。ニューポートニューズ市について学んで日本語で情報発信したり、寝屋川市のことを先方に英語で発信する人が必要です。
(3) イベントの企画運営や広告営業を経験し、社会人として働く力を高めたい人。履修者には「新天地」イベント全体を成功に導くスタッフとしての役割も期待されています。教室を離れて仕事の現場に飛び込む行動力のある人が必要です。
(4) ウェブ制作やプレゼン資料作成、チラシ、ポスター等印刷物のデザインに興味のある人。情報発信のための技能を持った人が来てくれると助かります。
(5) 協調性があるだけでなく、リーダーシップもとれる人。PBLは、学生が主体となって進めるものです。教員は、英語および翻訳の指導や事務処理についてのアドバイスをしますが、NIEFAスタッフから現場の要望を聞いて具体的な活動の中身を考え、実行し、フィードバックを受けて改善していくのは受講生の皆さん自身です。細かいプロジェクトごとにリーダーを決め、連絡を取り合いながらチームで動き、活動内容を定期的に教員に報告してもらいます。
以上、どれか一つでも当てはまる人はぜひ履修を検討してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

4月～5月中に数回のミーティングをNIEFAスタッフを交えて行い、いくつかの優先すべき活動内容を決めてそれぞれリーダーを選出し、活動に入ります。ニューポートニューズ市からバンドを含む訪問団が来日し、イベントが行われるのは10月です。それ以降は活動報告をまとめ、情報発信する作業が中心になります。

評価方法・評価基準

月ごとの活動報告や、活動現場での取り組み姿勢をみて総合的に評価する。

教材等

教科書…プリント教材
参考書…授業中に指示する

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）
岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

映画製作（ー摂南大学と地域連携ー）
タイトル：「空へ」
目的は、20分～30分の短編映画を製作することである。ストーリー（案）を学生諸君で吟味して、それを基に学生が下記の作業を主体的に担う。
脚本、演出、出演、撮影、編集、音楽・作曲・演奏、効果、美術、ロケハンティング等、また、各公的機関、企業との交渉が必要であり、映画製作を通してそのための資質も磨かれる。短編映画ではあるが、かなりの作業量が求められためその覚悟が必要である。

授業方法と留意点

打ち合わせ、確認、交渉、各連絡等、チームワーク、フットワーク、スマートさ、スピードさが求められる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自に与えられた役割分担をすみやかにこなすこと。映画製作は総合芸術であるからひとつひとつの作業を確認しておかねば前には進まないことに留意されたい。

評価方法・評価基準

どれだけ真剣にチームワークよく取り組めたか、努力したかで評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）
久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

調査分析に基づいて、地域産業の発展の可能性や地域住民の需要を科学的に明らかにする。その上で、地域を起点とした事業計画を立案し、その実現に向けて、地域内外の企業・団体や国内外の協力団体との交渉、および、コンテストなどへの参加を行う。そして、得られた経営資源を基に事業を実施し、それによってどのような変化、影響をもたらせたかを分析し、今後の活動について考える。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

「地域！」
これまでのPBLプロジェクトで集めたアンケートデータや自治体などから提供されるデータ、および、このプロジェクトで企画するアンケート調査などを用いて、地域の期待や要望を浮かび上がらせる。そのために、統計解析の理論とソフトウェアの利用技術を習得し、実践的な分析能力を身につける。
「事業！」
地域を起点として、地域ブランドの普及や既存製品、技術の新しい組み合わせ、または、ITの活用などによる学生視点のビジネスモデルと事業計画を策定する。そして、ビジネスプランコンテストへの応募や、公的団体、民間団体などへプレゼンテーションを行い、事業計画のブラッシュアップと経営資源の獲得を目指す。
「変化！」
上記の活動を通じて得られた経営資源の制約下で、事業計画を再編して、事業の実施に着手する。具体的には、地域プロモー

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　125　2014/08/21　14:23:47

ションサイトの構築、ICTによるモールの実験、今後の展開に向けた調査・研究などが考えられる。これらの活動を通して、自分たちの活動が地域や世界にどのようなインパクトを与えられるか、また同時に、自分たちの学びの姿勢や考え方がどのように変化したかについて振り返る。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域！事業！変化！
－地域を起点に事業を起こし、世界と自分に変化をもたらす－
内容：
（1）市場分析のためのデータ解析技術の習得
（2）地域に関するデータの収集・整理
（3）データ分析の実践
（4）企画提案に関する技法の習得
（5）ビジネスモデルの策定
（6）事業計画のプレゼンテーション
（7）事業実施のための資源獲得
（8）実施結果の分析
方法：月2，3回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年2，3回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

履修については、昨年度までのPBLプロジェクトやゼミ活動、課外活動などで地域での活動経験を有する学生を想定しています。卒業研究や調査実習を見据えた参加希望も歓迎します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

石　田　裕　子（イシダ　ユウコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：寝屋川市立池の里市民交流センターでの子どもたちへの環境学習支援に、学生が企画・実施担当として関わることで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となることを目指す。5年目の今回は、天若湖アートプロジェクトに参加し、天然アユ復活をモチーフとした淀川水系の流域連携活動を行う。
目的：池の里市民交流センターの活動に関わり、子どもへの環境学習支援を行う。天若湖アートプロジェクトへの参加を中心に、淀川水系での流域連携を向上させる。
達成目標：地域の子どもたちの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系を中心とした環境保全と河川管理について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。特に、淀川水系での天然アユ復活を題材に学習を進める。プロジェクト全体を通して、世代を超えた人々と交流することでコミュニケーション力を学び、自分たちで企画・実践する力を身につける。

授業方法と留意点

連携内容・方法：池の里市民交流センターでは、環境学習支援の補助から始め、学生たち自身による企画と実践を行う。天若湖アートプロジェクト実行委員会に所属し、淀川水系内の市民団体や行政機関と連携し、活動を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト
内容：
1．寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
2．水辺再生を中心とした環境学習の実施
3．淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
4．天若湖アートプロジェクトにおけるイベントの企画・実践
5．天然アユ復活プロジェクトの学習
6．いい川・いい川づくりワークショップでの発表
方法：授業のうち半分（月1回）は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月と12月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分（月1回）は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。特に、天若湖アートプロジェクトを中心に、淀川水系での流域連携を行う。学外発表の場として、近畿水環境交流会（7月）、天若湖アートプロジェクト（8月）、いい川・いい川づくりワークショップ（9-11月）を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部都市環境工学科生態環境学研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。天若湖アートプロジェクト実行委員会より外部講師を招き、事前学習を行う。また、本学園ＯＢである、大阪理化株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。
事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生および流域連携活動に加わること。(60%)
水辺再生・流域連携の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。(40%)

教材等

教科書…特になし
参考書…特になし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

橋　本　正　治（ハシモト　マサハル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト
概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う（継続テーマ）。本年度はこれまでの活動で得た成果をもとに災害時にも対応できる生活支援装置・設備（移設可能なトイレや厨房設備）の開発を行う。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

学内活動：通年　週１回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する
　現地での活動に向けて装置（ボイラやバーナーなど）や電気機器（ソーラー照明）の製作
現地活動：年5回程度　週末および夏期休業期間など
　基本的にバスで移動のため交通費不要。食費のみ必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：
4月：テーマの情報教共有（昨年度までの成果の説明）と本年度の目的に沿った開発プロジェクトのテーマ設定
5月：現地調査とテーマの修正と具体的な開発設備・機器の決定
　大学にて概念設計、詳細設計、工程設計、必要素材の調達、加工を行う。
　大型装置・設備については現地で加工組み立て
7月：現地で加工、施工、組み立て開始
8月：装置・設備の完成
　試作装置・設備による実験評価
9月：実験結果の考察と改良
　改良した装置について評価実験・考察
11月：現地あるいは大学で再実験
　実験結果の考察と改良
2月3月：最終実地評価と報告

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる
活動状況、活動結果、プレゼンなどで評価する

教材等

教科書…なし
参考書…なし

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　126　2014/08/21　14:23:47

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

一　色　美　博（イツシキ　ヨシヒロ）
小　川　直　樹（オガワ　ナオキ）
丸　山　隆　三（マルヤマ　リュウゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

［授業概要・目的］
ミニ鉄道プロジェクトとして，レール幅3.5，5インチのミニ鉄道を製作し，運転会などの運営を行う．
蒸気機関車，電気機関車や客車の製作に加えて，軌道，鉄橋，駅舎なども製作し，イベント会場や小学校などで運転会を催す．また，運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え，参加者のものづくりへの関心を高める．
［到達目標］
蒸気機関車や鉄道施設などの製作を通して，ものづくりの技術を能動的に習得する．

授業方法と留意点

週１回のミーティングでプロジェクトの企画，運営，製作についての計画や進捗状況の報告を行います．加えて，皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います．
この科目では，能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです．与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り，その計画を確実に実行する姿勢を学んでください．与えられた環境，条件のもとで，工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です．この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください．

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅５インチの蒸気機関車の製作を継続するとともに運行イベントの企画・運営を行う．
１．教員の指導の下に目標と計画を作る．
２．計画に従って，技術指導を受けながら蒸気機関車，鉄道施設を製作する．
３．計画からの遅れには対策を講じる．
４．製作時に利用する金属材料，工作機械，工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする．
５．運行イベントの企画・運営を計画し，実施する．
６．計画，進捗状況，調査結果等をミーティングで報告する．

評価方法・評価基準

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度，プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について，ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する．

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。
②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。

授業方法と留意点

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの３つを同時に行います。

評価方法・評価基準

レポート、参加態度を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に無し。
参考書…特に無し。

備考

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）
山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。
概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品を企画・提案します。
到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

１．連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
２．交野市の住民へのヒアリングとアンケート調査を行います。
３．他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
４．独自の特産品を企画し、イベントなどで試作したものを公開し、市民からの評価を受けます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

１．集団意思決定のための技術の習得
　ＫＪ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。
２．アンケート調査の方法の習得
　経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。
３．農業産品とその加工、販売方法（６次産業化）に関する知識の習得
　夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。
４．地域特産品に関する知識・情報の収集
　先進的な地域の特産品の調査を行います。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。
参考書…入門書として役立つ、新書などを紹介します。

備考

毎週金曜日に定例のミーティングを行いますが、テーマの性質上、それ以外にも土曜日と日曜日の数日を使用して活動します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）
牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学との関係がある自治体、公的団体に直接出向き、自分の感覚を使って地域を感じとる。
地域について見聞きし、調べ、そこで行われている活動を通じて、その地域が抱える課題やチャンスを発見する。そして、その課題解決へのチャレンジやチャンスを活かして地域と自分が共に発展する活動について考える。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

「地域に行く」
摂南大学の卒業生が勤務している自治体や、連携協定を結んで

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　127　2014/08/21　14:23:47

いる自治体・公的団体への見学会を行い、魅力ある地域資源や取り組みなどを体験的に学ぶ。また、複数の地域を訪れることで、地域間の差異や共通部分の存在を実感する。
「地域を知る」
関連団体から講演者を招き、地域社会における課題や解決に向けた取り組みの実態を知る。また、地域で開催されているイベントへの参加や自主的な調査活動を通じて、地域の現状について理解を深める。
「地域と自分について考える」
このプロジェクトで気づいた課題と発見したり創りだしたチャンスを活かして、学生主体の取り組みを提案する。地域の中で学生が貢献できる役割を見つけたり、学生が地域の中で有益な学びが行える場を創りだすことを目指す。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域^3+自分
－「地域」に行き、「地域」を知り、そして、「地域」と「自分」について考える－
内容：
（1）大阪府内、京都府内、滋賀県内などの市町村への訪問
（2）地域ブランドや特産品の収集
（3）自治体の地域活性化担当者による講演
（4）地域のNPOやボランティア団体、起業家などによる講演
（5）地域イベントへの参加（春、夏、秋、冬を通じて行う）
（6）地域イベントの参画（学生主体の企画・運営の提案、新規イベントの創出）
（7）地域と学生との関わりについての分析・考察
（8）今後に向けての企画・提案
方法：月2，3回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年2，3回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）
栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミニュケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

授業方法と留意点

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記３市の会社見学会を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営
内容：
Ⅰ　経営、マネジメント、経営戦力、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
Ⅱ　実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
Ⅲ　小学生に指導する。
１．小学生と友達になろう
２．株式会社って何だろう
３．株式会社をつくろう
４．商売って何だろう。儲けってなんだろう
５．経営計画をたてよう
６．マーケティングをしよう
７．商品企画書の作成しよう
８．銀行にお金を借りよう
９．実際に販売してみよう
１０．帳簿をつけて決算書をつくろう
１１．税金を納めよう
１２．決算書を作成しよう
１３．経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。
講義方法法；子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。
事前事後学習課題；上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。
会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。
小学生が理解できるような説明、会話ができるプレゼン能力を修得すること
日常接することのない保護者の方や商工会議所青年部の会員の方々と協同することにより社交性、協調性を修得することができたかを評価します。

教材等

教科書…特になし
参考書…必要に応じ適宜指定します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

八　木　紀一郎（ヤギ　キイチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

北河内における近郊ツーリズムの開発－交野のみのを関西のふるさとにしよう
　狩り暮し棚機津女に宿借らむ天の川原に我は来にけり　在原業平
　またや見む交野のみのの桜狩り花の雪散る春のあけぼの　藤原俊成
　観光地のイメージの希薄な北河内地域でも、生駒山系の西部山麓に位置する交野市は、緑豊かな森林と古墳時代に遡る史跡をもつ地域である。同市から現在の枚方・香里園みいたる丘陵は、「交野が原」「交野のみ野」とよばれる古来からの禁猟地で、平安時代の大宮人が風情を訪ねる地域であった。この授業では、交野市の行政・NGO・住民と協力し、この地域の観光資源を調査・開発して関西人の近郊ツーリズム（日帰りないし１泊）の対象地として盛り上げる。
学生にとっての到達目標：観光企画の基本を学ぶとともに、現地の人・組織と協力して企画をたて実践する実行力を身につける。

授業方法と留意点

＊交野市の行政・商工団体・観光協会・「おりひめ大学」と連携して、同市周辺の観光資源を調査し、それを活用したツアーの企画、観光宣伝媒体の作成、イベントへの協力にあたる。
＊参加者は、同市の市民学習会である「おりひめ大学」の学生とみなされ、同市の住民・関係者と協働することになる。最小限の礼儀と責任感をもって参加してください。
＊参加者は協働作業用のネットワークに加わるとともに、各自PBL用の専用ファイルで資料と活動成果を保存してください。
＊イベント時に、観光ニーズをさぐるためのアンケートを実施します。
＊週１回は打ち合わせ会をおこないます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

５月連休時　第１回交野合宿（１泊２日）　現地調査、班編成、協力者との調整
６月　企画スケジュールの決定　交野市・北河内・エコツアーの勉強会
７月　枚方市・交野市の七夕祭りに参加・協力
８月　天の川星まつり協力、アンケート実施
９－１１月　秋の近郊ツーリズム企画
　観光絵葉書、ポスター、パンフレット作成
１２月　かたのキャンバスなどのイベントに協力
１－２月　学内最終発表会
　学外コンペ参加
担当者のホームページhttp://www.setsunan.ac.jp/~k-yagi/99_blank005.htmlを参照してください。

評価方法・評価基準

活動への実質的参加を前提にした地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップ、協調性、創意工夫、責任感（６割）、

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　128　2014/08/21　14:23:48

年度末の総括レポート（４割）

教材等

教科書…安藤明之『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析（第２版）』日本評論社、本体2500円＋税　ISBB978-4-535-58623-1

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）
水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

●授業概要：　様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自律的職業人を目指す。

●目　的：　社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。

●到達目標：　役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

①絵本や紙芝居について学ぶ。（外部講師）
②読み聞かせや紙芝居を練習する。
③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
④学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

●テーマ：　紙芝居ボランティアを通した社会貢献

●内　容：　寝屋川市の子供たちが抱える課題を解決するための紙芝居を作成し小学校で上演活動をする。

寝屋川市内の小学校を訪問し、課題の聞き取り調査や紙芝居の読み聞かせ活動を実施する。

●方　法：　（毎週1回ミーティング、および適宜、小学校での読み聞かせ活動）

１．昨年度からの紙芝居の読み聞かせ活動を継続させる。
２．昨年度からの紙芝居を広めるための営業活動をする。
３．新規紙芝居の作製にむけ、調査、企画、作成、営業などを行う。
４．自らの活動振り返りを行い、改善する。
５．仮想企業を立ち上げ、見積書などを外部団体に評価いただくことで、本活動の社会的価値を計る。

他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度合（５０％）、役割遂行度合（３０％）、報告書（２０％）による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次（2010）『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

●活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。

●絵本や紙芝居について（構成、読み聞かせなど）、専門的な知識を身につけることができるため、表現力（プレゼン能力）の向上が期待される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「身近な犯罪から自分、家族、まちを守る」
No Name

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私は、地域における防犯を研究し、自分自身も、研究室の学生とともに、青パト（青色回転灯をつけた自主防犯パトロールカー）で毎日、子どもの見守り活動を行っている。そうした研究者として、普段一番接する学生に、犯罪の実態を知ってもらい、少しの注意と手間で犯罪から身を守れることをわかってほしくて、この講義を開講することとした。加えて、それほど気負わなくても、防犯ボランティアとして社会貢献できる方法があることも紹介したいと考えている。

授業方法と留意点

とにかく実際の事件を取り上げて、加害者の視点、被害者の視野、発生した場所・時間の特徴、警察や行政、学校、ボランティアの動きを具体的に説明する。そして、いま推奨されている防犯対策を紹介する。警察の防犯実務者や、活躍する防犯ボランティア団体の世話役の方をお招きしたインタビュー講義も交えていく。

科目学習の効果（資格）

各自が自分で、家庭で防犯対策をして、犯罪から身を守れるようになってもらうのが第一である。防犯ボランティア参加の動機づけにもなるだろう。職業では、当然、警察官の仕事の視点がわかる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　昨年起きた犯罪はどのような特徴があったのか？

【内容･方法　等】　昨年起きた具体的な犯罪例を取り上げて、どのような人・物が、どういう理由でねらわれているのか探る。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第２回　**【授業テーマ】**　犯罪にはどのような種類があり、どうやって数えるのか？

【内容･方法　等】　刑法上は同じ窃盗でも、ひったくり、自転車盗、車上ねらいなどさまざまな手口がある。１件の窃盗でも、起きた数、警察に届けられた数、検挙された数がある。こうした手口の分け方や数の数え方を説明する。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第３回　**【授業テーマ】**　犯罪はなぜ起こるのか？どうやって減らすのか？

【内容･方法　等】　悪い人がいるから犯罪が起こるのか、すきがある人がいるから犯罪が起こるのか、犯罪が起きやすい場所・時間があるから犯罪が起こるのか、それぞれの理屈を確かめてみる。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第４回　**【授業テーマ】**　大阪の治安はどのくらい悪いのか？どのように防犯対策を進めているのか？

【内容･方法　等】　大阪府は、他の都道府県に比べてどのような犯罪が多いのか、人口の多さを考慮するとどうなのか説明する。「オール大阪」で街頭犯罪ワースト１を返上する取り組みを紹介する。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第５回　**【授業テーマ】**　街頭犯罪－－ひったくり、自転車盗、車上・部品ねらいを中心に

【内容･方法　等】　一番身近な街頭犯罪について、どういう人・物が、どういった状況でねらわれているのか、どういう人が犯罪を行っているのか説明する。ついで、ひったくり防止カバー、シリンダー錠などの防犯対策の効果について紹介する。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第６回　**【授業テーマ】**　住宅への空き巣、忍び込み、居空き

【内容･方法　等】　泥棒は、空き巣に入る家をどのように物色し、どうやって侵入し、何を盗んでいくのか解説する。最近の防犯住宅、防犯マンションの取り組みを紹介する。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第７回　**【授業テーマ】**　性犯罪－－街頭での強制わいせつ、痴漢、公然わいせつ

【内容･方法　等】　大阪府は性犯罪が深刻な自治体である。犯罪者は、どんな人・場所をねらって性犯罪に及ぶのか説明する。女性の学生が今日からすべき防犯対策を紹介する。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第８回　**【授業テーマ】**　子どもをねらった犯罪

【内容･方法　等】　子どもに対する犯罪について、過去に大きな社会問題になった殺傷事件から、日常的に起きているわいせつ、声かけ、つきまといまで、実態を具体的に説明する。そして、子どもの安全を守るために各地で行われている取り組みを紹介する。

【事前･事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第９回　**【授業テーマ】**　ストーカー、DV（配偶者からの暴力）

【内容･方法　等】　ストーカーやDVは、個人間の問題に関わるので、対応の判断が難しい。しかし、大きな事件につながれば、対応の遅さ、まずさが批判されやすい。過去の事

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　129　2014/08/21　14:23:48

件の経緯を紹介して、深刻な問題への展開を防ぐために現在行われている対策を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第10回 【授業テーマ】 詐欺－－高齢者をねらった振り込め、オレオレ、リフォーム詐欺など
【内容・方法 等】 昨年、急激に増え、手口が次々と変わる高齢者をねらった詐欺を取り上げる。背景にどのような組織があるのか、どうして防犯が難しいのか、実例に即して説明する。若い私たちにできる協力も紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第11回 【授業テーマ】 サイバー犯罪－－子どもや学生が巻き込まれるネット犯罪
【内容・方法 等】 子どもが巻き込まれる出会い系サイトやネットゲームでのなりすまし、大学生も被害を受けている偽サイトでのショッピング詐欺、ネットバンクでのID、パスワード盗難など、身近なサイバー犯罪を取り上げる。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第12回 【授業テーマ】 違法ドラッグの実態と対策
【内容・方法 等】 違法ドラッグについて、その危険性、販売の実態、取締の方法を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第13回 【授業テーマ】 防犯カメラの普及と効果
【内容・方法 等】 急速に普及した防犯カメラについて、普及の背景と経緯、技術の進歩、個人情報・プライバシーとの関係、防犯効果の考え方を説明する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第14回 【授業テーマ】 防犯ボランティアの活動
【内容・方法 等】 近年の犯罪対策の最大の特徴は、民間のボランティア団体の活性化である。地域での子ども見守り隊、青パト活動、学生防犯ボランティアなど、最近の各地、各世代の防犯ボランティアの活動を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第15回 【授業テーマ】 警察官の仕事の実際
【内容・方法 等】 犯罪が起きれば捜査し検挙する。犯罪が起きないように市民や企業に防犯をうながす。それを職業とする警察官の仕事の実際を紹介する。
【事前・事後学習課題】 配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

評価方法（基準）
定期試験60％、講義毎回の確認ペーパー30％、受講態度（投げかける質問に対する発言など）10％で総合的に評価する。

教材等
教科書…指定しない。
参考書…講義で紹介する。

学生へのメッセージ
勉強以前に、自分、家族、まちを身近な犯罪から守るために、ぜひこの講義を受講してほしいと願っている。そして、できるところからでよいので、講義で知った防犯対策をしてもらいたい。警察官志望者には、近年、警察でも人気の仕事になりつつある防犯の実務がわかるという意味で、興味を持ってもらえると思う。

関連科目
法学部「刑事政策」「経済刑法」「少年法」

担当者の研究室等
11号館9階 中沼研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「英語での数学活用例」
No Name

戸 村 芳（トムラ カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
自然科学も社会科学も言語で記述して推論します。数学も人工言語です。数学言語表記は英語と日本語の両方の特徴を備えています。このことを知り、数学嫌いからの脱出を目的とします。テキストと講義担当者の発信内容の概略を理解できることを到達目標とします。

授業方法と留意点
非native speaker of Englishの担当者の英語会話と日本語で授業します。英語会話部分については、その内容を活字にして配布または投影します。担当者と受講舎のやりとりとして、毎回提出物（非テスト）を書いてもらい次週には朱筆でひとりひとりに応答します。この返却物も保管しておいて定期試験で持参参照してください。

科目学習の効果（資格）
文理両方の多くの資格の活用で効果があると信じます。資格を伴わない、これからの（国際的）社会活動で、大学以前の数学、英語学力も効果大であると実感していただけると存じます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 言語（英語、日本語）と数学表示
(2+3)×4 と 2↑(=) 3＋(タシテ) 4×(カケル)など
【内容・方法 等】 テキストp1 - p9 *l* 4
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 1 つめから 11 こめまでの問題を考えておいてください。

第２回 【授業テーマ】 数学はつじつまあわせ（指数計算の例、exp(i x）の定義など）
【内容・方法 等】 テキストp9 *l* 5 - p16 *l* 3、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 12 こめから p123 5 こめまでの問題を考えておいてください

第３回 【授業テーマ】 中途半端なネイピア定数eを知れば数学はこわくない
逆関数 1/x から e など
【内容・方法 等】 テキストp16 *l* 4 - p25、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 こめから p124 4 つめまでの問題を考えておいてください

第４回 【授業テーマ】 統計、確率、感性（心理学）、電子雲グラフ、など
【内容・方法 等】 テキストp26 - p36 *l* 17
【事前・事後学習課題】 Appendix p124 5 つめから 126 1 つめまでの問題を考えておいてください

第５回 【授業テーマ】 測れない母集団平均の信頼区間推定
【内容・方法 等】 テキストp36 *l* 18 - p40 *l* 9
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 2 つめから 7 つめの問題を考えておいてください

第６回 【授業テーマ】 分子、DNA、モールス信号のシステムなどのエントロピという概念
【内容・方法 等】 テキストp40 *l* 10-p54
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 8 つめから p129 3 つめまでの問題を考えておいてください

第７回 【授業テーマ】 つるかめ算の延長でpH計算など
【内容・方法 等】 テキストp55-p64 *l* 10
【事前・事後学習課題】 Appendix p129 4 つめから p130 8 つめまでの問題を考えておいてください

第８回 【授業テーマ】 1700年ごろの日本人の業績 行列計算で直接測定できないKaの推定、混成軌道の作成で分子の説明
【内容・方法 等】 テキストp64 *l* 11 - p69
【事前・事後学習課題】 Appendix p130 9 つめから p131 7 つめまでの問題を考えておいてください

第９回 【授業テーマ】 人体の数学モデル pH分配説、あてはめ式の有意確率など
【内容・方法 等】 テキストp70 - p84
【事前・事後学習課題】 Appendix p131 8 つめから p133 5 つめまでの問題を考えておいてください

第10回 【授業テーマ】 みえない化学反応説明の数学モデル
【内容・方法 等】 テキストp85 - p91 *l* 15
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 つめから p134 7 つめまでの問題を考えておいてください

第11回 【授業テーマ】 測定値のグラフでの表示（直線表示）、物質収支式で人体モデル
【内容・方法 等】 テキストp91 *l* 16 - p98
【事前・事後学習課題】 Appendix p134 8 つめから p135 9 つめまでの問題を考えておいてください

第12回 【授業テーマ】 現象（反応速度）記述の連立微分方程式の近似解法（解の先取り）
【内容・方法 等】 テキストp99 - p106
【事前・事後学習課題】 Appendix p135 10 こめから p136 6 つめまでの問題を考えておいてください

第13回 【授業テーマ】 量子化学Shoredinger微分方程式のラプラス変換による簡単な代数的な解法の紹介
【内容・方法 等】 テキストp107 - p112 *l* 1
【事前・事後学習課題】 Appendix p136 7 つめから p137 8 つめまでの問題を考えておいてください

第14回 【授業テーマ】 人体モデル（コンパートメントモデル）での薬物投与に対する血中薬物濃度変化の推定のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介
【内容・方法 等】 テキストp112 *l* 2 - p116 *l* 1
【事前・事後学習課題】 Appendix p137 9 つめから p138 4 つめまでの問題を考えておいてください

第15回 【授業テーマ】 拡散のノイエスホイットニー式、点滴投与での血中濃度変化のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd 130 2014/08/21 14:23:48

(a+b)2=a2+2ab+b2 knows best の種明かし
【内容・方法　等】 テキストp116 / 2 - p121
【事前・事後学習課題】 Appendix p138 5つめ以降の問題を考えておいてください

評価方法（基準）
毎回の提出物の評価点合計を70点満点、テキストと返却された自分の提出物参照許可の定期試験を30点満点として、合計60点以上を合格とします。定期試験不受験は成績評価できません。

教材等
教科書…Mathematical models & Pharmaceutical Sciences
(a+b)2=a2+2ab+b2 knows best,
Kaoru Tomura,PhD. in Eng.(Osaka Univ.),戸村芳単著
Industrial Publishing & Consulting Inc.,
ISBN 978-4-901493-62-8 (-13-0), ￥1200
参考書…指定はありませんが、配布プリントも活用してください。

学生へのメッセージ
これまでに修得なさった、数学、英語については、生理的に嫌悪なさる方もいるかと思います。これらを違った観点から眺めて数学、英語は大切であることを感じてください。私は英語の専門ではありません。お詫びします。しかし、義務教育の英語だけで多くの方々が英語で発言しています。私もできます。みなさんもできます。良い意味で（大学らしい）楽しい授業にしたく存じます。よろしくお願いします。

関連科目
あつかう分野は「物理化学」関連が多いですが、感性心理学などの関連も紹介します。

担当者の研究室等
枚方学舎　1号館2階　phone:072-866-3152
tomura@pharm.setsunan.ac.jp

備考
授業方法と留意点に記載した提出・返却物による、やりとり、を大切にします。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「芸術の鑑賞」
No Name

太　田　義　器（オオタ　ヨシキ）
樋　口　友　紀（ヒグチ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要】
音楽、絵画、彫刻、陶芸、詩歌。芸術と一言で言っても、その範囲は広い。「芸術とは何か」と大上段から議論をするのではなく、芸術に親しむことを目指して、さまざまな芸術ジャンルの鑑賞の仕方をそれぞれのジャンルのプロに教えてもらい、また実際に、クラシック音楽、絵画、陶芸、日本の伝統芸能、演劇、書道などの演奏会や展覧会などに行って鑑賞してもらう。
これまで芸術鑑賞に関心はあったけれども経験はないという人でも、芸術鑑賞を始められるように、芸術の楽しみ方について、初級レベルから説明します。たとえば、演奏会のチケットはどこで手に入れればいいのか、行くときの服装はどうしたらいいのか、など経験のない人が感じる不安や疑問など、あるいはそれぞれの芸術ジャンルの楽しみ方のポイントは何なのか、などについてわかりやすくお話いただきます。
教室での授業は８回、鑑賞は3回。
【目的】
芸術の鑑賞を通じた人間性の陶冶
【到達目標】
芸術を鑑賞できるようになる
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点
授業の曜日時限は決まっていますが、どの日に何が取り上げられるかは、未定です。詳細については、前期中に発表します。
鑑賞に行く際にかかる費用については、履修生の自己負担になります。(無料の音楽会等についての情報提供をする予定です。)

科目学習の効果（資格）
芸術を鑑賞し、人間性の涵養につながる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 この授業の進め方、スケジュール、評価方法についての説明
【事前・事後学習課題】 【事後学習】「これまでの芸術鑑賞経験」をまとめて提出してもらいます。
第２回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(1)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第３回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(2)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第４回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(3)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第５回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(4)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第６回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(5)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第７回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(6)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第８回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(7)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第９回　【授業テーマ】 芸術鑑賞体験①
【内容・方法　等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第10回　【授業テーマ】 芸術鑑賞体験①
【内容・方法　等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第11回　【授業テーマ】 芸術鑑賞体験②
【内容・方法　等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポ

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　131　2014/08/21　14:23:48

ートを３回分提出してください
第12回　【授業テーマ】　芸術鑑賞体験②
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第13回　【授業テーマ】　芸術鑑賞体験③
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第14回　【授業テーマ】　芸術鑑賞体験③
【内容・方法　等】　2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】　2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第15回　【授業テーマ】　総括
【内容・方法　等】　この授業を通して学んだことについて情報交換をします。
【事前・事後学習課題】　【事前学習】「芸術鑑賞を体験して」というテーマで、授業全体の振り返りを報告してまらいますので、その準備をしてきてください。

評価方法（基準）
鑑賞には3回行ってもらいます。
レポート(100%)で評価します。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
2014年度から始まる新しい授業です。
ぜひ楽しみに来てください。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
太田(7号館4階)
樋口(11号館7階)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「チームビルディング」
No Name

水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
成熟社会においては個人の力を集合させてプロジェクトを作り上げる「チームビルディングの思考や技術」を学ぶことが重要です。
本科目はチームビルディングの理論を学び、様々なアクティビティを通してチームに貢献する方法を考えられるようになるための授業です。
２回生以降に摂南大学PBLプロジェクトを履修する際にも役立ちます。

授業方法と留意点
講義は受講生によるアクティビティ・プレゼンテーション・シミュレーションソフトを活用したワークなどを織り交ぜて進めます。

科目学習の効果（資格）
チームで物事を進める際の基礎知識が身につきます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　・講義の進め方
・なぜチームが必要なのかを知る
・チームビルディングとは何か　を理解する
【事前・事後学習課題】　本科目のシラバスを精読してください
第２回　【授業テーマ】　チームビルディングとは何か
【内容・方法　等】　・第一回チーム分けとアクティビティ
・チームビルディングの理論を学ぶ
・チームビルディングのための技術を知る
【事前・事後学習課題】　チームにどのように貢献できるかを考えてください
第３回　【授業テーマ】　チームビルディング体験
【内容・方法　等】　・ペーパータワーワーク（予定）
・チームの10カ条
などに取り組み、チームビルディングを体験する
【事前・事後学習課題】　チームでの取り組みを振り返ってください
第４回　【授業テーマ】　シミュレーションソフトを活用したディスカッション①
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください
第５回　【授業テーマ】　シミュレーションソフトを活用したディスカッション②
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください
第６回　【授業テーマ】　シミュレーションソフトを活用したディスカッション③
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください
第７回　【授業テーマ】　ビジネス記事を活用したディスカッション①
【内容・方法　等】　記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】　チームでのディスカッションを振り返ってください
第８回　【授業テーマ】　ビジネス記事を活用したディスカッション②
【内容・方法　等】　記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】　チームでのディスカッションを振り返ってください
第９回　【授業テーマ】　チームでプロジェクトを企画する
【内容・方法　等】　・第二回チーム分けとアクティビティ
・チームでプロジェクトを企画する
【事前・事後学習課題】　チームにどのように貢献できるかを考えてください
第10回　【授業テーマ】　摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法　等】　本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】　興味を持ったプロジェクトについて調べてください
第11回　【授業テーマ】　摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法　等】　本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】　興味を持ったプロジェクトについて調べてください
第12回　【授業テーマ】　工程管理を意識したチームビルディング
【内容・方法　等】　ビジネスゲームを題材にリソースとコスト、工程管理を意識したワークに取り組む
【事前・事後学習課題】　工程管理に関して調べて下さい
第13回　【授業テーマ】　プロジェクトのプレゼンテーション
【内容・方法　等】　第9回目の課題の報告プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　プレゼンテーションの際に留意することを考えて下さい
第14回　【授業テーマ】　チーム力を上げる
【内容・方法　等】　・メンバーの力でチーム全体の力を上げる方法を考える
【事前・事後学習課題】　講義後日常生活で活かせそうな箇所を実践してください
第15回　【授業テーマ】　講義のまとめと振り返り
【内容・方法　等】　講義のおさらいと振り返りを行う
【事前・事後学習課題】　提出物などの出し忘れがないか確認してください

評価方法（基準）
チームでの提出物３０％、ワーク後の振り返りシート２０％、授業態度２０％、最終レポート３０％　で総合的に評価します。

教材等
教科書…教科書・・講義の中で必要に応じてレジュメを配布します。
参考書…参考書・・授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
ワークやアクティビティが中心となる授業です。主体性を持って講義に挑んでください。

関連科目
キャリアデザインⅠ・Ⅱ、摂南大学PBLプロジェクト

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　132　　2014/08/21　14:23:48

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ基礎」
No Name

伊　藤　　譲（イトウ　ユズル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

これから就職活動を始める学生（大学３年）を対象に、社会人として必要とされる規律やマナー、製造業など企業で働く上での基礎知識、課題を発見して解決する方法などを習得することを目的とする。履修後には、社会人・企業人としての役割および責任、仕事への情熱、創造的態度、自己の能力向上意欲が喚起されることを期待する。到達目標は、次のとおりである。

(1)社会人としてのマナーを身につける。(2)仕事の基本に関する知識を修得する。(3)環境問題/意識についての体験をする。(4)企業における品質問題を体験する。(5)原価管理の基礎知識を修得する。(6)PDCAサイクルによる課題解決を体験する。

授業方法と留意点

パナソニック（株）より講師を招き、社会人・企業人としての基礎である知識と心がまえについて、パナソニック（株）の新入社員研修の方式に従い、講義に加えて具体事例演習を通じて体得させる。摂大教員も教室に常駐し、授業の補助と成績評価を分担する。授業は挨拶に始まり、挨拶で終わるので遅刻は厳禁です。なお、1～5回目までは120分授業（途中5分程度の休憩）とする。

科目学習の効果（資格）

社会が学生に何を求めているのかを体得し、職業意識を高め、自発的に能力向上を行えるようになる。就職後ただちに、社会人・企業人としての適切な行動が取れるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　企業・製造業・仕事の基本とは①
4月10日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　企業・製造業・仕事に基本①の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）

第２回　**【授業テーマ】**　企業・製造業・仕事の基本とは②
4月17日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　-----

第３回　**【授業テーマ】**　企業・製造業・仕事の基本とは③
4月24日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　企業・製造業・仕事の基本②～③の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）

第４回　**【授業テーマ】**　企業・製造業・仕事の基本とは④
5月8日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　-----

第５回　**【授業テーマ】**　企業・製造業・仕事の基本とは⑤
5月15日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　企業・製造業・仕事の基本④～⑤の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）

第６回　**【授業テーマ】**　品質教育①
5月22日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】　-----

第７回　**【授業テーマ】**　品質教育②
5月29日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】　-----

第８回　**【授業テーマ】**　品質教育③
6月5日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】　品質教育①～③の講義終了後、レポートを提出する（書式は別途）

第９回　**【授業テーマ】**　原価・コスト教育①
6月12日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　-----

第10回　**【授業テーマ】**　原価・コスト教育②
6月19日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　-----

第11回　**【授業テーマ】**　原価・コスト教育③
6月26日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　原価・コスト教育①～③の講義終了後、レポートを提出する（書式は別途）

第12回　**【授業テーマ】**　課題解決教育①
7月3日（木）
【内容・方法　等】　PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】　-----

第13回　**【授業テーマ】**　課題解決教育②
7月10日（木）
【内容・方法　等】　PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】　-----

第14回　**【授業テーマ】**　課題解決教育③
7月17日（木）
【内容・方法　等】　PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】　課題解決教育①～③の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
また、14回目までの講義を総括して、最終回での質問事項を考えておくこと

第15回　**【授業テーマ】**　全体討議・質疑応答
7月24日（木）
【内容・方法　等】　14回の講義を総括しての討議・質疑応答を実施する
【事前・事後学習課題】　最終報告として受講レポートを提出する。

評価方法（基準）

課題レポート（6回）と受講レポート50％、授業姿勢（積極性）20％、全体討議（プレゼンテーション）10％、期末試験20％とした総合評価を行う。

教材等

教科書…資料を配布する.
参考書…なし

学生へのメッセージ

日本を代表する企業であるパナソニック（株）と共同で実施する研修を受講して、社会と企業は学生に何を求めているのかを知り、職業人としての基礎知識を身につけ、社会人になるための意識転換をしましょう。この科目を履修する学生は、この科目と「ものづくりインターンシップ実践」または「ものづくり海外インターンシップ」を同時に受講することが前提です。

関連科目

『ものづくりインターンシップ実践』または『ものづくり海外インターンシップ』を履修する学生は、必ずこの科目を履修すること。

担当者の研究室等

1号館3階　伊藤教授室

備考

【担当者】
摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師
パナソニック講師：佐藤哲志、山下秀行、福田祥一、高岡清

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ実践」
No Name

伊　藤　　譲（イトウ　ユズル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

『ものづくりインターンシップ基礎』の実践コースである。『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容をパナソニックのモノづくり現場で具体実習・実践することにより、更なる理解を進め、習得して自らの強みとすることを目的とする。
到達目標は以下のとおりである。
(1)生産革新・改善を体験する。(2)製造業の成り立ち・仕組みを体験する。(3)チームワーク・ＱＣＤ問題を体験する。(4)パナソ

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　133　2014/08/21　14:23:49

ニックの工場を見学する。(5)研修成果を発表する。

授業方法と留意点

『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容を体験するため、パナソニック（株）人材開発カンパニーで、計７日間の宿泊実習を行なう。また、事前指導として『ものづくりインターンシップ基礎』のまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかるためにプレゼンテーションによる報告を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

直前指導
・1回目　インターンシップⅠのまとめ，インターンシップⅡの準備　7/10（木）　6限目
・2回目　インターンシップⅠ全体討議プレゼンテーション指導　7/17（木）　6限目
宿泊実習（パナソニック人材開発カンパニー）
・1～3日目
【授業テーマ】
生産革新演習
【内容・方法等】
1個流しセル生産のロールプレイを通じて、生産革新実践・方法等を体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習課題】
演習終了後、レポートを提出のこと
・4～5日目
【授業テーマ】
モノづくりシュミレーション演習
【内容・方法等】
四角錐製作を通じて、製造業の成り立ち・しくみを習得（設計～生産）し、目標達成のためのチームワーク・QCD問題意識の重要性を体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習】
演習終了後、レポートを提出のこと
・6日目
【授業テーマ】
工場見学
【内容・方法等】
パナソニックのモノづくりを工場見学を通じて体得する。(2工場)
【事前・事後学習課題】
見学終了後、レポートを提出のこと
・7日目
【授業テーマ】
研修成果報告会
【内容・方法等】
研修成果報告会の実施。（グループ単位）
【事前・事後学習課題】
グループ単位でプレゼン資料をまとめておくこと
実習中指導
・8月30日（土）　2～5限目　プレゼンテーション指導
実習後指導
・1回目　体験報告書の添削指導
・2回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・3回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・4回目　研修成果報告会（2回目）
・5回目　全体報告会　学生代表者の発表・質疑
・6回目　全体報告会　企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準

実習成果40%、研修成果報告会（2回）20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行なう。

教材等

教科書…資料を配布する
参考書…なし

備考

【注意事項】
期間：2014年 8月25日（月）～8月29日（金）、9月1日（月）～9月2日（火）　パナソニック（株）人材開発カンパニーでの宿泊研修です。8月30日（土）には摂大でプレゼン資料を作成します。その間、パナソニック㈱社員の、朝礼、ランニングにも参加します。ジーンズ、スリッパは禁止。ランニングできる履物、着替えが必要です。学生負担金・食費等は別途徴収します。
【担当者】
摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師
パナソニック講師：佐藤哲志、高岡清、熊本義久

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくり海外インターンシップ」
No Name

川　野　常　夫（カワノ　ツネオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本の企業がますますグローバル化する中で、国際的視野と素養を身に付けた人材はますます必要となる。本科目は，「ものづくり海外インターンシップ」と呼び，世界展開をしている「ものづくり企業」の海外工場において具体的に実習体験をすることにより、グローバル企業の現状を理解するとともに、自らの視野と経験を広げることを目的とする。研修先はとりわけ東南アジアの企業とする。到達目標は以下のとおりである。(1)グローバル企業の現状が理解できる。(2)海外でのものづくりの工程を体験できる。(3)チームワークを体験できる。(4)国際的視野を広げられる。(5)研修成果が発表できる。
学科の学習・教育目標との対応：[A1]

授業方法と留意点

東南アジアは，フィリピンとタイを予定している。受講者はいずれかを選択し，どちらかの企業において、本学の夏休み中に往復を含めて計１０日間（予定）の現場実習を行う。事前指導として実施企業や語学（英語）について予習を行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。「ものづくり企業」での研修であるが、専門知識は特に必要としないので、参加学生は専門分野も，文系・理系も問わない。また男女も問わない。実習先の受け入れ人数に制限があるため，希望者多数の場合は理工学部インターンシップ委員会において選定する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

直前指導
・1回目　海外実習の準備　7/10（木）　6限目
・2回目　全体報告会に向けたプレゼンテーション指導　7/17（木）　6限目
・3回目　海外で実習するための事前指導
海外実習
・1～2日目
【授業テーマ】移動、オリエンテーション
【内容・方法等】研修先企業の概要、オリエンテーション、語学（英語）研修など
【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと
・3日目
【授業テーマ】企画・設計部門実習
【内容・方法等】ものづくり工程の川上である企画・設計部門において、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習】実習終了後、レポートを提出のこと
・4～5日目
【授業テーマ】工場見学会、交流会
【内容・方法等】関連工場の見学、現地従業員との交流会に参加する。交流会では、英語によるコミュニケーションを行う。
【事前・事後学習課題】交流会終了後、レポートを提出のこと
・6～8日目
【授業テーマ】加工部門、組立部門、検査・品質管理・出荷部門実習
【内容・方法等】ものづくり工程の中流、下流である製造、組立、検査部門について、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと
・9～10日目
【授業テーマ】研修成果報告会、移動
【内容・方法等】グループ単位でPPTでプレゼン
【事前・事後学習課題】実習終了後、最終レポートを提出のこと
実習後指導
・1回目　最終レポート（体験報告書）の添削指導
・2回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・3回目　全体報告会　学生代表者の発表・質疑
・4回目　全体報告会　企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準

実習成果40%、研修成果報告会（2回）20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%として評価を行う。

教材等

教科書…必要時にプリント等を配布する。
参考書…内永ゆか子：日本企業が欲しがる「グロ-バル人材」の必須スキル，朝日新聞出版 (2011/9/7)

備考

【注意事項】研修予定期間：2014年 8月中旬（研修先の都合により変更する場合があります。）
航空運賃、宿泊費、保険代などは自己負担となります。
【共同担当者】　白鳥講師

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　134　2014/08/21　14:23:49

日本事情ＦＩ
Japanese Culture & Society FI

門　脇　　薫（カドワキ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点
各映画について次のように進めます。（１）映画についての情報・その他背景知識について説明　（２）映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題　（３）テーマについてディスカッション　（４）「書く」練習

科目学習の効果（資格）
自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化理解、異文化に対する見方・態度

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルのチェック
【内容･方法　等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前･事後学習課題】 テキスト予習
第２回　【授業テーマ】 映画１：テーマ「教育」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第３回　【授業テーマ】 映画１：テーマ「教育」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第４回　【授業テーマ】 映画１：テーマ「教育」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第５回　【授業テーマ】 映画２：テーマ「家族」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第６回　【授業テーマ】 映画２：テーマ「家族」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第７回　【授業テーマ】 映画２：テーマ「家族」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第８回　【授業テーマ】 テーマ１・２に関する発表
【内容･方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テーマについてレポート
第９回　【授業テーマ】 映画３：テーマ「言葉」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第10回　【授業テーマ】 映画３：テーマ「言葉」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第11回　【授業テーマ】 映画３：テーマ「言葉」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第12回　【授業テーマ】 映画４：「民族」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第13回　【授業テーマ】 映画４：「民族」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第14回　【授業テーマ】 映画４：「民族」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第15回　【授業テーマ】 テーマ３・４に関する発表
【内容･方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法（基準）
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等
教科書…"『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社（2,415円）"
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目
日本語読解、日本語文法、日本語表現作文

担当者の研究室等
７号館４階(門脇研究室)

日本事情ＦII
Japanese Culture & Society FII

門　脇　　薫（カドワキ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点
各映画について次のように進めます。（１）映画についての情報・その他背景知識について説明　（２）映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題　（３）テーマについてディスカッション　（４）「書く」練習

科目学習の効果（資格）
自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解、異文化に対する見方・態度

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルチェック
【内容･方法　等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前･事後学習課題】 テキスト予習
第２回　【授業テーマ】 映画１：テーマ「職業」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第３回　【授業テーマ】 映画１：テーマ「職業」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第４回　【授業テーマ】 映画１：テーマ「職業」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第５回　【授業テーマ】 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第６回　【授業テーマ】 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第７回　【授業テーマ】 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第８回　【授業テーマ】 テーマ１・２に関する発表
【内容･方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テーマについてレポート
第９回　【授業テーマ】 映画３：テーマ「大学生活」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第10回　【授業テーマ】 映画３：「大学生活」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第11回　【授業テーマ】 映画３：テーマ「大学生活」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第12回　【授業テーマ】 映画４：「ジェンダー」
【内容･方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第13回　【授業テーマ】 映画４：「ジェンダー」
【内容･方法　等】 内容理解、タスク
【事前･事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第14回　【授業テーマ】 映画４：「ジェンダー」
【内容･方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第15回　【授業テーマ】 テーマ３・４に関する発表
【内容･方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前･事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法（基準）
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　135　　2014/08/21　14:23:49

教養科目

教材等
教科書…"『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社（2,415円）"
参考書…授業時に指示します。
学生へのメッセージ
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！
関連科目
日本語読解、日本語文法、日本語表現作文
担当者の研究室等
７号館４階(門脇研究室)

日本語読解ＦＩ
Japanese Reading FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに理解して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。
また、調査の結果を分析する練習、グラフを用いた調査結果を口頭で説明できるようになることを目指します。
授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中に復習の小テストも行います。
科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力、データの分析能力
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容･方法　等】　授業の進め方の説明
【事前･事後学習課題】　シラバスをよく読んで理解する
第２回　**【授業テーマ】**　現代の若者のマナー１
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第３回　**【授業テーマ】**　現代の若者のマナー２
【内容･方法　等】　単語テスト、タスク、書く
【事前･事後学習課題】　復習
第４回　**【授業テーマ】**　言語と文化１
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第５回　**【授業テーマ】**　言語と文化２
【内容･方法　等】　単語テスト、タスク、書く
【事前･事後学習課題】　復習
第６回　**【授業テーマ】**　割り勘文化１
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第７回　**【授業テーマ】**　割り勘文化２
【内容･方法　等】　単語テスト、タスク、書く
【事前･事後学習課題】　復習
第８回　**【授業テーマ】**　ゲーム依存症（上）１
【内容･方法　等】　書く、口頭練習する
【事前･事後学習課題】　復習
第９回　**【授業テーマ】**　ゲーム依存症（上）２
【内容･方法　等】　書く、口頭発表
【事前･事後学習課題】　復習
第10回　**【授業テーマ】**　ゲーム依存症（下）１
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第11回　**【授業テーマ】**　ゲーム依存症（下）２
【内容･方法　等】　単語テスト、タスク、書く
【事前･事後学習課題】　復習
第12回　**【授業テーマ】**　調査結果の説明と分析１
【内容･方法　等】　調査結果の説明とその分析を説明する
【事前･事後学習課題】　復習
第13回　**【授業テーマ】**　調査結果の説明と分析２
【内容･方法　等】　調査結果の説明とその分析を説明する
【事前･事後学習課題】　復習
第14回　**【授業テーマ】**　総復習
【内容･方法　等】　今学期に読んだ内容と関連する新聞記事を読む
【事前･事後学習課題】　復習
第15回　**【授業テーマ】**　確認テスト
【内容･方法　等】　確認テスト
【事前･事後学習課題】　復習
評価方法（基準）
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。
学生へのメッセージ
さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。
関連科目
日本語文法Ｉ
担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語読解ＦII
Japanese Reading FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、専門書を読むために必要な表現を学習し、抽象的な文章を読むための練習をします。
授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員 による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。
科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容･方法　等】　授業の進め方の説明
【事前･事後学習課題】　シラバスをよく読んで理解する
第２回　**【授業テーマ】**　ストレス
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第３回　**【授業テーマ】**　発達の要因
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第４回　**【授業テーマ】**　実数の定義
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第５回　**【授業テーマ】**　文章の構成方法
【内容･方法　等】　文章の構成方法の違いを理解し、構成に沿って文を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第６回　**【授業テーマ】**　理性と衝動
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第７回　**【授業テーマ】**　意味論
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第８回　**【授業テーマ】**　態度とは何か
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第９回　**【授業テーマ】**　情報化社会
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第10回　**【授業テーマ】**　大衆社会の経済レベルからの分析
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第11回　**【授業テーマ】**　社会化
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第12回　**【授業テーマ】**　現代社会の特質
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第13回　**【授業テーマ】**　職場の精神衛生
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第14回　**【授業テーマ】**　国際収支
【内容･方法　等】　読解，内容理解
【事前･事後学習課題】　復習
第15回　**【授業テーマ】**　確認テスト
【内容･方法　等】　確認テスト
【事前･事後学習課題】　復習
評価方法（基準）
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　136　2014/08/21　14:23:49

学生へのメッセージ
さまざまな専門分野の文章を少しずつ読み、専門書の読み方を勉強しましょう。
関連科目
日本語文法Ⅱ
担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語文法ＦⅠ
Japanese Grammar FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。また、必要に応じて日本語能力試験の文法対策も行います。
授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。
科目学習の効果（資格）
高度な日本語運用能力
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容･方法　等】　授業の進め方の説明
【事前･事後学習課題】　シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】　現代の若者のマナー１
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第３回　【授業テーマ】　現代の若者のマナー２
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第４回　【授業テーマ】　言語と文化１
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第５回　【授業テーマ】　言語と文化２
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第６回　【授業テーマ】　割り勘文化１
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第７回　【授業テーマ】　割り勘文化２
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第８回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（上）１
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第９回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（上）２
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第10回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（下）１
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第11回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（下）２
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第12回　【授業テーマ】　調査結果の説明と分析
【内容･方法　等】　調査結果の説明と分析に必要な文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第13回　【授業テーマ】　新聞記事の文法１
【内容･方法　等】　今学期読んだ内容に関連する新聞記事の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第14回　【授業テーマ】　新聞記事の文法２
【内容･方法　等】　今学期読んだ内容に関連する新聞記事の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第15回　【授業テーマ】　確認テスト
【内容･方法　等】　確認テスト
【事前･事後学習課題】　--------
評価方法（基準）
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。
学生へのメッセージ
場面やタスクに合わせて、適切な文法項目が確実に使えるように練習しましょう。
関連科目
日本語読解Ⅰ
担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語文法ＦⅡ
Japanese Grammar FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、専門書を読む際に必要になる文法や表現を勉強し、専門書を読むための文法を学習します。
授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。
科目学習の効果（資格）
高度な日本語運用能力
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容･方法　等】　授業の進め方の説明
【事前･事後学習課題】　シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】　ストレス
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第３回　【授業テーマ】　発達の要因
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第４回　【授業テーマ】　実数の定義
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第５回　【授業テーマ】　文章構成方法
【内容･方法　等】　文章を構成する上で必要な言い回しや文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第６回　【授業テーマ】　理性と衝動
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第７回　【授業テーマ】　意味論
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第８回　【授業テーマ】　態度とは何か
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第９回　【授業テーマ】　情報化社会
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第10回　【授業テーマ】　大衆社会の経済レベルからの分析
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第11回　【授業テーマ】　社会化
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第12回　【授業テーマ】　現代社会の特質
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第13回　【授業テーマ】　職場の精神衛生
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第14回　【授業テーマ】　国際収支
【内容･方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第15回　【授業テーマ】　確認テスト
【内容･方法　等】　確認テスト
【事前･事後学習課題】　--------
評価方法（基準）
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。
教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。
学生へのメッセージ
専門書が読めるようになるために、必要な文法を勉強しましょう。
関連科目
日本語読解Ⅱ
担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　137　2014/08/21　14:23:50

日本語表現作文ＦＩ
Japanese Reading and Writing FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、他者のかいたレポートを用いて、各部分（序論、本論、結論等）の説明と実践を行います。

科目学習の効果（資格）
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容･方法　等】　授業についての説明
【事前･事後学習課題】　――――――
第２回　【授業テーマ】　基礎編１　レポートとは
【内容･方法　等】　レポートと作文の違いを理解する
【事前･事後学習課題】　復習
第３回　【授業テーマ】　基礎編２　レポートの構成
【内容･方法　等】　レポートの構成を理解する
【事前･事後学習課題】　復習
第４回　【授業テーマ】　基礎編３　よく使われる文の形
【内容･方法　等】　レポート、論文で使われる文の形について学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第５回　【授業テーマ】　基礎編４　序論の書き方１
【内容･方法　等】　序論に書く内容、序論でよく使われる語と表現を学び序論を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第６回　【授業テーマ】　基礎編５　序論の書き方２
【内容･方法　等】　序論を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第７回　【授業テーマ】　基礎編６　結論の書き方１
【内容･方法　等】　結論に書く内容と結論でよく使われる語と表現を学び、結論を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第８回　【授業テーマ】　基本編７　結論の書き方２
【内容･方法　等】　結論を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第９回　【授業テーマ】　基本編８　データの説明１
【内容･方法　等】　データの概要を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第10回　【授業テーマ】　基本編９　データの説明２
【内容･方法　等】　データの効果的な見せ方、レポート内への取り込み方を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第11回　【授業テーマ】　基本編１０　データの説明３
【内容･方法　等】　データの説明に必要な表現を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第12回　【授業テーマ】　基本編１１　データの説明４
【内容･方法　等】　結果の説明を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第13回　【授業テーマ】　基本編１２　考察１
【内容･方法　等】　考察に関する表現を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第14回　【授業テーマ】　基本編１３　考察２
【内容･方法　等】　考察を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第15回　【授業テーマ】　総復習
【内容･方法　等】　確認テスト
【事前･事後学習課題】　確認テスト

評価方法（基準）
課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…毎回プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ
レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう。

関連科目
他の日本語関連の科目

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現作文ＦII
Japanese Reading and Writing FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、実際にテーマを決め、書き進めていきます。

科目学習の効果（資格）
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容･方法　等】　授業についての説明
【事前･事後学習課題】　――――――
第２回　【授業テーマ】　前期の復習１
【内容･方法　等】　序論、データ結果、結論を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第３回　【授業テーマ】　前期の復習２
【内容･方法　等】　データの考察を書く
【事前･事後学習課題】　復習
第４回　【授業テーマ】　レポート作成１　構成
【内容･方法　等】　テーマを決める、構成や必要な手順を考える
【事前･事後学習課題】　復習
第５回　【授業テーマ】　レポート作成２　参考文献
【内容･方法　等】　参考文献を集める、文献目録の書き方
【事前･事後学習課題】　復習
第６回　【授業テーマ】　レポート作成３　引用１
【内容･方法　等】　話を要約する
【事前･事後学習課題】　復習
第７回　【授業テーマ】　レポート作成４　引用２
【内容･方法　等】　引用に必要な表現を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第８回　【授業テーマ】　レポート作成５　引用３
【内容･方法　等】　対比・統合して説明する
【事前･事後学習課題】　復習
第９回　【授業テーマ】　レポート作成６　アンケート
【内容･方法　等】　アンケートを作成する
【事前･事後学習課題】　復習
第10回　【授業テーマ】　レポート作成７　調査概要
【内容･方法　等】　調査概要の書き方を学び、書く
【事前･事後学習課題】　復習
第11回　【授業テーマ】　レポート作成８　データの集計と説明１
【内容･方法　等】　データを集計し、データの見せ方を考え、効果的に説明する
【事前･事後学習課題】　復習
第12回　【授業テーマ】　レポート作成９　考察１
【内容･方法　等】　話の展開の技術を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第13回　【授業テーマ】　レポート作成１０　考察２
【内容･方法　等】　考察を補強する技術を学ぶ
【事前･事後学習課題】　復習
第14回　【授業テーマ】　レポート作成１１　結論
【内容･方法　等】　話をまとめる
【事前･事後学習課題】　復習
第15回　【授業テーマ】　総復習
【内容･方法　等】　今学期学んだことのまとめ
【事前･事後学習課題】　復習

評価方法（基準）
課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。
授業内で書き進めたレポートを最終的に提出してもらい、評価の対象とします。

教材等
教科書…プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ
レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！

関連科目
他の日本語関連の科目

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　138　2014/08/21　14:23:50

日本語上級読解ＦI
Advanced Japanese Reading FI

古　川　由理子（フルカワ　ユリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の３点を目標にします。
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
②まとまった内容の文章の大意を把握する
③できるだけ速く①と②をできるようにする
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確にていねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。
1．キーワード・キーセンテンスを探す
2．接続詞に注意する
3．テキストの流れに注意する
4．予測して読む
5．テキストをまとめる

科目学習の効果（資格）

・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
・その成果を専門の文章の読解に応用する。
（・JPT　N1を持っていないものは取得を目指す。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】　復習
第２回　【授業テーマ】　指示語に注意する
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第３回　【授業テーマ】　キーワードに注意する
【内容・方法　等】　穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第４回　【授業テーマ】　文章の内容を予測する
【内容・方法　等】　並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第５回　【授業テーマ】　キーセンテンスを探す（1）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第６回　【授業テーマ】　キーセンテンスを探す（2）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第７回　【授業テーマ】　要約をする
【内容・方法　等】　全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第８回　【授業テーマ】　説明文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第９回　【授業テーマ】　説明文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第10回　【授業テーマ】　論説文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第11回　【授業テーマ】　論説文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第12回　【授業テーマ】　随筆を読む
【内容・方法　等】　2～3の随筆を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第13回　【授業テーマ】　小説を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第14回　【授業テーマ】　小説を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第15回　【授業テーマ】　期末テスト
【内容・方法　等】　授業中に指示する
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

評価方法（基準）

定期試験を実施（試験の形式については授業中に説明する）
出席・授業態度　＋　期末テスト　＝　100％
50％　50％

教材等

教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。
出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目

日本語表現作文

担当者の研究室等

外国語学部非常勤講師室（7号館2階）

備考

受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級読解ＦII
Advanced Japanese Reading FII

古　川　由理子（フルカワ　ユリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の３点を目標にします。
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
②まとまった内容の文章の大意を把握する
③できるだけ速く①と②をできるようにする
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確にていねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。
1．キーワード・キーセンテンスを探す
2．接続詞に注意する
3．テキストの流れに注意する
4．予測して読む
5．テキストをまとめる

科目学習の効果（資格）

・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
・その成果を専門の文章の読解に応用する。
（・JPT　N1を持っていないものは取得を目指す。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】　復習
第２回　【授業テーマ】　指示語に注意する
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第３回　【授業テーマ】　キーワードに注意する
【内容・方法　等】　穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第４回　【授業テーマ】　文章の内容を予測する
【内容・方法　等】　並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第５回　【授業テーマ】　キーセンテンスを探す（1）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第６回　【授業テーマ】　キーセンテンスを探す（2）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第７回　【授業テーマ】　要約をする
【内容・方法　等】　全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第８回　【授業テーマ】　説明文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第９回　【授業テーマ】　説明文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第10回　【授業テーマ】　論説文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第11回　【授業テーマ】　論説文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第12回　【授業テーマ】　随筆を読む
【内容・方法　等】　2～3の随筆を読み、問題を解く

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　139　2014/08/21　14:23:50

【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第13回 【授業テーマ】 小説を読む（1）
【内容・方法 等】 2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第14回 【授業テーマ】 小説を読む（2）
【内容・方法 等】 2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
第15回 【授業テーマ】 期末テスト
【内容・方法 等】 授業中に指示する
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する

評価方法（基準）
定期試験を実施（試験の形式については授業中に説明する）
出席・授業態度 ＋ 期末テスト ＝ 100%
50% 50%

教材等
教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。
出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目
日本語表現作文

担当者の研究室等
外国語学部非常勤講師室（7号館2階）

備考
受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級作文ＦI
Advanced Japanese Writing FI

赤 城 永里子（アカギ エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
相手との関係や文を書く目的を考慮し、媒体に応じて適切な文が書けるようになる。

授業方法と留意点
授業は、説明と実践が中心である。

科目学習の効果（資格）
媒体、内容、読み手との関係を考慮した、適切な文章が書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の説明、相手や媒体による書き方の違いを学習する
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 Eメールの基本１
【内容・方法 等】 Eメールの流れを学習する
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 Eメールの基本２
【内容・方法 等】 Eメールの流れを学習する
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 Eメール１
【内容・方法 等】 近況を知らせるメール
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 Eメール２
【内容・方法 等】 ゼミ会のお誘いメール１
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 Eメール３
【内容・方法 等】 ゼミ会のお誘いメール２
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 Eメール４
【内容・方法 等】 アポイントをとるメール
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 Eメール５
【内容・方法 等】 リマインドメール
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 Eメール６
【内容・方法 等】 問い合わせメール
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 Eメール７
【内容・方法 等】 依頼のメール
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 Eメール８
【内容・方法 等】 クレームのメール
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 手紙１
【内容・方法 等】 お礼の手紙を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 手紙２
【内容・方法 等】 近況を知らせる
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 掲示物
【内容・方法 等】 外国語学習者募集の貼り紙を作る
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
媒体、相手や内容に応じて、効果的に相手に伝える書き方を勉強しましょう。

関連科目
日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

備考
授業の実践で宿題として教員にメールを送ってもらいます。宿題は適宜指示します。

日本語上級作文ＦII
Advanced Japanese Writing FII

赤 城 永里子（アカギ エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
ビジネス場面でどのようなメールを交換しているのかを説明しながら、状況・目的に応じて適切なビジネスメールが書けるようになる。

授業方法と留意点
授業は、講義と実践が中心である。

科目学習の効果（資格）
ビジネスメールが目的に応じて適切に書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ビジネス場面で使われるライティングを学ぶ
【内容・方法 等】 メールと文書の違いを理解する
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 履歴書１
【内容・方法 等】 就職活動のためのエントリーシートを書く
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 履歴書２
【内容・方法 等】 自己アピールを書く
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 ビジネスメール１
【内容・方法 等】 あいさつのメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 ビジネスメール２
【内容・方法 等】 通知のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 ビジネスメール３
【内容・方法 等】 報告のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 ビジネスメール４
【内容・方法 等】 案内のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 ビジネスメール５
【内容・方法 等】 依頼のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 ビジネスメール６
【内容・方法 等】 アポイントをとるメール（社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 ビジネスメール７
【内容・方法 等】 問い合わせのメール（社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 ビジネスメール８
【内容・方法 等】 確認のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 ビジネスメール９
【内容・方法 等】 お詫びのメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 ビジネスメール１０
【内容・方法 等】 メールに返答する
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 ビジネス文書

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd 140 2014/08/21 14:23:50

【内容・方法　等】 送付書、案内状
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
就職後、日系の会社あるいは日本国内の会社で働く際に必要なビジネスメールの書き方を一緒に勉強して、就職後に戸惑わないように練習しましょう。

関連科目
日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

日本語上級会話ＦＩ
Advanced Japanese Speaking FI

高　井　美　穂（タカイ　ミホ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
複雑で抽象的な話題について会話や発表、議論ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点
幅広い話題に関する短い記事を読み、語彙の増強を図る。また、記事の内容を口頭で要約する練習や、記事の内容に関連したロールプレイ、ディスカッションを行う。適宜単語テストも実施する。

科目学習の効果（資格）
２年次以降の勉学や就職後に役立つ口頭表現能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 記事について話す①
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第２回 【授業テーマ】 記事について話す②
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 記事について話す③
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 記事について話す④
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 記事について話す⑤
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 記事について話す⑥
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 記事について話す⑦
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 記事について話す⑧
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 記事について話す⑨
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 記事について話す⑩
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 記事について話す⑪
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 記事について話す⑫
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 記事について話す⑬
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 記事について話す⑭
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ
２年生だけでなく、３年生以降の学生の受講も歓迎します。話す力をさらに伸ばしたい留学生はぜひ受講してください。

関連科目
日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等
国際交流センター（３号館４階）

日本語上級会話ＦII
Advanced Japanese Speaking FII

高　井　美　穂（タカイ　ミホ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
複雑で抽象的な話題について会話や発表、議論ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点
幅広い話題に関する短い記事を読み、語彙の増強を図る。また、記事の内容を口頭で要約する練習や、記事の内容に関連したロールプレイ、ディスカッションを行う。適宜単語テストも実施する。

科目学習の効果（資格）
２年次以降の勉学や就職後に役立つ口頭表現能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 記事について話す①
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第２回 【授業テーマ】 記事について話す②
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 記事について話す③
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 記事について話す④
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 記事について話す⑤
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 記事について話す⑥
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 記事について話す⑦
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 記事について話す⑧
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 記事について話す⑨
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 記事について話す⑩
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 記事について話す⑪
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 記事について話す⑫
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 記事について話す⑬
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 記事について話す⑭
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd　141　2014/08/21　14:23:50

教材等

教科書…適宜プリントを配布する。

参考書…特になし

学生へのメッセージ

２年生だけでなく、３年生以降の学生の受講も歓迎します。話す力をさらに伸ばしたい留学生はぜひ受講してください。

関連科目

日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等

国際交流センター（３号館４階）

083-142_130_経営情報学部-1330_経営学科-04_教養科目.indd 142 2014/08/21 14:23:50

職業指導I
Vocational Guidance I

水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。
講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。
尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

商業科における職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容･方法　等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理
【事前･事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読

第２回　【授業テーマ】 職業指導の基礎理論
【内容･方法　等】 職業指導における基本的な考え方、手法
【事前･事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読

第３回　【授業テーマ】 職業指導の歴史①
【内容･方法　等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る
【事前･事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読

第４回　【授業テーマ】 日本の産業構造の変化
【内容･方法　等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る
【事前･事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読

第５回　【授業テーマ】 職業指導の歴史②
【内容･方法　等】 日本の戦後の教育改革について
【事前･事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読

第６回　【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導
【内容･方法　等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり
【事前･事後学習課題】 日本型雇用の見通しについて考える

第７回　【授業テーマ】 新規高卒就職システム
【内容･方法　等】 新規高卒労働市場の変容と現状
【事前･事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読

第８回　【授業テーマ】 高等学校における職業指導
【内容･方法　等】 各種学校における職業指導の在り方について
【事前･事後学習課題】 職業指導の事例を調査

第９回　【授業テーマ】 「労働すること」を考える
【内容･方法　等】 仕事をすることの意義を考える
【事前･事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようにする

第10回　【授業テーマ】 職業指導の領域
【内容･方法　等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える
【事前･事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読

第11回　【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①
【内容･方法　等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前･事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読

第12回　【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②
【内容･方法　等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前･事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読

第13回　【授業テーマ】 授業内容立案
【内容･方法　等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する
【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備をする

第14回　【授業テーマ】 模擬授業
【内容･方法　等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施
【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備をする

第15回　【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容･方法　等】 講義の振り返り、最終レポートの提出
【事前･事後学習課題】 レポート提出の準備

評価方法（基準）

講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。
また、前期最終時にレポートを実施します。

教材等

教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。
参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）
ほか、授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

関連科目

教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。
また「特別活動論」にも近接します。

担当者の研究室等

7号館3階（キャリア教育推進室）

職業指導II
Vocational Guidance II

水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化とそれが職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。
講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。
尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

商業科における職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容･方法　等】 授業概要の説明
【事前･事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読

第２回　【授業テーマ】 商業教育と職業指導
【内容･方法　等】 商業高校における職業指導の事例を知る
【事前･事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読

第３回　【授業テーマ】 工業教育と職業指導
【内容･方法　等】 工業高校における職業指導の事例を知る
【事前･事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読

第４回　【授業テーマ】 人権教育としての職業指導
【内容･方法　等】 職業指導の国際基準
【事前･事後学習課題】 提示する資料を熟読

第５回　【授業テーマ】 フリータートニートについて
【内容･方法　等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニート対策を考える
【事前･事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備

第６回　【授業テーマ】 職業適性とは何か？
【内容･方法　等】 職業適性について知る
【事前･事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える

第７回　【授業テーマ】 高校生の就業力について
【内容･方法　等】 新規高卒者に求められる基本的な能力
【事前･事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える

第８回　【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①
【内容･方法　等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前･事後学習課題】 配布資料を精読

第９回　【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②
【内容･方法　等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前･事後学習課題】 配布資料を精読

第10回　【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①
【内容･方法　等】 高校生の就業力育成のためのプランを考える
【事前･事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　145　　2014/08/21　14:24:03

すること
第11回　【授業テーマ】　就業力向上企画を立案②
【内容・方法　等】　講義10で考えたプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　発表の準備
第12回　【授業テーマ】　未来の働き方を考える
【内容・方法　等】　日本の課題、それにより想像される未来においての働き方を考える
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読
第13回　【授業テーマ】　キャリアカウンセリング理論①
【内容・方法　等】　自己概念・環境との相互作用・学習理論からのアプローチ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読
第14回　【授業テーマ】　キャリアカウンセリング理論②
【内容・方法　等】　カウンセリングマインドについて
【事前・事後学習課題】　配布資料を熟読
第15回　【授業テーマ】　講義の振り返り
【内容・方法　等】　提出物の確認、授業内容に関する質疑応答
【事前・事後学習課題】　自らの労働観について考える

評価方法（基準）
レポートを実施します。その他、授業への積極的参加、その他課題の提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。

教材等
教科書…講義内で都度レジュメを配布致します。
参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』学文社（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）
ほか、授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

関連科目
教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。「特別活動論」にも近接します。

担当者の研究室等
7号館3階（キャリア教育推進室）

教師論
Teacher Education

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

授業方法と留意点
講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教職の意義等に関する科目
各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）・進路選択に資する各種の機会の提供等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
教職への道
【内容・方法　等】　科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり
教職課程の履修動機
教師になることの意味
【事前・事後学習課題】　「未来ポートフォリオのリマインダ設定」
本科目のシラバスの熟読
第２回　【授業テーマ】　教職の成立とその意義
【内容・方法　等】　公教育の成立
教職の誕生
戦前の教員養成
【事前・事後学習課題】　テキスト第１章
第３回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（１）
【内容・方法　等】　教員への道
戦後教員養成の原則と制度
教員免許制度の確立
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章
第４回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（２）
【内容・方法　等】　教員免許制度の新たな展開
教員採用の動向と採用試験
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章・第１２章
第５回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（３）
【内容・方法　等】　教員の研修の意義
教員の研修の種類と体系
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章
第６回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（４）
【内容・方法　等】　法定研修
教員の自己研修
【事前・事後学習課題】　教員研修体系に関する配布資料
テキスト第１１章
第７回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（１）
【内容・方法　等】　戦前・戦後の教師像
憧れの教師
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章・終章
第８回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（２）
【内容・方法　等】　「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「不良教師」に関する配布資料
第９回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（３）
【内容・方法　等】　「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「熱血教師」に関する配布資料
第10回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（４）
【内容・方法　等】　「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「人間教師」に関する配布資料
第11回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（５）
【内容・方法　等】　「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「プロ教師」に関する配布資料
第12回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（１）
【内容・方法　等】　教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】　テキスト第５章・第８章
第13回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（２）
【内容・方法　等】　学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料
第14回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（３）
【内容・方法　等】　教員の任用と身分
教員の服務と身分保障
教員の勤務条件
【事前・事後学習課題】　教員の任用・服務等に関する配布資料
第15回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（４）
【内容・方法　等】　教員のメンタルヘルス、バーンアウト
教育改革と教員
【事前・事後学習課題】　テキスト第９章

評価方法（基準）
定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等
教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版　教職論』学文社（1,600円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることになります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　146　2014/08/21　14:24:03

教育原理
Educational Principles

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達は誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によってのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性と可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

授業方法と留意点

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

科目学習の効果（資格）

（1）高等学校教諭１種免許状　（2）中学校教諭１種免許状の取得　（3）学芸員資格の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　教育とは何かを考える

【内容・方法　等】　（1）オリエンテーション－教職課程と履修動機－　（2）教育の意味－自らの経験に学ぶ－　（3）「学ぶ」立場から「教える」立場へ

【事前・事後学習課題】　予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。

第２回　**【授業テーマ】**　人間形成のしくみを考える

【内容・方法　等】　（1）教育の必要性と可能性　（2）野生児の記録

【事前・事後学習課題】　予習：もし教育を受けることがなかったなら、どのようになるかについて考え、まとめておく。

第３回　**【授業テーマ】**　人間形成のしくみを考える

【内容・方法　等】　（1）教育・教化・形成　（2）人間形成と発達課題　（3）からだと心の教育　（4）ことばと文化の学習

【事前・事後学習課題】　予習：現代の発達課題について考え、まとめる。

第４回　**【授業テーマ】**　わが国における教育としつけを考える

【内容・方法　等】　（1）子どもの社会化　（2）しつけと教育

【事前・事後学習課題】　予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。

第５回　**【授業テーマ】**　教育の思想－教育はどう考えられてきたか－（1）

【内容・方法　等】　ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。

【事前・事後学習課題】　予習：教科書「教育の思想－教育はどう考えられてきたか－」を読んでおく。

第６回　**【授業テーマ】**　教育の思想－教育はどう考えられてきたか－（2）

【内容・方法　等】　ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどり、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。

【事前・事後学習課題】　復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。

第７回　**【授業テーマ】**　教育の思想－わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。

【内容・方法　等】　福沢諭吉と「学問のすすめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。

【事前・事後学習課題】　復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめ提出する。

第８回　**【授業テーマ】**　教育の理念と目的について考える（1）

【内容・方法　等】　（1）「学制」と「被仰出書」　（2）教育勅語

【事前・事後学習課題】　予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。

第９回　**【授業テーマ】**　教育の理念と目的について考える（2）

【内容・方法　等】　（1）憲法の教育規定　（2）教育基本法を学ぶ－旧法・新法の比較を通して－　（3）学校教育法と教育の機会均等

【事前・事後学習課題】　予習：現行教育基本法の内容を確認する。

第10回　**【授業テーマ】**　学校の歴史的な意味と課題を考える

【内容・方法　等】　（1）学校とは何か　（2）学校の発達　（3）学校教育の展開と二つの歴史的エポック

【事前・事後学習課題】　予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。

第11回　**【授業テーマ】**　教育の再生と学校改革

【内容・方法　等】　（1）教育改革の系譜　（2）自律的学校の創造　（3）「生きる力」と学力向上

【事前・事後学習課題】　予習：現代学校改革の課題についてレポートする。

第12回　**【授業テーマ】**　「教えること」と「学ぶこと」について考える

【内容・方法　等】　（1）教える・学ぶの成立条件　（2）「学ぶ力」と「生きる力」

【事前・事後学習課題】　予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。

第13回　**【授業テーマ】**　授業とは何かを考える

【内容・方法　等】　（1）授業をつくる　（2）授業と教材　（3）授業の形態と技術　（4）授業と評価　（5）教育評価の意味を考える

【事前・事後学習課題】　予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。

第14回　**【授業テーマ】**　教師のしごとについて考える

【内容・方法　等】　（1）教師のしごと　（2）子どもとの信頼関係　（3）教育公務員としての教師　（4）教師の成長と同僚

【事前・事後学習課題】　予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。

第15回　**【授業テーマ】**　討論と反省

【内容・方法　等】　討論　教育原理を学んで得た新たな知見について

【事前・事後学習課題】　復習：二年次以降の教育学学習の課題を明確にする。

評価方法（基準）

定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。

教材等

教科書…村田俊明　橋本はる美『教育探求の基礎』（税務経理協会）、2012年、2800円（本体）

参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』（福村出版）1470円
平沢茂編著『教育の方法と技術』（図書文化）2000円
小林恵『「学習指導要領」の現在』（学文社）2800円

学生へのメッセージ

①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

７号館３階(村田研究室)

教育心理学
Educational Psychology

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とし、特に、認知的な側面に焦点を当てて議論していく。具体的には、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育について考える「個に応じた教育」を中心とする。また、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」についてもふれることとする。

授業方法と留意点

講義形式で行う。

科目学習の効果（資格）

教員免許状取得上必修，免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」６単位のうち２単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　147　2014/08/21　14:24:03

び学習の過程を含む。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　発達と教育と心理学と
【内容･方法　等】　教育に対して心理学ができること、発達と教育
【事前･事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達1
【内容･方法　等】　思考(1)……人間の思考の特徴
【事前･事後学習課題】　テキスト第8章、第9章を読む

第３回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達2
【内容･方法　等】　思考(2)……思考の発達、メタ認知
【事前･事後学習課題】　テキスト第7章の1、第8章、第9章を読む

第４回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達3
【内容･方法　等】　言語(1)……言語の機能、言語の発達
【事前･事後学習課題】　テキスト第9章の2、第11章を読む

第５回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達4
【内容･方法　等】　言語(2)……文章理解
【事前･事後学習課題】　テキスト第11章を読む

第６回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達5
【内容･方法　等】　記憶(1)……記憶のメカニズム
【事前･事後学習課題】　テキスト第4章、第5章を読む

第７回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達6
【内容･方法　等】　記憶(2)……記憶の発達
【事前･事後学習課題】　テキスト第4章、第5章を読む

第８回　**【授業テーマ】**　こどもの学び1
【内容･方法　等】　様々な学習(1)……学習とは何か、古典的条件づけ
【事前･事後学習課題】　テキスト第1章を読む

第９回　**【授業テーマ】**　こどもの学び2
【内容･方法　等】　様々な学習(2)……道具的条件付け、観察学習
【事前･事後学習課題】　テキスト第1章を読む

第10回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ1
【内容･方法　等】　意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感
【事前･事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む

第11回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ2
【内容･方法　等】　さまざまな学習意欲(1)……外発的動機づけ
【事前･事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む

第12回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ3
【内容･方法　等】　さまざまな学習意欲(2)……内発的動機づけ
【事前･事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む

第13回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ4
【内容･方法　等】　学習意欲を育むために ……報酬と罰、評価、目標、教師の対応
【事前･事後学習課題】　テキスト第0章の2、第2章、第3章を読む

第14回　**【授業テーマ】**　個に応じた教育1
【内容･方法　等】　個人差の理解と教育……ATI、学習方略
【事前･事後学習課題】　テキスト第0章の3，第6章を読む

第15回　**【授業テーマ】**　個に応じた教育2
【内容･方法　等】　「障害」の理解と特別支援教育
【事前･事後学習課題】　テキスト第13章を読む

評価方法（基準）

小テスト30％　期末試験70％

教材等

教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を実践～」藤田哲也（編著）　ミネルヴァ書房（2800円）

参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目

心理学

担当者の研究室等

７号館3階（吉田研究室）

教育社会学
Sociology of Education

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会学的に研究する方法学である。講義は、主に教科書の内容に沿って、基本的概念や予備知識について講述する「基礎」とデータ分析を中心に行う「応用」から構成する。教育社会学が方法学であるといっても、具体的研究対象・内容と方法とは密接に関連するものであるから、教育の人間形成作用・社会化機能を縦軸に据え、教育社会学の多様な研究対象・内容のうち、現代教育制度改革・学校改革問題、わが国の教員集団と教員問題などを取り上げ、文科省の教員統計調査データ等を拠り所に分析・検討し、教育社会学の見方と方法を学ぶ。

授業方法と留意点

教育社会学の講義は、まず教科書の内容に沿って基本的概念や予備知識について講述する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。「基礎」「応用」とも、個人あるいはグループでデータを分析し、その結果について発表する。なお、パソコンを活用してデータの検索や分析を行う。

科目学習の効果（資格）

（１）高等学校教諭１種免許状　（２）中学校教諭１種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　基礎　教育社会学とは何か
【内容･方法　等】　（１）教育社会学の課題と方法を知る
（２）教育社会学と社会化研究の意味を知る
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（１－教育社会学とは」「１４－教育社会学の技法」）を読んでくる。

第２回　**【授業テーマ】**　基礎　現代社会と学校
【内容･方法　等】　（１）学校教育の拡大と学校化の病理を考える
（２）教育の機会均等の実現-「量」から「質」への転換-
（３）社会化環境としての分節型社会の特徴を理解する
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（6－学校制度の社会学」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第３回　**【授業テーマ】**　基礎　階層・学歴・職業
【内容･方法　等】　（１）高等教育の発展段階論-ユニバーサル段階の教育課題について考える－
（２）学歴社会を考える-学校の社会化、選抜・配分、正当化機能を考える－
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（「１０－学校の社会的機能」「１１－高等教育の社会学」「１２－階層・学歴・職業」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第４回　**【授業テーマ】**　基礎　学校空間と教育的知識
【内容･方法　等】　カリキュラム・教育的知識と社会化環境としての学校空間の意味を考える
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（「７－教室空間・学校空間と教育過程」：「８－カリキュラムと教育的知識」：「９－学校の組織と文化」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第５回　**【授業テーマ】**　基礎　現代社会の変貌と教育
【内容･方法　等】　高度情報社会の教育と社会化について考える
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（「３－社会化環境の構造変容」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第６回　**【授業テーマ】**　基礎　教育改革の動向と課題
【内容･方法　等】　わが国の教育改革がめざしてきたもの、世紀転換期における教育改革動向と課題について知る
【事前･事後学習課題】　事前：教科書（１３－教育改革と学習社会」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第７回　**【授業テーマ】**　応用　教育改革の動向と課題（１）
【内容･方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-学力テストと「脱ゆとり」に焦点をあてて-
【事前･事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第８回　**【授業テーマ】**　応用　教育改革の動向と課題（２）
【内容･方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-学校教育制度の改革に焦点をあてて-
【事前･事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第９回　**【授業テーマ】**　応用　教育改革の動向と課題（３）
【内容･方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-教育委員会改革に焦点をあてて-
【事前･事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第10回　**【授業テーマ】**　応用　教員問題を検証する（１）
【内容･方法　等】　（１）教員問題の系譜と現在を知る
（２）日本の教師集団を検討する-都道府県別・学校種別・年齢別・性別・職位別教員構成の分析を通して-
【事前･事後学習課題】　事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第11回　**【授業テーマ】**　応用　教員問題を検証する（２）

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　148　2014/08/21　14:24:04

【内容・方法　等】　（３）求められる教師と教員養成、教員の需給関係、教員養成と教員採用を考える
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第12回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（３）
【内容・方法　等】　（４）学校改善と学校評価を考える
-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第13回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（４）
【内容・方法　等】　（５）学校評価の事例研究
-A中学校の学校教育点検・評価の実際を検討する-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第14回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（５）
【内容・方法　等】　（６）教員評価を考える
-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第15回　【授業テーマ】　全体検討　学校・教師をめぐる諸問題と教育社会学研究について
【内容・方法　等】　まとめ　学校・教師をめぐる諸問題の構造的関連性を理解し、残された課題を明らかにする。
【事前・事後学習課題】　事後課題　「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったこと、新たに発見した課題をレポートをまとめる。

評価方法（基準）
定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…天野郁夫、藤田英典、苅谷剛彦『改訂版　教育社会学』（放送大学教育振興会）、2010年、2200円（本体）
参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書（平成２２・２５年度）』国立印刷局、6000円
小林恵『学習指導要領の現在』（学文社）2800円
村田俊明『学校経営研究のポリフォニー』（税務経理協会）、2013年、1800円

学生へのメッセージ
文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目
「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等
７号館３階(村田研究室)

備考
共同担当者　橋本はる美

教育経営論
Studies of Educational Administration

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにとってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用のし方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点
プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション（LTD；Learning Through Discussion）等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。
「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育の基礎理論に関する科目
各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
公教育とは
【内容・方法　等】　授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明
公教育の成立前史
教育における「公」と「私」
【事前・事後学習課題】　「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
第２回　【授業テーマ】　教育権の構造
【内容・方法　等】　「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」
教育権論争について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章１節を読んでくる。
第３回　【授業テーマ】　教育を受ける権利の保障
【内容・方法　等】　教育の制度原理
「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章２節を読んでくる。
第４回　【授業テーマ】　学校体系のしくみ
【内容・方法　等】　段階性、系統性
学校体系の類型
学校の種類と設置者
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章１・２節を読んでくる。
第５回　【授業テーマ】　学校体系の現代的課題
【内容・方法　等】　選別・分離と接続・統合
「選抜・選別」について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章３節を読んでくる。
学校の機能に関する配布資料を読んでくる。
第６回　【授業テーマ】　教育条件整備の法制度と新しい動向
【内容・方法　等】　公教育を支える諸条件とは
条件整備はどのようになされるか
学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章２・３節を読んでくる。
学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。
第７回　【授業テーマ】　学校の組織管理
【内容・方法　等】　教職員配置と組織編制
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章１・２節を読んでくる。
第８回　【授業テーマ】　学校経営の新しい動向
【内容・方法　等】　「開かれた学校」
学校評議員制度、学校運営協議会制度
地域運営学校について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章３・４節を読んでくる。
コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。
第９回　【授業テーマ】　教育課程経営
【内容・方法　等】　学習指導要領の性質と特徴の変遷
学力論争と教育評価論
学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章１・２節を読んでくる。
学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。
第10回　【授業テーマ】　教科書制度と指導行政
【内容・方法　等】　教科書検定
教科書採択
制度をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章３・４節を読んでくる。
教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。
第11回　【授業テーマ】　社会教育行政
【内容・方法　等】　社会教育と生涯学習
社会教育の理念と展開
【事前・事後学習課題】　テキスト第８章１・２節を読んでくる。
第12回　【授業テーマ】　生涯学習社会への移行と生涯学習振興
【内容・方法　等】　社会教育行政の運営原則
社会教育の諸制度
社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第８章３・４節を読んでくる。
社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。
第13回　【授業テーマ】　教育行政のはたらきと地方教育行政組織
【内容・方法　等】　教育行政の原則
教育委員会のしくみとはたらき
教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章１節を読んでくる。
教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。
第14回　【授業テーマ】　国の教育行政と地方との関係
【内容・方法　等】　国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき
教育行政関係の新しい動向
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章２・３節を読んでくる。
第15回　【授業テーマ】　教育費と教育財政
【内容・方法　等】　教育財政の考え方
国・地方の教育費と教育財政

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　149　2014/08/21　14:24:04

義務教育費国庫負担制度とその改革
学校財務
【事前・事後学習課題】 テキスト第６章を読んでくる。

評価方法（基準）
定期試験60％、レポート30％、受講に係る積極的態度10％の割合で総合的に評価します。定期試験を受験しなかった場合は成績評価をしません。

教材等
教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学　改訂版』学文社（1,800円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。
遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教育課程論」に関連する事項を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育課程論
Studies of Curriculum Development

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
（１）教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で編成されていったかについての歴史的経緯を考察する。また、同時に学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。
（２）わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点
テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進めるが、状況によっては学生主体の発表（プレゼン）を行うなど、学生皆さんの授業への主体的な参加が求められる。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 教育課程とは何か／オリエンテーション
【内容・方法　等】 ・学校教育のもつ機能について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているテキストの該当する分を読んでおくこと。
第２回　【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・戦前から戦後（経験主義～系統主義：高度経済成長期）の教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。
第３回　【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・1970年代以降、「ゆとり」への標榜から「生きる力」、そして現在までの教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。
第４回　【授業テーマ】 教育課程（カリキュラム）の概念と構造、および教育課程編成について
【内容・方法　等】 ・その編成要素（内部要因と外部要因）について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】 教育評価
【内容・方法　等】 ・発達段階にふさわしい評価の方法とその特質
【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】 『総合的な学習の時間』について
【内容・方法　等】 ・導入の背景とそのねらいについて（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第７回　【授業テーマ】 学校化された社会
【内容・方法　等】 ・「隠れたカリキュラム」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第８回　【授業テーマ】 新しい教育課程　その１
【内容・方法　等】 ・「キャリア教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第９回　【授業テーマ】 新しい教育課程　その２
【内容・方法　等】 ・「人権教育／平和教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第10回　【授業テーマ】 新しい教育課程　その３
【内容・方法　等】 ・「シティズンシップ」教育とは（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第11回　【授業テーマ】 教育課程と教育改革　その１
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝小中編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第12回　【授業テーマ】 教育課程と教育改革　その２
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝高校編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第13回　【授業テーマ】 教育課程と教育格差　その１
【内容・方法　等】 ・学力格差と学力低下問題（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第14回　【授業テーマ】 教育課程と教育格差　その２
【内容・方法　等】 ・教育格差に抗する学校の取り組み（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第15回　【授業テーマ】 総括：教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法　等】 海外の学校教育課程の動向と国内の問題（例：外国人児童生徒問題）
【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験、レポート及び授業態度や授業への貢献度（発表を含む）など総合的に評価を行う。

教材等
教科書…田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵［著］　『新しい時代の教育課程　第3版』　有斐閣アルマ、2011年
参考書…その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験をふりかえり、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目
教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等
７号館３階(大野研究室)

備考
2009年度以前入学生は、（高校）教免取得上選択

商業科教育法
Business Education Method

河　合　隆　廣（カワイ　タカヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	「商業」教免取得上必修	4

授業概要・目的・到達目標
【主 題】

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　150　2014/08/21　14:24:04

教育は、世界の政治や経済に大きく左右される。本講義は「国際経済と我が国教育の変遷」をテーマとして、戦後の我が国の教育と国際社会の変化を歴史的に分析することにより、今後我が国の教育が何をめざしていくべきかを考察する。
前半は「不易流行」の「流行」の面に重点を置き、「国際経済と我が国教育の変遷」をテーマとして、戦後の我が国の教育と国際社会の変化を歴史的に分析し、今後我が国の教育が何をめざしていくべきかを考察する。
後半は「不易流行」の「不易」の面に重点を置き、大局的な観点から教育の意義・在り方を追及し、現代社会にどのような教育が必要であるか、教育者としてどのような姿勢で教育に臨むべきかについて考察する。
【目 標】
グローバル化が進む不透明な時代において、商業科教員として、時代の変化に対応するとともに、普遍の真理を追究する資質と能力を育成することを目標とする。
学習の成果として、戦後の国際社会や日本の政治・経済についての知識が広がり、現代の政治や経済がいかにあるべきかを分析する力を身に付けることができる。
〔この授業で習得・向上できる社会で役に立つ能力〕
①人間関係を形成する力　②問題を発見する力 ③学習・勤労の意義を理解する力

授業方法と留意点

一方的な教授法ではなく、学生の意見や疑問に的確に答え、調査研究成果を発表させるなどの対話型授業を行う。

科目学習の効果（資格）

教員採用試験では、「公民」や「情報」などとの“複数教科の教職員免許”を取得していることが自身の強みとなる。
この授業で習得・向上できる社会で役に立つ能力
(1)人間関係を形成する力　(2)問題を発見する力　(3)学習・勤労の意義を理解する力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　教育の意義と商業教育の魅力
【内容・方法　等】　教育の意義と商業教育の魅力について考察する。
【事前・事後学習課題】　教職をめざす理由と心構えについて、レポート作成・発表をさせる。

第２回　**【授業テーマ】**　戦後の教育改革と社会的背景
【内容・方法　等】　戦後初の学習指導要領が民主主義教育を導入、アメリカ教育使節団の影響について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕アメリカ教育使節団の影響について研究させる。

第３回　**【授業テーマ】**　日本初の学習指導要領と商業教育（昭和23年）
【内容・方法　等】　デューイの経験主義的教授理論について学習し、「課題解決学習」が学習指導要領に活かされていることを考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕日本初の学習指導要領と商業教育について研究させる。

第４回　**【授業テーマ】**　国際社会の二極化の問題
【内容・方法　等】　国際社会の二極化（資本主義と社会主義）の問題について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕戦後の国際社会の問題について研究させる。

第５回　**【授業テーマ】**　日本経済の復興と社会的背景
【内容・方法　等】　国際社会の二極化が日本経済、国民生活に及ぼす影響について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済復興期に望まれた教育について研究させる。

第６回　**【授業テーマ】**　経済復興期の学習指導要領と商業教育（昭和25年）
【内容・方法　等】　経済復興期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済復興期に望まれた教育について研究させる。

第７回　**【授業テーマ】**　高度経済成長初期の日本経済と社会的背景
【内容・方法　等】　日本の独立と高度経済成長初期（神武景気）に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕高度経済成長初期に望まれた教育について研究させる。

第８回　**【授業テーマ】**　高度経済成長初期の学習指導要領と商業教育（昭和31年）
【内容・方法　等】　経験主義的学習から知識重視の教育に転換した社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕知識重視の教育に転換した社会背景について研究させる。

第９回　**【授業テーマ】**　高度経済成長中期の日本経済と社会的背景
【内容・方法　等】　高度経済成長中期（岩戸景気）における技術革新と国民生活などの社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。

第10回　**【授業テーマ】**　高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育（昭和35年）
【内容・方法　等】　高度経済成長中期（昭和35年）の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。

第11回　**【授業テーマ】**　高度経済成長後期の日本経済と社会的背景
【内容・方法　等】　高度経済成長後期（いざなぎ景気）と教育の現代化に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕教育の現代化に向かう社会的背景について研究させる。

第12回　**【授業テーマ】**　高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育（昭和45年）
【内容・方法　等】　高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕「４６答申」の経緯とその影響について研究させる。

第13回　**【授業テーマ】**　国際経済の混乱と日本の高度経済成長の終焉
【内容・方法　等】　国際経済の混乱（ブレトン・ウッズ体制の崩壊、オイル・ショック等）と日本の高度経済成長の終焉について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済成長終焉期と教育の混迷について研究させる。

第14回　**【授業テーマ】**　高度経済成長終焉期と教育の混迷
【内容・方法　等】　高度経済成長の歪み(公害、教育現場の混乱)と教育の転換について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済成長終焉期と教育の混迷について研究させる。

第15回　**【授業テーマ】**　高高度経済成長終焉期の学習指導要領と商業教育（(昭和53年）
【内容・方法　等】　高度経済成長終焉期の学習指導要領と教育の混迷について思考し、どのように教育が転換したかを考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済成長終焉期と教育の混迷について研究させる。

第16回　**【授業テーマ】**　教育転換期の社会的背景
【内容・方法　等】　国際社会が変動為替相場制に移行し、日本経済が混乱に陥る状況を考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕変動為替相場制の移行と日本経済の混乱について研究させる。

第17回　**【授業テーマ】**　臨時教育審議会と新しい学力観
【内容・方法　等】　国民的課題に対する臨時教育審議会と新しい学力観について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕臨時教育審議会と新しい学力観について研究させる。

第18回　**【授業テーマ】**　教育転換期の学習指導要領と商業教育（平成元年）
【内容・方法　等】　教育の転換期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕教育転換期の教育について研究させる。

第19回　**【授業テーマ】**　社会主義国家の崩壊と国際社会の混乱
【内容・方法　等】　国際社会の混乱（社会主義国家の崩壊）と日本国内の混乱について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕国際社会の混乱と日本国内の混乱について研究させる。

第20回　**【授業テーマ】**　バブル経済の崩壊と新しい教育への転換
【内容・方法　等】　バブル経済の崩壊と日本社会の混乱、教育の混迷について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕日本社会の混乱と教育の混迷について研究させる。

第21回　**【授業テーマ】**　ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育（平成11年）
【内容・方法　等】　ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕総合的な学習の時間と商業教育について研究させる。

第22回　**【授業テーマ】**　新学習指導要領改訂のねらい
【内容・方法　等】　新学習指導要領改訂の趣旨と目的について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕新学習指導要領改訂の趣旨と目的について研究させる。

第23回　**【授業テーマ】**　「確かな学力」育成のための工夫
【内容・方法　等】　新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について研究させる。

第24回　**【授業テーマ】**　新学習指導要領と商業教育（平成21年）
【内容・方法　等】　新学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕新学習指導要領と商業教育について研究させる。

第25回　**【授業テーマ】**　教育の現代的課題の分析
【内容・方法　等】　現代の教育的課題を協議させ、問題行動について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕各自の経験に基づいた教育的課題について研究させる。

第26回　**【授業テーマ】**　問題行動メカニズム分析

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　151　2014/08/21　14:24:04

【内容・方法　等】 現代の教育的課題の改善方法について協議させ、問題行動メカニズムを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕問題行動について研究し、改善方法について研究させる。
第27回 【授業テーマ】 人格形成と自立に向けた教育手法
【内容・方法　等】 人格形成と自立に向けた教育手法について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕発達段階と自立について研究させる。
第28回 【授業テーマ】 アイデンティティの確立
【内容・方法　等】 心理社会的発達理論分析により、教育の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕アイデンティティの確立について研究させる。
第29回 【授業テーマ】 意欲を高めるための学習環境
【内容・方法　等】 脳科学による行動分析により、学習環境の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕よい学習環境をどうつくるのかを研究させる。
第30回 【授業テーマ】 商業教育研究

評価方法（基準）
小テスト・レポート40%、授業への参加度（学習意欲、発表等）60%とし、総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…レジメを配布する。
参考書…資料を配布する。

学生へのメッセージ
教員採用試験では、日本商工会議所簿記検定２級程度の問題が出題されるので、在学中に取得しておこう。

関連科目
経営学部や経営情報学部の専門科目は、商業科の専門科目として活かす魅力がある。
例えば、簿記、会計、原価計算、管理会計、情報処理、電子商取引、経営学、経済学、マーケティング、民法、会社法、ベンチャービジネス論など、幅広く履修しておこう。

担当者の研究室等
連絡があれば、経営学部事務室に申し出ること。

社会科・地歴科教育法Ⅰ
Geography and History Education Method Ⅰ

井　上　正　英（イノウエ　マサヒデ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「社会」「地歴」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
近代教育制度の変遷を考察する中で、社会科・地歴科が果たすそれぞれの使命と責任を理解する。そのうえで具体的に授業展開を行う基本的知識・技能を習得する。このほか現場で起こる各種の問題についても適宜説明する。

授業方法と留意点
講義と学生諸君の発表や討論を中心として行うので、積極的な発言が望まれる。

科目学習の効果（資格）
中学・高校教員免許（社会科、地歴科）
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンスと年間計画
【内容・方法　等】 年間講義内容の概略・受講上の注意点・成績評価について
【事前・事後学習課題】 事前　既修の「教師論」「教育原理」を復習しておく。
事後　授業終了時に指示する。
第２回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　1
【内容・方法　等】 江戸末期から明治の学制の発布について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　江戸末期から明治期の教育問題について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第３回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　2
【内容・方法　等】 明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その１。
【事前・事後学習課題】 事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第４回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　3
【内容・方法　等】 明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その２。
【事前・事後学習課題】 事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第５回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　4
【内容・方法　等】 大正自由教育から国民科の成立について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　大正期から昭和初期の教育について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第６回 【授業テーマ】 近代学校教育制度の変遷と社会科教育　5
【内容・方法　等】 戦時下教育から占領下での民主化、および社会科の成立までを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　戦時下教育から占領下での教育の変遷を調べておく
事後　授業終了時に指示する。
第７回 【授業テーマ】 学習指導要領について　1
【内容・方法　等】 戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。
第８回 【授業テーマ】 学習指導要領について　2
【内容・方法　等】 戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。
第９回 【授業テーマ】 学習指導案の作成と活用を学ぶ　1
【内容・方法　等】 地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　学習指導案とは何かを調べておく。
事後　授業終了時に指示する。
第10回 【授業テーマ】 学習指導案の作成と活用を学ぶ　2
【内容・方法　等】 地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　与えられたテーマで各自学習指導案を作成し発表に備える。
事後　授業終了時に指示する。
第11回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション　1
【内容・方法　等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第12回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション　2
【内容・方法　等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第13回 【授業テーマ】 学習指導案のプレゼンテーション　3
【内容・方法　等】 グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前・事後学習課題】 事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。
第14回 【授業テーマ】 授業記録について
【内容・方法　等】 社会科教員として授業を見る目を鍛える為の授業記録の形式や方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　どのような授業記録方法があるかを考えておく。
事後　授業終了時に指示する。
第15回 【授業テーマ】 評価の方法と理論
【内容・方法　等】 生徒の学習成果を検証するための視点と評価方法について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 事前　評価方法の種類について考えておく。
事後　評価は自己の教育技術の反映であることを考える。

評価方法（基準）
レポート及び講義での発表・発言をもとに総合的に判定する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…中学・高校の地理および歴史の教科書
中学校学習指導要領解説　社会編（文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　地理歴史編（文部科学省）

学生へのメッセージ
教職科目であり、教職に就くあるいは教育に高い関心を持っていることが受講の前提となります。その上で社会の変化とそれに対応する教育の動きを理解し、志高く理想的な社会科・地歴科を創造する基礎を養いませんか。

関連科目
社会科・地歴科教育法Ⅱ

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　152　2014/08/21　14:24:04

担当者の研究室等
１１号館　１階　教務課

社会科・地歴科教育法II
Geography and History Education Method II

井　上　正　英（イノウエ　マサヒデ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「社会」「地歴」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
近代教育制度の変遷を考察する中で、社会科・地歴科が果たすそれぞれの使命と責任を理解する。そのうえで具体的に授業展開を行う基本的知識・技能を習得する。このほか現場で起こる各種の問題についても適宜説明する。

授業方法と留意点
講義と学生諸君の発表や討論を中心として行うので、積極的な発言が望まれる。

科目学習の効果（資格）
中学・高校教員免許（社会科、地歴科）
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンスと年間計画
【内容･方法　等】　年間講義内容の概略・受講上の注意点・成績評価について
【事前･事後学習課題】　事前　既修の「教師論」「教育原理」を復習しておく。
事後　授業終了時に指示する。

第２回　**【授業テーマ】**　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　1
【内容･方法　等】　江戸末期から明治の学制の発布について学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　江戸末期から明治期の教育問題について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第３回　**【授業テーマ】**　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　2
【内容･方法　等】　明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その１。
【事前･事後学習課題】　事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第４回　**【授業テーマ】**　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　3
【内容･方法　等】　明治期の教育制度の変遷ついて学ぶ　その２。
【事前･事後学習課題】　事前　明治期教育の大まかな変遷について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第５回　**【授業テーマ】**　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　4
【内容･方法　等】　大正自由教育から国民科の成立について学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　大正期から昭和初期の教育について調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第６回　**【授業テーマ】**　近代学校教育制度の変遷と社会科教育　5
【内容･方法　等】　戦時下教育から占領下での民主化、および社会科の成立までを学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　戦時下教育から占領下での教育の変遷を調べておく
事後　授業終了時に指示する。

第７回　**【授業テーマ】**　学習指導要領について　1
【内容･方法　等】　戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。

第８回　**【授業テーマ】**　学習指導要領について　2
【内容･方法　等】　戦後の学力観の変化と指導要領改訂の変遷を学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　中高学習指導要領解説社会編・地理歴史編を読んでおく。
事後　授業終了時に指示する。

第９回　**【授業テーマ】**　学習指導案の作成と活用を学ぶ　1
【内容･方法　等】　地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　学習指導案とは何かを調べておく。
事後　授業終了時に指示する。

第10回　**【授業テーマ】**　学習指導案の作成と活用を学ぶ　2
【内容･方法　等】　地理・歴史科学習指導案作成の基礎を身に付け、授業への活用方法を学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　与えられたテーマで各自学習指導案を作成し発表に備える。
事後　授業終了時に指示する。

第11回　**【授業テーマ】**　学習指導案のプレゼンテーション　1
【内容･方法　等】　グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前･事後学習課題】　事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。

第12回　**【授業テーマ】**　学習指導案のプレゼンテーション　2
【内容･方法　等】　グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前･事後学習課題】　事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。

第13回　**【授業テーマ】**　学習指導案のプレゼンテーション　3
【内容･方法　等】　グループ毎に同一テーマでの学習指導案を作成・発表し、問題点について討議する。
【事前･事後学習課題】　事前　グループ内で指導案を作成しておくこと。
事後　授業終了時に指示する。

第14回　**【授業テーマ】**　授業記録について
【内容･方法　等】　社会科教員として授業を見る目を鍛える為の授業記録の形式や方法について学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　どのような授業記録方法があるかを考えておく。
事後　授業終了時に指示する。

第15回　**【授業テーマ】**　評価の方法と理論
【内容･方法　等】　生徒の学習成果を検証するための視点と評価方法について学ぶ。
【事前･事後学習課題】　事前　評価方法の種類について考えておく。
事後　評価は自己の教育技術の反映であることを考える。

評価方法（基準）
レポート及び講義での発表・発言をもとに総合的に判定する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…中学・高校の地理および歴史の教科書
中学校学習指導要領解説　社会編（文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　地理歴史編（文部科学省）

学生へのメッセージ
教職科目であり、教職に就くあるいは教育に高い関心を持っていることが受講の前提となります。その上で社会の変化とそれに対応する教育の動きを理解し、志高く理想的な社会科・地歴科を創造する基礎を養いませんか。

関連科目
社会科・地歴科教育法Ⅱ

担当者の研究室等
１１号館　１階　教務課

社会科・公民科教育法I
Civic Education Method I

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「社会」「公民」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
本授業は、中学校社会科、及び、高校公民科の学習指導ができるようになるための基礎的素養を学ぶことを目的としています。そのため、できるかぎり実践的な観点から授業を進めていきます。まず、学習指導要領の内容を理解し、授業展開のポイントを解説します。また、わかりやすい授業を行うためのさまざまな方法を実践的に考えます。具体的には指導案の書き方の指導、模擬授業の実践を中心に参加型の授業法を取り入れて、皆さん自身が教師としての心構えを磨き上げていけるよう、互いに刺激し、批評しあう機会をもうけます。まずは「教育実習」で生徒を失望させないきちんとした授業ができるよう、意欲と責任をもって授業に参加してください。

授業方法と留意点
まず社会科、公民科教育の理論の整理、そして、可能な範囲で履修者全員に模擬授業を実践してもらうような「実践型・参加型の授業」を目指します。よって、履修者は各回の授業テーマについてのレポート作成が課せられます。また模擬授業の実践では、それぞれの模擬授業終了後は必ず全員で意見交換を行い、問題点と課題点を整理します。ここでのコメント力を鍛えることも重要な目標です。指示した授業準備は必ず行ってください。

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　153　2014/08/21　14:24:05

教職科目

教師としての自覚もあわせて養成するため、遅刻・無断欠席は認めません。

科目学習の効果（資格）

中学校１種「社会」、高校１種「公民」の教育職員免許を取得するために必要である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス：社会科・公民科教育の意義

【内容･方法　等】 日本における社会科教育の歴史と現状について学び、社会科・公民科教育の意義について考える。

【事前･事後学習課題】 社会科教育の課題について考えてくること。

※該当するテキスト部分の要約

第２回 **【授業テーマ】** 中学校指導要領（社会）、高校指導要領（公民）にみる授業の目的

【内容･方法　等】 学習指導要領の概要について学ぶ

【事前･事後学習課題】 各自事前に入手した学習指導要領（中学：社会科、高校：公民科）の事前読了。

※該当するテキスト部分の要約

第３回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（1）

【内容･方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評

【事前･事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第４回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（2）

【内容･方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評

【事前･事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第５回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（3）

【内容･方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評

【事前･事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第６回 **【授業テーマ】** 教育方法と技術（1）：ミニ模擬授業

【内容･方法　等】 板書・話し方・参考資料の作り方・新聞記事の利用のしかたなど、教育実践の基本的技術について。コンピューター（パワーポイントやインターネット）を用いた授業のやり方。パワーポイントを用いた授業をミニ模擬授業で実演する。

【事前･事後学習課題】 新聞記事の検索。

第７回 **【授業テーマ】** 教育方法と技術（2）：ミニ模擬授業

【内容･方法　等】 ディベートを取り入れた授業の工夫について。公民に関わるテーマで模擬ディベートを行いながら学ぶ。調査の意義と方法、研究発表の指導について。ディベートを取りれたミニ模擬授業を実演する。

【事前･事後学習課題】 ディベート準備。

第８回 **【授業テーマ】** 学習指導案の書き方（1）：ミニ模擬授業

【内容･方法　等】 学習指導案の作成指導（1）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。

【事前･事後学習課題】 学習指導案の作成。

第９回 **【授業テーマ】** 学習指導案の書き方（2）：ミニ模擬授業

【内容･方法　等】 学習指導案の作成指導（2）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。

【事前･事後学習課題】 学習指導案の作成。

第10回 **【授業テーマ】** 模擬授業（1）

【内容･方法　等】 模擬授業の実践と指導（1）

【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備。

第11回 **【授業テーマ】** 模擬授業（2）

【内容･方法　等】 模擬授業の実践と指導（2）

【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備。

第12回 **【授業テーマ】** 模擬授業（3）

【内容･方法　等】 模擬授業の実践と指導（3）

【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備。

第13回 **【授業テーマ】** 模擬授業（4）

【内容･方法　等】 模擬授業の実践と指導（4）

【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備。

第14回 **【授業テーマ】** 成績評価の方法について

【内容･方法　等】 成績評価にあたって重要となる事柄の概要を知り、さまざまな成績評価の方法を学ぶ。

【事前･事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第15回 **【授業テーマ】** 総括ー社会科指導について

【内容･方法　等】 授業全体をふりかえって討論し、社会科教師としての課題と責務を確認する。

【事前･事後学習課題】 社会科教師としての自分の課題について考えてくること。

評価方法（基準）

出席（全15回出席すること。成績評価については少なくとも80％以上は必要）、レポート（レポート提出の締め切りは厳守すること）、平常点（授業への貢献度、模擬授業等）により総合的に評価する。

教材等

教科書…二谷貞夫・和井田清司編『中等社会科の理論と実践』（2007）学文社

◎中学社会科、高校公民科の指導要領については各自、事前に入手（インターネットからも文部科学省ウェブサイトより入手可能）しておいてください。

参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ

本講義は学生の皆さんの主体的な授業への関与が求められます。一般的な講義に見られるような、教員が一方的に授業を進めていくスタイルではありません。学生の皆さんが授業をつくっていくことになります。ですので、宿題やレポート作成など、授業運営に欠かせない作業を怠ると自分自身はもちろんのこと、周囲に多大な迷惑がかかります。毎時間、責任と意欲を持って講義に出席して下さい。

関連科目

社会科・公民科教育法１、社会科・公民科教育法２は連続して受講することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館1階 教務課

備考

授業計画は、授業の進捗状況等により変更することがあります。ご了承ください。

社会科・公民科教育法II
Civic Education Method II

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「社会」「公民」教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、中学校社会科、及び、高校公民科の学習指導ができるようになるための基礎的素養を学ぶことを目的としています。そのため、できるかぎり実践的な観点から授業を進めていきます。まず、学習指導要領の内容を理解し、授業展開のポイントを解説します。また、わかりやすい授業を行うためのさまざまな方法を実践的に考えます。具体的には指導案の書き方の指導、模擬授業の実践を中心に参加型の授業法を取り入れて、皆さん自身が教師としての心構えを磨き上げていけるよう、互いに刺激し、批評しあう機会をもうけます。まずは「教育実習」で生徒を失望させないきちんとした授業ができるよう、意欲と責任をもって授業に参加してください。

授業方法と留意点

まず社会科、公民科教育の理論の整理、そして、可能な範囲で履修者全員に模擬授業を実践してもらうような「実践型・参加型の授業」を目指します。よって、履修者は各回の授業テーマについてのレポート作成が課せられます。また模擬授業の実践では、それぞれの模擬授業終了後は必ず全員で意見交換を行い、問題点と課題点を整理します。ここでのコメント力を鍛えることも重要な目標です。指示した授業準備は必ず行ってください。教師としての自覚もあわせて養成するため、遅刻・無断欠席は認めません。

科目学習の効果（資格）

中学校１種「社会」、高校１種「公民」の教育職員免許を取得するために必要である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ガイダンス：社会科・公民科教育の意義

【内容･方法　等】 日本における社会科教育の歴史と現状について学び、社会科・公民科教育の意義について考える。

【事前･事後学習課題】 社会科教育の課題について考えてくること。

※該当するテキスト部分の要約

第２回 **【授業テーマ】** 中学校指導要領（社会）、高校指導要領（公民）にみる授業の目的

【内容･方法　等】 学習指導要領の概要について学ぶ

【事前･事後学習課題】 各自事前に入手した学習指導要領（中学：社会科、高校：公民科）の事前読了。

※該当するテキスト部分の要約

第３回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（1）

【内容･方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評

【事前･事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約

第４回 **【授業テーマ】** 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイ

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　154　2014/08/21　14:24:05

ント（2）
【内容・方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約
第５回 【授業テーマ】 中学校社会科、高校公民科の授業展開のポイント（3）
【内容・方法　等】 中学社会科・高校公民科での優れた授業実践の解説と批評
【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約
第６回 【授業テーマ】 教育方法と技術（1）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】 板書・話し方・参考資料の作り方・新聞記事の利用のしかたなど、教育実践の基本的技術について。コンピューター（パワーポイントやインターネット）を用いた授業のやり方。パワーポイントを用いた授業をミニ模擬授業で実演する。
【事前・事後学習課題】 新聞記事の検索。
第７回 【授業テーマ】 教育方法と技術（2）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】 ディベートを取り入れた授業の工夫について。公民に関わるテーマで模擬ディベートを行いながら学ぶ。調査の意義と方法、研究発表の指導について。ディベートを取りれたミニ模擬授業を実演する。
【事前・事後学習課題】 ディベート準備。
第８回 【授業テーマ】 学習指導案の書き方（1）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】 学習指導案の作成指導（1）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。
【事前・事後学習課題】 学習指導案の作成。
第９回 【授業テーマ】 学習指導案の書き方（2）：ミニ模擬授業
【内容・方法　等】 学習指導案の作成指導（2）：各自が作成した学習指導案のうち、もっとも力を入れるべき箇所をミニ模擬授業として実演する。
【事前・事後学習課題】 学習指導案の作成。
第10回 【授業テーマ】 模擬授業（1）
【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（1）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。
第11回 【授業テーマ】 模擬授業（2）
【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（2）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。
第12回 【授業テーマ】 模擬授業（3）
【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（3）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。
第13回 【授業テーマ】 模擬授業（4）
【内容・方法　等】 模擬授業の実践と指導（4）
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備。
第14回 【授業テーマ】 成績評価の方法について
【内容・方法　等】 成績評価にあたって重要となる事柄の概要を知り、さまざまな成績評価の方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 ※該当するテキスト部分の要約
第15回 【授業テーマ】 総括ー社会科指導について
【内容・方法　等】 授業全体をふりかえって討論し、社会科教師としての課題と責務を確認する。
【事前・事後学習課題】 社会科教師としての自分の課題について考えてくること。

評価方法（基準）
出席（全15回出席すること。成績評価については少なくとも80％以上は必要）、レポート（レポート提出の締め切りは厳守すること）、平常点（授業への貢献度、模擬授業等）により総合的に評価する。

教材等
教科書…二谷貞夫・和井田清司編『中等社会科の理論と実践』（2007）学文社
◎中学社会科、高校公民科の指導要領については各自、事前に入手（インターネットからも文部科学省ウェブサイトより入手可能）しておいてください。
参考書…授業中に指示する。

学生へのメッセージ
本講義は学生の皆さんの主体的な授業への関与が求められます。一般的な講義に見られるような、教員が一方的に授業を進めていくスタイルではありません。学生の皆さんが授業をつくっていくことになります。ですので、宿題やレポート作成など、授業運営に欠かせない作業を怠ると自分自身はもちろんのこと、周囲に多大な迷惑がかかります。毎時間、責任と意欲を持って講義に出席して下さい。

関連科目
社会科・公民科教育法１、社会科・公民科教育法２は連続して受講することが望ましい。

担当者の研究室等
11号館1階 教務課

備考
授業計画は、授業の進捗状況等により変更することがあります。ご了承ください。

道徳教育の研究
Studies of Moral Education

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標
道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというものではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、「道徳」の授業構想及びシナリオづくりを行う。今日の中学生に、教師として「気づいてほしいこと・考えてほしいこと」は何かという「ねらい」をもった授業を構想することができ、その「ねらい」にふさわしい教材選択と教材研究をすることができる。

授業方法と留意点
教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、ＤＶＤ等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生による「道徳」の授業構想を発表し、検討する。

科目学習の効果（資格）
中学校教諭１種免許状の取得に必要です。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各項目に含める必要事項：道徳の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 道徳教育と人間形成
【内容・方法　等】 （1）道徳教育がめざすもの（2）道徳教育の現状と課題　（3）なぜ、いま道徳教育なのかーＤＶＤ「崩壊？日本人のモラルー」視聴　（4）「道徳」の特別教科化を考える
【事前・事後学習課題】 予習：教科書「まえがき」「第３章」
第２回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－明治期－
【内容・方法　等】 （1）学制と「修身口授」（2）「教学聖旨」「教育議」論争（3）教育勅語の成立と修身科教育
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（９頁～１４頁）
第３回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－大正・昭和前期－
【内容・方法　等】 （1）大正新教育と修身科（2）総力戦体制下の教育と修身科
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（１４～１９頁）
第４回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－戦後から現在－
【内容・方法　等】 （1）修身科の廃止と教育勅語の取り扱い（2）社会科と新しい道徳教育（3）道徳教育の振興と特設道徳
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（１９頁～３８頁）
第５回 【授業テーマ】 学校道徳教育の計画・運営・実施について
【内容・方法　等】 （1）「道徳」の実施状況について　（2）「道徳」の時間と指導計画　（3）各教科・特別活動・総合的学習の時間との関係　（4）道徳教育推進教師の役割
【事前・事後学習課題】 予習：出身中学校における「道徳教育計画」をＨＰ等で調べておく。
第６回 【授業テーマ】 学習指導要領「道徳」の目的と内容
【内容・方法　等】 （1）学習指導要領「道徳」の目的　（2）「道徳」の内容分析　（3）指導上の留意点
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料の課題をしておく。教科書１３５頁～１４９頁を読んでおく。
第７回 【授業テーマ】 道徳性の発達と教育方法
【内容・方法　等】 （1）他律道徳から自律道徳へ　（2）ピアジェとコールバーグの発達段階論　（3）道徳的葛藤とシュチュエーションの創造　（4）モラルジレンマの授業
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（３９頁～７６頁）
第８回 【授業テーマ】 子どもの実態と道徳の授業
【内容・方法　等】 （1）子どもの価値意識－「実態調査」からー　（2）道徳の授業と教材　（3）道徳教育の方法と技術
【事前・事後学習課題】 予習：配付Excel Data の検討及び教科書（７７頁～９９頁）を読んでおく。
第９回 【授業テーマ】 道徳授業の創造と特別授業
【内容・方法　等】 （1）実感ある「道徳」授業の創造（2）ＤＶＤ視聴「特別授業　差別を知るーカナダのある小学校の試み」
【事前・事後学習課題】 ＤＶＤ視聴の感想文提出
第10回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想（1）
【内容・方法　等】 （1）「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「スタート台のわたし」（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配布教材に基づいた指導案の作成

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　155　2014/08/21　14:24:05

第11回　【授業テーマ】　「道徳」授業の構想(2)
【内容・方法　等】　（1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「じいちゃん長生きして」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】　予習：配付資料に基づいた指導案の作成
第12回　【授業テーマ】　「道徳」授業の構想(3)
【内容・方法　等】　（1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「アイバンク」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】　予習：配付資料に基づいた指導案の作成
第13回　【授業テーマ】　「道徳」授業の構想（4）
【内容・方法　等】　（1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「蜘蛛の糸」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】　予習・配付資料に基づいた指導案の作成
第14回　【授業テーマ】　「道徳」授業の構想（5）
【内容・方法　等】　（1））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「ぼくの名前呼んで」
（2）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】　予習：配付資料に基づいた指導案の作成
第15回　【授業テーマ】　討論　「現代に生きる子どもたちに考えてほしいこと・気づいてほしいことをめぐって」
【内容・方法　等】　（1）意見発表「道徳教育の研究を学んで」
（2）道徳教材「１００万回生きたねこ」をとおして
（3）質疑応答と課題の発見
【事前・事後学習課題】　討論資料の作成・準備

評価方法（基準）
定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…柴田義松編著『道徳の指導』（学文社）、1800円（本体）
文部科学省『中学校学習指導要領』平成20年、国立印刷局、232円（本体）
参考書…Ｌ．コールバーグ、永野重史監訳『道徳性の形成』新曜社

学生へのメッセージ
中学校時代の「道徳」の時間における学習体験を思いおこすとよい。道徳の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

関連科目
教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(村田研究室)

備考
共同担当者　橋本はる美

特別活動論
Extra-Curricular Activities

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
（1）人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要さが増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の３本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。（2）中学校，高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点
テキストやプリント教材等を中心に進めていく予定であるが、プレゼンテーションの力やまとめる力をつけるため、レポート作成や各自の中学校・高等学校時代の経験発表なども積極的に行う。よって、学生皆さんの主体的な授業への参加が求められる。

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　特別活動とは何か
【内容・方法　等】　・学校教育、および子どもたちを取り巻く現状と課題
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で配布）を読む（詳細は授業で指示する）。
第２回　【授業テーマ】　特別活動の意義と目標
【内容・方法　等】　・特別活動の教育的意義について
【事前・事後学習課題】　課題：テキストの該当箇所を読んでおくこと。
第３回　【授業テーマ】　特別活動の特質と活動内容
【内容・方法　等】　・特別活動が担う部分とは～その特質と活動内容について
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第４回　【授業テーマ】　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】　・学級会（ホームルーム）活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】　・生徒会活動の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法　等】　・学校行事の意義と目標、およびその指導計画
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第７回　【授業テーマ】　特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】　・学校教育における儀礼的行事・文化的行事・体育的行事・集団的行事等のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第８回　【授業テーマ】　特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】　・部活動について～そのねらいと教育的意義
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第９回　【授業テーマ】　特別活動における学校行事とボランティア活動
【内容・方法　等】　・ボランティア活動を含めた社会奉仕活動のねらいや効果と期待
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第10回　【授業テーマ】　特別活動の指導計画と配慮事項
【内容・方法　等】　・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第11回　【授業テーマ】　特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法　等】　・グループワークを行い、特別活動の指導計画を作成する際のポイントをまとめ、発表する。
【事前・事後学習課題】　課題：第10回までの授業内容を各自まとめてくる。
第12回　【授業テーマ】　特別活動の効果について
【内容・方法　等】　・特別活動を単なる「経験」に終わらせないための取り組みとしてのふりかえり（自己省察）と経験の共有、そして教師の役割について考える。
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第13回　【授業テーマ】　特別活動の課題とこれから
【内容・方法　等】　・中央教育審議会答申と特別活動の課題
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第14回　【授業テーマ】　特別活動の新たな動向
【内容・方法　等】　・教科教育との連環をめざして
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。
第15回　【授業テーマ】　特別活動の新たな展開
【内容・方法　等】　・地域社会と学校教育～連携と協同
【事前・事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験、レポート等及び授業態度、授業内での発表（プレゼン）等によって総合的に評価を行う。

教材等
教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（210円）

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　156　2014/08/21　14:24:05

参考書…白井慎他著『新特別活動―文化と自治の力を育てるために―』学文社
その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと（傾聴）」への理解が大切である。そのため、自身の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れていくことが望まれる。

関連科目
全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(大野研究室)

教育方法論
Studies of Educational Method

深　川　八　郎（フカガワ　ハチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
（１）学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。（２）そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

授業方法と留意点
"テキストを中心にプリント,視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　教育方法と教育実践
【内容・方法　等】　・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。
【事前・事後学習課題】　課題　大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
第２回　**【授業テーマ】**　教育方法と学びの指導
【内容・方法　等】　・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。
【事前・事後学習課題】　課題　志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
第３回　**【授業テーマ】**　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・近代以前の教育方法
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp7-8
第４回　**【授業テーマ】**　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・中世の教会と大学の教育
・宗教革命と印刷術の発明
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp8-9
第５回　**【授業テーマ】**　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・教育学の成立―コメニウス
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp10-12
第６回　**【授業テーマ】**　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・合自然の教育学―ペスタロッチ
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp12-14
第７回　**【授業テーマ】**　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・国民国家の教育学―ヘルバルトとヘルバルト主義
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp14-18
第８回　**【授業テーマ】**　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・子ども中心の教育と学びの共同体―デューイ
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp18-20
第９回　**【授業テーマ】**　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・効率主義の教育学―ボビットとチャーターズ
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp20-22
第10回　**【授業テーマ】**　日本の授業と授業研究（日本教育史を中心にして）
【内容・方法　等】　・授業の成立と制度化
・戦後の新教育
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp33-35
課題　テキストpp38-40
第11回　**【授業テーマ】**　授業の構想と計画(1)
【内容・方法　等】　・構想と計画の基本的視点
・指導案と教材研究
・教育における情報機器の活用
【事前・事後学習課題】　課題　指導案の作成(1)
第12回　**【授業テーマ】**　授業の構想と計画(2)
【内容・方法　等】　・授業と教授メディア
・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
【事前・事後学習課題】　課題　指導案の作成(2)
第13回　**【授業テーマ】**　授業の構想と計画(3)
【内容・方法　等】　・コンピュータを活用した授業デザイン
・授業改善の評価と方法
【事前・事後学習課題】　課題　コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ
第14回　**【授業テーマ】**　日本の授業と授業研究（戦後教育における校内研修を中心にして）
【内容・方法　等】　・授業研究と教職研修
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp40-46
第15回　**【授業テーマ】**　教職の専門性とは何か
【内容・方法　等】　・教師像の探究と実践的見識をめぐって
【事前・事後学習課題】　課題　テキストpp135-157

評価方法（基準）
定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

教材等
教科書…「教育方法学」佐藤　学著 岩波書店（2060円）
参考書…「教育の方法・技術」松平信久　横須賀薫編　教育出版(2000円)
その他授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

関連科目
教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(深川研究室)

生徒指導論（進路指導を含む）
Studies of Guidance and Counceling

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

授業方法と留意点
プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目
各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
生徒指導の目標と意義
【内容・方法　等】　科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自分の生徒指導上の体験のふりかえり
生徒指導の目標と意義
【事前・事後学習課題】　「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　157　2014/08/21　14:24:05

テキストpp.3-10
第２回　【授業テーマ】　生徒指導の実践
【内容・方法　等】　生徒指導の実践課題と領域
【事前・事後学習課題】　テキストpp.10-24
第３回　【授業テーマ】　生徒指導の理論（１）
【内容・方法　等】　理論の重要性
発達に関する理論
【事前・事後学習課題】　テキストpp.32-39
第４回　【授業テーマ】　生徒指導の理論（２）
【内容・方法　等】　生徒指導における治療的支援に関する理論
相談理論など
【事前・事後学習課題】　テキストpp.39-42
第５回　【授業テーマ】　生徒理解の進め方（１）
【内容・方法　等】　生徒理解の意義と目的
【事前・事後学習課題】　テキストpp.43-46
第６回　【授業テーマ】　生徒理解の進め方（２）
【内容・方法　等】　生徒理解の方法
生徒の自己理解の支援
【事前・事後学習課題】　テキストpp.46-56
第７回　【授業テーマ】　生徒理解の進め方（３）
【内容・方法　等】　教師の生徒認知のありよう
【事前・事後学習課題】　テキストpp.56-61
第８回　【授業テーマ】　中間試験
【内容・方法　等】　これまでの授業内容についての試験
【事前・事後学習課題】　前回までの復習
第９回　【授業テーマ】　学級経営の進め方（１）
【内容・方法　等】　学級経営の意義
学級集団の役割・機能
【事前・事後学習課題】　テキストpp.63-68
第10回　【授業テーマ】　学級経営の進め方（２）
【内容・方法　等】　学級集団の力学
学級経営の方法
【事前・事後学習課題】　テキストpp.68-74
第11回　【授業テーマ】　学級経営の進め方（３）
【内容・方法　等】　教師のリーダーシップ
【事前・事後学習課題】　テキストpp.74-79
第12回　【授業テーマ】　生徒指導上の諸問題の理解と対応
【内容・方法　等】　生徒指導上の諸問題とは
最近の諸問題の動向
諸問題にどう対応するか
【事前・事後学習課題】　生徒指導上の諸問題に関する配布資料
第13回　【授業テーマ】　進路指導の意義と課題
【内容・方法　等】　進路指導の意義と課題
進路指導に関する諸理論
【事前・事後学習課題】　テキストpp.135-159
第14回　【授業テーマ】　勤労観・職業観の形成と変容
【内容・方法　等】　青少年の勤労観・職業観
勤労観・職業観の形成と変容
【事前・事後学習課題】　テキストpp.176-195
第15回　【授業テーマ】　学校教育における進路指導の実践展開
【内容・方法　等】　進路指導における「ガイダンスの機能」
進路指導実践の展開モデル
【事前・事後学習課題】　テキストpp.215-234

評価方法（基準）
中間試験、定期試験の得点の他、レポートの内容、受講に係る積極的態度により、総合的に成績を判定します。定期試験を受験しなかった場合、成績判定はしません。

教材等
教科書…高橋超・石井眞治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房（2,500円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。
授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行おうとする者としての適格性が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教育相談（カウンセリングの基礎を含む）
School Counseling

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える.

授業方法と留意点
講義と演習を組み合わせて行う。

科目学習の効果（資格）
教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」４単位のうち２単位を充足。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目
各科目に含める必要事項：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業内容、授業の進め方、評価基準等について
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　カウンセリングの基礎
【内容・方法　等】　カウンセリングの基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド
【事前・事後学習課題】　テキスト第1章、第2章を読む
第３回　【授業テーマ】　グループ発表の準備
【内容・方法　等】　グループワーク
【事前・事後学習課題】　――――
第４回　【授業テーマ】　学校教育相談の全体像
【内容・方法　等】　校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法
【事前・事後学習課題】　テキスト第12章、第13章を読む
第５回　【授業テーマ】　学校におけるカウンセリング活動1
【内容・方法　等】　カウンセリング活動のいろいろ(1)……治療的カウンセリング活動、予防的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】　テキスト第10章を読む
第６回　【授業テーマ】　学校におけるカウンセリング活動2
【内容・方法　等】　カウンセリング活動のいろいろ(2)……開発的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】　テキスト第10章を読む
第７回　【授業テーマ】　パーソナリティ理解
【内容・方法　等】　パーソナリティを理解するために、パーソナリティ理解をゆがめるもの
【事前・事後学習課題】　――――
第８回　【授業テーマ】　問題の理解と対応1
【内容・方法　等】　問題とは何か、その原因・背景と対応、適応過程
【事前・事後学習課題】　テキスト第3章を読む
第９回　【授業テーマ】　問題の理解と対応2
【内容・方法　等】　ストレス、欲求不満，葛藤
【事前・事後学習課題】　テキスト第3章、第4章を読む
第10回　【授業テーマ】　心の発達と危機
【内容・方法　等】　認知の発達、自己意識の発達、道徳性の発達、仲間関係の発達
【事前・事後学習課題】　教育心理学の復習
第11回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際1
【内容・方法　等】　不登校……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第5章を読む
第12回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際2
【内容・方法　等】　いじめ……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第6章を読む
第13回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際3
【内容・方法　等】　学級崩壊・授業崩壊……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第7章を読む
第14回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際4
【内容・方法　等】　反社会的行動……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第8章を読む

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　158　2014/08/21　14:24:05

第15回　【授業テーマ】　教員のメンタル・ヘルス
【内容･方法　等】　教員自身が健康であるために，教員への対応
【事前･事後学習課題】　テキスト第14章を読む

評価方法（基準）
グループ発表50%　期末試験50%

教材等
教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫（編著）ミネルヴァ書房　(2200円)
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

関連科目
教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

担当者の研究室等
７号館３階（吉田研究室）

教育実習I
Teaching Practice I

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	1

授業概要・目的・到達目標
（1）教育実習校における実習に必要な教育実践の基本を理解して、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。（2）教育実習の実際についての情報を提供し、これらにもとづく討議ならびにビデオ等を用いた演習を交えて授業を展開する。（3）教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

授業方法と留意点
テキストを中心とした講義及び、視聴覚教材等を用いた演習方式で進める。授業構想等に関するレポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　教育実習の意義
【内容･方法　等】　（1）オリエンテーション（2）教育実習の目的と意義（3）免許制度の概要について
【事前･事後学習課題】　開拓した実習校における実習の基本情報を整理しておく。

第２回　【授業テーマ】　教育実習の現状について
【内容･方法　等】　（1）求められる教師と教員養成制度について（2）中学校／高等学校での教育実習とその課題について
【事前･事後学習課題】　教科書から教育実習の現状を整理しておく。

第３回　【授業テーマ】　教育実習の内容と形態等について
【内容･方法　等】　（1）教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について
（2）グループディスカッション・生徒の人権に配慮すること
【事前･事後学習課題】　教育実習にのぞむ姿勢、心がまえを整理し、紙に書いておく。

第４回　【授業テーマ】　教育実習の実際　（中学校）
【内容･方法　等】　（1）ビデオ教材を通して中学校での実習への理解を深める（2）意見交換及び討議
【事前･事後学習課題】　中学校の教育実習で不明な点を箇条書きにまとめ、討議に備える。

第５回　【授業テーマ】　教育実習の実際　（高等学校）
【内容･方法　等】　（1）ビデオ教材を通して、高等学校での実習への理解を深める　（2）意見交換及び討議
【事前･事後学習課題】　高等学校の教育実習で、不明な点を箇条書きにまとめ、討議に備える。

第６回　【授業テーマ】　授業の方法と技術
【内容･方法　等】　教育メディアの特徴と使い方について検討する。
【事前･事後学習課題】　教育メディアの多様性とその特徴についてまとめておく。

第７回　【授業テーマ】　学習指導案・授業シナリオづくり（1）
【内容･方法　等】　（1）授業の準備と配慮事項、（2）学習指導案の書き方、（3）教科指導の学習指導案の作成、板書計画
【事前･事後学習課題】　（1）教育実習で担当する科目の授業・単元を構想する。（2）教材を準備する。

第８回　【授業テーマ】　学習指導案・授業シナリオづくり（2）
【内容･方法　等】　授業の自己評価とその観点の作成・検討
【事前･事後学習課題】　よい授業とは何かを考え、評価の観点とポイントを考えておく。

第９回　【授業テーマ】　授業の構想発表（1）
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容･方法　等】　「わかる授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」のアイデア
【事前･事後学習課題】　「わかる授業」とは何かを考えておく。
「授業シナリオづくり」の試み
「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。

第10回　【授業テーマ】　授業の構想発表（2）
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容･方法　等】　「おもしろい授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」の試み
【事前･事後学習課題】　「おもしろい授業」とは何かを考えておく。「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。

第11回　【授業テーマ】　授業の構想発表（3）
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容･方法　等】　「役に立つ授業」の授業を考える。
「授業シナリオづくり」の試み
【事前･事後学習課題】　「役に立つ授業」とは何かを考えておく。「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。

第12回　【授業テーマ】　生徒の人権への配慮と特別支援教育
【内容･方法　等】　生徒の人権に配慮した指導と合理的配慮について検討する。
【事前･事後学習課題】　生徒の人権意識等の具体的問題例について考える。

第13回　【授業テーマ】　教科外教育活動を考える。
【内容･方法　等】　道徳の指導・特別教育活動等の指導について検討する。
【事前･事後学習課題】　教科外の教育活動の必要性と指導のポイントを整理しておく。

第14回　【授業テーマ】　実習中の勤務の要領
【内容･方法　等】　学校の一日、一週間の流れ、学校の組織と運営の概要について
【事前･事後学習課題】　実習校のホームページを参考に、学校の一日、一週間の流れを把握しておく。

第15回　【授業テーマ】　授業の記録と評価について
【内容･方法　等】　授業と授業研究・話し方、授業構成、板書、補助教材など評価の観点への理解を深める。
【事前･事後学習課題】　教育実習の総合的な理解と実務の実際を確認する。

評価方法（基準）
期末レポート、模擬授業、学習指導案の作成等に関わる評価を行う。

教材等
教科書…「教育実習の手引き」(摂南大学)「教育実習記録」(摂南大学)「新編教育実習の常識－事例にもとづく必修66項」教育実習を考える会編 蒼丘書林（740円）
参考書…授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、「学ぶこと」を通して「教えること」への実践的理解を深めることが大切である。また、「教育実習」はこれまでの学習の総まとめであることを自覚して、実習に備えること。

関連科目
教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(村田研究室)

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　159　2014/08/21　14:24:06

教育実習ⅡB
Teaching Practice Ⅱ B

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

「教育実習ⅡB」は、２週間以上の実習を行うもので、授業研究を主体とした実習である。（１）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（２）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（３）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（４）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

（１）教育実習校での実習を行う。（２）大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。（３）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　教育実習特別個人指導（４月）
【内容･方法　等】　教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前･事後学習課題】　個別の呼び出しに速やかに応じること

第２回　【授業テーマ】　教育実習事前指導（４月～５月）
【内容･方法　等】　教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前･事後学習課題】　申請書類等の記入・提出

第３回　【授業テーマ】　教育実習個人指導（４月～５月）
【内容･方法　等】　教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前･事後学習課題】　教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）

第４回　【授業テーマ】　前期教育実習開始（５月～６月）
【内容･方法　等】　実習校において授業を行なったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前･事後学習課題】　教材研究、学習指導案作成

第５回　【授業テーマ】　教育実習体験発表会（６月～７月）
【内容･方法　等】　教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前･事後学習課題】　体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出

第６回　【授業テーマ】　後期教育実習開始（９月～10月）
【内容･方法　等】　後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前･事後学習課題】　教材研究、学習指導案作成

第７回　【授業テーマ】　教育実習体験発表会（１０月）
【内容･方法　等】　後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前･事後学習課題】　体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出

第８回　【授業テーマ】　教育実習総括講義（１０月）
【内容･方法　等】　教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前･事後学習課題】　教育実習記録の提出

第９回　【授業テーマ】　教育実践指導（１月～３月）
【内容･方法　等】　教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前･事後学習課題】　指示された課題

第10回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第11回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第12回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第13回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第14回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第15回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第16回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第17回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第18回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第19回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第20回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第21回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第22回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第23回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第24回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第25回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第26回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第27回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第28回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第29回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第30回　【授業テーマ】　――――

評価方法（基準）

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

７号館３階

備考

（１）中学校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡA」「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から４単位以上、高校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から２単位以上修得することが必要。（２）中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　160　2014/08/21　14:24:06

教育実習III
Teaching Practice III

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において４週間以上の実習を行う。（１）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（２）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（３）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（４）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

（１）教育実習校での実習を行う。（２）大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。（３）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上選択必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　教育実習特別個人指導（４月）
【内容･方法　等】　教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前･事後学習課題】　個別の呼び出しに速やかに応じること

第２回　【授業テーマ】　教育実習事前指導（４月～５月）
【内容･方法　等】　教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前･事後学習課題】　申請書類等の記入・提出

第３回　【授業テーマ】　教育実習個人指導（４月～５月）
【内容･方法　等】　教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前･事後学習課題】　教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）

第４回　【授業テーマ】　前期教育実習開始（５月～６月）
【内容･方法　等】　実習校において授業を行なったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前･事後学習課題】　教材研究、学習指導案作成

第５回　【授業テーマ】　教育実習体験発表会（６月～７月）
【内容･方法　等】　教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前･事後学習課題】　体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出

第６回　【授業テーマ】　後期教育実習開始（９月～１０月）
【内容･方法　等】　後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前･事後学習課題】　教材研究、学習指導案作成

第７回　【授業テーマ】　教育実習体験発表会（１０月）
【内容･方法　等】　後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前･事後学習課題】　体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出

第８回　【授業テーマ】　教育実習総括講義（１０月）
【内容･方法　等】　教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前･事後学習課題】　教育実習記録の提出

第９回　【授業テーマ】　教育実践指導（１月～３月）
【内容･方法　等】　教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前･事後学習課題】　指示された課題

第10回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第11回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第12回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第13回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第14回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第15回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第16回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第17回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第18回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第19回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第20回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第21回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第22回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第23回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第24回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第25回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第26回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第27回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第28回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第29回　【授業テーマ】　――――
【内容･方法　等】　――――
【事前･事後学習課題】　――――

第30回　【授業テーマ】　――――

評価方法（基準）

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

７号館３階

備考

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　161　2014/08/21　14:24:06

教職実践演習（中・高）
Practicum in Prospective Teachers

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

○教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。
○中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。
○教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。
○教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

授業方法と留意点

○教職課程の専任教員４名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。１グループは15～20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。
○大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

科目学習の効果（資格）

○教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目（教職実践演習を除く。）の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。
○2013年度から４年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　「教職実践演習」のガイダンス
【内容・方法　等】　・科目の目的、内容方法についての確認
・各自の教育実習後の課題についての確認
・３回以降のグループ学習の各課題の確認
【事前・事後学習課題】　・教育実習ノートの点検と再確認

第２回　**【授業テーマ】**　専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法　等】　・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。
【事前・事後学習課題】　・専攻教科における分野ごとの課題を整理

第３回　**【授業テーマ】**　専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法　等】　・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。
【事前・事後学習課題】　・専攻教科における分野ごとの課題を整理

第４回　**【授業テーマ】**　生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法　等】　地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。
【事前・事後学習課題】　中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる

第５回　**【授業テーマ】**　生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法　等】　地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】　中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる

第６回　**【授業テーマ】**　生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法　等】　地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】　中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる

第７回　**【授業テーマ】**　教育格差：子どもの貧困と学力格差
【内容・方法　等】　近年の経済状況が子どもたちの生活、学力にどのような影響をもたらしているのか。
また、その結果子どもたちのあいだで広がったとされる教育格差は何を意味するのかについて講義、およびディスカッションを通して理解する。
そして、こうした社会状況に学校教育は、教師はどのように対応していく必要があるのかについても議論する。
【事前・事後学習課題】　第一回目の授業で配布する資料を読み、Ａ４サイズの用紙１枚（1200字程度）にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。

第８回　**【授業テーマ】**　学校の中のマイノリティ：外国にルーツをもつ子どもたち
【内容・方法　等】　1990年代以降、日本の入国管理政策の転換により、多くの外国人が家族とともに渡日するようになった。
それに伴い多くの外国人の子どもたちは日本の学校へ通うことになったが、彼らは日本語の問題や日本特有の学校文化など様々な問題に直面することとなった。
ここでは外国にルーツをもつ子どもたちの視点から日本の学校教育制度について講義、およびディスカッションを通して考えていく。
【事前・事後学習課題】　第一回目の授業で配布する資料を読み、Ａ４サイズの用紙１枚（1200字程度）にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。

第９回　**【授業テーマ】**　カウンセリングマインドと生徒対応
【内容・方法　等】　カウンセリングの技法を生徒への対応,保護者への対応に応用する
(ロールプレイ)
【事前・事後学習課題】　（事前）カウンセリングマインドについての復習
（事後）小レポート

第10回　**【授業テーマ】**　「自分」を知る
【内容・方法　等】　教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り，そのための１方法としてのエゴグラム作成を行う
【事前・事後学習課題】　（事前）「自分」について考える
（事後）小レポート

第11回　**【授業テーマ】**　いじめの現状
【内容・方法　等】　問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前・事後学習課題】　(事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出

第12回　**【授業テーマ】**　いじめ問題への取り組み
【内容・方法　等】　日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前・事後学習課題】　(事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出

第13回　**【授業テーマ】**　教育実習と「道徳」の授業について―課題の確認―
【内容・方法　等】　教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論
―教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う―
【事前・事後学習課題】　事前：教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。
事後：話し合いから学んだことをまとめる。

第14回　**【授業テーマ】**　「道徳」の模擬授業と授業検討
―「道徳」授業のポイント確認―
【内容・方法　等】　受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。
【事前・事後学習課題】　事前：代表者による模擬授業（３０分）の実施準備を行う。
事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。

第15回　**【授業テーマ】**　授業改革と人権教育(元校長との研究交流)
総括レポートの作成
【内容・方法　等】　・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ
・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る
・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。
【事前・事後学習課題】　レポート作成

評価方法（基準）

教職教室教員４名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。

教材等

教科書…「教育実習記録」(摂南大学)
教育実習で使用した各教科書・教材
参考書…資料等は授業中に適宜配布

学生へのメッセージ

教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしながら、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力量を身に付けること。

関連科目

全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目

担当者の研究室等

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd　162　2014/08/21　14:24:06

教職教室(7号館3階)
吉田佐治子、村田俊明、朝日素明、大野順子

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd 163 2014/08/21 14:24:06

145-164_130_経営情報学部-1330_経営学科-06_教職科目.indd 164 2014/08/21 14:24:06

経営学
Business Administration

岩　田　　浩（イワタ　ヒロシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標
私たちの暮らしと企業との関わりを考察したうえで、企業経営の仕組みとその運営の仕方について基礎から学んでいく。こうした考察を通して、経営学に関する基本的な知識を養うことをめざしていく。

授業方法と留意点
教科書を中心に補足説明を加える形で講義する。

科目学習の効果（資格）
経営学検定、中小企業診断士、販売士、公認会計士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業についてのガイダンスを行う。
【事前・事後学習課題】　シラバスをあらかじめ読んでおくこと。
第２回　【授業テーマ】　生活を支える企業（１）
【内容・方法　等】　企業が私たちの生活を支えていることを確認しつつ、企業経営が発展したことの意味について考えていく
【事前・事後学習課題】　教科書第１章と今回の講義の論点整理
第３回　【授業テーマ】　生活を支える企業（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第１章と今回の講義の論点整理
第４回　【授業テーマ】　環境の変化と企業経営（１）
【内容・方法　等】　企業とそれを取り巻く環境の変化を歴史的に辿りながら、企業経営の今後の方向性を探る
【事前・事後学習課題】　教科書第２章と今回の講義の論点整理
第５回　【授業テーマ】　環境の変化と企業経営（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第２章と今回の講義の論点整理
第６回　【授業テーマ】　現代の企業社会と経営学を学ぶ意義（１）
【内容・方法　等】　日本の企業社会の変遷を学びながら、経営学を学習する意義を探る
【事前・事後学習課題】　教科書第３章と今回の講義の論点整理
第７回　【授業テーマ】　現代の企業社会と経営学を学ぶ意義（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第３章と今回の講義の論点整理
第８回　【授業テーマ】　企業は誰が経営し、動かしているのか（１）
【内容・方法　等】　株式会社の支配と統治についての基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第４章と今回の講義の論点整理
第９回　【授業テーマ】　企業は誰が経営し、動かしているのか（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第４章と今回の講義の論点整理
第10回　【授業テーマ】　企業の目標と戦略（１）
【内容・方法　等】　企業活動がめざす目標と戦略についての基礎を学んでいく
【事前・事後学習課題】　教科書第５章と今回の講義の論点整理
第11回　【授業テーマ】　企業の目標と戦略（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第５章と今回の講義の論点整理
第12回　【授業テーマ】　経営資源（１）
【内容・方法　等】　企業活動にとって不可欠な経営資源について学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第６章と今回の講義の論点整理
第13回　【授業テーマ】　経営資源（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第６章と今回の講義の論点整理
第14回　【授業テーマ】　企業の組織と管理（１）
【内容・方法　等】　企業組織の編成と管理に関する基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第７章と今回の講義の論点整理
第15回　【授業テーマ】　企業の組織と管理（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第７章と今回の講義の論点整理
第16回　【授業テーマ】　情報と意思決定（１）
【内容・方法　等】　企業活動における情報の役割を意思決定の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第８章と今回の講義の論点整理
第17回　【授業テーマ】　情報と意思決定（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第８章と今回の講義の論点整理
第18回　【授業テーマ】　企業の競争と戦略（１）
【内容・方法　等】　企業の競争戦略の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第９章と今回の講義の論点整理
第19回　【授業テーマ】　企業の競争と戦略（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第９章と今回の講義の論点整理
第20回　【授業テーマ】　企業のマーケティング（１）
【内容・方法　等】　企業のマーケティング活動の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第10章と今回の講義の論点整理
第21回　【授業テーマ】　企業のマーケティング（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第10章と今回の講義の論点整理
第22回　【授業テーマ】　企業の研究開発と生産管理（１）
【内容・方法　等】　企業の研究開発と生産管理の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第11章と今回の講義の論点整理
第23回　【授業テーマ】　企業の研究開発と生産管理（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第11章と今回の講義の論点整理
第24回　【授業テーマ】　企業の財務管理（１）
【内容・方法　等】　企業の資金調達とその運用の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第12章と今回の講義の論点整理
第25回　【授業テーマ】　企業の財務管理（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第12章と今回の講義の論点整理
第26回　【授業テーマ】　企業の人的資源管理（１）
【内容・方法　等】　企業の人材活用の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第13章と今回の講義の論点整理
第27回　【授業テーマ】　企業の人的資源管理（２）
【内容・方法　等】　前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第13章と今回の講義の論点整理
第28回　【授業テーマ】　企業文化（１）
【内容・方法　等】　企業文化の意義と機能について学ぶ
【事前・事後学習課題】　教科書第14章と今回の講義の論点整理
第29回　【授業テーマ】　企業文化（２）
【内容・方法　等】　前回の続き前回の続き
【事前・事後学習課題】　教科書第14章と今回の講義の論点整理
第30回　【授業テーマ】　総括

評価方法（基準）
試験の成績により評価する。

教材等
教科書…片岡・齊藤・佐々木・高橋・渡辺著「はじめて学ぶ人のための経営学ver.2」文眞堂、2,500円。
参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
各単元ごとに小テストを実施する。連続性のある講義なので出席するのが望ましい。

関連科目
経営管理論、経営組織論

担当者の研究室等
１１号館８階(個人研究室)

企業簿記
Bookkeeping

石　橋　康　男（イシバシ　ヤスオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標
この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点
日商簿記3級検定試験の合格を目的とはせず、あくまでも簿記の基礎を習得することを目的とする。また簿記は実務に直結する科目でもあるため、実務的な視点からも説明する。簿記の習得には、頭で考えるだけでなく手を動かす、即ち練習問題を実際に解いていくことが重要である。そのため、ただ講義を聴くだけでなく、与えられた練習問題を必ず解いていくこと。

科目学習の効果（資格）
会計関連科目を学ぶためには必ず習得しておかなければならない科目である。また日本商工会議所簿記検定試験並びに公認会計士、税理士、中小企業診断士などの資格試験への第一歩となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　簿記の基礎①
【内容・方法　等】　簿記とは、会計期間など
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ2～Ｐ4
第２回　【授業テーマ】　簿記の基礎②
【内容・方法　等】　貸借対照表と損益計算書
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ3～Ｐ9
第３回　【授業テーマ】　日常の取引①
【内容・方法　等】　勘定、仕訳、転記
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ10～Ｐ21
第４回　【授業テーマ】　日常の取引②
【内容・方法　等】　仕訳帳、総勘定元帳、試算表
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ21～Ｐ33

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　167　　2014/08/21　14:24:21

第５回　【授業テーマ】　商品売買①
【内容・方法　等】　三分法、掛けによる売買
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ34～Ｐ39
第６回　【授業テーマ】　商品売買②
【内容・方法　等】　返品・値引き、諸掛り
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ40～Ｐ46
第７回　【授業テーマ】　商品売買③
【内容・方法　等】　売掛金元帳、買掛金元帳、商品有高帳、収益と費用の諸勘定
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ47～Ｐ55
第８回　【授業テーマ】　現金
【内容・方法　等】　現金の受け払い、現金過不足の処理
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ56～Ｐ61
第９回　【授業テーマ】　当座預金
【内容・方法　等】　当座預金の受け払い、当座借越
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ62～Ｐ69
第10回　【授業テーマ】　小口現金
【内容・方法　等】　小口現金の制度、小口現金の処理、小口現金出納帳
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ70～Ｐ77
第11回　【授業テーマ】　手形①
【内容・方法　等】　約束手形、為替手形
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ78～Ｐ85
第12回　【授業テーマ】　手形②
【内容・方法　等】　手形の裏書、手形の割引、受取手形記入帳、支払手形記入帳
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ86～Ｐ93
第13回　【授業テーマ】　その他の期中取引①
【内容・方法　等】　貸付金、借入金、手形貸付金、手形借入金、未収金、未払金、前払金、前受金
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ94～Ｐ104
第14回　【授業テーマ】　その他の期中取引②
【内容・方法　等】　仮払金、仮受金、立替金、預り金、商品券、他店商品券
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ105～Ｐ115
第15回　【授業テーマ】　その他の期中取引③
【内容・方法　等】　固定資産、有価証券
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ116～Ｐ123
第16回　【授業テーマ】　その他の期中取引④
【内容・方法　等】　租税公課、引出金、総勘定元帳と補助簿
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ124～Ｐ131
第17回　【授業テーマ】　試算表の種類
【内容・方法　等】　合計試算表、残高試算表、合計残高試算表
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ132～Ｐ143
第18回　【授業テーマ】　決算の手続き①
【内容・方法　等】　決算とは、簿記一巡の手続き、決算整理、精算表
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ144～Ｐ149
第19回　【授業テーマ】　決算の手続き②
【内容・方法　等】　有価証券の評価替え、現金過不足の整理、消耗品の整理
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ150～Ｐ158
第20回　【授業テーマ】　決算の手続き③
【内容・方法　等】　売上原価の計算
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ159～Ｐ165
第21回　【授業テーマ】　決算の手続き④
【内容・方法　等】　固定資産の減価償却、固定資産の売却
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ166～Ｐ173
第22回　【授業テーマ】　決算の手続き⑤
【内容・方法　等】　貸倒れ、貸倒引当金の見積り、貸倒引当金の設定
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ174～Ｐ179
第23回　【授業テーマ】　決算の手続き⑥
【内容・方法　等】　費用・収益の繰延べ
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ180～Ｐ185
第24回　【授業テーマ】　決算の手続き⑦
【内容・方法　等】　費用・収益の見越し
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ186～Ｐ193
第25回　【授業テーマ】　決算の手続き⑧
【内容・方法　等】　精算表の作成①
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ194～Ｐ197
第26回　【授業テーマ】　決算の手続き⑨
【内容・方法　等】　精算表の作成②
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ194～Ｐ197
第27回　【授業テーマ】　決算の手続き⑩
【内容・方法　等】　勘定の締め切り
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ198～Ｐ206
第28回　【授業テーマ】　決算の手続き⑪
【内容・方法　等】　財務諸表の作成
【事前・事後学習課題】　教科書Ｐ207～Ｐ211
第29回　【授業テーマ】　復習①
【内容・方法　等】　重要な項目を再度説明する
【事前・事後学習課題】　教科書
第30回　【授業テーマ】　復習②

評価方法（基準）
学期末試験の結果により評価する。

教材等
教科書…「合格テキスト日商簿記3級」ＴＡＣ出版（2,000円　税別）
参考書…練習問題のプリントを配布

学生へのメッセージ
簿記は毎回の授業の積み重ねにより習得していくものです。何らかの理由で受講できなかった単元がある場合、教科書を読むなり又は友人に聞くなどして、必ずその単元を補ってください。

関連科目
財務会計論、原価計算論、会計情報論等。

担当者の研究室等
11号館6階(非常勤講師室)

コンピュータ概論
Computer Science

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
本講義は、現代社会を支える重要な社会基盤となったコンピュータおよびインターネットについて、その機能と仕組みを理解し、利用者として賢く利用していく方法について学ぶことを目的としている。前期では、コンピュータによってもたらされている現代社会の利便性の向上について考えると共に、情報に関する概念や表現方法、コンピュータの構成要素である論理回路や５大機能、コンピュータを制御するソフトウェアやプログラミング言語など、コンピュータに関する基礎的な知識の習得を目指す。後期では、インターネットの歴史、通信技術の仕組みや急速な勢いで展開される情報サービスの特徴や最新動向およびその利用方法などについて、適時、デモンストレーションや映像教材の視聴を行いながら解説していく。

授業方法と留意点
プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行う。定期的に小テストを実施する。

科目学習の効果（資格）
ＩＴパスポート試験・基本情報技術者試験などIT系の資格を取得するのに重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション（コンピュータ概論（前期）について）
【内容・方法　等】　講義の狙い、進め方について
【事前・事後学習課題】　シラバスを読んでおくこと
第２回　【授業テーマ】　コンピュータの活用（１）
【内容・方法　等】　現在のコンピュータ利用についての紹介
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第３回　【授業テーマ】　コンピュータの活用（２）
【内容・方法　等】　コンピュータを利用した学習や生活の変化
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第４回　【授業テーマ】　企業のIT活用（１）
【内容・方法　等】　企業におけるIT利活用の実状、その必要性について
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第５回　【授業テーマ】　企業のIT活用（２）
【内容・方法　等】　情報化社会のビジネスチャンスについて
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第６回　【授業テーマ】　コンピュータの歴史
【内容・方法　等】　コンピュータが登場した背景と発展の経緯
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第７回　【授業テーマ】　ソフトウェアの歴史
【内容・方法　等】　プログラミング言語の発展からオペレーティングシステムの発展について
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
第８回　【授業テーマ】　情報の表現（１）

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　168　2014/08/21　14:24:21

【内容・方法　等】　２進数の表現
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：テストの解答内容を見直しておくこと。

第９回　【授業テーマ】　情報の表現（２）
【内容・方法　等】　画像や音声の圧縮について
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第10回　【授業テーマ】　ハードウェアの仕組み（１）
【内容・方法　等】　システムの構成について
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第11回　【授業テーマ】　ハードウェアの仕組み（２）
【内容・方法　等】　記憶装置や記録方式について
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第12回　【授業テーマ】　ソフトウェアの役割（１）
【内容・方法　等】　プログラムの必要性、開発方法について
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第13回　【授業テーマ】　ソフトウェアの役割（２）
【内容・方法　等】　データベースの設計について
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第14回　【授業テーマ】　情報倫理と情報セキュリティ
【内容・方法　等】　個人のセキュリティ対策、情報モラルと著作権などについて
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第15回　【授業テーマ】　前期のまとめ
【内容・方法　等】　----------
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第16回　【授業テーマ】　コンピュータ概論（後期）について
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・インターネットが社会にもたらしたもの
・本講義の進め方
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第17回　【授業テーマ】　インターネットの歴史
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・インターネットの歴史
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第18回　【授業テーマ】　未来の情報社会
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・次世代情報通信技術
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第19回　【授業テーマ】　インターネットのサービス類型
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・インターネットを基盤とした各種サービス
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第20回　【授業テーマ】　インターネット・ビジネスの市場と動向
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・情報通信産業の規模，市場動向
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第21回　【授業テーマ】　マーケティングとIT（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・マーケティングとメディア
・これからのマーケティングと情報通信技術
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第22回　【授業テーマ】　マーケティングとIT（２）
【内容・方法　等】　中間まとめとテスト
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：テストの解答内容を見直しておくこと。

第23回　【授業テーマ】　インターネットの仕組み（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・コンピュータの基本構造
・インターネットの基本的仕組み
・HTTP
・メールの送受信とSMTPの仕組み
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第24回　【授業テーマ】　インターネットの仕組み（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・インターネットの要素技術
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第25回　【授業テーマ】　モバイル通信の仕組み（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・移動体情報通信とは
・携帯電話で通話できる仕組み
・モバイルキャリア
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第26回　【授業テーマ】　モバイル通信の仕組み（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・無線LAN
・データ通信
・スマートフォン
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第27回　【授業テーマ】　ソーシャルメディア（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第28回　【授業テーマ】　ソーシャルメディア（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第29回　【授業テーマ】　メディアリスクと企業対応
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・企業のソーシャルメディア活用の失敗と対応事例
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第30回　【授業テーマ】　後期のまとめ

評価方法（基準）
前期：定期テスト80%、レポート等20%で評価する。
後期：定期テスト80%、レポート20%で評価する。なお出席が40%に満たない場合は評価の対象としない。
私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等
教科書…講義にて指定する。
参考書…適時、配布する。

学生へのメッセージ
受け身の姿勢では何も身につきません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目
情報関連科目全般

担当者の研究室等
前期：１１号館７階（久保准教授室）
後期：１１号館７階（針尾准教授室）

備考
シラバスの内容については、受講生の理解の程度、関心に合わせて適時調整する。

C言語プログラミング
C Programming

牧　野　　純（マキノ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標
コンピュータを理解するためにはプログラミングの学習が欠かせない.「プログラミング基礎」の授業では，C言語を用いた基礎的なプログラミングを通して，コンピュータの構造と動作に

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　169　　2014/08/21　14:24:21

ついて理解を深めた．この授業ではＣ言語についてさらに学習を進め，プログラミングの技術を高める．Ｃ言語の文法の基礎的な部分をマスターし，簡単なプログラムが自由に書けるようになることを目標とする．

授業方法と留意点

内容の解説と演習による．欠席や遅刻は授業の理解を著しく妨げる．

科目学習の効果（資格）

基本情報技術者試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 Cによるプログラミング
【内容･方法　等】 プログラミング作業の流れ，プログラムの書き方
【事前･事後学習課題】 プリント（１）の練習問題

第２回　【授業テーマ】 文字列の表示
【内容･方法　等】 文字列リテラル，拡張表記，コメント
【事前･事後学習課題】 プリント（２）の練習問題

第３回　【授業テーマ】 値の表示
【内容･方法　等】 整数値の表示，実数値の表示，四則演算
【事前･事後学習課題】 プリント（３）の練習問題

第４回　【授業テーマ】 変数
【内容･方法　等】 型，変数，代入，キーボードからの読み込み
【事前･事後学習課題】 プリント（４）の練習問題

第５回　【授業テーマ】 if文
【内容･方法　等】 if文，if文の入れ子，条件を表す式，ブロック
【事前･事後学習課題】 プリント（５）の練習問題

第６回　【授業テーマ】 switch文と条件演算子
【内容･方法　等】 switch文，条件演算子
【事前･事後学習課題】 プリント（６）の練習問題

第７回　【授業テーマ】 while文とdo文
【内容･方法　等】 while文，do文，増分演算子，減分演算子
【事前･事後学習課題】 プリント（７）の練習問題

第８回　【授業テーマ】 for文
【内容･方法　等】 for文，複合代入演算子
【事前･事後学習課題】 プリント（８）の練習問題

第９回　【授業テーマ】 多重ループ
【内容･方法　等】 二重ループ，多重ループ
【事前･事後学習課題】 プリント（９）の練習問題

第10回　【授業テーマ】 break文とcontinue文とgoto文
【内容･方法　等】 break文，continue文，goto文
【事前･事後学習課題】 プリント（１０）の練習問題

第11回　【授業テーマ】 配列
【内容･方法　等】 配列，配列要素，添字，配列の初期化
【事前･事後学習課題】 プリント（１１）の練習問題

第12回　【授業テーマ】 多次元配列
【内容･方法　等】 2次元配列，多次元配列
【事前･事後学習課題】 プリント（１２）の練習問題

第13回　【授業テーマ】 関数（1）
【内容･方法　等】 標準ライブラリ関数の呼び出し，関数定義と関数呼び出し，関数プロトタイプ宣言
【事前･事後学習課題】 プリント（１３）の練習問題

第14回　【授業テーマ】 関数（2）
【内容･方法　等】 返却値のない関数，変数の有効範囲と寿命
【事前･事後学習課題】 プリント（１４）の練習問題

第15回　【授業テーマ】 関数演習
【内容･方法　等】 関数を作成し，利用するプログラムの練習
【事前･事後学習課題】 プリント（１５）の練習問題

第16回　【授業テーマ】 マクロ
【内容･方法　等】 オブジェクト形式マクロ，関数形式マクロ
【事前･事後学習課題】 プリント（１６）の練習問題

第17回　【授業テーマ】 再帰関数
【内容･方法　等】 再帰呼出し，再帰関数
【事前･事後学習課題】 プリント（１７）の練習問題

第18回　【授業テーマ】 ポインタ
【内容･方法　等】 アドレス演算子，ポインタ変数，間接参照演算子
【事前･事後学習課題】 プリント（１８）の練習問題

第19回　【授業テーマ】 関数とポインタ（1）
【内容･方法　等】 関数に変数を渡したい
【事前･事後学習課題】 プリント（１９）の練習問題

第20回　【授業テーマ】 関数とポインタ（2）
【内容･方法　等】 複数の値を戻したい
【事前･事後学習課題】 プリント（２０）の練習問題

第21回　【授業テーマ】 配列とポインタ
【内容･方法　等】 ポインタとしての配列名，配列を関数に渡したい
【事前･事後学習課題】 プリント（２１）の練習問題

第22回　【授業テーマ】 文字と文字列
【内容･方法　等】 char型と文字定数，文字の入出力，文字列と文字列リテラル，文字配列の初期化，文字列の入出力
【事前･事後学習課題】 プリント（２２）の練習問題

第23回　【授業テーマ】 文字列とポインタ
【内容･方法　等】 配列を用いた文字列の表現，ポインタを用いた文字列の表現，関数に文字列を渡す，関数から文字列を受け取る
【事前･事後学習課題】 プリント（２３）の練習問題

第24回　【授業テーマ】 文字と文字列の標準ライブラリ関数
【内容･方法　等】 文字処理関数，文字列処理関数
【事前･事後学習課題】 プリント（２４）の練習問題

第25回　【授業テーマ】 構造体
【内容･方法　等】 構造体，構造体の配列とポインタ
【事前･事後学習課題】 プリント（２５）の練習問題

第26回　【授業テーマ】 動的メモリ割り付け
【内容･方法　等】 動的なメモリ割り付け，割り付けたメモリの解放
【事前･事後学習課題】 プリント（２６）の練習問題

第27回　【授業テーマ】 ファイル
【内容･方法　等】 逐次アクセス，ランダムアクセス
【事前･事後学習課題】 プリント（２７）の練習問題

第28回　【授業テーマ】 コマンドラインパラメータ
【内容･方法　等】 コマンドラインパラメータ，データ変換のライブラリ関数
【事前･事後学習課題】 プリント（２８）の練習問題

第29回　【授業テーマ】 総合演習（1）
【内容･方法　等】 タイプ練習ソフトの作成
【事前･事後学習課題】 プリント（２９）の練習問題

第30回　【授業テーマ】 総合演習（2）

評価方法（基準）

授業中に課せられる課題の提出（５０％）と，随時実施する小テスト（５０％）で評価する．

教材等

教科書…なし
参考書…柴田望洋「新版 明解Ｃ言語 入門編」ソフトバンク（2310円）

学生へのメッセージ

毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる．

関連科目

「プログラミング基礎」

担当者の研究室等

11号館7階(牧野(純)教授室)

基本情報処理I
Basic Information Processing I

皆　川　健多郎(ミナガワ　ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では，表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により，情報処理の基本的な部分の習得を目的としている．そして，卒業研究やビジネスの場において活用できるよう技能の習得を目指す．

授業方法と留意点

コンピュータを使用した実習を行う．習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある．

科目学習の効果（資格）

Microsoft Office Specialist　(Excel)に関する基本的な内容

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 Excelの基礎知識
【内容･方法　等】 データの入力
【事前･事後学習課題】 ――――

第２回　【授業テーマ】 ワークシートの活用（1）
【内容･方法　等】 ワークシートの編集，初歩的な関数
【事前･事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること

第３回　【授業テーマ】 ワークシートの活用（2）
【内容･方法　等】 相対参照と絶対参照
【事前･事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること

第４回　【授業テーマ】 ワークシートの活用（3）
【内容･方法　等】 基礎的な関数，条件の判定
【事前･事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること

第５回　【授業テーマ】 グラフ（1）
【内容･方法　等】 基本的なグラフ作成
【事前･事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること

第６回　【授業テーマ】 グラフ（2）
【内容･方法　等】 応用的なグラフ作成
【事前･事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習す

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　170　2014/08/21　14:24:22

ること
第７回　【授業テーマ】　データベース（１）
【内容・方法　等】　データベースの入門
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第８回　【授業テーマ】　データベース（２）
【内容・方法　等】　データの並べ替え，検索，抽出
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第９回　【授業テーマ】　データベース（３）
【内容・方法　等】　データの集計
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第10回　【授業テーマ】　データベース（４）
【内容・方法　等】　データの解析
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第11回　【授業テーマ】　Excelの応用（１）
【内容・方法　等】　順位付けの関数
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第12回　【授業テーマ】　Excelの応用（２）
【内容・方法　等】　行・列の検索
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第13回　【授業テーマ】　Excelの応用（３）
【内容・方法　等】　文字列の操作
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第14回　【授業テーマ】　Excelの応用（４）
【内容・方法　等】　条件付き集計
【事前・事後学習課題】　教科書を用いて学習した内容を復習すること
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　復習
【事前・事後学習課題】　――――
評価方法（基準）
毎週の課題の提出状況により判断する
教材等
教科書…『30時間でマスターExcel2010―Windows7対応』実教出版，2010.（900円）
参考書…なし
学生へのメッセージ
積極的に手を動かして課題をおこなって，使い方を身に着けていくことを期待します.
関連科目
情報処理基礎，プログラミング基礎，基本情報処理II
担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

基本情報処理II
Basic Information Processing II
皆　川　健多郎(ミナガワ　ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では，表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により，情報処理の基本的な部分の習得を目的としている．さまざまな観点からデータの集計を行い，分析できるよう手法の学習を行う.
授業方法と留意点
コンピュータを使用した実習を行う．習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある.
科目学習の効果（資格）
Microsoft Office Specialist　(Excel)に関する基本的な内容
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　Excelの基礎知識の確認
【内容・方法　等】　操作方法の確認
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　データベースの活用（１）
【内容・方法　等】　データの並び替えと抽出
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第３回　【授業テーマ】　データベースの活用（２）
【内容・方法　等】　ピボットテーブル・データの解析
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第４回　【授業テーマ】　データベースの活用（３）
【内容・方法　等】　ピボットテーブル・データの解析
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第５回　【授業テーマ】　課題演習
【内容・方法　等】　ピボットテーブル
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第６回　【授業テーマ】　グラフの活用（１）
【内容・方法　等】　グラフの書式設定・印刷
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第７回　【授業テーマ】　グラフの活用（２）
【内容・方法　等】　グラフ機能の応用
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第８回　【授業テーマ】　グラフの活用（３）
【内容・方法　等】　図形の操作
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第９回　【授業テーマ】　課題演習
【内容・方法　等】　グラフ
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第10回　【授業テーマ】　マクロの作成（１）
【内容・方法　等】　マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第11回　【授業テーマ】　マクロの作成（２）
【内容・方法　等】　マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第12回　【授業テーマ】　マクロの作成（３）
【内容・方法　等】　マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第13回　【授業テーマ】　練習問題
【内容・方法　等】　課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第14回　【授業テーマ】　練習問題
【内容・方法　等】　課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】　参考書などを用いて学習した内容を復習すること
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　復習
【事前・事後学習課題】　――――
評価方法（基準）
毎週の課題提出状況により判断する
教材等
教科書…『30時間でマスターExcel2007 VBA』実教出版
参考書…『30時間でマスターExcel2010―Windows7対応』実教出版，2010.（900円）
学生へのメッセージ
言われたとおりにExcelを操作していくのではなく，自分で考えてExcelのシートを構成していくことを期待します.
関連科目
情報処理基礎，プログラミング基礎，基本情報処理I
担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

応用情報処理I
Applied Information Processing I
藤　木　健　史（フジキ　タケフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
プレゼンテーションソフトは、研究成果や調査結果の報告、商品企画の発表など、様々な用途で用いられており、コンピュータ社会にとって重要なツールである。本講義では、プレゼンテーションソフトを応用的に活用するスキルを学ぶ。
授業方法と留意点
毎回コンピュータによる実習を行い，関連する演習課題に取り組む．習熟度合いに応じて，講義内容は適宜変更する場合がある.
科目学習の効果（資格）
ビジネスシーンを想定したスライド作成スキル以外に、簡易的な画像処理技術、ポスター制作スキルなども習得できる。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業の進め方、評価方法要
【事前・事後学習課題】　特になし
第２回　【授業テーマ】　PowerPoint基本操作１

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　171　2014/08/21　14:24:22

【内容・方法　等】 基本操作の復習
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第３回 【授業テーマ】 PowerPoint基本操作２
【内容・方法　等】 基本操作の復習
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第４回 【授業テーマ】 PowerPoint　スライド作成１
【内容・方法　等】 PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第５回 【授業テーマ】 PowerPoint　スライド作成２
【内容・方法　等】 PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第６回 【授業テーマ】 PowerPoint　スライド作成３
【内容・方法　等】 PowerPointのスライド作成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第７回 【授業テーマ】 製作発表１
【内容・方法　等】 各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第８回 【授業テーマ】 PowerPoint　画像処理１
【内容・方法　等】 PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第９回 【授業テーマ】 PowerPoint　画像処理２
【内容・方法　等】 PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第10回 【授業テーマ】 PowerPoint　画像処理３
【内容・方法　等】 PowerPointを活用した画像処理を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第11回 【授業テーマ】 PowerPoint　応用１
【内容・方法　等】 PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第12回 【授業テーマ】 PowerPoint　応用２
【内容・方法　等】 PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第13回 【授業テーマ】 PowerPoint　応用３
【内容・方法　等】 PowerPoint, Word, Excel　などを連携した応用を学ぶ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第14回 【授業テーマ】 製作発表２
【内容・方法　等】 各自作成した課題を発表する
【事前・事後学習課題】 該当する項目について配布資料をもとに復習を行う
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 まとめ、およびフォローアップを行う
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法（基準）
出席点、課題点をもとに評価する。この授業は演習中心であるため、出席および課題提出が単位取得の必要条件となります。

教材等
教科書…電子ファイルを資料として配布します。
参考書…指定しない.

学生へのメッセージ
毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，可能な限り欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解が困難となる．もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと.

関連科目
情報処理基礎、ビジネス情報処理Ⅱ

担当者の研究室等
11号館6階　経営学部事務室

応用情報処理II
Applied Information Processing II

藤　木　健　史（フジキ　タケフミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では，これまで学習してきたExcelの知識を基礎とし，より大規模なデータを扱うことのできるデータベースソフトAccessを用いてデータベースの基礎知識および基本操作を習得する．本講義ではデータベースの概念や，テーブルの作成，データの挿入等のデータベース作成および検索等の操作について学習する．また，データベース標準言語であるSQLとの関係についても学習する.

授業方法と留意点
テキストを用いた演習中心の授業方式．各時間毎に演習結果をファイル，グラフ，レポート等の形で提出する．また，理解度を確認するため臨時のテスト，期末テスト等を行う場合がある．習熟度合いに応じて，授業内容は適宜変更する場合がある.

科目学習の効果（資格）
基本情報技術者試験，Microsoft Office Specialist (Access)等の基礎となる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 データベースとは
【内容・方法　等】 データベースの基本的な概念
【事前・事後学習課題】 データベースがどれほど現代社会に用いられているかをWeb等を利用して調べる
第２回 【授業テーマ】 Access の基本操作
【内容・方法　等】 データベースソフト Access の基本操作方法
基本用語の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第３回 【授業テーマ】 テーブル検索１
【内容・方法　等】 最も基本的なデータ検索
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第４回 【授業テーマ】 テーブル検索２
【内容・方法　等】 複雑なデータ検索方法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第５回 【授業テーマ】 データの読み込み
【内容・方法　等】 Excelやテキストファイルからデータを読み込む
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第６回 【授業テーマ】 データの挿入
【内容・方法　等】 テーブルに新しいデータを追加する手法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第７回 【授業テーマ】 画像データの入力とフォームの活用
【内容・方法　等】 画像データを取り込むフィールドの作成
フォームによるデータ入力の効率化
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第８回 【授業テーマ】 クエリ操作１
【内容・方法　等】 選択クエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第９回 【授業テーマ】 クエリ操作２
【内容・方法　等】 クエリを用いた集計
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第10回 【授業テーマ】 クエリ操作３
【内容・方法　等】 アクションクエリ（テーブル作成，更新，追加，削除クエリ）
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第11回 【授業テーマ】 SQL 文法
【内容・方法　等】 Accessで作成されたクエリがSQLで記述されていることの確認
SQL文法
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第12回 【授業テーマ】 データベースの設計１
【内容・方法　等】 新しいテーブルの挿入
リレーションシップの設定
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第13回 【授業テーマ】 データベースの設計２
【内容・方法　等】 リレーション設定を活用したクエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第14回 【授業テーマ】 レポート作成
【内容・方法　等】 レポート機能を利用した報告書の作成
【事前・事後学習課題】 Access操作方法の復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 これまでの復習
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法（基準）
出席点、課題点をもとに評価する。この授業は演習中心であるため、出席が単位取得の必要条件となります。

教材等
教科書…電子ファイルを資料として配布します。参考書は購入しなくてもＯＫですが、あると便利です。
参考書…『30時間でマスター　Windows 7対応　Access 2010』，実教出版，2011年1月．　（1200円）

学生へのメッセージ
毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので，欠席や遅刻をしないこと．欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる．もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと.

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　172　2014/08/21　14:24:22

関連科目
情報処理基礎，応用情報処理I
担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

経営統計学I
Business Statistics I

栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「統計学」という言葉を聞くと、多くの学生は難しいのではないかという印象を持つであろうが、手元にあるデータからその特徴を見つけ出すために必要となる学問で ある。統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。経営統計学Ｉでは、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、統計学の基本的な考え方を学び、統計データの解析に必要となる基礎的知識を身につける。
授業方法と留意点
配布資料を中心に講義を行い、プロジェクターを使用しながら解説する。配布資料に含まれる演習問題を各自関数電卓を使って解くことで理解を深める。
科目学習の効果（資格）
実用的な学問であるため、将来様々な分野の仕事で生かすことができる。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容･方法　等】　授業の進め方、評価方法、統計学とはどのような学問か
【事前･事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　統計資料の整理（１）
【内容･方法　等】　統計資料の読み方
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第３回　【授業テーマ】　統計資料の整理（２）
【内容･方法　等】　統計資料の整理方法
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第４回　【授業テーマ】　データの集計（１）
【内容･方法　等】　代表値について、平均、分散、標準偏差
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第５回　【授業テーマ】　データの集計（２）
【内容･方法　等】　度数分布、ヒストグラム
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第６回　【授業テーマ】　データの集約（１）
【内容･方法　等】　データの集約、クロス集計
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第７回　【授業テーマ】　データの集約（２）
【内容･方法　等】　クロス集計の実践
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第８回　【授業テーマ】　前半のまとめ・学力診断テスト１
【内容･方法　等】　前半部分のまとめ
【事前･事後学習課題】　テストの解答内容を見直しておく
第９回　【授業テーマ】　データの相関関係（１）
【内容･方法　等】　相関関係について、相関係数の算出
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第10回　【授業テーマ】　データの相関関係（２）
【内容･方法　等】　相関関係と因果関係
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第11回　【授業テーマ】　空間と事象（１）
【内容･方法　等】　標本空間、ベン図
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第12回　【授業テーマ】　空間と事象（２）
【内容･方法　等】　和集合、積集合
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第13回　【授業テーマ】　経営における統計学
【内容･方法　等】　経営分野で用いられる統計学の手法
【事前･事後学習課題】　授業中に課した練習問題に解答
事前配布資料を読んでおく
第14回　【授業テーマ】　後半のまとめ・学力診断テスト２
【内容･方法　等】　後半部分のまとめ
【事前･事後学習課題】　テストの解答内容を見直しておく
第15回　【授業テーマ】　統計学の応用
【内容･方法　等】　マネジメントに求められる統計学、全体復習
【事前･事後学習課題】　全体復習の内容を整理しておく
評価方法（基準）
授業中の課題（30%）、小テスト（30%）、学期末試験（40%）の結果により総合的に評価する。
教材等
教科書…配付資料
参考書…豊田利久 他（著）『基本統計学 第3版』（東洋経済新報社，2010年）
その他、適宜資料を配付する。
学生へのメッセージ
経営統計学は、数学を基礎とする学問ですので、数学が苦手な学生については、予習・復習が不可欠となります。積極的な講義への参加を心がけてください。
関連科目
専門基礎科目全般
担当者の研究室等
１１号館８階（栢木准教授室）

経営統計学II
Business Statistics II

能　勢　豊　一（ノセ　トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「統計学」という言葉を聞くと、多くの学生は難しいのではないかという印象を持つであろうが、手元にあるデータからその特徴を見つけ出すために必要となる学問である。統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。経営統計学では、統計学の基礎的知識を習得している学生を対象として、統計解析の応用的手法について身につける。
授業方法と留意点
配布資料を中心に、プロジェクターを用いて講義を行う。講義の前半は配付資料の解説を行い、後半は演習問題を解きながら統計解析の応用手法を身につけていく。
科目学習の効果（資格）
実用的な学問であるため、将来様々な分野の仕事で生かすことができる。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容･方法　等】　基礎力テスト、授業の進め方、評価方法
【事前･事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第２回　【授業テーマ】　統計の基礎
【内容･方法　等】　記述統計（平均、標準偏差、分散、中央値）
【事前･事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第３回　【授業テーマ】　統計的データの整理方法
【内容･方法　等】　度数分布、ヒストグラムの作成
【事前･事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第４回　【授業テーマ】　連続型分布
【内容･方法　等】　正規分布、中心極限定理、正規分布と確率の計算、指数分布、幾何分布、その他の分布
【事前･事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第５回　【授業テーマ】　相関分析（１）
【内容･方法　等】　ピアソンの相関分析とその手順、相関係数と回帰式の算出
【事前･事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第６回　【授業テーマ】　相関分析（２）
【内容･方法　等】　スペアマンの相関分析、相関比
【事前･事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第７回　【授業テーマ】　離散型分布
【内容･方法　等】　2項分布、ポアソン分布、一様分布
【事前･事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワード

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　173　2014/08/21　14:24:22

を示すので予習してくること。

第８回　**【授業テーマ】**　前半のまとめ・学力診断テスト
【内容・方法　等】　前半部分のまとめ
【事前・事後学習課題】　授業の終わりに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第９回　**【授業テーマ】**　標本分布（１）
【内容・方法　等】　和・差の分布、標本分布の例題
【事前・事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第10回　**【授業テーマ】**　標本分布（２）
【内容・方法　等】　カイ分布、t分布、F分布
【事前・事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第11回　**【授業テーマ】**　検定と推定（１）
【内容・方法　等】　バラツキが判っている場合の仮説検定、一つの母平均の検定と推定
【事前・事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第12回　**【授業テーマ】**　検定と推定（２）
【内容・方法　等】　一つの母分散の検定と推定
【事前・事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第13回　**【授業テーマ】**　検定と推定（３）
【内容・方法　等】　バラツキが判らない場合の仮説検定、t検定
【事前・事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第14回　**【授業テーマ】**　検定と推定（４）
【内容・方法　等】　分散分析とは、分散分析の実践
【事前・事後学習課題】　授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第15回　**【授業テーマ】**　統計的検定の応用
【内容・方法　等】　統計的検定の問題点・適用上の留意点、全体復習
【事前・事後学習課題】　全体復習の内容を整理しておく

評価方法（基準）
小テストとレポート４０点、学期末試験の結果６０点を目安にして総合的に評価する。

教材等
教科書…配付資料
参考書…詳解演習　数理統計（守谷栄一）日本理工出版会（1974）
パソコンによるデータマイニング（浅利、能勢他4名）日刊工業新聞、(2001)
その他、適宜案内する。その他、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
数学や統計学に関する基礎知識に自信がない受講者が多いと思うが、例題を中心に学習するので、１回の授業でどんな問題に取り組んだかを記憶することに集中します。答えが正しいかどうかより、問題を正しく捉えているかを学んでほしい。授業の開始時点と終了時点に予習、復習のポイントを説明する。
欠席や遅刻は、受講者が思っている以上に学習効果を半減させるのでこの科目についてはそのようなことがないことを願っている。

関連科目
経営統計学Ⅰ、ビジネス数学

担当者の研究室等
金曜日：摂南大学１１号館６階（経営学部事務室）
その他の曜日：大阪工業大学９号館４階（経営情報システム研究室）

応用簿記
Applied Bookkeeping

竹　内　　淳（タケウチ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
簿記の目的は;一定時における財政状態を示すために資産、負債、資本の変動を秩序正しく計算すること、;一会計期間の正しい経営成績を計算してその原因と結果を明らかにすることの２点に要約されます。本講義では、これらの目的をしっかり理解して、実務に役立つ知識を修得することを目標とし、「わかりやすい講義」をモットーとします。

授業方法と留意点
テーマごとに説明を行った後、演習問題の時間を設け、その後解説を行います。受講者は必ず電卓を持参すること。

科目学習の効果（資格）
簿記検定２級の商業簿記について、合格水準までの実力をつける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　簿記の基本
【内容・方法　等】　簿記一巡の手続き
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第２回　**【授業テーマ】**　特殊商品売買
【内容・方法　等】　予約・試用・割賦・未着・委託・受託品販売
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第３回　**【授業テーマ】**　商品の評価
【内容・方法　等】　商品の期末評価
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第４回　**【授業テーマ】**　固定資産Ⅰ
【内容・方法　等】　固定資産の売却・買換え・廃棄・除却時の処理
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第５回　**【授業テーマ】**　固定資産Ⅱ
【内容・方法　等】　減価償却・資本的支出と収益的支出等
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第６回　**【授業テーマ】**　資金調達と利益処分
【内容・方法　等】　株式・社債発行時および利益処分時にかかる諸々の処理
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第７回　**【授業テーマ】**　当座預金と有価証券
【内容・方法　等】　当座預金と有価証券にかかる諸々の処理
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第８回　**【授業テーマ】**　引当金
【内容・方法　等】　貸倒・退職給与・修繕・商品保証引当金
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第９回　**【授業テーマ】**　手形
【内容・方法　等】　裏書・割引手形
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第10回　**【授業テーマ】**　保険と税金
【内容・方法　等】　保険金の請求時と受領時の処理、法人税等の引当処理と消費税の処理
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第11回　**【授業テーマ】**　帳簿等の締切
【内容・方法　等】　伝票・帳簿組織の集計、帳簿の締切と合計転記
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第12回　**【授業テーマ】**　決算処理
【内容・方法　等】　決算整理事項、財務諸表の作成
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第13回　**【授業テーマ】**　本支店会計
【内容・方法　等】　支店開設時の処理、本支店間取引、本支店会計の決算処理
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第14回　**【授業テーマ】**　総合問題
【内容・方法　等】　総合問題の解説
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

第15回　**【授業テーマ】**　総合問題
【内容・方法　等】　総合問題の解説
【事前・事後学習課題】　テキストで予習・授業での小テストを再考

評価方法（基準）
期末試験の結果を６０％、講義中の小テストの結果を４０％としこれを
基準に評価する。

教材等
教科書…最初の講義で、使用するプリントを配布します。
参考書…授業中、適宜指示する。

学生へのメッセージ
できるだけ簿記の基本を理解してから受講してください。実務に密着した「わかりやすい講義」を行うつもりです。

関連科目
企業簿記、財務会計論、原価計算論等

担当者の研究室等

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　174　　2014/08/21　14:24:22

１１号館６階（経営学部事務室）

マネジメントサイエンスI
Management Science I

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンス(経営科学、オペレーションズ・リサーチ)とは、経営活動にかかわる種々の課題をモデル化して数学的に解析を行うことにより、経営の意思決定を科学的な方法で支援するための知識の体系である。本科目では、線形計画法、待ち行列や意思決定理論を中心とした基本的な知識と技法（解法）について修得することが目的・目標である。

授業方法と留意点

授業で配布するプリントを用いてモデルを解説し、次にゲーム形式の例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。

科目学習の効果（資格）

ＩＴパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの経営関係の資格試験にも関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　マネジメントサイエンスの学び方
【内容･方法　等】　授業計画とマネジメントサイエンスの対象と方法についてのあらまし
「価格決定ゲーム」による演習
【事前･事後学習課題】　復習：シラバスを読み直す

第２回　**【授業テーマ】**　線形計画法（１）
【内容･方法　等】　受注計画ゲーム（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を再確認する

第３回　**【授業テーマ】**　線形計画法（２）
【内容･方法　等】　線形計画問題の基礎概念、最大・最小問題の図的解法（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：課題を解いてみよう

第４回　**【授業テーマ】**　線形計画法（３）
【内容･方法　等】　シンプレックス法による最適解と最適値の解説とパソコンによる解法のデモ
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう

第５回　**【授業テーマ】**　整数計画法（１）
【内容･方法　等】　アルバイトの配置（割当）の計画（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す

第６回　**【授業テーマ】**　整数計画法（２）
【内容･方法　等】　輸送計画法の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す

第７回　**【授業テーマ】**　整数計画法（３）
【内容･方法　等】　出荷計画ゲーム（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す

第８回　**【授業テーマ】**　整数計画法（４）
【内容･方法　等】　職員の定期異動計画（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：配付されたプリントを読み直す

第９回　**【授業テーマ】**　整数計画法（５）
【内容･方法　等】　職員の適材配置計画（演習）
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む

第10回　**【授業テーマ】**　待ち行列（１）
【内容･方法　等】　待ち行列の基礎
【事前･事後学習課題】　復習：配布されたプリントを読み直そう

第11回　**【授業テーマ】**　待ち行列（２）
【内容･方法　等】　待ち行列の理論
【事前･事後学習課題】　復習：配布されたプリントを読み直そう

第12回　**【授業テーマ】**　決定理論（１）
【内容･方法　等】　不確実性下の意思決定
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む

第13回　**【授業テーマ】**　決定理論（２）
【内容･方法　等】　ゼロサムゲームと利得表
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む

第14回　**【授業テーマ】**　決定理論（３）
【内容･方法　等】　囚人のジレンマ
【事前･事後学習課題】　復習：与えられた課題（宿題）に取り組む

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容･方法　等】　前期に学習した内容のまとめ
【事前･事後学習課題】　復習：前期試験の準備をしよう

評価方法（基準）

定期試験（60%）および授業中に行う課題に対する取り組みやレポート（40%）により評価する。

教材等

教科書…毎回、ハンドアウト（プリント）を配布する
参考書…『入門経営科学（改訂版）』宮川公男・野々山隆幸・佐藤修著、実教出版（2600円）

学生へのメッセージ

高度な数学は用いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、８割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓（関数電卓でなくてよい）を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅れないようにしてください。

関連科目

数学基礎I、数学基礎II、ビジネス数学、経営統計学

担当者の研究室等

11号館7階(黒澤教授室)

マネジメントサイエンスII
Management Science II

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンス(経営科学、オペレーションズ・リサーチ)とは、経営活動にかかわる種々の課題をモデル化して数学的に解析を行うことにより、経営の意思決定を科学的な方法で支援するための知識の体系である。マネジメントサイエンスIIでは、在庫計画や日程計画を中心としたマネジメントサイエンスに関わる基本的な知識と技法（解法）について修得することが目的・目標である。

授業方法と留意点

配布するプリントを用いて解説し、次に例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。

科目学習の効果（資格）

ＩＴパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの経営関係の資格試験にも関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　前期科目の総括
【内容･方法　等】　前期科目の試験答案の返却と解説
【事前･事後学習課題】　復習：家庭にある「たまご」の在庫状況の調査を始めよう

第２回　**【授業テーマ】**　在庫管理（１）
【内容･方法　等】　在庫の考え方：なぜ在庫は必要なのか、なぜ在庫を持ちすぎるとまずいのか？
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を読み直そう

第３回　**【授業テーマ】**　在庫管理（２）
【内容･方法　等】　在庫管理ゲームを用いて演習を行う。
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を再確認しよう

第４回　**【授業テーマ】**　在庫管理（３）
【内容･方法　等】　定量発注方式とEOQの公式の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：たまごの在庫についてのレポートを作成しよう

第５回　**【授業テーマ】**　在庫管理（４）
【内容･方法　等】　期待利益に基づく発注量の計算
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を読み直そう

第６回　**【授業テーマ】**　在庫管理（４）
【内容･方法　等】　ABC管理と定期発注方式の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を読み直そう

第７回　**【授業テーマ】**　日程計画（１）
【内容･方法　等】　日程計画ゲームを用いた演習を行う
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を読み直そう

第８回　**【授業テーマ】**　日程計画（２）
【内容･方法　等】　日程計画ゲーム（補習）
【事前･事後学習課題】　復習：ゲームの内容を見直そう

第９回　**【授業テーマ】**　プロジェクトの管理（１）
【内容･方法　等】　PERTの基礎理論の解説と演習
【事前･事後学習課題】　復習：プリントの内容を見直そう

第10回　**【授業テーマ】**　プロジェクトの管理（２）
【内容･方法　等】　ダミーを用いたPERTの課題の演習
【事前･事後学習課題】　復習：配布されたプリントを読み直そう

第11回　**【授業テーマ】**　階層化意思決定法（１）
【内容･方法　等】　階層化意思決定法（AHP）の基礎理論と解法の解説
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう

第12回　**【授業テーマ】**　階層化意思決定法（２）
【内容･方法　等】　階層化意思決定法（AHP）の演習を行う
【事前･事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　175　2014/08/21　14:24:23

第13回　【授業テーマ】　シミュレーション（1）
【内容・方法　等】　乱数の生成、モンテカルロ法と待ち行列のシミュレーションの解説と実習
【事前・事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう
第14回　【授業テーマ】　シミュレーション（2）
【内容・方法　等】　在庫管理（定期発注方式）のシミュレーションの解説と実習
【事前・事後学習課題】　復習：パソコンで課題を解いてみよう
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　後期に学習した内容のまとめと次年度科目への橋渡し
【事前・事後学習課題】　最終レポートに取り組もう

評価方法（基準）
授業中に毎回行う演習課題に対する取り組み（50%）やレポート（50%）により評価する。

教材等
教科書…毎回、ハンドアウト（プリント）を配布する
参考書…『入門経営科学（改訂版）』宮川公男・野々宮隆幸・佐藤修著、実教出版（2600円）

学生へのメッセージ
高度な数学は用いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、8割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓（関数電卓でなくてよい）を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅刻しないようにしてください。

関連科目
マネジメントサイエンスⅠ

担当者の研究室等
11号館7階(黒澤教授室)

ベンチャービジネス論
Venture Business

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
河　田　正　興（カワタ　マサオキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業概要：大学を卒業しても就職することだけが目的ではなく、自分自身で起業（ベンチャー企業）してみるのも一つの方法です。ベンチャービジネスとは何か、どうすれば起業できるのかについて、わかりやすく解説します。
目的：この授業では起業を目指す学生だけではなく、就職する学生にとってもベンチャースピリットがいかに大切かについて学習します。
到達目標：ベンチャースピリットの重要性についての理解。

授業方法と留意点
授業方法：
（1）専門家によるリレー講義です。
（2）経験豊富な実務家の貴重なビジネス体験談が受講できます。
（3）毎回、レジュメ（プリント）が配布されます。事前にファイリングするフォルダー（2穴）を準備すること。
留意点：重要な点をきちんとメモして、提出レポートに反映させること。また、聴講のマナーを厳守すること。

科目学習の効果（資格）
経験豊富なさまざまな専門家（起業家）の体験談を直接聞き学ぶことで、社会に対する認識と仕事選択に対する考え方や選択肢を広げることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　「ベンチャービジネス論」開講の意義、受講できる専門科目との関連性
【4月10日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス論の摂南大学のキャリア教育との関係について
（株）ビジネスファーム研究所　代表取締役　河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：ベンチャービジネスについての意味を調べてください。
第２回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　概説
【4月17日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネスの今日的な時代要請
（株）ビジネスファーム研究所　代表取締役　河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：ベンチャービジネスについて雑誌またはホームページで調べてみましょう。
第３回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　方法論（1）
【4月24日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス展開に関する手法-従業員採用における基礎知識-
総合事務所ネクスト　所長　特定社会保険労務士　小西勝、　安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：従業員の採用についてホームページで調べてみましょう。
第４回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　現状論（1）
【5月1日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス分野別の現状と課題－卸売業-
船井総合研究所　チーフコンサルタント　箕浦幸孝、　安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：卸売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
第５回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　現状論（2）
【5月8日】
【内容・方法　等】　・国による中小・ベンチャー企業支援と東日本大震災の復興支援
（独）中小企業基盤整備機構　経営診断総括室兼震災復興支援局　参事／地域活性化伝導師（内閣府）　中小企業診断士（経済産業省）　長坂泰之、安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：企業支援について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
第６回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　現状論（3）
【5月15日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス分野別の現状と課題－製造業-
（株）ウィズダムマネジメント　長谷川中小企業診断士事務所長　長谷川好宏、
安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：製造業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
第７回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　現状論（4）
【5月22日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス展開に関する手法-設計製造分野でのIT活用-
キャディック（株）　代表取締役　筒井真作、　安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：キャディック㈱についてホームページで調べてみましょう。
第８回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　方法論（2）
【5月29日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス分野別の現状と課題－小売業-
ビジネスファームサカモト代表 マネジメントコンサルタント 坂元雅子、安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
第９回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　方法論（3）
【6月5日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス展開に関する手法-デパ地下事業の活性化-
MDドクターK　代表　河崎友彦、　安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：流通業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
第10回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　方法論（4）
【6月12日】
【内容・方法　等】　・食品小売業界の現状
～大手ナショナルチェーン・生協・中小スーパーの今～
AKR共栄会　事務局長　大西基裕、質疑・討論 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：食品小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。
第11回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　方法論（5）
【6月19日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス展開に関する手法-NPO法人による社会救済支援-
グッド・サマリタン・チャーチ　牧師　金子道仁、　安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：ＮＰＯについて調べてみましょう。
第12回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　方法論（6）
【6月26日】
【内容・方法　等】　・ベンチャービジネス展開に関する手法-投資育成の実践-
(株）ファンドファンクション　代表取締役 萩原貞幸
・コメント・質疑・討論　河田正興、　安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：投資育成についてホームページで調べてみましょう。
第13回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　課題論
【7月3日】
【内容・方法　等】　・実体験を踏まえたビジネスの楽しさと苦しさについての実践事例
（株）ビジネスファーム研究所　顧問　永田賢次、　安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：黒字倒産について調べてみましょう。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　176　2014/08/21　14:24:23

第14回　【授業テーマ】　ベンチャービジネス　課題論
【7月10日】
【内容・方法　等】　・協同組合など、中小企業連携組織を活用したベンチャービジネスの事例
－東大阪の人工衛星開発などを中心に－
（株）ビジネスファーム研究所　主任研究員　佐久間雅　、質疑・討論 河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】　予習：協同組合など、中小企業連携組織についてしらべてみましょう
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【7月17日】
【内容・方法　等】　今までの講義内容を整理し、まとめを行います。
（株）ビジネスファーム研究所　代表取締役　河田正興、安久典宏
【事前・事後学習課題】　－－

評価方法（基準）
原則、レポートの内容（50％）と定期期末試験結果（50％）で評価します。

教材等
教科書…各講師のレジュメ教材を配布します（各自レジュメ保管ファイル<2穴>を準備すること）。
参考書…今井哲、「ベンチャービジネス」、学文社、２００６、（２４００円）

学生へのメッセージ
ベンチャービジネスの専門家と直接話し合って見ませんか。
皆さんの将来に対する夢が膨らみます。

関連科目
ビジネスプラン、経営学

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

マクロ経済学
Macro Economics

杉　本　篤　信（スギモト　アツノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現代経済学は体系化された科学としてマクロ経済学とミクロ経済学に大別されます。マクロ経済学では，国家レベルの経済問題や社会全体など大きな動きについて論じます。なお，ミクロ経済学では，経済主体の意思決定プロセスや市場について議論することを目的とします。これによりビジネスニュースや新聞の経済面をより深く読むことが出来るようになることを目指します。

授業方法と留意点
教科書を中心にして行うが，適宜，新聞やTVで取り上げられたトピックも用いる。

科目学習の効果（資格）
公務員試験・経済学検定試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　経済学とは何か
【内容・方法　等】　経済学とはどのような学問か？
マクロ経済学とミクロ経済学の違い
【事前・事後学習課題】　経済記事や経済ニュースを普段から読んだり聞いたりする習慣を付けてください。
第２回　【授業テーマ】　ＧＤＰとは何だろうか？（1）
【内容・方法　等】　付加価値、三面等価の原則
【事前・事後学習課題】　テキスト第1章を読んでおくこと。
第３回　【授業テーマ】　ＧＤＰとは何だろうか？（２）
【内容・方法　等】　GDPの範囲、GNI（GNP)との違い、名目値と実質値
【事前・事後学習課題】　テキスト第１章を読んでおくこと。
第４回　【授業テーマ】　消費と貯蓄はどのようにして決まるか？（１）
【内容・方法　等】　ケインズ型の消費関数
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章を読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】　消費と貯蓄はどのようにして決まるか？（２）
【内容・方法　等】　ライフサイクル仮説、恒常所得仮説、流動性制約、日本の貯蓄率の動向
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章を読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】　設備投資と在庫投資（１）
【内容・方法　等】　資本ストックと設備投資、投資の決定理論、新古典派の投資理論
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章を読んでおくこと。
第７回　【授業テーマ】　設備投資と在庫投資（２）
【内容・方法　等】　調整費用モデル、在庫投資
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章を読んでおくこと。
第８回　【授業テーマ】　金融と株価（１）
【内容・方法　等】　企業の資金調達手段、家計の資産選択
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章までを復習しておくこと。
第９回　【授業テーマ】　金融と株価（２）
【内容・方法　等】　株価の決定理論、トービンのｑ
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章を読んで復習しておくこと。
第10回　【授業テーマ】　貨幣の需要と供給（１）
【内容・方法　等】　貨幣の機能、貨幣需要関数、
【事前・事後学習課題】　テキスト第５章を読んでおくこと。
第11回　【授業テーマ】　貨幣の需要と供給（２）
【内容・方法　等】　貨幣量のコントロール、金融政策の手段、利子率の決定
【事前・事後学習課題】　テキスト第５章を復習しておくこと。
第12回　【授業テーマ】　乗数理論とIS-LM理論（１）
【内容・方法　等】　有効需要の原理、乗数理論
【事前・事後学習課題】　テキスト第６章を予習しておくこと。
第13回　【授業テーマ】　乗数理論とIS-LM理論（２）
【内容・方法　等】　財市場とIS曲線、貨幣市場とLM曲線、IS-LM分析
【事前・事後学習課題】　テキスト第６章を読んでおくこと。
第14回　【授業テーマ】　経済政策の有効性
【内容・方法　等】　クラウディング・アウト、流動性のわな、非伝統的金融政策
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章を読んでおくこと。
第15回　【授業テーマ】　財政赤字と国債
【内容・方法　等】　財政政策の意義、日本の財政赤字、国債の中立命題
【事前・事後学習課題】　テキスト第８章を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験　75％
平常点（レポート提出,小テストなど）　25％

教材等
教科書…福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ，￥2,205
参考書…伊藤元重『入門　経済学』日本評論社，￥3,000
福田慎一・照山博司『演習式 マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ，￥2,625

学生へのメッセージ
授業中は私語厳禁，携帯電話の利用禁止。
テキストやノートでの復習は必ずすること。

関連科目
ミクロ経済学、貿易と金融

担当者の研究室等
11号館6階(杉本研究室)
sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

ミクロ経済学
Micro Economics

岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現代経済学の理論は、体系化された科学としてミクロ経済学とマクロ経済学に大別される。本講義ではミクロ経済学を紹介し、経済主体の意思決定や市場について理解することを目標とする。

授業方法と留意点
講義は極力教科書に沿って行うので、必ず教科書を購入のこと。理解度を重視して進めるので、講義計画の変更もある。漠然と講義に出席するのではなく、予習・復習を行い、発言することを求める。発言は評価の対象である。

科目学習の効果（資格）
TVや新聞、インターネットから無造作に流される経済的事象を自らで整理し、自らで判断するための初歩的な能力が身につく。さらに、教員免許状取得・公務員試験・中小企業診断士試験など資格取得に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ミクロ経済学で学ぶこと
【内容・方法　等】　経済学を学ぶ理由、ミクロ経済学とマクロ経済学の違い、価格メカニズムの働き、図とグラフ
【事前・事後学習課題】　事前に第１章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第２回　【授業テーマ】　需要の理論
【内容・方法　等】　市場需要曲線、曲線のシフト要因、消費者余剰
【事前・事後学習課題】　事前に第２章を読んでおくこと。復習も行うこと。
第３回　【授業テーマ】　消費者行動の理論（１）
【内容・方法　等】　最適消費点
【事前・事後学習課題】　事前に第３章を読んでおくこと。復習

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　177　2014/08/21　14:24:23

も行うこと。

第４回 **【授業テーマ】** 消費者行動の理論（２）
【内容・方法　等】 需要曲線の導出、曲線のシフト要因再考
【事前・事後学習課題】 事前に第３章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第５回 **【授業テーマ】** 供給の理論（１）
【内容・方法　等】 限界費用、供給量の決定、供給曲線、生産者余剰
【事前・事後学習課題】 事前に第４章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第６回 **【授業テーマ】** 供給の理論（２）
【内容・方法　等】 右上がりの限界費用曲線、市場供給曲線、供給曲線のシフト要因
【事前・事後学習課題】 事前に第４章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第７回 **【授業テーマ】** 需給曲線と弾力性
【内容・方法　等】 需要と供給の弾力性、弾力性を左右する要因
【事前・事後学習課題】 事前に第５章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第８回 **【授業テーマ】** ここまでのまとめ
【内容・方法　等】 まとめとして中間試験を行う
【事前・事後学習課題】 事前の復習を行っておくこと。

第９回 **【授業テーマ】** 市場の理論
【内容・方法　等】 さまざまな市場構造、社会的余剰、効率性、分配の公正性、市場の失敗
【事前・事後学習課題】 事前に第６章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第10回 **【授業テーマ】** 需要と供給で解く経済問題
【内容・方法　等】 経済問題を考える
【事前・事後学習課題】 事前に第７章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第11回 **【授業テーマ】** 余剰分析で解く経済問題
【内容・方法　等】 余剰を用い経済問題を考える
【事前・事後学習課題】 事前に第８章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第12回 **【授業テーマ】** 市場の失敗（１）
【内容・方法　等】 外部効果、公共財
【事前・事後学習課題】 事前に第９章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第13回 **【授業テーマ】** 市場の失敗（２）
【内容・方法　等】 情報の非対称性
【事前・事後学習課題】 事前に第１０章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第14回 **【授業テーマ】** 市場の失敗（３）
【内容・方法　等】 独占市場
【事前・事後学習課題】 事前に第１１章を読んでおくこと。復習も行うこと。

第15回 **【授業テーマ】** 不確実性のもとでの選択行動
【内容・方法　等】 不確実性、リスク、期待効用
【事前・事後学習課題】 事前に第１２章を読んでおくこと。復習も行うこと。

評価方法（基準）

中間試験(40%)と期末試験(60%)ならびに学習状況（発言や小テストなど）(＋α)を総合して評価する。

教材等

教科書…家森信善・小川光『基礎からわかるミクロ経済学　第２版』中央経済社，￥2,100
参考書…岩田規久男『ゼミナール　ミクロ経済学入門』日本経済新聞社，￥3,262
石川秀樹著『試験攻略　新経済学入門塾　ミクロ編』中央経済社　￥2,200

学生へのメッセージ

経済の基本的な考え方を身につけておくことは、社会人としてだけでなく日常生活においても“身を守る”という意味で極めて重要です。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進してください。

関連科目

くらしと経済、マクロ経済学、金融論　企業金融　等

担当者の研究室等

11号館8階（岩坪教授室）

ビジネス数学基礎
Basic Business Mathematics

能　勢　豊　一（ノセ　トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経営や情報システムに関する専門教科を修得するためには、ある程度の数学的な論理思考と基礎知識を身につけておくことが必要不可欠です。しかし、これまで数学を学習してきたにもかかわらず、十分に理解できていなかった人も少なくないと思います。そのために本講義では、数学の必要性を感じながら数学になじめない人や、数学を基礎から改めて学習し直したいと思っている人などを主な対象に、実社会で使われている具体的な事例を取り上げながら数学の基礎を解説します。

授業方法と留意点

授業は、配布プリント、プロジェクタを用いて、授業内演習を中心に時にはパソコンを用いて行います。授業内容の理解を確認する小テスト、例題解説、類似問題のレポートで確実に理解を促進します。

科目学習の効果（資格）

経営・経済・情報処理分野の資格試験の一助となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** ビジネス数学の役割
【内容・方法　等】 ・現象をとらえ、現象から因子をとらえること
・因子からデータを採取し、データから情報を創出すること
・情報から仮説を立案し、ビジネスに存在する法則を見える化すること
以上を理解してもらいます
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第２回 **【授業テーマ】** ビジネスをとらえる確率・統計の役割
【内容・方法　等】 ・不確実性が増大するビジネス社会
・確率と分布による不確実事象の把握
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第３回 **【授業テーマ】** 乱数による確率モデルの表現
【内容・方法　等】 ・シミュレーションによる不確実事象の把握
・乱数を活用した数学モデルの表現
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第４回 **【授業テーマ】** 経営計画と利益計画
【内容・方法　等】 散布図による売上高と費用分析
最小自乗法による売り上げと費用の分関
損益分岐点の算出
資本回収点の算出
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第５回 **【授業テーマ】** データの関係を知る（１）
【内容・方法　等】 ピアソンの相関、スペアマンの順位相関、クラメールの関連指数、相関比
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第６回 **【授業テーマ】** データの関係を知る（２）
【内容・方法　等】 潜在需要と相関のある因子を発見し、ビジネスモデルにする法則を発見する方法を解説する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第７回 **【授業テーマ】** 日程計画（１）
【内容・方法　等】 PERTによる日程計画と管理
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第８回 **【授業テーマ】** 日程計画（２）
【内容・方法　等】 前回､PERTによって説いた問題を､DP（動的計画法）により、定式化し、解答を導く
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第９回 **【授業テーマ】** 生産計画(1)
【内容・方法　等】 LP（線形計画法）によって目的関数、制約条件式を定式化し、生産計画を立案する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第10回 **【授業テーマ】** 生産計画(2)
【内容・方法　等】 ・需要の不確実性を正規分布によってとらえた場合の生産計画を立案する
・分布を考慮した安全在庫の理論を導入する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第11回 **【授業テーマ】** 在庫管理

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　178　2014/08/21　14:24:23

【内容・方法　等】　・在庫理論の変遷：2ビン法、発注点法、定期発注法、s-S法、MRP
・需要が確率分布に従う場合の在庫管理の定式化と最適化
【事前・事後学習課題】　授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第12回　【授業テーマ】　取り換え問題
【内容・方法　等】　・レンタルか買取りか
・設備の買替え
・故障部品の取換え
【事前・事後学習課題】　授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第13回　【授業テーマ】　AHP法
【内容・方法　等】　感覚データの数値化とその評価
【事前・事後学習課題】　授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第14回　【授業テーマ】　DEA法
【内容・方法　等】　数値データのグループ化とその評価
【事前・事後学習課題】　授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと

第15回　【授業テーマ】　ベイズ流の意思決定
【内容・方法　等】　ベイズの定理
【事前・事後学習課題】　授業内容がノートに記載されているかどうかについて、前回と今回の講義内容をチェックするレポートを作成する

評価方法（基準）
レポート・小テスト４０％、期末テスト６０％

教材等
教科書…適宜プリント配布する。
参考書…パソコンによるデータマイニング（浅利、能勢他4名）日刊工業新聞、(2001)
その他、適宜案内する。

学生へのメッセージ
本講義の各々の領域で学ぶ数学は、一度は講義の中でそのメカニズムに触れておいてほしいと思いますが、触れたという記憶だけで十分です。実際の社会では、これらの数学を説明することはあまり重要ではありません。多くの場合、ソフトウエア化されたものが世の中に出回っており、むしろ、その理論や式、モデルが適切な条件と環境の下に使用できることの方が重要です。

関連科目
経営学、経営情報システム

担当者の研究室等
金曜日：摂南大学１１号館６階(経営学部事務室)
その他の曜日：大阪工業大学９号館４階（経営情報システム研究室）

情報倫理
Information and Morals

河　俣　英　美（カワマタ　ヒデミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
技術と経済最優先の現代情報社会において、一般市民が可能な限り自律的に豊かな人生をおくるための基礎的な理解を得る。
情報社会に生起している諸問題のうち、一般市民の生活の立場から問題となる諸領域についての現状を提示した後、ありうる考え方の道筋について考察する。
生活者としての情報ならびに情報システムの管理に最低限必要な情報社会の法制と倫理を身につけるだけでなく、将来社会人となった際にも職業上の対応を可能とするための基礎を身につける。

授業方法と留意点
板書講義形式　但し、授業の理解を深めるため、授業内に課題、レポート等の提出を求めることがある。

科目学習の効果（資格）
高等学校情報科教員免許状取得に必要。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　・講義の概要、評価の方法について解説します。
【事前・事後学習課題】　新聞の社会面、特にサイバー犯罪や個人情報漏えいなど情報倫理関連の記事に目を通す習慣を身につけてください。

第２回　【授業テーマ】　情報社会の光と影
【内容・方法　等】　・ネットワーク・コンピュータ問題分析の視角
【事前・事後学習課題】　ネットワークの仕組みについて調べてみてください。

第３回　【授業テーマ】　不正競争
【内容・方法　等】　・ドメインネーム、デジタルデバイド、ルックアンドフィールなど
【事前・事後学習課題】　デジタルデバイドの実態について調べて考えてみてください。

第４回　【授業テーマ】　電子商取引
【内容・方法　等】　・電子認証、電子署名法など
【事前・事後学習課題】　電子商取引のしくみについて調べてみてください。

第５回　【授業テーマ】　消費者保護
【内容・方法　等】　・ネットオークション、通信販売、消費者契約法など
【事前・事後学習課題】　売買トラブルの実態について調べてみてください。

第６回　【授業テーマ】　サイバー犯罪
【内容・方法　等】　・不正アクセス、電子計算機関連犯罪など
【事前・事後学習課題】　不正アクセスの実態について調べてみてください。

第７回　【授業テーマ】　情報政策
【内容・方法　等】　・ＰＫＩ、情報基本法、情報公開法など
【事前・事後学習課題】　暗号化のしくみについて、テキストを読んでまとめてみてください。

第８回　【授業テーマ】　プライバシー
【内容・方法　等】　・住基ネット、プライバシー権、プライバシーマークなど
【事前・事後学習課題】　プライバシー権侵害に関連する記事を探してまとめてみてください。

第９回　【授業テーマ】　誹謗中傷、名誉毀損
【内容・方法　等】　・フレーミング、プロバイダ責任法など
【事前・事後学習課題】　誹謗・中傷関連の記事を探して、問題点を考察してください。

第10回　【授業テーマ】　監視社会
【内容・方法　等】　・監視カメラ、携帯電話、電子通信傍受ソフト、チップ埋め込み、盗聴法など
【事前・事後学習課題】　身近な監視の実態を調べて考えてみてください。

第11回　【授業テーマ】　セキュリティ
【内容・方法　等】　・セキュリティポリシー、利用規定など
【事前・事後学習課題】　情報セキュリティについて調べてまとめてください。

第12回　【授業テーマ】　個人情報保護
【内容・方法　等】　・個人情報保護法、OECDプライバシー・ガイドラインなど
【事前・事後学習課題】　個人情報漏洩に関する記事を見つけて問題点を考えてみてください。

第13回　【授業テーマ】　知的財産権
【内容・方法　等】　・知的財産基本法、産業財産権、著作権、中古販売など
【事前・事後学習課題】　違法コピーの実態について調べて考えてみてください。

第14回　【授業テーマ】　知的財産権（２）
【内容・方法　等】　・著作権法、著作隣接権など
【事前・事後学習課題】　著作権侵害の記事を調べて考えてみてください。

第15回　【授業テーマ】　健全な情報社会
【内容・方法　等】　・健全な情報社会の構築に向けての考察
【事前・事後学習課題】　健全な情報社会を構築するため方策について、自分自身の意見をまとめてみてください。

評価方法（基準）
定期試験を主とし、授業内での提出物（課題レポート等）を含めて、総合的に評価する。
【定期試験80%、授業内での提出物20%】

教材等
教科書…「インターネットの光と影（ver5）」情報教育研究会　北大路書房
参考書…・『情報社会の法と倫理』　サラ=バーズ著、日本情報倫理協会訳　ピアソン=エデュケーション
・『インターネットと法』[第4版]　松井茂記・高橋和之編　有斐閣

学生へのメッセージ
情報倫理学、情報法学は、企業社会で経営情報学を基本から支える分野である。生活上で、身を守る基本的な知識でもあるので身につけておこう。

関連科目
情報処理基礎

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　179　2014/08/21　14:24:23

経営情報システム論
Management Information System

能　勢　豊　一（ノセ　トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

人、モノ、金、情報、組織、時間の因子を情報化する意味と方法を理解し、経営情報システムを技術、工学、経営の視点から分析・設計・評価できる人材を養成する。

授業方法と留意点

講義のはじめには前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括した後、配布資料を配布して、プロジェクタを使用しながら講義を行う。教科書、参考書、新聞情報を用いて問題に解答させる形で随時演習を取り入れながら実施する。

科目学習の効果（資格）

企業や社会において経営，工学，情報の技術がどのように活用されているのかについての理解が深まる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　企業の目的と使命
【内容・方法　等】　マネジメントの役割、進歩・発達の歴史、導入による期待効果：トフラーの科学技術展望
【事前・事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　情報化社会における企業経営
【内容・方法　等】　デジタル化の流れとマネジメントの展望：ドラッカーの科学技術展望
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　効率的マネジメントのための情報システムと情報技術
【内容・方法　等】　マネジメント効率化のための情報システム活用例：
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　トータルシステムの機能と効果
【内容・方法　等】　「人、モノ，金，情報、組織」の経営資源と「戦略、管理，現場」が果たす機能
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第５回　**【授業テーマ】**　システムを決める経営管理特性
【内容・方法　等】　トータルシステムの概念、運用、効果
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　経営情報システムにおけるデータベース技術
【内容・方法　等】　データベースとその技術の周辺
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第７回　**【授業テーマ】**　経営情報システムにおけるネットワーク技術
【内容・方法　等】　ネットワークとその技術の周辺
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　経営を科学し，ビジネスをデザインする
【内容・方法　等】　経営と情報を結びつける形を探求する仕組みと仮想化、階層化
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計のアプローチ（1）
【内容・方法　等】　演繹的なシステム設計技法：ワークデザイン手法（ブレークスルー思考）の活用
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第10回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計のアプローチ（2）
【内容・方法　等】　帰納的なシステム設計技法：オブジェクト指向の活用
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第11回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計のアプローチ（3）
【内容・方法　等】　演繹的方法と帰納的方法を融合する数量化理論の適用
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第12回　**【授業テーマ】**　サービス科学とセキュリティマネジメント
【内容・方法　等】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　新しい経営スタイルと評価（1）
【内容・方法　等】　ＤＥＡ法による経営における定量的データの定性的評価の可能性
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　新しい経営スタイルと評価（2）
【内容・方法　等】　ＡＨＰによる経営の定性的評価の定量的把握
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第15回　**【授業テーマ】**　新しい経営スタイルと評価（3）　と　まとめ
【内容・方法　等】　実験計画法等の統計的手法の活用の可能性について解説するとともに経営情報システムの前半部分をまとめる。　そして同時に技術マネジメント（技術経営：MOT）について言及する
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第16回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計の例題と演習(1)
【内容・方法　等】　現状分析（ステップ1～４）：場の設定、手掛かりシステム、直接的機能、機能展開
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第17回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計の例題と演習(2)
【内容・方法　等】　特性の決定(ステップ5)：AHPによるシステム設計レベルの決定と大枠設計
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第18回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計の例題と演習(3)
【内容・方法　等】　因子の抽出(ステップ６～９)：インプットの上方展開による一次因子抽出、コンポネント分割による２次因子の抽出、機能分割とI/O列挙による３次因子の抽出
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第19回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計の例題と演習(4)
【内容・方法　等】　仮説の立案（ステップ10～12）：プロセスとデータクラスのマトリックス化、Cソート、グループ化による制御因子と水準の選定
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第20回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計の例題と演習(5)
【内容・方法　等】　仮説の検証（ステップ13)：AHPによるシステムの評価
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第21回　**【授業テーマ】**　経営情報システム設計の例題と演習(6)
【内容・方法　等】　生産情報システムの設計とシミュレーション
【事前・事後学習課題】　前回の授業ノート確認を通じて学習内

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　180　2014/08/21　14:24:24

容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第22回 【授業テーマ】 経営情報システムにおける在庫管理の理論と役割
【内容・方法 等】 在庫管理の目的、２ビンシステムからジャストインタイム（JIT)システムへの変遷とマネジメントの役割の変化
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第23回 【授業テーマ】 製造業における在庫管理と経営情報システム
【内容・方法 等】 材料の在庫管理、半製品の在庫管理，製品の在庫管理
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第24回 【授業テーマ】 販売・流通業における在庫管理と経営情報システム
【内容・方法 等】 販売・流通業と製造業の違い、情報による有効在庫の把握と業務
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第25回 【授業テーマ】 原価情報システム（１）
【内容・方法 等】 工程管理、品質管理、労務管理を融合する原価情報のシステム化
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第26回 【授業テーマ】 原価情報システム（２）
【内容・方法 等】 部門別の業績評価の仕組みづくりと原価、経営のための情報システム
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第27回 【授業テーマ】 製品ライフサイクルとポートフォリオ分析
【内容・方法 等】 製品ライフサイクルの把握とポートフォリオ分析による意思決定
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第28回 【授業テーマ】 日程計画
【内容・方法 等】 ダイナミックプログラミングによる日程計画の策定
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第29回 【授業テーマ】 会計情報と経営情報
【内容・方法 等】 利益計画と資金計画と経営計画の機能と役割
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第30回 【授業テーマ】 まとめ

評価方法（基準）
小テストとレポート６０点、学期末試験の結果４０点を目安にして総合的に評価する。

教材等
教科書…適宜資料を配付する
参考書…飫冨順久　他（編著）「現代社会の情報・通信マネジメント」(第3章：情報化時代のものづくり経営(能勢担当))（中央経済社、2009年）
日本セキュリティ・マネジメント学会監修・松浦幹太編著「セキュリティマネジメント学－理論と事例－」(第3章：経営学的アプローチ(能勢担当）)(共立出版、2011年]

学生へのメッセージ
経営情報システムについて学ぶことで、マネジメントプロセスとビジネスプロセスと情報技術の結びつきが理解できるようになります。また、情報技術だけでなく経営技術，工学技術に対する関心が高まり、将来の業務に生かすことができます。

関連科目
プロジェクトマネジメント、データベース論、コンピュータネットワーク論、システム設計

担当者の研究室等
金曜日：摂南大学１１号館６階(経営学部事務室)
その他の曜日：大阪工業大学９号館４階（経営情報システム研究室）

意思決定支援システム
Decision Support System

谷　川　周　次（タニガワ　シュウジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
意思決定は人間行動にかかるさまざまな科学の領域にまたがるものです。本講義では人間のあらゆる意識的行動を経営学の視点から考察します。
本講義の目的は、人間のつくる組織と管理に関する意思決定の科学を学ぶとともに、意思決定支援システムの問題点と限界について学びます。
到達目標は、第一に意思決定支援システムと経営学の関係を理解し説明できること。第二に意思決定支援システムのさまざまなアプローチについて体系的に把握し説明できること。第三に社会や企業で実施している意思決定支援システムの問題を明らかにしたうえで課題を見つけ出すことです。

授業方法と留意点
講義を配布資料とプロジェクターで行いますが、途中で理解促進演習も実施します。
理解促進のためケーススタディのプリントを配布しディスカッションします。
質疑応答とディスカッションの時間を設けるため積極的な発言を求めます。
日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業の意思決定支援システムに関する情報収集を行う習慣を身につけてください。

科目学習の効果（資格）
経営者、管理者、経営企画、コンサルタントに必須科目です。
また、経営学検定、中小企業診断士、ＩＴパスポートや情報系の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義概要と序論
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの概要の解説
【事前・事後学習課題】 教科書の序説を読んでおくこと

第２回 【授業テーマ】 情報化社会とは
【内容・方法 等】 現代が情報化社会と言われる意味を考える
【事前・事後学習課題】 身の周りの出来事から、現代が情報化社会といわれる意味を理解すること

第３回 【授業テーマ】 システム
【内容・方法 等】 システムの定義の概念について学ぶ
【事前・事後学習課題】 システムの定義を学び、意思決定は何かを理解すること

第４回 【授業テーマ】 モデル
【内容・方法 等】 モデルの概念について学ぶ
【事前・事後学習課題】 モデルの概念を学び、意思決定は何かを理解すること

第５回 【授業テーマ】 意思決定支援システムの定義と分類
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの定義と分類の解説
【事前・事後学習課題】 DSSの基本機能、構造を理解すること

第６回 【授業テーマ】 問題解決とDSS
【内容・方法 等】 問題解決に至るフェーズ解説と具体例
【事前・事後学習課題】 問題解決がどのようなフェーズからなっているかを理解し、各フェーズにおける技法を学ぶこと

第７回 【授業テーマ】 意思決定支援システムの機能と構造Ⅰ
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの機能と構造を学ぶ
【事前・事後学習課題】 情報システムの設計論を理解し、DSSがどのように設計されるべきかを学ぶこと

第８回 【授業テーマ】 意思決定支援システムの機能と構造Ⅱ
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの機能と構造を学ぶ
【事前・事後学習課題】 事例を通して、グループDSSについて学ぶこと

第９回 【授業テーマ】 特別講義
【内容・方法 等】 ゲストスピーカーを招いての特別講義
【事前・事後学習課題】 システム開発会社の経営者の方による、現場から見たシステム開発の実態を学ぶこと

第10回 【授業テーマ】 演習Ⅰ
【内容・方法 等】 問題解決の３つのフェーズ
【事前・事後学習課題】 問題解決の３つのフェーズを学ぶこと。演習内容の説明と、実際にグループに分かれてのテーマに沿った意思決定のプロセスを経験する。

第11回 【授業テーマ】 演習Ⅱ
【内容・方法 等】 意思決定シミュレーション演習
【事前・事後学習課題】 引き続き、実際にグループに分かれてのテーマに沿った意思決定のプロセスを経験し、グループごとに結果発表を行う。

第12回 【授業テーマ】 意思決定支援システムの構築

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　181　2014/08/21　14:24:24

【内容・方法　等】 演習の総括とシステム開発の手順について学ぶ
【事前・事後学習課題】 演習を総括。システム開発の手順（基本）について学ぶ
第13回 【授業テーマ】 意思決定支援システムの構築
【内容・方法　等】 開発ステップでの具体的アプローチについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 設計アプローチと開発形態について学ぶ
第14回 【授業テーマ】 総括　Ⅰ
【内容・方法　等】 意思決定支援システムの概念と機能ついての総括
【事前・事後学習課題】 モデル概念、DSSの機能について復習しておくとこ
第15回 【授業テーマ】 総括　Ⅱ
【内容・方法　等】 問題解決と意思決定についての総括
【事前・事後学習課題】 問題解決のフェーズと意思決定について復習しておくこと

評価方法（基準）
定期試験（60%）、演習課題（15%）、講義毎の連絡メモによる授業協力（25%）により総合的に評価します。

教材等
教科書…なし（毎回の配布資料を教科書とします）
参考書…飯島淳一『意思決定支援システムとエキスパートシステム』日科技連(3400円+税)

学生へのメッセージ
意思決定の科学は、将来皆さんが社会で直面する困難を切り開くきっかけになるに違いありません。経営学における意思決定の理論と実践の論理をつなげておきましょう。

関連科目
経営戦略論、経営統計学、マネジメントサイエンス等

担当者の研究室等
経営学部事務室

情報産業論
Computer and Information Industry

北　尾　隆　夫（キタオ　タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「産業の情報化」の進展の中で、情報産業はその中心的担い手として、発展を続けています。　情報産業はそれ自体の産業規模に止まらず、情報サービスの提供を通じ他産業の発展にも大きく貢献してきました。　今後の情報産業に求められるのは、情報の高度活用を通じて、産業の高付加価値化を進めていく先導的な役割です。　本講義では、情報産業の誕生から発展の歴史をたどると共に、今日に於ける情報産業の役割、課題を明確にします。　また、情報産業で働く技術者、コンサルタントなどの業務内容を紹介しつつ、産業としての発展可能性を探って行きます。

授業方法と留意点
講師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画を促す目的で、レポートやその発表を多く取り入れたものにします。　授業全体を通じ、その時々の社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。
また、毎回ではありませんが、課題を出し次講義で発表いただく場合もあります。　毎回講義内容を復習しておいてください。

科目学習の効果（資格）
情報産業に関する知識は、特定の業界や企業の問題ではなく、社会で働く上で情報活用は必須条件であり、あらゆる仕事において役立つと考えられます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに　－情報産業とは－
【内容・方法　等】 （１）講義ガイダンス
講義の概要、進め方、評価方法、注意事項などについての説明
（２）「情報産業」とは何か
情報産業の典型的な事例紹介やDVD鑑賞などでの情報産業への誘い
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んでおいてください。
第２回 【授業テーマ】 情報産業の歴史　Ⅰ
【内容・方法　等】 情報産業の誕生からメインフレーム(汎用機)の時代に至る経緯を解説します。
コンピュータ開発の歴史、コンピュータの産業での活用、情報産業の誕生を踏まえ、
その歴史と特徴を説明します。
【事前・事後学習課題】 メインフレームコンピュータとは何かを調べておいてください。
第３回 【授業テーマ】 情報産業の歴史　Ⅱ
【内容・方法　等】 パソコン芽生えの時代からインターネット活用の時代までの進展の歴史と特徴を説明します。
【事前・事後学習課題】 どの様なことにインターネットを活用しているかを整理しておいてください。
第４回 【授業テーマ】 情報産業の歴史　Ⅲ
【内容・方法　等】 パソコンの普及からユビキタスの時代までの歴史と特徴を説明します。
【事前・事後学習課題】 ユビキタスとはどの様な意味かを調べておいてください。
第５回 【授業テーマ】 従来型情報産業の動向
【内容・方法　等】 コンピュータメーカ、ソフトウエア開発、通信など従来型情報産業の動向と企業特性による分類と今後の動向等を説明します。
【事前・事後学習課題】 ハードウェアとソフトウェアの違いを調べておいてください。
第６回 【授業テーマ】 新情報産業の登場　Ⅰ
【内容・方法　等】 エレクトリックコマース(EC)、モバイル、コンテンツなどの新情報産業の登場を紹介し、
インターネットの発展により登場した新たなタイプの情報産業について、その特徴と動向を解説します。
【事前・事後学習課題】 インターネットでの物品購入などで疑問に思うことを整理しておいてください。
第７回 【授業テーマ】 新情報産業の登場　Ⅱ
【内容・方法　等】 従来型教法産業と新情報産業との違いを知り、両者の産業構造の違いを理解していただきます。
放送局などの情報提供と、新情報産業の一部であるコンテンツ提供サービスの違いを解説すると共に、クラウド・コンピューティングとはどの様な意味があるのかに言及します。
【事前・事後学習課題】 コンテンツとは何かを調べておいてください。
第８回 【授業テーマ】 情報産業の将来展望
【内容・方法　等】 情報産業の今後の発展を、６つの局面から検討し、その可能性を探ります。
【事前・事後学習課題】 情報産業というものを、どの様に理解したかを整理しておいてください。
第９回 【授業テーマ】 企業経営の観点での情報統制
【内容・方法　等】 情報担当役員(CIO)の役割と事例研究。
企業などで情報システムや情報の流通を統括する情報統括役員（CIO）の役割とその重要性を解説します。　また、中小企業で、CIOの役割を代行するITコーディネイターの役割への理解を深めます。
【事前・事後学習課題】 企業経営における情報の重要性について考えておいてください。
第10回 【授業テーマ】 企業内情報システム部門の役割
【内容・方法　等】 情報産業の仕事内容を知るために、情報システム開発の事例を一緒に検討します。
企業内で情報システム開発管理を行う情報システム部門の役割や、情報システムのライフサイクルについて言及します。
【事前・事後学習課題】 ライフサイクルという言葉の意味を調べておいてください。
第11回 【授業テーマ】 情報システムの開発
【内容・方法　等】 システム開発の流れ、作業内容、開発方法などについて理解していただきます。
システム開発に不可欠なプロジェクト管理の重要性などについての理解を深めていただきます。
【事前・事後学習課題】 プロジェクトとは、どの様なものを指すのかを調べておいてください。
第12回 【授業テーマ】 情報システムで働く人の環境
【内容・方法　等】 情報産業の中心的担い手である高度情報専門家の職種、業務内容と求められるスキルの体系や業務内容について解説します。　特に、プロジェクト・マネジャーの仕事内容を紹介します。
【事前・事後学習課題】 知りうる、または想像する情報システム関係の仕事を整理しておいてください。
第13回 【授業テーマ】 中小企業での情報システム
【内容・方法　等】 中小企業における情報システム開発の課題を紹介し、情報システム部門が存在しない実態や、情報処理に投資できる金額にも限りがあるという厳しい現状を認識していただきます。
【事前・事後学習課題】 中小企業の経営の厳しさについて、知りうることを整理しておいてください。
第14回 【授業テーマ】 講義のまとめ(前編)
【内容・方法　等】 これまでの講義全体の復讐と、学期末試験を意識したポイントを整理します。
また、そのための模擬テストの実施、Ｑ＆Ａ対応を行います。
【事前・事後学習課題】 全体のまとめをするので、過去に配布した講義資料を全部持って来てください。　また、質問事項を整理しておいてください。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ(後編)
【内容・方法　等】 これまでの講義全体の復讐と、学期末試験を意識したポイントを整理します。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　182　2014/08/21　14:24:24

また、そのための模擬テストの実施、Ｑ＆Ａ対応を行います。
【事前・事後学習課題】 全体のまとめをするので、過去に配布した講義資料を全部持って来てください。 また、質問事項を整理しておいてください。

評価方法（基準）
全体評価は、平常評価（３５％）と学期末試験評価（６５％）により行います。
平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上、自己表現力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。
また、レポート課題および学期末試験の設問は、到達目標に纏わる内容とし、その結果で達成評価を行います。

教材等
教科書…特段、教科書の設定は行いません。 授業は配布プリントとパワーポイントによるプレゼンテーションや板書により進めます。
参考書…参考資料も、毎回の授業のテーマに沿って必要なものを配布します。
また、授業の参考になる書籍、ビジネス雑誌、更にはインターネット情報を紹介し、授業の一助に供します。

学生へのメッセージ
情報産業は、本来、時代の最先端を走り、種々の産業をリードする役割を担っていると考えます。 長年、情報産業に身を置く講師の経験も踏まえて、情報産業の魅力と責任を受講生に伝えたい。
・ 毎回出席をとります〔連絡カード配付〕。 遅刻をしないようにしてください。
・ 座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。
・ 授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります〕。

関連科目
情報工学／情報処理入門／情報産業の歴史etc.

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室、講師控え室）

情報セキュリティ
Information Security

能 勢 豊 一（ノセ トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
情報セキュリティの基礎的なリテラシーを身につけることを目的とする．情報技術の進展は，さまざまな恩恵を私たちの生活にもたらしている．その一方で，さまざま危険と隣り合わせであることも理解しておかなければならない．本講義においては，情報セキュリティの全般的な内容に触れ，個人としての取り組むべきこと，また，企業などの組織として取り組むべきことを学び，コンピュータやネットワークを利用する者として，被害者や加害者にならないようにする．

授業方法と留意点
テキストに従ったプリントを配布し、適宜教科書を参照して、講義を行う。必要に応じて最新事例等を紹介するなど内容を変更する。毎回講義の終了前に、課題を与え、原則時間内にレポートを提出する。

科目学習の効果（資格）
情報処理技術者試験（基本情報処理，ITストラテジスト）における情報セキュリティ分野の知識を獲得し、その知識の整理に役立つ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 情報化の進展と社会の変容
【内容・方法 等】 本講義の狙い、進め方について
ITの落とし穴，インターネットに潜む危険
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第２回 【授業テーマ】 デジタル技術による社会的矛盾の拡大
【内容・方法 等】 情報セキュリティの考え方
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第３回 【授業テーマ】 情報セキュリティの概念と理念
【内容・方法 等】 情報セキュリティに対する多様な視点
セキュリティマネジメント学とは
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第４回 【授業テーマ】 セキュリティマネジメントと工学的アプローチ
【内容・方法 等】 プライバシー保護と個人情報
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第５回 【授業テーマ】 セキュリティマネジメントと経営学的アプローチ
【内容・方法 等】 経営におけるリスクとチャンス
サービスを科学し、ビジネスをデザインする
企業活動と情報セキュリティ対策基準
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第６回 【授業テーマ】 セキュリティマネジメントと会計学的アプローチ
【内容・方法 等】 情報セキュリティと企業価値
情報セキュリティと市場評価
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第７回 【授業テーマ】 セキュリティマネジメントと経済学的アプローチ
【内容・方法 等】 情報セキュリティ投資
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第８回 【授業テーマ】 セキュリティマネジメントと行動科学的アプローチ
【内容・方法 等】 環境配慮行動と社会的ジレンマ状況
心理と行動
ハインリッヒの法則と割れ窓理論
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第９回 【授業テーマ】 セキュリティマネジメントと法学的アプローチ
【内容・方法 等】 著作権に関する法律
個人情報の保護に関する法律
電子認証と署名に関する法律
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第10回 【授業テーマ】 経営分野におけるセキュリティマネジメントの事例
【内容・方法 等】 セキュリティ対策とリスク管理実施
企業の内部統制と情報セキュリティガバナンス
企業活動と情報セキュリティ
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第11回 【授業テーマ】 金融分野におけるセキュリティマネジメントの事例
【内容・方法 等】 生体認証システム
想定される攻撃と対応
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第12回 【授業テーマ】 事故調査制度分野の事例
【内容・方法 等】 情報セキュリティにおける事故調査制度
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第13回 【授業テーマ】 情報セキュリティのための総合科学構築
【内容・方法 等】 矛盾という視点から見た情報セキュリティ
社会的実学・教養教育と情報セキュリティ
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第14回 【授業テーマ】 情報社会と倫理
【内容・方法 等】 情報倫理
哲学の歴史
社会規範と企業倫理
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第15回 【授業テーマ】 情報セキュリティと人材育成
【内容・方法 等】 情報セキュリティに関する最近の状況
技術者の悩みと倫理
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックするとともに、15回の講義の総括をする

評価方法（基準）
小テストとレポート４０点、学期末試験の結果６０点を目安にして総合的に評価する。

教材等
教科書…セキュリティマネジメント学－理論と事例－（日本セ

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd 183 2014/08/21 14:24:24

キュリティ・マネジメント学会監修)、共立出版、2011
参考書…情報社会・セキュリティ・倫理（辻井重男）、コロナ社, 2012

学生へのメッセージ
情報セキュリティに関する知識は，これから社会に出る人にとって，身につけておくべきリテラシーだと思います．情報セキュリティについて考えるきっかけになることを期待します．

関連科目
情報システム監査、経営情報システム論

担当者の研究室等
金曜日：摂南大学11号館6階（経営学部事務室）
その他の曜日：大阪工業大学９号館４階（経営情報システム研究室）

プロジェクトマネジメント
Project Management

若　松　敏　幸（ワカマツ　トシユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
どのような組織にも特定の事業目的のための活動がある。プロジェクトマネジメントは、そのような活動の成果を効果的に計画、実行、コントロールするための技法である。講義では、プロジェクト・マネジメントの基本知識の習得と、事例や主な管理ツールを通してその活用法を学習し、プロジェクト・リーダーになるための基本スキルを身につけることを目標にする。

授業方法と留意点
テキスト及び配布資料を中心に講義を行う。随時演習を取り入れる。

科目学習の効果（資格）
高度情報処理技術者試験にプロジェクトマネージャーの資格がある。また国際的な民間資格にＰＭＰがある。将来実務経験を積んだ後に、これらの資格取得に役立つ基礎知識を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンスおよびプロジェクトマネジメントの概要
【内容・方法　等】　講義の進め方、概要、評価方法など
【事前・事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　ＰＭＢＯＫに関する基礎知識
【内容・方法　等】　プロジェクトマネジメントの体系、ＰＭＢＯＫ基本用語
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第３回　**【授業テーマ】**　プロジェクトのスコープ定義
【内容・方法　等】　プロジェクト・スコープ・マネジメント、ＷＢＳ
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第４回　**【授業テーマ】**　スケジュールの作成
【内容・方法　等】　プロジェクト・タイム・マネジメント
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第５回　**【授業テーマ】**　予算の作成
【内容・方法　等】　プロジェクト・コスト・マネジメント、コストの見積り法
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第６回　**【授業テーマ】**　品質管理
【内容・方法　等】　プロジェクト品質マネジメント、ＱＣ７つ道具
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第７回　**【授業テーマ】**　要員の調達と育成、コミュニケーション管理
【内容・方法　等】　プロジェクト人的資源マネジメント、プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第８回　**【授業テーマ】**　リスク管理
【内容・方法　等】　プロジェクト・リスク・マネジメント
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第９回　**【授業テーマ】**　調達管理
【内容・方法　等】　プロジェクト調達マネジメント
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。

第10回　**【授業テーマ】**　ＰＭＢＯＫを利用したプロジェクトマネジメント実践（１）
【内容・方法　等】　計画フェーズ
個人別演習（プロジェクト概要、スコープ定義、WBS、体制）
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。

第11回　**【授業テーマ】**　ＰＭＢＯＫを利用したプロジェクトマネジメント実践（２）
【内容・方法　等】　要件定義フェーズ
個人別演習（プロジェクト予算、スケジュール）
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。

第12回　**【授業テーマ】**　ＰＭＢＯＫを利用したプロジェクトマネジメント実践（３）
【内容・方法　等】　設計・開発フェーズ
グループ演習（チーム編成、計画書作成）
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。

第13回　**【授業テーマ】**　ＰＭＢＯＫを利用したプロジェクトマネジメント実践（４）
【内容・方法　等】　テスト・移行フェーズ
グループ演習（リスク管理と変更管理）
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。

第14回　**【授業テーマ】**　ＰＭＢＯＫを利用したプロジェクトマネジメント実践（５）
【内容・方法　等】　運用・保守フェーズ
グループ演習（モニタリング、成果発表）
【事前・事後学習課題】　教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】　授業で学習した内容を整理する

評価方法（基準）
授業において演習課題やレポートの提出を求めます。その提出課題、レポートおよび学期末試験の結果により評価します。（期末試験を６割、理解度テストを４割の割合。）
また、授業での質問や意見表明など積極的な学習姿勢も評価します。

教材等
教科書…「プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門 PMBOK第５版」
広兼修著、オーム社
単行本（2014/3/26）￥2,100、Kindle版（2014/3/18）￥2,000
参考書…日本プロジェクトマネジメント・フォーラム編　「トコトンやさしいプロジェクトマネジメントの本」（１，４７０円）

学生へのメッセージ
会社、地域社会、家庭などあらゆる場面で、様々な問題を解決し、目的を効果的に達成することが求められます。また、学生生活においても、リーダーとしての役割が求められることが多々あるはずです。そうした経験を踏まえて、プロジェクトマネジメントのスキルを身につけることの有用性を理解してください。

関連科目
経営管理論、リスクマネジメント、システム設計、コミュニケーション論

担当者の研究室等
１１号館６階（経営学部事務室）

備考
第10回～第14回は情報処理室での演習を予定していますが、グループ討議によって共同の成果物の提出を求めます。授業欠席があるとグループに迷惑がかかるので、欠席しないように注意してください。

社会情報システム論
Social Information System

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、現代社会における情報システムのあり方、情報ネットワークの意義について取り扱う。ここでは、企業の情報システム、行政の情報システムをはじめとして、地域コミュニティに貢献する情報ネットワーク、ブログやSNSなどの個人間の情報ネットワークなどを取り上げる。そして、組織間、個人間などさまざまな情報の流通による効用や問題点についても検討を行う。

授業方法と留意点
講義形式。ただし、講義時間内でディスカッションを行う場合は積極的に発言すること。

科目学習の効果（資格）

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　184　2014/08/21　14:24:24

情報社会における情報技術の効果的な利用を考える基礎知識の修得

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容･方法　等】　社会情報システムとは何か、日常生活でのコンピュータ利用
【事前･事後学習課題】　シラバスを読んでおく

第２回　**【授業テーマ】**　情報システムの発展過程
【内容･方法　等】　コンピュータの発達と活用範囲の広がり
【事前･事後学習課題】　コンピュータ関連科目の授業内容を振り返る

第３回　**【授業テーマ】**　情報システムを活かした組織活動（企業）
【内容･方法　等】　企業における情報システムの活用の紹介
【事前･事後学習課題】　企業のIT活用について調べる

第４回　**【授業テーマ】**　情報システムを活かした組織活動（IT企業）
【内容･方法　等】　IT企業における情報システムの活用の紹介
【事前･事後学習課題】　IT企業の発展について調べる

第５回　**【授業テーマ】**　情報システムを活かした組織活動（行政）
【内容･方法　等】　行政における情報システムの活用の紹介
【事前･事後学習課題】　行政の情報化を調べる

第６回　**【授業テーマ】**　個人の情報活用と情報社会の進展
【内容･方法　等】　震災時の情報システム利用、Web2.0、個人の経済活動の変化、ゲームとしての社会
【事前･事後学習課題】　個人向けの情報サービスについて調べる

第７回　**【授業テーマ】**　経営と情報
【内容･方法　等】　ディスカッション
【事前･事後学習課題】　ディスカッションテーマに関する情報収集

第８回　**【授業テーマ】**　情報社会の課題
【内容･方法　等】　情報通信技術の動向、監視社会、安心安全
【事前･事後学習課題】　情報技術の功罪を考える

第９回　**【授業テーマ】**　ICTの利点と問題点
【内容･方法　等】　ケータイ、ブログ、SNS
【事前･事後学習課題】　普段のICT利用について考える

第10回　**【授業テーマ】**　集団行動と情報システム
【内容･方法　等】　集合知、プロファイリング
【事前･事後学習課題】　普段の生活での行動の情報提供について考える

第11回　**【授業テーマ】**　個人からの情報発信の可能性
【内容･方法　等】　ディスカッション
【事前･事後学習課題】　ディスカッションテーマに関する情報収集

第12回　**【授業テーマ】**　地域の情報発信
【内容･方法　等】　地域ブランド、市民サイト、地域コミュニティ
【事前･事後学習課題】　地元の地域ブランドについて調べる

第13回　**【授業テーマ】**　地域情報化の現状
【内容･方法　等】　電子自治体関連の研究の紹介、今後の展望
【事前･事後学習課題】　地元自治体のウェブサイトを見る

第14回　**【授業テーマ】**　これからの社会情報システムとは
【内容･方法　等】　ディスカッション
【事前･事後学習課題】　ディスカッションテーマに関する情報収集

第15回　**【授業テーマ】**　講義のまとめ
【内容･方法　等】　講義全体のまとめ
【事前･事後学習課題】　これまでの講義内容の要点をまとめる

評価方法（基準）

定期テスト80%、レポート等20%で評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…適宜、紹介する。

学生へのメッセージ

ブログ、SNSなどの新しい情報ネットワークについては、学生の皆さんの方がよくご存じかもしれません。理論と実際との間をどのようにつないでいくかは、新しい学問分野として興味深いところです。一緒にこの課題を考えていきましょう。

関連科目

空間情報システム論、空間情報システム論演習

担当者の研究室等

11号館７階　久保准教授室

マーケティングサイエンスI
Marketing Science I

樋　口　友　紀（ヒグチ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近年、ビジネスにおいてマーケティングは欠かすことのできないツールとなった。商品を生産すれば売れた時代とは違い、現在では多様化する消費者ニーズに的確に対応することが、企業にとって市場で生き残っていくためのカギとなっている。
本講義では、マーケティング戦略を立案する上で必要不可欠となるデータの扱い方を紹介し、各自でリサーチを実行してもらう。市場の動向を読むための技術を身につけることは非常に重要である。

授業方法と留意点

教員からの講義の他に、講義内容に関連した実際の問題について学生自身にも考え、発表してもらう。これは、学生の発想力と創造力を伸ばすためでもある。

科目学習の効果（資格）

マーケティングの基礎知識とリサーチ手法について学習し、現実の問題について考えることで、世の中で行われているマーケティング手法について身近に理解できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス－マーケティング・リサーチとは－
【内容･方法　等】　授業の進め方、マーケティング・リサーチの歴史と実行手順について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第２回　**【授業テーマ】**　二次データの収集
【内容･方法　等】　仮説の立案と二次データの整理
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第３回　**【授業テーマ】**　一次データの収集
【内容･方法　等】　一次データの収集方法と質問票の設計について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第４回　**【授業テーマ】**　データ分析(1)
【内容･方法　等】　質問票データの入力方法と、基礎統計について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第５回　**【授業テーマ】**　データ分析(2)
【内容･方法　等】　独立性の検定と回帰・重回帰分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第６回　**【授業テーマ】**　データ分析(3)
【内容･方法　等】　重回帰分析による予測
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第７回　**【授業テーマ】**　データ分析(4)
【内容･方法　等】　指数平滑法による予測、平均値差による検定
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第８回　**【授業テーマ】**　データ分析(5)
【内容･方法　等】　分散分析、数量化Ｉ類について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第９回　**【授業テーマ】**　データ分析(6)
【内容･方法　等】　SPSSの使用方法、判別分析、数量化Ⅱ類について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第10回　**【授業テーマ】**　データ分析(7)
【内容･方法　等】　クラスター分析、コレスポンデンス分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第11回　**【授業テーマ】**　データ分析(8)
【内容･方法　等】　主成分分析、因子分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第12回　**【授業テーマ】**　マーケティング・リサーチ演習(1)
【内容･方法　等】　これまでの講義内容をふまえ、各自でマーケティング・リサーチを実行してもらいます。
【事前･事後学習課題】　リサーチ内容を計画し、適切な分析手法を選択することができるように、講義内容について復習し、情報収集を心がけてください。

第13回　**【授業テーマ】**　マーケティング・リサーチ演習(2)
【内容･方法　等】　設計したリサーチ内容を発表資料としてまとめていきます。
【事前･事後学習課題】　考案したリサーチ内容について、プレゼンテーションができるように掘り下げて考えて下さい。また、リサーチに必要な情報を収集し、まとめてください。

第14回　**【授業テーマ】**　マーケティング・リサーチ演習とプレゼンテーション
【内容･方法　等】　考案・設計したリサーチ内容を発表資料としてまとめ、発表してもらいます。また、他の学生の考案したリサーチ内容について分析を加えます。
【事前･事後学習課題】　リサーチ内容について掘り下げて考えるよう心掛けてください。

第15回　**【授業テーマ】**　講義まとめ
【内容･方法　等】　授業に関する質問に回答します。
【事前･事後学習課題】　半年間の復習をしておいてください。

評価方法（基準）

講義内課題70%、期末試験30%

教材等

教科書…指定しない。レジュメを配布する。
参考書…講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

日ごろ自分達がどのように考え、どういった商品を購入してい

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　185　2014/08/21　14:24:25

るかを思い浮かべつつ、講義に臨んでもらいたい。

関連科目
マーケティング論など

担当者の研究室等
11号館8階、樋口研究室

備考
学生の理解度により、適宜講義内容を変更する場合がある。

マーケティングサイエンスII
Marketing Science II

樋　口　友　紀（ヒグチ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
近年、マーケティング戦略の立案などに際し、市場調査が頻繁に利用されている。市場調査により収集されたマーケティング・データは、企業の意思決定において様々な形で利用される。ただし、これらのデータはそのままの形では有効に利用することが難しい。よって、種々の分析手法をもって、まずは有益な情報に変換されることとなる。本講義では、このようなマーケティング・データを扱うためのデータ分析手法について、多変量解析を中心に学ぶことを目的としている。

授業方法と留意点
教員からの講義に加え、講義内容に関連する課題への回答および提出を課す。

科目学習の効果（資格）
マーケティング・リサーチの手法とデータの扱い方を身につけることで、各種マーケティング上の課題への対応が可能になる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　イントロダクション
【内容･方法　等】　マーケティング・リサーチとデータ分析の関係について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第２回　**【授業テーマ】**　リサーチの流れとデータの役割
【内容･方法　等】　マーケティング・リサーチの基本知識、実行手順などについて
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第３回　**【授業テーマ】**　データの基本(1)
【内容･方法　等】　データ入力と整理
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第４回　**【授業テーマ】**　データの基本(2)
【内容･方法　等】　基礎分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第５回　**【授業テーマ】**　検定
【内容･方法　等】　検定の方法について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第６回　**【授業テーマ】**　データの相関関係について
【内容･方法　等】　データ同士の関係性を見る手法について
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第７回　**【授業テーマ】**　多変量解析(1)
【内容･方法　等】　重回帰分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第８回　**【授業テーマ】**　多変量解析(2)
【内容･方法　等】　時系列解析手法
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第９回　**【授業テーマ】**　多変量解析(3)
【内容･方法　等】　数量化理論Ⅰ類
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第10回　**【授業テーマ】**　多変量解析(4)
【内容･方法　等】　分散分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第11回　**【授業テーマ】**　多変量解析(5)
【内容･方法　等】　判別分析・数量化理論Ⅱ類
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第12回　**【授業テーマ】**　多変量解析(6)
【内容･方法　等】　クラスター分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第13回　**【授業テーマ】**　多変量解析(7)
【内容･方法　等】　コレスポンデンス分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第14回　**【授業テーマ】**　多変量解析(8)
【内容･方法　等】　主成分分析・因子分析
【事前･事後学習課題】　配布プリントの復習

第15回　**【授業テーマ】**　講義まとめ
【内容･方法　等】　半年間の講義のまとめと復習、質問への対応など
【事前･事後学習課題】　半年間の復習をしておいてください。

評価方法（基準）
講義内課題70%、期末試験30%

教材等
教科書…指定しない、レジュメを配布する。
参考書…講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
講義内容の復習を出来るだけ行ってください。

関連科目
マーケティング論など

担当者の研究室等
11号館8階、樋口研究室

備考
学生の理解度などにより、適宜講義内容を変更する場合がある。

流通情報システム
Distribution Information System

若　松　敏　幸（ワカマツ　トシユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
小売業、卸売業などの流通業界は、消費者ニーズの多様化・個性化と競争環境の激化に対応して、魅力ある品揃え、無駄の排除と効率化、ローコストオペレーション等を積極的に進めている。また、インターネットを活用したビジネスモデルも進化を遂げており、今日の商取引に多大な影響を与えている。このような流通業界の経営課題を確認しつつ、そのビジネスモデルを支える流通情報システムの仕組みを理解することを目的とする。

授業方法と留意点
毎回、パワーポイントのスライド教材と動画の教材を用いて授業を進める。講義内容についての理解度テストを適時行う。

科目学習の効果（資格）
販売士検定３級試験、中小企業診断士試験の学習に有効

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンスおよび流通情報システムの概要
【内容･方法　等】　講義の進め方、概要、評価方法などについて説明する。
また、流通情報システムの概要について説明する。
【事前･事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　小売業の機能と業態
【内容･方法　等】　小売業の主な業態（チェーンストア、百貨店、ＧＭＳ、ＳＭ、ＤＩＹ、ドラッグストア、ＣＶＳ）の機能・特徴について学ぶ。
【事前･事後学習課題】　授業で紹介する小売業のうち身近な業態についてよく研究すること。

第３回　**【授業テーマ】**　卸売業の機能と役割
【内容･方法　等】　中間流通業者としての卸売業の機能、役割、ならびに主要商品別流通経路の特性について学ぶ。
【事前･事後学習課題】　代表的な卸売業について、ホームページなどで企業研究すること。

第４回　**【授業テーマ】**　販売情報システム
【内容･方法　等】　小売業の情報システムの基本ともいえる販売情報システムについて学ぶ。
特にＰＯＳシステムとＪＡＮ商品コードを中心に。
【事前･事後学習課題】　小売店でのＰＯＳシステムのオペレーションを観察すること。

第５回　**【授業テーマ】**　発注・仕入管理とＥＯＳ、ＥＤＩ（電子データ交換）
【内容･方法　等】　小売業と卸売業を結ぶ発注・仕入管理とその情報システムについて学ぶ。ＥＯＳ，ＥＤＩ（電子データ交換）の仕組みと機能を知る。
【事前･事後学習課題】　ＥＯＳ、ＥＤＩの事例をインターネットで調べる。

第６回　**【授業テーマ】**　流通ビジネスプロトコル
【内容･方法　等】　ＥＤＩにおける標準ビジネスプロトコルの役割と必要性を学ぶ。
【事前･事後学習課題】　ビジネスプロトコルの種類について復習をすること。

第７回　**【授業テーマ】**　物流情報システム
【内容･方法　等】　物流の機能と、物流情報システムについて学ぶ。物流からロジスティクス、ＳＣＭ（サプライチェーン・マネジメント）へと発展した考え方を学ぶ。
【事前･事後学習課題】　物流の機能について、ホームページなどで研究すること。

第８回　**【授業テーマ】**　顧客管理とカードシステム
【内容･方法　等】　顧客管理と顧客満足経営（ＣＳ経営）、顧客管理の方法について学ぶ。
ＲＦＭ分析、カードシステム、ワン・トゥ・ワンマーケティングなど。
【事前･事後学習課題】　カードの利用場面を観察し、ワン・トゥ・ワンマーケティングについて研究すること。

第９回　**【授業テーマ】**　商圏分析と店舗管理の情報システム

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　186　2014/08/21　14:24:25

【内容・方法　等】 店舗の立地条件と商圏の考え方、ＧＩＳ（地図情報システム）、売場づくりの考え方について学ぶ。棚割（プラノグラム）システムなど。
【事前・事後学習課題】 インターネットで利用できるＧＩＳを研究すること。
第10回 【授業テーマ】 サプライチェーン・マネジメント
【内容・方法　等】 流通の川上（製造業）から川下（小売業）へのスムーズな取り引きを実現するＳＣＭ(Supply Chain Management)の考え方と仕組みを学ぶ。
【事前・事後学習課題】 ＳＣＭの事例について、ホームページや書籍などで研究すること。
第11回 【授業テーマ】 電子商取引：Ｂ to CのEC(Electronic Commerce)
【内容・方法　等】 インターネットを使った企業と消費者間の電子商取引（ＢtoＣのＥＣ）について学ぶ。インターネットショップ、インターネットモールなど。また、デジタル音楽配信、電子書籍などの動向と課題についても学習する。
【事前・事後学習課題】 人気のあるインターネットショップを例に、なぜ人気があるのか研究すること。
第12回 【授業テーマ】 電子商取引：Ｂ to BのEC(Electronic Commerce)
【内容・方法　等】 インターネットを使った企業と企業間の電子商取引（ＢtoＢのＥＣ）について学ぶ。マーケットプレイス、インターネットＥＤＩなど。
【事前・事後学習課題】 授業で紹介するＢtoＢのＥＣモデルについてインターネットで研究すること。
第13回 【授業テーマ】 商業集積の情報システム（商店街およびショッピングセンター）
【内容・方法　等】 商業集積である商店街及びショッピングセンターの特徴と課題、情報化の狙いと機能につい学ぶ。
【事前・事後学習課題】 身近にある商店街、ショッピングセンターを観察し、今後の課題を考えてみること。
第14回 【授業テーマ】 食品流通のトレーサビリティ
【内容・方法　等】 食の安全・安心のためのトレーサビリティ・システムについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 身近な食品を通して安全・安心をどうやって確認できるのか考えてみる。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法　等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今日の流通業全体が抱える課題について整理すること。

評価方法（基準）
期末試験、理解度テストによって評価する。（期末試験を６割、理解度テストを４割の割合。）
また、授業での質問や意見表明など積極的な学習姿勢も評価する。

教材等
教科書…プリントを毎回配布する。
参考書…財団法人流通システム開発センター「流通情報システム化の動向」（２，１００円）
日本商工会議所編集「販売士検定試験３級ハンドブック」（２，０００円）

学生へのメッセージ
日常の買い物などを通して、商品バーコードやＰＯＳシステムなど、流通情報システムの一端に接することが出来る。最新事例も含めて、流通情報システムに対する理解を深めて頂きたい。

関連科目
経営情報システム論

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

空間情報システム論（位置情報システム論）
Spatial Information System Science

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、空間情報学の基礎と空間情報システムの活用について、理論と実例を交えて学ぶ。環境問題、自然災害、都市開発計画、消費者行動など空間情報システムが有効に活用される課題について、その背景や適用範囲、今後の活用について学ぶことを目的とする。

授業方法と留意点
講義形式。受講期間中は、空間情報システムのニュースや記事に注目すること。ディスカッションの際は積極的に発言すること。

科目学習の効果（資格）
空間に対する考え方が広がり、空間と情報システムの関連性を理解できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 本講義の狙い、空間とは何か
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと
第２回 【授業テーマ】 空間のとらえ方
【内容・方法　等】 空間を扱う学問の歴史
【事前・事後学習課題】 これまで習った「空間」について振り返る
第３回 【授業テーマ】 空間情報学とは
【内容・方法　等】 空間情報、空間分析
【事前・事後学習課題】 「空間」として表されているものを調べる
第４回 【授業テーマ】 アイデアの創出と空間
【内容・方法　等】 実例の紹介、アイデア創出における空間の役割
【事前・事後学習課題】 アイデア創出技術を利用する
第５回 【授業テーマ】 空間情報の活用
【内容・方法　等】 空間デザインによる集客効果、居住空間と都市計画
【事前・事後学習課題】 身近な活用事例を探す
第６回 【授業テーマ】 空間分析の活用
【内容・方法　等】 施設配置問題
【事前・事後学習課題】 公的施設の位置関係を調べる
第７回 【授業テーマ】 身近な空間情報
【内容・方法　等】 ゲーム、安全マップ、食べ歩きマップなど
【事前・事後学習課題】 マップ例の収集
第８回 【授業テーマ】 空間をイメージさせる情報表現
【内容・方法　等】 地域情報の表現技術、ゲームでの情報提供
【事前・事後学習課題】 旅行雑誌やゲームの実例を調べる
第９回 【授業テーマ】 情報の空間配置
【内容・方法　等】 情報を集約させる表現技術
【事前・事後学習課題】 実習テーマに関するブレインストーミング
第10回 【授業テーマ】 グループワーク
【内容・方法　等】 大学や地域を紹介するマップを作る
【事前・事後学習課題】 実習テーマの情報収集
第11回 【授業テーマ】 ディスカッション（グループワーク発表）
【内容・方法　等】 情報提供の技法について学ぶ
【事前・事後学習課題】 紙面の構成方法について調べる
第12回 【授業テーマ】 空間情報システムの技術
【内容・方法　等】 GIS、GPSなどの最新動向
【事前・事後学習課題】 最近の利用事例を調べる
第13回 【授業テーマ】 これからの空間情報の活用
【内容・方法　等】 サービス産業や観光創出などへの空間情報の利用を知る
【事前・事後学習課題】 エンターテイメント企業の事例を調べる
第14回 【授業テーマ】 行政と空間情報
【内容・方法　等】 市民参加型の空間情報システムの可能性
【事前・事後学習課題】 災害時の空間情報の活用を考える
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 本講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義内容について要点を空間的にまとめる

評価方法（基準）
定期テスト80%、レポート等20%で評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…適宜、紹介する。

学生へのメッセージ
空間情報は、企業活動、行政活動、研究活動の様々な部分で進展しています。日々、興味を持って「空間情報をどう使おう」と考えてください。

関連科目
空間情報システム論演習

担当者の研究室等
11号館７階　久保准教授室

空間情報システム論演習
Practice of Spatial Information System Science

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本演習では、地域社会の魅力を再発見する空間情報システムの構築をテーマとする。具体的には、空間情報システムの構成要素となる地理情報システム、ウェブ開発環境を組み合わせて、実践的な学習を行う。また、情報提供の演習として、地域の魅力を掘り起こすためのデータ収集やコンテンツの評価、表現などを行う。

授業方法と留意点

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　187　2014/08/21　14:24:25

毎時間の演習とグループワークによる制作を行うため、出席が単位取得の条件となる。

科目学習の効果（資格）

地域の情報を発信するための基礎技術の習得

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容･方法　等】　空間情報とは何か
【事前･事後学習課題】　シラバスを読んでおく

第２回　**【授業テーマ】**　空間情報システムの体験
【内容･方法　等】　空間と情報を融合させているシステムの操作
【事前･事後学習課題】　ウェブ上の地図情報を利用する

第３回　**【授業テーマ】**　付加価値情報の提供
【内容･方法　等】　商用サイトの分析
【事前･事後学習課題】　企業の情報提供について考える

第４回　**【授業テーマ】**　空間情報システムの要素
【内容･方法　等】　データベース技術、サイトデザイン
【事前･事後学習課題】　WebGISを体験する

第５回　**【授業テーマ】**　MapAPIの実習
【内容･方法　等】　GoogleAPIの操作
【事前･事後学習課題】　地図情報のあるウェブサイトのHTMLソースを見る

第６回　**【授業テーマ】**　MapAPIの実習
【内容･方法　等】　GoogleAPIの応用
【事前･事後学習課題】　GoogleAPIのリファレンスに目を通す

第７回　**【授業テーマ】**　市町村サイトの分析
【内容･方法　等】　地域の情報化の実態把握
【事前･事後学習課題】　地元自治体のウェブサイトを見る

第８回　**【授業テーマ】**　ディスカッション
【内容･方法　等】　地元のポータルサイトの比較
【事前･事後学習課題】　ディスカッションテーマについての情報収集

第９回　**【授業テーマ】**　ウェブユーザビリティ
【内容･方法　等】　誰もが使えるウェブサイトの必要条件
【事前･事後学習課題】　ユーザビリティについて調べる

第10回　**【授業テーマ】**　地域社会の要件
【内容･方法　等】　安心安全、生活情報の提供の実態
【事前･事後学習課題】　生活を支える情報について考える

第11回　**【授業テーマ】**　大学サイトとイメージ
【内容･方法　等】　大学サイトの分析
【事前･事後学習課題】　大学サイトのコンテンツを調べる

第12回　**【授業テーマ】**　グループワーク
【内容･方法　等】　地域ブランドの発見
【事前･事後学習課題】　地元の魅力について調べる

第13回　**【授業テーマ】**　グループワーク
【内容･方法　等】　地域紹介サイトの製作
【事前･事後学習課題】　HTMLの記述方法

第14回　**【授業テーマ】**　成果発表
【内容･方法　等】　グループワークで作成したサイトの発表
【事前･事後学習課題】　プレゼン資料の作成

第15回　**【授業テーマ】**　本演習のまとめ
【内容･方法　等】　グループ間の情報共有、本演習で習得した技法のまとめ
【事前･事後学習課題】　グループワークの成果をまとめる

評価方法（基準）

定期テスト80%、レポート等20%で評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ

情報はその位置づけや価値が受け手にとってわかりやすいときに活用されやすくなります。地域の魅力やみなさんの興味を魅力ある情報に創り上げてみるプロセスを一緒に楽しみましょう。

関連科目

空間情報システム論、社会情報システム論

担当者の研究室等

１１号館７階　久保准教授室

知的財産管理論
Intellectual Properties Management

西　岡　　泉（ニシオカ　イズミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

事業経営において知的財産はますます重要になった。日本はかつて世界の工場と言われたが、現在では生産拠点の海外シフトが急速に進み、親企業は海外からの技術料、特許使用料に依存する構造に変わってきた。これからは経営情報学科の学生でも知的財産の基礎は必要であり、この授業は経営情報学科における唯一の知的財産の授業として貴重な学習機会である。到達目標は、これからの企業で必要な知的財産の基本的な知識を習得する事にある。

授業方法と留意点

大阪工大大学院知的財産研究科の企業出身の教員が授業を進める。大きく分類して（１）知的財産の基礎関係、（２）;知的財産の活用関係、（３）事業・研究開発・知財の戦略関係の３つについて授業を行う。毎回、授業の終わりに小テストを実施する。

科目学習の効果（資格）

企業出身の教員から学ぶので実際的知的財産知識が習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容･方法　等】　授業の進め方、ルール等について解説する。併せて、世界の中で日本が置かれた知的財産の状況について説明する。
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第２回　**【授業テーマ】**　知財戦略とは
【内容･方法　等】　知財戦略の基本について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その１＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第３回　**【授業テーマ】**　特許は生き残れるか
【内容･方法　等】　特許制度のあり方について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その２＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第４回　**【授業テーマ】**　技術に値段を付けられるか
【内容･方法　等】　技術の金額評価について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その４＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第５回　**【授業テーマ】**　やがて哀しきノウハウ
【内容･方法　等】　特許とノウハウについて考え、議論する。
教科書＜ヒント　その７＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第６回　**【授業テーマ】**　開発するということ
【内容･方法　等】　企業の研究開発における知財部門の役割について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その８＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第７回　**【授業テーマ】**　特許の不思議なところ
【内容･方法　等】　特許の独占権について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その９＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第８回　**【授業テーマ】**　小括
【内容･方法　等】　これまでの授業で学び、議論したことをまとめてレポートする。
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第９回　**【授業テーマ】**　特許が消える？
【内容･方法　等】　特許の「消尽論」を踏まえた知財戦略について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その１２＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第10回　**【授業テーマ】**　スピードが命
【内容･方法　等】　特許の新規性、進歩性、先願主義について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その１３＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第11回　**【授業テーマ】**　正露丸と懐中電灯と販売戦略
【内容･方法　等】　判例から、企業の販売戦略と知財戦略の関係について考え、議論する～その１～。
教科書＜ヒント　その１５＞の章
【事前･事後学習課題】　事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。

第12回　**【授業テーマ】**　コカコーラはえらい
【内容･方法　等】　判例から、企業の販売戦略と知財戦略の関

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　188　　2014/08/21　14:24:25

係について考え、議論する～その２～。
教科書＜ヒント　その１６＞の章
【事前・事後学習課題】 事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。
第13回 【授業テーマ】 Think Globally Act Locally
【内容・方法　等】 外国に特許を出願する意味と目的について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その１８＞の章
【事前・事後学習課題】 事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。
第14回 【授業テーマ】 アバターまたは未来の知財
【内容・方法　等】 知財制度の新しいあり方について考え、議論する。
教科書＜ヒント　その２１＞の章
【事前・事後学習課題】 事前課題；次回授業の教科書の章を読んでおくこと。
事後課題；授業中の小テスト提出を復習とする。
第15回 【授業テーマ】 ケーススタディ
【内容・方法　等】 教員が実際に経験した特許裁判の事例を発表し、特許裁判の企業経営に与える影響について議論する。
【事前・事後学習課題】 これまでの授業全体を総括する事。

評価方法（基準）
毎回小テストを実施し合計点で評価する。

教材等
教科書…西岡泉　誰も書かなかった知的財産論　２２のヒント－未来の知財のために－　静岡学術出版
参考書…竹田和彦　特許のわかる１２章　ダイヤモンド社
外川英明　企業実務者のための実践的特許法　中央経済社

学生へのメッセージ
小テストの評価、受講態度の評価を厳正に行うので、真に知的財産権について学ぶ強い意思を持った学生のみ受講すること。

関連科目
民法I
民法II

担当者の研究室等
１１号館６階（経営学部事務室）

備考
教科書は必須です。

リスクマネジメント
Risk Management

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
リスクマネジメントは、経営活動において発生するリスクを組織的にマネジメントし、ハザード（危害）の発生、損失などを回避、もしくは、低減させる重要なマネジメント手法です。変化の激しい現代社会における重要な課題であり、リスクの評価手法、マネジメント体制の構築、その運用、および、個人単位でのリスクマネジメント意識の向上などが含まれます。これらについて、事例や手法を多く学ぶことで、実践力の高い専門職業人としての土台を築きます。

授業方法と留意点
講義形式で行う。適宜、スライドや映像資料を提示するとともに、外部講師による事例紹介やディスカッションなども実施する予定である。

科目学習の効果（資格）
リスクマネジメントの必要性の理解と自律的な対応の心構え

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 講義の狙い、進め方、採点方法など
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおく
第２回 【授業テーマ】 リスクマネジメントとは何か
【内容・方法　等】 リスクマネジメントの事例紹介
【事前・事後学習課題】 リスクマネジメントの事例の調査
第３回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの必要性
【内容・方法　等】 リスクマネジメントのメリット、コストバランスなど
【事前・事後学習課題】 実際のリスクマネジメントの費用対効果を考える
第４回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの実際
【内容・方法　等】 部分最適型から全体最適型への変化について
【事前・事後学習課題】 バイト先などのリスク管理について調査する
第５回 【授業テーマ】 リスクの捉え方
【内容・方法　等】 リスクの定義、評価方法など
【事前・事後学習課題】 身近にあるリスクの評価
第６回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの基礎概念（１）
【内容・方法　等】 リスクマネジメントの定義、基本計画など
【事前・事後学習課題】 受講内容の実例を探す
第７回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの基礎概念（２）
【内容・方法　等】 対策の実施、モニタリング、危機管理など
【事前・事後学習課題】 受講内容の実例を探す
第８回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの体制
【内容・方法　等】 推進体制の構築、設計の前提について
【事前・事後学習課題】 マネジメント体制を自ら検討する
第９回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの教育
【内容・方法　等】 教育方法、評価方法、育成の視点など
【事前・事後学習課題】 教育方法の比較検討
第10回 【授業テーマ】 事例紹介
【内容・方法　等】 外部講師、もしくは、映像資料などによる事例紹介
【事前・事後学習課題】 これまで受講した内容との関係性の分析
第11回 【授業テーマ】 ディスカッション
【内容・方法　等】 リスクマネジメント担当部署としてのロールプレイ
【事前・事後学習課題】 ディスカッションテーマに関する情報収集
第12回 【授業テーマ】 事業継続計画
【内容・方法　等】 BCPとは何か、災害時の事業継続について
【事前・事後学習課題】 震災時の実例の調査
第13回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの実務（１）
【内容・方法　等】 現場でのリスクマネジメントについて
【事前・事後学習課題】 効果的なリスクマネジメントの検討
第14回 【授業テーマ】 リスクマネジメントの実務（２）
【内容・方法　等】 今すぐ始められるリスク管理法について
【事前・事後学習課題】 リスクマネジメントの関連図書を読む
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 本講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義内容の振り返り

評価方法（基準）
定期テスト80%、レポート等20%で評価する。

教材等
教科書…プリントなどの教材を適宜配布する。
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ
リスクマネジメントは企業の安定的な事業遂行にとってとても重要な考えであり、思考、技術でもあります。このリスクマネジメントの概念を理解し、これからの社会で期待される人財としての判断力を磨いて欲しいと思っています。

関連科目
システム監査、情報倫理、企業倫理、情報法

担当者の研究室等
１１号館７階久保准教授室

データウエアハウス
Data Warehouse Theory

能　勢　豊　一（ノセ　トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
データウェアハウスは、企業の保有する情報を経営資源として活用するために、情報を整理し体系的にまとめて保管するデータの倉庫である。企業経営に役立てるデータの蓄積と活用のためのデータウェアハウスの基礎から応用まで幅広く学習する。
本講義においては、経営的側面からデータウェアハウスの活用方策について理解することを到達目標とする。

授業方法と留意点
シラバスに従いプリントを配布し、適宜参考書を参照して講義を行う。毎回講義の終了前に、課題を与え、原則時間内にレポートを提出する。

科目学習の効果（資格）
企業や各種団体の管理職、コンサルタントに必要な基礎知識として役立てることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 企業情報システムの進展
【内容・方法　等】 講義の概略と講義方法・学び方
企業情報システムの進展とデータウェアハウスの概要
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。
第２回 【授業テーマ】 企業経営とデータウェアハウス

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　189　2014/08/21　14:24:25

【内容・方法　等】 企業経営におけるデータウェアハウスの役割をセブンイレブンを題材に解説
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第３回 【授業テーマ】 データベースの仕組み
【内容・方法　等】 データベースの基本的な仕組み
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第４回 【授業テーマ】 データベースとデータウェアハウス
【内容・方法　等】 データベースとデーアウェアハウスの共通点と相違点
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第５回 【授業テーマ】 データウェアハウスの基本構成
【内容・方法　等】 データウェアハウスの基本的な構成要素であるデータソース、メタデータ、活用系等の概要
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第６回 【授業テーマ】 データウェアハウスの設計と構築
【内容・方法　等】 データウェアハウスやデータマートを設計し、データ統合を行い構築する手順と内容
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第７回 【授業テーマ】 データウェアハウスの設計と構築（続き）
【内容・方法　等】 データウェアハウスやデータマートを設計し、データ統合を行い構築する手順と内容
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第８回 【授業テーマ】 データウェアハウスの活用系
【内容・方法　等】 データウェアハウスの活用系の仕組み
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第９回 【授業テーマ】 オンライン分析処理（ＯＬＡＰ）
【内容・方法　等】 多方面からのデータ分析と視覚に訴える方法で情報を表示するオンライン分析処理（ＯＬＡＰ）
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第10回 【授業テーマ】 オンライン分析処理（ＯＬＡＰ）（続き）
【内容・方法　等】 多方面からのデータ分析と視覚に訴える方法で情報を表示するオンライン分析処理（ＯＬＡＰ）
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第11回 【授業テーマ】 データマイニング
【内容・方法　等】 データから有用な知識を抽出するデータマイニング技術の概要と相関分析、決定木などの手法
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第12回 【授業テーマ】 データマイニング（続き）
【内容・方法　等】 データから有用な知識を抽出するデータマイニング技術の概要と相関分析、決定木などの手法
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第13回 【授業テーマ】 データウェアハウスの活用事例
【内容・方法　等】 製造業、金融業、小売業、サービス業におけるデータウェアハウスの事例
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第14回 【授業テーマ】 データウェアハウスの活用事例と新技術
【内容・方法　等】 データウェアハウスの活用事例のまとめ データウェアハウスの新技術の活用
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックする。さらに、次回講義に必要なキーワードを示すので予習してくること。

第15回 【授業テーマ】 データウェアハウスの活用事例を調べる
【内容・方法　等】 データウェアハウスを活用している企業について調べる
【事前・事後学習課題】 授業の終わりに、復習すべきキーワードをチェックするとともに、定期試験に向けて15回の講義内容についてまとめさせる。

評価方法（基準）
小テストとレポート４０点、学期末試験の結果６０点を目安にして総合的に評価する。

教材等
教科書…適宜案内する
参考書…鈴木健司『 データウェアハウスがわかる本』オーム社（1,500円＋税）

学生へのメッセージ
データウェアハウスのテクニカルな部分だけでなく、経営という観点を持って受講してほしい。

関連科目
経営統計学、データーベース論、経営情報システム論、情報セキュリティ

担当者の研究室等
金曜日：摂南大学11号館6階（経営学部事務室）
その他の曜日：大阪工業大学９号館４階（経営情報システム研究室）

システム設計
System Design

星　山　幸　子（ホシヤマ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
情報化社会においては、「問題を発見し、目的を設定して、解決するためのシステムを実現する」ためにコンピュータは極めて有用である。それがシステム設計の大きな意味付けとなる。例えば、「オリジナルなソフトウェアを作りたい」という希望が芽生えたとき、それをパソコンで実現する方法を構想し、パソコンを用いて作る手順がシステム設計である。それを推し進めると社会で利用されている情報処理システムを設計するという目標につながる。

授業方法と留意点
配布資料とパソコンを用いて、ExcelVBAを使用した演習で授業を進める。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
基本情報処理技術者試験を受験する援助となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業計画概要と受講注意事項、システム設計とは
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（１）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第３回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（２）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第４回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（３）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第５回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（４）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習4
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第６回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（５）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習5
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第７回 【授業テーマ】 情報システムの現状確認
ミニシステム設計演習（１）
【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第８回 【授業テーマ】 情報システムの現状確認
ミニシステム設計演習（２）
【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第９回 【授業テーマ】 情報システム開発環境
ミニシステム設計演習（３）
【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第10回 【授業テーマ】 情報システム開発環境
ミニシステム設計演習（４）
【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計4
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第11回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習（５）
【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計5
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出

第12回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習（６）

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　190　2014/08/21　14:24:26

【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計6
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第13回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習（7）
【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計7
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第14回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習（8）
【内容・方法　等】 基本ミニシステム設計8
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第15回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（1）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第16回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（2）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第17回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習（3）
【内容・方法　等】 例題についてのコード設計演習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第18回 【授業テーマ】 前半まとめと確認
【内容・方法　等】 設計・開発したシステムの評価
前半の復習と課題作成
【事前・事後学習課題】 前半総復習と習得度の確認
第19回 【授業テーマ】 システム設計演習（1）
【内容・方法　等】 システム開発と仕様設計演習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第20回 【授業テーマ】 システム設計演習（2）
【内容・方法　等】 システム開発と仕様設計演習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第21回 【授業テーマ】 システム設計演習（3）
【内容・方法　等】 システム開発と仕様設計演習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第22回 【授業テーマ】 システム設計応用ゲーム作成（1）
【内容・方法　等】 システム開発と仕様設計演習4
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第23回 【授業テーマ】 システム設計応用ゲーム作成（2）
【内容・方法　等】 システム開発と仕様設計演習5
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
第24回 【授業テーマ】 作品制作（1）
【内容・方法　等】 システム設計の実践練習1
【事前・事後学習課題】 設計の方法と全体イメージの確認
第25回 【授業テーマ】 作品制作（2）
【内容・方法　等】 システム設計の実践練習2
【事前・事後学習課題】 コード化確認と実行、コード化の具現化
第26回 【授業テーマ】 作品制作（3）
【内容・方法　等】 システム設計の実践練習3
【事前・事後学習課題】 ファイル操作方法確認と実行
第27回 【授業テーマ】 作品制作（4）
【内容・方法　等】 システム設計の実践練習4
【事前・事後学習課題】 コードバリエーションの考察
第28回 【授業テーマ】 作品制作（5）
【内容・方法　等】 システム設計の実践練習5
【事前・事後学習課題】 評価・検証・問題点の洗い出し
第29回 【授業テーマ】 まとめとプレゼンテーション
【内容・方法　等】 設計・開発したシステムの評価
【事前・事後学習課題】 評価・検証、問題点の洗い出し
第30回 【授業テーマ】 まとめとプレゼンテーション

評価方法（基準）
平常点20％、課題提出20％、習得度確認試験（授業にて実施）60％を総合して評価する。

教材等
教科書…「Excel VBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本―最初からそう教えてくれればいいのに」立山 秀利（著）　秀和システム　2,310円+税
参考書…必要に応じて参考資料を配付する。

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお薦めします。

関連科目
プログラミング基礎、基本情報処理Ⅰ、Ⅱ、経営情報システム論

担当者の研究室等
７号館２階(非常勤講師室)

能力開発論I
Human Capacity Development I

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【目的】企業などの組織の運営や管理における心理学的な課題を理解することによって、企業で働くことの意義を自覚し、併せて、組織行動に必要な知識やスキルの向上を図る。
【学習内容】組織管理・人事管理・職業選択・市場調査などの様々な分野における心理学について学ぶ。

授業方法と留意点
授業はプリントおよびスライドを用いて行う。配布資料はなくさないように。また、授業内容に即した参考図書を適宜紹介する。

科目学習の効果（資格）
企業経営における心理学的な課題に関心を持つことによって、心理学の視点から企業を知ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義ガイダンス：講義の構成と受講上の注意
【内容・方法　等】 講義の目的と目標、具体的な学習内容、講義の進め方および成績評価について説明する。
【事前・事後学習課題】 経営における心理学的な課題について、考えてみよう。
第２回 【授業テーマ】 経営と人間行動
【内容・方法　等】 経営学における心理学の課題を概説する。本講義で学習する内容の見取り図を示し、心理学の有用性について解説する。
【事前・事後学習課題】 企業における心理学の役割を考えてみよう。
第３回 【授業テーマ】 組織管理と心理学（1）:「ホーソン実験」の心理学的価値
【内容・方法　等】 「ホーソン実験」の成果を踏まえ、“産業能率”と“労働効率”の関係について解説する。
【事前・事後学習課題】 組織における「人間的な要素」について、考えてみよう。
第４回 【授業テーマ】 組織管理と心理学（2）：組織論の変遷
【内容・方法　等】 テイラーの科学的管理論から始まる組織論の変遷を解説する。併せて、組織設計の意義について述べる。
【事前・事後学習課題】 人々はどんな時に懸命に働くのか、考えてみよう。
第５回 【授業テーマ】 組織管理と心理学（3）：リーダーとリーダーシップ
【内容・方法　等】 トップマネジメントの重要性とリーダーの特性およびリーダーシップ機能について心理学の視点から解説する。
【事前・事後学習課題】 様々な経営者の経営理念について調べてみよう。
第６回 【授業テーマ】 人的資源管理と心理学（1）：労働意欲と労働効率
【内容・方法　等】 組織の“良さ”を判断するための労働意欲を解説し、労働効率を向上させる必要条件について解説する。
【事前・事後学習課題】 人事考課や勤務評定はなぜ必要か？考えてみよう。
第７回 【授業テーマ】 人的資源管理と心理学（2）：モチベーションおよび報酬と罰
【内容・方法　等】 労働におけるモチベーションについて解説する。併せて、労働における報酬と罰の効果について解説する。
【事前・事後学習課題】 仕事における報酬と罰の効果について考えてみよう。
第８回 【授業テーマ】 人的資源管理と心理学（3）：労働者の「安全配慮義務」
【内容・方法　等】 仕事における疲労とストレスを取り上げ、健康に働くための対処法について解説する。
【事前・事後学習課題】 過労死や過労自殺が発生する原因について考えてみよう。
第９回 【授業テーマ】 職業選択と心理学（1）：職業選択とミスマッチ
【内容・方法　等】 職業の適性診断とその心理学的技法について解説する。職業適性論は職業選択の決め手となるかについて考える。
【事前・事後学習課題】 自分にあう仕事とは何か、考えてみよう。
第10回 【授業テーマ】 職業選択と心理学（2）：職業教育と職業発達
【内容・方法　等】 職業発達理論を概観し、職業における人格的発達について述べる。
【事前・事後学習課題】 仕事を通して人は成長すると言われる理由を考えてみよう。
第11回 【授業テーマ】 職業能力と心理学（1）：社会人基礎力
【内容・方法　等】 企業の求めている「社会人基礎力」について解説する。
【事前・事後学習課題】 企業が求める人材について考えてみよう。
第12回 【授業テーマ】 職業能力と心理学（2）：組織開発と思考
【内容・方法　等】 「考える能力」と「チームワーク力」の関係について解説し、組織的決定の優位性について述べる。
【事前・事後学習課題】 合意形成と協働に必要なことは何か、考えてみよう。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　191　2014/08/21　14:24:26

第13回 【授業テーマ】 マーケッティングと心理学（1）：消費者心理
【内容・方法 等】 市場の変化と購買心理の関係について解説する。併せてメディアの効果について説明する。
【事前・事後学習課題】 スーパー・コンビニ・デパートにおける売り上げの違いを調べてみよう。
第14回 【授業テーマ】 マーケッティングと心理学（2）：市場調査と心理学
【内容・方法 等】 マーケッティング・リサーチにおける心理学的な手法について解説し、併せて心理学的な実験や調査の活用法を概観する。
【事前・事後学習課題】 学生の購買行動を明らかにするための調査を実践してみよう。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法 等】 経営学における心理学の役割と心理学の有効性について振り返る。
【事前・事後学習課題】 講義内容から最も関心があったところをまとめる。

評価方法（基準）
期末定期試験の成績（80%）。小レポートの成績（20%）。小レポートは授業終了時に実施する。2つの成績をもとに総合的に評価する。

教材等
教科書…指定せず。
参考書…授業の中で適宜紹介する。

学生へのメッセージ
私語厳禁。遅刻厳禁。授業中の入退室厳禁。スマホ・携帯の使用厳禁。
これらに違反した学生には退室を命ずることがある。

関連科目
キャリア教育科目と関係が深い。また、組織管理や人的資源管理などの学習内容と重なり合うところがある。

担当者の研究室等
11号館7階

備考
質問などは積極的に。

能力開発論II
Human Capacity Development II

福 田 市 朗（フクダ イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
目的：ビジネスにおける様々な課題を発見し、その解決をはかる思考力、また目標達成をはかる意思力を理解し、その向上を目指すことによって、職業人に必要な決定力を高める。
方法：心理学の視点から人間に特有な知的な能力を理解し、抽象的な思考の特徴とその役割を理解する。

授業方法と留意点
授業は配布資料とスライドにもとづいて行われる。また、講義内容をよりよく理解するために、具体的な課題を提示し、その解法を求める。

科目学習の効果（資格）
様々な社会事象を理解する思考法を習得することで、自ら考えて行動できる意思力の向上がはかられる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義ガイダンス：講義概要と講義の進め方
【内容・方法 等】 「考え抜く力」が求められている社会的背景について解説する。特に日本型経営の変遷と職業能力の向上という課題について解説する。
【事前・事後学習課題】 キャリアアップに必要な能力とは何かについて考えてみよう。
第２回 【授業テーマ】 人間の知力（1）：３大精神機能と人間の知性
【内容・方法 等】 知・情・意という人間の３大精神機能について解説し、知性が果たす役割について述べる。
【事前・事後学習課題】 人間の知性が他の動物より高いとされる理由について考えなさい。
第３回 【授業テーマ】 人間の知性（2）：知能の心理学的研究
【内容・方法 等】 人間の知性に関する心理学を紹介し、人間に特有な知能の仕組みについて解説する。
【事前・事後学習課題】 知的な能力は遺伝か、それとも経験や努力によって形成されるものか、考えてみよう。
第４回 【授業テーマ】 人間の知性（3）：概念的思考の形成
【内容・方法 等】 人間に特有なカテゴリーによる世界の認識法を解説し、悟性の役割について理解する。
【事前・事後学習課題】 私たちは物事をどのように認識しているのか、その仕組みについて考えてみよう。
第５回 【授業テーマ】 学問の世界（1）：古代の学問
【内容・方法 等】 古代ギリシャの学問世界を概観し、ソクラテス・プラトン・アリストテレスによって学問が体系化された経緯について解説する。
【事前・事後学習課題】 学問の必要性について考えてみよう。
第６回 【授業テーマ】 学問の世界（2）：近世の学問
【内容・方法 等】 ルネサンス期の学問の世界を概説し、知識を持つことの重要性と理性主義について考える。
【事前・事後学習課題】 理性主義あるいは啓蒙主義とはどのような思想なのか、考えてみよう。
第７回 【授業テーマ】 学問の世界（3）：科学の誕生
【内容・方法 等】 自然科学における科学的思考法とはどのようなものか、また、その基本的な考え方について解説する。
【事前・事後学習課題】 ガリレオの科学的発見を支えた思考法を考えてみよう。
第８回 【授業テーマ】 言語と思考（1）：３つの思考様式
【内容・方法 等】 正しい結論を導く「論理的思考」、観察を通して新たなアイディアや発見を求める「帰納的思考」や「発想法的思考」などの思考法について解説する。
【事前・事後学習課題】 人間は考えることが好きな動物である。考えることの利点を挙げてみよう。
第９回 【授業テーマ】 言語と思考（2）：論理法則
【内容・方法 等】 「命題論理」と「述語論理」における論理法則について解説し、思考における誤謬の出現について考える。
【事前・事後学習課題】 文章題や論理問題などを解きながら、論理法則の要点をまとめてみよう。
第10回 【授業テーマ】 数学的思考（1）：数量化と図解化
【内容・方法 等】 数を扱う能力や図形を扱う能力について解説し、数学的思考力の特徴を述べる。
【事前・事後学習課題】 なぜ数学の好きな人と数学の嫌いな人がいるのか、文系と理系の違いはどこにあるのか、考えてみよう。
第11回 【授業テーマ】 数学的思考法（2）：不確実性と確率判断
【内容・方法 等】 確からしさの推理と判断を取り上げ、確率的な思考法とは何かを解説する。
【事前・事後学習課題】 ビジネスにおける数学的な素養とは何かを知るために、練習問題を出します。
第12回 【授業テーマ】 意思決定と思考（1）：意思決定の基本
【内容・方法 等】 正しい合理的な決定とは何かについて解説する。特に、人々の決定を左右する推理力と判断力の成立について述べる。
【事前・事後学習課題】 様々な選択場面での人々の決定方法を取り上げ、その巧拙を考えてみよう。
第13回 【授業テーマ】 意思決定と思考（2）：価値判断
【内容・方法 等】 意思決定における価値判断の仕組みについて、経済学および心理学の視点から解説する。
【事前・事後学習課題】 複数の目的を有する複雑な決定場面で人々はどのような決定を下しているのか、考えてみよう。
第14回 【授業テーマ】 意思決定と思考（3）：確率判断
【内容・方法 等】 期待値および期待効用について概説し、規範的意思決定の合理性について考える。併せて、人々の確率的思考法の心理的な特徴を解説する。
【事前・事後学習課題】 人々の決定が期待値理論に反することがある。その理由について考えてみよう。
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ：意思決定の社会性
【内容・方法 等】 利害関係を解決するための思考法や集団的な決定を振り返り、人間の思考法についてまとめる。
【事前・事後学習課題】 ビジネスに必要な思考力と決定力についてまとめてみよう。

評価方法（基準）
期末定期試験の成績（80%）。授業後の小レポート課題の成績（20%）。これらの成績をもとに総合的に評価する。

教材等
教科書…指定せず。
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
私語厳禁。遅刻厳禁。授業中の入退室禁止。飲食等の禁止。スマホ・携帯の使用禁止。これらに違反した学生には退室を命ずることがある。

関連科目
経営学、経営組織論、ビジネスゲーミングなど

担当者の研究室等
福田研究室は11号館7階

備考
質問等は積極的に行うように。

コミュニケーション論I
Social Communication I

牧 野 幸 志（マキノ コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd 192 2014/08/21 14:24:26

授業概要・目的・到達目標

現代社会において人間関係は最も重要な相互影響過程である。本授業では，人間関係を多角的にとらえ，その構造，内容，効果などについて解説していく。人間関係論Ⅰでは，人間関係の基礎となる人と人との対人コミュニケーションを理解する。対人コミュニケーションの内容，役割から人間関係を理解することを目的とする。また，日常生活において，よりよい人間関係を構築できるようになることを到達目標とする。

授業方法と留意点

毎回パワーポイントによるプレゼンテーション形式で講義を行う。各自，ノートを取ること。第1回授業で授業ルールなどについて説明をするので必ず参加すること。

科目学習の効果（資格）

人間関係に関する理解が深まる。人間関係におけるコミュニケーション・スキルが身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容･方法　等】　授業内容，授業方法について説明します。
人間関係論とは？
【事前･事後学習課題】　授業内容の復習

第２回　【授業テーマ】　人間関係とコミュニケーション
【内容･方法　等】　人間関係におけるコミュニケーションの基本要素
【事前･事後学習課題】　復習課題1

第３回　【授業テーマ】　人間関係と対人コミュニケーション
【内容･方法　等】　人と人とのコミュニケーション
【事前･事後学習課題】　復習課題2

第４回　【授業テーマ】　人間関係と言葉
【内容･方法　等】　言葉で伝わること，言葉で伝わりにくいこと
【事前･事後学習課題】　復習課題3

第５回　【授業テーマ】　人間関係と自己開示(1)
【内容･方法　等】　良好な人間関係を構築するには？
【事前･事後学習課題】　復習課題4

第６回　【授業テーマ】　人間関係と自己開示(2)
【内容･方法　等】　より深い人間関係となるには？
【事前･事後学習課題】　復習課題5

第７回　【授業テーマ】　人間関係と防衛的自己呈示
【内容･方法　等】　他者から悪い印象をもたれないようにするために
【事前･事後学習課題】　復習課題6

第８回　【授業テーマ】　人間関係と主張的自己呈示／小テスト1回目
【内容･方法　等】　会社内での上司とのコミュニケーション
【事前･事後学習課題】　復習課題7

第９回　【授業テーマ】　人間関係と説得
【内容･方法　等】　相手の心を動かす技術
【事前･事後学習課題】　復習課題8

第10回　【授業テーマ】　人間関係と命令・強制
【内容･方法　等】　権威への服従とリアクタンス
【事前･事後学習課題】　復習課題9

第11回　【授業テーマ】　人間関係と嘘
【内容･方法　等】　嘘が人間関係に与える影響とは？
【事前･事後学習課題】　復習課題10

第12回　【授業テーマ】　人間関係と交渉術
【内容･方法　等】　取引に使える交渉テクニック
【事前･事後学習課題】　復習課題11

第13回　【授業テーマ】　人間関係とコミュニケーション・スキル
【内容･方法　等】　コミュニケーション・スキルを上げるには
【事前･事後学習課題】　復習課題12

第14回　【授業テーマ】　人間関係と噂
【内容･方法　等】　噂が人間関係や社会に及ぼす影響とは？
【事前･事後学習課題】　復習課題13

第15回　【授業テーマ】　会社の中の人間関係／小テスト2回目
【内容･方法　等】　会社の中の人間関係と効果
【事前･事後学習課題】　復習をしておくこと

評価方法（基準）

授業内課題(20点)，小テスト2回(40点×2回)の合計得点で評価します。

教材等

教科書…教科書・・「インターパーソナル コミュニケーション」深田　博巳著　北大路書房（2500円）
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

人が生きていくうえで避けて通れないものが，人間関係です。人間関係はめんどくさいこともありますが，楽しいこともあります。よりよい人間関係を構築，継続するコミュニケーション・スキルを身につけましょう。人間関係論Ⅰでは，人間関係についての概論を解説していきます。

関連科目

人間関係論Ⅱと関連する。人間関係論Ⅱを受ける前に本授業を受けてほしい。

担当者の研究室等

11号館7階(牧野(幸)准教授室)

備考

他人の迷惑と成る行為(遅刻，私語，居眠り，内職，スマホ，携帯電話の使用など)はすべて禁止とします。

コミュニケーション論II
Social Communication II

牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会において人間関係は最も重要な相互影響過程である。本授業では，人間関係を多角的にとらえ，その構造，内容，効果などについて解説していく。人間関係論Ⅱでは，社会の中の人間関係，特に会社社会の中の人間関係を心理学的な側面から包括的に解説していく。社会や集団と人との関係に関する心理学の理論や心理学的効果を理解することを目的とする。

授業方法と留意点

毎回パワーポイントによるプレゼンテーション形式で講義を行う。各自，ノートを取ること。第1回授業で授業ルールなどについて説明をするので必ず参加すること。

科目学習の効果（資格）

社会・集団(会社)内の人間関係に関するコミュニケーション・スキルが身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容･方法　等】　授業内容，授業方法について説明します。
社会と心理との関係
会社と人間関係
【事前･事後学習課題】　授業内容の復習

第２回　【授業テーマ】　社会(集団)と心理学
【内容･方法　等】　社会心理学の歴史と課題
【事前･事後学習課題】　復習課題1

第３回　【授業テーマ】　会社における社会的認知と集団心理
【内容･方法　等】　原因帰属
【事前･事後学習課題】　復習課題2

第４回　【授業テーマ】　会社における自己の社会化と動機づけ
【内容･方法　等】　自己知覚理論
【事前･事後学習課題】　復習課題3

第５回　【授業テーマ】　集団の中の態度と態度変容
【内容･方法　等】　会社内における態度表明と説得
【事前･事後学習課題】　復習課題4

第６回　【授業テーマ】　会社内の対人行動
【内容･方法　等】　ハラスメントと援助行動
【事前･事後学習課題】　復習課題5

第７回　【授業テーマ】　会社の中の対人関係
【内容･方法　等】　印象形成，関係維持，関係崩壊
【事前･事後学習課題】　復習課題6

第８回　【授業テーマ】　会社内の対人関係と健康／小テスト1回目
【内容･方法　等】　会社内のストレスとコーピング／小テスト1回目
【事前･事後学習課題】　復習課題7

第９回　【授業テーマ】　会社内の仲間関係と幸福感
【内容･方法　等】　会社の中でのソーシャル・サポート
【事前･事後学習課題】　復習課題8

第10回　【授業テーマ】　会社内の影響過程とその効果
【内容･方法　等】　同調と服従
【事前･事後学習課題】　復習課題9

第11回　【授業テーマ】　集団による影響と集団作業効率
【内容･方法　等】　社会的促進と社会的手抜き
【事前･事後学習課題】　復習課題10

第12回　【授業テーマ】　会社内における集団の意思決定
【内容･方法　等】　集団における意思決定過程
【事前･事後学習課題】　復習課題11

第13回　【授業テーマ】　会社という集団と集合・群衆
【内容･方法　等】　群衆行動の生起メカニズム
【事前･事後学習課題】　復習課題12

第14回　【授業テーマ】　流言，流行と人間関係
【内容･方法　等】　流言，流行の心理と経営戦略
【事前･事後学習課題】　復習課題13

第15回　【授業テーマ】　人間関係と組織風土
【内容･方法　等】　組織風土における人間関係の重要性／小テスト2回目
【事前･事後学習課題】　小テスト2回目

評価方法（基準）

授業内課題(20点)，小テスト2回(40点×2回)の合計得点で評価します。

教材等

教科書…教科書・・「ミニマムエッセンス社会心理学」和田実編著　北大路書房(1900円)
参考書…コミュニケーション心理学―心理学的コミュニケーシ

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　193　2014/08/21　14:24:26

ョン論への招待　深田博己編著　北大路書房　2500円

学生へのメッセージ

人は社会の中で生きています。人は集団に流されたり，社会に踊らされたりします。そのようなときにどのような心理が働いているのかを解説していきます。特に，会社という集団の中での人間関係について解説していきます。

関連科目

「人間関係論Ⅰ」と関連する。「人間関係論Ⅰ」を受講した後に本授業を受けて欲しい。

担当者の研究室等

11号館7階 牧野(幸)准教授室

備考

他人に迷惑となる行為(遅刻，私語，居眠り，内職，スマホ，携帯電話の使用など)を禁止します。

相談心理学
Counselling Psychology

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

働く人々が自らの社会生活を充実させ、仕事に生きがいを感ずるためには、何よりも心と身体の健康が大事である。本講義は、働く人々のメンタルヘルスに関する問題を明らかにし、行政・企業の対応法や労働者自身の健康管理に必要な知識の習得を目指す。

授業方法と留意点

本講義は、働く人々のかかりやすいメンタルな疾病を取り上げ、その背景に潜むストレスを多面的に解説する。また、健康維持のための心理学的、医学的な基礎知識と行政・企業における取組みについて解説する。講義は各分野の専門家によって行われるリレー式の講義。なお、外部講師の事情により授業順序に変更があります。

科目学習の効果（資格）

職場におけるストレスや企業における人間関係を理解することによって有意義な職業生活を送ることができると期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　講義ガイダンス
［担当者　福田市朗］
【内容・方法　等】　講義の全体像、具体的な学習内容・学習方法・学習成果の評価法などについて説明する。
【事前・事後学習課題】　健康に働くための心得について考えてみよう。

第２回　**【授業テーマ】**　企業と人間（１）：働く人々の健康問題
［担当者　福田市朗］
【内容・方法　等】　産業心理学の誕生の経緯を概観し、人間的な側面から見た企業における健康について解説する。
【事前・事後学習課題】　産業構造の変化や労働形態の変化に注目し、労働の質の変化について考えてみよう。

第３回　**【授業テーマ】**　企業と人間（２）：産業ストレス
［担当者　田中健吾（大阪経済大学）］
【内容・方法　等】　労働形態の変化や経営環境の変化がもたらす産業ストレスの実態を概観し、ストレスとうつ病の関係について解説する。
【事前・事後学習課題】　仕事におけるストレスの原因は何か、さらにストレスと病気の関係について考えてみよう。

第４回　**【授業テーマ】**　健康と病気（１）：疲労と病気
［担当者　福田市朗］
【内容・方法　等】　労働における安心・安全と労働者の健康問題について解説する。特に精神的な疲労と精神疾患に関する基礎知識を学ぶ。
【事前・事後学習課題】　過労や過労死の原因について調べてみよう。

第５回　**【授業テーマ】**　健康と病気（２）：診断と治療
［担当者　早川貫治（寝屋川医師会会長）］
【内容・方法　等】　病気とは何か。病気と健康の関係および心と身体の関係について解説する。併せて診断と治療の意義について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　医師と患者における人間的な関係について考えよう。

第６回　**【授業テーマ】**　様々な病気（１）：精神障害の基礎知識
［担当者　福田市朗］
【内容・方法　等】　様々な精神障害を概観し、高次脳機能の特徴について解説する。併せて脳機能の特殊性と統合性について学ぶ。
【事前・事後学習課題】　労働者の疾病について調べる。（厚生労働省のホームページにアクセスしてみよう。）

第７回　**【授業テーマ】**　様々な病気（４）：心身症・生活習慣病について
［担当者　早川貫治］
【内容・方法　等】　うつ病や不安障害、生活習慣病など、働く人々が罹りやすい病気を概観し、その診断と治療法、および予防法について解説する。
【事前・事後学習課題】　病気予防に関する心得を考えてみよう。

第８回　**【授業テーマ】**　産業カウンセリング（１）：産業カウンセリングの目的と課題
［担当者　佐野正剛　大阪メンタルサポートオフイス］
【内容・方法　等】　産業医や産業カウンセラーの役割と課題について解説する。併せて、人事管理における課題について解説する。
【事前・事後学習課題】　働く人々を襲う精神的な疾患とその原因について調べてみよう。

第９回　**【授業テーマ】**　産業カウンセリング（２）：心理カウンセリングの理念と技法
［担当者　佐野正剛］
【内容・方法　等】　心理療法に関する様々な理念と技法を紹介する。特に、職場で行われているカウンセリングの実践とその効果について解説する。
【事前・事後学習課題】　様々なカウンセリング技法の特徴について整理すること。

第10回　**【授業テーマ】**　産業カウンセリング（３）：心理カウンセラーの仕事
［担当者　高原龍二　大阪経済大学］
【内容・方法　等】　職業性ストレスの自己診断法を行い、ストレスへの対応法と解消法について解説する。
【事前・事後学習課題】　ストレスに関する自己診断の結果について考えてみよう。

第11回　**【授業テーマ】**　産業カウンセリング（４）：うつ病と心理カウンセリング
［担当者　高原龍二］
【内容・方法　等】　心因性のうつ病に対する治療法を紹介。特に「認知行動療法」の理論とその実践的な成果について解説する。
【事前・事後学習課題】　職場や学校におけるカウンセリングの意義についてまとめてみよう。

第12回　**【授業テーマ】**　企業の取り組み（１）：働く人々の健康管理
［担当者：福田市朗］
【内容・方法　等】　労働者の安全および健康管理の実情を概観し、企業及び行政の課題について解説する。
【事前・事後学習課題】　労働者の健康と安全に対するこれまでの取り組みについて調べてみよう。

第13回　**【授業テーマ】**　企業の取り組み（２）：労災をめぐる安心・安全対策
［担当者　根岸紘一（根岸経営支援事務所）］
【内容・方法　等】　労働者の健康に関わる労務管理の理念と方法を解説し、行政と企業の組織的な取り組みを紹介する。
【事前・事後学習課題】　離職者や休職者が多くなってきた原因について考えてみよう。

第14回　**【授業テーマ】**　企業の取り組み（３）：安全で健康な職場環境づくり
［担当者　根岸紘一］
【内容・方法　等】　心身疲労に関する自己管理と組織管理を紹介し、労働意欲を高める取り組みや従業員の健康管理について紹介する。
【事前・事後学習課題】　働きがいを感ずるために必要な要因を考えてみよう。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ：講義を振り返って
【内容・方法　等】　本講義を振り返り、労働者の「メンタルヘルスケア」の今後について考える。
【事前・事後学習課題】　働く人々の健康管理に最も必要な事柄は何か、まとめておくこと。

評価方法（基準）

講義担当者ごとに小レポート課題を提出し、その合計点（６０％）と期末試験の成績（４０％）をもとに総合的に成績の評価を行う。

教材等

教科書…指定せず
参考書…講義の中で随時紹介する

学生へのメッセージ

医師を始め、多彩な分野の専門家によって行われるリレー式の講義である。受講生は礼儀を重んじ、遅刻しないことまた私語を慎むこと。私語が多い学生、無断入退室の学生には退室を命ずる。

関連科目

経営管理論、職業能力開発など

担当者の研究室等

講義に関する質問や相談、意見などは福田研究室（11号館7階）まで。

備考

講義内容に関する質問や意見は授業後に各担当者に尋ねること。なお、外部講師の事情により授業順序に変更があります。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　194　2014/08/21　14:24:26

組織診断
Organizational Analysis

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）
掛　谷　建　郎（カケヤ　ケンロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
企業の経済的・社会的な役割を認識し、「ヒト・モノ・カネ・情報」などの内部資源を活用し、組織が社会に与える影響を多面的に分析し、社会の発展に貢献する企業の全体像を理解する。

授業方法と留意点
本講義は、企業経営に携わっている経営者、企業経営のコンサルティングを仕事とされている実務家をお招きし、具体的な事例を通して、企業分析のための実践的な知識を得ることを目的としたリレー式の講義である。外部から来られた先生方に失礼とならないよう、心掛けてください。

科目学習の効果（資格）
組織の管理と運営に関する具体的な仕事内容と現実的な課題を学ぶことができ、就活の良き手引きになると期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　授業ガイダンス：講師の紹介と講義の進め方
【内容･方法　等】　講義担当者を紹介し、本講義の目的・目標および授業の進め方や成績の評価について解説する。（掛谷・前川・河内・根岸・福田）
【事前･事後学習課題】　新聞をよく読み、企業を取り巻く社会の動向や経済活動について関心を深めよう。

第２回　【授業テーマ】　企業の経営理念（１）：経営理念と経営者の役割
【内容･方法　等】　優秀企業を紹介し、企業経営における理念の重要性を解説するとともに、経営者の役割について説明する。（掛谷）
【事前･事後学習課題】　『経営者の条件』小倉昌男著　『夢を力に』本田宗一郎著

第３回　【授業テーマ】　企業の経営理念（２）：トップマネジメントとリーダーシップ
【内容･方法　等】　経営者の思想や行動様式を解説し、トップリーダーの取るべき役割と組織管理について解説する。（掛谷）
【事前･事後学習課題】　『経営はロマンだ』小倉昌男著

第４回　【授業テーマ】　企業の組織管理（１）：組織設計と組織戦略
【内容･方法　等】　会社の仕組みを知るために、組織設計と組織戦略の理論と現実について解説する。　（前川武彦：前川技術士事務所　代表）
【事前･事後学習課題】　新聞をよく読み、時代の変化を企業のあり方について考えてみよう。

第５回　【授業テーマ】　企業の組織管理（２）：組織の機能と効率、指揮と命令
【内容･方法　等】　産業能率の観点から、組織の機能性とその効率について概説するとともに、組織における指揮と命令系統について講述する。（前川）
【事前･事後学習課題】　新聞をよく読み、今日の企業が抱えている問題点を考えてみよう。

第６回　【授業テーマ】　企業の組織管理（３）：権限委譲と行動規範
【内容･方法　等】　組織における権限委譲と組織行動について解説し、仕事をすることの意味について考える。（前川）
【事前･事後学習課題】　組織のかかえる問題を明らかにし、解決するための科学的な思考力とはなにか、考えてみよう。

第７回　【授業テーマ】　企業の組織運営（１）：組織の原理と原則
【内容･方法　等】　組織の原理・原則を具体的に解説し、組織運営に関する課題について考える。（河内弘茂：河内経営技術コンサルティング代表）
【事前･事後学習課題】　会社はどのように動いているのか、会社における人的側面について考えてみよう。

第８回　【授業テーマ】　企業の組織運営（２）：マネジメント理論とリーダーシップ理論
【内容･方法　等】　組織におけるリーダーシップ機能とリーダーの資質について考える。併せて、現代企業のマネジメント理論について言及する。（河内）
【事前･事後学習課題】　人はなぜ働くのか、また、人はなぜ仕事に生きがいを見出すのか、考えてみよう。

第９回　【授業テーマ】　企業の組織運営（３）：組織文化と人材育成
【内容･方法　等】　組織の非公式的な側面を取り上げる。特に、組織文化の役割を解説し、その形成と人材育成の方法について解説する。（福田）
【事前･事後学習課題】　企業経営における企業文化の意義について考えてみよう。

第10回　【授業テーマ】　企業の組織診断（１）：機能組織体、企業経営と付加価値
【内容･方法　等】　企業組織の捉え方を解説し、企業の存在意義について述べる。（根岸紘一：根岸経営支援事務所）
【事前･事後学習課題】　会社はどのように利益を生み出しているのか、考えてみよう。

第11回　【授業テーマ】　企業の組織診断（２）：組織診断の理論と方法
【内容･方法　等】　組織を診断する4つの要素と企業診断の測定法や分析法について解説する。（根岸）
【事前･事後学習課題】　企業分析を多面的に行う技法について理解を深めること。

第12回　【授業テーマ】　企業の組織診断（３）：運命共同体的組織
【内容･方法　等】　組織診断の全体像を捉えるための組織診断技法を解説する。　併せて、付加価値の重要性について解説する。（根岸）
【事前･事後学習課題】　優秀企業と言われる理由を考えてみよう。

第13回　【授業テーマ】　企業の組織改善（１）：コーポレート・ガヴァナンス
【内容･方法　等】　企業は誰のものか、企業を動かす力は何かなど、企業統治におけるコーポレート・ガバナンスの理念と課題について解説する（掛谷）
【事前･事後学習課題】　時代とともに変化する企業のあり方について考えてみよう。

第14回　【授業テーマ】　企業の組織改善（２）：従業員満足、顧客満足と社会的責任
【内容･方法　等】　企業が公器であるという認識のもと、社会のニーズに応え、社会の維持と発展に貢献する企業とは何かについて解説する。（掛谷）
【事前･事後学習課題】　社会に貢献する企業とイノヴェーションについて考えてみよう。

第15回　【授業テーマ】　授業のまとめ
【内容･方法　等】　企業で働くための心構えについて、講師の先生方と意見を交換する。（掛谷・前川・河内・根岸・福田）
【事前･事後学習課題】　企業研究の方法や企業訪問における心構えなど、講師への質問を用意すること。

評価方法（基準）
テーマごとに講師が代わるため、期末定期試験は実施しない。成績評価は、授業ごとに課されるレポートの成績などをもとに、総合的に評価する。

教材等
教科書…指定せず。
参考書…講義の中で随時紹介されるので、是非読んでほしい。

学生へのメッセージ
現場で仕事をしている方々です。ビジネスでは遅刻や私語は厳禁です。また、中途の入室退室も厳禁です。公私を区別し、マナーには反しないように。

関連科目
企業経営コースのすべての科目と関係する。特に、組織論や人的資源管理論との関係は深い。

担当者の研究室等
11号館７階(福田研究室)および６階経営学部事務室

備考
授業時間外の質問や相談は授業担当者の一人である福田が受け付けます。遠慮せず、福田研究室（11号館7階）まで。

人材適性分析論
Vocational Psychology

柏　尾　眞津子（カシオ　マツコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
自分の特性を知り、将来の職業を選択することは自分自身にとっても、企業にとっても重要な問題である。本講義では、職業選択する上でのミスマッチを防ぐため
の方略を主として学ぶ。具体的には、心理学の知見にもとづいて、企業がどのような人材を求めているのか、他方で、私たちがどのようパーソナリティやスキルをもっているのかについて種々の心理テストや集団での議論を通じ学ぶ。先行きが不透明な時代の中で、多くの人が不安を抱えていると言われている。そのような時代をどう生きていくのか、そして自分自身はどのような人材として社会に貢献しうるのかについて深く考える一助にしたい。

授業方法と留意点
毎回資料を配布予定である。この授業では知識の習得も重要であるが、同時に自分自身のこととして、自分を関与して参加していなければ何も身につかないことになる。絶えずアンテナをはりめぐらせ、社会の動向と自分をめぐる他者そして自分自身を観察しつづけよう。

科目学習の効果（資格）
広い視野の中で社会と自分との関係を見つめ、自分自身の強みと弱みを理解した上で、将来設計を描く力を身につけることができる。必要なスキル獲得のために、何が必要であるかを気づき、

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　195　2014/08/21　14:24:27

努力する力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　人材アセスメントのオリエンテーション
【内容･方法　等】　人材アセスメントとは何か
講義の目的と進め方を概説
本講義を受ける動機づけを高める。
【事前･事後学習課題】　この授業での主要なキーワードを理解しておく。

第２回　**【授業テーマ】**　現代社会における生活・労働環境の大きな変化　その１
【内容･方法　等】　雇用形態の多様化、グローバル化の中で流動的な社会を明確に理解し、その中に生きている自分自身を位置づける。
【事前･事後学習課題】　関連する新聞記事、著書を読んでおこう。

第３回　**【授業テーマ】**　現代社会における生活・労働環境の大きな変化　その２
【内容･方法　等】　雇用形態の多様化、グローバル化の中で流動的な社会を明確に理解し、その中に生きている自分自身を位置づける。
【事前･事後学習課題】　関連する新聞記事、著書を読んでおこう。

第４回　**【授業テーマ】**　企業が求める人材への理解　その１
【内容･方法　等】　今どのような人材が求められているのかについてグループでのディスカッションを行う。
【事前･事後学習課題】　KJ法を理解しておこう。

第５回　**【授業テーマ】**　企業が求める人材への理解　その２
【内容･方法　等】　いくつかの企業の人事担当者が求める人材観について紹介する。
【事前･事後学習課題】　従来の自分の考えとの差異をまとめておこう。

第６回　**【授業テーマ】**　７・５・３問題について考えよう
【内容･方法　等】　中卒の７割、高卒の５割、大卒の３割が就職後３年以内に離職すると言われる。この背景にあるミスマッチ問題を考える。
【事前･事後学習課題】　職業選択についてご自身の考えをまとめ、レポート提出の準備をしよう。

第７回　**【授業テーマ】**　適性検査の歴史的背景とパーソナリティのアセスメント その１
【内容･方法　等】　心理テストを実習し、パーソナリティのアセスメントについて解説。
【事前･事後学習課題】　心理テストについて体験した感想を提出してください。

第８回　**【授業テーマ】**　パーソナリティのアセスメント その２
【内容･方法　等】　心理テストを実習し、パーソナリティのアセスメントについて解説。
【事前･事後学習課題】　心理テストについて体験した感想を提出してください。

第９回　**【授業テーマ】**　パーソナリティのアセスメント その３
【内容･方法　等】　心理テストを実習し、パーソナリティとスキルの違いについて解説。
【事前･事後学習課題】　心理テストについて体験した感想を提出してください。
自己分析やキャリアアンカーに関する文献を紹介するので読んでおいてください。

第10回　**【授業テーマ】**　私と仕事について　その１
【内容･方法　等】　仕事とは自分にとって何なのか？仕事の意味をグループで議論することで自分の仕事観への認識を再構成する。
【事前･事後学習課題】　何のために人は働くのか考えてみてください。

第11回　**【授業テーマ】**　私と仕事について　その２
【内容･方法　等】　仕事とは自分にとって何なのか？仕事の意味をグループで議論することで自分の仕事観への認識を再構成する。
【事前･事後学習課題】　他者の視点を取り入れ、自分自身の考えにどのような変化が起きたのか考察しよう。

第12回　**【授業テーマ】**　キャリアと時間的展望
【内容･方法　等】　時間的展望に関連する心理テストを実施しつつ、時間的展望をもつことと健康について、また自分自身の過去をどのように受容しつつ現在と未来を充実させていくのかについて学ぶ。キャリア発達についても学ぶ予定である。
【事前･事後学習課題】　関連する文献を紹介するので読んでおこう。

第13回　**【授業テーマ】**　多様性とワークライフバランス　その１
【内容･方法　等】　多様な雇用形態と価値感の中でときには、ワークライフバランスがうまくいかない場合がある。その具体的事例として、自殺と過労死そしてバーンアウトについて概説する。
【事前･事後学習課題】　関連する資料を配布するので読んでおいてください。

第14回　**【授業テーマ】**　多様性とワークライフバランス　その２
【内容･方法　等】　その具体的事例として、自殺と過労死そしてバーンアウトを防止する方略について概説する。うつ病への理解もあわせて深める。
【事前･事後学習課題】　関連する資料を配布するので読んでおいてください。

第15回　**【授業テーマ】**　授業のまとめ
【内容･方法　等】　これまでのまとめと将来にどのように生かすのかを明確にする。
【事前･事後学習課題】　客観的なデータに基づきエピソードを交えながら自己分析および自己アピール文が
書けるようにしよう。

評価方法（基準）
期末定期試験の成績(70%)と授業中に課したレポートと授業態度の評価(30%)を含め、総合的に評価する。

教材等
教科書…指定しない
参考書…授業中に紹介する

学生へのメッセージ
よい授業は学生諸君と教員との相互作用で成り立つ。よい時間を共有しよう。

関連科目
相談心理学

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

組織心理学
Organizational Psychology

田　中　健　吾（タナカ　ケンゴ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
組織心理学とは、産業活動に心理学的知見を活用していくための研究をする心理学の一領域である。企業組織における採用や人的資源管理等、心理学的知見を活用できる可能性のある分野は幅広く存在する。このような産業心理学についてその歴史的経緯から、現代的なトピックまで、網羅的に紹介する。

授業方法と留意点
講義形式を中心とする。レジュメに空欄を用意するので，自分なりの視点で講義内容をノートにまとめること。

科目学習の効果（資格）
企業等に就職して組織の様々な問題に直面したときに，この講義を思い出してもらえば何か役立つことがあるかもしれない。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　組織心理学とは？
【内容･方法　等】　組織とはどのような特徴を持っているのか，それを心理学という観点から捉えることにどのような意義があるのか論じていく。まずは導入ということで，今後の講義テーマを概観する。
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第２回　**【授業テーマ】**　組織心理学の歴史
【内容･方法　等】　どういう社会的な要請があるのかという視点はどんな学問にも必要です．組織心理学の歴史的変遷とその学問的意義について考えます．
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第３回　**【授業テーマ】**　仕事への動機づけ（モチベーション）１
【内容･方法　等】　人は仕事に何を求めているのか，何が仕事に対するやる気を高めるのか，そして，どんなときに仕事に満足感を得ることができるのか論じていく。この回は特に，内容理論と呼ばれる理論を紹介する．
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第４回　**【授業テーマ】**　仕事への動機づけ（モチベーション）２
【内容･方法　等】　モチベーション理論のうち，過程理論と呼ばれる認知的プロセスを視野に入れた理論を紹介する．
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第５回　**【授業テーマ】**　作業の心理学
【内容･方法　等】　産業領域を扱う組織心理学では，集団のパフォーマンスや疲労感をテーマにした研究も多い．こうした作業関連の心理学的研究を紹介する．
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第６回　**【授業テーマ】**　集団と組織１
【内容･方法　等】　集団行動に関する心理学的理論のうち，囚人のジレンマゲームと社会的ジレンマに関する研究領域を紹介する．
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　196　2014/08/21　14:24:27

第７回　【授業テーマ】　集団と組織２
【内容･方法　等】　集団・組織行動で発生する様々な問題のうち，スケープゴートと呼ばれる現象と，集団的浅慮と呼ばれる好ましくない意思決定過程について詳説する.
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第８回　【授業テーマ】　集団と組織３
【内容･方法　等】　集団状況におけるパフォーマンスの問題を扱う．特に，能力とパフォーマンスの関係を規定する要因，社会的手抜き，社会的促進と呼ばれる現象について解説する.
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第９回　【授業テーマ】　リーダーシップ
【内容･方法　等】　組織や集団のリーダーはそこに所属するメンバーに対してどのような行動をとると円滑な運営が可能になるのか論じていく。
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第10回　【授業テーマ】　職場ストレスとカウンセリング１
【内容･方法　等】　集団状況で発生する問題の一つであるストレスについて，基礎的な知識を説明するとともに，特に職場場面に特化して理解を深める.
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第11回　【授業テーマ】　職場ストレスとカウンセリング２
【内容･方法　等】　ストレスに関する考え方のうち，医学的ストレスモデルと心理学的ストレスモデルの違いやそれぞれの利点について検討する.
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第12回　【授業テーマ】　職場ストレスとカウンセリング３
【内容･方法　等】　組織の健康づくりに役立つ，調査に基づく組織的な保健活動について，社会的背景から実践まで解説する.
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第13回　【授業テーマ】　人事アセスメント
【内容･方法　等】　人的資源管理における個性を把握する働きやプロセスである人事アセスメントについて，最終的に経営の意思によって多くの情報を総合して決定される手続きや過程を理解する.
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第14回　【授業テーマ】　消費者行動
【内容･方法　等】　説得の方法に関する理論，広告，口コミ情報の効果など，心理的要因が経営に与える影響として消費者行動を解説する.
【事前･事後学習課題】　講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容･方法　等】　これまでの講義を概観する。また，組織に所属するとはどういうことか，そこで働くということは個人および組織にとって何を意味するのか，皆さんに考えてもらう。
【事前･事後学習課題】　これまでの講義を振り返り，大レポートに反映させる。

評価方法（基準）
学期末試験、課題レポートに受講姿勢等を加味して総合評価する。
講義期間中は小レポートの提出を複数求めることがある。

教材等
教科書…「産業・組織心理学への招待」　白樫三四郎　編　有斐閣（2310円）
参考書…適宜紹介します。

学生へのメッセージ
エビデンス・ベースド（実証データに基づく）な心理学の立場に関心を持ち、将来企業内で心理学的知見を生かしたいと真摯に考える学生を希望します。

関連科目
経営組織論

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

産業社会論I
Industrial SociologyI

針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
携帯電話やスマートフォンといった移動体情報通信技術の急速な発展と普及により企業と消費者が情報通信ネットワークを介して結ばれたことで、現在、その関係が大きく変わりつつある。企業は、消費者個人の嗜好や行動情報をもとに新たな需要を掘り起こし、消費者はそれらの情報の提供することで、パーソナル且つタイムリーで利便性の高いサービスを求めるようになる。すなわちこれは、従来の企業を中心とする産業社会から消費者を主体とする消費社会への移行を意味し、今後のビジネスにおいて消費者を理解することが益々重要性を増してくる。そこで本講義では、今日の消費活動の主要な場となりつつあるWebコミュニティや消費行動の傾向や特徴から現代消費者を捉えるとともに、それを支える要素技術及びこれらに関する企業側の取り組みについて、特にマーケティング活動の点から解説する。

授業方法と留意点
講義は、プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行なう。また一部のテーマについては学生による事前の文献調査とその発表をもとにすすめる予定である。なお講義で取り扱うテーマについては、受講生の関心や時の話題に応じて変更する場合もある。

科目学習の効果（資格）
身近な情報サービスを例に、それらがビジネスとして成り立つ仕組みについて理解することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・本講義の進め方
・マーケティングの変遷
【事前･事後学習課題】　――――――――

第２回　【授業テーマ】　メディア戦略とは
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・メディア戦略・戦術の基本的考え方
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第３回　【授業テーマ】　メディア戦略の理論（１）
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・消費者購買行動モデル
・顧客接点とメディア
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第４回　【授業テーマ】　メディア戦略の理論（２）
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・プロダクトライフサイクル
・競争戦略
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第５回　【授業テーマ】　メディア戦略の理論（３）
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・参入戦略
・製品市場戦略
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第６回　【授業テーマ】　メディア戦略の理論（４）
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・PR戦略
・顧客コミュニケーション戦略
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第７回　【授業テーマ】　メディア戦略の基盤技術（１）
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・インターネット広告の種類
・インターネット広告の仕組み
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第８回　【授業テーマ】　メディア戦略の基盤技術（２）
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・モバイル通信の仕組み
・モバイル広告配信の仕組み
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第９回　【授業テーマ】　メディア戦略の基盤技術（３）
【内容･方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアの種類
・ソーシャルメディアの仕組み
【事前･事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　197　2014/08/21　14:24:27

第10回　【授業テーマ】　メディア戦略の基盤技術（４）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・クラウドコンピューティング
・ビッグデータ
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第11回　【授業テーマ】　企業のメディア活用事例（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・強者のメディア戦術事例
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第12回　【授業テーマ】　企業のメディア活用事例（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・弱者のメディア戦術事例
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第13回　【授業テーマ】　企業のメディア戦略事例（３）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・集客・販売のメディア戦術事例
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第14回　【授業テーマ】　企業のメディア戦略事例（４）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・優良顧客化のメディア戦術事例
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　――――――――
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

評価方法（基準）
定期テスト80%、レポート20%で評価する。なお出席が40%に満たない場合は評価の対象としない。
私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等
教科書…配布資料中心
参考書…適時紹介

学生へのメッセージ
受け身の姿勢では何も身につきません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目
インターネット概論、経営情報システム論，電子商取引など

担当者の研究室等
１１号館７階（針尾准教授室）

産業社会論II
Industrial Sociology II

針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
携帯電話やスマートフォンといった移動体情報通信技術の急速な発展と普及により企業と消費者が情報通信ネットワークを介して結ばれたことで、現在、その関係が大きく変わりつつある。企業は、消費者個人の嗜好や行動情報をもとに新たな需要を掘り起こし、消費者はそれらの情報の提供することで、パーソナル且つタイムリーで利便性の高いサービスを求めるようになる。すなわちこれは、従来の企業を中心とする産業社会から消費者を主体とする消費社会への移行を意味し、今後のビジネスにおいて消費者を理解することが益々重要性を増してくる。そこで本講義では、こうした消費者指向にシフトするわが国の代表的な産業・ビジネスの動きとその仕組みについて、具体的事例をまじえながら解説する。

授業方法と留意点
講義は、プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行なう。また一部のテーマについては学生による事前の文献調査とその発表をもとにすすめる予定である。なお講義で取り扱うテーマについては、受講生の関心や時の話題に応じて変更する場合もある。

科目学習の効果（資格）
身近な情報サービスを例に、それらがビジネスとして成り立つ仕組みについて理解することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　――――――――
【事前・事後学習課題】　――――――――

第２回　【授業テーマ】　コンテンツ産業（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・コンテンツとは
・コンテンツ産業の構造、市場規模
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第３回　【授業テーマ】　コンテンツ産業（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・コンテンツビジネスとは
・コンテンツビジネスの仕組みとそれを支える情報技術
・知的財産権ほか
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第４回　【授業テーマ】　放送・通信産業（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・放送とは
・放送産業の構造、市場規模
・放送ビジネスの仕組みとそれを支える情報技術
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第５回　【授業テーマ】　放送・通信産業（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・通信とは
・通信産業の構造、市場規模
・通信ビジネスの仕組みとそれを支える情報技術
・放送と通信の融合
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第６回　【授業テーマ】　映画産業（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・映画産業の構造、市場規模
・映画ビジネスの仕組み
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第７回　【授業テーマ】　映画産業（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・インターネットで変わる映画ビジネス
・ハリウッドの映画ビジネス
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第８回　【授業テーマ】　映画産業（３）
【内容・方法　等】　この回では、教材映像を視聴し日米のコンテンツ制作の違いについて解説する。
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第９回　【授業テーマ】　音楽産業（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・音楽産業の構造、市場規模
・音楽ビジネスの仕組み
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第10回　【授業テーマ】　音楽産業（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・インターネットを基盤とする新たな音楽ビジネス
・iPodがもたらしたもの
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第11回　【授業テーマ】　出版・広告産業（１）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・出版産業の構造、市場規模
・出版ビジネスの仕組み
・再販売価格維持制度
・電子書籍端末
【事前・事後学習課題】　予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第12回　【授業テーマ】　出版・広告産業（２）
【内容・方法　等】　この回では、主に以下について解説する。
・広告産業の構造、市場規模
・広告ビジネスの仕組み
・Google社の広告ビジネス

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　198　2014/08/21　14:24:27

【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第13回 【授業テーマ】 娯楽・レジャー産業（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説し、事前課題の内容について議論する。
・ゲーム産業の構造、市場規模
・ゲームビジネスの仕組み
・モバイルゲームのビジネスモデル
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第14回 【授業テーマ】 娯楽・レジャー産業（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説し、事前課題の内容について議論する。
・観光産業の現状と市場
・情報技術を活用した観光関連サービスの事例
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 ――――――――
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

評価方法（基準）
定期テスト80%、レポート20%で評価する。なお出席が40%に満たない場合は評価の対象としない。
私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等
教科書…配布資料中心
参考書…適時紹介

学生へのメッセージ
受け身の姿勢では何も身につきません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目
インターネット概論、サイバービジネスソリューション１，情報産業論，電子商取引など

担当者の研究室等
１１号館７階（針尾准教授室）

企業者史I
History of Entrepreneurs I

佐 藤 正 志（サトウ マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
戦前期における日本経済・産業の発展過程をたどりながら、各時代を代表する企業者（家）を取り上げ、その経営活動と経営理念を分析します。企業者の形成過程を経済の発展段階との関連をふまえて考察し、これからの企業者像を考えていきます。

授業方法と留意点
資料の配付、ビデオ視聴などを行いながら、講義形式で実施します。

科目学習の効果（資格）
企業経営に関する基本的事項を歴史的観点から、また企業者の行動や考えを通して学びますので、他の専門科目の理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 戦間期の経済発展と企業家（1）
【内容・方法 等】 大衆消費社会の形成と都市型産業の発展
【事前・事後学習課題】 大衆消費社会とは何か、事前に学習し、事後にまとめる。

第２回 【授業テーマ】 戦間期の経済発展と企業家（2）
【内容・方法 等】 阪急・小林一三（1）
【事前・事後学習課題】 小林一三の経歴について、事前に学習し、事後にまとめる。

第３回 【授業テーマ】 戦間期の経済発展と企業家（3）
【内容・方法 等】 阪急・小林一三（2）
【事前・事後学習課題】 小林一三の経営理念について、事前に学習し、事後にまとめる。

第４回 【授業テーマ】 重化学工業の発展と新興コンツェルン（1）
【内容・方法 等】 新興コンツェルンとは何か
【事前・事後学習課題】 財閥とは何か、事前に学習し、事後にまとめる。

第５回 【授業テーマ】 重化学工業の発展と新興コンツェルン（2）
【内容・方法 等】 日窒・野口遵
【事前・事後学習課題】 新興財閥の特色について、事前に学習し、事後にまとめる。

第６回 【授業テーマ】 重化学工業の発展と新興コンツェルン（3）
【内容・方法 等】 理化学研究所・大河内正敏
【事前・事後学習課題】 新興財閥と植民地との関連について、事前学習をし、事後にまとめる。

第７回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（1）
【内容・方法 等】 戦前における日本の自動車産業の発展
【事前・事後学習課題】 日本の自動車産業の発展史を、事前に学習し、事後にまとめる。

第８回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（2）
【内容・方法 等】 日産・鮎川義介（1）日産の歴史と「公衆持株会社」論
【事前・事後学習課題】 鮎川義介の履歴について、事前に学習し、事後にまとめる。

第９回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（3）
【内容・方法 等】 日産・鮎川義介（2）満洲重工業の設立と挫折
【事前・事後学習課題】 鮎川の経営理念、満重が挫折に至る過程を事前に学習し、事後にまとめる。。

第10回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（4）
【内容・方法 等】 トヨタ（1）豊田佐吉から喜一郎へ
【事前・事後学習課題】 トヨタ自動車の現状について、事前に学習し、事後にまとめる。

第11回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（5）
【内容・方法 等】 トヨタ（2）豊田喜一郎「自動車国産化」
【事前・事後学習課題】 豊田喜一郎がなぜ「国産化」を志向したか、事前に学習し、事後にまとめる。

第12回 【授業テーマ】 大衆消費社会と企業家（1）
【内容・方法 等】 日本企業におけるマーケティング活動の展開
【事前・事後学習課題】 マーケティングとは何か、事典等で調べて、事前に学習し、事後にまとめる。

第13回 【授業テーマ】 大衆消費社会と企業家（2）
【内容・方法 等】 サントリー・鳥井信治郎と森永製菓・森永太一郎
【事前・事後学習課題】 サントリーと森永のマーケティング活動について、事前に調べて、講義後まとめる。

第14回 【授業テーマ】 大衆消費社会と企業家（3）
【内容・方法 等】 ミキモト・御木本幸吉のブランド戦略
【事前・事後学習課題】 ブランド概念を事前に学習し、事後にまとめる。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 ――――――
【事前・事後学習課題】 練習問題

評価方法（基準）
定期試験結果(100点満点）で評価。

教材等
教科書…とくに指定しません。資料を配付します。
参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ
授業内容に関する不明点、疑問は遠慮なく質問してください。紹介する参考文献はできるだけ目をとおして、より理解を深めていただきたい。

関連科目
企業者史Ⅱ;、経営史Ⅰ・Ⅱ(D科科目）

担当者の研究室等
１１号館８階（佐藤研究室）

企業者史II
History of Entrepreneurs II

佐 藤 正 志（サトウ マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
第２次大戦後の日本経済・産業の発展過程をたどりながら、各時代を代表する企業者（家）を取り上げ、その経営活動と経営理念を分析します。企業者の形成過程を、経済の発展段階との関連をふまえて考察し、これからの企業者像を考えていきます。

授業方法と留意点
資料の配付やビデオ視聴を行いながら講義形式で実施します。

科目学習の効果（資格）
企業経営に関する基本的事項を歴史的観点から、また企業者の行動や考えを通して学びますので、他の専門科目の理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 戦後の経済発展の枠組みと企業家（1）
【内容・方法 等】 戦後復興の過程
【事前・事後学習課題】 第２次大戦後の経済の流れについて予習し、講義後にまとめる。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd 199 2014/08/21 14:24:28

第２回　【授業テーマ】　戦後の経済発展の枠組みと企業家（２）
【内容・方法　等】　高度経済成長の要因と企業家
【事前・事後学習課題】　戦後を代表する経営者を事前にリストアップし、講義後その共通点について、まとめる。
第３回　【授業テーマ】　高度経済成長と企業家（１）
【内容・方法　等】　「経営の神様」・松下幸之助（１）
【事前・事後学習課題】　松下幸之助の履歴について予習し、講義後にまとめる。
第４回　【授業テーマ】　高度経済成長と企業家（２）
【内容・方法　等】　「経営の神様」・松下幸之助（２）　「水道哲学」
【事前・事後学習課題】　松下「水道哲学」とな何か、について予習し、講義後にまとめる。
第５回　【授業テーマ】　高度経済成長と企業家（３）
【内容・方法　等】　ホンダ・本田宗一郎
【事前・事後学習課題】　本田と藤沢武夫のパートナーシップについて予習し、講義後にまとめる。
第６回　【授業テーマ】　高度経済成長と企業家（４）
【内容・方法　等】　ソニー・井深大
【事前・事後学習課題】　井深と盛田昭夫のパートナーシップについて予習し、講義後にまとめる。
第７回　【授業テーマ】　流通革命と企業家（１）
【内容・方法　等】　戦後・流通産業の展開
【事前・事後学習課題】　戦後の流通業の変化を事前に調べて、講義後まとめる。
第８回　【授業テーマ】　流通革命と企業家（２）
【内容・方法　等】　中内・ダイエー（１）　経営理念と発展
【事前・事後学習課題】　中内の「流通革命論」を事前に調べて、講義後まとめる。
第９回　【授業テーマ】　流通革命と企業家（３）
【内容・方法　等】　中内・ダイエー（２）　挫折と「流通革命」の後継者
【事前・事後学習課題】　ダイエーの経営の失敗について、その要因を調べて、まとめる。また、中内の「流通革命」の成果は現在どのような形で引き継がれているのかを考える。
第10回　【授業テーマ】　流通革命と企業家（４）
【内容・方法　等】　セブンイレブン・鈴木敏文
【事前・事後学習課題】　鈴木による小売業の革新は、海外においても通用するか、まとめる。
第11回　【授業テーマ】　IT革命の進展と企業家（１）
【内容・方法　等】　インターネットの発展と企業経営の変容
【事前・事後学習課題】　インターネットの歴史を調べて、まとめる。
第12回　【授業テーマ】　IT革命の進展と企業家（２）
【内容・方法　等】　ソフトバンク・孫正義
【事前・事後学習課題】　孫正義の経営理念を事前に調べて、講義後まとめる。
第13回　【授業テーマ】　IT革命の進展と企業家（３）
【内容・方法　等】　テレビゲームの攻防
【事前・事後学習課題】　テレビゲーム開発の歴史と現状を調べて、まとめる。
第14回　【授業テーマ】　IT革命の進展と企業家（４）
【内容・方法　等】　山内・任天堂の戦略
【事前・事後学習課題】　任天堂の経営戦略を事前に調べて、講義後まとめる。
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　――――
【事前・事後学習課題】　練習問題

評価方法（基準）
定期試験結果(100点満点）で評価。

教材等
教科書…とくに指定しません。資料を配付します。
参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ
講義内容に対する不明点や疑問は遠慮なく質問してください。また、紹介する参考文献にはできる限り目を通してください。

関連科目
企業者史Ⅰ、経営史Ⅰ（Ｄ科科目）

担当者の研究室等
１１号館８階（佐藤研究室）

現代コミュニティ論
New Community

針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、都市化、少子高齢化、グローバル化、情報化といった社会環境の変化と、今日、メディア等で多く取り上げられ社会病理化するいくつかの問題（精神性疾患、自殺、いじめ、インターネット上の誹謗中傷など）を社会の近代化の文脈の中で捉え、その関係性について社会学的な考察を行う。ここでは「個（人）」の問題として理解・対応されがちなこれらの問題を、一層うえの「コミュニティ」や「地域社会」全体の問題として考える意識を身につけることを目的とする。

授業方法と留意点
講義は、プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行ない、その後、その内容について議論する。また一部のテーマについては学生による事前の文献調査とその発表をもとにすすめる予定である。

科目学習の効果（資格）
特になし

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　本講義の概要、進め方について解説する。
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　現代社会の様相
【内容・方法　等】　現代の社会病理現象と考えられるいくつかの事象について各種統計データをもとに解説し議論する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第３回　【授業テーマ】　格差社会
【内容・方法　等】　格差社会に関する問題について取り上げ、その是非について議論する。また社会的排除のメカニズムについても解説する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第４回　【授業テーマ】　自殺を生み出す社会（１）
【内容・方法　等】　デュルケームの自殺論の考え方や各種統計データをもとに「自殺」を個人的行為ではなく社会的現象として捉え理解する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第５回　【授業テーマ】　自殺を生み出す社会（２）
【内容・方法　等】　教材映像を視聴し、それをもとに日本人と米国人の死生観とその違いについて議論する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第６回　【授業テーマ】　個人化する社会（１）
【内容・方法　等】　ジグムント・バウマンやデビット・リースマンの文献をもちいて、現代社会における「私」の存在について理解する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第７回　【授業テーマ】　個人化する社会（２）
【内容・方法　等】　C.H.クーリーやG.H.ミードらの文献をもちいて、自我の成立、自我の社会性について解説する。そこから個人と社会の関係性について理解する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第８回　【授業テーマ】　現代社会システムとこころの問題（１）
【内容・方法　等】　現代人が抱える「こころ」の問題について、各文献・資料をもちいて解説する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第９回　【授業テーマ】　現代社会システムとこころの問題
【内容・方法　等】　こころの問題に対する企業の取り組み事例について調査し、発表する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
第10回　【授業テーマ】　社会と犯罪（１）
【内容・方法　等】　人はなぜ犯罪を犯すのか、反集団的行動をとるのか、人間の逸脱行動と社会システムとの関係について、ハワード・ベッカーのラベリング論など犯罪社会学の考え方をもちいて解説する。
【事前・事後学習課題】　予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめてお

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　200　2014/08/21　14:24:28

くこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。

第11回 【授業テーマ】 社会と犯罪（2）
【内容・方法　等】 人はなぜ犯罪を犯すのか、反集団的行動をとるのか、人間の逸脱行動と社会システムとの関係について、ハワード・ベッカーのラベリング論など犯罪社会学の考え方をもちいて解説する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。

第12回 【授業テーマ】 情報ネットワーク社会と多元文化（1）
【内容・方法　等】 多様な文化集団が接触・交流する情報ネットワーク上で起こる問題について、具体的事例をふまえ解説する。
【事前・事後学習課題】 予習：各自テーマを決め、関連する新聞記事、ニュースそれに対する自身の考えについてまとめ、発表資料を作成しておくこと。
復習：講義にて発表された内容及び資料について確認しておくこと。

第13回 【授業テーマ】 情報ネットワーク社会と多元文化（2）
【内容・方法　等】 多様な文化集団が接触・交流する情報ネットワーク上で起こる問題について、具体的事例を調べ発表する。
【事前・事後学習課題】 予習：各自テーマを決め、関連する新聞記事、ニュースそれに対する自身の考えについてまとめ、発表資料を作成しておくこと。
復習：講義にて発表された内容及び資料について確認しておくこと。

第14回 【授業テーマ】 安全・安心な社会とは
【内容・方法　等】 安全・安心に対する自治体の施策、各種技術、サービスについて紹介し、その問題点について解説する。
【事前・事後学習課題】 予習：各自テーマを決め、関連する新聞記事、ニュースそれに対する自身の考えについてまとめ、発表資料を作成しておくこと。
復習：講義にて発表された内容及び資料について確認しておくこと。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
定期テスト80%、レポート20%で評価する。なお出席が40%に満たない場合は評価の対象としない。
私語，携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等
教科書…配布資料
参考書…適時紹介する。

学生へのメッセージ
社会の見方を学ぶ社会学のひとつです。そのため現代の社会を皆さんがどう捉え、それに対し、どのような問題意識をもっているのか、それについての発言を受けながら議論をすすめていきます。思考をフルに働かせ、積極的に受講して下さい。

関連科目
社会学、心理学など

担当者の研究室等
１１号館７階（針尾准教授室）

ビジネスゲーミング
Business Gaming for Society

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
多様な人間関係を維持し、企業の目的や個人目標の達成を図るための社会的思考力の向上を目指す。そのために、ゲーム理論の基本を学び、合理的な意思決定法を理解し、私たちが経験する様々な対立や葛藤を解決する思考法を習得する。

授業方法と留意点
多様な利害対立について自らが考えて答を出すという実践的な授業を行う。授業後の復習に力を注ぎ、疑問点は必ず質問すること。

科目学習の効果（資格）
合理的な意思決定法を理解することによって、対人関係処理能力と社会的スキルの向上が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 講義概要：「ビジネスゲーミング」とは何か
【内容・方法　等】 講義の目的・方法および成績評価について解説する。ゲーミング手法の導入意義やゲーム理論の活用法などを簡単に紹介する。
【事前・事後学習課題】 ビジネスにおける様々な種類の利害関係を取り上げてみよう。

第２回 【授業テーマ】 ビジネスゲームの世界（1）：ビジネスゲームの導入
【内容・方法　等】 ビジネスを理解するために開発された様々なビジネスゲームの理念と活用法について解説する。
【事前・事後学習課題】 梶井厚志著、『戦略的思考の技術』（中公新書）を読んでみよう。

第３回 【授業テーマ】 ビジネスゲームの世界（2）：ゲーム理論とゲーミング
【内容・方法　等】 戦略決定の合理性や論理性、倫理性を説明し、ゲーム理論の目的やシミュレーションゲームの教育的意義について解説する。
【事前・事後学習課題】 「公共財ゲーム」を授業開始時に毎回実施します。ゲーム記録用紙は後日回収します。

第４回 【授業テーマ】 社会的思考（1）：戦略的思考と行動
【内容・方法　等】 様々な対立や葛藤を取り上げ、これらを解消する技法について概観する。併せて、合理的な解決を目指すためのゲーム理論の利点を述べる。
【事前・事後学習課題】 説得や交渉が成立するための条件について考えてみよう。

第５回 【授業テーマ】 社会的思考（2）：ゲーム理論の導入
【内容・方法　等】 戦略論として発展したゲーム理論について解説する。併せて、戦略的意思決定における正しい合理的な思考法とは何かを考える。「農夫の選択」ゲームを解説する。
【事前・事後学習課題】 ボードゲームにおける合理的な戦略について考えてみよう。

第６回 【授業テーマ】 ゲーム理論の世界：ゲーム理論の合理性
【内容・方法　等】 ゲーム理論を構成する基本的な用語を解説する。併せて、展開型ゲーム理論と行列型ゲーム理論の相違点を解説する。
【事前・事後学習課題】 ゲームの必勝法が存在する条件について、考えてみよう。

第７回 【授業テーマ】 ゼロ和ゲームの世界（1）：ゼロ和ゲームの基本
【内容・方法　等】 ゼロ和ゲームに関する考え方とその解法を解説する。また、ミニマックス戦略とマックスミニ戦略などの基本概念を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 じゃんけんゲームをゼロ和ゲーム理論の視点から考えてみよう。

第８回 【授業テーマ】 ゼロ和ゲームの世界（2）：混合戦略と期待値
【内容・方法　等】 じゃんけんゲームを解説し、混合戦略と期待値の関係を述べる。競争型ゲームにおける合理的な解を計算する方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 練習課題を解きます。　試験問題となるので要注意！

第９回 【授業テーマ】 ゼロ和ゲームの世界（3）：ゼロ和ゲーム理論の活用
【内容・方法　等】 ゲームの勝利は運なのか。ゼロ和ゲーム理論と心理学の関係について解説する。じゃんけんにおけるでたらめ戦略の有効性を考える。
【事前・事後学習課題】 「専制者ゲーム」や「最後通牒ゲーム」の心理社会的な特徴を考えてみよう。

第10回 【授業テーマ】 非ゼロ和ゲームの世界（1）：非ゼロ和ゲームの基本
【内容・方法　等】 「囚人のジレンマゲーム」を用いて利害関係の合理的な解決方法を考える。併せて、約束のもたらす心理的効果について述べる。
【事前・事後学習課題】 ゲームの利得表を理解すること。試験問題となるので要注意！

第11回 【授業テーマ】 非ゼロ和ゲームの世界（2）：非協力型ゲームと協力型ゲーム
【内容・方法　等】 ナッシュ均衡を解説し、合理的な交渉の進め方について説明する。特に、プレイヤー間でのコミュニケーションが可能なゲームの成立について解説する。
【事前・事後学習課題】 松原望著、『ゲームとしての社会戦略』（丸善ライブラリ）を読んでみよう。

第12回 【授業テーマ】 非ゼロ和ゲームの世界（3）：非ゼロ和ゲームの活用法
【内容・方法　等】 「チキンゲーム」や「異文化対立ゲーム」などを紹介し、それらの特徴と心理学的課題について解説する。
【事前・事後学習課題】 具体的な戦略的場面を取り上げて分析してみよう。

第13回 【授業テーマ】 ゲーム理論と社会分析（1）：ゲーム理論と社会行動
【内容・方法　等】 「公共財ゲーム」や「共有地の悲劇ゲーム」の解説を通して、社会行動における公正や正義について考える。
【事前・事後学習課題】 「公共財ゲーム」の結果についてレポートを提出（義務）。

第14回 【授業テーマ】 ゲーム理論と社会分析（2）：社会的合意と集

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　201　2014/08/21　14:24:28

団的決定
【内容・方法　等】 ゲーム理論の観点から、合意の形成や社会的ルールの成立について解説する。併せて、協力行動と報酬分配について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 「共有地の悲劇」が起こらないためのルールを考えなさい。
第15回 【授業テーマ】 まとめ：利害対立の合理的解決法とは
【内容・方法　等】 ビジネス場面における様々な利害対立を取り上げて、価値ある有意義な解決を図るための思考法を振り返る。
【事前・事後学習課題】 戦略的思考法に必要な用語を正しく理解すること。

評価方法（基準）
小レポートの成績（30％）と期末定期試験の成績（70％）を合算し、総合的に評価する。

教材等
教科書…指定せず。講義は毎回配布する講義資料をもとに行う。配布した資料をなくさないこと。
参考書…講義のなかで随時紹介する。

学生へのメッセージ
遅刻厳禁！
私語を慎み、中途退室は避けること。
講義中のスマホ・携帯の使用禁止。

関連科目
ミクロ経済学、職業能力開発、経営戦略論などの意思決定に関係する科目を併せて受講すると内容をより理解することができる。

担当者の研究室等
11号館7階（福田研究室）

備考
現実は理論通りにはならない。しかし、理論を知ることは重要である。
この授業を通して、抽象的な思考力（論理力）を身につけてほしい。

社会調査法
Methodology of Social Survey

山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
ひとくちに社会調査といっても、その方法はさまざまである。この講義では調査目的にあわせて調査方法を決定し、調査を設計、実施し、分析しうる形にまで整理していく具体的な手法を学ぶ。調査対象者の選定、全数調査と標本調査、標本調査に際してのさまざまな手法、調査票の作り方、調査の配布回収方法、調査データの整理方法などについて、実践的な例をとりあげつつ解説していく。

授業方法と留意点
配布資料を用いた講義が中心であるが、実習形式での学習も適宜おこなう。

科目学習の効果（資格）
社会調査の全体的な流れが理解できる。
「社会調査士」資格取得に必要な科目（B科目）である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 社会調査の目的と意義
【内容・方法　等】 社会調査とは何か、なぜ調査が必要なのか。
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第２回 【授業テーマ】 社会調査の全体的な流れ
【内容・方法　等】 研究の企画から報告書の執筆までの流れ
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第３回 【授業テーマ】 調査を始める（1）
【内容・方法　等】 問いと仮説の設定、概念の明確化
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第４回 【授業テーマ】 調査を始める（2）
【内容・方法　等】 調査方法の種類
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第５回 【授業テーマ】 調査票を作成する（1）
【内容・方法　等】 ワーディング
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第６回 【授業テーマ】 調査票を作成する（2）
【内容・方法　等】 回答選択肢の作成
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第７回 【授業テーマ】 調査票を作成する（3）
【内容・方法　等】 調査票全体の設計
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第８回 【授業テーマ】 調査の実施（1）
【内容・方法　等】 調査票の配布と回収の方法
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第９回 【授業テーマ】 調査の実施（2）
【内容・方法　等】 全数調査と標本調査、標本数の決定
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第10回 【授業テーマ】 調査の実施（3）
【内容・方法　等】 サンプリングの諸方法
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第11回 【授業テーマ】 データの作成（1）
【内容・方法　等】 コードブックの作成と入力作業
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第12回 【授業テーマ】 データの作成（2）
【内容・方法　等】 コーディング・エディティング・データクリーニング
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第13回 【授業テーマ】 データ分析の基礎（1）
【内容・方法　等】 度数分布、代表値
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第14回 【授業テーマ】 データ分析の基礎（2）
【内容・方法　等】 変数間の関係の分析
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
第15回 【授業テーマ】 結果の報告
【内容・方法　等】 報告書作成に関する注意事項
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習

評価方法（基準）
提出物40％、試験60％

教材等
教科書…使用しない。
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
社会調査の知識は、今やどこに行っても必要とされるものです。関心のある学生はぜひ受講して下さい。

関連科目
社会学Ⅰ、社会学Ⅱ、市場調査入門、経営統計学、ビジネスデータ分析、マーケティング情報解析、市場調査実習

担当者の研究室等
11号館7階　山本講師室

電子商取引
E-Business

北　尾　隆　夫（キタオ　タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
インターネッを使ったネットビジネスの波が日本にも波及しつつあり、今後、ネットビジネスが日本の産業の分野に拡大して行くことは明らかです。　従って、ネットビジネスの歴史、ビジネス・モデルの現状、方向性を知ることはこれからの社会に巣立つ学生諸氏にとっては重要であると考えます。　本講義では、ネットワーク、インターネット、ＥＤＩ、ＥＣ（電子商取引）を構成する要素、ビジネス・モデル、そしてそこに用いられている理論について丁寧に解説し、ネットビジネスの現状と課題を理解していただきます。　受講者諸氏がネットビジネスの現状や方向性を理解されることが到達目標です。

授業方法と留意点
講師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画を促す目的で、レポートやその発表を多く取り入れたものにします。　授業全体を通じ、その時々の社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。
また、毎回ではありませんが、課題を出し次講義で発表いただく場合もあります。　毎回講義内容を復習しておいてください。

科目学習の効果（資格）
ネットビジネスの仕組みや活用方法、課題を習得し、実社会に活用できる知識を身につけて戴けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに　＝ECの定義・分類・発展について＝
【内容・方法　等】 （1）講義ガイダンス
講義の概要、進め方、評価方法、注意事項などについての説明
（2）「ＥＣ」とは何か
ECの定義・分類・発展について、その概要を解説します。
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んでおいてください。
第２回 【授業テーマ】 ECを取り巻く環境
【内容・方法　等】 ネットビジネスとは何か、また、「情報化」とはどの様なことを指すのかを解説します。
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読んでおいてください。
第３回 【授業テーマ】 企業における情報技術の活用
【内容・方法　等】 無意識に遣り過ごしてしまいがちな「サー

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　202　2014/08/21　14:24:28

ビスの価値化」を理解いただき、情報処理とコンピュータの関係について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章、第4章を読んでおいてください。

第４回 【授業テーマ】 インターネットとＷｅｂ
【内容・方法　等】 インターネットの機能と、Ｗｅｂの仕組みについて解説すると共に、パソコンやスマホでのインターネット活用を考えます。
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章、第6章を読んでおいてください。

第５回 【授業テーマ】 ビジネスモデル
【内容・方法　等】 インターネットでのビジネスモデル、それに纏わる収益モデルを理解いただくと共に、その変化について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章を読んでおいてください。

第６回 【授業テーマ】 インターネットマーケティング
【内容・方法　等】 Webによるマーケティング戦略、インターネットの活用についての理解を深めていただきます。
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読んでおいてください。

第７回 【授業テーマ】 企業間での電子商取引　Ⅰ
【内容・方法　等】 企業間での電子商取引の戦略と事例（EDI）について解説します。
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読んでおいてください。

第８回 【授業テーマ】 企業間での電子商取引　Ⅱ
【内容・方法　等】 企業間での電子商取引の戦略と事例（eマーケットプレイス、サプライチェーンマネジメント）を解説し、電子商取引のメリット、デメリットに言及します。
【事前・事後学習課題】 企業間での電子商取引の事例を調べておいてください。

第９回 【授業テーマ】 企業と一般消費者間での電子商取引
【内容・方法　等】 企業と一般消費者間での電子商取引の市場や課題について解説します。
【事前・事後学習課題】 経験したことがある一般消費者での電子商取引の具体例を整理しておいてください。

第10回 【授業テーマ】 自治体との電子商取引、一般消費者間での電子商取引
【内容・方法　等】 自治体が行う電子商取引の事例を解説します。　また、そこにおける問題点などにもふれます。
一方、消費者同士がネット上で取引を行う場合の諸課題に触れ、そこに潜む問題点を、一緒に考えます。
【事前・事後学習課題】 一般消費者間取引の場合の事例について整理しておいてください。

第11回 【授業テーマ】 （１）オンライン・オークション
（２）バーチャル・コミュニティ
【内容・方法　等】 （１）オンライン・オークションと関連ビジネスについて解説します。
（２）バーチャル・コミュニティとモバイルビジネスについて解説します。
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読んでおいてください。

第12回 【授業テーマ】 ＥＣの環境
【内容・方法　等】 ECに関する法律、倫理を解説し、我々の日常ネット利用に関わる問題点を検証します。
【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読んでおいてください。

第13回 【授業テーマ】 ECのセキュリティ
【内容・方法　等】 ＥＣを提供する側のセキュリティ、ＥＣを利用する側のセキュリティに触れ、実際に発生する危険性に対し、企業なり、我々一般消費者が留意すべきことを一緒に考えます。
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読んでおくこと

第14回 【授業テーマ】 ECの決済
【内容・方法　等】 決済とはどの様なことをいうのかを理解いただき、ＥＣにおける決済手段を解説します。
【事前・事後学習課題】 「決済」という言葉の意味を調べておいてください。　また、テキスト第12章を読んでおいてください。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 これまでの講義全体の復讐と、学期末試験を意識したポイントを整理します。
また、そのための模擬テストの実施、Ｑ＆Ａ対応を行います。
【事前・事後学習課題】 教科書、配付資料の全てを持参ください。

評価方法（基準）
全体評価は、平常評価（３５％）と学期末試験評価（６５％）により行います。
平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上の目的も兼ねて一部論述式とします。　また、学期末試験への教材持ち込みは禁止します。

教材等
教科書…中村忠之「ネットビジネス進化論」中央経済社(1,900円+税)
参考書…幡鎌博「eビジネスの教科書（第4版）」創成社(2,310円)
Gary Schneider, “Electronic Commerce”, Course Technology(5,340円).

学生へのメッセージ
コンピュータとネットワークが作り出すＥＣは、もうすでに新しい流れを生み出しています。　今見える多くの話題から将来を想起して欲しいと考えています。
・　毎回出席をとります〔連絡カード配付〕。　遅刻をしないようにしてください。
・　座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。
・　授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります〕。

関連科目
情報セキュリティ、情報産業論　他

担当者の研究室等
１１号館６階　経営学部事務室、講師控え室

ネットビジネス構築演習
Practice of Net-Business Construction

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
情報社会の重要なビジネススタイルであるネットビジネスについて、その設計、構築、さらに運用に関する演習を行う。具体的には、実際のネットショップの分析を行い、次に、仮想店舗のコンセプトの提案、商品ページの設計、ウェブサイト全体のデザインを実習する。さらに、契約、決済などを現在の法制度に基づいて検討するとともに、コンテンツマネジメントシステムの利用を前提とした構築実習を行う。

授業方法と留意点
演習は毎時間情報処理室で行う。演習課題を実行しながら、現在のネット環境の理解を進める。

科目学習の効果（資格）
情報技術を活用した経営の総合的な理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 本演習の狙い、評価方法についてなど
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと

第２回 【授業テーマ】 既存ネットショップの分析（１）
【内容・方法　等】 実在するネットショップを調査し、傾向を分析する。
【事前・事後学習課題】 ネットショップの事例を探しておく

第３回 【授業テーマ】 既存ネットショップの分析（２）
【内容・方法　等】 ネットショップの必要事項を把握する。
【事前・事後学習課題】 各自が構築を目指すネットショップのイメージを考える

第４回 【授業テーマ】 コンセプトの検討
【内容・方法　等】 構築するネットショップのコンセプトを明確にする。
【事前・事後学習課題】 既存のネットショップに対する位置付けを確認する

第５回 【授業テーマ】 商品群の企画
【内容・方法　等】 ネットショップのコンセプトに適した商品のデータを集める。
【事前・事後学習課題】 数多くの商品データの収集方法を検討する

第６回 【授業テーマ】 商品ページのデザイン
【内容・方法　等】 商品を提示する際の画面デザイン、説明文の規定などを検討する。
【事前・事後学習課題】 商品ページのデザインを分析しておく

第７回 【授業テーマ】 ウェブサイトの設計
【内容・方法　等】 商品郡を魅力的に見せるための構成方法の検討を行なう。
【事前・事後学習課題】 情報のまとめ方、アクセスしやすいウェブサイトの要件を調べる

第８回 【授業テーマ】 取引書類の検討
【内容・方法　等】 免責事項、配送基準などの契約書類を作成する。
【事前・事後学習課題】 現在の法制度に基づく契約書類の調査

第９回 【授業テーマ】 CMS実習
【内容・方法　等】 コンテンツマネジメントの利用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 現在のCMSの利用可能性の把握

第10回 【授業テーマ】 構築実習（１）
【内容・方法　等】 ネットショップの内容をCMSに登録する。
【事前・事後学習課題】 CMSの利用方法の予習・復習

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　203　2014/08/21　14:24:28

第11回　【授業テーマ】　構築実習（２）
【内容・方法　等】　ネットショップの内容をCMSに登録する。
【事前・事後学習課題】　CMSの利用方法の予習・復習
第12回　【授業テーマ】　グループ発表
【内容・方法　等】　各自が構築したネットショップを相互評価する。
【事前・事後学習課題】　既存のネットショップとの比較
第13回　【授業テーマ】　キャンペーン計画
【内容・方法　等】　ネットショップの活性化を考慮したイベントの企画を行う。
【事前・事後学習課題】　実在のネットショップのキャンペーンを調べる
第14回　【授業テーマ】　最新技術動向
【内容・方法　等】　これからのネットショップに用いられる技術動向の検討
【事前・事後学習課題】　インターネット技術の最新動向の調査
第15回　【授業テーマ】　本演習のまとめ
【内容・方法　等】　本演習で学んだことの振り返り
【事前・事後学習課題】　本演習で作成した課題の見直し

評価方法（基準）
定期テスト80%、レポート等20%で評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…適宜案内する。

学生へのメッセージ
この演習では、情報技術をいかに効果的に活用して新しいビジネスを立ち上げるかを体験しようと思っています。プログラミングが苦手でも大丈夫ですので、楽しく受講してください。

関連科目
プログラミング基礎、Webデザイン、コンピュータネットワーク

担当者の研究室等
１１号館７階久保准教授室

ビジネスネットワーク管理
Business Network Management

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、社会、産業の重要なインフラストラクチャーであり、さまざまな分野で欠かせないコンピュータネットワークについて学習する。特に、ネットワークを構成する基本的な技術を整理し、どのようにして相互にデータのやりとりができるのか、それらの技術がどのように活用されているのかについて平易に解説する。また、LANやインターネットはもとより、携帯電話や衛星通信などについても、最新の技術動向やトピックスを交え、ネットワークの面白さ、奥深さについて議論する。

授業方法と留意点
初回に授業の説明を行うので、必ず出席すること。理由無く欠席した場合は受講する意思がないとみなす。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果（資格）
ITパスポート試験や基本情報技術者試験など、コンピュータやネットワークに関連する資格取得に関連した科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　データ通信の仕組み
【内容・方法　等】　データ通信の種類とその利用方法
【事前・事後学習課題】　練習問題(1)
第２回　【授業テーマ】　伝送技術と伝送システム
【内容・方法　等】　変調方式と多重化方式，データを伝送する代表的な手順
【事前・事後学習課題】　練習問題(2)
第３回　【授業テーマ】　交換システム
【内容・方法　等】　交換システム(回線交換とパケット交換)
【事前・事後学習課題】　練習問題(3)
第４回　【授業テーマ】　通信プロトコル
【内容・方法　等】　通信プロトコルの役割，ネットワークアーキテクチャ
【事前・事後学習課題】　練習問題(4)
第５回　【授業テーマ】　LANのネットワーク構成
【内容・方法　等】　ネットワークの種類と特長
【事前・事後学習課題】　練習問題(5)
第６回　【授業テーマ】　LANのプロトコル
【内容・方法　等】　LANを利用した通信の仕組み，OSI（Open Systems Interconnection）参照モデル
【事前・事後学習課題】　練習問題(6)
第７回　【授業テーマ】　LANの構成要素
【内容・方法　等】　ハブ，ルーター，Macアドレス，Macフレーム
【事前・事後学習課題】　練習問題(7)
第８回　【授業テーマ】　講義のまとめと小テスト
【内容・方法　等】　講義前半の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】　練習問題(8)
第９回　【授業テーマ】　無線LAN
【内容・方法　等】　無線LANの種類と特徴
【事前・事後学習課題】　練習問題(9)
第10回　【授業テーマ】　電子メール(1)
【内容・方法　等】　電子メールの仕組み，メールクライアントとメールサーバ
【事前・事後学習課題】　練習問題(10)
第11回　【授業テーマ】　電子メール(2)
【内容・方法　等】　メールヘッダーと本文の役割，ＤＮＳサーバ，メールセキュリティ
【事前・事後学習課題】　練習問題(11)
第12回　【授業テーマ】　情報社会のセキュリティ(1)
【内容・方法　等】　情報セキュリティの基本
【事前・事後学習課題】　練習問題(12)
第13回　【授業テーマ】　情報社会のセキュリティ(2)
【内容・方法　等】　ハッキングとクラッキング
【事前・事後学習課題】　練習問題(13)
第14回　【授業テーマ】　コンピュータウィルス
【内容・方法　等】　コンピュータウィルスの特徴と被害
【事前・事後学習課題】　練習問題(14)
第15回　【授業テーマ】　講義のまとめと小テスト
【内容・方法　等】　講義後半の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】　練習問題(15)

評価方法（基準）
授業中の課題（40%）と期末試験（60%）により評価する。ただし、欠席または遅刻回数が全授業数の1/3回を超える場合は、期末試験の点数に関わらず単位を得ることはできない。また、授業に参加しない者（寝る、喋る等）は欠席扱いとする。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

学生へのメッセージ
この授業は、情報関連分野の専門科目として情報処理の基礎科目やプログラミング演習を習得した中級者向けに講義を行っていく。このため、コンピュータの基本的な利用が困難な者は、授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。

関連科目
情報処理関連の基礎科目

担当者の研究室等
11号館8階(堀井教授室)

コンピュータネットワーク
Computer Network

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
本講義では、社会、産業の重要なインフラストラクチャーであり、IT革命といわれるほどさまざまな分野に大きな衝撃を与えているコンピュータネットワークについて学習する。特に、ネットワークを構成する基本的な技術を整理し、どのようにして相互にデータのやりとりができるのか、それらの技術がどのように活用されているのかについて平易に解説する。また、LANやインターネットはもとより、携帯電話や衛星通信などについても、最新の技術動向やトピックスを交え、ネットワークの面白さ、奥深さについて議論する。

授業方法と留意点
この授業は再履修科目であり、少人数で行う。このため、初回は座席指定を行うので、必ず出席すること。また、遅刻は15分までとし、遅刻または欠席回数が3回を超える場合は、受講する意思がないとみなす。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果（資格）
ネットワークスペシャリストをはじめとする、コンピュータやネットワークに関連するあらゆる資格取得に有利な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　データ通信の仕組み
【内容・方法　等】　データ通信の種類とその利用方法
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　アナログ通信とデジタル通信
【内容・方法　等】　アナログ通信とデジタル通信の仕組みと使い方

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　204　2014/08/21　14:24:29

【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
第３回 【授業テーマ】 伝送技術
【内容・方法　等】 変調方式と多重化方式
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
第４回 【授業テーマ】 伝送システム
【内容・方法　等】 データを伝送する代表的な手順
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
第５回 【授業テーマ】 交換システム
【内容・方法　等】 交換システム(回線交換とパケット交換)
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
第６回 【授業テーマ】 通信プロトコル
【内容・方法　等】 通信プロトコルの役割，ネットワークアーキテクチャ
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
第７回 【授業テーマ】 LANのネットワーク構成
【内容・方法　等】 ネットワークの種類と特長
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
第８回 【授業テーマ】 LANのプロトコル(1)
【内容・方法　等】 LANを利用した通信の仕組み
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
第９回 【授業テーマ】 LANのプロトコル（２）
【内容・方法　等】 OSI（Open Systems Interconnection） 参照モデル
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
第10回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法　等】 講義（1～9回）の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
第11回 【授業テーマ】 無線LAN(1)
【内容・方法　等】 無線LANの種類と特徴
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
第12回 【授業テーマ】 無線LAN(2)
【内容・方法　等】 無線LANの仕組み
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
第13回 【授業テーマ】 TCP(1)
【内容・方法　等】 TCPの特徴
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
第14回 【授業テーマ】 TCP(2)
【内容・方法　等】 TCPの役割
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
第15回 【授業テーマ】 TCP(3)
【内容・方法　等】 TCPとUDP
【事前・事後学習課題】 練習問題(14)
第16回 【授業テーマ】 IP(1)
【内容・方法　等】 IPの役割，ＩＰパケット
【事前・事後学習課題】 練習問題(15)
第17回 【授業テーマ】 IP(2)
【内容・方法　等】 IPアドレス，IPヘッダー
【事前・事後学習課題】 練習問題(16)
第18回 【授業テーマ】 IP(3)
【内容・方法　等】 ICMP，チェックサム
【事前・事後学習課題】 練習問題(17)
第19回 【授業テーマ】 LANの構成要素
【内容・方法　等】 ハブ，ルーター，Macアドレス，Macフレーム
【事前・事後学習課題】 練習問題(18)
第20回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法　等】 講義（11～19回）の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(19)
第21回 【授業テーマ】 電子メール(1)
【内容・方法　等】 電子メールの仕組み，メールクライアントとメールサーバ
【事前・事後学習課題】 練習問題(20)
第22回 【授業テーマ】 電子メール(2)
【内容・方法　等】 メールヘッダーと本文の役割，ＤＮＳサーバ
【事前・事後学習課題】 練習問題(21)
第23回 【授業テーマ】 電子メール(3)
【内容・方法　等】 メールセキュリティ
【事前・事後学習課題】 練習問題(22)
第24回 【授業テーマ】 情報社会のセキュリティ(1)
【内容・方法　等】 情報セキュリティの基本
【事前・事後学習課題】 練習問題(23)
第25回 【授業テーマ】 情報社会のセキュリティ(2)
【内容・方法　等】 ハッキングとクラッキング
【事前・事後学習課題】 練習問題(24)
第26回 【授業テーマ】 情報社会のセキュリティ(3)
【内容・方法　等】 個人情報保護とプライバシー，情報漏洩
【事前・事後学習課題】 練習問題(25)
第27回 【授業テーマ】 コンピュータウィルス(1)
【内容・方法　等】 コンピュータウィルスの特徴
【事前・事後学習課題】 練習問題(26)
第28回 【授業テーマ】 コンピュータウィルス(2)
【内容・方法　等】 コンピュータウィルスによる被害
【事前・事後学習課題】 練習問題(27)
第29回 【授業テーマ】 セキュリティ対策
【内容・方法　等】 安全性，暗号と認証技術
【事前・事後学習課題】 練習問題(28)
第30回 【授業テーマ】 講義のまとめ

評価方法（基準）
期末試験（持ち込み不可，100%）により評価する。ただし、遅刻または欠席回数が3回を超える場合は、期末試験の点数に関わらず単位を得ることはできない。また、授業に参加しない者（寝る、喋る等）は欠席扱いとする。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

学生へのメッセージ
「授業方法と留意点」および「評価方法」をよく読んで受講すること。

関連科目
情報処理関連の基礎科目

担当者の研究室等
11号館8階(堀井教授室)

ビジネスデータベース
Business Database

安　達　康　生（アダチ　ヤスオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
経営組織体において、情報が第４の経営資源であると言われだしてすでに久しい。ネットワーク社会が進展している現在、情報管理の重要性はますます増大しているといえよう。情報を資源として有効に管理・運用するためには、必要な情報を適切に収集・蓄積・加工し、有効活用することは必須のことである。このような情報管理の典型的な手段としてデータベースシステムが使われる。
本講義では、情報の管理に不可欠なデータベースの基礎的な知識としてデータの蓄積・管理・活用技法を学ぶ。

授業方法と留意点
テキストを用いた講義方式。毎講義ごとに小テストを行う。小テストの解説は次回の講義時に行う。

科目学習の効果（資格）
ITパスポート試験の受験に際して、データベースの知識は重要である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 データベースの概念・必要性
【内容・方法　等】 講義の進め方、データベースとは　データベースの必要性
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
第２回 【授業テーマ】 データベースの基本構成
【内容・方法　等】 データベースのしくみ、歴史
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第３回 【授業テーマ】 データベースの処理形態
【内容・方法　等】 データベース処理のしくみ
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第４回 【授業テーマ】 ファイル編成の基礎
【内容・方法　等】 ファイル編成の基礎知識
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第５回 【授業テーマ】 ファイル編成の種類（１）
【内容・方法　等】 ファイル編成とその種類（順編成、直接編成）
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第６回 【授業テーマ】 ファイル編成の種類（２）
【内容・方法　等】 ファイル編成とその種類（相対編成、VSAM編成）
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第７回 【授業テーマ】 データベース管理システム
【内容・方法　等】 データベース管理システムの機能について
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第８回 【授業テーマ】 リレーションの概念
【内容・方法　等】 リレーショナルモデル
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第９回 【授業テーマ】 リレーショナルデータベース
【内容・方法　等】 関係の表現と処理
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　205　2014/08/21　14:24:29

小テストの理解確認
第10回 【授業テーマ】 関係の正規化（１）
【内容・方法　等】 キーとは、第１、第２正規化
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第11回 【授業テーマ】 関係の正規化（２）
【内容・方法　等】 第３、第４正規化
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第12回 【授業テーマ】 データベース言語・ＳＱＬの概要
【内容・方法　等】 ＳＱＬの歴史、ＳＱＬのコマンド体系
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第13回 【授業テーマ】 ＳＱＬ言語（１）
【内容・方法　等】 問合わせ処理
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第14回 【授業テーマ】 ＳＱＬ言語（２）
【内容・方法　等】 副問合せ処理、表結合
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
第15回 【授業テーマ】 データベースの設計と管理
【内容・方法　等】 データモデル、データベースの設計手法と管理
【事前・事後学習課題】 小テストの理解確認

評価方法（基準）
前期定期試験を５０％、小テストを２０％、平常点を３０％として総合的に評価します。

教材等
教科書…「＜最新＞図解でわかる　データベースのすべて」小泉　修著、日本実業出版社、2007（2500円）
参考書…特になし

学生へのメッセージ
データベースは社会で最もよく使われるアプリケーションソフトの一つである。データベースの応用範囲は広いので、データベースに関して少しでも興味を持ってもらいたい。

関連科目
応用情報処理Ⅲ

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

ネットワークプログラミング
Network Programming

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、ネットワークの運用・管理に関する基礎知識を学び、社会にとって必要不可欠なインターネットを用いたコミュニケーションを題材にクライアント/サーバシステムの仕組みやプロトコルなどについて理解を深めていく。更には、プログラミングとしてJavaScriptやＰＨＰを用いた演習を行い、動的なネットワークコミュニケーションを実現するための技術を習得する。

授業方法と留意点
初回に授業の説明を行うので、必ず出席すること。理由無く欠席した場合は受講する意思がないとみなす。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果（資格）
ITパスポート試験や基本情報技術者試験など、コンピュータやネットワークに関連する資格取得に関連した科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ネットワーク管理の基本
【内容・方法　等】 ネットワークコミニュケーション，ネットワークの運用と管理の基本事項
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
第２回 【授業テーマ】 TCP(1)
【内容・方法　等】 クライアント/サーバシステム，TCPの特徴と役割
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
第３回 【授業テーマ】 TCP(2)
【内容・方法　等】 TCPとUDP
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
第４回 【授業テーマ】 IP(1)
【内容・方法　等】 IPの役割，ＩＰパケット
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
第５回 【授業テーマ】 IP(2)
【内容・方法　等】 IPアドレス，IPヘッダー，ICMP，チェックサム
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
第６回 【授業テーマ】 Webブラウザの仕組み
【内容・方法　等】 Ｗｅｂクライアント/サーバシステム，ＨＴＴＰプロトコル
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
第７回 【授業テーマ】 Webブラウザの拡張機能
【内容・方法　等】 Webブラウザの拡張機能
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
第８回 【授業テーマ】 講義のまとめと小テスト
【内容・方法　等】 講義前半の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
第９回 【授業テーマ】 ホームページの基礎知識
【内容・方法　等】 HTMLによるホームページ作成の基本技術
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
第10回 【授業テーマ】 JavaScriptプログラミング(1)
【内容・方法　等】 プログラミング環境の設定，操作手順，イベントハンドラ
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
第11回 【授業テーマ】 JavaScriptプログラミング(2)
【内容・方法　等】 関数，条件分岐
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
第12回 【授業テーマ】 JavaScriptプログラミング(3)
【内容・方法　等】 繰り返し処理，クッキー情報の活用
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
第13回 【授業テーマ】 PHPプログラミング(1)
【内容・方法　等】 PHPプログラミングの基本，フォーム
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
第14回 【授業テーマ】 PHPプログラミング(2)
【内容・方法　等】 配列関数，おみくじ機能
【事前・事後学習課題】 練習問題(14)
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめと小テスト
【内容・方法　等】 講義後半の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(15)

評価方法（基準）
授業中の課題（40%）と期末試験（60%）により評価する。ただし、欠席または遅刻回数が全授業数の1/3回を超える場合は、期末試験の点数に関わらず単位を得ることはできない。また、授業に参加しない者（寝る、喋る等）は欠席扱いとする。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

学生へのメッセージ
この授業は、情報関連分野の専門科目として情報処理の基礎科目やプログラミング演習を習得した中級者向けに講義を行っていく。このため、コンピュータの基本的な利用が困難な者は、授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。

関連科目
情報処理関連の基礎科目

担当者の研究室等
11号館8階(堀井教授室)

マルチメディア処理
Multimedia Processing

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	選択	4

授業概要・目的・到達目標
マルチメディア技術は、教育、医療、経営など、我々の生活に関わるさまざまな分野で活用されている。今後も画像や音声によって表現力を高めた情報をネットワーク経由で伝達する技術は、ますます高度化していき、必要不可欠なコミュニケーション手段となるに違いない。本講義では、マルチメディアの基礎技術となる「デジタル画像処理」と「コンピュータグラフィックス」をとりあげ、その利用技術と生成手法について学んでいく。さらに、プログラミング演習を行うことで授業内容の理解を深める。

授業方法と留意点
この授業は再履修科目であり、少人数で行う。このため、初回は座席指定を行うので、必ず出席すること。連絡無く欠席した場合は受講する意思がないとみなす（２回目以降は受講できない）。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果（資格）
ＣＧ検定，画像処理検定，マルチメディア検定のための基礎知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 マルチメディアと画像処理
【内容・方法　等】 マルチメディアの応用技術

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　206　2014/08/21　14:24:29

【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 CG演習(1)
【内容・方法　等】 CG作成手順，コンピュータグラフィックスの実例
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
第３回 【授業テーマ】 CG演習(2)
【内容・方法　等】 基本的なシーンファイルの作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
第４回 【授業テーマ】 人間の知覚特性
【内容・方法　等】 恒常現象、錯覚、図と地，ヒストグラム，濃度変換
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
第５回 【授業テーマ】 CG演習(3)
【内容・方法　等】 簡単な立体形状の作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
第６回 【授業テーマ】 CG演習(4)
【内容・方法　等】 移動・回転・拡大縮小
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
第７回 【授業テーマ】 色彩表現
【内容・方法　等】 加法混色，減法混色，RGB/XYZ表示系，マンセル表色系
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
第８回 【授業テーマ】 CG演習(5)
【内容・方法　等】 立体の色彩表現
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
第９回 【授業テーマ】 ２次元画像処理の基礎
【内容・方法　等】 画像の標本化と量子化，2値化処理，濃淡，陰線・陰面消去
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
第10回 【授業テーマ】 合成と変換(1)
【内容・方法　等】 平滑化，鮮鋭化，モザイク処理
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
第11回 【授業テーマ】 合成と変換(2)
【内容・方法　等】 コントラストの変換，特殊効果
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
第12回 【授業テーマ】 立体の表現方法
【内容・方法　等】 ステレオ画像処理，時分割メガネ方式，ステレオペア方式
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
第13回 【授業テーマ】 CG演習(6)
【内容・方法　等】 複雑な立体形状の作成(1)
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
第14回 【授業テーマ】 CG演習(7)
【内容・方法　等】 複雑な立体形状の作成(2)
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめと小テスト
【内容・方法　等】 講義全体のまとめと小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(14)
第16回 【授業テーマ】 模様と凹凸表現
【内容・方法　等】 質感とテクスチャ
【事前・事後学習課題】 練習問題(15)
第17回 【授業テーマ】 CG演習(8)
【内容・方法　等】 質感の変更，テクスチャマッピング，バンプマッピング
【事前・事後学習課題】 練習問題(16)
第18回 【授業テーマ】 カメラとライティング
【内容・方法　等】 ワールド座標とローカル座標，座標変換，透視変換
【事前・事後学習課題】 練習問題(17)
第19回 【授業テーマ】 CG演習(9)
【内容・方法　等】 カメラや光源の種類の設定
【事前・事後学習課題】 練習問題(18)
第20回 【授業テーマ】 モデリング
【内容・方法　等】 モデリング手法
【事前・事後学習課題】 練習問題(19)
第21回 【授業テーマ】 レンダリング
【内容・方法　等】 レンダリング手法
【事前・事後学習課題】 練習問題(20)
第22回 【授業テーマ】 CG演習(10)
【内容・方法　等】 複雑な立体形状の作成(3)
【事前・事後学習課題】 練習問題(21)
第23回 【授業テーマ】 立体表現の応用
【内容・方法　等】 スィープ表現，曲線表現（スプライン曲線，ベジェ曲線）
【事前・事後学習課題】 練習問題(22)
第24回 【授業テーマ】 CG演習(11)
【内容・方法　等】 正多面体，半多面体，とーラス図形，CG文字の作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(23)
第25回 【授業テーマ】 CGアニメーション
【内容・方法　等】 アニメーションの原理，映画などで利用されているCGの実例紹介
【事前・事後学習課題】 練習問題(24)
第26回 【授業テーマ】 CG演習(11)
【内容・方法　等】 CGアニメーションの作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(25)
第27回 【授業テーマ】 講義のまとめと小テスト
【内容・方法　等】 講義全体のまとめと小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(26)
第28回 【授業テーマ】 作品制作
【内容・方法　等】 作品制作
【事前・事後学習課題】 練習問題(27)
第29回 【授業テーマ】 作品制作
【内容・方法　等】 作品制作
【事前・事後学習課題】 練習問題(28)
第30回 【授業テーマ】 作品制作

評価方法（基準）
授業中の課題（40%）と期末試験（60%）により評価する。ただし、欠席または遅刻回数が3回を超える場合は、期末試験の点数に関わらず単位を得ることはできない。また、授業に参加しない者（寝る、喋る等）は欠席扱いとする。

教材等
教科書…なし
参考書…POV-Rayで学ぶ実習コンピュータグラフィックス（アスキー出版局）

学生へのメッセージ
この授業は、情報関連分野の専門科目として情報処理の基礎科目やプログラミング演習を習得した中級者向けに講義を行っていく。このため、コンピュータの利用が不得手な初心者やネットワーク技術に興味の無い学生は、授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。

関連科目
情報処理関連の基礎科目、Webデザインコンテンツ

担当者の研究室等
11号館8階(堀井教授室)

Ｗｅｂコンテンツデザイン
Web Contents Design

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
インターネットの急速な普及にともない、多くの企業や団体がWebサイトを立ち上げ、ネットワークを経由して様々な情報を発信している。しかし、Webページは単に作れば良いということではない。本講義では、発信者が効果的に情報を提供し、閲覧者が目的の情報を逸早く見つけることのできるWebページの作成技術について習得する。まず、HTMLによるWebページの制作方法を学習し、配色や見易くするテクニックについて習得する。

授業方法と留意点
この授業は再々履修科目であり、極少人数で行う。このため、初回は座席指定を行うので、必ず出席すること。また、遅刻は15分までとし、遅刻または欠席回数が3回を超える場合は、受講する意思がないとみなす。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果（資格）
マルチメディア検定、色彩検定のための基礎知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 Web制作のワークフロー(1)
【内容・方法　等】 WebデザイナーとWeb制作
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 Web制作のワークフロー(2)
【内容・方法　等】 目的と用途によるテーマの決定
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
第３回 【授業テーマ】 Webとマーケティング・コミニュケーション
【内容・方法　等】 Webとマーケティング・コミニュケーション
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
第４回 【授業テーマ】 Webデザインと表現(1)
【内容・方法　等】 デザインに必要な視点
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
第５回 【授業テーマ】 Webデザインと表現(2)
【内容・方法　等】 見せる・読ませるWeb文章技術
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
第６回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(1)
【内容・方法　等】 配色と色の調和
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
第７回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(2)
【内容・方法　等】 色とイメージとコーポレートカラー
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
第８回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(3)
【内容・方法　等】 タイトル・見出し・本文

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　207　2014/08/21　14:24:29

【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
第９回 【授業テーマ】 HTMLの書き方(1)
【内容・方法 等】 HTML演習（基本事項）
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
第10回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(4)
【内容・方法 等】 画像の見せ方と加工
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
第11回 【授業テーマ】 HTMLの書き方(2)
【内容・方法 等】 HTML演習（画像と動画）
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
第12回 【授業テーマ】 レイアウト
【内容・方法 等】 効果的なレイアウト表現
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
第13回 【授業テーマ】 HTMLの書き方(3)
【内容・方法 等】 HTML演習（フレーム）
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
第14回 【授業テーマ】 ナビゲーションとデザインプラン
【内容・方法 等】 情報分類とナビゲーション
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法 等】 講義全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
期末試験（持ち込み不可，100%）により評価する。ただし、遅刻または欠席回数が3回を超える場合は、期末試験の点数に関わらず単位を得ることはできない。また、授業に参加しない者（寝る、喋る等）は欠席扱いとする。

教材等
教科書…なし
参考書…やさしいＷｅｂデザイン（インプレスコミュニケーションズ）・伝わる文章デザイン１００の鉄則（秀和システム）

学生へのメッセージ
「授業方法と留意点」および「評価方法」をよく読んで受講すること。

関連科目
情報処理関連の基礎科目、マルチメディア処理、ネットワークプログラミング

担当者の研究室等
11号館8階(堀井教授室)

アルゴリズムとデータ構造
Algorithm and Data Structure

牧　野　　純（マキノ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「C言語プログラミング」の授業ではプログラミング言語の学習をしたが，それだけでは良いプログラムは作成できない。まず，対象となるデータをどう表現し，問題をどう解くのか，つまり，データ構造やアルゴリズムを決定しなければならない．
この授業では，コンピュータの構造と動作について理解し，代表的なアルゴリズムやデータ構造について，C言語による実際のプログラミングを通して理解する．

授業方法と留意点
内容の解説と演習による．欠席や遅刻は授業の理解を著しく妨げる．

科目学習の効果（資格）
基本情報技術者試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 ・アルゴリズムとは
・データ構造とは
・Cのデータ型
・コンピュータを理解しよう
【事前・事後学習課題】 課題１
第２回 【授業テーマ】 コンピュータの構成と動作
【内容・方法 等】 ・コンピュータの構成
・コンピュータの動作
・ビットとデジタル化
【事前・事後学習課題】 課題２
第３回 【授業テーマ】 ２進法
【内容・方法 等】 ・２進法
・符号無し整数型
・符号無し整数演算のオーバーフロー
【事前・事後学習課題】 課題３
第４回 【授業テーマ】 ２の補数表現
【内容・方法 等】 ・符号付き整数型
・２の補数表現
・符号付き整数演算のオーバーフロー
【事前・事後学習課題】 課題４
第５回 【授業テーマ】 浮動小数点法
【内容・方法 等】 ・実数型
・浮動小数点法
・実数の表現誤差
【事前・事後学習課題】 課題５
第６回 【授業テーマ】 乱数生成
【内容・方法 等】 ・乱数とは
・Cの標準乱数
・線形合同法
【事前・事後学習課題】 課題６
第７回 【授業テーマ】 計算量
【内容・方法 等】 ・計算量とは
・O記法
・CPU時間の測定
【事前・事後学習課題】 課題７
第８回 【授業テーマ】 入出力
【内容・方法 等】 ・入出力の切り替え
・データの入出力
・文字の入出力
・行の入出力
【事前・事後学習課題】 課題８
第９回 【授業テーマ】 基本的な計算
【内容・方法 等】 ・総和・カウント・平均値
・最大値・最小値
【事前・事後学習課題】 課題９
第10回 【授業テーマ】 探索
【内容・方法 等】 ・線形探索法
・二分探索法
【事前・事後学習課題】 課題１０
第11回 【授業テーマ】 文字列の探索
【内容・方法 等】 ・素朴な方法
・ボイヤー・ムーア法
【事前・事後学習課題】 課題１１
第12回 【授業テーマ】 単純なソート
【内容・方法 等】 ・バブルソート
・単純選択ソート
・単純挿入ソート
【事前・事後学習課題】 課題１２
第13回 【授業テーマ】 速いソート
【内容・方法 等】 ・クイックソート
・マージソート
【事前・事後学習課題】 課題１３
第14回 【授業テーマ】 スタックとキュー
【内容・方法 等】 ・スタックとは
・配列を用いたスタック
・キューとは
・環状バッファを用いたキュー
【事前・事後学習課題】 課題１４
第15回 【授業テーマ】 線形リスト
【内容・方法 等】 ・線形リストとは
・構造体による線形リストの表現
・線形リストの操作
【事前・事後学習課題】 課題１５

評価方法（基準）
授業中に課せられる課題の提出（５０％）と，随時実施する小テスト（５０％）で評価する．

教材等
教科書…なし
参考書…疋田輝雄「Cで書くアルゴリズム」サイエンス社（1470円）

学生へのメッセージ
アルゴリズムとデータ構造の，考え方と実際の手順を十分に理解した上で，実際にプログラムコードを作成してみます．理解なくしてプログラムを入力しても，ほとんど何も身に付かないでしょう．頭を働かせてアルゴリズムの面白さを味わいましょう．

関連科目
「C言語プログラミング」程度のC言語の知識を仮定する．

担当者の研究室等
11号館7階(牧野(純)教授室)

応用プログラミング
Advanced Programming

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、VB、C#などの実用的なプログラミング言語での

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd 208 2014/08/21 14:24:29

アプリケーション設計・構築について学ぶ。オブジェクト指向、API利用などのプログラミング技法を実際に使うことと、既存のプログラムソースを読解する方法について学ぶ。講義を通じて、実践的なプログラミング能力を身に付けることを目標としている。

授業方法と留意点

プログラミングの実習と実際のプログラム制作（簡単なゲームを予定）を行う。また、受講者の状況によって新しい言語による学習も追加する。

科目学習の効果（資格）

プログラム設計から制作までの一連の流れの理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　本講義の狙い、受講者の興味についてのアンケート
【事前・事後学習課題】　シラバスを読んでおく

第２回　**【授業テーマ】**　プログラミング知識の確認
【内容・方法　等】　変数宣言、配列の定義
【事前・事後学習課題】　これまでのプログラミング実習を復習する

第３回　**【授業テーマ】**　プログラミング知識の確認
【内容・方法　等】　ループ処理
【事前・事後学習課題】　これまでのプログラミング実習を復習する

第４回　**【授業テーマ】**　プログラミング知識の確認
【内容・方法　等】　条件分岐
【事前・事後学習課題】　これまでのプログラミング実習を復習する

第５回　**【授業テーマ】**　アルゴリズムの読解
【内容・方法　等】　フローチャート作成による実習
【事前・事後学習課題】　演習課題の復習

第６回　**【授業テーマ】**　Visual Basicの基礎
【内容・方法　等】　Visual Basicの基本操作、プログラム設計の考え方
【事前・事後学習課題】　Visual Basicの活用現場について調べる

第７回　**【授業テーマ】**　画面設計
【内容・方法　等】　コンポーネントの配置
【事前・事後学習課題】　画面設計とデザインの基礎について調べる

第８回　**【授業テーマ】**　効率的なプログラミング
【内容・方法　等】　APIを使ったプログラミング
【事前・事後学習課題】　APIの考え方について調べる

第９回　**【授業テーマ】**　イベント駆動プログラミング
【内容・方法　等】　イベント駆動の考え方
【事前・事後学習課題】　普段使うソフトウェアを観察する

第10回　**【授業テーマ】**　オブジェクト指向言語
【内容・方法　等】　最近のプログラミング環境での実習
【事前・事後学習課題】　演習内容の復習

第11回　**【授業テーマ】**　プログラム実習
【内容・方法　等】　簡単なゲームの設計
【事前・事後学習課題】　昔のゲームについて調べる

第12回　**【授業テーマ】**　プログラム実習
【内容・方法　等】　簡単なゲームの製作
【事前・事後学習課題】　プログラムのテスト方法を考える

第13回　**【授業テーマ】**　プレゼンテーション
【内容・方法　等】　プログラムの発表会
【事前・事後学習課題】　発表課題のプレゼン資料を作成する

第14回　**【授業テーマ】**　プロジェクトマネジメントの概要
【内容・方法　等】　実際の制作現場での管理手法について学ぶ
【事前・事後学習課題】　演習課題の復習

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　本講義のまとめ
【事前・事後学習課題】　本講義で学んだことの要点をまとめておく

評価方法（基準）

定期テスト80%、レポート等20%で評価する。

教材等

教科書…プリント等の教材を適宜配布する
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ

プログラミングでは上手に最新の技術を活用していくことが必要です。予習・復習を心がけて、プログラミングを楽しむようになってください。

関連科目

プログラミング基礎、C言語プログラミング

担当者の研究室等

１１号館７階　久保准教授室

コンピュータシミュレーション
Computer Simulation

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンスにおける問題解決法の一つにシミュレーション（模擬実験）がある。この科目では、その基本原理を理解し、いくつかの典型的な経営問題のモデルについて、表計算ソフトＥｘｃｅｌを用いて実際に演習を行う。これによりビジネスにおけるシミュレーション技法の基礎を修得し、現実への応用に向けての意欲を持てるようになることが目的・到達目標である。

授業方法と留意点

毎回、パソコンを用いた授業を行う。まず、テキストをもとに基本モデルを説明し、次にＥｘｃｅｌの関数やマクロを用いてモデル化を行い、いろいろなパラメータ値でシミュレーションを行うことで、経営問題への理解を深めていく。

科目学習の効果（資格）

基本情報処理技術者や中小企業診断士を始め、情報系・経営系の資格取得に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　シミュレーションとは
【内容・方法　等】　シミュレーションの定義を説明する。次に、シミュレーションの利用事例をいくつか紹介し、引き続く授業への導入を図る。
【事前・事後学習課題】　身近にあるシミュレーションの利用事例を探してみよう。

第２回　**【授業テーマ】**　変動量と統計
【内容・方法　等】　変動をどう捉えるか、扱うのかについて学習する。とくに、ランダムネス（でたらめさ）の検定、統計量と確率分布について、演習を交えて解説する。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第３回　**【授業テーマ】**　疑似乱数の作成と検定（１）
【内容・方法　等】　一様乱数の作成と適合度の検定について、演習を交えて説明する。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第４回　**【授業テーマ】**　疑似乱数の作成と検定（２）
【内容・方法　等】　特定の確率分布にしたがう乱数の作成について、演習を交えて説明する。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第５回　**【授業テーマ】**　シミュレーションの入門事例
【内容・方法　等】　定期預金の利息とローン返済計画について、基本的な考え方を解説し、演習を行う。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第６回　**【授業テーマ】**　決定問題のシミュレーション（１）
【内容・方法　等】　決定の木を用いた中古バイクの売却問題を解説し、簡単な演習を行う。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第７回　**【授業テーマ】**　決定問題のシミュレーション（２）
【内容・方法　等】　取引相手の決定についてのシミュレーション方法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第８回　**【授業テーマ】**　決定問題のシミュレーション（３）
【内容・方法　等】　社員の採用問題についてのシミュレーション方法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第９回　**【授業テーマ】**　在庫問題のシミュレーション（１）
【内容・方法　等】　新聞売り子問題のシミュレーションによる解法を説明し、応用問題に取り組む。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第10回　**【授業テーマ】**　在庫問題のシミュレーション（２）
【内容・方法　等】　定期発注方式の理論とシミュレーションによる最適化技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第11回　**【授業テーマ】**　在庫問題のシミュレーション（３）
【内容・方法　等】　発注点（定量）発注方式の理論ととシミュレーションによる最適化技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】　授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。

第12回　**【授業テーマ】**　待ち行列のシミュレーション（１）

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　209　2014/08/21　14:24:30

【内容・方法　等】 定期到着、ランダムサービスの場合のモデル化とシミュレーション技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
第13回 【授業テーマ】 待ち行列のシミュレーション（２）
【内容・方法　等】 ランダム到着、ランダムサービスの場合のモデル化ととシミュレーション技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
第14回 【授業テーマ】 待ち行列のシミュレーション（３）
【内容・方法　等】 複数窓口の場合のモデル化ととシミュレーションによる最適化技法を解説し、演習課題に取り組む。
【事前・事後学習課題】 授業中に行った演習課題をふまえ、応用課題に取り組もう。
第15回 【授業テーマ】 シミュレーション専用ソフトの利用事例
【内容・方法　等】 専用ソフトを用いた工場のシミュレーションや社会システムのマルチエージェントシミュレーションの利用事例を紹介する。
【事前・事後学習課題】 この授業で学んだことを振り返ろう。

評価方法（基準）
学習内容の性質上、定期試験は行いません。したがって成績は、授業中に行う演習課題のレポート（５０％）と応用課題のレポート（５０％）で評価します。

教材等
教科書…荒木勉、栗原和夫、シミュレーション（Ｅｘｃｅｌで学ぶ経営科学入門シリーズ４巻）、実教出版、１８００円
参考書…必要に応じて、授業中に適宜紹介します。

学生へのメッセージ
毎回、Ｅｘｃｅｌを用いたシミュレーションを行います。基本的な技法を繰り返し、かつ積み重ねながら学習することになりますので、できるだけ欠席しないようにしてください。

関連科目
マネジメントサイエンスⅠ、Ⅱ、基本情報処理Ⅰ、Ⅱ

担当者の研究室等
１１号館７階　黒澤教授室

現代メディア論
Modern Media

有　馬　善　一（アリマ　ゼンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現代の社会においてメディア、特に、マス・メディアは非常に大きな役割を果たしている。しかし、テレビで横行する「やらせ」や報道機関の情報操作など、解決すべき問題もまた多い。この講義ではもともと「媒介」「手段」という意味であった「メディア」が、現代社会においてどのような発達を遂げていったのかを明らかにすることで、今日ではメディアが我々の〈現実〉そのものとなっていることを明らかにする。さらに、報道などのマス・メディアが陥っている構造的な問題を具体例をもとに考える。

授業方法と留意点
テキストを用いない「ノート講義」方式だが、自分で問題を調査する積極性が求められる。

科目学習の効果（資格）
教員免許（「情報」）取得のための必修科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 講義への導入
【内容・方法　等】 ・メディアとは何か
・メディアと情報
・マス・メディアとは何か
【事前・事後学習課題】 メディア、マス・メディアという言葉について調べておく。
第２回 【授業テーマ】 マス・メディアと現代社会
【内容・方法　等】 ・マス・メディアの社会と個人に与える影響
・メディア論の変遷
【事前・事後学習課題】 マス・メディアの自分に対する影響について感想をまとめる。
第３回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
ー新聞（１）
【内容・方法　等】 ・新聞と何か？
・新聞と民主主義社会における世論形成
【事前・事後学習課題】 『現代メディア史』第４章第１～２節を参照のこと。
第４回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
—新聞（２）
【内容・方法　等】 ・新聞の主要各国における発達史
【事前・事後学習課題】 前掲書第４章第３～６節を参照のこと。
第５回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
—映画（１）
【内容・方法　等】 ・映画の発明と映画産業の形成
【事前・事後学習課題】 前掲書第６章第２～３節を参照のこと。
第６回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
—映画（２）
【内容・方法　等】 ・映画の主要国における発達史
・アメリカの映画産業の独占支配と日本の映画
【事前・事後学習課題】 前掲書、第５章第６節、第６章を参照のこと。
第７回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
—ラジオ
【内容・方法　等】 ・ラジオと総動員体制
・ラジオの主要国における発達史
【事前・事後学習課題】 前掲書第７章を参照のこと。
第８回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
—テレビ（１）
【内容・方法　等】 ・テレビの特徴とラジオ、映画
・大衆社会の質的変様とテレビの影響
【事前・事後学習課題】 前掲書第９章第１～２節を参照のこと。
第９回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
—テレビ（２）
【内容・方法　等】 ・テレビの主要国における発達史
・ビデオの登場とテレビ
【事前・事後学習課題】 前掲書第９章第３～６節を参照のこと。
第10回 【授業テーマ】 現代メディアの発達史
—まとめと展望
【内容・方法　等】 ・メディアの「主役」の変遷
・メディア・ミックスと新しいメディア
【事前・事後学習課題】 前掲書終章を参照のこと。
第11回 【授業テーマ】 マス・メディアの功罪（１）
【内容・方法　等】 ・新聞と世論形成
・報道の中立性と新聞の「偏向」
【事前・事後学習課題】 新聞に関するサイト(授業中に指示)を見ておく。
第12回 【授業テーマ】 マス・メディアの功罪（２）
【内容・方法　等】 ・テレビと「やらせ」の問題
・商業放送の「堕落」とテレビ離れ
【事前・事後学習課題】 テレビと自分の関わりについて意見をまとめてくる。
第13回 【授業テーマ】 マス・メディアの功罪（３）
【内容・方法　等】 ・メディアへの政府の介入問題
・メディアの経営基盤とコングロマリット化の問題
【事前・事後学習課題】 日本の主要テレビの株主についてしらべておく。
第14回 【授業テーマ】 メディア社会の行方
【内容・方法　等】 ・マス・メディアの巨大化と情報発信手段のパーソナル化
・インターネットによるマス・メディアの浸食
・メディア・リテラシーについて
【事前・事後学習課題】 メディア・リテラシーという言葉について調べておく。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 ・講義全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 これまでの授業ノートをまとめておく。

評価方法（基準）
・講義内容に沿ったレポートを作成してもらう。課題は適宜指示する。
・期末試験を実施。
・レポート4割、期末試験6割。なお、第１回目の授業時などで、単位取得の条件は説明をするので、それをきちんと聞いておくこと。
・授業態度（正当な理由のない欠席、遅刻・途中退席・私語・携帯電話の使用）も評価の対象とする。

教材等
教科書…なし
参考書…佐藤卓己　『現代メディア史』　岩波書店　2625円

学生へのメッセージ
マス・メディアの問題は身近な問題であるが、それだけに意識化することが難しい。マス・メディアに対して批判的に距離をとる能力の必要性を理解して欲しい。

関連科目
情報倫理学、情報倫理

担当者の研究室等
11号館7階(有馬准教授室)

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　210　2014/08/21　14:24:30

情報社会論
Information Society

山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
社会の情報化が進むにつれ、一方では携帯電話やインターネットの普及に見られるように生活がより便利になっていくが、他方ではネット犯罪や個人情報の漏洩など社会問題も多くなっていく。この講義では、情報と情報化とは何かということから始めて、情報化社会の特質と問題を幅広い視点から考察していく。

授業方法と留意点
特定のテキストは用いず、配布レジュメをもとにした講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）
情報化の利点だけでなく問題点に関しても目を向けられるようになることは、情報化社会で生きる我々にとって欠かすことのできない教養になる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回　【授業テーマ】 1　情報と情報化社会
【内容・方法　等】 情報化社会をとらえる視点
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第３回　【授業テーマ】 1　情報と情報化社会
【内容・方法　等】 コンピュータ、インターネットの発達史
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第４回　【授業テーマ】 1　情報と情報化社会
【内容・方法　等】 メディアの発達と情報化の進展の様子
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第５回　【授業テーマ】 1　情報と情報化社会
【内容・方法　等】 メディア発達による人々の変化
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第６回　【授業テーマ】 2　情報化に関わる社会問題
【内容・方法　等】 情報化社会の裏側で（1）
――デジタル・ディバイド
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第７回　【授業テーマ】 2　情報化に関わる社会問題
【内容・方法　等】 情報化社会の裏側で（2）
――個人情報保護と情報漏洩
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第８回　【授業テーマ】 2　情報化に関わる社会問題
【内容・方法　等】 情報化社会の裏側で（3）
――著作権問題
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第９回　【授業テーマ】 2　情報化に関わる社会問題
【内容・方法　等】 情報化社会の裏側で（4）
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第10回　【授業テーマ】 3　情報化とコミュニケーション
【内容・方法　等】 コミュニケーションの様々なありよう（1）
――匿名掲示板・ブログ・SNS
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第11回　【授業テーマ】 3　情報化とコミュニケーション
【内容・方法　等】 コミュニケーションの様々なありよう（2）
――web2.0
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第12回　【授業テーマ】 3　情報化とコミュニケーション
【内容・方法　等】 コミュニケーションに関わる問題
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第13回　【授業テーマ】 4　情報化社会と経済
【内容・方法　等】 ビジネスにおける新しい可能性
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第14回　【授業テーマ】 5　情報化社会における人々のありよう
【内容・方法　等】 連帯の新しい可能性
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
レポート40％、定期試験60％

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
情報の洪水とも言える状況の中で我々は生活しています。これに流されるのか、逆に、それを活かすのかは私たちの心構え一つで変わっていきます。

関連科目
社会学Ⅰ、社会学Ⅱ

担当者の研究室等
11号館7階　山本講師室

情報法
Information Law

砂　金　伸　一（イサゴ　シンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
・授業概要：今日の高度情報化社会における法律的な諸問題について概観する。
・目的：今日の高度情報化社会においては、情報に関する法律（情報法）の知識は、万人の教養となってきている。情報化社会における被害者および加害者にならないように、情報法の基礎的知識の習得を目指す。
・到達目標：企業人、市民として今日のネット社会を支える知識と判断力を育成する。

授業方法と留意点
講義形式

科目学習の効果（資格）
情報産業に就職する際には役立つであろう。
また、情報法化社会における被害者や加害者とならない基礎的知識が習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法　等】 情報法の概要の説明等
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回　【授業テーマ】 個人情報保護
【内容・方法　等】 個人情報保護法を概説し、個人情報取扱事業者等の法的義務について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第３回　【授業テーマ】 プライバシー侵害
【内容・方法　等】 まず、プライバシー権の内容を説明する。次に、具体例（裁判例）を通じて、インターネットにおけるプライバシー侵害を考える。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第４回　【授業テーマ】 名誉毀損、誹謗中傷
【内容・方法　等】 インターネットにおける名誉毀損、誹謗中傷事件について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第５回　【授業テーマ】 著作権法（1）
【内容・方法　等】 著作権法を概説し、いかなるものが著作権の対象となるか（例えば、小説のタイトルは著作権で保護されるか）、自由に著作物を利用出来る場合について説明する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第６回　【授業テーマ】 著作権法（2）
【内容・方法　等】 デジタル著作権(インターネット上での不正コピーの流通やいわゆる「書籍の自炊」問題等）を説明する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第７回　【授業テーマ】 産業財産権（1）
【内容・方法　等】 産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）を概説し、特許権（ソフトウェア特許など）を詳述する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第８回　【授業テーマ】 産業財産権（2）
【内容・方法　等】 実例（例えば、インターネット上での偽ブランド品販売）を通じて、インターネットにおける商標権侵害を説明する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書等をもと

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　211　2014/08/21　14:24:30

に予習・復習を行うこと。

第９回　**【授業テーマ】**　プロバイダー責任制限法
【内容・方法　等】　プロバイダーの責任（どのような場合に書き込み削除義務を負うか）について取り扱う。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第10回　**【授業テーマ】**　電子商取引
【内容・方法　等】　電子商取引(e-Commerce)法制について取り扱う。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第11回　**【授業テーマ】**　サイバー犯罪（１）
【内容・方法　等】　サイバー犯罪の類型（通常3つに分類される）を説明し、それらのうちの2つ（「コンピュータ対象犯罪」と「ネットワーク利用犯罪」）について説明する。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第12回　**【授業テーマ】**　サイバー犯罪（２）
【内容・方法　等】　サイバー犯罪の第3類型である「不正アクセス」を素材に、法律と技術の関係を考える。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第13回　**【授業テーマ】**　消費者保護法制
【内容・方法　等】　ネットの悪徳商法、消費者保護の手段について取り扱う。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第14回　**【授業テーマ】**　情報法制の概要
【内容・方法　等】　情報手段（コンピュータとネット）を規律する法制はどのような構造体系になっているかを概説する。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書等をもとに予習・復習を行うこと。

第15回　**【授業テーマ】**　知識のまとめ
【内容・方法　等】　これまでの講義で扱ったテーマについて総合的に捉え直す。
【事前・事後学習課題】　――――

評価方法（基準）
レポート（複数回）

教材等
教科書…情報教育学研究会　編「インターネットの光と影 Ver.4」北大路書房
参考書…高橋和之、松井茂記、鈴木秀美／編「インターネットと法　第4版」有斐閣

学生へのメッセージ
経営学部生・経営情報学部生であっても、情報法（インターネットに関係する法律）の知識は、今日の情報化社会では不可欠となっています。
これはフィッシング詐欺事件、著作物の違法コピー事件等、インターネットに関する事件（犯罪）が報道の多さから分かると思います。
「法律は関係ない」と思わず、情報法に関心をもって受講して頂きたいと思います。

関連科目
情報倫理

担当者の研究室等
11号館6階 経営学部事務室

キャリアデザイン入門
Introduction to Career Design

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
高　尾　明　照（タカオ　アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。
　この講義を通して、
①主体的に行動するための自己理解を深める。
②コミュニケーションについて、理解を深める。
③社会（企業）の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果（資格）
将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前・事後学習課題】　テキストに目を通してから、出席してください

第２回　**【授業テーマ】**　大学4年間で何をするか①
【内容・方法　等】　・4年間の行動計画を考える
・講義の内容と目標設定
【事前・事後学習課題】　大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください

第３回　**【授業テーマ】**　大学4年間で何をするか②
【内容・方法　等】　・大学生活を充実したものに
・4年間の目標と計画作りの立て方（PDCA）
【事前・事後学習課題】　4年間での3大目標をはっきりと決めてきてください。

第４回　**【授業テーマ】**　大学4年間で何をするか③
【内容・方法　等】　・4年間の目標と計画作り
・目標達成意欲度診断の実施
【事前・事後学習課題】　学年ごとの目標を具体的に考えてきてください

第５回　**【授業テーマ】**　「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容・方法　等】　・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PRワークをおこなう
【事前・事後学習課題】　アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください

第６回　**【授業テーマ】**　自分発見マップ作り①
【内容・方法　等】　・大学生活のすごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする。
【事前・事後学習課題】　自分の将来の夢や目標について、考えてきてください

第７回　**【授業テーマ】**　自分発見マップ作り②
【内容・方法　等】　・自分発見マップのレイアウトと内容を整理
【事前・事後学習課題】　カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください

第８回　**【授業テーマ】**　自分発見マップ作り③
【内容・方法　等】　・自分の将来像を一枚の絵にまとめる
【事前・事後学習課題】　自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しながら、一枚の絵としてどのように表現するかを考えてきてください

第９回　**【授業テーマ】**　ワーキングスタイルについて考える①
【内容・方法　等】　・行動適応診断の実施
・自己発見リファインシートの作成
【事前・事後学習課題】　周り人から自分はどのような行動の特徴があるかを確認しておいてください

第10回　**【授業テーマ】**　コミュニケーションとは①
【内容・方法　等】　・コミュニケーションについて再考する
・正確に伝え聞くためのコミュニケーションとは
【事前・事後学習課題】　コミュニケーションの意味について考えてきてください

第11回　**【授業テーマ】**　コミュニケーションとは②
【内容・方法　等】　・コミュニケーションワーク
【事前・事後学習課題】　ノンバーバルスキルの意味を調べてきてください

第12回　**【授業テーマ】**　ワーキングスタイルについて考える②
【内容・方法　等】　・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリータ、ニートについて考える
【事前・事後学習課題】　働き方の形態について調べてきてください

第13回　**【授業テーマ】**　キャリア教育とは
【内容・方法　等】　・キャリア教育とは
・マズローの5段階の欲求説
・キャリアスタイル診断の実施
【事前・事後学習課題】　身近な人の仕事ぶりを観察してください

第14回　**【授業テーマ】**　SPI試験対策
【内容・方法　等】　・SPI模擬試験
【事前・事後学習課題】　SPI試験の問題などで事前に対策をしておいてください

第15回　**【授業テーマ】**　大学生活とライフプランの設計図を作成しよう
【内容・方法　等】　・各人が大学生活とライフプランの設計図を作成し、グループ内で発表
【事前・事後学習課題】　将来計画につて、まとめてきてください

評価方法（基準）
原則、レポートおよび提出課題の内容（50％）と定期期末試験結果（50％）で評価します。

教材等
教科書…「キャリアデザイン」　安久典宏、羽石寛寿　清風出

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　212　2014/08/21　14:24:30

版
参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」　渡辺峻　中央経済社、　「就職筆記試験パーフェクト問題集」　安久典宏　ＰＨＰ研究所

学生へのメッセージ
・毎回、講義レポートや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループ学習などでは、他人に迷惑（遅刻・欠席）をかけないように。
・大学生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目
・「キャリアデザイン（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているので、2科目履修することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

キャリアデザイン入門
Introduction to Career Design

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標
4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。
　この講義を通して、
①主体的に行動するための自己理解を深める。
②コミュニケーションについて、理解を深める。
③社会（企業）の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果（資格）
将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前・事後学習課題】　テキストに目を通してから、出席してください
第２回　**【授業テーマ】**　大学4年間で何をするか①
【内容・方法　等】　・4年間の行動計画を考える
・講義の内容と目標設定
【事前・事後学習課題】　大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください
第３回　**【授業テーマ】**　大学4年間で何をするか②
【内容・方法　等】　・大学生活を充実したものに
・4年間の目標と計画作りの立て方（PDCA）
【事前・事後学習課題】　4年間での3大目標をはっきりと決めてきてください。
第４回　**【授業テーマ】**　大学4年間で何をするか③
【内容・方法　等】　・4年間の目標と計画作り
・目標達成意欲度診断の実施
【事前・事後学習課題】　学年ごとの目標を具体的に考えてきてください
第５回　**【授業テーマ】**　「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容・方法　等】　・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PRワークをおこなう
【事前・事後学習課題】　アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください
第６回　**【授業テーマ】**　自分発見マップ作り①
【内容・方法　等】　・大学生活のすごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする。
【事前・事後学習課題】　自分の将来の夢や目標について、考えてきてください
第７回　**【授業テーマ】**　自分発見マップ作り②
【内容・方法　等】　・自分発見マップのレイアウトと内容を整理
【事前・事後学習課題】　カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください
第８回　**【授業テーマ】**　自分発見マップ作り③
【内容・方法　等】　・自分の将来像を一枚の絵にまとめる
【事前・事後学習課題】　自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しながら、一枚の絵としてどのように表現するかを考えてきてください
第９回　**【授業テーマ】**　ワーキングスタイルについて考える①
【内容・方法　等】　・行動適応診断の実施
・自己発見リファインシートの作成
【事前・事後学習課題】　周り人から自分はどのような行動の特徴があるかを確認しておいてください
第10回　**【授業テーマ】**　コミュニケーションとは①
【内容・方法　等】　・コミュニケーションについて再考する
・正確に伝え聞くためのコミュニケーションとは
【事前・事後学習課題】　コミュニケーションの意味について考えてきてください
第11回　**【授業テーマ】**　コミュニケーションとは②
【内容・方法　等】　・コミュニケーションワーク
【事前・事後学習課題】　ノンバーバルスキルの意味を調べてきてください
第12回　**【授業テーマ】**　ワーキングスタイルについて考える②
【内容・方法　等】　・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリータ、ニートについて考える
【事前・事後学習課題】　働き方の形態について調べてきてください
第13回　**【授業テーマ】**　キャリア教育とは
【内容・方法　等】　・キャリア教育とは
・マズローの5段階の欲求説
・キャリアスタイル診断の実施
【事前・事後学習課題】　身近な人の仕事ぶりを観察してください
第14回　**【授業テーマ】**　SPI試験対策
【内容・方法　等】　・SPI模擬試験
【事前・事後学習課題】　SPI試験の問題などで事前に対策をしておいてください
第15回　**【授業テーマ】**　大学生活とライフプランの設計図を作成しよう
【内容・方法　等】　・各人が大学生活とライフプランの設計図を作成し、グループ内で発表
【事前・事後学習課題】　将来計画につて、まとめてきてください

評価方法（基準）
原則、レポートおよび提出課題の内容（50％）と定期期末試験結果（50％）で評価します。

教材等
教科書…「キャリアデザイン」　安久典宏、羽石寛寿　清風出版
参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」　渡辺峻　中央経済社、　「就職筆記試験パーフェクト問題集」　安久典宏　ＰＨＰ研究所

学生へのメッセージ
・毎回、講義レポートや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループ学習などでは、他人に迷惑（遅刻・欠席）をかけないように。
・大学生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目
・「キャリアデザイン（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているので、2科目履修することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

インターンシップ基礎
Introduction to Internship

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
高　尾　明　照（タカオ　アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　213　2014/08/21　14:24:30

①前期のキャリアデザインで履修した自己理解をさらに深め、グループワークなどを通じて自ら発信できるコミュニケーション能力を高めていく。
②履歴書の書き方やアピールの方法を学ぶことにより、今やるべきことや将来設計を明確にする。
③希望者による工場見学や短期インターンシップを実施し、仕事や社会に対する理解を深める。

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的・自律的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。
また、より深く仕事について学ぶため、企業見学を行う。

科目学習の効果（資格）
「ビジネスインターンシップⅡ」の就業体験を有意義に行うための基礎的な考え方や社会の理解を深めるのに役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容･方法　等】 ・授業ガイダンス
・インターンシップとは
【事前･事後学習課題】 インターンシップの意味を調べてください。
第２回 **【授業テーマ】** SPI試験対策
【内容･方法　等】 ・SPI模擬試験
【事前･事後学習課題】 SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
第３回 **【授業テーマ】** コミュニケーション①
【内容･方法　等】 ・コミュニケーションの目的
・傾聴とは
【事前･事後学習課題】 傾聴の意味を調べてきてください。
第４回 **【授業テーマ】** コミュニケーション②
【内容･方法　等】 ・グループワーク
・ジョハリの窓
・SPI模擬試験結果の解説
【事前･事後学習課題】 自分の主張をうまく伝えるには、どうすればいいか考えてきてください。
第５回 **【授業テーマ】** グループ討論①
【内容･方法　等】 ・グループ討論とは
・ブレイン・ストーミング
【事前･事後学習課題】 グループで話をする場合に大切なことを３つ考えてきてください
第６回 **【授業テーマ】** グループ討論②
【内容･方法　等】 ・グループワーク
・グループの討論結果の集計と発表
【事前･事後学習課題】 ブレーンストーミングの意味について調べてきてください
第７回 **【授業テーマ】** 社会人基礎力
【内容･方法　等】 ・社会人基礎力の理解
・働くことについて再確認
【事前･事後学習課題】 社会人に求められる能力について調べてきてください。
第８回 **【授業テーマ】** 自己分析①
【内容･方法　等】 ・自分自身の振り返り
・心の中にいる5人の私について考える
【事前･事後学習課題】 今までに思い出に残る出来事を５つ書き出してきてください。
第９回 **【授業テーマ】** 自己分析②
【内容･方法　等】 ・エゴグラムから見えてきた自分について考える
【事前･事後学習課題】 他人からほめられたことを３つ書き出してきてください。
第10回 **【授業テーマ】** 履歴書の書き方を学ぶ①
【内容･方法　等】 ・履歴書の書き方のポイントを学ぶ
【事前･事後学習課題】 履歴書を見る人の立場になって、どんなところに注意したらいいかを３つ考えてきてください。
第11回 **【授業テーマ】** 履歴書の書き方を学ぶ②
【内容･方法　等】 ・自分の履歴書を書いてみる
・自己PR文を書いてみる
【事前･事後学習課題】 履歴書にある「自己PR欄」に書ける題材を考えてきてください
第12回 **【授業テーマ】** インターンシップに参加した先輩から学ぶ
【内容･方法　等】 ・インターンシップに参加した先輩による体験談（予定）
【事前･事後学習課題】 先輩への質問を考えてきてください
第13回 **【授業テーマ】** これから求められる人材について考える
【内容･方法　等】 ・企業の管理者による講演(予定)
【事前･事後学習課題】 講演いただく企業のことを事前に調べておいてください
第14回 **【授業テーマ】** 産業界について考える
【内容･方法　等】 ・日経新聞の産業景気予測から景気動向を学ぶ
【事前･事後学習課題】 日経新聞の産業景気予測について調べてきてください
第15回 **【授業テーマ】** 企業見学・短期インターンシップのための準備
【内容･方法　等】 ・企業見学や短期インターンシップのために何を準備すべきかを考えていきます
・それらの体験を通じ、何を学びたいのかを深めます
【事前･事後学習課題】 企業見学やインターンシップになぜ参加したいかを考えてきてください。

評価方法（基準）
原則、レポートおよび提出課題の内容（50%）と定期期末試験結果（50%）で評価します。

教材等
教科書…・「キャリア教育ワークブック」　羽石寛寿　安久典宏　清風出版
・必要に応じてプリントを配布します
参考書…摂南大学「インターンシップ体験報告集」(2013年度)、「就職筆記試験パーフェクト問題集」（ＰＨＰ研究所）

学生へのメッセージ
・毎回、講義レポートや提出物で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループワークを取り入れます積極的に参画し発言してください
・グループ学習などでは、他人に迷惑を（遅刻・欠席）をかけないように
・企業見学・短期インターンシップ等は、授業終了後の補講・特別教育機関の間に実施予定です。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目
・「キャリアデザイン（前期）」と「インターンシップ基礎（後期）」は通年でカリキュラム構成しているので、通年受講することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修（合格）しておくことが望ましい。

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

ビジネスプラン
Business Plan

萩　原　貞　幸（ハギハラ　サダユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	全	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
社会経済が激動する昨今、キャリアプランを考える際に「起業」が一つの選択肢になりつつあります。起業は自らの価値観にあった働き方であり、ひいては経済に活力を与える源泉であるといえます。
そこで「ビジネスプラン」の講義では、起業環境を認識し、そして起業する際に必要とされるものの学習をはじめ、起業成功確率を高める「ビジネスプラン」の書き方、作り方学びます。
また「ビジネスプラン」を実行する際の経営戦略法、市場戦略手法についても解説します。

授業方法と留意点
レジメ（プリント）を用い講義し、起業・ビジネスプラン・経営戦略に関する知識の習得だけでなく、実際の起業現場において、どのようなビジネスプランが作成されているのかを体験します。

科目学習の効果（資格）
ビジネス系資格取得のプラス知識になります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 **【授業テーマ】** 起業・起業環境を知る
【内容･方法　等】 起業の現状と課題
日本経済社会の現状とこれからを考える
【事前･事後学習課題】 「生きる」「仕事をする」ことについて考える機会を得る
第２回 **【授業テーマ】** 「働くということ」を考える
【内容･方法　等】 自分のキャリアプランを考える
【事前･事後学習課題】 自分の人生について考えてみる
第３回 **【授業テーマ】** 起業家の条件
【内容･方法　等】 起業を成功させるためのポイント
【事前･事後学習課題】 自分自身の「起業家」に向いている部分について考えてみる
第４回 **【授業テーマ】** ビジネスプランとは？
【内容･方法　等】 ビジネスプランの目的・必要性・ポイント
【事前･事後学習課題】 ビジネスをはじめるということについて考える
第５回 **【授業テーマ】** ビジネスアイデアとビジネスモデル
【内容･方法　等】 ビジネスアイデアによるビジネスモデルの違い
【事前･事後学習課題】 同業態企業であってもアイデアによってビジネスモデルが違っている
その違いを分析してみる

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　214　2014/08/21　14:24:31

第６回　【授業テーマ】　ビジネスアイデア
【内容･方法　等】　ビジネスアイデア発想とビジネスとしての採算性
【事前･事後学習課題】　ビジネスを発想してみる
そしてその採算性について検討しビジネスとして成立するかどうかを考える
第７回　【授業テーマ】　ビジネスモデルの構築
【内容･方法　等】　ビジネスモデルとは何か、またそのポイントを知る
【事前･事後学習課題】　知っている企業のビジネスモデルについて考える
第８回　【授業テーマ】　起業とＳＮＳマーケティング
【内容･方法　等】　ＳＮＳを活用したマーケティングを知る
【事前･事後学習課題】　ＳＮＳを体験してみる
第９回　【授業テーマ】　ビジネスプランの書き方・作り方
【内容･方法　等】　ビジネスプランの書き方について学ぶ
【事前･事後学習課題】　ビジネスプランを書いてみる
第10回　【授業テーマ】　ビジネスプランの構成と経営戦略
【内容･方法　等】　ビジネスプランの構成を学び、実行する際の経営戦略について考える
【事前･事後学習課題】　知っている企業の戦略について考える
第11回　【授業テーマ】　ビジネスプラン作成実習（１）
【内容･方法　等】　起業家になったつもりで自分の考えていることを、ビジネスプランとして明文化する
【事前･事後学習課題】　いろいろな業種業態について考えてみる
第12回　【授業テーマ】　ビジネスプラン作成実習（２）
【内容･方法　等】　フリー時代にマッチしたビジネスプランを作成する
【事前･事後学習課題】　フリー時代の生き方について考えてみる
第13回　【授業テーマ】　ビジネスプランのプレゼンテーション
【内容･方法　等】　ビジネスプランを完成させ、表現する
【事前･事後学習課題】　作成したビジネスプランをプレゼンテーションしてみる
第14回　【授業テーマ】　実践現場のビジネスプラン
【内容･方法　等】　実際のビジネスプランをみてみる
【事前･事後学習課題】　実際の起業や新規事業において、どんなビジネスプランが作られているかを知る
第15回　【授業テーマ】　ビジネスプランのまとめ
【内容･方法　等】　ビジネスプラン作成のポイントをおさえる
【事前･事後学習課題】　ビジネスプランのポイントを覚える

評価方法（基準）
レポートと試験　（レポートの評価５０％、試験の評価５０％）
（レポートは３回提出、試験は後期試験期間中に実施）

教材等
教科書…プリントを配布します
参考書…中小企業白書（簡易版）

学生へのメッセージ
起業・事業創業は生きがいを求める人生へのチャレンジ。
今後のキャリアプランにおいて「起業」という選択肢を用意しておいた方がいいです。
また、会社員であっても　これからはますます新しい思考、アイデアが求められる時代　ビジネスプランとしてアウトプットできる能力が必要です。

関連科目
「ベンチャービジネス論」「ビジネスインターンシップI・II」

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)
11号館8階(羽石教授室)

ビジネスインターンシップI
Business Internship I

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
高　尾　明　照（タカオ　アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
①組織人に求められる社会的役割および責任、仕事への情熱等を身につけ、主体的に発言できるプレゼンテーション能力の開発を目指す。
②インターンシップ体験や就職活動などを積極的にアプローチし、かつ、臨機応変な対応ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参加方式の授業のため、演習や発表を多く取り入れたものにする。

科目学習の効果（資格）
将来の職業選択意識を高め適切に行動できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容･方法　等】　・授業の全体的な流れと進め方に関する説明
・インターンシップの狙いと重要性について
【事前･事後学習課題】　自分がなぜ、インターンシップに参加したいのかを考え、整理しておいてください
(安久・高尾)
第２回　【授業テーマ】　やりたい仕事を探してみよう
【内容･方法　等】　・自分がやりたい仕事についてワークを通じて考える
・自分の行動特性を考える
【事前･事後学習課題】　自分のやりたい職種を3つ考えてきてください
(安久・高尾)
第３回　【授業テーマ】　アルバイトと正社員の違いについて考える
【内容･方法　等】　・仕事の内容から求められる能力や資質について考える
・目標達成意欲度診断の実施
【事前･事後学習課題】　アルバイトと正社員との違いを比較表にしてまとめてきてください
(安久・高尾)
第４回　【授業テーマ】　職種から求められる資質と行動・考え方
【内容･方法　等】　・職種から求められる資質と行動・考え方
・インターンシップ先希望調査
【事前･事後学習課題】　職種から求められる資質はどのようなものがあるのかを考えてきてください
(安久・高尾)
第５回　【授業テーマ】　自分のキャリアスタイルを考える
【内容･方法　等】　・キャリアスタイルの分析を通じて、自分の行動特性をチェックする
・目標達成意欲度診断の実施
【事前･事後学習課題】　自分の長所と短所を3つづつ考えてきてください
第６回　【授業テーマ】　インターンシップの狙いと重要性
【内容･方法　等】　・インターンシップの狙いと重要性
・先輩たちの就業体験報告（PPT）から学ぶ
【事前･事後学習課題】　インターンシップに参加する目的を整理しておいてください
(安久・高尾)
第７回　【授業テーマ】　社会人基礎力について①
【内容･方法　等】　・社会が求める資質・能力について考える
・採用企業と学生の認識の違いについてグループワーク
【事前･事後学習課題】　社会人基礎力について調べてきてください
(安久・高尾)
第８回　【授業テーマ】　社会人基礎力について②
【内容･方法　等】　・採用企業と学生の認識の違いについてグループ発表
・社会人基礎力診断の実施
【事前･事後学習課題】　企業は社会人基礎力の中のどの能力を優先するかを考えてきてください
(安久・高尾)
第９回　【授業テーマ】　事前訪問事業所の調査
【内容･方法　等】　・事業所への事前訪問のシナリオを考える
【事前･事後学習課題】　事前訪問事業所の情報をWebページで調べておいてください
(安久・高尾)
第10回　【授業テーマ】　企業の求める人材像
【内容･方法　等】　・企業管理者による講演会（予定）
【事前･事後学習課題】　事前に講演者の企業情報を調べ、積極的に質問できるようにしておくこと
(安久・高尾)
第11回　【授業テーマ】　先輩たちの就活アンケート結果から学ぶ
【内容･方法　等】　・先輩たちの就活アンケート結果から学ぶ
・先輩たちの就活の失敗談から学ぶ
【事前･事後学習課題】　面接場面を想定し、自己アピールできる文章を考えてきてください
(安久・高尾)
第12回　【授業テーマ】　業界研究
【内容･方法　等】　・インタ-ン先の業界が同種のグループごとに特徴や課題をブレストする
・課題等をKJ法を使ってまとめグループごとに発表する
【事前･事後学習課題】　インターンシップ先が属する業界について調べてきてください
(安久・高尾)
第13回　【授業テーマ】　マナーについて知ろう
【内容･方法　等】　・基本的なマナーについて考える
・挨拶、席次、敬語など
【事前･事後学習課題】　マナーとエチケットの違いについて調べてきてください
(安久・高尾)
第14回　【授業テーマ】　事前訪問の報告

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　215　2014/08/21　14:24:31

【内容・方法　等】　・グループで事前訪問した事業所の報告
・グループでの代表者による発表
【事前・事後学習課題】　事前訪問結果をまとめておいてください
(安久・高尾)

第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　・インターンシップ体験に向けての準備
・インターンシップに参加するための目的を明確にする
・インターンシップに参加した先輩（2名）との意見交換（予定）
【事前・事後学習課題】　なぜ、インターンシップに参加するかを明確にし、200字程度の文章にまとめてください
(安久・高尾)

評価方法（基準）
原則、レポートおよび提出課題の内容（50％）と定期期末試験結果（50％）で評価します。

教材等
教科書…「キャリア教育ワークブック」羽石寛寿、安久典宏　清風出版
参考書…摂南大学「インターンシップ体験レポート集」、「就職筆記試験パーフェクト問題集」安久典宏　ＰＨＰ研究所

学生へのメッセージ
インターンシップの流れ（予定）
4月下旬に事業所リスト公開→5月上旬に希望事業所の絞り込み→5月下旬に受け入れ可能かの回答→7月上旬に事前訪問→8月13日（水）～9月9日（火）の間（夏季休暇期間中）に、原則2週間（実質10日以上）のインターンシップ体験をすること。

関連科目
「ビジネスインターンシップⅡ」（企業等での就業体験実習）を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること。

担当者の研究室等
11号館8階　安久研究室

備考
授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがあります。

ビジネスインターンシップII
Business Internship II

安　久　典　宏（アグ　ミチヒロ）
高　尾　明　照（タカオ　アキテル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期非終講	選択	2

授業概要・目的・到達目標
①就職の準備をしている学生を対象に、職業人としての社会的役割および責任、仕事への情熱と意欲、組織人としての在り方等について自ら学習します。
②責任を自覚して主体的に発言・行動ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。
③インターンシップを通して「企業とは」「組織とは」「仕事とは」について学び、就職に対する心構えを養う。

授業方法と留意点
①「事前指導（講義)」「インターンシップ（実習・研修)」「事後指導（就業体験の発表)」すべてに出席（参加）すること。
②無断欠席は絶対にしないこと。必ず事前連絡を事務室にすること。
③事前に授業のある土曜日のスケジュール（以下の「授業テーマ」内に明記）は、確保しておくこと。
④全学部代表による発表会を11月上旬の土曜日に予定しているので、全員リクルートスーツ着用で出席のこと。
⑤体験報告書のゼミ担当教員氏名欄には署名と押印がされたものを、期日までに提出のこと。
⑥「ビジネスインターンシップ」実習記録簿は、毎日実習日誌を書き、受け入れ先担当者のコメントと署名押印をもらい、インターンシップ終了後は、所定の必要事項を記入しゼミ担当教員氏名欄に署名、押印されたものを、期日までに提出のこと。
⑦実習期間は、実質10日間以上でないと単位履修したことにはならないので、くれぐれも注意すること。

科目学習の効果（資格）
①就業体験を通して、実社会への足掛かりをつかむ
②職業意識を高め、職業選択を適切に行い、就職活動への意欲を高める。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　事前教育　6月28日(土)　1限目
【内容・方法　等】　・インターンシップの心構え、体験報告書等について
・マナー講座　（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】　・ビジネスマナーについて考える
★スーツ着用で参加してください
（安久・高尾）

第２回　【授業テーマ】　事前教育　6月28日(土)　2限目
【内容・方法　等】　・マナー講座　（学外講師を含む）
★授業終了後、インターンシップ先が同一の他学部の学生との顔合わせを行います
【事前・事後学習課題】　正しい電話のかけ方を考える
★次回の授業前に「履歴書」と体験実習先での「目的（テーマ）と実習内容」をまとめたレポートを提出してください
（安久・高尾）

第３回　【授業テーマ】　事前教育　7月26日(土)　1限目
【内容・方法　等】　・パソコン講習Ⅰ（情報センター職員を含む）
【事前・事後学習課題】　学んだことを実習先で活用できるように機能などをマスターしておいてください
（安久・高尾）

第４回　【授業テーマ】　事前教育　7月26日(土)　2限目
【内容・方法　等】　・パソコン講習Ⅱ（情報センター職員を含む）
【事前・事後学習課題】　学んだことを実習先で活用できるように機能などをマスターしておいてください
（安久・高尾）

第５回　【授業テーマ】　インターンシップ（就業体験実習）
【内容・方法　等】　・夏期休暇期間中の8月13日（水）～9月9日（火）の間、原則2週間（実質10日間以上）の実習を行う
【事前・事後学習課題】　事前に企業等の理念や事業内容について調べ、ノートにまとめておいてください
（安久・高尾）

第６回　【授業テーマ】　インターンシップ（就業体験実習）
【内容・方法　等】　・夏期休暇期間中の8月13日（水）～9月9日（火）の間、原則2週間（実質10日間以上）の実習を行う
【事前・事後学習課題】　インターンシップのテーマ（ねらい、目的）を明確にしたうえで参加してください
（安久・高尾）

第７回　【授業テーマ】　体験報告書の作成
【内容・方法　等】　・体験報告書の作成指導
【事前・事後学習課題】　報告書の書き方を熟読してください
（安久・高尾）

第８回　【授業テーマ】　体験報告書のゼミ教員指導
【内容・方法　等】　・ゼミの先生による体験報告書のチェックと指導（署名、押印）
【事前・事後学習課題】　誤字・脱字がないか確かめてから指導を受けてください
（安久・高尾）

第９回　【授業テーマ】　報告書の提出
【内容・方法　等】　・インターンシップ担当教員による体験報告書のチェックと指導
★担当教員への提出と教務課へ電子データを9月19日（木）までに提出<期日厳守>
【事前・事後学習課題】　「インターンシップ体験報告集」に掲載されますので、何度も読み返して報告書の内容を推敲してください
（安久・高尾）

第10回　【授業テーマ】　事後指導　9月20日(土)　1限目
【内容・方法　等】　・「インターンシップに参加して」①
・インターンシップ終了学生によるグループ発表と選抜
【事前・事後学習課題】　７分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
（時間が短かったり、長すぎないように注意してください）
（安久・高尾）

第11回　【授業テーマ】　事後指導　9月20日(土)　2限目
【内容・方法　等】　・「インターンシップに参加して」②
・グループ代表の選抜
・目標達成意欲度、キャリアスタイル、社会人基礎力診断の実施
【事前・事後学習課題】　７分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
（時間が短かったり、長すぎないように注意してください）
（安久・高尾）

第12回　【授業テーマ】　事後指導　9月27日(土)　1限目
【内容・方法　等】　・「インターンシップに参加して」③
・グループ代表による発表
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
【事前・事後学習課題】　グループ代表者は12分で報告できるようパワーポイントにまとめてください
（パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配ってください）
（安久・高尾）

第13回　【授業テーマ】　事後指導　9月27日(土)　)2限目
【内容・方法　等】　・「インターンシップに参加して」④
・グループ代表による発表と選抜選抜
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備し

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　216　2014/08/21　14:24:31

てください
【事前・事後学習課題】 グループ代表者は12分で報告できるようパワーポイントにまとめてください
（パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配ってください）
（安久・高尾）

第14回 【授業テーマ】 事後指導 10月25日（土） 1限目
【内容・方法 等】 ・「インターンシップに参加して」⑤
・学部代表報告 発表
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
★授業開始前までに体験報告書と実習記録簿を提出すること
【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで報告してください(15分程度)
（安久・高尾）

第15回 【授業テーマ】 事後指導⑥ 10月25日（土） 2限目
【内容・方法 等】 ・「インターンシップに参加して」⑥
・学部代表報告 発表と全学代表者の選抜
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
【事前・事後学習課題】 ★参加者全員、リクルートスーツ着用
★報告会の感想をレポートにまとめ提出してください
（安久・高尾）

評価方法（基準）
原則、事前指導（20%）、インターンシップ-受け入れ事業所の評価および実習記録簿、報告書の提出を含む-（45%）、事後指導（35%）のすべての受講態度、提出物等により決定します。インターンシップだけの参加では、単位認定はできません。

教材等
教科書…・「キャリア教育ワークブック」 羽石寛寿 安久典宏 清風出版
・適宜プリントやDVD、パワーポイントを使用する。
参考書…摂南大学「インターンシップ体験報告集」(2013年度)

学生へのメッセージ
①「ビジネスインターンシップⅠ」を同時履修すること。
②3年次で履修するのが望ましい。
③3月26日（水）のガイダンスに出席し、「ビジネスインターンシップⅠ、Ⅱ」の受講申込書を提出すること。
④11月8日（土）午前は、全学部の各代表による報告会があります。当日はスーツ着用。
⑤履修希望者が多い場合は、選考する場合がある。

関連科目
教養科目「ビジネスインターンシップⅠ」を必ず合格していること。

担当者の研究室等
11号館8階 安久研究室

備考
授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがある。

情報と職業
Information and Caree

北 尾 隆 夫（キタオ タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
社会に巣立っていく学生諸氏を対象に、情報化の進展がいろいろな職業や我々の生活に及ぼす影響、情報社会における職業観や勤労観について講義する。特に職業人としての情報活用能力の必要性や社会的役割および責任、組織人としてのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の重要性について探求する。
学習・教育目標：情報の教員免許として要求されている「情報と職業」の内容について理解させます。
学科の学習・教育目標との対応[A]

授業方法と留意点
教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。
必要に応じてプリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介します。

科目学習の効果（資格）
教員免許(情報)を取得するためには、この科目が必修となっています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 はじめに －職業開発と情報化の意義－
【内容・方法 等】 ・授業ガイダンス
・教育免許法施行規則での位置づけについて解説します。
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んできてください。

第２回 【授業テーマ】 情報社会の概念
【内容・方法 等】 ・情報社会とは、どの様なことを指すのかを説明すると同時に、情報社会への対応策について解説します。
【事前・事後学習課題】 新聞から情報社会についての記事を探して持ってきてください。

第３回 【授業テーマ】 情報社会における職業観や勤労観
【内容・方法 等】 ・わが国の産業界の特徴について解説します。
・職業観と職業生活に対する意識について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報産業についてどのようなものがあるか調べてください。

第４回 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし Ⅰ
【内容・方法 等】 ・情報化社会における危機管理について解説します。
・高齢化社会と社会保障について解説します。
【事前・事後学習課題】 高齢化社会の問題について調べてください。

第５回 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし Ⅱ
【内容・方法 等】 ・高学歴社会と自己学習力について解説します。
・労働時間の短縮と余暇の利用について解説します。
【事前・事後学習課題】 余暇の使い方について考えてください。

第６回 【授業テーマ】 情報社会と高等教育
【内容・方法 等】 ・情報社会で活躍する人材について解説します。
・情報通信技術遠隔学習について解説します。
【事前・事後学習課題】 生涯学習の意味を調べてください。

第７回 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革 Ⅰ
【内容・方法 等】 ・情報と情報通信技術について解説します。
・情報化社会とIT革命について解説します。
【事前・事後学習課題】 ＩＴ革命とは何でしょう、調べてください。

第８回 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革 Ⅱ
【内容・方法 等】 ・企業組織の情報化について解説します。
・政府・電子自治体の情報化について解説します。
【事前・事後学習課題】 電子決済について調べてください。

第９回 【授業テーマ】 情報技術と人材育成 Ⅰ
【内容・方法 等】 ・企業活動と人材育成について解説します。
・公的資格と社会認知について解説します。
【事前・事後学習課題】 皆さんに関係する資格を書き出してください。

第10回 【授業テーマ】 情報技術と人材育成 Ⅱ
【内容・方法 等】 ・情報技術を利用した企業教育について解説します。
・情報産業における職制と職種について解説します。
【事前・事後学習課題】 企業における教育の必要性について考えてください。

第11回 【授業テーマ】 情報産業と国際化 Ⅰ
【内容・方法 等】 ・情報技術革命とは何かについて解説します。
・インターネット革命と日本企業について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報社会における企業の姿について考えてください。

第12回 【授業テーマ】 情報産業と国際化 Ⅱ
【内容・方法 等】 ・情報産業における国際規格について解説します。
・情報産業におけるビジネスモデルと情報倫理について解説します。
【事前・事後学習課題】 情報と国際化について、今後の姿を考えてください。

第13回 【授業テーマ】 情報と職業のまとめ
【内容・方法 等】 ・情報が職業開発に及ぼす影響につ いてのプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 授業を受けてのまとめをしてください。

第14回 【授業テーマ】 情報と職業のレポート発表
【内容・方法 等】 ・レポートを発表していただきます。
【事前・事後学習課題】 レポートの発表準備をしてください。

第15回 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
【内容・方法 等】 ・情報と職業の講義についてのまとめと感想
【事前・事後学習課題】 情報と職業の全体のまとめをしてください。

評価方法（基準）
全体評価は、平常評価（３５％）と学期末試験評価（６５％）により行います。
平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。

教材等
教科書…近藤 勲編著 「情報と職業」 丸善株式会社
参考書…熊田三喜男編著 「情報時代の社会・経営」 学文社

学生へのメッセージ
・ 毎回出席をとります〔連絡カード配付〕。 遅刻をしないよ

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd 217 2014/08/21 14:24:31

うにしてください。
・　座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。
・　授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります〕。

関連科目
情報科学関連や職業開発に関する講義を受講しておくことが理解を深めることに役立ちます。

担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

民法I
Civil Law I

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
民法Ⅰおよび民法Ⅱを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法衡は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点
講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもします。また、法律科目ですので、六法が必要であるということを留意してください。

科目学習の効果（資格）
宅地建物取引主任者、行政書士などを目指す人の入門として

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　法律学および民法
【内容・方法　等】　法律科目というもののガイダンス、法律一般および民法の概要について確認する予定です。
【事前・事後学習課題】　新聞などから、目次も含め、教科書から興味を持てる部分を是非見つけてください。

第２回　【授業テーマ】　民法と財産法総論
【内容・方法　等】　法律というものが対象としているものなどを大きく捉え、その中で民法典の役割を確認し、さらに財産法の内容を確認していく予定です。
【事前・事後学習課題】　1回目の内容から、自分の周りに存在する財産法と関連する問題を考えてみて下さい。

第３回　【授業テーマ】　民法と契約という制度①
【内容・方法　等】　契約という制度を通して、社会における法律関係を確認していく予定です。
【事前・事後学習課題】　現実の生活の中で、どのような契約をしているのかなどを把握してみてください。

第４回　【授業テーマ】　民法と契約という制度②
【内容・方法　等】　契約をするうえで、何らかの問題がある場合を前回に続いて確認する予定です。
【事前・事後学習課題】　人は間違いをしてしまうものです。契約において何らかの問題があった場合の事例の対処方法などを考えてください。

第５回　【授業テーマ】　民法における人という存在
【内容・方法　等】　契約をすることができるのは誰なのか、また単独では契約ができない人がいるのかなどを確認する予定です。
【事前・事後学習課題】　これまでの経験から、法的に自分が置かれている立場を理解し、なぜ親の同意が必要だったのかを考えてください。

第６回　【授業テーマ】　代理
【内容・方法　等】　人は完全に自分ひとりで物事を処理できません。契約もそうです。その場合に、代わりに契約を行ってくれる人が必要となります。そのような人についてみていく予定です。
【事前・事後学習課題】　他人が自分のために契約をしてくれる便利さと怖さを確認してください。

第７回　【授業テーマ】　時効
【内容・方法　等】　契約は無限に続くのか、他人の物を知らずに占有しているとどのようなこととなるのかなどを確認する予定。
【事前・事後学習課題】　犯罪捜査における時効とは何が違い、また時効の必要性についても考えてください。

第８回　【授業テーマ】　契約の締結
【内容・方法　等】　契約を締結するとはどのようなことなのかを確認する予定です。
【事前・事後学習課題】　友達との約束についても法的に考えてみて下さい。

第９回　【授業テーマ】　所有権を通しての物権
【内容・方法　等】　人が物を所持すること、すなわち支配することを、法律はどのように考えているのかを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】　他人が自分の物を返さないという経験がこれまでありましたか？これを、法的に考えてみてください。

第10回　【授業テーマ】　不法行為①
【内容・方法　等】　他人に損害を与えてしまい、賠償をしなければならないことを、法的に見ていきます。
【事前・事後学習課題】　交通事故や約束違反によって生じた損害は、賠償により回復することができるのでしょうか。考えてみてください。

第11回　【授業テーマ】　不法行為②
【内容・方法　等】　現代社会は進歩が激しく、法律も新しい局面に向かいあう必要が生じています。そこで、不法行為の制度をより多角的に見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】　他人に損害賠償を請求するということの難しさを考えてみてください。

第12回　【授業テーマ】　事務管理・不当利得
【内容・方法　等】　契約や不法行為とは異なった形で、他人との間で法的な関係が生じる場合をみます。
【事前・事後学習課題】　人情を法律でとらえることや、契約終了後の関係について考えてください。

第13回　【授業テーマ】　債務の弁済について①
【内容・方法　等】　契約を守ってもらえない場合に対して、あらかじめ対処する方法などを見る予定です。
【事前・事後学習課題】　お金の貸し借りの難しさと、その対処方法を考えてみてください。

第14回　【授業テーマ】　債務の弁済について②
【内容・方法　等】　担保をという制度を把握し、それが実行されたのちの関係などをみる予定です。
【事前・事後学習課題】　他人を信頼することの難しさ、債権というものを担保する必要性を今一度考えてください。

第15回　【授業テーマ】　講義のまとめ
【内容・方法　等】　講義全体のまとめをしながら、財産法の持つ意義をもう一度確認する予定です。
【事前・事後学習課題】　全体的な復習を通して、財産法とはどのような視点から見るべきかを考えてみてください。

評価方法（基準）
講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等
教科書…野村豊弘『民事法入門（第5版補訂版）』（有斐閣 ）(1600円+税)。
出版社は問いませんので、六法を必携としています。
初回に案内はいたします。
参考書…適宜指示いたします。

学生へのメッセージ
講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目
後期の民法Ⅱと共に受講をしていただきたいと思います。

担当者の研究室等
11号館9階　大川研究室

民法II
Civil Law II

大　川　謙　蔵（オオカワ　ケンゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
民法Ⅰおよび民法Ⅱを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法衡は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点
講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもします。また、法律科目ですので、六法が必要であるということを留意してください。

科目学習の効果（資格）
宅地建物取引主任者、行政書士などを目指す人の入門として

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　財産法と家族法の確認
【内容・方法　等】　民法Ⅰでみた財産法の内容について確認しつつ、家族法の全体を確認する予定です。
【事前・事後学習課題】　前期で扱った財産法の部分を復習しておいて下さい。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　218　2014/08/21　14:24:31

第２回　【授業テーマ】　家族法総論
【内容・方法　等】　家族法全体について、また家族とはどのようなものなのかを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】　家族とはどのような人たちか、法的にどのように考えられているのかを確認すること。ここで確認した用語を今後使用します。
第３回　【授業テーマ】　婚姻
【内容・方法　等】　婚姻がどのようにすると成立し、その結果どのような義務が生じるのかなどを見ていく予定です。
【事前・事後学習課題】　誰とでも婚姻できるのか、婚姻する意味を考えてください。
第４回　【授業テーマ】　婚姻の効果ならびに離婚
【内容・方法　等】　婚姻が成立するとどのような権利義務が生じるのかを確認する予定。また、婚姻関係が終了する場合の一つである、離婚についても簡単に確認する予定。
【事前・事後学習課題】　一緒に住むこと以外にも、婚姻には大きな意義があることを確認すること。
第５回　【授業テーマ】　離婚に関する諸問題
【内容・方法　等】　離婚原因を確認し、離婚の際に生じる問題を確認していく。
【事前・事後学習課題】　国家が認める婚姻関係を解消することの重大性を今一度確認すること。
第６回　【授業テーマ】　婚姻類似の関係
【内容・方法　等】　婚姻関係にないが内縁関係のように、類似する場面もある。それを法的にどのようにとらえるのかをみる。
【事前・事後学習課題】　なぜ、そのような関係を保護するのか、その必要性を考えること。
第７回　【授業テーマ】　親子関係
【内容・方法　等】　親子は互いにどのような権利義務関係があるのか、また、子の扱いが異なる現状を確認する。
【事前・事後学習課題】　法律が完全に正義を実現しているのかどうかを考える重要な問題が出てきます（非嫡出子の問題）。それを考えること。
第８回　【授業テーマ】　養子縁組
【内容・方法　等】　実子以外と親子関係を形成する手段である養子縁組の制度を見ながら、現代の生殖補助の問題も確認する予定。
【事前・事後学習課題】　養子制度の必要性や現代における科学技術の進歩についても意識する必要がある。
第９回　【授業テーマ】　親権
【内容・方法　等】　親は子に対してどのような義務を負うのかを確認していく。
【事前・事後学習課題】　法的に負わされた義務を本当に社会において実現されているのかを考えてみること。
第10回　【授業テーマ】　相続について
【内容・方法　等】　相続の意義や誰が相続できるのかについて確認する。
【事前・事後学習課題】　法律がどのような範囲で相続を認めているのかを理解するため、家族というものを復習しておくこと。
第11回　【授業テーマ】　相続できる者とは
【内容・方法　等】　相続とはどのような人間関係に成立するのかを見る予定です。
【事前・事後学習課題】　誰でも相続できるのでしょうか。なぜ相続で争うのでしょうか。考えて下さい。
第12回　【授業テーマ】　相続分について
【内容・方法　等】　誰がどのような内容を相続するのかについて確認する。
【事前・事後学習課題】　多少の計算が必要となります。自分の家族などに置き換えて、頭の中で考えること。
第13回　【授業テーマ】　相続分の調整原理
【内容・方法　等】　相続が開始したとしても、それまでに多くの財産をもらっていた人や、財産形成に寄与した人もいるはず。その場合の調整方法を確認する。
【事前・事後学習課題】　計算などの場合、具体例を想定して考える必要があるので、あわてずに考えること。
第14回　【授業テーマ】　遺言
【内容・方法　等】　相続における被相続人の意思を遺す方法やその問題点を確認する。
【事前・事後学習課題】　遺言の重要性と、不明確な場合の問題を現実の例から確認すること。
第15回　【授業テーマ】　遺留分および講義のまとめ
【内容・方法　等】　相続人が最低限確保することが認められている相続分の意義について確認していく。また、講義全体のまとめにも入りたい。
【事前・事後学習課題】　全体の復習をしておくこと。

評価方法（基準）
講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等
教科書…教科書の指定はしません。ただし、出版社は問いませんので、六法を必携としています。初回に案内はいたします。
参考書…野村豊弘『民事法入門（第5版）』（有斐閣）(1600円+税)。

学生へのメッセージ
講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目
民法Ⅰの内容を前提に講義をいたします。ただし、やる気のある方は受講してくださってかまいません。

担当者の研究室等
11号館9階　大川研究室

会社法Ⅰ
Corporate Law Ⅰ

高　田　尚　彦（タカダ　ナオヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
会社法Ⅰでは、各種会社のうち株式会社を中心に会社法の講義を行います。株式会社の設立、株式、株式会社の機関について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点
会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果（資格）
会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験（法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など）の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】　教科書p.1～p.4を読んでおくこと。
第２回　【授業テーマ】　会社法総論
【内容・方法　等】　会社の概念、会社の種類、会社法総則。
【事前・事後学習課題】　教科書p.5～p.18を読んでおくこと。
第３回　【授業テーマ】　株式会社の設立
【内容・方法　等】　株式会社の設立総説、設立手続、設立の無効。
【事前・事後学習課題】　教科書p.19～p.34を読んでおくこと。
第４回　【授業テーマ】　株式（１）
【内容・方法　等】　株式総説、株主名簿。
【事前・事後学習課題】　教科書p.34～p.41を読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】　株式（２）
【内容・方法　等】　株式の譲渡、自己株式。
【事前・事後学習課題】　教科書p.41～p.47を読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】　株式（３）
【内容・方法　等】　株式の併合・分割・無償割当て、単元株式数、募集株式の発行、株券。
【事前・事後学習課題】　教科書p.47～p.54を読んでおくこと。
第７回　【授業テーマ】　新株予約権
【内容・方法　等】　新株予約権の意義、新株予約権原簿、新株予約権の譲渡。
【事前・事後学習課題】　教科書p.54～p.59を読んでおくこと。
第８回　【授業テーマ】　株式会社の機関（１）
【内容・方法　等】　株式会社の機関総説。
【事前・事後学習課題】　教科書p.59～p.61を読んでおくこと。
第９回　【授業テーマ】　株式会社の機関（２）
【内容・方法　等】　株主総会、種類株主総会。
【事前・事後学習課題】　教科書p.62～p.76を読んでおくこと。
第10回　【授業テーマ】　株式会社の機関（３）
【内容・方法　等】　役員等の選任および終任、取締役、取締役会。
【事前・事後学習課題】　教科書p.76～p.95を読んでおくこと。
第11回　【授業テーマ】　株式会社の機関（４）
【内容・方法　等】　会計参与、監査役・監査役会、会計監査人。
【事前・事後学習課題】　教科書p.95～p.104を読んでおくこと。
第12回　【授業テーマ】　株式会社の機関（５）
【内容・方法　等】　委員会設置会社。
【事前・事後学習課題】　教科書p.104～p.115を読んでおくこと。
第13回　【授業テーマ】　株式会社の機関（６）
【内容・方法　等】　役員等の責任、株主の差止請求権、株主代表訴訟。
【事前・事後学習課題】　教科書第p.115～p.132を読んでおくこと。
第14回　【授業テーマ】　計算、定款の変更

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　219　2014/08/21　14:24:32

【内容・方法　等】 会計帳簿、計算書類、資本金と準備金、剰余金の配当、定款の変更。
【事前・事後学習課題】 教科書p.132～p.145を読んでおくこと。
第15回 【授業テーマ】 解散、清算、会社法Ⅰまとめ
【内容・方法　等】 解散原因、解散の効果、通常清算、特別清算、会社法Ⅰ総括。
【事前・事後学習課題】 教科書p.146～p.150を読んでおくこと。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の結果によって評価する。

教材等
教科書…加藤徹・塚本和彦（編）『新会社法の基礎(第2版)』（法律文化社2013年））（2,600円+税）
参考書…授業中に適宜示します。

学生へのメッセージ
会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。

関連科目
会社法Ⅱ、民法、企業論、企業簿記。

担当者の研究室等
11号館6階　法学部

会社法II
Corporate Law II

高　田　尚　彦（タカダ　ナオヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
会社法Ⅱでは、会社法Ⅰで習得した知識をもとに、組織再編を中心に会社法の講義を行います。株式会社の合併・分割・事業譲渡について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点
会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果（資格）
会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験（法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など）の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】 教科書p.1～p.4を読んでおくこと。
第２回 【授業テーマ】 会社法Ⅰまとめ（１）
【内容・方法　等】 会社法総論、株式会社の設立について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.5～p.34を読んでおくこと。
第３回 【授業テーマ】 会社法Ⅰまとめ（２）
【内容・方法　等】 株式、新株予約権について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.34～p.59を読んでおくこと。
第４回 【授業テーマ】 会社法Ⅰまとめ（３）
【内容・方法　等】 株式会社の機関、計算について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.59～p.148を読んでおくこと。
第５回 【授業テーマ】 持分会社
【内容・方法　等】 持分会社の設立、社員、計算等。
【事前・事後学習課題】 教科書p.151～p.169を読んでおくこと。
第６回 【授業テーマ】 社債
【内容・方法　等】 社債の種類、社債の発行、社債権者の権利、社債権者集会。
【事前・事後学習課題】 教科書p.170～p.180を読んでおくこと。
第７回 【授業テーマ】 組織再編（１）
【内容・方法　等】 組織再編総説
【事前・事後学習課題】 事前に配布する補足資料を読んでおくこと。
第８回 【授業テーマ】 組織再編（２）
【内容・方法　等】 合併の手続き、簡易合併、合併無効の訴え、合併対価の柔軟化。
【事前・事後学習課題】 教科書p.181～p.191を読んでおくこと。
第９回 【授業テーマ】 組織再編（３）
【内容・方法　等】 会社分割の意義、吸収分割と新設分割、分割手続、会社分割無効の訴え。
【事前・事後学習課題】 教科書p.191～p.194を読んでおくこと。
第10回 【授業テーマ】 組織再編（４）
【内容・方法　等】 株式交換の意義、手続、株式交換の無効の訴え。
【事前・事後学習課題】 教科書p.194～p.197を読んでおくこと。
第11回 【授業テーマ】 組織再編（５）
【内容・方法　等】 株式移転の意義、手続、株式移転の無効の訴え。
【事前・事後学習課題】 前回の授業の復習をしておくこと。
第12回 【授業テーマ】 組織再編（６）
【内容・方法　等】 事業譲渡・事業の譲受け
【事前・事後学習課題】 教科書p.197～p.200を読んでおくこと。
第13回 【授業テーマ】 組織再編（７）
【内容・方法　等】 組織変更の意義、株式会社から持分会社への組織変更、持分会社から株式会社への組織変更。
【事前・事後学習課題】 教科書p.200～p.202を読んでおくこと。
第14回 【授業テーマ】 外国会社・雑則
【内容・方法　等】 外国会社、会社の解散命令、公告。
【事前・事後学習課題】 教科書p.203～p.211を読んでおくこと。
第15回 【授業テーマ】 会社法Ⅱまとめ
【内容・方法　等】 会社法Ⅱ総括
【事前・事後学習課題】 会社法Ⅱで学習したことを見直しておくこと。

評価方法（基準）
原則として、定期試験の結果によって評価する。

教材等
教科書…加藤徹・塚本和彦（編）『新会社法の基礎(第2版)』（法律文化社（2013年））（2,600円+税）
参考書…授業中に適宜示します。

学生へのメッセージ
会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。

関連科目
会社法Ⅰ、民法、企業論、企業簿記。

担当者の研究室等
11号館6階　法学部

労働法I
Labor Law I

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
労働者の保護を目的とする法規のすべてを労働法の中でも労働者保護法と呼ぶことがある。この授業では、労働者保護法の分野の中から、労働契約、労働時間、休憩、休日、変形労働時間制、年次有給休暇、賃金、退職金、人事異動、就業規則、労働契約の終了、雇用保障などの問題を取り上げる。授業の中では、判例の中から近時問題となっている論争的テーマを織込み、紛争解決のあり方などを検討する。

授業方法と留意点
教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
労働基準監督官など

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 労働契約
【内容・方法　等】 ・募集、採用、採用内定、試用期間、契約上の権利義務、労務の提供と報酬の支払、職場規律の維持、配慮義務
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.７８－８９
第２回 【授業テーマ】 労働契約
【内容・方法　等】 ・労働契約と法的規制、契約の期間、労働条件の明示義務、賠償予定の禁止、前借金相殺の禁止、強制貯金の禁止
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.８９－９６
第３回 【授業テーマ】 有期労働契約等
【内容・方法　等】 ・労働者派遣法
・パートタイム労働者、外人労働者問題
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.３７－４９
第４回 【授業テーマ】 労働時間
【内容・方法　等】 ・労働時間の規制、規制の弾力化、除外と例外、割増賃金、時間外・休日労働
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１３２－１５９
第５回 【授業テーマ】 休憩、休日
【内容・方法　等】 ・休憩時間の長さ、一せい休憩の原則、自由利用の原則
・週休の付与、週休の振替、代休、変形労働時間と振替
【事前・事後学習課題】 課題　テキストｐ.１５２－１５９

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　220　2014/08/21　14:24:32

第６回　【授業テーマ】　変形労働時間制
【内容・方法　等】　・一ヶ月以内変形労働時間制、一年以内変形労働時間制、非定型変形労働時間制
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１４０－１４２
第７回　【授業テーマ】　変形労働時間制
【内容・方法　等】　・一週間単位の変形労働時間制
・フレックスタイム制
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１４２－１４４
第８回　【授業テーマ】　労働時間制の適用除外
【内容・方法　等】　・除外と例外、対象労働者
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１４４－１４８
第９回　【授業テーマ】　年次有給休暇
【内容・方法　等】　・意義、成立要件、時季指定権、時季変更権、年休権の行使と不利益変更
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ１６０－１７０.
第10回　【授業テーマ】　賃金
【内容・方法　等】　・労基法上の賃金、賃金請求権、支払方法、平均賃金
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１１３－１１７
第11回　【授業テーマ】　退職金
【内容・方法　等】　・退職金、退職年金
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１１７－１２０
第12回　【授業テーマ】　人事異動
【内容・方法　等】　・配転、出向、転籍
・会社分割と労働契約承継法、営業譲渡
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１０２－１１１
第13回　【授業テーマ】　就業規則
【内容・方法　等】　・就業規則の意義と法規制、作成義務と記載事項
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１９８－２０４
第14回　【授業テーマ】　就業規則
【内容・方法　等】　・就業規則の法的性質、就業規則の不利益変更
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.２０４－２１４
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　以上の総括
【事前・事後学習課題】　課題　レポート提出

評価方法（基準）
学期末試験の結果により評価する

教材等
教科書…「労働法（第10版）」安枝英訷・西村健一郎著（有斐閣）
参考書…「労働法（第七版補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）

学生へのメッセージ
教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目
法学、憲法、民法、労働法Ⅱ

担当者の研究室等
11号館10階(樫原研究室)

労働法II
Labor Law II

樫　原　義比古（カシハラ　ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
労働組合と使用者もしくは使用者団体の関係、あるいは労働組合内部の関係を規律する法として団体的労働関係法があり、同法は労使関係法とも呼ばれる。団体的労働関係法の分野の中から、労働組合、団体交渉、争議行為、労働協約、不当労働行為などの問題を取り扱う。授業の中では、近時問題となっている論争的テーマを織込み、問題の背景、状況、判例などの分析を通じて法的対応や紛争解決のあり方を検討する。

授業方法と留意点
教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）
労働基準監督官など

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　労働法の授業
【内容・方法　等】　・労働法の意義
・労働法の性格
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.２－６
第２回　【授業テーマ】　労働基本権
【内容・方法　等】　・団結権、団体交渉権、団体行動権（労働三権）、理念、限界
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.１５－２２
第３回　【授業テーマ】　労働組合
【内容・方法　等】　・目的、態様
・労働組合法上の要件
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.２７０－２７６
第４回　【授業テーマ】　労働組合
【内容・方法　等】　・内部統制、ユニオンショップ協定
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.２７６－２８３
第５回　【授業テーマ】　団体交渉
【内容・方法　等】　・意義、形態、当事者、担当者
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.２８４－２８８
第６回　【授業テーマ】　団体交渉
【内容・方法　等】　・団交事項、効力
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.２８９－２９０
第７回　【授業テーマ】　団体行動
【内容・方法　等】　・組織活動
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.３３４ー３４４
第８回　【授業テーマ】　争議行為
【内容・方法　等】　・争議行為
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.３０９－３２５
第９回　【授業テーマ】　争議行為
【内容・方法　等】　・ロックアウト
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ３２５－３２８.
第10回　【授業テーマ】　労働協約
【内容・方法　等】　・意義、効力発生、要件、効力－規範的効力、債務的効力
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.２９１－３０３
第11回　【授業テーマ】　労働協約
【内容・方法　等】　・協約の拡張、一般的拘束力
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.３０３－３０５
第12回　【授業テーマ】　不当労働行為
【内容・方法　等】　・意義、態様－不利益取扱、団交拒否、支配介入、経費援助
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.３４５－３６１
第13回　【授業テーマ】　不当労働行為の救済
【内容・方法　等】　・行政救済
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.３６４－３７０
第14回　【授業テーマ】　不当労働行為の救済
【内容・方法　等】　・司法救済
【事前・事後学習課題】　課題　テキストｐ.３６６
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　・以上の総括
【事前・事後学習課題】　レポートの提出

評価方法（基準）
学期末試験の結果により評価する

教材等
教科書…「労働法（第10版）」安枝英訷・西村健一郎著（有斐閣）
参考書…「労働法（第七版第補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）

学生へのメッセージ
教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目
憲法、民法、刑法、労働法Ⅰ

担当者の研究室等
11号館10階(樫原研究室)

経営学特講V
Up-to-date Topics of Business Administration V

仲　　秀　樹（ナカ　ヒデキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
当授業では、監査の中でも企業会計の監査である財務諸表監査を中心に講義する。監査の本質を理解するために、監査の意義・種類について解説し、監査の基本的概念について検討したい。また実際の財務諸表監査とは、いかなる証拠を収集し、評価するのかなど、監査人の具体的な手続についても見ていくことにする。

授業方法と留意点
教科書にもとづいた講義方式。監査について受講生はイメージを描きにくいと思われるので、具体例を交えながら平易な講義を心がけたい。

科目学習の効果（資格）
監査論の基礎知識を得ることにより、公認会計士試験の初歩的な知識を獲得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　監査のフレームワーク（1）

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　221　2014/08/21　14:24:32

【内容・方法　等】 監査とは何か。監査がなぜ必要とされるのか。その意義について検討する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第２回 【授業テーマ】 監査のフレームワーク（2）
【内容・方法　等】 監査の生成要因と監査の種類について解説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第３回 【授業テーマ】 監査のフレームワーク（3）
【内容・方法　等】 財務諸表監査の特質と監査の経済的機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第４回 【授業テーマ】 監査制度のフレームワーク
【内容・方法　等】 アメリカにおける監査基準の生成と展開を概説し、わが国の商法監査制度および証券取引法監査制度について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第５回 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準（1）
【内容・方法　等】 監査規範の意義と体系について解説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第６回 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準（2）
【内容・方法　等】 監査基準の生成と展開について解説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第７回 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準（3）
【内容・方法　等】 監査基準における一般基準、実施基準、報告基準について概説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第８回 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス（1）
【内容・方法　等】 監査意見形成のプロセスはどのような論理に支えられているか、を説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第９回 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス（2）
【内容・方法　等】 財務諸表監査における経営者の主張と監査要点について考える。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第10回 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス（3）
【内容・方法　等】 監査手続と監査技術の関係、および監査技術の詳細につき講義する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第11回 【授業テーマ】 リスク・アプローチと監査戦略
【内容・方法　等】 リスク・アプローチの意義と監査リスクの構成要素について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第12回 【授業テーマ】 リスク評価、実証手続および監査の完了
【内容・方法　等】 固有リスクの評価や統制リスクの評価について講義する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第13回 【授業テーマ】 監査報告書と情報提供機能
【内容・方法　等】 監査業務の最終成果物である監査報告書について、その意義と機能、利害関係者にとっての意味や監査報告書の利用方法について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第14回 【授業テーマ】 総論
【内容・方法　等】 現在の会計監査の重要性とその将来性について検討する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

第15回 【授業テーマ】 おわりに
【内容・方法　等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

評価方法（基準）
評価方法は定期試験が８０％、レポートが２０％として評価する。

教材等
教科書…「六訂版　ベーシック監査論」伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏共著　同文館出版3,800円（税別）
参考書…特になし

学生へのメッセージ
講義中の私語は厳禁。質問は大歓迎です。学生の講義の理解度に応じて講義内容を変更する場合があります。

関連科目
会計関連科目、とくに財務会計論を履修していることが望ましい。

担当者の研究室等
11号館6階（経営学部事務室）

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

武　居　奈緒子（タケスエ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
近年の成熟市場環境下における企業間競争の激化によって、マーケティングの重要性がますます高まっています。この演習では、企業の存続・成長にとって必要不可欠なマーケティングについて研究します。マーケティングは、身近な学問なので、どこからでも課題の研究が始められます。この演習を通じて、マーケティングの基本的知識とマーケティングを学ぶことの楽しさを理解してもらいたいと思います。

授業方法と留意点
演習で与えられた問題・課題について、真摯に取り組み、充実した大学生活にしていきましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
ゼミで与えられた課題には、真摯に取り組むように。

評価方法・評価基準
授業態度、授業への参加度・貢献度などにより総合的に評価します。

教材等
教科書…武居奈緒子（2000）『消費行動』晃洋書房。
参考書…その都度、指示します。

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
ゼミでは「データに基づく合理的な経営・管理」を行うための種々の技術・技法についての研究・教育を行います。
　企業の活動でとくに重要なものは、付加価値をつける行動（オペレーション）のことで、ハードウェアの製造だけでなく、ソフトウェアや販売・物流・観光などの各種サービスも対象に含まれます。演習や卒業研究を通じて、このような活動を合理的に行い、高い生産性をあげるためのさまざまな理論や手法を学び、企業で活躍できるための基礎力を養います。

授業方法と留意点
グループ対抗で「ビジネスゲーム」を１年間にわたり実施しますので、休まないようにしてください。長期休暇期間などに行う事業所や工場などの見学にも積極的に参加してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
２年次の演習では、まず経営活動の全体像を理解してもらうことに重点をおきます。具体的には、中規模・中程度の複雑さ・難しさの「ビジネスゲーム」をグループ対抗で１年間にわたり実施し、その結果を分析することで、経営に必要なさまざまな基礎知識に加えて集団意思決定や経営分析の方法を学びます。さらに、長期休暇期間などを活用して各種の事業所や工場などの見学も行います。

評価方法・評価基準
まずは出席し、ビジネスゲームの意思決定に参加すること。次に、結果の分析を行い、発表すること。そして見学などを含んだ最終レポートを提出すること。以上の３つで総合的に評価します。

教材等
教科書…毎回、必要な内容を含んだハンドアウト（プリント）を配布します。
参考書…授業中に適切な参考書を推薦します。

演習Ⅰ
Seminar Ⅰ

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　222　2014/08/21　14:24:32

21世紀は、コンピュータとインターネットを始めとするＩＴ（情報技術)が 社会活動全般にわたって革命的な変化を起す時代である。このＩＴ時代の実社会で活躍するには「情報リテラシー(情報活用能力)」を磨くことが必要不可欠である。本演習では、実践に向けた情報活用能力を養うための情報技術や理論を習得することが目的である。ここでいう情報活用能力とは、情報機器を操作する能力だけでなく、情報ネットワークを活用して必要な情報を効率よく収集・整理・加工・管理・伝達し、さらには新たな情報を発信する能力を指す。大学教育においては、専門分野の研究における「情報収集(サーベイ)」、「情報の加工(構造化)」、「情報の発信(デザイン化)」といった一連の研究過程が情報活用能力を発揮する場といえるであろう。そこで、高度情報化社会におけるインターネット情報の活用現状を把握し、その上で実社会や研究に向けて情報活用能力を養うための演習を行っていく。演習課題を通して学生独自のアイデアをプレゼンテーションやディスカッションする機会を設け、情報発信能力を高めることを目指す。

授業方法と留意点

講義ノートはPDFファイルで配布する。主にプレゼンテーションとディスカッション形式で行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

情報関連のテーマについてグループごとに演習課題を与え、取り組んだ結果をプレゼンテーション形式で議論する。主な授業内容は以下である。

(1) 情報化社会におけるインターネット情報の活用技術
(2) コンピュータネットワークの基礎知識
(3) 効果的なプレゼンテーション方法

評価方法・評価基準

出席状況(100%)で評価する。ただし、授業態度が悪い者や演習レポートを提出しない者については減点する場合も有る。

教材等

教科書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。
参考書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

備考

コンピュータやインターネットの使い方を覚えるのではなく、情報技術に対する関心や疑問を持ち、知的探求心を磨く過程で情報理論の重要性を学んでもらいたい。特に予備知識は必要としないが、理解に必要なことは授業で順を追って説明するので，毎回出席を心掛けて欲しい。

演習I
Seminar I

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミでは、研究活動を通じて、実践力の高い情報技術と専門知識の修得、グループでの取組みによる人間力の向上、ならびに、課題設定から問題解決へとつなげる統合力の養成を目指す。また、総合的な研究・教育を目指すために、自治体、地元企業、団体などと積極的に交流を行い、活動の場を広げる。

演習Iでは、プレゼンテーションの実習や、関連する文献の分析、文章作成のルールについて学ぶ。

演習IIの前半では、研究テーマに関する調査や課題設定、および、その解決策の検討や実習を行い、協調作業の重要性や研究活動の意義を学ぶ。

日頃から経営や情報に関する情報収集に努め、ディスカッションでの発言を増やすことが重要である。

後半は、前半の経験を活かして、さらなる研究テーマの追究と卒業研究の準備として必要な調査、議論を行う。

そして、卒業研究において、大学４年間で学んだ知識や技術に裏付けられた主張を示し、研究論文、または、卒業制作としてまとめる。

ゼミでは、研究という最高の知的活動を通じて、人としての成長を遂げることを目的としている。

授業方法と留意点

授業は学生参画型であり、予習・復習は必須である。自発的に学ぶ姿勢で出席すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

前期は、経営情報全般、プログラミング、TeX、プレゼンテーションなどについてゼミ生自らが参考書を選び学習する。後期は、研究という行為がどのようなものなのか、議論とはどのようになされるのかについて学ぶために、各自が演習Iで発表するテーマについて選定する。テーマは、「経営」か「情報」に関するものとする。発表は、原則として前期1回、後期1回、計2回おこなう。発表に際しては、Ａ４用紙２枚のレジュメを準備する。レジュメは、TeXを用いて作成するものとし、事前に、文章チェックを受ける。

評価方法・評価基準

演習中の発表内容、議論での積極性と内容を中心に評価する。発表内容70%、その他30%

教材等

教科書…なし
参考書…各自で選定する。

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミでの活動においては、知識、技術、そして、心を鍛えていきます。自らが「経営情報」の最先端で学んでいる者として誇りを持って、課題に挑んでください。

演習I
Seminar I

針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習では、主に以下の２つの内容について学ぶ。

１．企業のマーケティング活動におけるメディア戦略
２．コンピュータとデータ解析ソフトを使った消費者行動・心理情報の分析

これらの学習を通じて、インターネットや情報端末を使った企業のITマーケティングに関する取り組み及びネットワーク技術に詳しくなり、同時に，高度なデータ解析技術を習得していく。

授業方法と留意点

【すすめ方】
・グループワークによる資料作成、発表が中心（グループ作業に必要な基本的設備については研究室にて準備）
・前半は、企業のWebCMを制作、後半は、メディア戦略理論の学習を行う。
・他学年ゼミ生を含めた合同演習（年2回予定）とゼミ合宿を実施し、ゼミ学生間の交流を深めながら、研究・学習の質を高めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

主に以下の内容に取り組む。
前期：インターネット技術関連の基本的学習、ウェブビジネスの動向調査
後期：データ解析技術の学習、ネットユーザの行動分析

評価方法・評価基準

出席状況，参加姿勢（発言，資料準備），提出物

教材等

教科書…演習内で指定する
参考書…演習内で紹介する

備考

【学生へのメッセージ】
グループワークが中心ですので、時間や約束事をしっかり守って誠実に取り組んでください。

演習I
Seminar I

栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

栢木ゼミでは、高度情報化社会と言われる社会へのIT（情報技術）の積極的な導入によって、産業や生活環境がどのように変化してきたのかを考え、これからのITの在り方について探っていく。コンピュータやインターネットに代表されるITが、生活のあらゆる場面で取り入れられるようになり、生活が豊かになるとともに、情報セキュリティなどの新たな問題が生じてきている。こうした時代にあっては、ITをいかにして取り入れ、問題点を理解した上で、生活の一部として活用していくかが重要となってくる。そのために、社会の様々な分野でITがどのように取り入れられ活用されているのかについて、現状分析を通じて明らかにし、新たな活用の可能性を見出していかなければならない。

こうした活動をスムーズに進めるためには、ITに関する技能だけでなく、経営手法や統計手法についての知識も必要となる。これらの手法について積極的に学んでいこうという姿勢が必要となる。また、コンピュータを自身の目的に応じた道具として活用していこうという意識も求められる。

ゼミ活動の基本としては、自ら課題を設定し、課題の解決方法を資料や文献を読みながら考えることで、問題解決能力の習得を目指すことである。また、工場見学など学外での活動も随時

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　223　2014/08/21　14:24:32

取り入れていく予定である。

授業方法と留意点

ゼミでの活動は、社会に出てからも大いに役に立ちます。技能の習得だけでなく、どのようなことに対しても常に考えることを意識し、多くの経験を身につけてください。ゼミへの自主的な参加と積極的な提案を期待します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

専門性の高い文献を読みながら、文章を読み解く力、考えをまとめ上げる力の習得を目指すとともに、簡単なシステム開発を通してIT（情報技術）に関する基礎的な技能を身につける。

評価方法・評価基準

提出課題（40%）、演習への参加状況（60%）をもとに総合的に評価する。

教材等

教科書…演習中に指定する。
参考書…演習中に適宜紹介する。

演習I
Seminar I

樋　口　友　紀（ヒグチ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本ゼミでは、マーケティングを基本的なテーマとして扱います。マーケティングの基礎知識を井習得した後、マーケティング戦略についての考察や事例研究の実施に加え、マーケティングデータを用いた分析手法を習得します。その他、学生の希望によりテーマなどを選択し、適宜扱います。
ゼミでは学生の自主性を尊重します。講義中、講義外を問わず、やりたいことがある場合は積極的に意見するようにしてください。

授業方法と留意点

指示、選択した教科書の輪読とプレゼンテーションを中心に進めます。この期間に、マーケティングや、マーケティング・リサーチなどに関する知識を習得してもらいます。ゼミ生中心にまとめ、発表をしてもらうことになりますので、出来る限り欠席は避けるようにしてください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

発表など、ゼミ内で課した課題は必ず行うようにしてください。

評価方法・評価基準

出席率、授業態度、発表の内容などにより、総合的に判断します。

教材等

教科書…講義中に適宜指示します。
参考書…講義中に適宜指示します。

演習I
Seminar I

牧　野　　純（マキノ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

[授業概要]
コンピュータサイエンスのゼミである．
コンピュータは人類の英知の結晶とも言えるもので，パソコン１台の中にも，実にさまざまなアイデアが生かされている．こうしたアイデアを開発し，応用していくのがコンピュータサイエンスである．
このゼミではコンピュータのハードウェア・ソフトウェアを通じて幅広い知識を習得し，プログラミング等の技能を身につけると同時に，こうしたアイデアを正しく理解する．
[目的]
コンピュータ・情報技術のエキスパートを目指す．
情報技術の発展は目覚しく，今日の知識も明日は古くなっているかも知れないという状況である．したがって，情報技術のエキスパートは，常に自分の知識や技能を更新し，高めていく必要がある．その際に必要なのが個々の知識や技術を有機的に関連付け，統合する能力であり，それは背景にあるアイデアの理解によってはじめて得られる．
このゼミでは，コンピュータ・情報技術に関する個々の「知識」や「技能」の習得に止まらず，それらを統合的に捉え，発展させていくために必要な「理解」を得ることを目的とする．

授業方法と留意点

講義と実習，レポーターによる発表とそれに対する質疑応答の両形式で進める．

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[授業テーマ]
コンピュータと情報に関する基礎的な知識と技能を習得する．
[内容]
TeX と Java の学習を通じて，コンピュータ全般に関して学習する．

評価方法・評価基準

平常の学習状況，報告内容，レポートなどにより総合的に評価する．

教材等

教科書…授業中に指示する．
参考書…授業中に指示する．

備考

【学生へのメッセージ】
プログラミングは作曲や，楽器の演奏，絵を描いたりするのと同様な知的創造活動です．皆さんにもプログラミングの喜びを知ってほしいと思います．ただし，楽器の練習と同様，基礎的な技能をコツコツと高めていく必要があります．
また，ゼミでは全員が積極的に議論に参加し，意見等を述べることが求められます．そのためにはレポーターだけでなく，全員が十分な準備をしてゼミに臨む必要があります．

演習I
Seminar I

山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本ゼミでは、大きく2つのテーマに沿って学習していく。1つは「仕事、労働、職業を主題とした社会学的研究」である。なぜ人は働くのか、働くことは人々にとってどのような意味をもつのか、などについてじっくり考えていく。もう1つは「社会調査に関わる種々の知識・技術」である。様々な場面で求められる「調査」の能力の獲得を目指す。

授業方法と留意点

テキスト等の読解（要約の報告、それをもとにした全体での議論）
データ収集や分析の実習
論文やレポートの書き方についての指導
学生の希望があれば学外でのフィールドワークも設ける

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ・内容】
社会学一般および社会調査の基礎知識
今後の研究の土台となる知識の獲得を目指す。
【方法】
担当者による報告、全体での議論
【事前・事後課題】
適宜指示する

評価方法・評価基準

授業への参加状況（出席、発言、資料）50%、提出物50%

教材等

教科書…授業時に指示する。
参考書…授業時に指示する。

備考

「物事をじっくり考える」姿勢をもち、積極的に参加してほしい。

演習I
Seminar I

牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

牧野(幸)ゼミは経営学部で心理学を学ぶゼミである。ゼミでは心理学の基礎知識を身につけ，心理学の研究法について学ぶ。その後，自分自身でテーマを探し，心理学の研究ができるようにし，卒業研究をまとめていく。演習Ⅰでは，基本的な心理学の知識を身につける。教科書の内容をまとめて，発表しながら担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は，毎回担当者がPP資料を作成し，発表を行う。演習Ⅱでは自分でテーマを決め，文献を購読し，その後，実際に心理学の研究を行ってみる。卒業研究では，演習Ⅱの後半に行った研究を改善するか，新たにテーマを見つけ研究を行い卒業論文をまとめていく。

授業方法と留意点

演習Ⅰでは，心理学の基礎知識を身につける。前期は心理学の概論書を使って担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は，毎

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　224　2014/08/21　14:24:33

回担当者がPPによる資料を作成し，発表を行う。後期は専門書の内容をまとめてPPで発表を行なう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ・内容：社会における人間関係と消費者心理について
方法：担当者がパワーポイントを用いてプレゼンを行う。
事前・事後課題：事前に予習，事後に復習

評価方法・評価基準

演習中の発表，授業態度，発表課題の評価などで総合的に判断する。

教材等

教科書…前期：「ミニマムエッセンス社会心理学」　和田実編著　北大路書房
後期：「消費行動の社会心理学」　竹村和久編　北大路書房

参考書…授業中に適宜紹介する。

備考

牧野(幸)ゼミは，経営学部で心理学を学ぶゼミである。心理学に興味のある人に来てほしい。特別な情報の技術(プログラミングなど)は必要としないが，確率統計の知識は必要となる。また，プレゼンテーションを行うことが多いため，Word, Excel, PowerPointなどが普通に使える必要がある。何よりも人としての心理を大切にするゼミであるので，“あいさつをする，時間を守る，約束を守る，授業中私語をしない，寝ない”など人としての最低限のマナーは必ず守ること。

演習II
Seminar II

岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

2008年の金融危機は米国のサブプライムローンという住宅ローンに端を発している。巨大国家米国とはいえ、一国家の住宅ローンの問題、さらに言えばサブプライムローンは全住宅ローンの一部に過ぎず、その一国家の一部の住宅ローン問題が、世界のあらゆる国の経済に損失をもたらした。この問題を通して我々は如何に金融が身近な存在であるのかを改めて痛感させられた。

本演習では主として金融問題を扱い、学生諸君自身がこれらを解き明かすことを目的とする。扱うテーマは、例えば資金の借り手としての企業や貸し手としての銀行、また証券会社、格付け機関といった金融市場のプレイヤーから、株式・債券市場といったマクロ的な金融市場を取り上げても良い。また、マクロ金融政策やプルーデンス政策など政策的観点からテーマを選んでも良い。

ただし、本演習の論文作成においては、論理・理論に基づくことは言うまでもないが、さらにそれらを支えるデータや統計学的手法、同時にパソコンを駆使する傾向が強くなる。したがって本演習を希望する学生には、入門水準でよいので、できうる限りこれらの知識を習得しておいて欲しい。そして何より、ヤル気や積極性が重要である。テーマ選定や演習の運営については学生諸君に任せるという意味で自由だがその反面、積極的な参加姿勢が求められると思っておいて欲しい。

授業方法と留意点

基本的に学生による討論・プレゼンテーション形式で進める。プレゼンテーションの準備をする人はいうまでもないが、プレゼンテーションを聞いている学生にも積極性を求める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

演習IIでは、卒業研究のテーマ選定と卒業研究作成開始を目標とする。
(1)研究成果について、一回の演習で2,3人が報告する。(2)年度中に完成度80％を目標に卒業研究の作成を試みる。

評価方法・評価基準

学習態度(40%)、プレゼンテーションの出来映えなど(60%)を総合的に判断する。

教材等

教科書…別途指示する
参考書…別途指示する

備考

【学生へのメッセージ】
昨今の就職状況を鑑み、本演習では卒業論文の作成を前倒しに行う。したがって、演習の進捗状況は通常よりも早く、少々、キツイかもしれず、その点、覚悟願う。

演習II
Seminar II

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

目標：意思決定と思考
組織における意思決定、人々の意思決定を左右する人々の思考の役割を理解し、合理的で正しい意思決定の手法について学ぶ。また、複雑な人間関係の中で下される意思決定法を論じたゲーム理論の基礎を学ぶ。

授業方法と留意点

＜前期＞意思決定の基本理念とゲーム理論の基礎
複雑な決定場面、特に利害関係が存在する場面での合理的な決定法の理論とその現実性について理解する。
後期＞
KJ法を用いて卒研のテーマを定める。また、職業選択をシミュレーション技法を用いて進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

目標達成のための思考法、課題解決のための思考法を学び、自らの興味と関心に基づいて研究テーマを確立し、研究の進め方を計画する。知識を具体的な行動に結びつける。また行動は必ず成果としてあらわれるよう努力すること。

評価方法・評価基準

卒研テーマの提出、ゼミにおける発言、プレゼンテーション、レポートなどに基づいて総合的に成績の評価を行う。

教材等

教科書…教科書は指定しない。
ただし、授業内容の理解を深めるために様々な資料を配布する。これらの資料は卒業するまでなくさないこと。また、他のゼミ生が配布する資料等についても同様である。資料の整理・整頓はビジネスに不可欠。

参考書…授業の中で適宜紹介する。

備考

無断欠席をしない。必ず連絡すること。また、授業を妨げるので、遅刻はしない。演習（ゼミ）は小集団討論が中心となる。共同で行う授業であることを自覚すること。

演習II
Seminar II

三　木　僚　祐（ミキ　リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本演習では、管理会計について学んでいく。管理会計とは、企業内部の各階層の経営管理者に、経営管理に有用な会計情報の提供を目的とする会計である。管理会計は、経営管理を有効に行うために不可欠な手段であり、管理会計を学ぶことは今後社会に出るにあたって、大変意義のあることであると考える。
本演習の目的は、演習Ｉで学んだことを踏まえて、さらに高度な管理会計の理論および、管理会計が実務の世界でどのように活用されているのかについて理解をしてもらうことである。また、授業を通じて卒業研究論文のテーマについても考えてもらう。

授業方法と留意点

演習Ｉと同様に、毎回当番を決めて、教科書の内容についてまとめた資料を作成した上で、それを発表してもらう。また、その発表内容について議論を行う。
授業の合間に卒業研究論文作成の準備のため、論文の書き方、研究テーマの探し方、資料の収集の仕方などについても説明を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

管理会計に対する理解を深めるため、上級の管理会計の教科書を使って授業を行う。また、理論と実務のつながりを理解するため、管理会計に関する企業事例も補足資料として用いる。毎回の授業進度は教科書1章分。
本授業で扱う項目としては、「ABC/ABM」、「バランスト・スコアカード」、「原価企画」、「ライフサイクル・コスティング」、「品質原価計算」といった戦略管理会計と呼ばれる新しい管理会計領域に関するものを中心とする予定である。
発表者以外の人も、当日の授業内容について事前に自分なりにまとめておくこと。

評価方法・評価基準

授業態度、授業中の発言などを考慮して評価する。

教材等

教科書…未定、第1回目の授業のときに指示する。
参考書…未定、第1回目の授業のときに指示する。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　225　2014/08/21　14:24:33

備考

【学生へのメッセージ】
授業の無断欠席や遅刻は認めません。授業には、真剣に取り組んで下さい。また、授業中は、積極的に発言することを期待します。演習参加者全員の努力で、演習での学びを、充実した実りのあるものにしましょう。

演習II
Seminar II

牧　野　　純（マキノ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

[授業概要]
コンピュータサイエンスのゼミである．
コンピュータは人類の英知の結晶とも言えるもので，パソコン１台の中にも，実にさまざまなアイデアが生かされている．こうしたアイデアを開発し，応用していくのがコンピュータサイエンスである．
このゼミではコンピュータのハードウェア・ソフトウェアを通じて幅広い知識を習得し，プログラミング等の技能を身につけると同時に，こうしたアイデアを正しく理解する．
[目的]
コンピュータ・情報技術のエキスパートを目指す．
情報技術の発展は目覚しく，今日の知識も明日は古くなっているかも知れないという状況である．したがって，情報技術のエキスパートは，常に自分の知識や技能を更新し，高めていく必要がある．その際に必要なのが個々の知識や技術を有機的に関連付け，統合する能力であり，それは背景にあるアイデアの理解によってはじめて得られる．
このゼミでは，コンピュータ・情報技術に関する個々の「知識」や「技能」の習得に止まらず，それらを統合的に捉え，発展させていくために必要な「理解」を得ることを目的とする．

授業方法と留意点

講義と実習，レポーターによる発表とそれに対する質疑応答の両形式で進める．

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[授業テーマ]
コンピュータと情報に関する基礎的な知識と技能を習得する．
[内容]
Java の学習を通じて，コンピュータ全般に関して学習を進め，卒業研究の準備をする．

評価方法・評価基準

平常の学習状況，報告内容，レポートなどにより総合的に評価する．

教材等

教科書…授業中に指示する．
参考書…授業中に指示する．

備考

【学生へのメッセージ】
プログラミングは作曲や，楽器の演奏，絵を描いたりするのと同様な知的創造活動です．皆さんにもプログラミングの喜びを知ってほしいと思います．ただし，楽器の練習と同様，基礎的な技能をコツコツと高めていく必要があります．
また，ゼミでは全員が積極的に議論に参加し，意見等を述べることが求められます．そのためにはレポーターだけでなく，全員が十分な準備をしてゼミに臨む必要があります．

演習II
Seminar II

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

21世紀は、コンピュータとインターネットを始めとするＩＴ（情報技術)が 社会活動全般にわたって革命的な変化を起す時代である。このＩＴ時代の実社会で活躍するには「情報リテラシー(情報活用能力)」を磨くことが必要不可欠である。本演習では、実践に向けた情報活用能力を養うための情報技術や理論を習得することが目的である。ここでいう情報活用能力とは、情報機器を操作する能力だけでなく、情報ネットワークを活用して必要な情報を効率よく収集・整理・加工・管理・伝達し、さらには新たな情報を発信する能力を指す。大学教育においては、専門分野の研究における「情報収集(サーベイ)」、「情報の加工(構造化)」、「情報の発信(デザイン化)」といった一連の研究過程が情報活用能力を発揮する場といえるであろう。そこで、高度情報化社会におけるインターネット情報の活用現状を把握し、その上で実社会や研究に向けて情報活用能力を養うための演習を行っていく。演習課題を通して学生独自のアイデアをプレゼンテーションやディスカッションする機会を設け、情報発信能力を高めることを目指す。

授業方法と留意点

講義ノートはPDFファイルで配布する。主にプレゼンテーションとディスカッション形式で行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業内容のテーマについて各自が演習課題を決めて、取り組む。その結果をプレゼンテーション形式で議論する。主な授業内容は、以下である。
(1) コンピュータネットワークの基礎知識
(2) 電子ビジネスのプランニングと試作システム
(3) データベースと情報検索
(4) インターネットとWEB統合技術

評価方法・評価基準

出席状況(100%)で評価する。ただし、授業態度が悪い者や演習レポートを提出しない者については減点する場合も有る。

教材等

教科書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。
参考書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

備考

【学生へのメッセージ】
コンピュータやインターネットの使い方を覚えるのではなく、情報技術に対する関心や疑問を持ち、知的探求心を磨く過程で情報理論の重要性を学んでもらいたい。特に予備知識は必要としないが、理解に必要なことは授業で順を追って説明するので，毎回出席を心掛けて欲しい。

演習II
Seminar II

牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

牧野(幸)ゼミは経営学部で心理学を学ぶゼミである。ゼミでは心理学の基礎知識を身につけ，心理学の研究法について学ぶ。その後，自分自身でテーマを探し，心理学の研究ができるようにし，卒業研究をまとめていく。演習Ｉでは，基本的な心理学の知識を身につける。教科書の内容をまとめて，発表しながら担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は，毎回担当者がPP資料を作成し，発表を行う。演習Ⅱでは自分でテーマを決め，文献を購読し，その後，実際に心理学の研究を行ってみる。卒業研究では，演習Ⅱの後半に行った研究を改善するか，新たにテーマを見つけ研究を行い卒業論文をまとめていく。

授業方法と留意点

演習Ⅱでは，経営に関する心理の基礎知識を身につける。前期は自分で文献を選んで購読し，発表する。後期は経営と心理に関する専門書を購読し，その内容をまとめてPPで発表を行なう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ・内容：経営における心理とマーケティング
方法：文献を購読し，その内容をまとめて発表する。
事前・事後課題：事前に予習，事後に復習

評価方法・評価基準

演習中の発表，授業態度，発表課題の評価などで総合的に判断する。

教材等

教科書…前期：授業中に紹介する。
後期：授業中に紹介する。
参考書…授業中に適宜紹介する。

備考

牧野(幸)ゼミは，経営学部で心理学を学ぶゼミである。心理学に興味のある人に来てほしい。特別な情報の技術(プログラミングなど)は必要としないが，確率統計の知識は必要となる。また，プレゼンテーションを行うことが多いため，Word, Excel, PowerPointなどが普通に使える必要がある。何よりも人としての心理を大切にするゼミであるので，“あいさつをする，時間を守る，約束を守る，授業中私語をしない，寝ない”など人としての最低限のマナーは必ず守ること。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　226　　2014/08/21　14:24:33

演習II
Seminar II

針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習では、主に以下の２つの内容について学ぶ。
１．企業のマーケティング活動におけるメディア戦略
２．コンピュータとデータ解析ソフトを使った消費者行動・心理情報の分析
これらの学習を通じて、インターネットや情報端末を使った企業のITマーケティングに関する取り組み及びネットワーク技術に詳しくなり、同時に，高度なデータ解析技術を習得していく。

授業方法と留意点

【すすめ方】
・グループワークによる資料作成、発表が中心（グループ作業に必要な基本的設備については研究室にて準備）
・前半は、消費者行動・心理分析のための理論・技術、後半は、消費者行動・心理情報の分析を行う。
・他学年ゼミ生を含めた合同演習（年2回予定）とゼミ合宿を実施し、ゼミ学生間の交流を深めながら、研究・学習の質を高めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

主に以下の内容に取り組む。
前期：データ解析技術の学習、ネットユーザの行動分析
後期：メディア戦略の理論、事例調査

評価方法・評価基準

出席状況，参加姿勢（発言，資料準備），提出物

教材等

教科書…演習内で指定する
参考書…演習内で紹介する

備考

【学生へのメッセージ】
グループワークが中心ですので、時間や約束事をしっかり守って誠実に取り組んでください。

演習II
Seminar II

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミでは「付加価値のマネジメント」についての研究・教育を行います。
企業の活動で最も重要なことは、付加価値をつける行動（オペレーション）で、これにはハードウェアの製造だけでなく、ソフトウェアや販売・物流・観光などの各種サービスも対象に含まれます。演習や卒業研究を通じて、このような活動を合理的に行い、高い価値を与えるためのさまざまな理論や手法を学び、企業で活躍できるための基礎力を養います。

授業方法と留意点

３年次のゼミでは、個人あるいはグループで「企業の付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを１年間にわたり実施しますので、休まないようにしてください。長期休暇期間などに行う事業所や工場などの見学にも積極的に参加してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

３年次の演習では、個人あるいはグループごとに対象となる企業数社を選び、それらの企業の「付加価値創造のプロセス」について調査し、順次発表するというステップを１年間にわたり実施します。それらを通じて生産やサービスのマネジメントに関わるさまざまな知識や方法を学びます。さらに、キャリア形成に向けて、長期休暇期間などを活用して各種の事業所や工場などの見学も行います。

評価方法・評価基準

まずは調査・研究し、その結果を発表することが必要です。そして見学などを含んだ最終レポートを提出することとあわせて総合的に評価します。

教材等

教科書…毎回、必要な内容を含んだハンドアウト（プリント）を配布します。
参考書…授業中に適切な参考書を推薦します。

演習II
Seminar II

栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

栢木ゼミでは、高度情報化社会と言われる社会へのIT（情報技術）の積極的な導入によって、産業や生活環境がどのように変化してきたのかを考え、これからのITの在り方について探っていく。コンピュータやインターネットに代表されるITが、生活のあらゆる場面で取り入れられるようになり、生活が豊かになるとともに、情報セキュリティなどの新たな問題が生じてきている。こうした時代にあっては、ITをいかにして取り入れ、問題点を理解した上で、生活の一部として活用していくかが重要となってくる。そのために、社会の様々な分野でITがどのように取り入れられ活用されているのかについて、現状分析を通じて明らかにし、新たな活用の可能性を見出していかなければならない。
こうした活動をスムーズに進めるためには、ITに関する技能だけでなく、経営手法や統計手法についての知識も必要となる。これらの手法について積極的に学んでいこうという姿勢が必要となる。また、コンピュータを自身の目的に応じた道具として活用していこうという意識も求められる。
ゼミ活動の基本としては、自ら課題を設定し、課題の解決方法を資料や文献を読みながら考えることで、問題解決能力の習得を目指すことである。また、工場見学など学外での活動も随時取り入れていく予定である。

授業方法と留意点

ゼミでの活動は、社会に出てからも大いに役に立ちます。技能の習得だけでなく、どのようなことに対しても常に考えることを意識し、多くの経験を身につけてください。ゼミへの自主的な参加と積極的な提案を期待します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業研究に結び付く研究テーマを決定し、研究テーマに関する事例研究、問題調査、解決方法の提案を行う。類似の研究テーマを持つ学生同士でグループを形成し、グループによる共同活動を通して、より深い洞察力と客観的な視点を身につけることを目指す。

評価方法・評価基準

提出課題（40%）、演習への参加状況（60%）をもとに総合的に評価する。

教材等

教科書…演習中に指定する。
参考書…演習中に適宜紹介する。

演習II
Seminar II

山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本ゼミでは、大きく2つのテーマに沿って学習していく。1つは「仕事、労働、職業を主題とした社会学的研究」である。なぜ人は働くのか、働くことは人々にとってどのような意味をもつのか、などについてじっくり考えていく。もう1つは「社会調査に関わる種々の知識・技術」である。様々な場面で求められる「調査」の能力の獲得を目指す。

授業方法と留意点

テキスト等の読解（要約の報告、それをもとにした全体での議論）
データ収集や分析の実習
論文やレポートの書き方についての指導
学生の希望があれば学外でのフィールドワークも設ける

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ・内容】
仕事・労働・職業に関する社会学的研究
古典研究
【方法】
担当者による報告、全体での議論
【事前・事後課題】
適宜指示する

評価方法・評価基準

授業への参加状況（出席、発言、資料）50%、提出物50%

教材等

教科書…授業時に指示する。
参考書…授業時に指示する。

備考

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　227　2014/08/21　14:24:33

卒業研究において自らの関心に基づいた研究を存分におこなえるよう、必要な知識を獲得したい。

演習II
Seminar II

岩　田　　浩（イワタ　ヒロシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
各人の問題意識に沿って研究を行います。そこにおいて、論文の書き方や研究の深め方について学習する。

授業方法と留意点
オープンな討論を中心とした演習スタイルをとる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
各人が図書館やインターネットで調べたテーマに従って報告してもらいます。それをゼミ生全員で議論することにより、各人の研究能力を高めます。

評価方法・評価基準
出席を重視し、報告の内容や討論への参加を総合的に判断します。

教材等
教科書…未定
参考書…なし

備考
【学生へのメッセージ】

演習II
Seminar II

武　居　奈緒子（タケスエ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
マーケティングについて、理論面と実態面の両側面から理解を深めることを目的とする。２回生で習得した専門用語、概念をさらに深化させていくとともに、実態分析にも力をそそいでいく。

授業方法と留意点
演習で与えられた問題・課題について、真摯に取り組み、充実した大学生活にしていきましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
ゼミで与えられた課題には、真摯に取り組むように。

評価方法・評価基準
授業態度、授業への参加度・貢献度などにより総合的に評価します。

教材等
教科書…ゼミ時に指示する。
参考書…その都度、指示します。

演習II
Seminar II

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
ゼミでは、研究活動を通じて、実践力の高い情報技術と専門知識の修得、グループでの取組みによる人間力の向上、ならびに、課題設定から問題解決へとつなげる統合力の養成を目指す。また、総合的な研究・教育を目指すために、自治体、地元企業、団体などと積極的に交流を行い、活動の場を広げる。
演習Iでは、プレゼンテーションの実習や、関連する文献の分析、文章作成のルールについて学ぶ。
演習IIの前半では、研究テーマに関する調査や課題設定、および、その解決策の検討や実習を行い、協調作業の重要性や研究活動の意義を学ぶ。
後半は、前半の経験を活かして、さらなる研究テーマの追究と卒業研究の準備として必要な調査、議論を行う。
そして、卒業研究において、大学４年間で学んだ知識や技術に裏付けられた主張を示し、研究論文、または、卒業制作としてまとめる。
ゼミでは、研究という最高の知的活動を通じて、人としての成長を遂げることを目的としている。

授業方法と留意点
地域での実践や外部の評価を受けることを念頭に置いて、調査活動や製作活動を行う。また、活動の内容を正確に伝えるための文章力やプレゼンテーション能力の充実を図る。
卒業研究のテーマにつなげる学習を展開し、専門科目への興味を高めることも目的に含まれる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
演習IIでは、卒業研究で取り扱うテーマを選定したり、実践的な課題に挑戦するための技術的な学習のためにグループによる輪読やプログラミング実習、および、発表を前半で行う。研究の技術を身に付けた上で、卒業研究を遂行するために必要となる専門知識の修得を目指す。後半は、個人、グループにわかれて、卒業研究のテーマを選定し、研究の背景・意義・計画について、発表、議論を行う。

評価方法・評価基準
演習中の発表内容、議論での積極性と内容を中心に評価する。
発表内容や活動内容70%、その他30%

教材等
教科書…なし
参考書…各自の研究テーマに応じて選定する。

備考
【学生へのメッセージ】
ゼミでの活動においては、知識、技術、そして、心を鍛えていきます。自らが「経営情報」の最先端で学んでいる者として誇りを持って、課題に挑んでください。

卒業研究
Senior Thesis

岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
2008年の金融危機は米国のサブプライムローンという住宅ローンに端を発している。巨大国家米国とはいえ、一国家の住宅ローンの問題、さらに言えばサブプライムローンは全住宅ローンの一部に過ぎず、その一国家の一部の住宅ローン問題が、世界のあらゆる国の経済に損失をもたらした。この問題を通して我々は如何に金融が身近な存在であるのかを改めて痛感させられた。
　本演習では主として金融問題を扱い、学生諸君自身がこれらを解き明かすことを目的とする。扱うテーマは、例えば資金の借り手としての企業や貸し手としての銀行、また証券会社、格付け機関といった金融市場のプレイヤーから、株式・債券市場といったマクロ的な金融市場を取り上げても良い。また、マクロ金融政策やプルーデンス政策など政策的観点からテーマを選んでも良い。
　ただし、本演習の論文作成においては、論理・理論に基づくことは言うまでもないが、さらにそれらを支えるデータや統計学的手法、同時にパソコンを駆使する傾向が強くなる。したがって本演習を希望する学生には、入門水準でよいので、できうる限りこれらの知識を習得しておいて欲しい。そして何より、ヤル気や積極性が重要である。テーマ選定や演習の運営については学生諸君に任せるという意味で自由だがその反面、積極的な参加姿勢が求められると思っておいて欲しい。

授業方法と留意点
演習は基本的に学生による討論・プレゼンテーション形式で進める。プレゼンテーションの準備をする人はいうまでもないが、プレゼンテーションを聞いている学生にも積極性を求める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
卒業研究の完成を目標する。

評価方法・評価基準
学習状況(40%)、プレゼンテーションの出来栄えなど(60%)を元に総合的に評価する。

教材等
教科書…別途指示する
参考書…別途指示する

備考
【学生へのメッセージ】
昨今の就職状況を鑑み、本演習では卒業論文の作成を前倒しに行う。したがって、演習の進捗状況は通常よりも早く、少々、キツイかもしれず、その点、覚悟願う。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　228　　2014/08/21　14:24:33

卒業研究
Senior Thesis

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

目標：様々な社会事象、ビジネスにおける諸問題から最も関心のあるテーマを選定し、卒研の研究課題として確定させる。

概要：今日の社会は情報化・少子高齢化・グローバル化の波を受け、様々な課題を抱えている。卒研はこれらの課題に答えていくテーマが望ましい。また、一度決めたテーマは結論が見えるまで変更しないこと。

授業方法と留意点

研究テーマの設定には様々な知識や情報が不可欠である。必要な情報や知識は散逸しないように整理しまとめておく。また、ゼミ時間で発表することで研究に対する視点を広げてほしい。ゼミ生は互いの研究について関心をもち、いろんなアイディアや意見の交換を積極的に行うこと。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒研は独りで行うものではなく、他のゼミ生の協力を得て仕上げるものである。あらゆる機会に自分の考えを発表し、他のゼミ生から意見を聞くという姿勢で臨むこと。何よりも大事なことは収集した資料やデータを整理し、そこで明らかにされた事柄を他のゼミ生に発表することである。論文の最後には謝辞を付記する。

評価方法・評価基準

卒業研究の成果と卒研発表におけるプレゼンテーションにもとづいて、総合的に評価する。

教材等

教科書…指定しない。

参考書…研究テーマに応じて随時必要な文献や図書を紹介する。卒業してからも振り返ることができるように、研究活動のスケジュールをまとめておくこと。

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミ授業は、調査や実験あるいは研究課題に応じて、授業時間外に、学外に出て行われる場合がある。

卒業研究
Senior Thesis

三　木　僚　祐（ミキ　リョウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本授業では、演習Ⅰおよび演習Ⅱで学んだことを踏まえて、管理会計領域の卒業研究論文を作成してもらう。論文の作成過程で、管理会計に対する理解を深め、また問題発見能力・問題解決能力についても養ってもらう。

授業方法と留意点

毎回の授業において、資料を作成の上、各自の研究の進捗状況について報告してもらう。報告後、研究の進め方について議論を行う。

最初の授業の日までに、卒業研究論文の論題、目次までを各自決めておくこと。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

夏休み明けまでには、一通り論文を書き上げてもらい、後期は、論文の細かい修正を行っていく。また、卒業研究論文完成後、その内容について発表会を行う。

評価方法・評価基準

授業態度、授業中の発言、卒業論文の内容などを総合的に考慮して評価する。

教材等

教科書…特になし。

参考書…特になし。

備考

【学生へのメッセージ】

授業の無断欠席や遅刻は認めません。授業には、真剣に取り組んで下さい。また、授業中は、積極的に発言することを期待します。演習参加者全員の努力で、演習での学びを、充実した実りのあるものにしましょう。

卒業研究
Senior Thesis

岩　田　　浩（イワタ　ヒロシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

個人別の卒業研究指導を行うことで、卒業論文の完成をめざす。

授業方法と留意点

【授業内容】

３年次末に提出した卒研課題について、各人の個人発表を行う。ゼミの中で研究を報告し、仲間から意見をもらい、さらに研究を深めることにより、卒研を進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業論文の完成に向けて、個人別に指導していく。適宜、中間報告の発表会も行う予定である。

評価方法・評価基準

ゼミでの報告と最終論文を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】

卒業研究
Senior Thesis

牧　野　　純（マキノ　ジュン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

[授業概要]

コンピュータサイエンスのゼミである．

コンピュータは人類の英知の結晶とも言えるもので，パソコン１台の中にも，実にさまざまなアイデアが生かされている．こうしたアイデアを開発し，応用していくのがコンピュータサイエンスである．

このゼミではコンピュータのハードウェア・ソフトウェアを通じて幅広い知識を習得し，プログラミング等の技能を身につけると同時に，こうしたアイデアを正しく理解する．

[目的]

コンピュータ・情報技術のエキスパートを目指す．

情報技術の発展は目覚しく，今日の知識も明日は古くなっているかも知れないという状況である．したがって，情報技術のエキスパートは，常に自分の知識や技能を更新し，高めていく必要がある．その際に必要なのが個々の知識や技術を有機的に関連付け，統合する能力であり，それは背景にあるアイデアの理解によってはじめて得られる．

このゼミでは，コンピュータ・情報技術に関する個々の「知識」や「技能」の習得に止まらず，それらを統合的に捉え，発展させていくために必要な「理解」を得ることを目的とする．

授業方法と留意点

講義と実習，レポーターによる発表とそれに対する質疑応答の両形式で進める．

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[授業テーマ]

コンピュータと情報に関する基礎的な知識と技能を習得する．

[内容]

各自の選択したテーマについて研究を進め，卒業論文を作成する．

評価方法・評価基準

平常の学習状況，報告内容，レポートなどにより総合的に評価する．

教材等

教科書…授業中に指示する．

参考書…授業中に指示する．

備考

【学生へのメッセージ】

プログラミングは作曲や，楽器の演奏，絵を描いたりするのと同様な知的創造活動です．皆さんにもプログラミングの喜びを知ってほしいと思います．ただし，楽器の練習と同様，基礎的な技能をコツコツと高めていく必要があります．

また，ゼミでは全員が積極的に議論に参加し，意見等を述べることが求められます．そのためにはレポーターだけでなく，全員が十分な準備をしてゼミに臨む必要があります．

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　229　2014/08/21　14:24:34

卒業研究
Senior Thesis

武　居　奈緒子（タケスエ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

各自選定したテーマに基づいて、卒業論文の作成・指導を行います。卒業論文は、各自がテーマを設定し、文献・資料を収集し、論文を完成させていきます。授業では、調べた内容を発表してもらって、意見交換しながら、内容面・形式面の充実を図っていきます。

並行して、定期的に卒業論文経過報告書を提出してもらって、各人の進捗状況に応じて、個別指導も行います。

授業方法と留意点

卒業論文の作成に真摯に取り組み、４年間の大学生活の集大成をしましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業論文の完成度を高めていきます。

評価方法・評価基準

ゼミでの報告と最終論文を総合的に評価して決定します。

教材等

教科書…その都度、指示します。
参考書…その都度、指示します。

卒業研究
Senior Thesis

堀　井　千　夏（ホリイ　チナツ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

21世紀は、コンピュータとインターネットを始めとするＩＴ（情報技術)が 社会活動全般にわたって革命的な変化を起す時代である。このＩＴ時代の実社会で活躍するには「情報リテラシー(情報活用能力)」を磨くことが必要不可欠である。本演習では、実践に向けた情報活用能力を養うための情報技術や理論を習得することが目的である。ここでいう情報活用能力とは、情報機器を操作する能力だけでなく、情報ネットワークを活用して必要な情報を効率よく収集・整理・加工・管理・伝達し、さらには新たな情報を発信する能力を指す。大学教育においては、専門分野の研究における「情報収集(サーベイ)」、「情報の加工(構造化)」、「情報の発信(デザイン化)」といった一連の研究過程が情報活用能力を発揮する場といえるであろう。そこで、高度情報化社会におけるインターネット情報の活用現状を把握し、その上で実社会や研究に向けて情報活用能力を養うための演習を行っていく。演習課題を通して学生独自のアイデアをプレゼンテーションやディスカッションする機会を設け、情報発信能力を高めることを目指す。

授業方法と留意点

卒業論文の作成と就職活動について個別に指導していく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

演習Iおよび演習IIで取り組んだ問題をさらに専門的な視点から解析する。この結果を卒業論文としてまとめる。

評価方法・評価基準

卒業論文(100%)で評価する。ただし、卒業論文の添削を受けない者については減点する。

教材等

教科書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。
参考書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

備考

【学生へのメッセージ】
コンピュータやインターネットの使い方を覚えるのではなく、情報技術に対する関心や疑問を持ち、知的探求心を磨く過程で情報理論の重要性を学んでもらいたい。特に予備知識は必要としないが、理解に必要なことは授業で順を追って説明するので，毎回出席を心掛けて欲しい。

卒業研究
Senior Thesis

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミでは、研究活動を通じて、実践力の高い情報技術と専門知識の修得、グループでの取組みによる人間力の向上、ならびに、課題設定から問題解決へとつなげる統合力の養成を目指す。また、総合的な研究・教育を目指すために、自治体、地元企業、団体などと積極的に交流を行い、活動の場を広げる。
演習Iでは、プレゼンテーションの実習や、関連する文献の分析、文章作成のルールについて学ぶ。
演習IIの前半では、研究テーマに関する調査や課題設定、および、その解決策の検討や実習を行い、協調作業の重要性や研究活動の意義を学ぶ。
後半は、前半の経験を活かして、さらなる研究テーマの追究と卒業研究の準備として必要な調査、議論を行う。
そして、卒業研究において、大学４年間で学んだ知識や技術に裏付けられた主張を示し、研究論文、または、卒業制作としてまとめる。
ゼミでは、研究という最高の知的活動を通じて、人としての成長を遂げることを目的としている。

授業方法と留意点

適宜、全員進捗状況を報告する。中間報告、経過報告での議論とブラッシュアップを重視すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

大学における学びの集大成として、卒業研究もしくは卒業制作をおこなう。演習I・演習IIを通じて身に付けた専門知識を体系化し、自らが定めたテーマに関して研究を進める。研究、制作の成果は、卒業研究発表会において報告し、卒業研究論文を作成する。

評価方法・評価基準

卒業研究論文の内容（中間報告、発表会、報告書のすべてを満たしていることが条件）
研究内容80％、その他20％

教材等

教科書…なし
参考書…各自の研究テーマに応じて選定する。

備考

ゼミでの活動においては、知識、技術、そして、心を鍛えていきます。自らが「経営情報」の最先端で学んでいる者として誇りを持って、課題に挑んでください。

卒業研究
Senior Thesis

牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

牧野(幸)ゼミは経営学部で心理学を学ぶゼミである。ゼミでは心理学の基礎知識を身につけ，心理学の研究法について学ぶ。その後，自分自身でテーマを探し，心理学の研究ができるようにし，卒業研究をまとめていく。演習Ｉでは，基本的な心理学の知識を身につける。教科書の内容をまとめて，発表しながら担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は，毎回担当者がPP資料を作成し，発表を行う。演習Ⅱでは自分でテーマを決め，文献を購読し，その後，実際に心理学の研究を行ってみる。卒業研究では，演習Ⅱの後半に行った研究を改善するか，新たにテーマを見つけ研究を行い卒業論文をまとめていく。

授業方法と留意点

卒業研究では，経営における心理，消費者心理，人間関係などに関するテーマを自分で決め，前期は文献を購読してまとめる。後期は，テーマに関する研究を実験，調査，面接などの手法を用いて実施していく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ・内容：経営における心理，消費者心理，マーケティングなど
方法：各自のテーマの文献を購読し，研究を進める。
事前・事後課題：事前に予習，事後に復習

評価方法・評価基準

演習中の発表，授業態度，発表課題の評価などで総合的に判断する。

教材等

教科書…前期：授業中に紹介する。
後期：授業中に紹介する。
参考書…授業中に適宜紹介する。

備考

牧野(幸)ゼミは，経営学部で心理学を学ぶゼミである。心理学に興味のある人に来てほしい。特別な情報の技術(プログラミングなど)は必要としないが，確率統計の知識は必要となる。また，プレゼンテーションを行うことが多いため，Word, Excel, PowerPointなどが普通に使える必要がある。何よりも人としての心理を大切にするゼミであるので，“あいさつをする，時間を

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　230　2014/08/21　14:24:34

守る，約束を守る，授業中私語をしない，寝ない”など人としての最低限のマナーは必ず守ること。

卒業研究
Senior Thesis

針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習では、主に以下の２つの内容について学ぶ。
１．企業のマーケティング活動におけるメディア戦略
２．コンピュータとデータ解析ソフトを使った消費者行動・心理情報の分析
これらの学習を通じて、インターネットや情報端末を使った企業のITマーケティングに関する取り組み及びネットワーク技術に詳しくなり、同時に，高度なデータ解析技術を習得していく。

授業方法と留意点

【授業内容】
１）各自が定めたテーマについて研究し，その発表を行う
２）卒業論文を作成する

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒論のための個別研究テーマについて取り組む。

評価方法・評価基準

提出物、発表内容

教材等

教科書…演習内で指定する
参考書…演習内で紹介する

備考

【学生へのメッセージ】
就職活動と合わせて計画的にすすめてください。

卒業研究
Senior Thesis

栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

栢木ゼミでは、高度情報化社会と言われる社会へのIT（情報技術）の積極的な導入によって、産業や生活環境がどのように変化してきたのかを考え、これからのITの在り方について探っていく。コンピュータやインターネットに代表されるITが、生活のあらゆる場面で取り入れられるようになり、生活が豊かになるとともに、情報セキュリティなどの新たな問題が生じてきている。こうした時代にあっては、ITをいかにして取り入れ、問題点を理解した上で、生活の一部として活用していくかが重要となってくる。そのために、社会の様々な分野でITがどのように取り入れられ活用されているのかについて、現状分析を通じて明らかにし、新たな活用の可能性を見出していかなければならない。
こうした活動をスムーズに進めるためには、ITに関する技能だけでなく、経営手法や統計手法についての知識も必要となる。これらの手法について積極的に学んでいこうという姿勢が必要となる。また、コンピュータを自身の目的に応じた道具として活用していこうという意識も求められる。
ゼミ活動の基本としては、自ら課題を設定し、課題の解決方法を資料や文献を読みながら考えることで、問題解決能力の習得を目指すことである。また、工場見学など学外での活動も随時取り入れていく予定である。

授業方法と留意点

ゼミでの活動は、社会に出てからも大いに役に立ちます。技能の習得だけでなく、どのようなことに対しても常に考えることを意識し、多くの経験を身につけてください。ゼミへの自主的な参加と積極的な提案を期待します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自が定めた研究テーマに基づいて、文献調査を行いながら研究内容を絞り込み、卒業論文を完成させる。その際、演習1・2を通じて身につけた専門知識を取り入れながら、各自工夫して研究を進める。就職活動も伴うため、効率良い作業を求める。

評価方法・評価基準

提出課題（40%）、演習への参加状況（60%）をもとに総合的に評価する。

教材等

教科書…演習中に指定する。
参考書…演習中に適宜紹介する。

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd　231　2014/08/21　14:24:34

167-232_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-01_専門科目.indd 232 2014/08/21 14:24:34

英語Ⅰa
English Ia

西　谷　継　治（ニシタニ　ケイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	4	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

高校までに学習した英文法の復習と同時に、それに関連するTOEICテストのテーマの学習を通して、TOEICテストに慣れ親しむ。授業では４技能のうち特にリーディング力、リスニング力の向上に力を入れる。語彙については補助テキストから単語テストを行う。

教科書は実際に報道された英字新聞の記事を用いたもので、教育・文化・科学・天災・スポーツと多岐にわたる、最新の話題を含む。受講生は、時事問題に触れると同時に国際感覚を養ってほしい。英文も大学生にふさわしいレベルとなっており、実践的、総合的な英語の運用能力の訓練になるだろう。

授業方法と留意点

１回の授業で、教科書の1Unitを学習する。教科書については、本文の和訳だけでなく、文法事項の復習、語彙の習得にも重点を置く。必要に応じてプリント等（教員から配布）も使用する。毎回の授業時間内(終了前)に質問時間をとるので、積極的に活用してほしい。授業の前後には、必ず予習、復習することが必要である。

大体5課ごとに理解度を確認するために小テストを行う。授業の冒頭で、TOEIC対策として単語テストも行う。授業にはできるだけ辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）

さまざまな分野の優れた英文に触れ、視野を広げる。
文法力と読解力を向上させる。
TOEICテストに慣れ親しむ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の進め方、予習・復習の内容、成績の基準、受講にあたっての心構えなどについて説明する。また、教科書の構成を紹介する。
【事前・事後学習課題】　教科書Unit 1の予習。

第２回　**【授業テーマ】**　Unit 1 Willingness to support quake-hit areas fading
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P.1-6
単語：NO.1-30

第３回　**【授業テーマ】**　Unit 2 Career education
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 7-12
単語：NO.21-50

第４回　**【授業テーマ】**　Unit 3 Leaf worries behind with LED vegetables
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 13-18
単語：NO.41-70

第５回　**【授業テーマ】**　Unit 4 Mental effects of bullying linger for years
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 19-24
単語：NO.61-90

第６回　**【授業テーマ】**　Unit 5 Miyagi high school girl to speak at U.N.
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 25-30
単語：NO.81-110

第７回　**【授業テーマ】**　教科書 Unit 1-5　テスト
【内容・方法　等】　Unit 1～5までの内容について小テストを行う。
【事前・事後学習課題】　Unit 1-5 テスト勉強

第８回　**【授業テーマ】**　中間試験解説及び評
【内容・方法　等】　演習
【事前・事後学習課題】　単語：NO.101-130

第９回　**【授業テーマ】**　Unit 6　Japanese eel now endangered
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P.　31-36
単語：NO.121-150

第10回　**【授業テーマ】**　Unit 7　Soaking up the benefits of onsen
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 37-42
単語：NO.141-170

第11回　**【授業テーマ】**　Unit 8　New English paper to debut April 1
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 43-48
単語：NO.161-190

第12回　**【授業テーマ】**　Unit 9 GIRL POWER
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 49-54
単語：NO.181-210

第13回　**【授業テーマ】**　Unit 10 For a tasty deal, pay your 'hometown taxes'
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：P. 55-60
単語：NO.201-230

第14回　**【授業テーマ】**　教科書　Unit 6-10 復習
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書復習
【事前・事後学習課題】　Unit 6-10 復習
単語：NO.221-248

第15回　**【授業テーマ】**　教科書Unit 6-10 テスト
【内容・方法　等】　Unit 6～10までの内容について小テストを行う。
【事前・事後学習課題】　Unit 6-10 テスト勉強

評価方法（基準）

出席は毎回とり、4回以上欠席した場合は単位を認定しない。教科書に関して各学期中に合計2回の小テストを行い、定期試験は実施しない。成績は、予習状況を含む平常点(30％)、TOEIC単語テスト(30％)、小テスト(40％)、で評価する。

教材等

教科書…教科書：若有保彦、「Meet the World: English through Newspapers 2014 メディアで学ぶ日本と世界」(￥2,000)
補助テキスト：「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」（￥1,700）

参考書…特になし

学生へのメッセージ

この授業では幅広い話題に触れます。身近な話題でも、じっくりと英語で読むと新しい発見があるはずです。予習・復習を欠かさず、積極的に取り組んでくれることを期待しています。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

英語Ⅰb
English I

西　谷　継　治（ニシタニ　ケイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	4	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

高校までに学習した英文法の復習と同時に、それに関連するTOEICテストのテーマの学習を通して、TOEICテストに慣れ親しむ。授業では４技能のうち特にリーディング力、リスニング力の向上に力を入れる。語彙については補助テキストから単語テストを行う。

教科書は実際に報道された英字新聞の記事を用いたもので、教育・文化・科学・天災・スポーツと多岐にわたる、最新の話題を含む。受講生は、時事問題に触れると同時に国際感覚を養ってほしい。英文も大学生にふさわしいレベルとなっており、実践的、総合的な英語の運用能力の訓練になるだろう。

授業方法と留意点

１回の授業で、教科書の1課分を学習する。教科書については、本文の和訳だけでなく、文法事項の復習、語彙の習得にも重点を置く。必要に応じてプリント等（教員から配布）も使用する。毎回の授業時間内(終了前)に質問時間をとるので、積極的に活用してほしい。授業の前後には、必ず予習、復習することが必要である。

大体5課ごとに理解度を確認するために小テストを行う。授業の冒頭で、TOEIC対策として単語テストも行う。授業にはできるだけ辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）

さまざまな分野の優れた英文に触れ、視野を広げる。
文法力と読解力を向上させる。
TOEICテストに慣れ親しむ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　Unit 11 Samurai spirit
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：　P.61-66
単語：　NO.387-416

第２回　**【授業テーマ】**　Unit 12 Roundabouts hit the streets
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：　P.67-72
単語：　NO.397-426

第３回　**【授業テーマ】**　Unit 13 Author Kanako Nishi talks about her novels and the stories
ehind them
【内容・方法　等】　単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】　教科書：　P.73-78
単語：　NO.407-436

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　235　2014/08/21　14:24:48

第４回　【授業テーマ】 Unit 14 For passwords, 1 is risky game
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.79-84
単語：　NO.417-446
第５回　【授業テーマ】 Unit 15 Ideal teacher is not human but alien in manga
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.85-90
単語：　NO.427-456
第６回　【授業テーマ】 Unit 11-15 総復習
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：
単語：　NO.437-466
第７回　【授業テーマ】 中間テスト
【内容・方法　等】 Unit 11～15までの内容についてテスト
【事前・事後学習課題】 教科書：
単語：　NO.447-476
第８回　【授業テーマ】 中間試験解説及び評
【内容・方法　等】 中間試験の詳しい解説
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.
単語：　NO.457-486
第９回　【授業テーマ】 Unit 16 Train passengers joined in saving woman
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P. 91-96
単語：　NO.467-496
第10回　【授業テーマ】 Unit 17 Rental boyfriend service becomes hot in China
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.97-102
単語：　NO.477-506
第11回　【授業テーマ】 Unit 18 Teachers turn to movies to enhance English classes
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.103-108
単語：　NO.487-516
第12回　【授業テーマ】 Unit 19 Man, 101, finishes last race in H.K.
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.109-114
単語：　NO.497-526
第13回　【授業テーマ】 Unit 20　Voters unimpressed by Internet campaign
【内容・方法　等】 単語小テスト及び教科書演習
【事前・事後学習課題】 教科書：　P.115-120
単語：　NO.507-523
第14回　【授業テーマ】 Unit16-20 総復習
【内容・方法　等】 Unit16-20 総復習
【事前・事後学習課題】 教科書Unit 16～20までの復習
第15回　【授業テーマ】 Unit 16-20 テスト
【内容・方法　等】 Unit 16～20までの内容についてテストを行う
【事前・事後学習課題】 Unit16-20 テスト勉強

評価方法（基準）
出席は毎回とり、4回以上欠席した場合は単位を認定しない。教科書に関して各学期中に合計2回の小テストを行い、定期試験は実施しない。成績は、予習状況を含む平常点(30%)、TOEIC単語テスト(30％)、小テスト(40%)、で評価する。

教材等
教科書…教科書：若有保彦、「Meet the World: English through Newspapers 2014 メディアで学ぶ日本と世界」(￥2,000)
補助テキスト：「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book」（￥1,700）
参考書…特になし

学生へのメッセージ
この授業では幅広い話題に触れます。身近な話題でも、じっくりと英語で読むと新しい発見があるはずです。予習・復習を欠かさず、積極的に取り組んでくれることを期待しています。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

英語IIａ
English IIa

谷　脇　康　子（タニワキ　ヤスコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
高校までに学習した文法の確認と、語彙・聞き取り・読解の各技能をさらに向上させ、バランスのとれた英語の総合力をアップさせる。

授業方法と留意点
授業開始時に単語テスト実施。
授業は、テキストに則した作業用紙による演習形式で行う。毎時授業の理解度をはかる小テストを課す。授業中は作業・演習に集中することが求められる。授業には辞書必携。

科目学習の効果（資格）
TOEIC

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 動詞の現在形　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
【事前・事後学習課題】 関連問題英作文提出
授業確認テスト
第２回　【授業テーマ】 代名詞　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(1)　NO714-734
【事前・事後学習課題】 単語テスト(1)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第３回　【授業テーマ】 進度調整　(第１回・２回)
【内容・方法　等】 第１回・２回の授業で網羅できなかった点の確認
単語テスト(2)　NO735-760
【事前・事後学習課題】 単語テスト(2)の準備
授業確認テスト
第４回　【授業テーマ】 時を表す前置詞　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(3)　NO761-783
【事前・事後学習課題】 単語テスト(3)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第５回　【授業テーマ】 基本５文型　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(4)　NO784-808
【事前・事後学習課題】 単語テスト(4)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第６回　【授業テーマ】 進度調整(第４回・５回)
【内容・方法　等】 第４回・５回の授業で網羅できなかった点の確認
単語テスト(5)　NO809-831
【事前・事後学習課題】 単語テスト(5)の準備
授業確認テスト
第７回　【授業テーマ】 前半期(第１回～６回）授業の復習
【内容・方法　等】 補助プリントによる復習と確認
【事前・事後学習課題】 次回中間考査に向けた試験勉強
前半期の授業でわからなかった点をまとめておく。
第８回　【授業テーマ】 前半期（第１回～７回）授業内容についての質問・回答
中間考査
【内容・方法　等】 前半期(第１回～７回）の授業内容の理解度をはかるテスト
【事前・事後学習課題】 中間考査に向けた試験勉強の徹底
第９回　【授業テーマ】 中間考査返却と解答
動詞の過去形　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(6)　NO832-853
【事前・事後学習課題】 単語テスト(6)の準備
中間考査における自分の誤りを確認・訂正
関連英作文提出
授業確認テスト
第10回　【授業テーマ】 進行形　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(7)　NO854-877
【事前・事後学習課題】 単語テスト(7)の準備
関連英作文提出
授業確認テスト
第11回　【授業テーマ】 進度調整(第９回・１０回)
【内容・方法　等】 第９回・１０回の授業で網羅できなかった点の確認
単語テスト(8)　NO878-902
【事前・事後学習課題】 単語テスト(8)の準備
第12回　【授業テーマ】 未来形　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(9)　NO903-916
【事前・事後学習課題】 単語テスト(9)の準備
関連英作文提出
授業確認テスト
第13回　【授業テーマ】 助動詞　確認と発展
【内容・方法　等】 作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
【事前・事後学習課題】 関連英作文提出
授業確認テスト
第14回　【授業テーマ】 後半期(第９回～１３回）授業の復習

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　236　2014/08/21　14:24:48

【内容・方法　等】 補助プリントによる復習と確認
【事前・事後学習課題】 次回「まとめのテスト」に向けた試験勉強
後半期の授業でわからなかった点をまとめておく。
第15回 【授業テーマ】 後半期（第９回～１４回）授業内容についての質問・回答
まとめのテスト
【内容・方法　等】 後半期（第９回～１４回）の授業の内容の理解度をはかるテスト
【事前・事後学習課題】 まとめのテストに向けた試験勉強の徹底

評価方法（基準）
平常　40%　（単語テスト20%　その他授業関連小テスト20%)
考査　60%　(中間考査・定期試験)
以上による総合評価

教材等
教科書…西谷恒志(著)「学校語彙で学ぶTOEICテスト[単語集]」成美堂(1,700円＋税)
Robert Hickling, 臼倉美里(著)　English First Basic 金星堂(1,900円＋税)
参考書…なし

学生へのメッセージ
授業はリズミカルにテンポよく進行します。一生懸命ついてきてください。

関連科目
英語全般

担当者の研究室等
７号館２階　非常勤講師控室

英語IIｂ
English II

ジェフリー　ロバート　ベル

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
"In class, students will use English to describe and explain experiences and express their opinions about familiar topics and everyday situations.This course is designed to develop the conversational skills of Japanese learners of English."

授業方法と留意点
Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.

科目学習の効果（資格）
・・・

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 Introduction
【内容・方法　等】 Orientation and Self-Introduction
【事前・事後学習課題】 Students should study the content of the day's lesson
第２回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第３回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第４回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第５回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第６回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第７回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第８回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第９回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第10回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第11回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第12回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第13回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第14回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法　等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第15回 【授業テーマ】 Review
【内容・方法　等】 Feedback session
【事前・事後学習課題】 ・・・

評価方法（基準）
授業中の単語テスト・・・30%
最後の授業でのテスト+ワークブック+授業態度・・・70%

教材等
教科書…Get Real! 1 new edition ISBN 978-4-777-36151-9 MACMILLAN LANGUAGEHOUSE
Get Real! 1 new edition Workbook ISBN4-7773-6155-1
参考書…Dictionary

学生へのメッセージ
English is becoming more useful in everyday life. Let's work hard to improve our speaking skills!

関連科目
なし

担当者の研究室等
７号館２階　非常勤講師室

備考
・・・

英語IIｃ
English IIc

谷　脇　康　子（タニワキ　ヤスコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
高校までに学習した文法の確認と、語彙・聞き取り・読解の各技能をさらに向上させ、バランスのとれた英語の総合力をアップさせる。

授業方法と留意点
授業開始時に単語テスト実施。
授業は、テキストに則した作業用紙による演習形式で行う。毎時授業の理解度をはかる小テストを課す。授業中は作業・演習に集中することが求められる。授業には辞書必携。

科目学習の効果（資格）
TOEIC

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 授業ガイダンス
腕試し　文法・語彙診断テスト
【内容・方法　等】 担当者作成の初回クイズ
解答と解説
【事前・事後学習課題】 初回クイズ、自分の解答の誤り訂正と確認

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　237　2014/08/21　14:24:48

第２回　【授業テーマ】　不定詞と動名詞　確認と発展
【内容･方法　等】　作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(1)　NO1091-1112
【事前･事後学習課題】　単語テスト(1)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第３回　【授業テーマ】　現在完了　確認と発展
【内容･方法　等】　作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(2)　NO1113-1137
【事前･事後学習課題】　単語テスト(2)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第４回　【授業テーマ】　進度調整　(第２回・３回)
【内容･方法　等】　第２回・３回の授業で網羅できなかった点の確認
単語テスト(3)　NO1138-1161
【事前･事後学習課題】　単語テスト(3)の準備
授業確認テスト
第５回　【授業テーマ】　接続詞　確認と発展
【内容･方法　等】　作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(4)　NO1162-1176
【事前･事後学習課題】　単語テスト(4)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第６回　【授業テーマ】　比較　確認と発展
【内容･方法　等】　作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(5)　NO1177-1201
【事前･事後学習課題】　単語テスト(5)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第７回　【授業テーマ】　進度調整(第５回・６回)
【内容･方法　等】　第５回・６回の授業で網羅できなかった点の確認
単語テスト(6)　NO1202-1224
【事前･事後学習課題】　単語テスト(6)の準備
授業確認テスト
第８回　【授業テーマ】　前半期(第２回～７回）授業の復習
【内容･方法　等】　補助プリントによる復習と確認
【事前･事後学習課題】　次回中間考査に向けた試験勉強
前半期（第２回～７回）の授業でわからなかった点をまとめておく。
第９回　【授業テーマ】　前半期（第２回～８回）授業内容についての質問・回答
中間考査
【内容･方法　等】　前半期(第２回～８回）の授業内容の理解度をはかるテスト
【事前･事後学習課題】　中間考査に向けた試験勉強の徹底
第10回　【授業テーマ】　中間考査返却と解答
受動態　確認と発展
【内容･方法　等】　作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(7)　NO1225-1248
【事前･事後学習課題】　単語テスト(7)の準備
中間考査における自分の誤りを確認・訂正
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第11回　【授業テーマ】　現在分詞・過去分詞　確認と発展
【内容･方法　等】　作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
単語テスト(8)　NO1249-1272
【事前･事後学習課題】　単語テスト(8)の準備
関連問題英作文提出
授業確認テスト
第12回　【授業テーマ】　進度調整(第１０回・１１回)
【内容･方法　等】　第１０回・１１回の授業で網羅できなかった点の確認
単語テスト(9)　NO1273-1296
【事前･事後学習課題】　単語テスト(9)の準備
授業確認テスト
第13回　【授業テーマ】　関係詞　確認と発展
【内容･方法　等】　作業用紙による聞き取り・文法・読解演習
【事前･事後学習課題】　関連英作文提出
授業確認テスト
第14回　【授業テーマ】　第１３回授業の補充
【内容･方法　等】　第１３回の授業で網羅できなかった点の確認
補助プリントによる復習と確認
【事前･事後学習課題】　次回「まとめのテスト」に向けた試験勉強
後半期（第１０回～１３回）の授業でわからなかった点をまとめておく。
第15回　【授業テーマ】　後半期(第１０回～１４回）授業の復習、授業内容についての質問と回答
まとめのテスト
【内容･方法　等】　後半期（第１０回～１５回）の授業の内容の理解度をはかるテスト
【事前･事後学習課題】　まとめのテストに向けた試験勉強の徹底

評価方法（基準）
平常　40%　（単語テスト20%　その他授業関連小テスト20%)
考査　60%　(中間考査・まとめのテスト)
以上による総合評価

教材等
教科書…西谷恒志(著)「学校語彙で学ぶTOEICテスト[単語集]」成美堂(1,700円＋税)
Robert Hickling, 臼倉美里(著) English First Basic 金星堂(1,900円＋税)
参考書…なし

学生へのメッセージ
授業はリズミカルにテンポよく進行します。一生懸命ついてきてください。

関連科目
英語全般

担当者の研究室等
７号館２階　非常勤講師控室

英語IIｄ
English IId

ジェフリー　ロバート　ベル

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
"In class, students will use English to describe and explain experiences and everyday situations.This course is designed to develop the conversational skills of Japanese learners of English."

授業方法と留意点
Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.

科目学習の効果（資格）
・・・

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　Introduction
【内容･方法　等】　Orientation and Self-Introduction
【事前･事後学習課題】　Students should study the content of the day's lesson
第２回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第３回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第４回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第５回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第６回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第７回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第８回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第９回　【授業テーマ】　Exercises
【内容･方法　等】　"Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前･事後学習課題】　Students should study the vocabulary

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　238　2014/08/21　14:24:49

and grammar for the lesson
第10回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法 等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第11回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法 等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第12回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法 等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第13回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法 等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第14回 【授業テーマ】 Exercises
【内容・方法 等】 "Individual Task, Pair Work or Group Work"
【事前・事後学習課題】 Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
第15回 【授業テーマ】 Review
【内容・方法 等】 Feedback session
【事前・事後学習課題】 ・・・

評価方法（基準）
授業中の単語テスト・・・30%
最後の授業でのテスト+ワークブック+授業態度・・・70%

教材等
教科書…Get Real! 1 new edition ISBN 978-4-777-36151-9 MACMILLAN LANGUAGEHOUSE
Get Real! 1 new edition Workbook ISBN4-7773-6155-1
参考書…Dictionary

学生へのメッセージ
English is becoming more useful in everyday life. Let's work hard to improve our speaking skills!

関連科目
なし

担当者の研究室等
７号館２階　非常勤講師室

備考
・・・

英語III a
English IIIa

松　浦　茂　寿（マツウラ　シゲトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
今までに習得した読解力を駆使して、より長い文章を読める能力養成に目標をおく。ただ英文を日本語に訳すだけでなく、各章のテーマを通して様々な分野の知識も知識を養ってもらえればと願っている。授業計画は進度によって変わる場合がある。

授業方法と留意点
毎週、教科書の新出単語から単語テストを行う予定。「とにかく読んで読みまくろう！」－英文は毎日少しずつ音読や和訳の練習を続けるなど、読めば読むほどどんどん読めるようになるので、必ず予習、復習をして授業に臨もう。

科目学習の効果（資格）
語彙力と読解力の強化及び英検やTOEICなど資格、検定試験にも役立つ知識の養成。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業方法、提出物、評価方法等ついての説明。
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 Unit 1:English Rakugo
【内容・方法 等】 英語落語にチャレンジした落語家、桂かい枝の奮闘話。内容予測の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 1
第３回 【授業テーマ】 Unit 1: English Rakugo
【内容・方法 等】 英語落語にチャレンジした落語家、桂かい枝の奮闘話。内容予測の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 1
第４回 【授業テーマ】 Unit 2: Silent CEOs
【内容・方法 等】 最高経営責任者に向いている性格は内向性？外向性？どんな人が向いているだろう？単語ごとにとまらず、まとまりごと意味をつかむPhrase Readingの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 2
第５回 【授業テーマ】 Unit 2: Silent CEOs
【内容・方法 等】 最高経営責任者に向いている性格は内向性？外向性？どんな人が向いているだろう？単語ごとにとまらず、まとまりごと意味をつかむ。Phrase Readingの練習。.
【事前・事後学習課題】 Unit 2
第６回 【授業テーマ】 Unit 3:Cappadocia
【内容・方法 等】 トルコの世界遺産、カッパドキアの話。WPM-1分間あたりに読む単語数を上げる練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 3
第７回 【授業テーマ】 Unit 3:Cappadocia
【内容・方法 等】 トルコの世界遺産、カッパドキアの話。WPM-1分間あたりに読む単語数を上げる練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 3
第８回 【授業テーマ】 Unit 4:Eco-cars
【内容・方法 等】 エコカーとはどんな車でどのように環境に優しいのか？どんな問題点があるか。パラグラフ(段落)の構造を意識しながらtopic sentenceを見つける練習。
【事前・事後学習課題】 Uni t 4
第９回 【授業テーマ】 Unit 4: Eco-cars
【内容・方法 等】 エコカーとはどんな車でどのように環境に優しいのか？どんな問題点があるか。パラグラフ(段落)の構造を意識しながらtopic sentenceを見つける練習。。
【事前・事後学習課題】 Unit 4
第10回 【授業テーマ】 Unit 5: Finance for Kids
【内容・方法 等】 明日の日本を背負う子供たちへいかにお金の大事さ、使い方、貯蓄方法を教えていくか？paragraph(段落)がひとまとまりになったもの、passageについて。
【事前・事後学習課題】 Unit 5
第11回 【授業テーマ】 Unit 5: Finance for Kids
【内容・方法 等】 明日の日本を背負う子供たちへいかにお金の大事さ、使い方、貯蓄方法を教えていくか？paragraph(段落)がひとまとまりになった文章、passageについて。
【事前・事後学習課題】 Unit 5
第12回 【授業テーマ】 Unit 6: Jazz
【内容・方法 等】 音楽の代表的ジャンル、ジャズの歴史。英文から解答に必要な情報を拾い出すScanningの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 6
第13回 【授業テーマ】 Unit 6: Jazz
【内容・方法 等】 音楽の代表的ジャンル、ジャズの歴史。英文から解答に必要な情報を拾い出すScanningの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 6
第14回 【授業テーマ】 資格、検定対策問題の練習
【内容・方法 等】 読解または語彙問題など、授業の進度によって決める。
【事前・事後学習課題】 プリント配布予定。
第15回 【授業テーマ】 試験直前総合復習
【内容・方法 等】 定期試験対策
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
平常点、授業時の単語小テスト、提出物、定期試験の点数を総合評価する。また、日頃の授業態度も重視する。

教材等
教科書…教科書・・「Power Reading 2　Reading in Paragraphs パラグラフで読むリーディングスキル演習」土屋武久, 湯舟英一、Bill Benfield著 成美堂 (￥1,800＋税)
参考書…辞書を用意しましょう。新出単語が沢山出ますよ！

学生へのメッセージ
「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。また折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ等を見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

関連科目
他の英語科目

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　239　2014/08/21　14:24:49

英語III b
English III

松　浦　茂　寿（マツウラ　シゲトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
前期に続いて今までに習得した読解力を駆使して、より長い文章を読める能力養成に目標をおく。ただ英文を日本語に訳すだけでなく、各章のテーマを通して様々な分野の知識も知識を養ってもらえればと願っている。授業計画は進度によって変わる場合がある。

授業方法と留意点
毎週、教科書の単語から単語テストを行う予定。「とにかく読んで読みまくろう！」－英文は毎日少しずつ音読や和訳の練習を続けるなど、読めば読むほどどんどん読めるようになるので、必ず予習、復習をして授業に臨もう。

科目学習の効果（資格）
語彙力と読解力の強化及び英検やTOEICなど資格、検定試験にも役立つ知識の養成。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 前期の復習
【内容・方法　等】 前期中に習った内容の復習など。
【事前・事後学習課題】 ――――

第２回　【授業テーマ】 Unit 8: How Fast Can Humans Run?
【内容・方法　等】 人はどれだけ速く走れるのだろうか。細部よりとにかく全体を読み取る拾い読み、Skimmingの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 8

第３回　【授業テーマ】 Unit 8: How Fast Can Humans Run?
【内容・方法　等】 人はどれだけ速く走れるのだろうか。細部よりとにかく全体を読み取る拾い読み、Skimmingの練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 8

第４回　【授業テーマ】 Unit 10: Hot Springs
【内容・方法　等】 ブームで観光客が伸びていき世界一、数が多い日本の温泉。その成り立ち、種類や効能について。未知の単語に出くわしても意味を推測して行きながらの文章に読んでいく練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 10

第５回　【授業テーマ】 Unit 10: Hot Springs
【内容・方法　等】 ブームで観光客が伸びていき世界一、数が多い日本の温泉。その成り立ち、種類や効能について。未知の単語に出くわしても意味を推測して行きながらの文章に読んでいく練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 10

第６回　【授業テーマ】 Unit 11: Abraham Lincoln
【内容・方法　等】 アメリカで最も偉大なる大統領、リンカーンの半生記。英文の展開方法の一つ、Time Orderについて勉強。
【事前・事後学習課題】 Unit 11

第７回　【授業テーマ】 Unit 11: Abraham Lincoln
【内容・方法　等】 アメリカで最も偉大なる大統領、リンカーンの半生記。英文の展開方法の一つ、Time Orderについて勉強。
【事前・事後学習課題】 Unit 11

第８回　【授業テーマ】 Unit 12: Eating Oil
【内容・方法　等】 どれだけ私たちは普段、石油を使っているのだろうか？かなり現実的な話。英文構造に慣れよう。
【事前・事後学習課題】 Unit　12

第９回　【授業テーマ】 Unit 12: Eating Oil
【内容・方法　等】 どれだけ私たちは普段、石油を使っているのだろうか？かなり現実的な話。英文構造に慣れよう。
【事前・事後学習課題】 Unit　12

第10回　【授業テーマ】 Unit 14: Regenerative Medicine
【内容・方法　等】 「再生医療」とは何か、どんな治療が可能か？文中からfact(事実)とopinion(意見)を判別する練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 14

第11回　【授業テーマ】 Unit 14: Regenerative Medicine
【内容・方法　等】 「再生医療」とは何か、どんな治療が可能か？文中からfact(事実)とopinion(意見)を判別する練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 14

第12回　【授業テーマ】 Unit 15: Fair Trade
【内容・方法　等】 百円ショップなどに乱立する安い商品。しかし、この裏でどういった事情や背景が隠れているか。フェアトレード運動とは何か？読解で最も大切なCritical Reading(批判的に読む技法)の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 15

第13回　【授業テーマ】 Unit 15: Fair Trade
【内容・方法　等】 百円ショップなどに乱立する安い商品。しかし、この裏でどういった事情や背景が隠れているか。フェアトレード運動とは何か？読解で最も大切なCritical Reading(批判的に読む技法)の練習。
【事前・事後学習課題】 Unit 15

第14回　【授業テーマ】 資格、検定などの問題練習
【内容・方法　等】 資格、検定問題にあわせた語彙、長文問題の練習。授業の進度によって教材を決める。
【事前・事後学習課題】 プリント

第15回　【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法　等】 定期試験対策
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
平常点、授業時の単語小テスト、提出物、定期試験の点数を総合評価する。また、日頃の授業態度も重視する。

教材等
教科書…教科書・・「Power Reading 2　Reading in Paragraphs パラグラフで読むリーディングスキル演習」土屋武久, 湯舟英一、Bill Benfield著 成美堂 (￥1,800＋税)
参考書…辞書を用意しましょう。新出単語が沢山出ますよ！

学生へのメッセージ
「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。また折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ等を見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

関連科目
他の英語科目

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

ビジネスイングリッシュI
Business EnglishI

李　　孝　聖（リ　ヒョソン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
ニューヨーク・タイムズやロイターの経済・ビジネス関連記事を読んで、最新のビジネスの動きを知る。ビジネスの現場で遭遇する場面を想定して、使用頻度の高い英語表現を身に付け、応用力を高めることを目標とする。

授業方法と留意点
リスニング、リーディング、会話練習、復習テストを行う。必ず辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）
将来ビジネスで英語を使う受講生が基礎力を養うためには適切。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 Introduction
【内容・方法　等】 授業オリエンテーション
【事前・事後学習課題】 Unit 1 Rebranding Disney Stores を読んでくる。

第２回　【授業テーマ】 Unit 1 Rebranding Disney Stores
【内容・方法　等】 Unit 1 の 前半を解釈。
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習

第３回　【授業テーマ】 Unit 1
【内容・方法　等】 Unit 1 の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 2 Intel's New Ad Campaign を読んでくる。

第４回　【授業テーマ】 Unit 2 Intel's New Ad Campaign
【内容・方法　等】 Unit 2 の 前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習

第５回　【授業テーマ】 Unit 2
【内容・方法　等】 Unit 2 の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 3 Making Consumption “Sustainable” を読んでくる。

第６回　【授業テーマ】 Unit 3 Making Consumption “Sustainable”
【内容・方法　等】 Unit 3 の 前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習

第７回　【授業テーマ】 Unit 3
【内容・方法　等】 Unit 3 の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 4 Which Career Will Be King? を読んでくる。

第８回　【授業テーマ】 Unit 4 Which Career Will Be King?
【内容・方法　等】 Unit 4 の前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習

第９回　【授業テーマ】 Unit 4
【内容・方法　等】 Unit 4 の 後半
【事前・事後学習課題】 Unit 5 Balancing Growth and Job Stability を読んでくる。

第10回　【授業テーマ】 Unit 5 Balancing Growth and Job Stability
【内容・方法　等】 Unit 5 の前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　240　2014/08/21　14:24:49

第11回　【授業テーマ】 Unit 5
【内容・方法　等】 Unit 5 の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 6 New Strategies at Starbucks を読んでくる。
第12回　【授業テーマ】 Unit 6 New Strategies at Starbucks
【内容・方法　等】 Unit 6 の 前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第13回　【授業テーマ】 Unit 6
【内容・方法　等】 Unit 6 の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 7 The Power of Global Sports Stars を読んでくる。
第14回　【授業テーマ】 Unit 7
【内容・方法　等】 Unit 7 の前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 復習と理解定着テスト
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
授業に対する態度（授業中の私語や携帯の使用は減点）、課題、復習テストで総合的に判断する。

教材等
教科書…「Global Trends in Business」、金星堂、塩見佳代子他、1900円+税
参考書…辞書を必ず持参してください。

学生へのメッセージ
よく使う英語表現を身に付け、海外とのメールのやり取りや海外出張にも対応できるようになりましょう。

関連科目
英語IIb, IId

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

備考
特になし。

ビジネスイングリッシュII
Business EnglishII

李　孝　聖（リ　ヒョソン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
ニューヨーク・タイムズやロイターの経済・ビジネス関連記事を読んで、最新のビジネスの動きを知る。ビジネスの現場で遭遇する場面を想定して、使用頻度の高い英語表現を身に付け、応用力を高めることを目標とする。

授業方法と留意点
リスニング、リーディング、会話練習、復習テストを行う。必ず辞書を持参すること。

科目学習の効果（資格）
将来ビジネスで英語を使う受講生が基礎力を養うためには適切。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 Unit 7 The Power of Global Sports Stars
【内容・方法　等】 Unit 7 の前半を解釈。
【事前・事後学習課題】 Unit 7 The Power of Global Sports Stars を読んでくる。
第２回　【授業テーマ】 Unit 7 The Power of Global Sports Stars
【内容・方法　等】 Unit 7 の 後半を解釈。
【事前・事後学習課題】 Unit 8 Big Brands and Their Copycats を読んでくる。
第３回　【授業テーマ】 Unit 8 Big Brands and Their Copycats
【内容・方法　等】 Unit 8 の前半を解釈。
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第４回　【授業テーマ】 Unit 8 Big Brands and Their Copycats
【内容・方法　等】 Unit 8 の後半を解釈。
【事前・事後学習課題】 Unit 9 Getting Women into Boardrooms を読んでくる。
第５回　【授業テーマ】 Unit 9 Getting Women into Boardrooms
【内容・方法　等】 Unit 9 の前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第６回　【授業テーマ】 Unit 9 Getting Women into Boardrooms
【内容・方法　等】 Unit 9 の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 10 Social Media and Airlines を読んでくる。
第７回　【授業テーマ】 Unit 10 Social Media and Airlines
【内容・方法　等】 Unit 10 Social Media and Airlines の前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第８回　【授業テーマ】 Unit 10 Social Media and Airlines
【内容・方法　等】 Unit 10 Social Media and Airlines の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 11 Health food Prospects in Asia を読んでくる。
第９回　【授業テーマ】 Unit 11 Health food Prospects in Asia
【内容・方法　等】 Unit 11 Health food Prospects in Asia 前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第10回　【授業テーマ】 Unit 11 Health food Prospects in Asia
【内容・方法　等】 Unit 11 Health food Prospects in Asia 後半
【事前・事後学習課題】 Unit 12 Minding your Manners at Work を読んでくる。
第11回　【授業テーマ】 Unit 12 Minding your Manners at Work
【内容・方法　等】 Unit 12 Minding your Manners at Work の前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第12回　【授業テーマ】 Unit 12 Minding your Manners at Work
【内容・方法　等】 Unit 12 Minding your Manners at Work の後半
【事前・事後学習課題】 Unit 13 The New Outsourcing Movement を読んでくる。
第13回　【授業テーマ】 Unit 13 The New Outsourcing Movement
【内容・方法　等】 Unit 13 The New Outsourcing Movement の前半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第14回　【授業テーマ】 Unit 13 The New Outsourcing Movement
【内容・方法　等】 Unit 13 The New Outsourcing Movement の後半
【事前・事後学習課題】 指定範囲の予習
第15回　【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 復習と理解定着テスト
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
授業に対する態度（授業中の私語や携帯の使用は減点）、課題、復習テストで総合的に判断する。

教材等
教科書…「Global Trends in Business」、金星堂、塩見佳代子他、1900円+税
参考書…辞書を必ず持参してください。

学生へのメッセージ
よく使う英語表現を身に付け、海外とのメールのやり取りや海外出張にも対応できるようになりましょう。

関連科目
英語IIb, IId

担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

備考
特になし。

英語基礎会話 a
Basic English Conversation a

本　多　　善（ホンダ　タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
コミュニケーションのチェックをしながら、生活英語を身につけてもらいます。
繰り返しの音読、対人コミュニケーション、英語の言い回しの基礎を完璧に身につけることにより、、TOEICの聞き取りと読解能力を養います。
将来海外で日常生活における英語を使えることを目標に毎回英語コミュニケーションの基礎を築きます。

授業方法と留意点
出席は単位取得の最低条件です。
基本的に毎時間、授業のはじめに単語ノートを提出してもらいます（1回目の授業で説明します）。
辞書は必ず持参するように。

科目学習の効果（資格）
TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の概要説明、座席決定、各自で英会話の達成目標を設定
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第２回　【授業テーマ】 Lesson 1: Hot Spring Bath
【内容・方法　等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第３回　【授業テーマ】 Lesson 2: Taking out the Garbage
【内容・方法　等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　241　2014/08/21　14:24:49

対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第４回 【授業テーマ】 Lesson 3: Sitting for an Exam
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第５回 【授業テーマ】 Lesson 4: Job Interview
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第６回 【授業テーマ】 Lesson 5: Illness
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回実施する対話テストの練習。
第７回 【授業テーマ】 Review
Lesson 1～5の対話テスト
【内容・方法 等】 これまでの学習内容を確認する
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第８回 【授業テーマ】 Lesson 6: A Companion Animal
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第９回 【授業テーマ】 Lesson 7: Checking a Schedule
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第10回 【授業テーマ】 Lesson 8: Making an Apology
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第11回 【授業テーマ】 Lesson 9: Dinne
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第12回 【授業テーマ】 Lesson 10: Proper Clothes to Wea
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第13回 【授業テーマ】 Lesson 11: Checking in at the Airport
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習、スピーチ練習
【事前・事後学習課題】 関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習
第14回 【授業テーマ】 Lesson 12: Immigration and Customs
スピーチ発表
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回の対話文テストに向けた練習。
第15回 【授業テーマ】 復習演習
Lesson 1～12で練習した対話文のテスト
スピーチ発表
【内容・方法 等】 TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 レッスンの総復習

評価方法（基準）
出席は単位取得の必要条件です。
単語ノート30%，スピーチ評価20%，コミュニケーション＆プレゼンテーション・テスト50%を目安に評価する。

教材等
教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book（学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集）』成美堂（1,700円＋税）
Mitsushige Kaneko他『A Check Book for Survival English(大学生のための生活英語チェックブック)』南雲堂（1,365円税込）
参考書…辞書

学生へのメッセージ
日常会話の英語ができるようになるためには繰り返しの音読と対人コミュニケーションに慣れることが必要です。この講義で、TOEICの聞き取りや英会話の上達を目指します。

関連科目
他の英語関連科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

英語基礎会話ｂ
Basic English Conversation

本 多 善（ホンダ タクミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
コミュニケーションのチェックをしながら、生活英語を身につけてもらいます。
繰り返しの音読、対人コミュニケーション、英語の言い回しの基礎を完璧に身につけることにより、、TOEICの聞き取りと読解能力を養います。
将来海外で日常生活における英語を使えることを目標に毎回英語コミュニケーションの基礎を築きます。

授業方法と留意点
出席は単位取得の最低条件です。
基本的に毎時間、授業のはじめに単語ノートを提出してもらいます（1回目の授業で説明します）。
辞書は必ず持参するように。

科目学習の効果（資格）
TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の概要説明、座席決定、各自で英会話の達成目標を設定
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第２回 【授業テーマ】 Lesson 13: Asking for Repitition
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第３回 【授業テーマ】 Lesson 14: At the Post Office
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第４回 【授業テーマ】 Lesson 15: Restroom
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第５回 【授業テーマ】 Lesson 16: At a Bank
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第６回 【授業テーマ】 Lesson 17: Making a Complaint
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回実施する対話テストの練習。
第７回 【授業テーマ】 Review
Lesson 13～17の対話テスト
【内容・方法 等】 これまでの学習内容を確認する
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第８回 【授業テーマ】 Lesson 18: At a Shoe Shop
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第９回 【授業テーマ】 Lesson 19: Asking Questions
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第10回 【授業テーマ】 Lesson 19: Asking Questions
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第11回 【授業テーマ】 Lesson 20: Booking a Table
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。
第12回 【授業テーマ】 Lesson 20: Booking a Table
【内容・方法 等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 242 2014/08/21 14:24:49

第13回　【授業テーマ】 Lesson 21: Lunch
【内容・方法　等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習、スピーチ練習
【事前・事後学習課題】 関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習
第14回　【授業テーマ】 Lesson 14: Lunch
スピーチ発表
【内容・方法　等】 英語の聞き取り、対話文の完成、発声練習、対人コミュニケーションの練習
【事前・事後学習課題】 テキストの予習と次回の講義で提出する単語ノートの作成。次回の対話文テストに向けた練習。
第15回　【授業テーマ】 復習演習
Lesson 13～21で練習した対話文のテスト
スピーチ発表
【内容・方法　等】 TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 レッスンの総復習

評価方法（基準）
出席は単位取得の必要条件です。
単語ノート30%，スピーチ評価20%，コミュニケーション＆プレゼンテーション・テスト50%を目安に評価する。

教材等
教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book（学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集）』成美堂（1,700円＋税）
Mitsushige Kaneko他『A Check Book for Survival English(大学生のための生活英語チェックブック)』南雲堂（1,365円税込）
参考書…辞書

学生へのメッセージ
日常会話の英語ができるようになるためには繰り返しの音読と対人コミュニケーションに慣れることが必要です。この講義で、TOEICの聞き取りや英会話の上達を目指します。

関連科目
他の英語関連科目

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

日本語表現I
Japanese Expression I

舩　田　淳　一（フナタ　ジュンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABC	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 導入
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　【授業テーマ】 文章の書き方１
【内容・方法　等】 文章表現の基礎を学ぶ（第１章）
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回　【授業テーマ】 文章の書き方２
【内容・方法　等】 文章表現の基礎を学ぶ（第２章）
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回　【授業テーマ】 事実の記述と意見の記述
【内容・方法　等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ（第２章、第３章（１））
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第５回　【授業テーマ】 【課題１】
【内容・方法　等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第６回　【授業テーマ】 要約１
【内容・方法　等】 要約の方法を学ぶ（第３章（２）（３））
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第７回　【授業テーマ】 フィードバック
要約２
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
要約文を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第８回　【授業テーマ】 引用１
【内容・方法　等】 文章を引用する方法を学ぶ（第３章（２）（３））
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第９回　【授業テーマ】 引用２
【内容・方法　等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回　【授業テーマ】 構成
【内容・方法　等】 レポートなどの文章構成を学ぶ（第４章）
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第11回　【授業テーマ】 【課題２】
【内容・方法　等】 資料を引用して意見を述べる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第12回　【授業テーマ】 レポートの書き方
【内容・方法　等】 レポートの書き方を学ぶ（第４章）
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第13回　【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第14回　【授業テーマ】 小テストの復習
【 レポート 】
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 課題２を見直す
レポートを作成する
第15回　【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 レポートを返却し、講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法〔改訂版〕21世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房（980円＋税）
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現I
Japanese Expression I

高　嶋　　藍（タカシマ　アイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	DEF	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　【授業テーマ】 文章の書き方２
【内容・方法　等】 文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回　【授業テーマ】 事実と意見

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　243　2014/08/21　14:24:50

【内容・方法　等】　事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第４回　【授業テーマ】　【課題１】
【内容・方法　等】　ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第５回　【授業テーマ】　構成
【内容・方法　等】　レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第６回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容・方法　等】　課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第７回　【授業テーマ】　要約
【内容・方法　等】　要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　課題１を見直す
第８回　【授業テーマ】　引用１
【内容・方法　等】　文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第９回　【授業テーマ】　引用２
【内容・方法　等】　グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第10回　【授業テーマ】　【課題２】
【内容・方法　等】　資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第11回　【授業テーマ】　レポートの書き方１
【内容・方法　等】　レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第12回　【授業テーマ】　フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】　課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第13回　【授業テーマ】　レポートの書き方３
【内容・方法　等】　レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　課題２を見直す
第14回　【授業テーマ】　小テストの復習
【レポート】
【内容・方法　等】　小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】　小テストの復習
レポートを作成する
第15回　【授業テーマ】　レポートの講評
【内容・方法　等】　レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】　これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現I
Japanese Expression I

大　石　真由香（オオイシ　マユカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。
数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　導入
文章の書き方１
【内容・方法　等】　授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　文章の書き方２
【内容・方法　等】　文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第３回　【授業テーマ】　事実と意見
【内容・方法　等】　事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第４回　【授業テーマ】　【課題１】
【内容・方法　等】　ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第５回　【授業テーマ】　構成
【内容・方法　等】　レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第６回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容・方法　等】　課題１のフィードバック
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第７回　【授業テーマ】　要約
【内容・方法　等】　要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　課題１を見直す
第８回　【授業テーマ】　引用１
【内容・方法　等】　文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第９回　【授業テーマ】　引用２
【内容・方法　等】　グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第10回　【授業テーマ】　【課題２】
【内容・方法　等】　資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第11回　【授業テーマ】　レポートの書き方１
【内容・方法　等】　レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】　これまでの復習
第12回　【授業テーマ】　フィードバック
レポートの書き方２
【内容・方法　等】　課題２のフィードバック
レポート作成の注意点をおさえる
【事前・事後学習課題】　前回の復習
第13回　【授業テーマ】　レポートの書き方３
【内容・方法　等】　レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　課題２を見直す
第14回　【授業テーマ】　小テストの復習
【レポート】
【内容・方法　等】　小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】　小テストの復習
レポートを作成する
第15回　【授業テーマ】　レポートの講評
【内容・方法　等】　レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】　これまでの復習

評価方法（基準）
課題・レポート（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　244　2014/08/21　14:24:50

日本語表現II
Japanese Expression II

舩　田　淳　一（フナタ　ジュンイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABC	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、スピーチ、文章作成を行う。３回の課題を提出する。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　導入
【内容･方法　等】　授業の目的、進め方の説明
第1・２章
【事前･事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　レポートの書き方
【内容･方法　等】　レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方（第３・４章）
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第３回　【授業テーマ】　【課題１】レポートの作成
【内容･方法　等】　資料を引用して、意見を述べる
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第４回　【授業テーマ】　敬意を表す言葉
【内容･方法　等】　敬語の種類と用法（第６章）
【事前･事後学習課題】　教科書による予習
第５回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前･事後学習課題】　課題１の見直し
第６回　【授業テーマ】　手紙
【内容･方法　等】　手紙の書式・用語・マナー（第７章）
【事前･事後学習課題】　教科書による予習
第７回　【授業テーマ】　【課題２】手紙
【内容･方法　等】　手紙の作成
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第８回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題２のフィードバック
【事前･事後学習課題】　課題２の見直し
第９回　【授業テーマ】　電子メールの書き方
【内容･方法　等】　電子メールの基本とマナー（第８章）
敬語と手紙の復習
【事前･事後学習課題】　これまでの復習
第10回　【授業テーマ】　ディスカッション１
【内容･方法　等】　グループ分けとディスカッション
【事前･事後学習課題】　テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】　ディスカッション２
【内容･方法　等】　ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第12回　【授業テーマ】　プレゼンテーション１
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う（第５章）
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第13回　【授業テーマ】　プレゼンテーション２
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う（第５章）
報告文の準備
【事前･事後学習課題】　発表の反省
第14回　【授業テーマ】　【課題３】報告文
【内容･方法　等】　ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前･事後学習課題】　報告文の準備
第15回　【授業テーマ】　授業の総括
【内容･方法　等】　小テストの復習テスト
【事前･事後学習課題】　小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70％）、授業への取り組みなど（30％）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法〔改訂版〕２１世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房（980円＋税）
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現II
Japanese Expression II

高　嶋　　藍（タカシマ　アイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	DEF	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　導入
【内容･方法　等】　授業の目的、進め方の説明
【事前･事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　レポートの書き方
【内容･方法　等】　レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第３回　【授業テーマ】　【課題１】レポートの作成
【内容･方法　等】　資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第４回　【授業テーマ】　敬意を表す言葉
【内容･方法　等】　敬語の種類と用法を学ぶ
【事前･事後学習課題】　これまでの復習
第５回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第６回　【授業テーマ】　手紙
【内容･方法　等】　手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前･事後学習課題】　課題１を見直す
第７回　【授業テーマ】　【課題２】手紙
【内容･方法　等】　手紙を作成する
【事前･事後学習課題】　前回の復習
第８回　【授業テーマ】　フィードバック
【内容･方法　等】　課題２のフィードバック
【事前･事後学習課題】　これまでの復習
第９回　【授業テーマ】　電子メールの書き方
【内容･方法　等】　電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前･事後学習課題】　課題２の見直し
第10回　【授業テーマ】　ディスカッション１
【内容･方法　等】　グループ分けとディスカッション
【事前･事後学習課題】　テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】　ディスカッション２
【内容･方法　等】　ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前･事後学習課題】　資料作成の準備
第12回　【授業テーマ】　プレゼンテーション１
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第13回　【授業テーマ】　プレゼンテーション２
【内容･方法　等】　資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前･事後学習課題】　発表の準備
第14回　【授業テーマ】　【課題３】報告文
【内容･方法　等】　ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前･事後学習課題】　報告文の準備
第15回　【授業テーマ】　小テストの復習

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　245　2014/08/21　14:24:50

授業の総括
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現II
Japanese Expression II

大　石　真由香（オオイシ　マユカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。
大学生活、就職活動、社会生活で必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。３回の課題を提出する。
毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）
社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 導入
【内容・方法　等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回　【授業テーマ】 レポートの書き方
【内容・方法　等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第３回　【授業テーマ】 【課題１】レポートの作成
【内容・方法　等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第４回　【授業テーマ】 敬意を表す言葉
【内容・方法　等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第５回　【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題１のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第６回　【授業テーマ】 手紙
【内容・方法　等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題１を見直す
第７回　【授業テーマ】 【課題２】手紙
【内容・方法　等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
第８回　【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法　等】 課題２のフィードバック
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
第９回　【授業テーマ】 電子メールの書き方
【内容・方法　等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題２の見直し
第10回　【授業テーマ】 ディスカッション１
【内容・方法　等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ
第11回　【授業テーマ】 ディスカッション２
【内容・方法　等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備
第12回　【授業テーマ】 プレゼンテーション１
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備
第13回　【授業テーマ】 プレゼンテーション２
【内容・方法　等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の準備
第14回　【授業テーマ】 【課題３】報告文
【内容・方法　等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備
第15回　【授業テーマ】 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法　等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）
課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。
課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
キャリアデザイン

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

海外語学研修
Overseas Language Training

齋　藤　安以子（サイトウ　アイコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この研修は、語学力（英語力）の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。 研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は40万円前後を予定（為替レートにより変動の可能性あり）。
＊詳細は、３月～４月の募集ガイダンスで周知する。

授業方法と留意点
・研修前に３回の事前ガイダンスを行う（６月～８月）
・研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。２週間、３週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。
・研修後に他の参加者と共に成果報告会で研修成果をプレゼンテーションする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
３月上旬～４月下旬
募集ガイダンス（日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する）、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。
５月
申込書の提出
５月下旬
派遣学生の決定および履修申請
６月～８月
事前ガイダンスを実施（全３回）
８月上旬
結団式
研修スケジュール＞
[２週間コース]
８月中旬～８月下旬（予定）
[３週間コース]
８月中旬～９月上旬（予定）
９月
成果報告書の提出
９月中旬
成果報告会

評価方法・評価基準
帰国後に提出する成果報告書（２０％）および研修先での成績

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　246　2014/08/21　14:24:50

（８０％）を基に評価する。

教材等

教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。

参考書…・研修先の国、地域の観光局等のホームページ
・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

備考

・参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡をしてください。
・事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意。
・各学部の期末試験等のスケジュールを確認の上、履修を検討すること。学部・学年によっては、今年度は受講できない場合もあります。

心理学Ⅰ
Psychology Ⅰ

山　本　雅　代（ヤマモト　マサヨ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学とは、我々が周囲のさまざまな環境とのかかわりの中で行う行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。
授業では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。特に心理学Ⅰでは、個人に焦点をあて、かつ社会的現実と対比した日常での問題を取り上げ人間の理解を目指す。
到達目標
１）人間の行動を理解する。２）社会の中の自己を確認する。３）実生活と心理学のかかわりを理解する。

授業方法と留意点

基本的に講義形式。より理解を深めるため必要に応じてVTRを使用する。また簡単な心理学実験や自己分析などを行う。その際、課題、レポートの提出を求めることがある。

科目学習の効果（資格）

教養としての心理学を学ぶ。
人間の行動を科学的に理解することによって実社会でおこる問題に適応的に行動できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　心理学とはどのような学問か
【内容･方法　等】　心理学、心理学研究の考え方、今までの歩みについて概説する。
【事前･事後学習課題】　心理学の印象について自分なりの考えをまとめておいて下さい。

第２回　**【授業テーマ】**　生物学的基礎
【内容･方法　等】　他の動物が行う行動と比較しながら、生得的行動とは何か、初期経験が人間に与える影響について説明する。
【事前･事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　初期学習
【内容･方法　等】　人間はいかに学ぶのか、また愛着について説明する。
【事前･事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　条件づけ
【内容･方法　等】　条件づけとは何か、古典的条件づけ、オペラント条件づけについて説明する。
【事前･事後学習課題】　前回の授業で紹介したVTRについてA4にまとめ提出する。

第５回　**【授業テーマ】**　社会的学習
【内容･方法　等】　学習とは学校での勉強のことではなく、経験のことをいう。人間における経験や、環境がいかに大切であるかまた学習効果について説明する。
【事前･事後学習課題】　関連する文献を紹介するので読んでおくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　両側性転移
【内容･方法　等】　心理学実験「両側性転移」を行い学習についての理解を深めるとともに心理学の研究方法について理解を深める。
【事前･事後学習課題】　実験の概要について確認しておくこと。

第７回　**【授業テーマ】**　ポジティブな学習とネガティブな学習
【内容･方法　等】　実験結果から読み取れる問題、人間の傾向についての検討。学習全般のまとめを行なう。
【事前･事後学習課題】　実験結果から何が読取れるかA4用紙にまとめ提出する。

第８回　**【授業テーマ】**　動機づけ（１）
【内容･方法　等】　人間が行動に駆り立てられる状況、様々な動機、動機の階層について説明する。
【事前･事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　動機づけ（２）
【内容･方法　等】　生物的動機、内発的動機の違いについて説明する。
【事前･事後学習課題】　授業の中で紹介した人物の動機について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第10回　**【授業テーマ】**　動機づけ（３）
【内容･方法　等】　社会的動機について説明する。人間がどのような動機を持つか、社会環境に影響受ける動機について事例や実験を通して解説する。
【事前･事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第11回　**【授業テーマ】**　パーソナリティ（１）
【内容･方法　等】　パーソナリティがどのようなものであるのか概説する。
【事前･事後学習課題】　パーソナリティについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第12回　**【授業テーマ】**　パーソナリティ（２）
【内容･方法　等】　パーソナリティのとらえ方。パーソナリティの形成について説明する。
【事前･事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　パーソナリティ（３）
【内容･方法　等】　実際に使用されている様々なパーソナリティテストについて解説する。
【事前･事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　パーソナリティ（４）
【内容･方法　等】　パーソナリティについて自己分析を行う。
【事前･事後学習課題】　パーソナリティテストの結果について自分なりに解釈しA4用紙にまとめ提出する。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容･方法　等】　授業全体のまとめを行う。
【事前･事後学習課題】　疑問点がどこであるのか考えておく。

評価方法（基準）

定期試験、講義内で行う小テストやレポート課題等を総合的に評価する。
【定期試験50％、レポート課題30％、小テスト20％】

教材等

教科書…特になし。
講義内で資料配布。

参考書…「心理学の基礎」今田寛、宮田洋、賀集寛共編、培風館（1650円）

学生へのメッセージ

心理学は、みなさんが大学で初めて学ぶ学問の一つです。講義では、今まで想像していた心理学へのイメージとは違う印象を持たれることでしょう。
心理学は科学であり、扱う研究対象は様々です。その中から、理解を深められるようできるだけ実例をあげて解説していきます。講義を通じ、自己の行動を振り返り、取り巻く社会と自己を結びつけ、適応的に社会で生きていく手段について理解を深めて下さい。

関連科目

心理学Ⅱと併せて履修することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

心理学Ⅱ
Psychology Ⅱ

山　本　雅　代（ヤマモト　マサヨ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学とは、我々が周囲のさまざまな環境とのかかわりの中で行う行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。講義では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。特に心理学Ⅱでは、社会的現実と対比した日常での問題を多く取り上げ現実社会における対人間、集団関係でおこる心理状況の理解を目指す。
到達目標
１）社会と個人の関係を理解する。２）集団におけるコミュニケーションの特質を理解する。３）状況に左右される人間の心理や意思決定について理解する。

授業方法と留意点

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　247　2014/08/21　14:24:50

基本的に講義形式。より理解を深めるため必要に応じてVTR等を使用する。また簡単な心理学実験や自己分析などを行う。その際、課題、レポートの提出を求めることがある。

科目学習の効果（資格）

教養としての心理学を学ぶ。
人間の行動を科学的に理解することによって実社会でおこる問題に適応的に行動できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　心理学とは何か、社会、集団の中でおこる心理
【内容・方法　等】　心理学、心理学研究についての考え方について説明する。後期において取り扱うトピックの概要説明。
【事前・事後学習課題】　VTRについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第２回　**【授業テーマ】**　知覚（１）
【内容・方法　等】　人間理解につながる「見えのしくみ」について概説する。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　知覚（２）
【内容・方法　等】　知覚の種類や見えに及ぼす社会的影響について説明する。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　知覚（３）
【内容・方法　等】　心理学の基礎実験の１つである「ミューラリヤーの錯視」実験を実施する。心理学におけるデータの取り扱い方、考え方や人間の知覚行為についての理解を深める。
【事前・事後学習課題】　実験結果について読み取れる問題をA4用紙にまとめ提出する。

第５回　**【授業テーマ】**　対人関係（１）
【内容・方法　等】　人はどのように他者を認知し自分を呈示していくものなのか、対人認知や印象形成について説明する。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　対人関係（２）
【内容・方法　等】　人はどのような事をきっかけに親しくなったり、愛したりしていくものなのか、対人魅力について説明する。
【事前・事後学習課題】　対人魅力について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第７回　**【授業テーマ】**　対人関係（３）
【内容・方法　等】　人が態度を変えるとき、説得されるときとはどのようなときなのか、態度変容について説明する。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　対人関係（４）
【内容・方法　等】　集団の持つ影響力として「同調」や「服従」について説明する。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　対人関係（５）
【内容・方法　等】　リーダシップについて説明する。
【事前・事後学習課題】　自己のリーダーシップのあり方についてA4用紙にまとめ提出する。

第10回　**【授業テーマ】**　うわさ
【内容・方法　等】　うわさによるパニック行動、うわさの分類、社会的機能、発生、消滅のメカニズム等について、実際に世界でおきた事件を例に説明する。
【事前・事後学習課題】　授業で体験した伝達現象について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第11回　**【授業テーマ】**　攻撃行動（１）
【内容・方法　等】　人間の攻撃行動について概説する。
【事前・事後学習課題】　VTRについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第12回　**【授業テーマ】**　攻撃行動（２）
【内容・方法　等】　人間が行なう攻撃行動の機能性について様々な実験例とともに説明する。またドメスティックヴァイオレンスなどについて説明を行なう。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　援助行動（１）
【内容・方法　等】　援助行動の形成や発達の仕方について、また援助行動が行われる状況、行われない状況とはどのような状況か、意思決定はどのように行われるのか、実際のニュースなどを例に説明する。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　援助行動（２）
【内容・方法　等】　援助行動と対人ネットワークの重要性について説明する。ソーシャルサポートの重要性について解説する。
【事前・事後学習課題】　関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第15回　**【授業テーマ】**　まとめ
【内容・方法　等】　授業全体のまとめを行う。
【事前・事後学習課題】　疑問点がどこであるのか考える。

評価方法（基準）

定期試験、講義内で行う小テストやレポート課題等を総合的に評価する。
【定期試験50％、レポート課題30％、小テスト20％】

教材等

教科書…特になし。
講義内で資料配布。
参考書…「心理学の基礎」今田寛、宮田洋、賀集寛共編、培風館（1650円）

学生へのメッセージ

心理学は、みなさんが大学で初めて学ぶ学問の一つです。講義では、今まで想像していた心理学へのイメージとは違う印象を持たれることでしょう。
心理学は科学であり、扱う研究対象は様々です。その中から、理解を深められるようできるだけ実例をあげて解説していきます。講義を通じ、自己の行動を振り返り、取り巻く社会と自己を結びつけ、適応的に社会で生きていく手段について理解を深めて下さい。

関連科目

心理学Ｉ

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

哲学I
Philosophy I

島　田　喜　行（シマダ　ヨシユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。その際、私たちの社会のルールや規範はいかなる仕方で決定するのがよいのか、という問いを軸にしてこの問いと格闘した代表的な哲学者の思想を取り上げる。
到達目標：
（1）社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎的知識が習得できる。
（2）合意説や契約説についての代表的な理論を学ぶことを通じて、哲学的な視点からこの社会の一員として主体的に生きていくことの意味を考えられるようになる。

授業方法と留意点

ノート講義方式
講義内容の理解を問う小テストを数回行う
講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート（1200～1600字）を1回課す

科目学習の効果（資格）

人間と社会の関わりについての哲学的な見方を学ぶことができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　講義の説明
【事前・事後学習課題】　特になし

第２回　**【授業テーマ】**　ソクラテス・プラトンの哲学
【内容・方法　等】　哲学の始まり
【事前・事後学習課題】　予習　ソクラテスとプラトンがどのような哲学者か調べる。

第３回　**【授業テーマ】**　ホッブズの哲学
【内容・方法　等】　合意説／国家の役割について
【事前・事後学習課題】　予習　ホッブズがどのような哲学者か調べる。

第４回　**【授業テーマ】**　ロックの哲学
【内容・方法　等】　自然状態／自然法／所有権について
【事前・事後学習課題】　予習　ロックがどのような哲学者か調べる。

第５回　**【授業テーマ】**　ルソーの哲学
【内容・方法　等】　自然人／社会契約説について
【事前・事後学習課題】　予習　ルソーがどのような哲学者か調べる。

第６回　**【授業テーマ】**　カントの哲学（1）
【内容・方法　等】　義務論的／形式主義的／人格について
【事前・事後学習課題】　予習　カントがどのような哲学者か調べる。

第７回　**【授業テーマ】**　カントの哲学（2）
【内容・方法　等】　自律とは何か
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　248　2014/08/21　14:24:51

第８回　【授業テーマ】　道徳感情学派の哲学
【内容・方法　等】　理性と感情について
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第９回　【授業テーマ】　アーペルの哲学
【内容・方法　等】　討議倫理学の思想（1）
【事前・事後学習課題】　予習　アーペルがどのような哲学者か調べる。
第10回　【授業テーマ】　ハーバーマスの哲学
【内容・方法　等】　討議倫理学の思想（2）
【事前・事後学習課題】　予習　ハーバーマスがどのような哲学者か調べる。
第11回　【授業テーマ】　ベンサムの哲学
【内容・方法　等】　功利的快楽計算の思想（1）
【事前・事後学習課題】　予習　ベンサムがどのような哲学者か調べる。
第12回　【授業テーマ】　J. S. ミルの哲学
【内容・方法　等】　功利的快楽計算の思想（2）
【事前・事後学習課題】　予習　J. S. ミルがどのような哲学者か調べる。
第13回　【授業テーマ】　功利主義批判
【内容・方法　等】　功利主義の問題点とその克服の可能性
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第14回　【授業テーマ】　ロールズの哲学
【内容・方法　等】　無知のヴェール／重なり合う合意について
【事前・事後学習課題】　予習　ロールズがどのような哲学者か調べる。
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習

評価方法（基準）
定期試験60％、平常点（小テスト、小レポート1200～1600字、受講態度、出席状況）40％の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…今道友信『西洋哲学史』講談社学術文庫、1987年。
その他は、講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
わたしたちの社会のきまりやルールがどのような考え方に基づいて作り出されてきたのかを知ることから、これからの社会の在り方について考えるヒントを見つけてください。
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
哲学ＩＩ

担当者の研究室等
非常勤講師控室

哲学II
Philosophy II

島　田　喜　行（シマダ　ヨシユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、「良心」とは何かという問いを中心に人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。
到達目標
（1）社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎的知識が習得できる。
（2）他者と共にこの世界のなかで生きる私とはいかなる存在かを知り、私の「良心」と真摯に向き合うことの意義について考えられるようになる。

授業方法と留意点
ノート講義方式
講義内容の理解を問う小テストを数回行う
講義内容と密接に関係する問題に対する小レポート（1200～1600字）を1回課す

科目学習の効果（資格）
この世界のなかで他者と共に生きるという当たり前だと思われていることのなかにこそ解決困難な問題が潜んでいることを知り、自ら深く考えるという姿勢を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　講義の説明
【事前・事後学習課題】　特になし
第２回　【授業テーマ】　良心とは何か
【内容・方法　等】　「良心」の原義
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第３回　【授業テーマ】　共に知ること（1）
【内容・方法　等】　世間と共に知ること
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第４回　【授業テーマ】　共に知ること（2）
【内容・方法　等】　神と共に知ること
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第５回　【授業テーマ】　ソクラテスの思想と良心（1）
【内容・方法　等】　「無知の知」という問い
【事前・事後学習課題】　予習　ソクラテスについて調べる
第６回　【授業テーマ】　ソクラテスの思想と良心（2）
【内容・方法　等】　知を愛し求める者の在り方
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第７回　【授業テーマ】　プラトンの思想と良心
【内容・方法　等】　イデア論について
【事前・事後学習課題】　予習　プラトンについて調べる
第８回　【授業テーマ】　ストア派の良心論（1）
【内容・方法　等】　キケロの思想
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第９回　【授業テーマ】　ストア派の良心論（2）
【内容・方法　等】　マルクス・アウレリウスの思想
【事前・事後学習課題】　予習　マルクス・アウレリウスについて調べる
第10回　【授業テーマ】　デカルトの思想と良心
【内容・方法　等】　絶対確実なものを求めて
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第11回　【授業テーマ】　モンテーニュの思想と良心
【内容・方法　等】　「無知の知」の問い再考
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第12回　【授業テーマ】　パスカルの思想と良心
【内容・方法　等】　「人間は考える葦である」とはどういうことか
【事前・事後学習課題】　予習　パスカルについて調べる
第13回　【授業テーマ】　カントの思想と良心（1）
【内容・方法　等】　目的と手段について
【事前・事後学習課題】　予習　カントについて調べる
第14回　【授業テーマ】　カントの思想と良心（2）
【内容・方法　等】　自律について
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】　事後学習　講義ノートの復習

評価方法（基準）
定期試験60％、平常点（1200～1600字の小レポート、小テスト、受講態度、出席状況）40％の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…石川康文『良心論--その哲学的試み--』名古屋大学出版会、2001年。
その他は、講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ
「良心」とは何かという問いを通じて哲学的な「自己探求」という迷宮に足を踏み入れてみましょう。
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目
哲学Ｉ

担当者の研究室等
非常勤講師控室

スポーツ科学実習I
Practice of Sports Science I

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ｉはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　249　2014/08/21　14:24:51

スポーツ科学実習Ⅰでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ガイダンス
【内容･方法　等】 履修上の注意やコース種目分け
【事前･事後学習課題】 観察記録
第２回　【授業テーマ】 体力測定①
【内容･方法　等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
【事前･事後学習課題】 観察記録
第３回　【授業テーマ】 体力測定②
【内容･方法　等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前･事後学習課題】 観察記録
第４回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前･事後学習課題】 観察記録
第５回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前･事後学習課題】 観察記録
第６回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前･事後学習課題】 観察記録
第７回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 基礎技術練習（ピッチング・キャッチング・ヒッティング）
【事前･事後学習課題】 観察記録
第８回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 基本技術練習・ゲーム
【事前･事後学習課題】 観察記録
第９回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 基本技術練習・ゲーム
【事前･事後学習課題】 観察記録
第10回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 基本技術練習・ゲーム
【事前･事後学習課題】 観察記録
第11回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 リーグ戦
【事前･事後学習課題】 観察記録
第12回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 リーグ戦
【事前･事後学習課題】 観察記録
第13回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 リーグ戦
【事前･事後学習課題】 観察記録
第14回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 リーグ戦
【事前･事後学習課題】 観察記録
第15回　【授業テーマ】 ソフトボール
【内容･方法　等】 リーグ戦
【事前･事後学習課題】 観察記録

評価方法（基準）
単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１Ｆ　横山講師室

スポーツ科学実習Ⅰ
Practice of Sports Science Ⅰ

西　村　和　恵（ニシムラ　カズエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅰでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 ガイダンス
【内容･方法　等】 各履修の注意と説明
各コース分け
【事前･事後学習課題】 ルールの理解
第２回　【授業テーマ】 体力測定①
【内容･方法　等】 50m走、立ち幅跳、ハンドボール投げ
【事前･事後学習課題】 体力測定評価
第３回　【授業テーマ】 体力測定②
【内容･方法　等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前･事後学習課題】 体力測定評価
第４回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 対人パス、1対1、2対1、6人円陣パス、基本技術練習
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第５回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 基本技術練習、パス～レシーブ、簡易試合
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第６回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第７回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第８回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第９回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第10回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第11回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 ゲーム(リーグ戦)
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第12回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 ゲーム(リーグ戦)
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第13回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 ゲーム(リーグ戦)
【事前･事後学習課題】 授業内容のまとめ
第14回　【授業テーマ】 バレーボール
【内容･方法　等】 ゲーム(リーグ戦)

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　250　2014/08/21　14:24:51

【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第15回 【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法 等】 ゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F事務室にきてください。
実施場所は総合体育館アリーナで行う。
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１Ｆ　体育館事務室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅱはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅱでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】 観察記録
第２回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第３回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第４回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第５回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第６回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
第７回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
第８回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
第９回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録
第10回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第11回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第12回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第13回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第14回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録
第15回 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム（リーグ戦）
【事前・事後学習課題】 観察記録

評価方法（基準）
単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１Ｆ　横山講師室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

西　村　和　恵（ニシムラ　カズエ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅱはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅱでは、第１回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目；クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 各履修の注意と説明
各コース分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
第２回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 基本技術練習、ルール説明
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第３回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 基本技術練習、簡易試合(シングルス)

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 251 2014/08/21 14:24:51

【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第４回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第５回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第６回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第７回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス、ルール説明
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第８回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第９回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第10回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第11回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第12回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第13回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第14回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
第15回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は開講時間数の７５％以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１F事務室にきてください。
実施場所は総合体育館アリーナで行う。
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１Ｆ　体育館事務室

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

横山喬之（ヨコヤマ　タカユキ）
西村和恵（ニシムラ　カズエ）
木梨雅子（キナシ　マサコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的にする。
《到達目標》
①運動技術の向上
②競技ルールの理解
③学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点
【授業内容】
授業での開講種目は下記のとおりである。
[開講予定種目]
サッカー、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球
これらの種目の他に、集中授業としてゴルフを開講しますが、通年授業の生涯スポーツ実習との重複履修は出来ません。
※尚、各種目の人数が多すぎる場合や少なすぎる場合は、他の種目に移動、もしくは開講しないことがあります。また、1回目の授業はガイダンスの他、各種目のコース分けをするので、必ず出席すること。何らかの事情で出席できない場合は、事前に体育館事務室まで連絡するように。

科目学習の効果（資格）
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）
コース種目分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
第２回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第３回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第４回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第５回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第６回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第７回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第８回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第９回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
第15回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法 等】 ゲーム（グルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館１Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ　健康論　保健論

担当者の研究室等
体育館１Ｆ　体育館事務室

備考
【準備物】
トレーニングウエア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

生涯スポーツ実習
Lifetime Sports

近藤潤（コンドウ　ジュン）
菅生貴之（スゴウ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	1

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　252　2014/08/21　14:24:51

授業概要・目的・到達目標

ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的にする。

《到達目標》

運動技術の向上

競技ルールの理解

学生相互のコミュニケーション能力の向上

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

事前ガイダンスと集中授業４日間合わせて５日間で行う。

後期の生涯スポーツ実習が履修できること。

５日間すべて受講できること。

事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ　学習内容　場所

１回目　：事前ガイダンス　目的、日程、準備する物、ゴルフについて　総合体育館

２回目ＡＭ：ゴルフの基礎知識　ゴルフのルール・マナーについて　総合体育館

ＰＭ：基礎技術　グリップ・スウィング・パター　多目的グラウンドおよび第１グラウンド

３回目ＡＭ：基礎技術　打球練習場での練習　打球練習場

ＰＭ：基礎技術　アプローチ、パター練習　第１グラウンド

４回目ＡＭ：基礎技術　打球練習場での練習　打球練習場

ＰＭ：基礎技術　アプローチ、パター練習　第１グラウンド

５回目ＰＭ：応用編　ラウンド（９Ｈ）　京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準

平常点５０％、態度点２５％、技能点２５％として、総合評価する。

教材等

教科書…指定なし

参考書…使用しない

備考

ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス（半ズボンの場合はハイソックス着用）、運動靴（スパイク類は禁止）

保健論
Theory of Health

藤　林　真　美（フジバヤシ　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会は利便さと引き換えに人々の身体活動量が著しく減少し、その結果、子どもから高齢者まで年齢階層を問わず生活習慣病に罹患する人口が激増している。この予防・改善には、「運動」「食事」「休養」のバランスが取れた生活を送ることが望ましい。

本講義では、健康について幅広い知識を習得することを目的とする。

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康な大学生活を送り、さらに生涯にわたって健康を維持するための正しい知識や習慣を得る事ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　はじめに～健康とは～

【内容･方法　等】　健康の定義。厚生労働省の「健康日本２１」の概要を解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第２回　**【授業テーマ】**　「運動」「栄養」「休養」

【内容･方法　等】　「運動」「栄養」「休養」について概説し、それらと生活習慣病との関連性について説明する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第３回　**【授業テーマ】**　五大栄養素

【内容･方法　等】　五大栄養素とその役割について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第４回　**【授業テーマ】**　身体を動かす仕組み～筋・骨格系～

【内容･方法　等】　筋・骨格系の解剖学的、形態学的特性と神経系の役割について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第５回　**【授業テーマ】**　身体を動かすしくみ～呼吸器系～

【内容･方法　等】　呼吸器の構造と機能について解説する。運動時の呼吸応答、酸素摂取量の変動、さらに運動トレーニングによる最大酸素摂取量の増大について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第６回　**【授業テーマ】**　身体を動かすしくみ～循環器系～

【内容･方法　等】　循環器の構造と機能、血液成分について解説する。運動時の心拍数、心拍出量の変動、さらに運動トレーニングによる循環器系の形態・機能の向上について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第７回　**【授業テーマ】**　生活習慣病予防としての運動の役割

【内容･方法　等】　エネルギー供給系について説明し、運動トレーニングによるエネルギー代謝の変化を解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第８回　**【授業テーマ】**　発育・発達

【内容･方法　等】　幼少期から青年期にいたる身体の形態発育・機能発達と、それらに運動トレーニングが及ぼす効果について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第９回　**【授業テーマ】**　老化

【内容･方法　等】　身体の形態・機能の老化について解説する。また中・高齢者における運動トレーニングの効果について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第10回　**【授業テーマ】**　様々な環境下における生理学的しくみ

【内容･方法　等】　暑熱下・寒冷下における体温調節のしくみを解説する。さらに暑熱環境下における水分補給について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第11回　**【授業テーマ】**　運動障害と予防、応急処置

【内容･方法　等】　スポーツ障害、過換気症候群、RICE処置、心肺蘇生法について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第12回　**【授業テーマ】**　健康づくりのための運動処方

【内容･方法　等】　有酸素・無酸素運動、レジスタンストレーニングについて、健康づくりの観点から解説する。また年代・性差による違いについても説明する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第13回　**【授業テーマ】**　ストレス・疲労への対策

【内容･方法　等】　ストレス要因の軽減・ストレスへの早期対応としてのスポーツの関わりを解説する。

また疲労が起こるしくみとその対策について解説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第14回　**【授業テーマ】**　アルコール、タバコ、薬物、性感染症

【内容･方法　等】　アルコールやタバコ、薬物が身体へ及ぼす影響について解説する。またHIVなど性感染症についても概説する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

第15回　**【授業テーマ】**　総括

【内容･方法　等】　皆さんのQOL（Quality of life: 生活の質）向上の観点から、「運動」「食事」「休養」の有用性について総括する。

【事前･事後学習課題】　配布プリント

評価方法（基準）

主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

教材等

教科書…特になし

参考書…特になし

学生へのメッセージ

皆さんが将来知的職業人として社会で活躍するためには、まず「健康」が基盤です。自分の身体・健康に興味を持って、より充実した大学生活を過ごしてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習、健康科学

担当者の研究室等

総合体育館1階　藤林研究室

くらしと経済
Life and Economy

岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本を含む世界経済はダイナミックな変化の過程にある。先進国の経済成長率が鈍化する一方、新興国は世界経済の動力源として機能しつつある。ここで重要なのは、これらは私たちのくらしと決して無縁ではなく、むしろ私たちはこれらの経済問題を積極的に理解し、自らの力で対処しなければならない、ということである。本講義の目標は経済問題を考えるための初歩的なスキルを身につけることである。

授業方法と留意点

教科書を用いた講義形式で行う。ただし、受動的な受講姿勢とならないよう、“声を出す”ことを重視する。例えば教科書の音読、臨機応変な質疑応答等である。言うまでもなく教科書は必携である。ただし、私語への対処は、他の講義よりも厳しいと心得ておいて欲しい。また高校と異なり、大学の講義では板書より

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　253　2014/08/21　14:24:52

も口頭説明が多く、自分なりのノートの取り方を工夫しておくこと。

科目学習の効果（資格）

日々のくらしの中で遭遇する経営・経済問題を深く理解し、対処するスキルを身につけることができる。また専門科目をより深く理解するための基礎となり、資格取得・公務員試験などにも役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容･方法　等】　経済現象と日々のくらしとの結びつきについて概説し、「くらしと経済」で何を考え学ぶのかを解説する。新聞の読み方についても解説する。
【事前･事後学習課題】　復習すること

第２回　【授業テーマ】　分業の利益
【内容･方法　等】　分業、比較優位、機会費用について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１章を予習復習のこと

第３回　【授業テーマ】　需要と供給
【内容･方法　等】　需要曲線、供給曲線について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第２章を予習復習のこと

第４回　【授業テーマ】　価格メカニズム
【内容･方法　等】　市場取引や価格決定のメカニズムについて解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第３章を予習復習のこと

第５回　【授業テーマ】　市場の効率性
【内容･方法　等】　望ましい経済の基準として効率性について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第４章を予習復習のこと

第６回　【授業テーマ】　市場の失敗
【内容･方法　等】　市場は万能ではない。市場の失敗について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第５章を予習復習のこと

第７回　【授業テーマ】　市場の限界
【内容･方法　等】　市場の失敗の原因の一つである情報の非対称性や市場の限界について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第６章を予習復習のこと

第８回　【授業テーマ】　中間試験
【内容･方法　等】　前回までの内容について試験を行う。
【事前･事後学習課題】　復習を行っておくこと

第９回　【授業テーマ】　労働市場
【内容･方法　等】　学生にとって最も身に染みて感じるであろう労働市場について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第７章を予習復習のこと

第10回　【授業テーマ】　ＧＤＰについて
【内容･方法　等】　国の豊かさを測るＧＤＰにについて解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第８、９章を予習復習のこと

第11回　【授業テーマ】　消費需要と投資需要
【内容･方法　等】　ＧＤＰ構成要素の消費と投資について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１０章を予習復習のこと

第12回　【授業テーマ】　貨幣と金融
【内容･方法　等】　経済取引に欠かせない貨幣と経済取引の大半を占める金融について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１１章を予習復習のこと

第13回　【授業テーマ】　政府の役割
【内容･方法　等】　市場は万能ではなく、政府の存在意義の一つもそこにある。政府の経済的な役割について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１２章を予習復習のこと

第14回　【授業テーマ】　外国貿易と為替レート
【内容･方法　等】　資源小国かつ技術立国日本は海外諸国との貿易で生計を立てている。日本の貿易の状況や為替レートの決定について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１３章を予習復習のこと

第15回　【授業テーマ】　経済成長と国民生活
【内容･方法　等】　経済の成長は豊かさの維持と密接に関わる。経済成長率の表し方やその分析方法について解説する。
【事前･事後学習課題】　教科書第１４章を予習復習のこと

評価方法（基準）

中間試験(50%)＋期末試験(50%)+発言点(＋α)をもとに評価する。中間・期末双方の試験を受験しなければ評価の対象とならない。私語は減点の対象となる。

教材等

教科書…中谷武・中村保編著『１からの経済学』碩学舎、2520円ISBN978-4-502-68080-9

参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ

単位取得のためではなく、自身の能力向上のために受講するんだ、という姿勢であって欲しい。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進願いたい。

関連科目

本学部開講科目の全ての科目

担当者の研究室等

１１号館８階(岩坪教授室)

社会学I
Sociology I

山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私たちの生きる社会は、どのような仕組みで動いているのか。社会にはどのような問題があり、それはなぜ生じているのか。これらの問いに向きあう際のもっとも基本的な社会(科)学の認識枠組みを紹介する。教育、仕事、産業と経済、という3つのテーマを事例として、社会(科)学的に考えることの重要性を理解してもらうことが本講義の目標である。

授業方法と留意点

テーマに関連するデータ資料や視聴覚教材をもちいる。

科目学習の効果（資格）

社会生活を送る上で何かと直面することになるであろう「人と人」「人と集団」「集団と集団」に関わる問題に対する、幅広い視点を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　講義をはじめるにあたって
【内容･方法　等】　講義へのオリエンテーション
【事前･事後学習課題】　授業内容に関する復習

第２回　【授業テーマ】　1　社会学とは
【内容･方法　等】　社会学における基礎的な知識と発想（1）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第３回　【授業テーマ】　1　社会学とは
【内容･方法　等】　社会学における基礎的な知識と発想（2）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第４回　【授業テーマ】　1　社会学とは
【内容･方法　等】　社会学における基礎的な知識と発想（3）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第５回　【授業テーマ】　1　社会学とは
【内容･方法　等】　社会学における基礎的な知識と発想 (4)
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第６回　【授業テーマ】　1　社会学とは
【内容･方法　等】　社会学における基礎的な知識と発想 (5)
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第７回　【授業テーマ】　中テスト
【内容･方法　等】　まとめと授業内容の理解度を問う記述式のテスト
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習

第８回　【授業テーマ】　2　教育の社会学
【内容･方法　等】　学歴社会のメカニズム（1）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第９回　【授業テーマ】　2　教育の社会学
【内容･方法　等】　学歴社会のメカニズム（2）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第10回　【授業テーマ】　2　教育の社会学
【内容･方法　等】　学歴社会のメカニズム（3）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第11回　【授業テーマ】　3　仕事の社会学
【内容･方法　等】　働き方の変化とその背景 (1)
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第12回　【授業テーマ】　3　仕事の社会学
【内容･方法　等】　働き方の変化とその背景（2）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第13回　【授業テーマ】　4　産業と経済の社会学
【内容･方法　等】　豊かな社会への道（1）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第14回　【授業テーマ】　4　産業と経済の社会学
【内容･方法　等】　豊かな社会への道（2）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第15回　【授業テーマ】　講義を終えるにあたって
【内容･方法　等】　まとめ
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

評価方法（基準）

授業態度10%、試験（中間、期末）90%で評価する。

教材等

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　254　2014/08/21　14:24:52

教科書…使用しない。
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ

やや厳しい授業ですが、テーマに関心をもったやる気のある学生は受講してください。大事なのは「正解のない問題」と向き合う際の姿勢です。

関連科目

社会学Ⅱ

担当者の研究室等

11号館7階　山本講師室

社会学II
Sociology II

山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私たちの生きる社会はどのような仕組みで動いているのか。社会にはどのような問題があり、それはなぜ生じているのか。これらの問いに向きあう際のもっとも基本的な社会(科)学の認識枠組みを紹介する。家族と子ども、政治、宗教、社会意識、という4つのテーマを事例として、社会(科)学的に考えることの重要性を理解してもらうことが本講義の目標である。

授業方法と留意点

テーマに関連するデータ資料や視聴覚教材をもちいる。

科目学習の効果（資格）

社会生活を送る上で何かと直面することになるであろう「人と人」「人と集団」「集団と集団」に関わる問題に対する、幅広い視点を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　講義をはじめるにあたって
【内容･方法　等】　講義へのオリエンテーション
【事前･事後学習課題】　授業内容に関する復習

第２回　【授業テーマ】　1　家族と子どもの社会学
【内容･方法　等】　家族は危機に陥ったのか（1）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第３回　【授業テーマ】　1　家族と子どもの社会学
【内容･方法　等】　家族は危機に陥ったのか（2）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第４回　【授業テーマ】　1　家族と子どもの社会学
【内容･方法　等】　家族は危機に陥ったのか（3）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第５回　【授業テーマ】　2　宗教の社会学
【内容･方法　等】　人はなぜ宗教に惹かれるのか（1）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第６回　【授業テーマ】　2　宗教の社会学
【内容･方法　等】　人はなぜ宗教に惹かれるのか（2）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第７回　【授業テーマ】　2　宗教の社会学
【内容･方法　等】　人はなぜ宗教に惹かれるのか（3）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第８回　【授業テーマ】　中テスト
【内容･方法　等】　まとめと授業内容の理解度を問う記述式のテスト
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習

第９回　【授業テーマ】　3　政治の社会学
【内容･方法　等】　平和と共存の作法を求めて（1）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第10回　【授業テーマ】　3　政治の社会学
【内容･方法　等】　平和と共存の作法を求めて（2）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第11回　【授業テーマ】　3　政治の社会学
【内容･方法　等】　平和と共存の作法を求めて（3）
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第12回　【授業テーマ】　4　社会意識
【内容･方法　等】　社会に生きるわれわれの「意識」(1)
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第13回　【授業テーマ】　4　社会意識
【内容･方法　等】　社会に生きるわれわれの「意識」(2)
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第14回　【授業テーマ】　4　社会意識
【内容･方法　等】　社会に生きるわれわれの「意識」(3)
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

第15回　【授業テーマ】　講義を終えるにあたって
【内容･方法　等】　まとめ
【事前･事後学習課題】　配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

評価方法（基準）

授業態度10%、試験（中間、期末）90%で評価する。

教材等

教科書…使用せず。
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ

やや厳しい授業ですが、テーマに関心をもったやる気のある学生は受講してください。大事なのは「正解のない問題」に向きあう際の姿勢です。

関連科目

社会学Ⅰ

担当者の研究室等

11号館7階　山本講師室

歴史学I
HistoryI

佐　伯　智　広（サエキ　トモヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自国の文化や海外の文化を理解するためには、まず私達たち自身の歴史を知り、文化の起こり・移り変わり・成り立ち・特色について考えることが欠かせません。この講義では、そのための歴史の基礎知識を学んで行きます。対象は古代から現代までの全時代です。

授業方法と留意点

板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。参考図書は講義内で適宜示します。

科目学習の効果（資格）

日本文化の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション　歴史と文化の接点
【内容･方法　等】　歴史と文化との関わり全般について概観します。
【事前･事後学習課題】　なし

第２回　【授業テーマ】　飛鳥時代　―仏教伝来―
【内容･方法　等】　飛鳥時代の文化について学びます。
【事前･事後学習課題】　予習として、「聖徳太子」という人物について辞書的な経歴を調べる。

第３回　【授業テーマ】　奈良時代　―仏教興隆―
【内容･方法　等】　奈良時代の文化について学びます。
【事前･事後学習課題】　予習として、「鎮護国家」という語について辞書的な意味を調べる。

第４回　【授業テーマ】　平安時代前期　―仏教再編―
【内容･方法　等】　平安時代前期の文化について学びます。
【事前･事後学習課題】　予習として、「密教」という語について辞書的な意味を調べる。

第５回　【授業テーマ】　平安時代中期　―消化と吸収―
【内容･方法　等】　平安時代中期の文化について学びます。
【事前･事後学習課題】　予習として、「念仏」という語について辞書的な意味を調べる。

第６回　【授業テーマ】　平安時代後期・鎌倉時代前期　―地方への拡大―
【内容･方法　等】　平安時代後期・鎌倉時代前期の文化について学びます。
【事前･事後学習課題】　予習として、「武士」という語について辞書的な意味を調べる。

第７回　【授業テーマ】　鎌倉時代後期　―異端の力―
【内容･方法　等】　鎌倉時代後期の文化について学びます。
【事前･事後学習課題】　予習として、「鎌倉新仏教」という語について辞書的な意味を調べる。

第８回　【授業テーマ】　南北朝時代・室町時代　―京都への回帰―
【内容･方法　等】　南北朝時代・室町時代の文化について学びます。
【事前･事後学習課題】　予習として、「南北朝」という語について辞書的な意味を調べる。

第９回　【授業テーマ】　戦国時代・安土桃山時代　―力と平和―
【内容･方法　等】　戦国時代・安土桃山時代の文化について学

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　255　2014/08/21　14:24:52

びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「小京都」という語について辞書的な意味を調べる。
第10回 【授業テーマ】 江戸時代前期・中期 ―天下泰平―
【内容・方法 等】 江戸時代前期・中期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「鎖国」という語について辞書的な意味を調べる。
第11回 【授業テーマ】 江戸時代後期・末期 ―世界的激動の中で―
【内容・方法 等】 江戸時代後期・末期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「開国」という語について辞書的な意味を調べる。
第12回 【授業テーマ】 明治時代 ―西洋文明との出会い―
【内容・方法 等】 明治時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。
第13回 【授業テーマ】 大正時代・戦前 ―植民地時代の光と影―
【内容・方法 等】 大正時代・戦前の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「モダニズム」という語について辞書的な意味を調べる。
第14回 【授業テーマ】 戦後 ―高度経済成長と現代―
【内容・方法 等】 戦後の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「高度経済成長」という語について辞書的な意味を調べる。
第15回 【授業テーマ】 冠婚葬祭にまつわるエトセトラ
【内容・方法 等】 冠婚葬祭にまつわる文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「冠婚葬祭」という語について辞書的な意味を調べる。

評価方法（基準）
予習シート３０％、定期試験７０％

教材等
教科書…ありません。
参考書…講義内で適宜示します。

学生へのメッセージ
教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきゅうくつな枠組みはありません。
ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！
また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

関連科目
ありません。

担当者の研究室等
７号館２階非常勤講師室

歴史学II
HistoryII

村 上 司 樹（ムラカミ モトキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「都市」と聞いて私たちが思い浮かべるのは、経済・産業の中心であり、自由な活動の場といったイメージではなかろうか。経済と自由、この２つの特徴の歴史的ルーツをたどっていけば、ヨーロッパ中世都市に行き着く。高校世界史において、商業の復活がヨーロッパ中世都市を生み出し、市民の自治がこれを発展させたと教わった人も少なくないだろう。古代や中国の例なども広く視野に入れることで、一種、常識となっているこのような通説を疑い、考えなおす。そのようにして、都市を窓口に歴史を展望する。以上が本講義の目的である。支配と消費の中心ではなく、周辺の自然環境や地域社会と共存できる都市のあり方など、現代的な問題を解決するためのヒントも探りたい。

授業方法と留意点
毎回プリントを配布し、図像史料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低２回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がある。そのための２度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。

科目学習の効果（資格）
商業や市民に限られない、中世都市の多様なあり方とダイナミズムを中心として、経営を学ぶための基礎体力となる幅広い教養と具体的思考の習慣を身に付ける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業のルール・方針・全体計画
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第２回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市Ｉ
【内容・方法 等】 中国都市 ―停滞というウソ
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第３回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市ＩＩ
【内容・方法 等】 中国都市 ―停滞というウソ（続）
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第４回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市ＩＩＩ
【内容・方法 等】 イスラーム都市 ―不合理というウソ
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第５回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市ＩＶ
【内容・方法 等】 イスラーム都市 ―不合理というウソ（続）
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第６回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市Ｖ
【内容・方法 等】 イスラーム都市 ―不合理というウソ（続々）
【事前・事後学習課題】 小レポート
第７回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市Ｉ
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 ―経済より政治
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第８回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市ＩＩ
【内容・方法 等】 都市古代ギリシャ・ローマ都市 ―経済より政治（続）
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第９回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市ＩＩＩ
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 ―経済より政治（続々）
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第10回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市ＩＶ
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 ―ライフスタイルを支える施設
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第11回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市ＩＶ
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 ―ライフスタイルを支える施設（続）
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第12回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市Ｉ
【内容・方法 等】 はじめに教会があった
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第13回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市ＩＩ
【内容・方法 等】 はじめに教会があった（続）
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第14回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市ＩＩＩ
【内容・方法 等】 自由と経済
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
第15回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市ＩＶ
【内容・方法 等】 自由と経済（続）
【事前・事後学習課題】 試験の準備

評価方法（基準）
暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験（40%）、②小レポート（30%）、③レスポンスペーパー（30%）の３つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。

教材等
教科書…参考資料を適宜配布する。
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やることが多い」などとネガティヴに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティヴに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

備考
【教職科目】教科に関する科目（中学校 社会）
【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史
【履修区分】必修

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 256 2014/08/21 14:24:52

法学入門
Jurisprudence

小　島　俊　朗（コジマ　トシロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

法は私たちの日常生活と密接な関係にあり、私たちが普段あまり意識しないで行動していても、その行為の裏には法律関係若しくは法律的問題のあるものが沢山あります。法を学ぶことは世の中を知ることにもつながります。この講義では、現実の社会と法の世界がどのように関係しあっているかということについて理解してもらいたいと思います。法についての基本的な知識と考え方を身につけ、世の中の動きに関心を持ってもらえたらと思います。

授業方法と留意点

講義方式を採ります。決まった教科書は使用しませんが、レジュメと参考資料を随時配付します。

科目学習の効果（資格）

公務員試験や教員免許の取得等に参考になると思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 法とは何か
【内容・方法　等】 法規範と道徳の違い、法源とは何かなど
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第２回　【授業テーマ】 法の解釈
【内容・方法　等】 法令解釈の基本
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第３回　【授業テーマ】 国家と法
【内容・方法　等】 国家と憲法、国民主権、三権分立
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第４回　【授業テーマ】 平和と法
【内容・方法　等】 平和主義
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第５回　【授業テーマ】 人権と法（Ⅰ）
【内容・方法　等】 基本的人権の保障（自由権）
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第６回　【授業テーマ】 人権と法（Ⅱ）
【内容・方法　等】 基本的人権の保障（社会権）
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第７回　【授業テーマ】 政治と法
【内容・方法　等】 統治機構
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第８回　【授業テーマ】 国と地方
【内容・方法　等】 地方自治
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第９回　【授業テーマ】 財産と法
【内容・方法　等】 所有権の絶対性
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第10回　【授業テーマ】 契約と法（Ⅰ）
【内容・方法　等】 契約自由の原則
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第11回　【授業テーマ】 契約と法（Ⅱ）
【内容・方法　等】 契約各論
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第12回　【授業テーマ】 家族と法
【内容・方法　等】 結婚と離婚、相続
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第13回　【授業テーマ】 犯罪と法
【内容・方法　等】 罪刑法定主義
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第14回　【授業テーマ】 行政と法
【内容・方法　等】 行政の仕組みと行政行為
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する

第15回　【授業テーマ】 紛争解決と法
まとめ
【内容・方法　等】 争訟制度
授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習しておいてください。

評価方法（基準）

定期試験の結果で評価します。

教材等

教科書…レジュメを配付する。
参考書…なし

学生へのメッセージ

学生時代には、いろいろなことに興味を持ち、専門分野は勿論のこと他の分野について勉強することも将来何かの役に立つことと思います。法の世界もその一つです。授業が進めば、新たな世界が見えてくると思います。

関連科目

憲法、民法、刑法など

担当者の研究室等

11号館10階　小島教授室

備考

なし

日本国憲法
The Japanese Constitutional Law

大　仲　淳　介（オオナカ　アツヨシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：日本国憲法の基本的な内容を理解できるように、授業テーマと関連する憲法上の問題をとりあげ、これと関わりのある基本事項、判例、学説を解説・検討します。目的：身近に生じる憲法上の問題を通して憲法の基本的な考え方を理解してもらうこと。目標：憲法の基本的な知識を修得し、身近に生じる憲法上の問題を憲法の視点から考えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

教科書と配布プリントを用いて講義形式で行います。小テストは授業中に、適宜、行います。なお小テストを実施した回に欠席した者のための再試験は行いませんので注意して下さい。

科目学習の効果（資格）

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得になると思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 日本国憲法とは
【内容・方法　等】 憲法の意味、憲法の最高法規性、違憲審査制などについて説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書9頁から18頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第２回　【授業テーマ】 基本的人権の保障１
【内容・方法　等】 人権の歴史、人権の分類、人権の限界について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書19頁から25頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第３回　【授業テーマ】 基本的人権の保障２
【内容・方法　等】 人権の享有主体について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書25頁から38頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第４回　【授業テーマ】 基本的人権の保障３
【内容・方法　等】 人権規定の私人間効力について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書39頁から46頁を読んでおいて下さい。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第５回　【授業テーマ】 基本的人権の保障４
【内容・方法　等】 幸福追求権と法の下の平等について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書47頁から66頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第６回　【授業テーマ】 基本的人権の保障５
【内容・方法　等】 信教の自由と政教分離について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書67頁から78頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第７回　【授業テーマ】 基本的人権の保障６
【内容・方法　等】 表現の自由の保障とその限界について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書79頁から90頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第８回　【授業テーマ】 基本的人権の保障７
【内容・方法　等】 表現活動の規制（検閲と事前抑制）について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書91頁から100頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第９回　【授業テーマ】 基本的人権の保障８
【内容・方法　等】 職業選択の自由とその規制を中心に経済的自由権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書101頁から110頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

第10回　【授業テーマ】 基本的人権の保障９
【内容・方法　等】 生存権を中心に社会権について説明します。
【事前・事後学習課題】 事前に教科書111頁から129頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　257　2014/08/21　14:24:52

解いて下さい。
第11回　【授業テーマ】　基本的人権の保障10
【内容・方法　等】　刑罰、刑事手続と憲法について説明します。
【事前・事後学習課題】　事前に教科書131頁から140頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第12回　【授業テーマ】　統治機構１
【内容・方法　等】　立法の委任を中心に国会と立法権について説明します。
【事前・事後学習課題】　事前に155頁から166頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第13回　【授業テーマ】　統治機構２
【内容・方法　等】　議院内閣制、内閣の組織と権能について説明します。
【事前・事後学習課題】　事前に教科書167頁から178頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第14回　【授業テーマ】　統治機構３
【内容・方法　等】　司法権、違憲立法審査権について説明します。
【事前・事後学習課題】　事前に教科書179頁から200頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。
第15回　【授業テーマ】　統治機構４
【内容・方法　等】　地方自治の本旨、条例制定権、住民投票について説明します。
【事前・事後学習課題】　事前に教科書201頁から210頁を読んでおいてください。事後においては、配付プリントの問題を解いて下さい。

評価方法（基準）
定期試験（60％）、小テスト（40％）の割合で評価します。小テストは、適宜、行います。

教材等
教科書…中村睦男、岩本一郎、大島佳代子、木下和朗、齊藤正彰、佐々木雅寿、寺島壽一「はじめての憲法学」（第2版）三省堂
参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ
授業で生じた疑問は必ず質問して下さい。

関連科目
法学入門

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

政治学概論I
Introduction to Politics I

森　　康　一（モリ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日々ニュースで報じられる政治の動きを、政治学という学問的な裏付けを基礎にしてとらえることを目標とする。
政治体制・政党制など、政治学の理論的な整理を試みるとともに、国際政治についても目を向けていきたい。

授業方法と留意点
プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果（資格）
政治学の基本となる知識を習得できるようにしたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法　等】　講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】　新聞の政治目・国際面を読む習慣をつける
第２回　【授業テーマ】　「政治」とはなにか
【内容・方法　等】　「政治」の概念について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第３回　【授業テーマ】　近代国家の誕生
【内容・方法　等】　近代国家とはなにか、またその誕生について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第４回　【授業テーマ】　国家の政治体制（1）
【内容・方法　等】　政治体制とは何か、および政治体制の分類について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第５回　【授業テーマ】　国家の政治体制（2）
【内容・方法　等】　自由民主主義体制の分類について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第６回　【授業テーマ】　国家の政治体制（3）
【内容・方法　等】　非自由民主主義体制の分類について、および体制変動について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第７回　【授業テーマ】　政治と経済・福祉（1）
【内容・方法　等】　政治と経済の関わりについて
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第８回　【授業テーマ】　政治と経済・福祉（2）
【内容・方法　等】　戦後の福祉国家について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第９回　【授業テーマ】　政治制度と政治過程
【内容・方法　等】　国民代表・利益代表の政治過程について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第10回　【授業テーマ】　政策と行政
【内容・方法　等】　政策過程について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第11回　【授業テーマ】　政党制
【内容・方法　等】　政党とはなにか、また政党システムの類型について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第12回　【授業テーマ】　集権と分権
【内容・方法　等】　分権と連邦主義、国際統合について
【事前・事後学習課題】　政治学に関する参考文献を読んでおく
第13回　【授業テーマ】　近代の国際政治と現代の国際政治（1）
【内容・方法　等】　近代の国際体系＝ウェストファリア体制について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第14回　【授業テーマ】　近代の国際政治と現代の国際政治（2）
【内容・方法　等】　現代の国際政治の特色について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　講義のまとめと、試験について
【事前・事後学習課題】　試験に向けたノート作りをしておく

評価方法（基準）
期末の試験の結果によって評価を行います。持ち込みは認めません。

教材等
教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…加茂利男他『現代政治学』（有斐閣, 1800円）

学生へのメッセージ
日々ニュースや新聞にふれて、世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようにしてください。共に勉強しましょう。

関連科目
国際関係論、外交史および政治学

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

備考
出席をとる予定です。

政治学概論II
Introduction to Politics II

森　　康　一（モリ　コウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この講義では、第二次世界大戦後から現在までの国際関係についてとりあげる。
前半では米ソを中心とする冷戦時代の国際政治を説明し、後半では冷戦後の国際関係と個別的な時事問題を考える。
歴史をふまえた上で、現在の国際政治を理解する土台を作ることを目的とする。

授業方法と留意点
プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果（資格）
現在の世界情勢を理解するうえで必要な知識を習得できるようにしたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法　等】　講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】　新聞の国際面を読む習慣をつける
第２回　【授業テーマ】　冷戦時代の国際関係（1）
【内容・方法　等】　ヤルタ体制および冷戦初期の国際政治について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでお

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　258　2014/08/21　14:24:53

く
第３回　【授業テーマ】　冷戦時代の国際関係（2）
【内容・方法　等】　第三世界の台頭、ヨーロッパ統合の理想と現実について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第４回　【授業テーマ】　冷戦時代の国際関係（3）
【内容・方法　等】　多極化とデタントについて
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第５回　【授業テーマ】　冷戦時代の国際関係（4）
【内容・方法　等】　「新冷戦」と冷戦の終焉について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第６回　【授業テーマ】　ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ（1）
【内容・方法　等】　冷戦終結後の国際政治全般について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第７回　【授業テーマ】　ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ（2）
【内容・方法　等】　ヨーロッパを中心とした冷戦終結後の国際政治について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第８回　【授業テーマ】　グローバルな問題群
【内容・方法　等】　核・食料・環境問題について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第９回　【授業テーマ】　同時テロと「イラク戦争」後の世界秩序
【内容・方法　等】　「9.11」以後の国際政治について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第10回　【授業テーマ】　米ロの核軍縮
【内容・方法　等】　核問題をめぐる米ロ関係について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第11回　【授業テーマ】　米中関係のゆくえ
【内容・方法　等】　アメリカと中国の外交関係について
【事前・事後学習課題】　国際政治に関する参考文献を読んでおく
第12回　【授業テーマ】　中東問題のゆくえ
【内容・方法　等】　中東問題の経緯と「中東和平」の展望について
【事前・事後学習課題】　イスラエル、パレスチナ問題について調べておく
第13回　【授業テーマ】　緊迫する朝鮮半島情勢
【内容・方法　等】　韓国・北朝鮮をめぐる国際関係について
【事前・事後学習課題】　最近の朝鮮半島情勢について調べておく
第14回　【授業テーマ】　日本の安全保障
【内容・方法　等】　現在の日本がかかえる国際問題について
【事前・事後学習課題】　最近の日本の外交に関して調べておく
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　講義のまとめと試験について
【事前・事後学習課題】　試験に向けたノート作りをする

評価方法（基準）
期末の試験（論述式）の結果によって評価を行う。持ち込みは認めません。

教材等
教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』（有斐閣, 2000円）
須藤眞志編『20世紀現代史』（一芸社, 3000円）
伊藤芳明監修『国際紛争地図』（ダイヤモンド社, 1400円）

学生へのメッセージ
日々ニュースや新聞にふれて、世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようにしてください。共に勉強しましょう。

関連科目
国際関係論、外交史、国際関係史など、国際関係の科目

担当者の研究室等
11号館5階　法学部資料室（法学部非常勤講師室）

備考
出席をとる予定です。

数学基礎I
Basic Mathematics I

高　尾　尚　武（タカオ　ナオタケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
高校でのカリキュラムの多岐化，大学入学以前の教育課程の多面化，さらに入学選抜試験も様々にわたることから，入学時点での数学習熟度にはかなりのバラツキが認められる。一方で経営・経済系科目，情報系科目の多くでは，かなりの数学的知識，力量を前提にして授業が進められる。この間隙を埋めるため，最低限必要な数学的素養を大学初年度前期で確実に身につけることをこの授業の目標とする。

授業方法と留意点
テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。

科目学習の効果（資格）
問題を定式化すること，定式化できれば論理的に解けることを体得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　整式の計算(1)
【内容・方法　等】　・計算の法則
・因数分解
【事前・事後学習課題】　第1章の問　課題レポート
第２回　【授業テーマ】　整式の計算(2)
【内容・方法　等】　・整式の割り算
・剰余，因数の定理
【事前・事後学習課題】　第1章の問　課題レポート
第３回　【授業テーマ】　分数式・無理式(1)
【内容・方法　等】　・通分の規則
【事前・事後学習課題】　第2章の問　課題レポート
第４回　【授業テーマ】　分数式・無理式(2)
【内容・方法　等】　・平方根，立方根
・有理化の計算
【事前・事後学習課題】　第2章の問　課題レポート
第５回　【授業テーマ】　1次方程式(1)
【内容・方法　等】　・等式の基本法則
【事前・事後学習課題】　第3章の問　課題レポート
第６回　【授業テーマ】　1次方程式(2)
【内容・方法　等】　・方程式の導き方
・解き方
【事前・事後学習課題】　第3章の問　課題レポート
第７回　【授業テーマ】　1次不等式(1)
【内容・方法　等】　・不等式の基本法則
【事前・事後学習課題】　第3章の問　課題レポート
第８回　【授業テーマ】　1次不等式(2)
【内容・方法　等】　・不等式の導き方
・解き方
【事前・事後学習課題】　第3章の問　課題レポート
第９回　【授業テーマ】　連立1次方程式(1)
【内容・方法　等】　・連立方程式の導き方
【事前・事後学習課題】　第4章の問　課題レポート
第10回　【授業テーマ】　連立1次方程式(2)
【内容・方法　等】　・解き方
・基本法則
【事前・事後学習課題】　第4章の問　課題レポート
第11回　【授業テーマ】　連立1次方程式(3)
【内容・方法　等】　・消去法
【事前・事後学習課題】　第4章の問　課題レポート
第12回　【授業テーマ】　場合の数(1)
【内容・方法　等】　・数え上げの原則
【事前・事後学習課題】　第5章の問　課題レポート
第13回　【授業テーマ】　場合の数(2)
【内容・方法　等】　・並べ方，選び方
・順列，組み合わせ
【事前・事後学習課題】　第5章の問　課題レポート
第14回　【授業テーマ】　確率(1)
【内容・方法　等】　・確率の計算
【事前・事後学習課題】　第6章の問　課題レポート
第15回　【授業テーマ】　確率(2)
【内容・方法　等】　・くりかえす試行の確率
【事前・事後学習課題】　第6章の問　課題レポート

評価方法（基準）
演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等
教科書…数学研究室編　数学基礎　1400円
参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ
数学については各自様々な思いを持っているでしょうが，あらためて出発する新鮮な気分で授業に参加して下さい。どのような些細なことでもかまいませんから，遠慮することなくいつでも質問してください。

関連科目
数学基礎Ⅱ、統計学、経営数学

担当者の研究室等
3号館3階(数学準備室)

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　259　2014/08/21　14:24:53

数学基礎II
Basic Mathematics II

高　尾　尚　武（タカオ　ナオタケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この授業では，1次関数，2次関数のグラフの復習を出発点として，様々な関数の変化の様子をとらえられることを目標にする。

授業方法と留意点
テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。

科目学習の効果（資格）
数学基礎Ⅰに引き続き，筋道をたてた論理的思考と計算技量を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　関数とグラフ
【内容・方法　等】　・座標平面　・点の表し方
【事前・事後学習課題】　第7章の問　課題レポート
第２回　【授業テーマ】　1次関数
【内容・方法　等】　・グラフの書き方
・傾き，切片
【事前・事後学習課題】　第7章の問　課題レポート
第３回　【授業テーマ】　2次関数(1)
【内容・方法　等】　・グラフの書き方
・頂点，対称軸
【事前・事後学習課題】　第7章の問　課題レポート
第４回　【授業テーマ】　2次関数(2)
【内容・方法　等】　・最大値，最小値
・応用例
【事前・事後学習課題】　第7章の問　課題レポート
第５回　【授業テーマ】　無理関数
【内容・方法　等】　・逆関数
・定義域
【事前・事後学習課題】　第7章の問　課題レポート
第６回　【授業テーマ】　数列(1)
【内容・方法　等】　・等差数列
・和の公式
【事前・事後学習課題】　第8章の問　課題レポート
第７回　【授業テーマ】　数列(2)
【内容・方法　等】　・等比数列
・和の公式
【事前・事後学習課題】　第8章の問　課題レポート
第８回　【授業テーマ】　整関数の微分(1)
【内容・方法　等】　・変化率
・微分係数，接線
【事前・事後学習課題】　第9章の問　課題レポート
第９回　【授業テーマ】　整関数の微分(2)
【内容・方法　等】　・導関数
・極大値，極小値
【事前・事後学習課題】　第9章の問　課題レポート
第10回　【授業テーマ】　整関数の微分(3)
【内容・方法　等】　・関数の増加，減少
・関数のグラフ
【事前・事後学習課題】　第9章の問　課題レポート
第11回　【授業テーマ】　整関数の微分(4)
【内容・方法　等】　・最大値，最小値
・応用問題
【事前・事後学習課題】　第9章の問　課題レポート
第12回　【授業テーマ】　積分(1)
【内容・方法　等】　・不定積分
・原始関数
【事前・事後学習課題】　第10章の問　課題レポート
第13回　【授業テーマ】　積分(2)
【内容・方法　等】　・区分求積法
・定積分
【事前・事後学習課題】　第10章の問　課題レポート
第14回　【授業テーマ】　積分(3)
【内容・方法　等】　・微積分の基本定理
・定積分の計算
【事前・事後学習課題】　第10章の問　課題レポート
第15回　【授業テーマ】　積分(4)
【内容・方法　等】　・面積，体積
・応用問題
【事前・事後学習課題】　第10章の問　課題レポート

評価方法（基準）
演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等
教科書…数学研究室編　数学基礎　1400円
参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ
どのような些細なことでもかまいませんから，遠慮することなくいつでも質問してください。数学の学習は積み重ねである一方で，後になって以前不明だったことが理解できることもよくあります。続けることで充実した初年度にしましょう。

関連科目
数学基礎Ⅰ、統計学、経営数学

担当者の研究室等
3号館3階(数学準備室)

自然科学I
Introduction to Natural SciencesI

松　浦　哲　郎（マツウラ　テツロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業内容はほぼヒトの生体の話である。生体内とはとりもなおさず、10の器官系からなる我々の体の中のしくみと働きである。しかしながら、案外、我々は自分の体の中で行われていることを知らない。この半年間、生物学のうちで最も身近な対象である人体の構造・生理を中心に解説し、併せて最近話題となっているトピックスについて解説する。

授業方法と留意点
ノート・講義方式。教科書およびビデオ教材を用い、ビジュアルに解りやすくやっていきたい。授業中に理解してしまえば、特に新たな勉強は必要ない。

科目学習の効果（資格）
一般教養の充実。生物・医学関連に関する記事あるいは専門書を読む際の助けとなるような知識の向上をめざす。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業中のルール説明・試験方法について
アンケート・生物の基礎知識を問う
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　細胞・組織・器官・器官系
【内容・方法　等】　ビデオ「動物の体」。ヒトは約６０兆個の細胞から構成されている。細胞は組織を構成し、組織は器官を造る。生物における個体と細胞の関係を理解する。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第３回　【授業テーマ】　細胞説・・・細胞は生物の基本単位
【内容・方法　等】　ビデオ「細胞説」。自然発生説から細胞説への転換。レディの実験とパスツールの実験を通して細胞の概念を理解する。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第４回　【授業テーマ】　細胞膜
【内容・方法　等】　ビデオ高校生物「細胞膜」。細胞膜とシャボン玉の類似点と相違点。細胞膜は脂質で構成され、様々な物質を選択的に通過することができる。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第５回　【授業テーマ】　原形質と原形質流動
【内容・方法　等】　ビデオ高校生物「細胞小器官」。細胞の内部に様々な小器官が存在することを理解する。植物の細胞質を観察し、「原形質」と「原形質流動」のイメージをつかむ。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第６回　【授業テーマ】　細胞小器官
【内容・方法　等】　ビデオ「細胞と組織」。細胞の核と細胞質の概念を理解するとともに細胞内のミトコンドリアを初めとする様々な細胞小器官の名前とその機能を覚える。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第７回　【授業テーマ】　胃の構造と機能
【内容・方法　等】　ビデオ「人体-消化吸収の妙」。消化器系について基礎知識を身につける。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について授業内容をもとに復習を行うこと
第８回　【授業テーマ】　循環器系
【内容・方法　等】　循環器系について基礎知識を身につける。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第９回　【授業テーマ】　循環器系
【内容・方法　等】　ビデオ高校生物「体液」。生物の循環器系についてのしくみを理解する。
【事前・事後学習課題】　該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第10回　【授業テーマ】　循環器系
【内容・方法　等】　ビデオ「人体②しなやかなポンプ心臓・血

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　260　2014/08/21　14:24:53

管」。ヒトの心臓の構造と機能について理解する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第11回 【授業テーマ】 肝臓の構造と機能
【内容・方法 等】 ビデオ「人体-壮大な化学工場・・肝臓」
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第12回 【授業テーマ】 生殖器系・性周期・排卵・妊娠・出産のしくみ
【内容・方法 等】 男性と女性のそれぞれの生殖器系の基本的な器官とそのしくみを覚える。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第13回 【授業テーマ】 生殖器系
【内容・方法 等】 ビデオ「人体①生命誕生・・・驚異の小宇宙」。生命の神秘とともに生殖器系のしくみを理解する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
第14回 【授業テーマ】 総括質問とプレゼンテーション
【内容・方法 等】 すべての授業内容に関する質問について答えるとともに、難解だった部分を詳細に解説する。
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 習熟度試験
【内容・方法 等】 すべての授業範囲について総括試験を実施する。
【事前・事後学習課題】 ――――

評価方法（基準）
小テストを４０％、臨時テストを４０％および授業態度を２０％で評価する

教材等
教科書…ニューステージ「生物図表」浜島書店
参考書…なし

学生へのメッセージ
社会人としての一般教養の幅を拡げる授業です。次週に小テストを実施するので十分に復習してください。

関連科目
自然科学 Ⅱと連動している。

担当者の研究室等
枚方・薬学部6号館3階病理学研究室１

備考
なし

自然科学II
Introduction to Natural Sciences II

松 本 葉 子（マツモト ヨウコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
人体の構造や機能から健康を害するしくみについて理解し、健康維持と病気治療への積極的な参加に必要な知識を得ることを目的とする。

授業方法と留意点
講義は、主として配付資料を利用して進める。

科目学習の効果（資格）
人体の構造や機能の知識を習得することで、自然科学および健康に関する教養を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 生命の基本単位
【内容・方法 等】 身体組織を構成し、機能する細胞のしくみとはたらきについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第２回 【授業テーマ】 遺伝と生命
【内容・方法 等】 身体が機能するしくみと遺伝との関係について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第３回 【授業テーマ】 刺激と反応
【内容・方法 等】 身体が外界から受けた刺激を伝達し、反応を示すしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第４回 【授業テーマ】 生体の恒常性
【内容・方法 等】 体液の恒常性と生体防御のしくみについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第５回 【授業テーマ】 循環と呼吸の機能
【内容・方法 等】 酸素と栄養を全身に供給する循環と呼吸のしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第６回 【授業テーマ】 排泄・吸収・代謝の機能
【内容・方法 等】 栄養の吸収と老廃物の排泄、ホルモンのしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第７回 【授業テーマ】 体温調節と自律神経の機能
【内容・方法 等】 身体の機能を維持する熱の産生と調節のしくみ、自律神経系のしくみについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第８回 【授業テーマ】 炎症と感染症
【内容・方法 等】 身体への有害な刺激に対する炎症反応と病気、および、微生物に対する身体の反応と感染症について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第９回 【授業テーマ】 細胞や組織の障害と病気
【内容・方法 等】 細胞の障害とその原因、細胞や組織の障害を背景として発症する病気について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第10回 【授業テーマ】 生殖と発生、および、先天性奇形
【内容・方法 等】 精子と卵子の形成から生命の誕生のしくみについて理解し、発生の過程で生じる先天性奇形について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第11回 【授業テーマ】 がん
【内容・方法 等】 がんの発生と分類、がんの進行と転移、がん患者の療養生活について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第12回 【授業テーマ】 生活習慣と健康
【内容・方法 等】 食生活やライフスタイル、生活ストレス、嗜癖、運動習慣などの生活習慣による病気について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第13回 【授業テーマ】 さまざまな医療
【内容・方法 等】 健康の維持増進、病気の治療に寄与する医療のしくみや機能について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第14回 【授業テーマ】 病気になることと病気とのつきあい方
【内容・方法 等】 健康を害してから治療を受ける過程における人の心理と行動について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。
第15回 【授業テーマ】 死と死にゆくこと
【内容・方法 等】 生物学的な死について学び、人が死にゆくことについて自分の考えを明らかにする。
【事前・事後学習課題】 配布資料をよく読んで、復習する。

評価方法（基準）
定期試験（80％）、小課題（20％）により評価する。授業への出席や態度も加味して評価する。小課題は授業時間内に提示し、提出してもらいます。

教材等
教科書…授業毎に配付するプリント。
参考書…「文系のための生命科学 第2版」東京大学生命科学教科書編集委員会、羊土社（2,800円＋税）
「これだけはおさえたい生命科学―身近な話題から学ぶ (Primary大学テキスト)」武村政春ら共著、実教出版（2,100円＋税）

学生へのメッセージ
担当者の専門は看護学です。質問は適宜受け付けます。
授業中に他の学生の迷惑になるおしゃべりをしている学生には、退席してもらいます。

関連科目
自然科学Ⅰ，保健論

担当者の研究室等
枚方学舎7号館3階 研究室28

地誌学
Regional Geography

高 崎 章 裕（タカサキ アキヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業の目的は、日本の農村、河川、環境問題、近代産業、ツーリズム、エスニック問題、米軍基地問題、捕鯨問題、パレスチナ問題と幅広い地域や国を取り上げ、それらの地域の社会的・文化的・政治的状況を深く理解することである。本講義では、地誌学の方法論を習得し、グローバリゼーション化における地域社会の諸問題を学び、単なる地誌の把握に終わることなく、相対的なものの見方や地理学的想像力の涵養が期待される。

授業方法と留意点
授業はパワーポイントで行う。基本的には毎回の授業で資料を配布する。また、必要に応じて映像資料の活用も行なう。

科目学習の効果（資格）
中学社会・高校地理歴史教育職員免許

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 261 2014/08/21 14:24:53

第１回　【授業テーマ】　講義ガイダンス
【内容・方法　等】　講義の目的・方法・進め方
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第２回　【授業テーマ】　地誌学とは何か
【内容・方法　等】　地理学と地誌
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第３回　【授業テーマ】　日本の農村と森林
【内容・方法　等】　農村における耕作放棄地の増加や山間地域における林業の衰退
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第４回　【授業テーマ】　日本の河川とダム
【内容・方法　等】　日本の河川政策の変遷とダム問題
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第５回　【授業テーマ】　水俣病ともやい運動
【内容・方法　等】　水俣病の発生からもやい運動に至る環境都市みなまたが形成されていくまでのプロセス
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第６回　【授業テーマ】　繊維産業の盛衰
【内容・方法　等】　女工哀史と東洋の魔女
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第７回　【授業テーマ】　産業遺産とまちづくり
【内容・方法　等】　近代産業遺産を活用したまちづくりの事例
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第８回　【授業テーマ】　場所を消費する
【内容・方法　等】　ツーリズムと観光のまなざし
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第９回　【授業テーマ】　エスニックコミュニティ
【内容・方法　等】　日本各地や世界のエスニックコミュニティの形成
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第10回　【授業テーマ】　沖縄と基地問題（１）
【内容・方法　等】　冷戦後の沖縄
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第11回　【授業テーマ】　沖縄と基地問題（２）
【内容・方法　等】　普天間基地の辺野古移設をめぐる問題
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第12回　【授業テーマ】　沖縄と基地問題（３）
【内容・方法　等】　標的の村－高江の事例
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第13回　【授業テーマ】　捕鯨問題と日本
【内容・方法　等】　日本の食文化と映画『ザ・コーヴ』
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第14回　【授業テーマ】　パレスチナ問題とスペシオサイド（空間の扼殺）
【内容・方法　等】　イスラエルの対パレスチナ人政策を中心に
【事前・事後学習課題】　次回話題となるトピックを紹介するので、各自大学図書館やインターネット等で事前に調べ、紹介した参考文献も確認しておくこと。
講義中に配布した資料や講義をまとめたノートを授業後にきちんと整理・復習しておくこと。

第15回　【授業テーマ】　講義のまとめ
【内容・方法　等】　講義の総括、および定期試験に関する説明。
【事前・事後学習課題】　全講義の内容を復習しておくこと。

評価方法（基準）
定期試験

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…伊藤喜栄・藤塚吉浩（編）『図説２１世紀日本の地域問題』古今書院
その他、講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
授業は基本的に講義形式で行ないますが、疑問点や不明な点がある場合は積極的に質問をしてください。
ニュースで扱われる現象や身近な出来事を地理学的視点で見た場合にどのようなことがいえるのか、普段から敏感に考えるようにしてください。

関連科目
地理学

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

備考
講義の内容および評価方法に変更が生じるときには、講義中に随時連絡する。

地理学I
Geography I

笠　原　俊　則（カサハラ　トシノリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
『環境』ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な述語の一つである。これは人間生活に影響を及ぼす種々の外的要因の全体を意味する。近年、人間活動にともなってこの環境に著しい変化が生じている。本講義は、環境改変者としての人類が、自然環境をどのように改変してきたかを自然地理学的視点から理解することを目的としている。学生諸君には、我々人類は環境改変者であり、自分自身もその一員であるという自覚を持ってもらえたら、講義の目的の半分は達成されたものといえる。

授業方法と留意点
講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。不定期に作業を行うので、15cmの物差し、12色の色鉛筆を持参して欲しい。

科目学習の効果（資格）
人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】　地理学および自然地理学について
【内容・方法　等】　・地理学の歴史および自然地理学の分野
【事前・事後学習課題】　指定テキストに目を通しておいて下さい。

第２回　【授業テーマ】　地理学と環境
【内容・方法　等】　人類による環境への働きかけの歴史（過去から現在まで）
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

第３回　【授業テーマ】　様々な地形と生活－その１－
【内容・方法　等】　谷底平野・台地・河岸段丘の地形と生活
【事前・事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　262　2014/08/21　14:24:54

第４回　【授業テーマ】　様々な地形と生活－その２－
【内容･方法　等】　扇状地・自然堤防地帯・三角州の地形と生活
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第５回　【授業テーマ】　世界の気候－その１－
【内容･方法　等】　熱帯気候・乾燥気候・高山気候
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第６回　【授業テーマ】　世界の気候－その２－
【内容･方法　等】　温帯気候・冷帯気候・寒帯気候
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第７回　【授業テーマ】　ハイサーグラフの形からみる世界の気候
【内容･方法　等】　ハイサーグラフの活用方法
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第８回　【授業テーマ】　日本の気候
【内容･方法　等】　日本各地の気候と生活
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第９回　【授業テーマ】　世界の植生と土壌
【内容･方法　等】　世界の気候との関連からみた植生および土壌
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第10回　【授業テーマ】　水文環境と生活
【内容･方法　等】　水が我々の生活にいかなる影響を与えているか
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第11回　【授業テーマ】　水文環境と水収支
【内容･方法　等】　水資源の算定
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第12回　【授業テーマ】　ダムの歴史
【内容･方法　等】　・世界のダムの歴史
・日本のダムの歴史
・日本における近代ダム建設の歩み
【事前･事後学習課題】　指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第13回　【授業テーマ】　ダム上流における自然環境の変化
【内容･方法　等】　・ダム堆砂
・ダム上流における河床上昇とその影響
【事前･事後学習課題】　指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第14回　【授業テーマ】　ダム下流における自然環境の変化
【内容･方法　等】　・ダム下流における河床の低下
・日本における海岸浸食の状況
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
第15回　【授業テーマ】　自然地理学の役割を考える
【内容･方法　等】　全体のまとめ
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

評価方法（基準）
定期試験８０％、授業への参加状況２０％とする。なお参加状況を把握するため、時々、チェックシートを配布し、授業内容について記入してもらうことにする。

教材等
教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編，古今書院　（2400円＋税）
参考書…「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子，岩波書店（700円＋税）
「風景の中の自然地理」杉谷隆ほか、古今書院（2500円＋税）

学生へのメッセージ
地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。なお、指定テキストは後期の地理学Ⅱ」でも使用する予定である。

関連科目
「環境関連科目」等

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

地理学II
Geography II

笠　原　俊　則（カサハラ　トシノリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
我々人類は過去から現在まで環境に種々の働きかけを行い、これを変化させてきた。後期の講義では前期の講義内容を受けて、このような人間活動による環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしてもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら３点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。

授業方法と留意点
講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。

科目学習の効果（資格）
人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　都市化の進展と水文環境の変化
【内容･方法　等】　都市化が進展することによって水の環境がどのように変化するか
【事前･事後学習課題】　指定テキストに目を通しておいて下さい。
第２回　【授業テーマ】　都市化にともなう流出の変化
【内容･方法　等】　都市化にともなって流出がどのように変化するか
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第３回　【授業テーマ】　都市化にともなう水災害の変化
【内容･方法　等】　・都市化にともなう流出変化の実例
・都市の水害と下水道整備
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第４回　【授業テーマ】　農業地域における都市化と中小河川の治水
【内容･方法　等】　農業地域の都市化にともない農業水利組織によって行われてきた面的治水がどのように維持されたか
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さし。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第５回　【授業テーマ】　親水と多自然型川づくり
【内容･方法　等】　・親水について
・多自然型川づくりについて
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第６回　【授業テーマ】　都市気候について－その１－
【内容･方法　等】　・都市気候とは
・都市気候と緑地
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第７回　【授業テーマ】　都市気候について－その２－
【内容･方法　等】　都市気候の具体的な例
【事前･事後学習課題】　配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第８回　【授業テーマ】　ため池の多面的機能
【内容･方法　等】　ため池の持つ多面的な機能とその利用
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第９回　【授業テーマ】　日本における干拓の歴史
【内容･方法　等】　干拓の歴史と戦後の干拓
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第10回　【授業テーマ】　干拓地の自然的特性
【内容･方法　等】　干拓地の地形と水文環境
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第11回　【授業テーマ】　諫早湾干拓と環境変化
【内容･方法　等】　諫早湾干拓にともなってどのような環境問題が発生したか
【事前･事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第12回　【授業テーマ】　すみわけられた都市社会空間

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　263　2014/08/21　14:24:54

【内容・方法　等】　・エスニックマイノリティー社会
・インナーシティ問題
【事前・事後学習課題】　指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第13回　【授業テーマ】　ニュータウンの高齢化
【内容・方法　等】　・日本におけるニュータウンの成立
・千里ニュータウンの高齢化
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第14回　【授業テーマ】　都市商業の盛衰と多様化
【内容・方法　等】　・都市商業の発展と社会環境の変化
・都市中心部の空洞化と都市商業の変化
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
第15回　【授業テーマ】　伝統工業の地域構成
【内容・方法　等】　京都の伝統文化と伝統工業
【事前・事後学習課題】　指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。

評価方法（基準）
定期試験８０％、授業への参加状況２０％とする。なお、参加状況を把握するため、時々チェックシートを配布し、授業内容について記入してもらうことにする。

教材等
教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編，古今書院　（2400円＋税）
参考書…「都市の水文環境」新井正ほか，共立出版（3990円）
「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子，岩波書店（700円＋税）
「川と国土の危機　水害と社会（岩波新書1387）」高橋裕，岩波書店（700円＋税）

学生へのメッセージ
地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

関連科目
「環境関連科目」等

担当者の研究室等
7号館2階　非常勤講師室

日本事情ＦＩ
Japanese Culture & Society FI

門　脇　　薫（カドワキ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点
各映画について次のように進めます。（１）映画についての情報・その他背景知識について説明　（２）映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題　（３）テーマについてディスカッション　（４）「書く」練習

科目学習の効果（資格）
自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化理解、異文化に対する見方・態度

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス・日本語レベルのチェック
【内容・方法　等】　授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】　テキスト予習
第２回　【授業テーマ】　映画１：テーマ「教育」
【内容・方法　等】　映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題
第３回　【授業テーマ】　映画１：テーマ「教育」
【内容・方法　等】　内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題
第４回　【授業テーマ】　映画１：テーマ「教育」
【内容・方法　等】　タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第５回　【授業テーマ】　映画２：テーマ「家族」
【内容・方法　等】　映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第６回　【授業テーマ】　映画２：テーマ「家族」
【内容・方法　等】　内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第７回　【授業テーマ】　映画２：テーマ「家族」
【内容・方法　等】　タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】　プリントの課題、発表準備
第８回　【授業テーマ】　テーマ１・２に関する発表
【内容・方法　等】　発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】　テーマについてレポート
第９回　【授業テーマ】　映画３：テーマ「言葉」
【内容・方法　等】　映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題
第10回　【授業テーマ】　映画３：テーマ「言葉」
【内容・方法　等】　内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題
第11回　【授業テーマ】　映画３：テーマ「言葉」
【内容・方法　等】　タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第12回　【授業テーマ】　映画４：「民族」
【内容・方法　等】　映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第13回　【授業テーマ】　映画４：「民族」
【内容・方法　等】　内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第14回　【授業テーマ】　映画４：「民族」
【内容・方法　等】　タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】　プリントの課題、発表準備
第15回　【授業テーマ】　テーマ３・４に関する発表
【内容・方法　等】　発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】　テーマについてレポート

評価方法（基準）
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等
教科書…"『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社（2,415円）"
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目
日本語読解、日本語文法、日本語表現作文

担当者の研究室等
７号館４階(門脇研究室)

日本事情ＦII
Japanese Culture & Society FII

門　脇　　薫（カドワキ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点
各映画について次のように進めます。（１）映画についての情報・その他背景知識について説明　（２）映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題　（３）テーマについてディスカッション　（４）「書く」練習

科目学習の効果（資格）
自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解、異文化に対する見方・態度

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス・日本語レベルチェック
【内容・方法　等】　授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】　テキスト予習
第２回　【授業テーマ】　映画１：テーマ「職業」
【内容・方法　等】　映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】　テキスト予習、プリントの課題
第３回　【授業テーマ】　映画１：テーマ「職業」

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　264　2014/08/21　14:24:54

【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第４回 【授業テーマ】 映画１：テーマ「職業」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第５回 【授業テーマ】 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第６回 【授業テーマ】 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第７回 【授業テーマ】 映画２：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第８回 【授業テーマ】 テーマ１・２に関する発表
【内容・方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
第９回 【授業テーマ】 映画３：テーマ「大学生活」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第10回 【授業テーマ】 映画３：「大学生活」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
第11回 【授業テーマ】 映画３：テーマ「大学生活」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
第12回 【授業テーマ】 映画４：「ジェンダー」
【内容・方法　等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第13回 【授業テーマ】 映画４：「ジェンダー」
【内容・方法　等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、　発表準備
第14回 【授業テーマ】 映画４：「ジェンダー」
【内容・方法　等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
第15回 【授業テーマ】 テーマ３・４に関する発表
【内容・方法　等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法（基準）
各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等
教科書…"『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社（2,415円）"
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ
映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目
日本語読解、日本語文法、日本語表現作文

担当者の研究室等
７号館４階(門脇研究室)

日本語読解ＦI
Japanese Reading FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに理解して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。
また、調査の結果を分析する練習、グラフを用いた調査結果を口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中に復習の小テストも行います。

科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力、データの分析能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第２回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 言語と文化１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 言語と文化２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 割り勘文化１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 割り勘文化２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）１
【内容・方法　等】 書く、口頭練習する
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）２
【内容・方法　等】 書く、口頭発表
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）１
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）２
【内容・方法　等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 調査結果の説明と分析１
【内容・方法　等】 調査結果の説明とその分析を説明する
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 調査結果の説明と分析２
【内容・方法　等】 調査結果の説明とその分析を説明する
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法　等】 今学期に読んだ内容と関連する新聞記事を読む
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。

関連科目
日本語文法Ｉ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語読解ＦII
Japanese Reading FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、専門書を読むために必要な表現を学習し、抽象的な文章を読むための練習をします。

授業方法と留意点
授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員 による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果（資格）
大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
第２回 【授業テーマ】 ストレス
【内容・方法　等】 読解，内容理解
【事前・事後学習課題】 復習

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　265　2014/08/21　14:24:54

第３回　【授業テーマ】　発達の要因
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第４回　【授業テーマ】　実数の定義
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第５回　【授業テーマ】　文章の構成方法
【内容・方法　等】　文章の構成方法の違いを理解し、構成に沿って文を書く
【事前・事後学習課題】　復習
第６回　【授業テーマ】　理性と衝動
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第７回　【授業テーマ】　意味論
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第８回　【授業テーマ】　態度とは何か
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第９回　【授業テーマ】　情報化社会
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第10回　【授業テーマ】　大衆社会の経済レベルからの分析
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第11回　【授業テーマ】　社会化
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第12回　【授業テーマ】　現代社会の特質
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第13回　【授業テーマ】　職場の精神衛生
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第14回　【授業テーマ】　国際収支
【内容・方法　等】　読解，内容理解
【事前・事後学習課題】　復習
第15回　【授業テーマ】　確認テスト
【内容・方法　等】　確認テスト
【事前・事後学習課題】　復習

評価方法（基準）
単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
さまざまな専門分野の文章を少しずつ読み、専門書の読み方を勉強しましょう。

関連科目
日本語文法Ⅱ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語文法ＦⅠ
Japanese Grammar FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。また、必要に応じて日本語能力試験の文法対策も行います。

授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果（資格）
高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】　シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】　現代の若者のマナー１
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第３回　【授業テーマ】　現代の若者のマナー２
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第４回　【授業テーマ】　言語と文化１
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第５回　【授業テーマ】　言語と文化２
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第６回　【授業テーマ】　割り勘文化１
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第７回　【授業テーマ】　割り勘文化２
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第８回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（上）１
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第９回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（上）２
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第10回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（下）１
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第11回　【授業テーマ】　ゲーム依存症（下）２
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第12回　【授業テーマ】　調査結果の説明と分析
【内容・方法　等】　調査結果の説明と分析に必要な文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第13回　【授業テーマ】　新聞記事の文法１
【内容・方法　等】　今学期読んだ内容に関連する新聞記事の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第14回　【授業テーマ】　新聞記事の文法２
【内容・方法　等】　今学期読んだ内容に関連する新聞記事の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第15回　【授業テーマ】　確認テスト
【内容・方法　等】　確認テスト
【事前・事後学習課題】　--------

評価方法（基準）
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
場面やタスクに合わせて、適切な文法項目が確実に使えるように練習しましょう。

関連科目
日本語読解Ⅰ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語文法ＦⅡ
Japanese Grammar FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では、専門書を読む際に必要になる文法や表現を勉強し、専門書を読むための文法を学習します。

授業方法と留意点
授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果（資格）
高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】　シラバスをよく読んで理解する
第２回　【授業テーマ】　ストレス
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第３回　【授業テーマ】　発達の要因
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第４回　【授業テーマ】　実数の定義
【内容・方法　等】　読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第５回　【授業テーマ】　文章構成方法
【内容・方法　等】　文章を構成する上で必要な言い回しや文法を学ぶ

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　266　2014/08/21　14:24:54

【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 理性と衝動
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 意味論
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 態度とは何か
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 情報化社会
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 大衆社会の経済レベルからの分析
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 社会化
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 現代社会の特質
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 職場の精神衛生
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 国際収支
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 -------

評価方法（基準）
確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ
専門書が読めるようになるために、必要な文法を勉強しましょう。

関連科目
日本語読解Ⅱ

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現作文ＦI
Japanese Reading and Writing FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、他者のかいたレポートを用いて、各部分（序論、本論、結論等）の説明と実践を行います。

科目学習の効果（資格）
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 基礎編１　レポートとは
【内容・方法 等】 レポートと作文の違いを理解する
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 基礎編２　レポートの構成
【内容・方法 等】 レポートの構成を理解する
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 基礎編３　よく使われる文の形
【内容・方法 等】 レポート、論文で使われる文の形について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 基礎編４　序論の書き方１
【内容・方法 等】 序論に書く内容、序論でよく使われる語と表現を学び序論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 基礎編５　序論の書き方２
【内容・方法 等】 序論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 基礎編６　結論の書き方１
【内容・方法 等】 結論に書く内容と結論でよく使われる語と表現を学び、結論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 基本編７　結論の書き方２
【内容・方法 等】 結論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 基本編８　データの説明１
【内容・方法 等】 データの概要を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 基本編９　データの説明２
【内容・方法 等】 データの効果的な見せ方、レポート内への取り込み方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 基本編１０　データの説明３
【内容・方法 等】 データの説明に必要な表現を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 基本編１１　データの説明４
【内容・方法 等】 結果の説明を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 基本編１２　考察１
【内容・方法 等】 考察に関する表現を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 基本編１３　考察２
【内容・方法 等】 考察を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 確認テスト

評価方法（基準）
課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等
教科書…毎回プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ
レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう。

関連科目
他の日本語関連の科目

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語表現作文ＦII
Japanese Reading and Writing FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点
授業では、実際にテーマを決め、書き進めていきます。

科目学習の効果（資格）
大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】 ――――
第２回 【授業テーマ】 前期の復習１
【内容・方法 等】 序論、データ結果、結論を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 前期の復習２
【内容・方法 等】 データの考察を書く
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 レポート作成１　構成
【内容・方法 等】 テーマを決める、構成や必要な手順を考える
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 レポート作成２　参考文献
【内容・方法 等】 参考文献を集める、文献目録の書き方
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 レポート作成３　引用１
【内容・方法 等】 話を要約する
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 レポート作成４　引用２
【内容・方法 等】 引用に必要な表現を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 レポート作成５　引用３
【内容・方法 等】 対比・統合して説明する
【事前・事後学習課題】 復習

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 267 2014/08/21 14:24:55

第９回　【授業テーマ】　レポート作成６　アンケート
【内容・方法　等】　アンケートを作成する
【事前・事後学習課題】　復習
第10回　【授業テーマ】　レポート作成７　調査概要
【内容・方法　等】　調査概要の書き方を学び、書く
【事前・事後学習課題】　復習
第11回　【授業テーマ】　レポート作成８　データの集計と説明１
【内容・方法　等】　データを集計し、データの見せ方を考え、効果的に説明する
【事前・事後学習課題】　復習
第12回　【授業テーマ】　レポート作成９　考察１
【内容・方法　等】　話の展開の技術を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第13回　【授業テーマ】　レポート作成１０　考察２
【内容・方法　等】　考察を補強する技術を学ぶ
【事前・事後学習課題】　復習
第14回　【授業テーマ】　レポート作成１１　結論
【内容・方法　等】　話をまとめる
【事前・事後学習課題】　復習
第15回　【授業テーマ】　総復習
【内容・方法　等】　今学期学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】　復習

評価方法（基準）
課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。
授業内で書き進めたレポートを最終的に提出してもらい、評価の対象とします。

教材等
教科書…プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ
レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！

関連科目
他の日本語関連の科目

担当者の研究室等
７号館２階（非常勤講師室）

日本語上級読解ＦI
Advanced Japanese Reading FI

古　川　由理子（フルカワ　ユリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では次の３点を目標にします。
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
②まとまった内容の文章の大意を把握する
③できるだけ速く①と②をできるようにする
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点
この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確にていねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。
１．キーワード・キーセンテンスを探す
２．接続詞に注意する
３．テキストの流れに注意する
４．予測して読む
５．テキストをまとめる

科目学習の効果（資格）
・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
・その成果を専門の文章の読解に応用する。
（・JPT　N1を持っていないものは取得を目指す。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】　復習
第２回　【授業テーマ】　指示語に注意する
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第３回　【授業テーマ】　キーワードに注意する
【内容・方法　等】　穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第４回　【授業テーマ】　文章の内容を予測する
【内容・方法　等】　並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第５回　【授業テーマ】　キーセンテンスを探す（1）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第６回　【授業テーマ】　キーセンテンスを探す（2）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第７回　【授業テーマ】　要約をする
【内容・方法　等】　全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第８回　【授業テーマ】　説明文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第９回　【授業テーマ】　説明文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第10回　【授業テーマ】　論説文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第11回　【授業テーマ】　論説文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第12回　【授業テーマ】　随筆を読む
【内容・方法　等】　2～3の随筆を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第13回　【授業テーマ】　小説を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第14回　【授業テーマ】　小説を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する
第15回　【授業テーマ】　期末テスト
【内容・方法　等】　授業中に指示する
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

評価方法（基準）
定期試験を実施（試験の形式については授業中に説明する）
出席・授業態度　＋　期末テスト　＝　100％
50％　50％

教材等
教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。
出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目
日本語表現作文

担当者の研究室等
外国語学部非常勤講師室（7号館2階）

備考
受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級読解ＦII
Advanced Japanese Reading FII

古　川　由理子（フルカワ　ユリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
この授業では次の３点を目標にします。
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
②まとまった内容の文章の大意を把握する
③できるだけ速く①と②をできるようにする
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点
この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確にていねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。
１．キーワード・キーセンテンスを探す
２．接続詞に注意する
３．テキストの流れに注意する
４．予測して読む
５．テキストをまとめる

科目学習の効果（資格）
・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
・その成果を専門の文章の読解に応用する。

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　268　2014/08/21　14:24:55

（・JPT　N1を持っていないものは取得を目指す。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】　復習

第２回　**【授業テーマ】**　指示語に注意する
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第３回　**【授業テーマ】**　キーワードに注意する
【内容・方法　等】　穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第４回　**【授業テーマ】**　文章の内容を予測する
【内容・方法　等】　並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第５回　**【授業テーマ】**　キーセンテンスを探す（1）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第６回　**【授業テーマ】**　キーセンテンスを探す（2）
【内容・方法　等】　練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第７回　**【授業テーマ】**　要約をする
【内容・方法　等】　全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第８回　**【授業テーマ】**　説明文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第９回　**【授業テーマ】**　説明文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第10回　**【授業テーマ】**　論説文を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第11回　**【授業テーマ】**　論説文を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第12回　**【授業テーマ】**　随筆を読む
【内容・方法　等】　2～3の随筆を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第13回　**【授業テーマ】**　小説を読む（1）
【内容・方法　等】　2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第14回　**【授業テーマ】**　小説を読む（2）
【内容・方法　等】　2～3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

第15回　**【授業テーマ】**　期末テスト
【内容・方法　等】　授業中に指示する
【事前・事後学習課題】　授業内容を復習する

評価方法（基準）

定期試験を実施（試験の形式については授業中に説明する）
出席・授業態度　＋　期末テスト　＝　100％
50％　50％

教材等

教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。
出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目

日本語表現作文

担当者の研究室等

外国語学部非常勤講師室（7号館2階）

備考

受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級作文ＦＩ
Advanced Japanese Writing FI

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

相手との関係や文を書く目的を考慮し、媒体に応じて適切な文が書けるようになる。

授業方法と留意点

授業は、説明と実践が中心である。

科目学習の効果（資格）

媒体、内容、読み手との関係を考慮した、適切な文章が書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　オリエンテーション
【内容・方法　等】　授業の説明、相手や媒体による書き方の違いを学習する
【事前・事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　Eメールの基本１
【内容・方法　等】　Eメールの流れを学習する
【事前・事後学習課題】　復習

第３回　**【授業テーマ】**　Eメールの基本２
【内容・方法　等】　Eメールの流れを学習する
【事前・事後学習課題】　復習

第４回　**【授業テーマ】**　Eメール１
【内容・方法　等】　近況を知らせるメール
【事前・事後学習課題】　復習

第５回　**【授業テーマ】**　Eメール２
【内容・方法　等】　ゼミ会のお誘いメール１
【事前・事後学習課題】　復習

第６回　**【授業テーマ】**　Eメール３
【内容・方法　等】　ゼミ会のお誘いメール２
【事前・事後学習課題】　復習

第７回　**【授業テーマ】**　Eメール４
【内容・方法　等】　アポイントをとるメール
【事前・事後学習課題】　復習

第８回　**【授業テーマ】**　Eメール５
【内容・方法　等】　リマインドメール
【事前・事後学習課題】　復習

第９回　**【授業テーマ】**　Eメール６
【内容・方法　等】　問い合わせメール
【事前・事後学習課題】　復習

第10回　**【授業テーマ】**　Eメール７
【内容・方法　等】　依頼のメール
【事前・事後学習課題】　復習

第11回　**【授業テーマ】**　Eメール８
【内容・方法　等】　クレームのメール
【事前・事後学習課題】　復習

第12回　**【授業テーマ】**　手紙１
【内容・方法　等】　お礼の手紙を書く
【事前・事後学習課題】　復習

第13回　**【授業テーマ】**　手紙２
【内容・方法　等】　近況を知らせる
【事前・事後学習課題】　復習

第14回　**【授業テーマ】**　掲示物
【内容・方法　等】　外国語学習者募集の貼り紙を作る
【事前・事後学習課題】　復習

第15回　**【授業テーマ】**　確認テスト
【内容・方法　等】　確認テスト
【事前・事後学習課題】　復習

評価方法（基準）

課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等

教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

媒体、相手や内容に応じて、効果的に相手に伝える書き方を勉強しましょう。

関連科目

日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

備考

授業の実践で宿題として教員にメールを送ってもらいます。宿題は適宜指示します。

日本語上級作文ＦII
Advanced Japanese Writing FII

赤　城　永里子（アカギ　エリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ビジネス場面でどのようなメールを交換しているのかを説明しながら、状況・目的に応じて適切なビジネスメールが書けるようになる。

授業方法と留意点

授業は、講義と実践が中心である。

科目学習の効果（資格）

ビジネスメールが目的に応じて適切に書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ビジネス場面で使われるライティングを学ぶ
【内容・方法　等】　メールと文書の違いを理解する

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　269　2014/08/21　14:24:55

【事前・事後学習課題】 ――――――――
第２回 【授業テーマ】 履歴書１
【内容・方法　等】 就職活動のためのエントリーシートを書く
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 履歴書２
【内容・方法　等】 自己アピールを書く
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 ビジネスメール１
【内容・方法　等】 あいさつのメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 ビジネスメール２
【内容・方法　等】 通知のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 ビジネスメール３
【内容・方法　等】 報告のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 ビジネスメール４
【内容・方法　等】 案内のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 ビジネスメール５
【内容・方法　等】 依頼のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 ビジネスメール６
【内容・方法　等】 アポイントをとるメール（社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 ビジネスメール７
【内容・方法　等】 問い合わせのメール（社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 ビジネスメール８
【内容・方法　等】 確認のメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 ビジネスメール９
【内容・方法　等】 お詫びのメール（社内・社外）
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 ビジネスメール１０
【内容・方法　等】 メールに返答する
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 ビジネス文書
【内容・方法　等】 送付書、案内状
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ
就職後、日系の会社あるいは日本国内の会社で働く際に必要なビジネスメールの書き方を一緒に勉強して、就職後に戸惑わないように練習しましょう。

関連科目
日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等
7号館2階（非常勤講師室）

日本語上級会話ＦI
Advanced Japanese Speaking FI

高　井　美　穂（タカイ　ミホ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
複雑で抽象的な話題について会話や発表、議論ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点
幅広い話題に関する短い記事を読み、語彙の増強を図る。また、記事の内容を口頭で要約する練習や、記事の内容に関連したロールプレイ、ディスカッションを行う。適宜単語テストも実施する。

科目学習の効果（資格）
２年次以降の勉学や就職後に役立つ口頭表現能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 記事について話す①
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第２回 【授業テーマ】 記事について話す②
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 記事について話す③
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 記事について話す④
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 記事について話す⑤
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 記事について話す⑥
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 記事について話す⑦
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 記事について話す⑧
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 記事について話す⑨
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 記事について話す⑩
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 記事について話す⑪
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 記事について話す⑫
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 記事について話す⑬
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 記事について話す⑭
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ
２年生だけでなく、３年生以降の学生の受講も歓迎します。話す力をさらに伸ばしたい留学生はぜひ受講してください。

関連科目
日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等
国際交流センター（３号館４階）

日本語上級会話ＦII
Advanced Japanese Speaking FII

高　井　美　穂（タカイ　ミホ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
複雑で抽象的な話題について会話や発表、議論ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点
幅広い話題に関する短い記事を読み、語彙の増強を図る。また、記事の内容を口頭で要約する練習や、記事の内容に関連したロールプレイ、ディスカッションを行う。適宜単語テストも実施する。

科目学習の効果（資格）
２年次以降の勉学や就職後に役立つ口頭表現能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 記事について話す①
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第２回 【授業テーマ】 記事について話す②
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第３回 【授業テーマ】 記事について話す③
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第４回 【授業テーマ】 記事について話す④

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　270　2014/08/21　14:24:55

【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第５回 【授業テーマ】 記事について話す⑤
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第６回 【授業テーマ】 記事について話す⑥
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第７回 【授業テーマ】 記事について話す⑦
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第８回 【授業テーマ】 記事について話す⑧
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第９回 【授業テーマ】 記事について話す⑨
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第10回 【授業テーマ】 記事について話す⑩
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第11回 【授業テーマ】 記事について話す⑪
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第12回 【授業テーマ】 記事について話す⑫
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第13回 【授業テーマ】 記事について話す⑬
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第14回 【授業テーマ】 記事について話す⑭
【内容・方法　等】 読解・会話練習
【事前・事後学習課題】 復習
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法　等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）
授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ
２年生だけでなく、３年生以降の学生の受講も歓迎します。話す力をさらに伸ばしたい留学生はぜひ受講してください。

関連科目
日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等
国際交流センター（３号館４階）

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「社会と人権」
Human rights and Society

太田義器（オオタ　ヨシキ）
有馬善一（アリマ　ゼンイチ）
林田敏子（ハヤシダ　トシコ）
古川行男（フルカワ　ユキオ）
松島裕一（マツシマ　ユウイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
【授業概要・目的】
本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。
本年度は、太田(政治哲学)、古川(判事経験者)、有馬(倫理学)、林田(西洋史)、松島(法哲学)を専門する教員が、それぞれ3回ずつ授業を行う。
【到達目標】
本授業を履修した学生は、次の項目について一定水準に達することが期待されます。
①　社会と人権にかかわる事柄について政治哲学的観点から説明できる
②　社会と人権にかかわる事柄について裁判事例の観点から説明できる
③　社会と人権にかかわる事柄について倫理学的観点から説明できる
④　社会と人権にかかわる事柄について西洋史的観点から説明できる
⑤　社会と人権にかかわる事柄について法哲学的観点から説明できる
⑥　社会と人権にかかわる事柄について、具体的な自分の生活と行動の場面に即して考えることができる

授業方法と留意点
(有馬担当分）板書・配付資料による講義形式。

科目学習の効果（資格）
人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 「社会と人権について考える」ことを考える
【内容・方法　等】 担当者:太田
シラバス内容の確認(10分)
社会と人権について履修生がどのような考え方をもっているのかの確認(20分)
「社会と人権について考える」ことを考える　ための話題提供(40分)
質疑およびミニッツペーパー(20分)
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
Web上のプレ・アンケートをしてもらいます。
結果については、担当教員5名で共有します。
第２回 【授業テーマ】 正義とは何か？
【内容・方法　等】 担当者:松島
「人権」という考え方が明確に意識されるようになるのは近代以降ですが、古典古代にもその思想的萌芽が見られます。この回の講義では古代ギリシアにさかのぼって、人間社会における「正しさ（正義）」とは何かについて考えてみます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「正義」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
第３回 【授業テーマ】 自由とは何か？
【内容・方法　等】 担当者:松島
日本国憲法にはさまざまな自由権が規定されていますが、そもそも「自由」とは何でしょうか？　J・S・ミルやI・バーリンらの議論を手掛かりにしながら、人権概念の根幹をなす「自由」というものの本質について考えてみます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「自由」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
第４回 【授業テーマ】 平等とは何か？
【内容・方法　等】 担当者:松島
「自由」と並び、「平等」は人権概念の根幹をなす重要な概念ですが、そもそも平等とは何なのでしょうか？　J・ロールズやR・ドゥオーキンらの議論を手がかりにして、平等の本質について考えてみたいと思います。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「平等」にかんする具体的な設問を提示しますので、授業中にその問題について皆で議論し、後日レポートを提出してください。
第５回 【授業テーマ】 人工妊娠中絶の是非をめぐって（１）
【内容・方法　等】 担当者:有馬
・人工妊娠中絶をめぐる「プロ・ライフ」(中絶反対派）と「プロ・チョイス」(中絶擁護派）の論争とその社会的背景について解説をする。
・トムソンの論文について解説をした上で、トムソンの主張について周囲の学生とディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 トムソンの主張についての自分の考えをまとめる。
第６回 【授業テーマ】 人工妊娠中絶の是非をめぐって（２）
【内容・方法　等】 担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ。
・パーソン論と人工妊娠中絶問題とのつながりを説明する。
・トゥーリの論文について解説をした上で、トゥーリの主張についてディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 トゥーリの主張について自分の考えをまとめる。
第７回 【授業テーマ】 安楽死をめぐって
【内容・方法　等】 担当者:有馬
・前回のディスカッションのまとめ
・「死ぬ権利」に対するオランダやベルギーの考え方を紹介する。また、日本における「尊厳死」の問題について解説をする。
・安楽死の是非についてディスカッションをする。
【事前・事後学習課題】 安楽死について自分の考えをまとめる。
第８回 【授業テーマ】 正義と政治:対テロ戦争は、本当に正義の戦争なのか
【内容・方法　等】 担当者:太田
対テロ戦争についての履修生の考えの確認(10分)
「正しい戦争」という考え方の説明(30分)
「正しい戦争」という考え方を聞いて、何を考えたか、履

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　271　2014/08/21　14:24:56

修生の考えの確認(10分)
米国が主導している「正しい戦争」の現実についての説明(20分)
質疑およびミニッツペーパー(20分)
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
これまでの授業についての確認のwebアンケートに応えてもらいます。

第９回 **【授業テーマ】** 憲法と基本的人権
【内容・方法　等】 担当者:古川
総論、基本的人権と公共の福祉
【事前・事後学習課題】 自分の基本的人権と他人の基本的人権との関係をどのように考えるか
最近のニュースなどで基本的人権が問題となったケースにつき話し合う。

第10回 **【授業テーマ】** 憲法における自由権
【内容・方法　等】 担当者：古川
精神的自由権、経済的自由権、人身の自由についての具体的な憲法の規定
それぞれの自由権の歴史的な流れ。愚弟的な内容
【事前・事後学習課題】 それぞれの自由権について各自はどのように考えるのか。

第11回 **【授業テーマ】** 社会権、参政権、その他
【内容・方法　等】 担当者：古川
社会的、経済的弱者を守るための人権にはどのようなものがあるか。
国民主権と参政権
一般的な幸福追求権
【事前・事後学習課題】 この3回の授業で自分として考えたことをまとめる。

第12回 **【授業テーマ】** 女性と人権
【内容・方法　等】 担当者：林田
・歴史学と「人権」
・人権概念の歴史的生成過程～アメリカ独立宣言を中心に～
・もう一つのフランス革命～オランプ・ドゥ・グージュの「女性の人権宣言」～
【事前・事後学習課題】 【事前学習】
「女性と人権」という言葉から連想するものを書き出してくる。

第13回 **【授業テーマ】** 女性は戦争をどう「戦った」か
【内容・方法　等】 担当者：林田
・犠牲者としての女性
・戦いを鼓舞する女性
・「戦う」女性～募兵運動、兵器製造、従軍～
・女性兵士をめぐって
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
「戦争があぶりだすジェンダー問題」についてまとめる。

第14回 **【授業テーマ】** 「ジェンダー・フリー」の罠
【内容・方法　等】 担当者:林田
セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスから女性専用車両にいたるまで、身近にあるジェンダー問題を通して、ジェンダー・フリーへ向けた取り組みが抱える問題について考える（ディスカッションもしくは、小発表形式）。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】
ディスカッション（もしくは小発表）の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる。

第15回 **【授業テーマ】** 総括
【内容・方法　等】 担当者:太田
履修生全員に「社会と人権」について考えたことを20秒でまとめて発言してもらいます。
履修人数によりますが、一人ひとりに太田が10秒でコメントします。
【事前・事後学習課題】 【事前学習】
発言した内容を中心としたレポートを提出してもらい、それを太田担当回の評価資料とします。

評価方法（基準）
5名の担当者が課す課題を100点満点で評価し、その平均点で評価します。(5つの課題それぞれの比重は20%)
それぞれの担当者の評価方法については、授業計画で確認ください。

教材等
教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。
参考書…とくになし。

学生へのメッセージ
教室に来て、座って聞いているだけでも、もちろんためになりますが、それだけではなく、自分で考えてもらうための作業をたくさん行います。

関連科目
法学などのさまざまな科目

担当者の研究室等
太田(7号館4階)
古川(11号館10階)
有馬(11号館7階)
林田(7号館4階)
松島(11号館9階)

備考
有馬担当分　参考図書　加藤・飯田編　『バイオエシックスの基礎』、東海大学出版会

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「役立つ金融知力」
Useful Financial Literacy

陸　川　富　盛（リクカワ　ヨシモリ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
自ら考え判断し行動する「賢い経済主体」となるためには、先ずは市場経済や契約社会の仕組みを実感覚として理解し、様々なリスクや不確実性に果敢に立ち向かっていく必要があります。経済や法律そして金融に関する正しい知識を得てそれらを日常的に活用していくことは、実は単に金銭トラブルの回避に役立つだけでなく、より良い人生や社会の実現に欠かせないのです。

本講義の目標は、人生のさまざまな局面で的確に決断し行動できるよう、金融知識を活用する実戦的な金融インテリジェンスの基本を身に着けることです。

授業方法と留意点
教科書を使用した講義形式を中心に、先ずは経済主体としての視点で、社会の仕組みと様々な課題や対処法を認識します。
更に、それらを統合的に活用する金融インテリジェンスの基礎を学び応用します。

科目学習の効果（資格）
経済生活やビジネスライフに必要な意思決定を適宜適切に行えるよう、金融知識を活用する実戦的な金融インテリジェンスの基本を身に着けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法　等】 「金融知力の必要性 」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P4～15＞
・私たちのくらしと経済
・戦後の社会発展
・パラダイムシフト
・変革の必要性

第２回 **【授業テーマ】** 金融・経済の基礎知識 ①
【内容・方法　等】 「国際経済と国家財政」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P38～49＞
・国際経済
・国家の財政

第３回 **【授業テーマ】** 金融・経済の基礎知識 ②
【内容・方法　等】 「市場経済と金融の役割」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P16～29＞
・金融の役割
・市場経済のしくみと意義
・金融の役割と銀行

第４回 **【授業テーマ】** 法律の基礎知識
【内容・方法　等】 「契約の基本」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P147～149・152～159＞
・契約社会 Ⅰ
・ローン・クレジット
・契約社会 Ⅱ

第５回 **【授業テーマ】** リスクと向き合う ①
【内容・方法　等】 「リスクマネジメント」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P74～81・150～152・159～161＞
・リスクマネジメント
・契約社会 Ⅲ

第６回 **【授業テーマ】** リスクと向き合う ②
【内容・方法　等】 「リタイアメント」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P82～91＞
・年金制度
・老後生活資金

第７回 **【授業テーマ】** 投資の基礎知識
【内容・方法　等】 「投資とは何か」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P92～98＞
・投資とは
・投資意思決定プロセス

第８回 **【授業テーマ】** 経済活動と金融市場
【内容・方法　等】 「景気・株価」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P30～37・50～53＞
景気
景気と株価

第９回 **【授業テーマ】** 金融商品の基礎知識 ①
【内容・方法　等】 「代表的な金融商品（株式等）」

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　272　2014/08/21　14:24:56

【事前・事後学習課題】 テキスト＜P118～129＞
・株式
・投資信託
・外貨建て商品
・保険商品
・デリバティブ

第10回 【授業テーマ】 金融商品の基礎知識 ②
【内容・方法 等】 「代表的な金融商品（債券他）」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P111～118＞
・預貯金
・信託
・債券

第11回 【授業テーマ】 金融商品の基礎知識 ③
【内容・方法 等】 「金融市場と金融商品の性格」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P99～111＞
・直接金融と間接金融
・金融商品の性格

第12回 【授業テーマ】 投資のリスク管理
【内容・方法 等】 「資産分散と時間分散」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P130～146＞
・分散投資
・時間分散
・長期投資

第13回 【授業テーマ】 ライフプランニング ①
【内容・方法 等】 「ライフプランニング表」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P54～63＞
・ライフプランニング

第14回 【授業テーマ】 ライフプランニング ②
【内容・方法 等】 「ライフイベントごとの課題」
【事前・事後学習課題】 テキスト＜P64～73＞
・キャッシュフロー表の見直し
・ライフイベントごとの課題

第15回 【授業テーマ】 試験（レポート提出）
【内容・方法 等】 課題レポート提出
試験
【事前・事後学習課題】 講義で得た金融インテリジェンスの応用

評価方法（基準）
課題レポートを50％、試験を20％、平常点を30％とし、本科目への取り組み姿勢や理解度等を総合的に評価します。

教材等
教科書…『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』
発行：特定非営利活動法人 金融知力普及協会
(必須。授業では毎回この教科書を使用します。)
参考書…特定のものは指定しません

学生へのメッセージ
・受講内容の復習を行い、身近な経済・時事問題などに興味や疑問を持って考えること。
・最終回までに表計算ソフト「エクセル」（自習。講義では教えません。）で簡易な表を作成できること。
本講義でより高い効果を得るには、受講内容を復習し自分自身で深く考え調査した上で、友人たちと議論してみることが役立ちます。

関連科目
民法、会社法、経済学、国際経済、経営学、経営戦略 など

担当者の研究室等
11号館1階（教務課）

備考
この授業は、ＳＭＢＣ日興証券グループによる「寄附講座」です。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「地域連携教育活動Ⅰ」
Communitiy-Based Education Support ActivitiesI

浅 野 英 一（アサノ エイイチ）
浦 野 崇 央（ウラノ タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週１回９０分行う。

授業方法と留意点
原則として、履修申請が可能な学生は、本年１月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動Ⅰ」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果（資格）
活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 事前教育－１（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法 等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成

第２回 【授業テーマ】 事前教育－２
【内容・方法 等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成

第３回 【授業テーマ】 事前教育－３
【内容・方法 等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成

第４回 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法 等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成

第５回 【授業テーマ】 活動－１
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第６回 【授業テーマ】 活動－２
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第７回 【授業テーマ】 活動－３
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第８回 【授業テーマ】 活動－４
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第９回 【授業テーマ】 活動－５
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第10回 【授業テーマ】 活動－６
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第11回 【授業テーマ】 活動－７
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第12回 【授業テーマ】 活動－８
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備

第13回 【授業テーマ】 活動－９
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成

第14回 【授業テーマ】 活動－１０
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第15回 【授業テーマ】 活動－１１
【内容・方法 等】 活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第16回 【授業テーマ】 活動－１２
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第17回 【授業テーマ】 活動－１３
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第18回 【授業テーマ】 活動－１４
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

第19回 【授業テーマ】 活動－１５
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 273 2014/08/21 14:24:56

【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
第20回 【授業テーマ】 活動－１６
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第21回 【授業テーマ】 活動－１７
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第22回 【授業テーマ】 活動－１８
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第23回 【授業テーマ】 活動－１９
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第24回 【授業テーマ】 活動－２０
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第25回 【授業テーマ】 活動－２１
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第26回 【授業テーマ】 活動－２２
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第27回 【授業テーマ】 活動－２３
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第28回 【授業テーマ】 活動－２４
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第29回 【授業テーマ】 活動－２５
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第30回 【授業テーマ】 活動－２６・最終報告会

評価方法（基準）
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ
大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目
教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等
７号館５階 （浅野研究室）
７号館４階 （浦野研究室）

備考
授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義I～V「地域連携教育活動II」
Communitiy-Based Education Support ActivitiesII

浅 野 英 一（アサノ エイイチ）
浦 野 崇 央（ウラノ タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週１回９０分行う。

授業方法と留意点
原則として、履修申請が可能な学生は、本年１月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動I」を履修した学生のみが登録できる。

科目学習の効果（資格）
活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 事前教育－１（授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法 等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
第２回 【授業テーマ】 事前教育－２
【内容・方法 等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
第３回 【授業テーマ】 事前教育－３
【内容・方法 等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
第４回 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法 等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
第５回 【授業テーマ】 活動－１
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第６回 【授業テーマ】 活動－２
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第７回 【授業テーマ】 活動－３
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第８回 【授業テーマ】 活動－４
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
第９回 【授業テーマ】 活動－５
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第10回 【授業テーマ】 活動－６
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第11回 【授業テーマ】 活動－７
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第12回 【授業テーマ】 活動－８
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
第13回 【授業テーマ】 活動－９
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
第14回 【授業テーマ】 活動－１０
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第15回 【授業テーマ】 活動－１１
【内容・方法 等】 活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第16回 【授業テーマ】 活動－１２
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第17回 【授業テーマ】 活動－１３
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第18回 【授業テーマ】 活動－１４
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 274 2014/08/21 14:24:56

活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第19回 【授業テーマ】 活動－１５
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
第20回 【授業テーマ】 活動－１６
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第21回 【授業テーマ】 活動－１７
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第22回 【授業テーマ】 活動－１８
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第23回 【授業テーマ】 活動－１９
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第24回 【授業テーマ】 活動－２０
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第25回 【授業テーマ】 活動－２１
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第26回 【授業テーマ】 活動－２２
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第27回 【授業テーマ】 活動－２３
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第28回 【授業テーマ】 活動－２４
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第29回 【授業テーマ】 活動－２５
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
第30回 【授業テーマ】 活動－２６・最終報告会

評価方法（基準）
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ
大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目
教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等
７号館５階 （浅野研究室）
７号館４階 （浦野研究室）

備考
授業説明を4月10日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「青少年育成ファシリテーター養成講座」
Facilitator Training Program

浅 野 英 一（アサノ エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本授業は、サービスラーニングの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立ったという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市内の小学校、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、交野市役所、門真市役所、すさみ町役場、寝屋川青年会議所等の主催・共催事業。

授業方法と留意点
大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動をします。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果（資格）
実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 事前教育－１（授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法 等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「活動についての心構え」
第２回 【授業テーマ】 事前教育－２
【内容・方法 等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「守秘義務について」
第３回 【授業テーマ】 事前教育－３
【内容・方法 等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全管理スキルについて」
第４回 【授業テーマ】 事前教育－４
【内容・方法 等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、ＡＥＤの使用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「救命救護スキルについて」
第５回 【授業テーマ】 事前教育－５
【内容・方法 等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全対策スキルについて」
第６回 【授業テーマ】 事前教育－６
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「人とのかかわり方について」
第７回 【授業テーマ】 事前教育－７
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「報告、連絡、相談について」
第８回 【授業テーマ】 事前教育－８
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレーキング手法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「アイスブレーキング手法について」
第９回 【授業テーマ】 事前教育－９
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
第10回 【授業テーマ】 事前教育－１０
【内容・方法 等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法
【事前・事後学習課題】 活動計画（案）を作成する
第11回 【授業テーマ】 実践活動－１
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第12回 【授業テーマ】 実践活動－２
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第13回 【授業テーマ】 実践活動－３
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第14回 【授業テーマ】 実践活動－４
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第15回 【授業テーマ】 実践活動－５
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテー

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 275 2014/08/21 14:24:56

ター活動実践⑤
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第16回 【授業テーマ】 実践活動－６
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第17回 【授業テーマ】 実践活動－７
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第18回 【授業テーマ】 実践活動－８
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第19回 【授業テーマ】 実践活動－９
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第20回 【授業テーマ】 実践活動－１０
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第21回 【授業テーマ】 実践活動－１１
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第22回 【授業テーマ】 実践活動－１２
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第23回 【授業テーマ】 実践活動－１３
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第24回 【授業テーマ】 実践活動－１４
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第25回 【授業テーマ】 実践活動－１５
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第26回 【授業テーマ】 実践活動－１６
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第27回 【授業テーマ】 実践活動－１７
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第28回 【授業テーマ】 実践活動－１８
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実⑱
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第29回 【授業テーマ】 実践活動－１９
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
第30回 【授業テーマ】 最終報告（後期分）

評価方法（基準）
①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調書、以上の４点を総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

担当者の研究室等
７号館５階 （浅野研究室）

備考
授業説明を4月15日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」
Preparation Program for Employment Examination

松 田 剛 典（マツダ タケノリ）
亀 田 峻 宣（カメダ タカノブ）
西 座 由 紀（ニシザ ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦労する学生がとても多いですので、早めに対策をしておきましょう。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。

授業方法と留意点
授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果（資格）
就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法 等】 実力確認テスト
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
第２回 【授業テーマ】 数と計算
【内容・方法 等】 四則演算・小数・分数
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
第３回 【授業テーマ】 方程式
【内容・方法 等】 方程式
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
第４回 【授業テーマ】 速度算
【内容・方法 等】 速度の基礎
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算について復習しておくこと
第５回 【授業テーマ】 割合
【内容・方法 等】 割合の基礎・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合について復習しておくこと
第６回 【授業テーマ】 分数問題
【内容・方法 等】 仕事算・分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による仕事算・分割払いについて復習しておく
第７回 【授業テーマ】 金銭問題
【内容・方法 等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算について復習しておくこと
第８回 【授業テーマ】 場合の数・確率
【内容・方法 等】 場合の数・確率
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数・確率を復習しておくこと
第９回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法 等】 中間テスト
【事前・事後学習課題】 2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと
第10回 【授業テーマ】 集合・領域
【内容・方法 等】 集合の基礎・領域
【事前・事後学習課題】 集合・領域を復習しておくこと
第11回 【授業テーマ】 表の読み取り
【内容・方法 等】 表の読み取り
【事前・事後学習課題】 表の読み取り問題を復習しておくこと
第12回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法 等】 命題・推論①
【事前・事後学習課題】 命題について復習しておくこと
第13回 【授業テーマ】 論理
【内容・方法 等】 推論②
【事前・事後学習課題】 推論について復習しておくこと
第14回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法 等】 総復習①
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと
第15回 【授業テーマ】 テスト
【内容・方法 等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法（基準）
小テスト40％、テスト（中間・期末）40%、授業態度10％、Smart SPI10%の割合で評価する。

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 276 2014/08/21 14:24:57

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。

参考書…算数・数学に関する本を読んでおくと参考になります。
（例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所）

学生へのメッセージ

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」

Preparation Program for Employment Examination

松　田　剛　典（マツダ　タケノリ）
亀　田　峻　宣（カメダ　タカノブ）
西　座　由　紀（ニシザ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。筆記試験で特によく使われるSPI非言語分野の全ての範囲を学習し、実際に出題された際に説き方がすぐに思い出せるように練習します。実践レベルの問題を解きますので、就職活動の準備の一環として受講をお勧めします。

授業方法と留意点

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果（資格）

就職活動に必要な数学力を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　テスト
【内容・方法　等】　実力確認テスト
【事前・事後学習課題】　シラバス熟読

第２回　**【授業テーマ】**　数と計算
【内容・方法　等】　四則演算・小数・分数
【事前・事後学習課題】　四則演算を復習しておくこと

第３回　**【授業テーマ】**　方程式
【内容・方法　等】　方程式
【事前・事後学習課題】　方程式を復習しておくこと

第４回　**【授業テーマ】**　速度算
【内容・方法　等】　速度の基礎
【事前・事後学習課題】　文章題による速度算について復習しておくこと

第５回　**【授業テーマ】**　割合
【内容・方法　等】　割合の基礎・濃度算
【事前・事後学習課題】　文章題による割合について復習しておくこと

第６回　**【授業テーマ】**　分数問題
【内容・方法　等】　仕事算・分割払い
【事前・事後学習課題】　文章題による仕事算・分割払いについて復習しておく

第７回　**【授業テーマ】**　金銭問題
【内容・方法　等】　損益算
【事前・事後学習課題】　文章題による損益算について復習しておくこと

第８回　**【授業テーマ】**　場合の数・確率
【内容・方法　等】　場合の数・確率
【事前・事後学習課題】　文章題による場合の数・確率を復習しておくこと

第９回　**【授業テーマ】**　テスト
【内容・方法　等】　中間テスト
【事前・事後学習課題】　2～8回目の範囲を事前に勉強しておくこと

第10回　**【授業テーマ】**　集合・領域
【内容・方法　等】　集合の基礎・領域
【事前・事後学習課題】　集合・領域を復習しておくこと

第11回　**【授業テーマ】**　表の読み取り
【内容・方法　等】　表の読み取り
【事前・事後学習課題】　表の読み取り問題を復習しておくこと

第12回　**【授業テーマ】**　論理
【内容・方法　等】　命題・推論①
【事前・事後学習課題】　命題について復習しておくこと

第13回　**【授業テーマ】**　論理
【内容・方法　等】　推論②
【事前・事後学習課題】　推論について復習しておくこと

第14回　**【授業テーマ】**　総復習
【内容・方法　等】　総復習①
【事前・事後学習課題】　全ての範囲を事前に勉強しておくこと

第15回　**【授業テーマ】**　テスト
【内容・方法　等】　最終テスト
【事前・事後学習課題】　全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法（基準）

小テスト40％、テスト（中間・期末）40%、授業態度10％、Smart SPI10%の割合で評価する。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。

参考書…その他SPIや玉手箱関連の問題集

学生へのメッセージ

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われています。早めの対策しておくと、受けることのできる会社が広がります。その一方、3回生の秋・冬から筆記試験対策を始めたものの、他の活動や行事が忙しく対策が出来ていないこともあります。早めに対策をしておきましょう。
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

コミュニケーション能力開発

担当者の研究室等

7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」

Business Manners

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：　マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。
目　的：　社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。
到達目標：　社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点

ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

社会生活において必要なことが分かり、社会に出たときの理想の自分がイメージできる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　ビジネスマナーとは何か
【内容・方法　等】　授業のオリエンテーション
ビジネスマナーの必要性
ビジネスにおける最低限のルール
【事前・事後学習課題】　ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。

第２回　**【授業テーマ】**　第一印象
【内容・方法　等】　第一印象の重要性
第一印象をよくする方法
【事前・事後学習課題】　自分の第一印象を理想に近づけるよう意識してください。

第３回　**【授業テーマ】**　身だしなみ
【内容・方法　等】　身だしなみと態度について
【事前・事後学習課題】　身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。

第４回　**【授業テーマ】**　言葉づかい
【内容・方法　等】　敬語の仕組みと使い方
【事前・事後学習課題】　尊敬語と謙譲語の違いについて調べてきてください。

第５回　**【授業テーマ】**　指示の受け方
【内容・方法　等】　指示の受け方
スケジュール管理の仕方
【事前・事後学習課題】　授業内での課題を仕上げてください。

第６回　**【授業テーマ】**　電子メールのマナー
【内容・方法　等】　電子メールの書き方

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　277　2014/08/21　14:24:57

【事前・事後学習課題】 事前に、電子メール、文書、電話、それぞれの特長を考えて来てください。
また、授業内で提示する事後課題をしてください。

第７回 【授業テーマ】 文書のマナー
【内容・方法 等】 文書の書き方
【事前・事後学習課題】 身の回りにある文書を確認してください。

第８回 【授業テーマ】 電話のマナー
【内容・方法 等】 電話のかけ方と受け方
【事前・事後学習課題】 授業内で提示する事後課題をしてください。

第９回 【授業テーマ】 ホウ・レン・ソウ
【内容・方法 等】 報告・連絡・相談の仕方
【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来てください。

第10回 【授業テーマ】 訪問のマナー（前編）
【内容・方法 等】 訪問の仕方
【事前・事後学習課題】 訪問する際に気を付けることを考えてください。

第11回 【授業テーマ】 訪問のマナー（後編）
【内容・方法 等】 訪問客への対応の仕方
【事前・事後学習課題】 先生の研究室や企業への訪問の際に実践してください。

第12回 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー
【内容・方法 等】 会社説明会で何をすればいいのか
【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。

第13回 【授業テーマ】 面接でのマナー
【内容・方法 等】 面接の種類と面接官の狙いについて
面接での基本的な振る舞い方
【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。

第14回 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー
【内容・方法 等】 グループディスカッションの特徴
グループディスカッションの注意点
【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。

第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ
【内容・方法 等】 授業の振り返り・まとめ
【事前・事後学習課題】 未提出の課題等がないか確認をして下さい。

評価方法（基準）
平常点30%、提出物20%、レポート50%で総合評価する。

教材等
教科書…レジュメ配布
参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ
マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

関連科目
キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、インターンシップⅠ、Ⅱ、エンプロイメントデザインⅡ

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶ－北河内学－」
Introduction to University and Kitakawachi Region

福　田　市　朗（フクダ　イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
［授業概要］学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。［目的］摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。［到達目標］摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

授業方法と留意点
摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

科目学習の効果（資格）
自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」
【内容・方法 等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。

第２回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（１）
【内容・方法 等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。

第３回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（２）
【内容・方法 等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。

第４回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（３）
【内容・方法 等】 都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。

第５回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（１）寝屋川市
【内容・方法 等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。

第６回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（２）枚方市
【内容・方法 等】 枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。

第７回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（３）交野市
【内容・方法 等】 交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。

第８回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（４）門真市
【内容・方法 等】 門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。

第９回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（１）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第10回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（２）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第11回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（３）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　278　2014/08/21　14:24:57

【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第12回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（４）
【内容・方法　等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第13回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（５）
【内容・方法　等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第14回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る（６）
【内容・方法　等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

第15回 【授業テーマ】 北河内の産業を知る
【内容・方法　等】 北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

評価方法（基準）

毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（７５％）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（２５％）を総合して評価する。

教材等

教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。
参考書…摂南大学の自校史集。
毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

学生へのメッセージ

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。
　なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

関連科目

地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

担当者の研究室等

１１号館７階　福田教授室

備考

学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。
学外講師の関係者が聴講することがあります。
また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」
Health Science

藤　林　真　美（フジバヤシ　マミ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。
本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法　等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第２回 【授業テーマ】 健康づくりの三本柱
【内容・方法　等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第３回 【授業テーマ】 身体の生理機能
【内容・方法　等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？
生体の生理について復習する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第４回 【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以
【内容・方法　等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第５回 【授業テーマ】 運動トレーニングで何が変わるか？
【内容・方法　等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第６回 【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？
【内容・方法　等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第７回 【授業テーマ】 基礎栄養学
【内容・方法　等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第８回 【授業テーマ】 食生活と健康
【内容・方法　等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第９回 【授業テーマ】 ダイエット計画
【内容・方法　等】 近年、性別や年齢による身体の見た目や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第10回 【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康
【内容・方法　等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第11回 【授業テーマ】 ストレスマネジメント
【内容・方法　等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。
また他の精神障害についても概説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第12回 【授業テーマ】 睡眠
【内容・方法　等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第13回 【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症
【内容・方法　等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第14回 【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動
【内容・方法　等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料

第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法　等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。
【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）

期末試験50％、レポート30％、授業態度20％の割合で評価する。

教材等

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　279　2014/08/21　14:24:57

教科書…特に指定しない
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ
皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館１階　藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと歴史」
Marketing and History

武　居　奈緒子（タケスエ　ナオコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この講義では、マーケティングを歴史的に考察することを目的としています。特にマーケティングの発想を踏まえ、呉服商の経営活動について説明していきます。

授業方法と留意点
講義形式を基本としますが、実態分析にも力を入れます。

科目学習の効果（資格）
マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　マーケティングについて解説していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第２回　【授業テーマ】　製品政策
【内容・方法　等】　ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第３回　【授業テーマ】　価格政策
【内容・方法　等】　価格の設定方法について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第４回　【授業テーマ】　流通チャネル政策
【内容・方法　等】　商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第５回　【授業テーマ】　販売促進政策
【内容・方法　等】　商品のアピールの仕方について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第６回　【授業テーマ】　マーケティングのＳＴＰアプローチ
【内容・方法　等】　市場細分化について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第７回　【授業テーマ】　消費行動
【内容・方法　等】　消費者の購買意思決定過程について考えます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第８回　【授業テーマ】　マーケティングの歴史的研究と三井越後屋
【内容・方法　等】　マーケティングにおける歴史的研究と三井越後屋の商法について説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第９回　【授業テーマ】　呉服商の流通機構
【内容・方法　等】　呉服商の流通機構について、概説していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第10回　【授業テーマ】　越後屋の仕入機構（１）
【内容・方法　等】　三井越後屋の絹の仕入機構について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第11回　【授業テーマ】　越後屋の仕入機構（２）
【内容・方法　等】　三井越後屋の木綿の仕入機構について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第12回　【授業テーマ】　いとう松坂屋、大丸屋の仕入機構
【内容・方法　等】　いとう松坂屋や大丸屋の仕入機構について、概説していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第13回　【授業テーマ】　呉服商から百貨店へ
【内容・方法　等】　呉服商から百貨店への変遷について概説します。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第14回　【授業テーマ】　百貨店業態の成立
【内容・方法　等】　百貨店について、説明していきます。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。
第15回　【授業テーマ】　まとめ
【内容・方法　等】　全体のまとめをします。
【事前・事後学習課題】　文献や新聞で、関連する内容を読みましょう。

評価方法（基準）
期末テストの成績70％、授業内課題30％

教材等
教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ
授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましょう。

関連科目
マーケティング論

担当者の研究室等
武居教授室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」
Theory of Budo

横　山　喬　之（ヨコヤマ　タカユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。
また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やものの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点
講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）
武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　ガイダンス
【内容・方法　等】　授業内容の説明と武道について
【事前・事後学習課題】　武道について調べてくる
第２回　【授業テーマ】　武道とは何か
【内容・方法　等】　武道の意味や言語について概説する
【事前・事後学習課題】　武道にはどのような種目があるのか調べる
第３回　【授業テーマ】　武道と武術について
【内容・方法　等】　武道と武術の違いについて
【事前・事後学習課題】　武芸十八般について調べてくる
第４回　【授業テーマ】　武道（柔道）
【内容・方法　等】　柔道について
【事前・事後学習課題】　柔道について調べ内容をまとめる
第５回　【授業テーマ】　武道（剣道）
【内容・方法　等】　剣道について調べ内容をまとめる
【事前・事後学習課題】　剣道について調べ内容をまとめる
第６回　【授業テーマ】　武道（弓道・相撲）
【内容・方法　等】　弓道・相撲について
【事前・事後学習課題】　弓道・相撲について調べ内容をまとめる
第７回　【授業テーマ】　武道（空手・合気道）
【内容・方法　等】　空手・合気道について
【事前・事後学習課題】　空手・合気道について調べ内容をまとめる
第８回　【授業テーマ】　武士道から見る日本人の道徳心①
【内容・方法　等】　武士道とは何か
【事前・事後学習課題】　著者・著作にいたる背景を調べまとめる
第９回　【授業テーマ】　武士道から見る日本人の道徳心②
【内容・方法　等】　武士道の道徳心について
【事前・事後学習課題】　武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる
第10回　【授業テーマ】　武士道から見る日本人の道徳心③
【内容・方法　等】　武士道の道徳心について

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　280　2014/08/21　14:24:57

【事前・事後学習課題】 武士はどのような道徳を持ち生活していたか調べまとめる

第11回 【授業テーマ】 武道と修行
【内容・方法 等】 武道における修行について
【事前・事後学習課題】 修行とは何かを調べまとめる

第12回 【授業テーマ】 武道の国際化
【内容・方法 等】 武道の国際化について
【事前・事後学習課題】 武道がどのように世界に普及したか調べまとめる

第13回 【授業テーマ】 武道の身体技法①
【内容・方法 等】 武道特有の身体技法について
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる

第14回 【授業テーマ】 武道の身体技法②
【内容・方法 等】 実際の身体技法を行う（総合体育館）
【事前・事後学習課題】 武道の身体技法とは何か調べまとめる

第15回 【授業テーマ】 武道論総括（テスト）
【内容・方法 等】 １４回まで行った授業の内容に関してテストを行う
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

評価方法（基準）

出席率75%以上のものを試験資格者とする。遅刻は2回で１回の欠席と同等とみなす。（遅刻は授業開始から30分以内に入室したことをいう）
武道論総括(15回目)におけるテストを100％の割合で評価を行う。(ただし、上記の出席率を満たした者のみを評価対象者とする。)

教材等

教科書…特に指定はしない。
参考書…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007
藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不昧堂出版 2007
村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012
『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

学生へのメッセージ

質問等がある場合には、横山講師室に来てください。

関連科目

スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
生涯スポーツ実習
健康論
保健論

担当者の研究室等

総合体育館１F横山講師室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

本 多 友 常（ホンタ トモツネ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

和歌山県すさみ町旧古座街道沿に位置する佐本地区集落一帯をコンパクトヴィレッジとして捉え、集落環境を特徴付けている文化的景観要素を収集し、過疎高齢化集落とその周辺域の優れた文化的景観を守りつつ、未来に向けて持続可能な社会的・空間的環境整備の可能性を探索する。

授業方法と留意点

地域資産である景観構成要素の探索とそれに引き続く実測、情報収集、コミュニティ活動参加を通して、住民との交流、話し合いを進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町佐本地区を中心とした、集落空間の魅力（地域資産としての景観要素）発見に向けた調査・探索を行う。その後集落内の住民の方々を訪問し、自分たち学生の目から見て不思議なこと、面白いことについて教えていただき、昔の暮らしや今の生活、伝承や史跡などさまざまな事柄を記録する。
また集落生活の課題について、住民との交流ワークショップ、集落コミュニティ活動参加を介して地域資産の持続性について意見交換と考察を行い、文化的景観の持続性にむけた課題発見能力の向上を目指す。

評価方法・評価基準

フィールドノートのまとめ30%
ヒアリング内容のまとめ30%
発表40%

教材等

教科書…なし
参考書…すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌 上巻」昭和53年8月10日
すさみ町誌編さん委員会「すさみ町誌 下巻」昭和53年8月10日
すさみ町役場 地域未来課「広報すさみ」
大己小学校育友会「谷間の光 大己小学校沿革」(1971年)、
佐本小学校百周年事業実行委員会「創立百周年記念誌

学び舎の想い出」昭和54年3月1日
石垣が語る風土と文化－屋敷構えとしての石垣
紀伊続風土記

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

鳥 居 祐 介（トリイ ユウスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

＜寝屋川市と米国ニューポートニューズ市の姉妹都市交流支援プロジェクト＞を企画、運営するPBL授業です。NPO法人寝屋川市国際交流協会(NIEFA)とタイアップして、寝屋川市と姉妹都市提携関係にある米国ニューポートニューズ市との市民レベルの国際交流を支援し、市の国際化と経済振興に貢献することがプロジェクト全体の目標です。2014年度は、NIEFAが運営するイベント「新天地in Neyagawa」におけるニューポートニューズ市の学生マーチングバンド招聘公演を成功させることがプロジェクトの中心となる予定です。
・地域の非営利団体、自治体、企業、そして大学の相互連携について学び、社会人に相応しいコミュニケーション能力を身につけることが全履修者に共通の目標です。また各自の業務を通じて、アメリカ合衆国に関する知識や実践的な英語コミュニケーション能力を高めたり、イベント運営や広告営業の実地経験を積むことも目標にします。

授業方法と留意点

・年度を通じて定期ミーティングを行い、NIEFAスタッフの方々の協力を得ながら活動します。特に忙しくなるのは米国ニューポートニューズ市からの訪問団が来日する10月の前後になります。
・多様な関心分野、得意分野を持った学生の履修を期待しています。たとえば、
(1) 国際交流に関心があり、日本語を話せない外国人を相手に物怖じせず、簡単な英語でコミュニケーションがとれる人、またはとれるように努力する意欲のある人。訪問団の世話や案内をする人が必要です。
(2) アメリカ合衆国の一つの都市について詳しく学ぶことに興味のある人。翻訳に興味のある人。ニューポートニューズ市について学んで日本語で情報発信したり、寝屋川市のことを先方に英語で発信する人が必要です。
(3) イベントの企画運営や広告営業を経験し、社会人として働く力を高めたい人。履修者には「新天地」イベント全体を成功に導くスタッフとしての役割も期待されています。教室を離れて仕事の現場に飛び込む行動力のある人が必要です。
(4) ウェブ制作やプレゼン資料作成、チラシ、ポスター等印刷物のデザインに興味のある人。情報発信のための技能を持った人が来てくれると助かります。
(5) 協調性があるだけでなく、リーダーシップもとれる人。PBLは、学生が主体となって進めるものです。教員は、英語および翻訳の指導や事務処理についてのアドバイスをしますが、NIEFAスタッフから現場の要望を聞いて具体的な活動の中身を考え、実行し、フィードバックを受けて改善していくのは受講生の皆さん自身です。細かいプロジェクトごとにリーダーを決め、連絡を取り合いながらチームで動き、活動内容を定期的に教員に報告してもらいます。
以上、どれか一つでも当てはまる人はぜひ履修を検討してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

4月～5月中に数回のミーティングをNIEFAスタッフを交えて行い、いくつかの優先すべき活動内容を決めてそれぞれリーダーを選出し、活動に入ります。ニューポートニューズ市からバンドを含む訪問団が来日し、イベントが行われるのは10月です。それ以降は活動報告をまとめ、情報発信する作業が中心になります。

評価方法・評価基準

月ごとの活動報告や、活動現場での取り組み姿勢をみて総合的に評価する。

教材等

教科書…プリント教材
参考書…授業中に指示する

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 281 2014/08/21 14:24:58

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

紙　　博　文（カミ　ヒロフミ）
岩　坪　加　紋（イワツボ　カモン）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

映画製作（ー摂南大学と地域連携ー）
タイトル：「空へ」
目的は、20分～30分の短編映画を製作することである。ストーリー（案）を学生諸君で吟味して、それを基に学生が下記の作業を主体的に担う。
脚本、演出、出演、撮影、編集、音楽・作曲・演奏、効果、美術、ロケハンティング等、また、各公的機関、企業との交渉が必要であり、映画製作を通してそのための資質も磨かれる。短編映画ではあるが、かなりの作業量が求められためその覚悟が必要である。

授業方法と留意点

打ち合わせ、確認、交渉、各連絡等、チームワーク、フットワーク、スマートさ、スピードさが求められる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自に与えられた役割分担をすみやかにこなすこと。映画製作は総合芸術であるからひとつひとつの作業を確認しておかねば前には進まないことに留意されたい。

評価方法・評価基準

どれだけ真剣にチームワークよく取り組めたか、努力したかで評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）
久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

調査分析に基づいて、地域産業の発展の可能性や地域住民の需要を科学的に明らかにする。その上で、地域を起点とした事業計画を立案し、その実現に向けて、地域内外の企業・団体や国内外の協力団体との交渉、および、コンテストなどへの参加を行う。そして、得られた経営資源を基に事業を実施し、それによってどのような変化、影響をもたらせたかを分析し、今後の活動について考える。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

「地域！」
これまでのPBLプロジェクトで集めたアンケートデータや自治体などから提供されるデータ、および、このプロジェクトで企画するアンケート調査などを用いて、地域の期待や要望を浮かび上がらせる。そのために、統計解析の理論とソフトウェアの利用技術を習得し、実践的な分析能力を身につける。
「事業！」
地域を起点として、地域ブランドの普及や既存製品、技術の新しい組み合わせ、または、ITの活用などによる学生視点のビジネスモデルと事業計画を策定する。そして、ビジネスプランコンテストへの応募や、公的団体、民間団体などへプレゼンテーションを行い、事業計画のブラッシュアップと経営資源の獲得を目指す。
「変化！」
上記の活動を通じて得られた経営資源の制約下で、事業計画を再編して、事業の実施に着手する。具体的には、地域プロモーションサイトの構築、ICTによるモールの実験、今後の展開に向けた調査・研究などが考えられる。これらの活動を通して、自分たちの活動が地域や世界にどのようなインパクトを与えられるか、また同時に、自分たちの学びの姿勢や考え方がどのように変化したかについて振り返る。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域！事業！変化！
－地域を起点に事業を起こし、世界と自分に変化をもたらす－
内容：
（1）市場分析のためのデータ解析技術の習得
（2）地域に関するデータの収集・整理
（3）データ分析の実践
（4）企画提案に関する技法の習得
（5）ビジネスモデルの策定
（6）事業計画のプレゼンテーション
（7）事業実施のための資源獲得
（8）実施結果の分析
方法：月２，３回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年２，３回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

履修については、昨年度までのPBLプロジェクトやゼミ活動、課外活動などで地域での活動経験を有する学生を想定しています。卒業研究や調査実習を見据えた参加希望も歓迎します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

石　田　裕　子（イシダ　ユウコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：寝屋川市立池の里市民交流センターでの子どもたちへの環境学習支援に、学生が企画・実施担当として関わることで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となることを目指す。5年目の今回は、天若湖アートプロジェクトに参加し、天然アユ復活をモチーフとした淀川水系の流域連携活動を行う。
目的：池の里市民交流センターの活動に関わり、子どもへの環境学習支援を行う。天若湖アートプロジェクトへの参加を中心に、淀川水系での流域連携を向上させる。
達成目標：地域の子どもたちの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系を中心とした環境保全と河川管理について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。特に、淀川水系での天然アユ復活を題材に学習を進める。プロジェクト全体を通して、世代を超えた人々と交流することでコミュニケーション力を学び、自分たちで企画・実践する力を身につける。

授業方法と留意点

連携内容・方法：池の里市民交流センターでは、環境学習支援の補助から始め、学生たち自身による企画と実践を行う。天若湖アートプロジェクト実行委員会に所属し、淀川水系内の市民団体や行政機関と連携し、活動を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト
内容：
1．寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
2．水辺再生を中心とした環境学習の実施
3．淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
4．天若湖アートプロジェクトにおけるイベントの企画・実践
5．天然アユ復活プロジェクトの学習
6．いい川・いい川づくりワークショップでの発表
方法：授業のうち半分（月1回）は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月と12月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分（月1回）は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。特に、天若湖アートプロジェクトを中心に、淀川水系での流域連携を行う。学外発表の場として、近畿水環境交流会（7月）、天若湖アートプロジェクト（8月）、いい川・いい川づくりワークショップ（9-11月）を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部都市環境工学科生態環境学研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。天若湖アートプロジェクト実行委員会より外部講師を招き、事前学習を行う。また、本学園ＯＢである、大阪理化株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。
事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　282　2014/08/21　14:24:58

しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生および流域連携活動に加わること。(60%)
水辺再生・流域連携の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。(40%)

教材等

教科書…特になし
参考書…特になし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

橋　本　正　治（ハシモト　マサハル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト
概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う（継続テーマ）。本年度はこれまでの活動で得た成果をもとに災害時にも対応できる生活支援装置・設備（移設可能なトイレや厨房設備）の開発を行う。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

学内活動：通年　週１回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する
　現地での活動に向けて装置（ボイラやバーナーなど）や電気機器（ソーラー照明）の製作
現地活動：年5回程度　週末および夏期休業期間など
　基本的にバスで移動のため交通費不要。食費のみ必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：
4月：テーマの情報教共有（昨年度までの成果の説明）と本年度の目的に沿った開発プロジェクトのテーマ設定
5月：現地調査とテーマの修正と具体的な開発設備・機器の決定
　大学にて概念設計、詳細設計、工程設計、必要素材の調達、加工を行う。
　大型装置・設備については現地で加工組み立て
7月：現地で加工、施工、組み立て開始
8月：装置・設備の完成
　試作装置・設備による実験評価
9月：実験結果の考察と改良
　改良した装置について評価実験・考察
11月：現地あるいは大学で再実験
　実験結果の考察と改良
2月3月：最終実地評価と報告

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる
活動状況、活動結果、プレゼンなどで評価する

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

一　色　美　博（イツシキ　ヨシヒロ）
小　川　直　樹（オガワ　ナオキ）
丸　山　隆　三（マルヤマ　リュウゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

［授業概要・目的］
ミニ鉄道プロジェクトとして，レール幅3.5，5インチのミニ鉄道を製作し，運転会などの運営を行う．
蒸気機関車，電気機関車や客車の製作に加えて，軌道，鉄橋，駅舎なども製作し，イベント会場や小学校などで運転会を催す．また，運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え，参加者のものづくりへの関心を高める．
［到達目標］
蒸気機関車や鉄道施設などの製作を通して，ものづくりの技術を能動的に習得する．

授業方法と留意点

週１回のミーティングでプロジェクトの企画，運営，製作についての計画や進捗状況の報告を行います．加えて，皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います．
この科目では，能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです．与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り，その計画を確実に実行する姿勢を学んでください．与えられた環境，条件のもとで，工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です．この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください．

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅５インチの蒸気機関車の製作を継続するとともに運行イベントの企画・運営を行う．
１．教員の指導の下に目標と計画を作る．
２．計画に従って，技術指導を受けながら蒸気機関車，鉄道施設を製作する．
３．計画からの遅れには対策を講じる．
４．製作時に利用する金属材料，工作機械，工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする．
５．運行イベントの企画・運営を計画し，実施する．
６．計画，進捗状況，調査結果等をミーティングで報告する．

評価方法・評価基準

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度，プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について，ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する．

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

浅　野　英　一（アサノ　エイイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。
②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。

授業方法と留意点

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの３つを同時に行います。

評価方法・評価基準

レポート、参加態度を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に無し。
参考書…特に無し。

備考

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　283　2014/08/21　14:24:58

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

黒　澤　敏　朗（クロザワ　トシロウ）
山　本　圭　三（ヤマモト　ケイゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。
概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品を企画・提案します。
到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

１．連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
２．交野市の住民へのヒアリングとアンケート調査を行います。
３．他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
４．独自の特産品を企画し、イベントなどで試作したものを公開し、市民からの評価を受けます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

１．集団意思決定のための技術の習得
　ＫＪ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。
２．アンケート調査の方法の習得
　経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。
３．農業産品とその加工、販売方法（６次産業化）に関する知識の習得
　夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。
４．地域特産品に関する知識・情報の収集
　先進的な地域の特産品の調査を行います。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。
参考書…入門書として役立つ、新書などを紹介します。

備考

毎週金曜日に定例のミーティングを行いますが、テーマの性質上、それ以外にも土曜日と日曜日の数日を使用して活動します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

久　保　貞　也（クボ　サダヤ）
針　尾　大　嗣（ハリオ　ダイジ）
牧　野　幸　志（マキノ　コウシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学との関係がある自治体、公的団体に直接出向き、自分の感覚を使って地域を感じとる。
地域について見聞きし、調べ、そこで行われている活動を通じて、その地域が抱える課題やチャンスを発見する。そして、その課題解決へのチャレンジやチャンスを活かして地域と自分が共に発展する活動について考える。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部［II］

授業方法と留意点

「地域に行く」
摂南大学の卒業生が勤務している自治体や、連携協定を結んでいる自治体・公的団体への見学会を行い、魅力ある地域資源や取り組みなどを体験的に学ぶ。また、複数の地域を訪れることで、地域間の差異や共通部分の存在を実感する。
「地域を知る」
関連団体から講演者を招き、地域社会における課題や解決に向けた取り組みの実態を知る。また、地域で開催されているイベントへの参加や自主的な調査活動を通じて、地域の現状について理解を深める。
「地域と自分について考える」
このプロジェクトで気づいた課題と発見したり創りだしたチャンスを活かして、学生主体の取り組みを提案する。地域の中で学生が貢献できる役割を見つけたり、学生が地域の中で有益な学びが行える場を創りだすことを目指す。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：地域^3＋自分
－「地域」に行き、「地域」を知り、そして、「地域」と「自分」について考える－
内容：
（１）大阪府内、京都府内、滋賀県内などの市町村への訪問
（２）地域ブランドや特産品の収集
（３）自治体の地域活性化担当者による講演
（４）地域のNPOやボランティア団体、起業家などによる講演
（５）地域イベントへの参加（春、夏、秋、冬を通じて行う）
（６）地域イベントの参画（学生主体の企画・運営の提案、新規イベントの創出）
（７）地域と学生との関わりについての分析・考察
（８）今後に向けての企画・提案
方法：月２，３回程度、平日の午後以降に行う（授業時間の空きで調整）。また、その他に講演会や見学会などを年２，３回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設などである。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

佐　井　英　子（サイ　ヒデコ）
栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

授業方法と留意点

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記３市の会社見学会を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営
内容：
　Ⅰ　経営、マネジメント、経営戦力、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
　Ⅱ　実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
　Ⅲ　小学生に指導する。
　１．小学生と友達になろう
　２．株式会社って何だろう
　３．株式会社をつくろう
　４．商売って何だろう。儲けってなんだろう
　５．経営計画をたてよう
　６．マーケティングをしよう
　７．商品企画書の作成しよう
　８．銀行にお金を借りよう
　９．実際に販売してみよう
　１０．帳簿をつけて決算書をつくろう
　１１．税金を納めよう
　１２．決算書を作成しよう
　１３．経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。
講義方法法；子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　284　2014/08/21　14:24:58

事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。
会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。
小学生が理解できるような説明、会話ができるプレゼン能力を修得すること
日常接することのない保護者の方や商工会議所青年部の会員の方々と協同することにより社交性、協調性を修得することができたかを評価します。

教材等

教科書…特になし
参考書…必要に応じ適宜指定します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

八　木　紀一郎（ヤギ　キイチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

北河内における近郊ツーリズムの開発－交野のみのを関西のふるさとにしよう
　狩り暮し棚機津女に宿借らむ天の川原に我は来にけり　在原業平
　またや見む交野のみのの桜狩り花の雪散る春のあけぼの　藤原俊成
　観光地のイメージの希薄な北河内地域でも、生駒山系の西部山麓に位置する交野市は、緑豊かな森林と古墳時代に遡る史跡をもつ地域である。同市から現在の枚方・香里園みいたる丘陵は、「交野が原」「交野のみ野」とよばれる古来からの禁猟地で、平安時代の大宮人が風情を訪ねる地域であった。この授業では、交野市の行政・NGO・住民と協力し、この地域の観光資源を調査・開発して関西人の近郊ツーリズム（日帰りないし１泊）の対象地として盛り上げる。
学生にとっての到達目標：観光企画の基本を学ぶとともに、現地の人・組織と協力して企画をたて実践する実行力を身につける。

授業方法と留意点

＊交野市の行政・商工団体・観光協会・「おりひめ大学」と連携して、同市周辺の観光資源を調査し、それを活用したツアーの企画、観光宣伝媒体の作成、イベントへの協力にあたる。
＊参加者は、同市の市民学習会である「おりひめ大学」の学生とみなされ、同市の住民・関係者と協働することになる。最小限の礼儀と責任感をもって参加してください。
＊参加者は協働作業用のネットワークに加わるとともに、各自PBL用の専用ファイルで資料と活動成果を保存してください。
＊イベント時に、観光ニーズをさぐるためのアンケートを実施します。
＊週１回は打ち合わせ会をおこないます。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

５月連休時　第１回交野合宿（１泊２日）　現地調査、班編成、協力者との調整
６月　企画スケジュールの決定　交野市・北河内・エコツアーの勉強会
７月　枚方市・交野市の七夕祭りに参加・協力
８月　天の川星まつり協力、アンケート実施
９－１１月　秋の近郊ツーリズム企画
　観光絵葉書、ポスター、パンフレット作成
１２月　かたのキャンバスなどのイベントに協力
１－２月　学内最終発表会
　学外コンペ参加
担当者のホームページhttp://www.setsunan.ac.jp/~k-yagi/99_blank005.htmlを参照してください。

評価方法・評価基準

活動への実質的参加を前提にした地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップ、協調性、創意工夫、責任感（６割）、年度末の総括レポート（４割）

教材等

教科書…安藤明之『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析（第２版）』日本評論社、本体2500円＋税　ISBB978-4-535-58623-1

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学ＰＢＬプロジェクトⅠ」
Project Based LearningI

富　岡　直　美（トミオカ　ナオミ）
水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

●授業概要：　様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自律的職業人を目指す。
●目　的：　社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。
●到達目標：　役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

①絵本や紙芝居について学ぶ。（外部講師）
②読み聞かせや紙芝居を練習する。
③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
④学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

●テーマ：　紙芝居ボランティアを通した社会貢献
●内　容：　寝屋川市の子供たちが抱える課題を解決するための紙芝居を作成し小学校で上演活動をする。
寝屋川市内の小学校を訪問し、課題の聞き取り調査や紙芝居の読み聞かせ活動を実施する。
●方　法：　（毎週1回ミーティング、および適宜、小学校での読み聞かせ活動）
１．昨年度からの紙芝居の読み聞かせ活動を継続させる。
２．昨年度からの紙芝居を広めるための営業活動をする。
３．新規紙芝居の作製にむけ、調査、企画、作成、営業などを行う。
４．自らの活動振り返りを行い、改善する。
５．仮想企業を立ち上げ、見積書などを外部団体に評価いただくことで、本活動の社会的価値を計る。
他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度合（５０％）、役割遂行度合（３０％）、報告書（２０％）による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次（2010）『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

●活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。
●絵本や紙芝居について（構成、読み聞かせなど）、専門的な知識を身につけることができるため、表現力（プレゼン能力）の向上が期待される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「身近な犯罪から自分、家族、まちを守る」
No Name

中　沼　丈　晃（ナカヌマ　タケアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私は、地域における防犯を研究し、自分自身も、研究室の学生とともに、青パト（青色回転灯をつけた自主防犯パトロールカー）で毎日、子どもの見守り活動を行っている。そうした研究者として、普段一番接する学生に、犯罪の実態を知ってもらい、少しの注意と手間で犯罪から身を守れることをわかってほしくて、この講義を開講することとした。加えて、それほど気負わなくても、防犯ボランティアとして社会貢献できる方法があることも紹介したいと考えている。

授業方法と留意点

とにかく実際の事件を取り上げて、加害者の視点、被害者の視野、発生した場所・時間の特徴、警察や行政、学校、ボランティアの動きを具体的に説明する。そして、いま推奨されている防犯対策を紹介する。警察の防犯実務者や、活躍する防犯ボランティア団体の世話役の方をお招きしたインタビュー講義も交えていく。

科目学習の効果（資格）

各自が自分で、家庭で防犯対策をして、犯罪から身を守れるようになってもらうのが第一である。防犯ボランティア参加の動

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　285　2014/08/21　14:24:58

機づけにもなるだろう。職業では、当然、警察官の仕事の視点がわかる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　昨年起きた犯罪はどのような特徴があったのか？

【内容・方法　等】　昨年起きた具体的な犯罪例を取り上げて、どのような人・物が、どういう理由でねらわれているのか探る。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第２回　**【授業テーマ】**　犯罪にはどのような種類があり、どうやって数えるのか？

【内容・方法　等】　刑法上は同じ窃盗でも、ひったくり、自転車盗、車上ねらいなどさまざまな手口がある。１件の窃盗でも、起きた数、警察に届けられた数、検挙された数がある。こうした手口の分け方や数の数え方を説明する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第３回　**【授業テーマ】**　犯罪はなぜ起こるのか？どうやって減らすのか？

【内容・方法　等】　悪い人がいるから犯罪が起こるのか、すきがある人がいるから犯罪が起こるのか、犯罪が起きやすい場所・時間があるから犯罪が起こるのか、それぞれの理屈を確かめてみる。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第４回　**【授業テーマ】**　大阪の治安はどのくらい悪いのか？どのように防犯対策を進めているのか？

【内容・方法　等】　大阪府は、他の都道府県に比べてどのような犯罪が多いのか、人口の多さを考慮するとどうなのか説明する。「オール大阪」で街頭犯罪ワースト１を返上する取り組みを紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第５回　**【授業テーマ】**　街頭犯罪－－ひったくり、自転車盗、車上・部品ねらいを中心に

【内容・方法　等】　一番身近な街頭犯罪について、どういう人・物が、どういった状況でねらわれているのか、どういう人が犯罪を行っているのか説明する。ついで、ひったくり防止カバー、シリンダー錠などの防犯対策の効果について紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第６回　**【授業テーマ】**　住宅への空き巣、忍び込み、居空き

【内容・方法　等】　泥棒は、空き巣に入る家をどのように物色し、どうやって侵入し、何を盗んでいくのか解説する。最近の防犯住宅、防犯マンションの取り組みを紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第７回　**【授業テーマ】**　性犯罪－－街頭での強制わいせつ、痴漢、公然わいせつ

【内容・方法　等】　大阪府は性犯罪が深刻な自治体である。犯罪者は、どんな人・場所をねらって性犯罪に及ぶのか説明する。女性の学生が今日からすべき防犯対策を紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第８回　**【授業テーマ】**　子どもをねらった犯罪

【内容・方法　等】　子どもに対する犯罪について、過去に大きな社会問題になった殺傷事件から、日常的に起きているわいせつ、声かけ、つきまといまで、実態を具体的に説明する。そして、子どもの安全を守るために各地で行われている取り組みを紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第９回　**【授業テーマ】**　ストーカー、DV（配偶者からの暴力）

【内容・方法　等】　ストーカーやDVは、個人間の問題に関わるので、対応の判断が難しい。しかし、大きな事件につながれば、対応の遅さ、まずさが批判されやすい。過去の事件の経緯を紹介して、深刻な問題への展開を防ぐために現在行われている対策を説明する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第10回　**【授業テーマ】**　詐欺－－高齢者をねらった振り込め、オレオレ、リフォーム詐欺など

【内容・方法　等】　昨年、急激に増え、手口が次々と変わる高齢者をねらった詐欺を取り上げる。背景にどのような組織があるのか、どうして防犯が難しいのか、実例に即して説明する。若い私たちにできる協力も紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第11回　**【授業テーマ】**　サイバー犯罪－－子どもや学生が巻き込まれるネット犯罪

【内容・方法　等】　子どもが巻き込まれる出会い系サイトやネットゲームでのなりすまし、大学生も被害を受けている偽サイトでのショッピング詐欺、ネットバンクでのID、パスワード盗難など、身近なサイバー犯罪を取り上げる。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第12回　**【授業テーマ】**　違法ドラッグの実態と対策

【内容・方法　等】　違法ドラッグについて、その危険性、販売の実態、取締の方法を紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第13回　**【授業テーマ】**　防犯カメラの普及と効果

【内容・方法　等】　急速に普及した防犯カメラについて、普及の背景と経緯、技術の進歩、個人情報・プライバシーとの関係、防犯効果の考え方を説明する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第14回　**【授業テーマ】**　防犯ボランティアの活動

【内容・方法　等】　近年の犯罪対策の最大の特徴は、民間のボランティア団体の活性化である。地域での子ども見守り隊、青パト活動、学生防犯ボランティアなど、最近の各地、各世代の防犯ボランティアの活動を紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

第15回　**【授業テーマ】**　警察官の仕事の実際

【内容・方法　等】　犯罪が起きれば捜査し検挙する。犯罪が起きないように市民や企業に防犯をうながす。それを職業とする警察官の仕事の実際を紹介する。

【事前・事後学習課題】　配布した新聞記事などを読む。確認ペーパーで知識を整理する。自分、自宅、地元の防犯状況を見てみる。

評価方法（基準）

定期試験60％、講義毎回の確認ペーパー30％、受講態度（投げかける質問に対する発言など）10％で総合的に評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…講義で紹介する。

学生へのメッセージ

勉強以前に、自分、家族、まちを身近な犯罪から守るために、ぜひこの講義を受講してほしいと願っている。そして、できるところからでよいので、講義で知った防犯対策をしてもらいたい。警察官志望者には、近年、警察でも人気の仕事になりつつある防犯の実務がわかるという意味で、興味を持ってもらえると思う。

関連科目

法学部「刑事政策」「経済刑法」「少年法」

担当者の研究室等

11号館9階 中沼研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「英語での数学活用例」

No Name

戸　村　　芳（トムラ　カオル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自然科学も社会科学も言語で記述して推論します。数学も人工言語です。数学言語表記は英語と日本語の両方の特徴を備えています。このことを知り、数学嫌いからの脱出を目的とします。テキストと講義担当者の発信内容の概略を理解できることを到達目標とします。

授業方法と留意点

非native speaker of Englishの担当者の英語会話と日本語で授業します。英語会話部分については、その内容を活字にして配布または投影します。担当者と受講舎のやりとりとして、毎回提出物（非テスト）を書いてもらい次週には朱筆でひとりひとりに応答します。この返却物も保管しておいて定期試験で持参参照してください。

科目学習の効果（資格）

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　286　2014/08/21　14:24:59

文理両方の多くの資格の活用で効果があると信じます。資格を伴わない、これからの（国際的）社会活動で、大学以前の数学、英語学力も効果大であると実感していただけると存じます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 言語（英語、日本語）と数学表示
(2+3)×4　と　2↑(ニ)　3＋(タシテ)　4×(カケル)など
【内容・方法　等】 テキストp1 - p9 *l* 4
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 1 つめから 11 こめまでの問題を考えておいてください。

第２回　【授業テーマ】 数学はつじつまあわせ（指数計算の例、exp(i x）の定義など）
【内容・方法　等】 テキストp9 *l* 5 - p16 *l* 3、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p122 12 こめから p123 5 こめまでの問題を考えておいてください

第３回　【授業テーマ】 中途半端なネイピア定数eを知れば数学はこわくない
逆関数　1/x から e など
【内容・方法　等】 テキストp16 *l* 4 - p25、pp110,118
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 こめから p124 4 つめまでの問題を考えておいてください

第４回　【授業テーマ】 統計、確率、感性（心理学）、電子雲グラフ、など
【内容・方法　等】 テキストp26 - p36 *l* 17
【事前・事後学習課題】 Appendix p124 5 つめから 126 1 つめまでの問題を考えておいてください

第５回　【授業テーマ】 測れない母集団平均の信頼区間推定
【内容・方法　等】 テキストp36 *l* 18 - p40 *l* 9
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 2 つめから 7 つめの問題を考えておいてください

第６回　【授業テーマ】 分子、DNA、モールス信号のシステムなどのエントロピという概念
【内容・方法　等】 テキストp40 *l* 10-p54
【事前・事後学習課題】 Appendix p126 8 つめから p129 3 つめまでの問題を考えておいてください

第７回　【授業テーマ】 つるかめ算の延長でpH計算など
【内容・方法　等】 テキストp55-p64 *l* 10
【事前・事後学習課題】 Appendix p129 4 つめから p130 8 つめめでの問題を考えておいてください

第８回　【授業テーマ】 1700年ごろの日本人の業績　行列計算で直接測定できないKaの推定、混成軌道の作成で分子の説明
【内容・方法　等】 テキストp64 *l* 11 - p69
【事前・事後学習課題】 Appendix p130 9 つめから p131 7 つめまでの問題を考えておいてください

第９回　【授業テーマ】 人体の数学モデル　pH分配説、あてはめ式の有意確率など
【内容・方法　等】 テキストp70 - p84
【事前・事後学習課題】 Appendix p131 8 つめから p133 5 つめまでの問題を考えておいてください

第10回　【授業テーマ】 みえない化学反応説明の数学モデル
【内容・方法　等】 テキストp85 - p91 *l* 15
【事前・事後学習課題】 Appendix p123 6 つめから p134 7 つめまでの問題を考えておいてください

第11回　【授業テーマ】 測定値のグラフでの表示（直線表示）、物質収支式で人体モデル
【内容・方法　等】 テキストp91 *l* 16 - p98
【事前・事後学習課題】 Appendix p134 8 つめから p135 9 つめまでの問題を考えておいてください

第12回　【授業テーマ】 現象（反応速度）記述の連立微分方程式の近似解法（解の先取り）
【内容・方法　等】 テキストp99 - p106
【事前・事後学習課題】 Appendix p135 10 こめから p136 6 つめまでの問題を考えておいてください

第13回　【授業テーマ】 量子化学Shoredinger微分方程式のラプラス変換による簡単な代数的な解法の紹介
【内容・方法　等】 テキストp107 - p112 *l* 1
【事前・事後学習課題】 Appendix p136 7 つめから p137 8 つめまでの問題を考えておいてください

第14回　【授業テーマ】 人体モデル（コンパートメントモデル）での薬物投与に対する血中薬物濃度変化の推定のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介
【内容・方法　等】 テキストp112 *l* 2 - p116 *l* 1
【事前・事後学習課題】 Appendix p137 9 つめから p138 4 つめまでの問題を考えておいてください

第15回　【授業テーマ】 拡散のノイエスホイットニー式、点滴投与での血中濃度変化のラプラス変換での簡単な代数的解法の紹介
(a+b)2=a2+2ab+b2 knows best の種明かし
【内容・方法　等】 テキストp116 *l* 2 - p121
【事前・事後学習課題】 Appendix p138 5つめ以降の問題を考えておいてください

評価方法（基準）

毎回の提出物の評価点合計を70点満点、テキストと返却された自分の提出物参照許可の定期試験を30点満点として、合計60点以上を合格とします。定期試験不受験は成績評価できません。

教材等

教科書…Mathematical models & Pharmaceutical Sciences
(a+b)2=a2+2ab+b2 knows best,
Kaoru Tomura,PhD. in Eng.(Osaka Univ.),戸村芳単著
Industrial Publishing & Consulting Inc.,
ISBN 978-4-901493-62-8 (-13-0), ￥1200

参考書…指定はありませんが、配布プリントも活用してください。

学生へのメッセージ

これまでに修得なさった、数学、英語については、生理的に嫌悪なさる方もいるかと思います。これらを違った観点から眺めて数学、英語は大切であることを感じてください。私は英語の専門ではありません。お詫びします。しかし、義務教育の英語だけで多くの方々が英語で発言しています。私もできます。みなさんもできます。良い意味で（大学らしい）楽しい授業にしたく存じます。よろしくお願いします。

関連科目

あつかう分野は「物理化学」関連が多いですが、感性心理学などの関連も紹介します。

担当者の研究室等

枚方学舎　1号館2階　phone:072-866-3152
tomura@pharm.setsunan.ac.jp

備考

授業方法と留意点に記載した提出・返却物による、やりとり、を大切にします。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「芸術の鑑賞」

No Name

太　田　義　器（オオタ　ヨシキ）
樋　口　友　紀（ヒグチ　ユキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】

音楽、絵画、彫刻、陶芸、詩歌。芸術と一言で言っても、その範囲は広い。「芸術とは何か」と大上段から議論をするのではなく、芸術に親しむことを目指して、さまざまな芸術ジャンルの鑑賞の仕方をそれぞれのジャンルのプロに教えてもらい、また実際に、クラシック音楽、絵画、陶芸、日本の伝統芸能、演劇、書道などの演奏会や展覧会などに行って鑑賞してもらう。

これまで芸術鑑賞に関心はあったけれども経験はないという人でも、芸術鑑賞を始められるように、芸術の楽しみ方について、初級レベルから説明します。たとえば、演奏会のチケットはどこで手に入れればいいのか、行くときの服装はどうしたらいいのか、など経験のない人が感じる不安や疑問など、あるいはそれぞれの芸術ジャンルの楽しみ方のポイントは何なのか、などについてわかりやすくお話いただきます。

教室での授業は８回、鑑賞は3回。

【目的】

芸術の鑑賞を通じた人間性の陶冶

【到達目標】

芸術を鑑賞できるようになる

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A]，理工学部［II］

授業方法と留意点

授業の曜日時限は決まっていますが、どの日に何が取り上げられるかは、未定です。詳細については、前期中に発表します。

鑑賞に行く際にかかる費用については、履修生の自己負担になります。(無料の音楽会等についての情報提供をする予定です。)

科目学習の効果（資格）

芸術を鑑賞し、人間性の涵養につながる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 この授業の進め方、スケジュール、評価方法についての説明
【事前・事後学習課題】 【事後学習】「これまでの芸術鑑賞経験」をまとめて提出してもらいます。

第２回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(1)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。

第３回　【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(2)
【内容・方法　等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明しま

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　287　2014/08/21　14:24:59

す。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第４回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(3)
【内容・方法 等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第５回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(4)
【内容・方法 等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第６回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(5)
【内容・方法 等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第７回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(6)
【内容・方法 等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第８回 【授業テーマ】 専門家が教える芸術鑑賞(7)
【内容・方法 等】 音楽、絵画、彫刻、陶芸、書道、日本の伝統芸能などの専門家が、毎回交代で、その芸術の楽しみ方がどのようなものか、初級者ににもわかるように説明します。
具体的な分野と授業日は、前期中に発表します。
【事前・事後学習課題】 それぞれの専門家が指定する内容の事前事後学習があります。
詳細は、第一回目の授業で発表します。
第９回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験①
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第10回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験①
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第11回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験②
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第12回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験②
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第13回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験③
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 【事後学習】2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第14回 【授業テーマ】 芸術鑑賞体験③
【内容・方法 等】 2014年内に3回、音楽会や展覧会などに実際に出かけて、芸術鑑賞体験をしてください。
鑑賞に行く日は、2014年度後期授業期間内の12月まで、いつでもかまいません。
鑑賞に行ったことがわかるように、パンフレットや写真などをレポートに添付してもらいます。
【事前・事後学習課題】 2014年内に芸術鑑賞レポートを３回分提出してください
第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 この授業を通して学んだことについて情報交換をします。
【事前・事後学習課題】 【事前学習】「芸術鑑賞を体験して」というテーマで、授業全体の振り返りを報告してまらいますので、その準備をしてきてください。

評価方法（基準）
鑑賞には3回行ってもらいます。
レポート(100%)で評価します。

教材等
教科書…特になし
参考書…特になし

学生へのメッセージ
2014年度から始まる新しい授業です。
ぜひ楽しみに来てください。

関連科目
特になし

担当者の研究室等
太田(7号館4階)
樋口(11号館7階)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「チームビルディング」
No Name

水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
成熟社会においては個人の力を集合させてプロジェクトを作り上げる「チームビルディングの思考や技術」を学ぶことが重要です。
本科目はチームビルディングの理論を学び、様々なアクティビティを通してチームに貢献する方法を考えられるようになるための授業です。
２回生以降に摂南大学PBLプロジェクトを履修する際にも役立ちます。

授業方法と留意点
講義は受講生によるアクティビティ・プレゼンテーション・シミュレーションソフトを活用したワークなどを織り交ぜて進めます。

科目学習の効果（資格）
チームで物事を進める際の基礎知識が身につきます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の進め方
・なぜチームが必要なのかを知る
・チームビルディングとは何か　を理解する
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを精読してください
第２回 【授業テーマ】 チームビルディングとは何か
【内容・方法 等】 ・第一回チーム分けとアクティビティ
・チームビルディングの理論を学ぶ
・チームビルディングのための技術を知る
【事前・事後学習課題】 チームにどのように貢献できるかを考えてください
第３回 【授業テーマ】 チームビルディング体験
【内容・方法 等】 ・ペーパータワーワーク（予定）
・チームの10カ条
などに取り組み、チームビルディングを体験する
【事前・事後学習課題】 チームでの取り組みを振り返ってください

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 288 2014/08/21 14:24:59

第４回　【授業テーマ】　シミュレーションソフトを活用したディスカッション①
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください
第５回　【授業テーマ】　シミュレーションソフトを活用したディスカッション②
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください
第６回　【授業テーマ】　シミュレーションソフトを活用したディスカッション③
【内容・方法　等】　シミュレーションソフトを活用して情報の読み取りと活用、合意形成を学ぶ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読してください
第７回　【授業テーマ】　ビジネス記事を活用したディスカッション①
【内容・方法　等】　記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】　チームでのディスカッションを振り返ってください
第８回　【授業テーマ】　ビジネス記事を活用したディスカッション②
【内容・方法　等】　記事を活用して情報の読み取りと活用、自分ならどうするかを考える
【事前・事後学習課題】　チームでのディスカッションを振り返ってください
第９回　【授業テーマ】　チームでプロジェクトを企画する
【内容・方法　等】　・第二回チーム分けとアクティビティ
・チームでプロジェクトを企画する
【事前・事後学習課題】　チームにどのように貢献できるかを考えてください
第10回　【授業テーマ】　摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法　等】　本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】　興味を持ったプロジェクトについて調べてください
第11回　【授業テーマ】　摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【内容・方法　等】　本学で開講されている摂南大学PBLプロジェクトの紹介
【事前・事後学習課題】　興味を持ったプロジェクトについて調べてください
第12回　【授業テーマ】　工程管理を意識したチームビルディング
【内容・方法　等】　ビジネスゲームを題材にリソースとコスト、工程管理を意識したワークに取り組む
【事前・事後学習課題】　工程管理に関して調べて下さい
第13回　【授業テーマ】　プロジェクトのプレゼンテーション
【内容・方法　等】　第9回目の課題の報告プレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　プレゼンテーションの際に留意することを考えて下さい
第14回　【授業テーマ】　チーム力を上げる
【内容・方法　等】　・メンバーの力でチーム全体の力を上げる方法を考える
【事前・事後学習課題】　講義後日常生活で活かせそうな箇所を実践してください
第15回　【授業テーマ】　講義のまとめと振り返り
【内容・方法　等】　講義のおさらいと振り返りを行う
【事前・事後学習課題】　提出物などの出し忘れがないか確認してください

評価方法（基準）
チームでの提出物３０％、ワーク後の振り返りシート２０％、授業態度２０％、最終レポート３０％　で総合的に評価します。

教材等
教科書…教科書・・講義の中で必要に応じてレジュメを配布します。
参考書…参考書・・授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
ワークやアクティビティが中心となる授業です。主体性を持って講義に挑んでください。

関連科目
キャリアデザインⅠ・Ⅱ、摂南大学PBLプロジェクト

担当者の研究室等
7号館3階　キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ基礎」
No Name

伊　藤　　譲（イトウ　ユズル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
これから就職活動を始める学生（大学３年）を対象に、社会人として必要とされる規律やマナー、製造業など企業で働く上での基礎知識、課題を発見して解決する方法などを習得することを目的とする。履修後には、社会人・企業人としての役割および責任、仕事への情熱、創造的態度、自己の能力向上意欲が喚起されることを期待する。到達目標は、次のとおりである。
(1)社会人としてのマナーを身につける。(2)仕事の基本に関する知識を修得する。(3)環境問題/意識についての体験をする。(4)企業における品質問題を体験する。(5)原価管理の基礎知識を修得する。(6)PDCAサイクルによる課題解決を体験する。

授業方法と留意点
パナソニック（株）より講師を招き、社会人・企業人としての基礎である知識と心がまえについて、パナソニック（株）の新入社員研修の方式に従い、講義に加えて具体事例演習を通じて体得させる。摂大教員も教室に常駐し、授業の補助と成績評価を分担する。授業は挨拶に始まり、挨拶で終わるので遅刻は厳禁です。なお、1～5回目までは120分授業（途中5分程度の休憩）とする。

科目学習の効果（資格）
社会が学生に何を求めているのかを体得し、職業意識を高め、自発的に能力向上を行えるようになる。就職後ただちに、社会人・企業人としての適切な行動が取れるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　企業・製造業・仕事の基本とは①
4月10日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　企業・製造業・仕事に基本①の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
第２回　【授業テーマ】　企業・製造業・仕事の基本とは②
4月17日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　----
第３回　【授業テーマ】　企業・製造業・仕事の基本とは③
4月24日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　企業・製造業・仕事の基本②～③の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
第４回　【授業テーマ】　企業・製造業・仕事の基本とは④
5月8日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　----
第５回　【授業テーマ】　企業・製造業・仕事の基本とは⑤
5月15日（木）
【内容・方法　等】　社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　企業・製造業・仕事の基本④～⑤の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
第６回　【授業テーマ】　品質教育①
5月22日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】　----
第７回　【授業テーマ】　品質教育②
5月29日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】　----
第８回　【授業テーマ】　品質教育③
6月5日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からＱＣ7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する（座学と実習）
【事前・事後学習課題】　品質教育①～③の講義終了後、レポートを提出する（書式は別途）
第９回　【授業テーマ】　原価・コスト教育①
6月12日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　----
第10回　【授業テーマ】　原価・コスト教育②
6月19日（木）
【内容・方法　等】　企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】　----

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　289　2014/08/21　14:24:59

第11回 **【授業テーマ】** 原価・コスト教育③
6月26日（木）
【内容・方法　等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する
【事前・事後学習課題】 原価・コスト教育①～③の講義終了後、レポートを提出する（書式は別途）

第12回 **【授業テーマ】** 課題解決教育①
7月3日（木）
【内容・方法　等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 -----

第13回 **【授業テーマ】** 課題解決教育②
7月10日（木）
【内容・方法　等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 -----

第14回 **【授業テーマ】** 課題解決教育③
7月17日（木）
【内容・方法　等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する
【事前・事後学習課題】 課題解決教育①～③の講義終了後、レポートを提出のこと（書式は別途）
また、14回目までの講義を総括して、最終回での質問事項を考えておくこと

第15回 **【授業テーマ】** 全体討議・質疑応答
7月24日（木）
【内容・方法　等】 14回の講義を総括しての討議・質疑応答を実施する
【事前・事後学習課題】 最終報告として受講レポートを提出する。

評価方法（基準）
課題レポート（6回）と受講レポート50％、授業姿勢（積極性）20％、全体討議（プレゼンテーション）10％、期末試験20％とした総合評価を行う。

教材等
教科書…資料を配布する.
参考書…なし

学生へのメッセージ
日本を代表する企業であるパナソニック（株）と共同で実施する研修を受講して、社会と企業は学生に何を求めているのかを知り、職業人としての基礎知識を身につけ、社会人になるための意識転換をしましょう。この科目を履修する学生は、この科目と「ものづくりインターンシップ実践」または「ものづくり海外インターンシップ」を同時に受講することが前提です。

関連科目
『ものづくりインターンシップ実践』または『ものづくり海外インターンシップ』を履修する学生は、必ずこの科目を履修すること。

担当者の研究室等
1号館3階　伊藤教授室

備考
【担当者】
摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師
パナソニック講師：佐藤哲志、山下秀行、福田祥一、高岡清

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくりインターンシップ実践」
No Name

伊　藤　　譲（イトウ　ユズル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
『ものづくりインターンシップ基礎』の実践コースである。『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容をパナソニックのモノづくり現場で具体実習・実践することにより、更なる理解を進め、習得して自らの強みとすることを目的とする。
到達目標は以下のとおりである。
(1)生産革新・改善を体験する。(2)製造業の成り立ち・仕組みを体験する。(3)チームワーク・ＱＣＤ問題を体験する。(4)パナソニックの工場を見学する。(5)研修成果を発表する。

授業方法と留意点
『ものづくりインターンシップ基礎』で学んだ内容を体験するため、パナソニック（株）人材開発カンパニーで、計７日間の宿泊実習を行なう。また、事前指導として『ものづくりインターンシップ基礎』のまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかるためにプレゼンテーションによる報告を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
直前指導
・1回目　インターンシップⅠのまとめ，インターンシップⅡの準備　7/10（木）　6限目
・2回目　インターンシップⅠ全体討議プレゼンテーション指導　7/17（木）　6限目
宿泊実習（パナソニック人材開発カンパニー）
・1～3日目
【授業テーマ】
生産革新演習
【内容・方法等】
1個流しセル生産のロールプレイを通じて、生産革新実践・方法等を体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習課題】
演習終了後、レポートを提出のこと
・4～5日目
【授業テーマ】
モノづくりシュミレーション演習
【内容・方法等】
四角錐製作を通じて、製造業の成り立ち・しくみを習得（設計～生産）し、目標達成のためのチームワーク・QCD問題意識の重要性を体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習】
演習終了後、レポートを提出のこと
・6日目
【授業テーマ】
工場見学
【内容・方法等】
パナソニックのモノづくりを工場見学を通じて体得する。(2工場)
【事前・事後学習課題】
見学終了後、レポートを提出のこと
・7日目
【授業テーマ】
研修成果報告会
【内容・方法等】
研修成果報告会の実施。（グループ単位）
【事前・事後学習課題】
グループ単位でプレゼン資料をまとめておくこと
実習中指導
・8月30日（土）　2～5限目　プレゼンテーション指導
実習後指導
・1回目　体験報告書の添削指導
・2回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・3回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・4回目　研修成果報告会（2回目）
・5回目　全体報告会　学生代表者の発表・質疑
・6回目　全体報告会　企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準
実習成果40%、研修成果報告会（2回）20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行なう。

教材等
教科書…資料を配布する
参考書…なし

備考
【注意事項】
期間：2014年 8月25日（月）～8月29日（金）、9月1日（月）～9月2日（火）　パナソニック（株）人材開発カンパニーでの宿泊研修です。8月30日（土）には摂大でプレゼン資料を作成します。その間、パナソニック㈱社員の、朝礼、ランニングにも参加します。ジーンズ、スリッパは禁止。ランニングできる履物、着替えが必要です。学生負担金・食費等は別途徴収します。
【担当者】
摂南大学：榊講師、白鳥講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野教授、田中講師
パナソニック講師：佐藤哲志、高岡清、熊本義久

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ものづくり海外インターンシップ」
No Name

川　野　常　夫（カワノ　ツネオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
日本の企業がますますグローバル化する中で、国際的視野と素養を身に付けた人材はますます必要となる。本科目は，「ものづくり海外インターンシップ」と呼び，世界展開をしている「ものづくり企業」の海外工場において具体的に実習体験をすることにより、グローバル企業の現状を理解するとともに、自らの視野と経験を広げることを目的とする。研修先はとりわけ東南

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　290　2014/08/21　14:24:59

アジアの企業とする。到達目標は以下のとおりである。(1)グローバル企業の現状が理解できる。(2)海外でのものづくりの工程を体験できる。(3)チームワークを体験できる。(4)国際的視野を広げられる。(5)研修成果が発表できる。
学科の学習・教育目標との対応：[A1]

授業方法と留意点

東南アジアは，フィリピンとタイを予定している。受講者はいずれかを選択し，どちらかの企業において、本学の夏休み中に往復を含めて計１０日間（予定）の現場実習を行う。事前指導として実施企業や語学（英語）について予習を行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。「ものづくり企業」での研修であるが、専門知識は特に必要としないので、参加学生は専門分野も，文系・理系も問わない。また男女も問わない。実習先の受け入れ人数に制限があるため，希望者多数の場合は理工学部インターンシップ委員会において選定する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

直前指導
・1回目　海外実習の準備　7/10（木）　6限目
・2回目　全体報告会に向けたプレゼンテーション指導　7/17（木）　6限目
・3回目　海外で実習するための事前指導
海外実習
・1～2日目
【授業テーマ】移動、オリエンテーション
【内容・方法等】研修先企業の概要、オリエンテーション、語学（英語）研修など
【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと
・3日目
【授業テーマ】企画・設計部門実習
【内容・方法等】ものづくり工程の川上である企画・設計部門において、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習】実習終了後、レポートを提出のこと
・4～5日目
【授業テーマ】工場見学会、交流会
【内容・方法等】関連工場の見学、現地従業員との交流会に参加する。交流会では、英語によるコミュニケーションを行う。
【事前・事後学習課題】交流会終了後、レポートを提出のこと
・6～8日目
【授業テーマ】加工部門、組立部門、検査・品質管理・出荷部門実習
【内容・方法等】ものづくり工程の中流、下流である製造、組立、検査部門について、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）
【事前・事後学習課題】実習終了後、レポートを提出のこと
・9～10日目
【授業テーマ】研修成果報告会、移動
【内容・方法等】グループ単位でPPTでプレゼン
【事前・事後学習課題】実習終了後、最終レポートを提出のこと
実習後指導
・1回目　最終レポート（体験報告書）の添削指導
・2回目　研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
・3回目　全体報告会　学生代表者の発表・質疑
・4回目　全体報告会　企業管理者の講演と講評

評価方法・評価基準

実習成果40%、研修成果報告会（2回）20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%として評価を行う。

教材等

教科書…必要時にプリント等を配布する。
参考書…内永ゆか子：日本企業が欲しがる「グロ-バル人材」の必須スキル，朝日新聞出版 (2011/9/7)

備考

【注意事項】研修予定期間：2014年 8月中旬（研修先の都合により変更する場合があります。）
航空運賃、宿泊費、保険代などは自己負担となります。
【共同担当者】　白鳥講師

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd　291　2014/08/21　14:24:59

235-292_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-04_教養科目.indd 292 2014/08/21 14:24:59

職業指導I
Vocational Guidance I

水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。
講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。
尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

商業科における職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容･方法　等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理
【事前･事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読

第２回　【授業テーマ】 職業指導の基礎理論
【内容･方法　等】 職業指導における基本的な考え方、手法
【事前･事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読

第３回　【授業テーマ】 職業指導の歴史①
【内容･方法　等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る
【事前･事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読

第４回　【授業テーマ】 日本の産業構造の変化
【内容･方法　等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る
【事前･事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読

第５回　【授業テーマ】 職業指導の歴史②
【内容･方法　等】 日本の戦後の教育改革について
【事前･事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読

第６回　【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導
【内容･方法　等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり
【事前･事後学習課題】 日本型雇用の見通しについて考える

第７回　【授業テーマ】 新規高卒就職システム
【内容･方法　等】 新規高卒労働市場の変容と現状
【事前･事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読

第８回　【授業テーマ】 高等学校における職業指導
【内容･方法　等】 各種学校における職業指導の在り方について
【事前･事後学習課題】 職業指導の事例を調査

第９回　【授業テーマ】 「労働すること」を考える
【内容･方法　等】 仕事をすることの意義を考える
【事前･事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようにする

第10回　【授業テーマ】 職業指導の領域
【内容･方法　等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える
【事前･事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読

第11回　【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①
【内容･方法　等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前･事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読

第12回　【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②
【内容･方法　等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前･事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読

第13回　【授業テーマ】 授業内容立案
【内容･方法　等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する
【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備をする

第14回　【授業テーマ】 模擬授業
【内容･方法　等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施
【事前･事後学習課題】 模擬授業の準備をする

第15回　【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容･方法　等】 講義の振り返り、最終レポートの提出
【事前･事後学習課題】 レポート提出の準備

評価方法（基準）

講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。
また、前期最終時にレポートを実施します。

教材等

教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。
参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）
ほか、授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

関連科目

教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。
また「特別活動論」にも近接します。

担当者の研究室等

7号館3階（キャリア教育推進室）

職業指導II
Vocational Guidance II

水　野　　武（ミズノ タケシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化とそれが職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。
講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。
尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

商業科における職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容･方法　等】 授業概要の説明
【事前･事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読

第２回　【授業テーマ】 商業教育と職業指導
【内容･方法　等】 商業高校における職業指導の事例を知る
【事前･事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読

第３回　【授業テーマ】 工業教育と職業指導
【内容･方法　等】 工業高校における職業指導の事例を知る
【事前･事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読

第４回　【授業テーマ】 人権教育としての職業指導
【内容･方法　等】 職業指導の国際基準
【事前･事後学習課題】 提示する資料を熟読

第５回　【授業テーマ】 フリータートニートについて
【内容･方法　等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニート対策を考える
【事前･事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備

第６回　【授業テーマ】 職業適性とは何か？
【内容･方法　等】 職業適性について知る
【事前･事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える

第７回　【授業テーマ】 高校生の就業力について
【内容･方法　等】 新規高卒者に求められる基本的な能力
【事前･事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える

第８回　【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①
【内容･方法　等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前･事後学習課題】 配布資料を精読

第９回　【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②
【内容･方法　等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前･事後学習課題】 配布資料を精読

第10回　【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①
【内容･方法　等】 高校生の就業力育成のためのプランを考える
【事前･事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　295　　2014/08/21　14:25:11

すること
第11回　【授業テーマ】　就業力向上企画を立案②
【内容・方法　等】　講義10で考えたプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】　発表の準備
第12回　【授業テーマ】　未来の働き方を考える
【内容・方法　等】　日本の課題、それにより想像される未来においての働き方を考える
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読
第13回　【授業テーマ】　キャリアカウンセリング理論①
【内容・方法　等】　自己概念・環境との相互作用・学習理論からのアプローチ
【事前・事後学習課題】　配布資料を精読
第14回　【授業テーマ】　キャリアカウンセリング理論②
【内容・方法　等】　カウンセリングマインドについて
【事前・事後学習課題】　配布資料を熟読
第15回　【授業テーマ】　講義の振り返り
【内容・方法　等】　提出物の確認、授業内容に関する質疑応答
【事前・事後学習課題】　自らの労働観について考える

評価方法（基準）
レポートを実施します。その他、授業への積極的参加、その他課題の提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。

教材等
教科書…講義内で都度レジュメを配布致します。
参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』学文社（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）
ほか、授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

関連科目
教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。「特別活動論」にも近接します。

担当者の研究室等
7号館3階（キャリア教育推進室）

教師論
Teacher Education

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

授業方法と留意点
講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教職の意義等に関する科目
各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）・進路選択に資する各種の機会の提供等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
教職への道
【内容・方法　等】　科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり
教職課程の履修動機
教師になることの意味
【事前・事後学習課題】　「未来ポートフォリオのリマインダ設定」
本科目のシラバスの熟読
第２回　【授業テーマ】　教職の成立とその意義
【内容・方法　等】　公教育の成立
教職の誕生
戦前の教員養成
【事前・事後学習課題】　テキスト第１章
第３回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（１）
【内容・方法　等】　教員への道
戦後教員養成の原則と制度
教員免許制度の確立
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章
第４回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（２）
【内容・方法　等】　教員免許制度の新たな展開
教員採用の動向と採用試験
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章・第１２章
第５回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（３）
【内容・方法　等】　教員の研修の意義
教員の研修の種類と体系
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章
第６回　【授業テーマ】　教師教育と教職の専門性（４）
【内容・方法　等】　法定研修
教員の自己研修
【事前・事後学習課題】　教員研修体系に関する配布資料
テキスト第１１章
第７回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（１）
【内容・方法　等】　戦前・戦後の教師像
憧れの教師
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章・終章
第８回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（２）
【内容・方法　等】　「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「不良教師」に関する配布資料
第９回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（３）
【内容・方法　等】　「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「熱血教師」に関する配布資料
第10回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（４）
【内容・方法　等】　「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「人間教師」に関する配布資料
第11回　【授業テーマ】　さまざまな教師像（５）
【内容・方法　等】　「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】　「プロ教師」に関する配布資料
第12回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（１）
【内容・方法　等】　教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】　テキスト第５章・第８章
第13回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（２）
【内容・方法　等】　学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料
第14回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（３）
【内容・方法　等】　教員の任用と身分
教員の服務と身分保障
教員の勤務条件
【事前・事後学習課題】　教員の任用・服務等に関する配布資料
第15回　【授業テーマ】　教員の役割・職務（４）
【内容・方法　等】　教員のメンタルヘルス、バーンアウト
教育改革と教員
【事前・事後学習課題】　テキスト第９章

評価方法（基準）
定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等
教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版　教職論』学文社（1,600円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることになります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　296　2014/08/21　14:25:12

教育原理
Educational Principles

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達は誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によってのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性と可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

授業方法と留意点

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

科目学習の効果（資格）

（1）高等学校教諭１種免許状　（2）中学校教諭１種免許状の取得　（3）学芸員資格の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　教育とは何かを考える

【内容・方法　等】　（1）オリエンテーション－教職課程と履修動機－　（2）教育の意味－自らの経験に学ぶ－　（3）「学ぶ」立場から「教える」立場へ

【事前・事後学習課題】　予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。

第２回　**【授業テーマ】**　人間形成のしくみを考える

【内容・方法　等】　（1）教育の必要性と可能性　（2）野生児の記録

【事前・事後学習課題】　予習：もし教育を受けることがなかったなら、どのようになるかについて考え、まとめておく。

第３回　**【授業テーマ】**　人間形成のしくみを考える

【内容・方法　等】　（1）教育・教化・形成　（2）人間形成と発達課題　（3）からだと心の教育　（4）ことばと文化の学習

【事前・事後学習課題】　予習：現代の発達課題について考え、まとめる。

第４回　**【授業テーマ】**　わが国における教育としつけを考える

【内容・方法　等】　（1）子どもの社会化　（2）しつけと教育

【事前・事後学習課題】　予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。

第５回　**【授業テーマ】**　教育の思想－教育はどう考えられてきたか－（1）

【内容・方法　等】　ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。

【事前・事後学習課題】　予習：教科書「教育の思想－教育はどう考えられてきたか－」を読んでおく。

第６回　**【授業テーマ】**　教育の思想－教育はどう考えられてきたか－（2）

【内容・方法　等】　ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどり、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。

【事前・事後学習課題】　復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。

第７回　**【授業テーマ】**　教育の思想－わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。

【内容・方法　等】　福沢諭吉と「学問のすすめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。

【事前・事後学習課題】　復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめ提出する。

第８回　**【授業テーマ】**　教育の理念と目的について考える（1）

【内容・方法　等】　（1）「学制」と「被仰出書」　（2）教育勅語

【事前・事後学習課題】　予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。

第９回　**【授業テーマ】**　教育の理念と目的について考える（2）

【内容・方法　等】　（1）憲法の教育規定　（2）教育基本法を学ぶ－旧法・新法の比較を通して－　（3）学校教育法と教育の機会均等

【事前・事後学習課題】　予習：現行教育基本法の内容を確認する。

第10回　**【授業テーマ】**　学校の歴史的な意味と課題を考える

【内容・方法　等】　（1）学校とは何か　（2）学校の発達　（3）学校教育の展開と二つの歴史的エポック

【事前・事後学習課題】　予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。

第11回　**【授業テーマ】**　教育の再生と学校改革

【内容・方法　等】　（1）教育改革の系譜　（2）自律的学校の創造　（3）「生きる力」と学力向上

【事前・事後学習課題】　予習：現代学校改革の課題についてレポートする。

第12回　**【授業テーマ】**　「教えること」と「学ぶこと」について考える

【内容・方法　等】　（1）教える・学ぶの成立条件　（2）「学ぶ力」と「生きる力」

【事前・事後学習課題】　予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。

第13回　**【授業テーマ】**　授業とは何かを考える

【内容・方法　等】　（1）授業をつくる　（2）授業と教材　（3）授業の形態と技術　（4）授業と評価　（5）教育評価の意味を考える

【事前・事後学習課題】　予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。

第14回　**【授業テーマ】**　教師のしごとについて考える

【内容・方法　等】　（1）教師のしごと　（2）子どもとの信頼関係　（3）教育公務員としての教師　（4）教師の成長と同僚

【事前・事後学習課題】　予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。

第15回　**【授業テーマ】**　討論と反省

【内容・方法　等】　討論　教育原理を学んで得た新たな知見について

【事前・事後学習課題】　復習：二年次以降の教育学学習の課題を明確にする。

評価方法（基準）

定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。

教材等

教科書…村田俊明　橋本はる美『教育探求の基礎』（税務経理協会）、2012年、2800円（本体）

参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』（福村出版）1470円
平沢茂編著『教育の方法と技術』（図書文化）2000円
小林恵『「学習指導要領」の現在』（学文社）2800円

学生へのメッセージ

①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

７号館３階(村田研究室)

教育心理学
Educational Psychology

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とし、特に、認知的な側面に焦点を当てて議論していく。具体的には、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育について考える「個に応じた教育」を中心とする。また、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」についてもふれることとする。

授業方法と留意点

講義形式で行う。

科目学習の効果（資格）

教員免許状取得上必修，免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」６単位のうち２単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　297　2014/08/21　14:25:12

び学習の過程を含む。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　発達と教育と心理学と
【内容･方法　等】　教育に対して心理学ができること、発達と教育
【事前･事後学習課題】　――――

第２回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達1
【内容･方法　等】　思考(1)……人間の思考の特徴
【事前･事後学習課題】　テキスト第8章、第9章を読む

第３回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達2
【内容･方法　等】　思考(2)……思考の発達、メタ認知
【事前･事後学習課題】　テキスト第7章の1、第8章、第9章を読む

第４回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達3
【内容･方法　等】　言語(1)……言語の機能、言語の発達
【事前･事後学習課題】　テキスト第9章の2、第11章を読む

第５回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達4
【内容･方法　等】　言語(2)……文章理解
【事前･事後学習課題】　テキスト第11章を読む

第６回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達5
【内容･方法　等】　記憶(1)……記憶のメカニズム
【事前･事後学習課題】　テキスト第4章、第5章を読む

第７回　**【授業テーマ】**　教育を支える認知発達6
【内容･方法　等】　記憶(2)……記憶の発達
【事前･事後学習課題】　テキスト第4章、第5章を読む

第８回　**【授業テーマ】**　こどもの学び1
【内容･方法　等】　様々な学習(1)……学習とは何か、古典的条件づけ
【事前･事後学習課題】　テキスト第1章を読む

第９回　**【授業テーマ】**　こどもの学び2
【内容･方法　等】　様々な学習(2)……道具的条件付け、観察学習
【事前･事後学習課題】　テキスト第1章を読む

第10回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ1
【内容･方法　等】　意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感
【事前･事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む

第11回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ2
【内容･方法　等】　さまざまな学習意欲(1)……外発的動機づけ
【事前･事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む

第12回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ3
【内容･方法　等】　さまざまな学習意欲(2)……内発的動機づけ
【事前･事後学習課題】　テキスト第2章、第3章を読む

第13回　**【授業テーマ】**　学習を支える動機づけ4
【内容･方法　等】　学習意欲を育むために ……報酬と罰、評価、目標、教師の対応
【事前･事後学習課題】　テキスト第0章の2、第2章、第3章を読む

第14回　**【授業テーマ】**　個に応じた教育1
【内容･方法　等】　個人差の理解と教育……ATI、学習方略
【事前･事後学習課題】　テキスト第0章の3，第6章を読む

第15回　**【授業テーマ】**　個に応じた教育2
【内容･方法　等】　「障害」の理解と特別支援教育
【事前･事後学習課題】　テキスト第13章を読む

評価方法（基準）

小テスト30％　期末試験70％

教材等

教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を実践～」藤田哲也（編著）　ミネルヴァ書房（2800円）

参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目

心理学

担当者の研究室等

７号館3階（吉田研究室）

教育社会学
Sociology of Education

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会学的に研究する方法学である。講義は、主に教科書の内容に沿って、基本的概念や予備知識について講述する「基礎」とデータ分析を中心に行う「応用」から構成する。教育社会学が方法学であるといっても、具体的研究対象・内容と方法とは密接に関連するものであるから、教育の人間形成作用・社会化機能を縦軸に据え、教育社会学の多様な研究対象・内容のうち、現代教育制度改革・学校改革問題、わが国の教員集団と教員問題などを取り上げ、文科省の教員統計調査データ等を拠り所に分析・検討し、教育社会学の見方と方法を学ぶ。

授業方法と留意点

教育社会学の講義は、まず教科書の内容に沿って基本的概念や予備知識について講述する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。「基礎」「応用」とも、個人あるいはグループでデータを分析し、その結果について発表する。なお、パソコンを活用してデータの検索や分析を行う。

科目学習の効果（資格）

（１）高等学校教諭１種免許状　（２）中学校教諭１種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　基礎　教育社会学とは何か
【内容･方法　等】　（１）教育社会学の課題と方法を知る
（２）教育社会学と社会化研究の意味を知る
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（１－教育社会学とは」「１４－教育社会学の技法」）を読んでくる。

第２回　**【授業テーマ】**　基礎　現代社会と学校
【内容･方法　等】　（１）学校教育の拡大と学校化の病理を考える
（２）教育の機会均等の実現-「量」から「質」への転換-
（３）社会化環境としての分節型社会の特徴を理解する
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（6－学校制度の社会学」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第３回　**【授業テーマ】**　基礎　階層・学歴・職業
【内容･方法　等】　（１）高等教育の発展段階論-ユニバーサル段階の教育課題について考える－
（２）学歴社会を考える-学校の社会化、選抜・配分、正当化機能を考える－
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（「１０－学校の社会的機能」「１１－高等教育の社会学」「１２－階層・学歴・職業」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第４回　**【授業テーマ】**　基礎　学校空間と教育的知識
【内容･方法　等】　カリキュラム・教育的知識と社会化環境としての学校空間の意味を考える
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（「７－教室空間・学校空間と教育過程」:「８－カリキュラムと教育的知識」:「９－学校の組織と文化」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第５回　**【授業テーマ】**　基礎　現代社会の変貌と教育
【内容･方法　等】　高度情報社会の教育と社会化について考える
【事前･事後学習課題】　事前課題：教科書（「３－社会化環境の構造変容」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第６回　**【授業テーマ】**　基礎　教育改革の動向と課題
【内容･方法　等】　わが国の教育改革がめざしてきたもの、世紀転換期における教育改革動向と課題について知る
【事前･事後学習課題】　事前：教科書（１３－教育改革と学習社会」）を読んで、問題点をまとめてくる。

第７回　**【授業テーマ】**　応用　教育改革の動向と課題（１）
【内容･方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-学力テストと「脱ゆとり」に焦点をあてて-
【事前･事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第８回　**【授業テーマ】**　応用　教育改革の動向と課題（２）
【内容･方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-学校教育制度の改革に焦点をあてて-
【事前･事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第９回　**【授業テーマ】**　応用　教育改革の動向と課題（３）
【内容･方法　等】　教育制度改革・学校改革について考える
-教育委員会改革に焦点をあてて-
【事前･事後学習課題】　事前課題：文部科学省のホームページなどを参照して、何が問題となっているかを調べておく。
事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第10回　**【授業テーマ】**　応用　教員問題を検証する（１）
【内容･方法　等】　（１）教員問題の系譜と現在を知る
（２）日本の教師集団を検討する-都道府県別・学校種別・年齢別・性別・職位別教員構成の分析を通して-
【事前･事後学習課題】　事後課題：配布データから、わかったことをレポートする。

第11回　**【授業テーマ】**　応用　教員問題を検証する（２）

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　298　2014/08/21　14:25:12

【内容・方法　等】　（３）求められる教師と教員養成、教員の需給関係、教員養成と教員採用を考える
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第12回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（３）
【内容・方法　等】　（４）学校改善と学校評価を考える
-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第13回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（４）
【内容・方法　等】　（５）学校評価の事例研究
-A中学校の学校教育点検・評価の実際を検討する-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第14回　【授業テーマ】　応用　教員問題を検証する（５）
【内容・方法　等】　（６）教員評価を考える
-学校管理職調査データから-
【事前・事後学習課題】　事後課題　配布データからわかったことをレポートする。
第15回　【授業テーマ】　全体検討　学校・教師をめぐる諸問題と教育社会学研究について
【内容・方法　等】　まとめ　学校・教師をめぐる諸問題の構造的関連性を理解し、残された課題を明らかにする。
【事前・事後学習課題】　事後課題　「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったこと、新たに発見した課題をレポートをまとめる。

評価方法（基準）
定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…天野郁夫、藤田英典、苅谷剛彦『改訂版　教育社会学』（放送大学教育振興会）、2010年、2200円（本体）
参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書（平成２２・２５年度）』国立印刷局、6000円
小林恵『学習指導要領の現在』（学文社）2800円
村田俊明『学校経営研究のポリフォニー』（税務経理協会）、2013年、1800円

学生へのメッセージ
文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目
「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教育実習Ⅰ」「教職実践演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等
７号館３階(村田研究室)

備考
共同担当者　橋本はる美

教育経営論
Studies of Educational Administration

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにとってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用のし方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点
プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション（LTD；Learning Through Discussion）等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。
「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育の基礎理論に関する科目
各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
公教育とは
【内容・方法　等】　授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明
公教育の成立前史
教育における「公」と「私」
【事前・事後学習課題】　「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
第２回　【授業テーマ】　教育権の構造
【内容・方法　等】　「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」
教育権論争について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章１節を読んでくる。
第３回　【授業テーマ】　教育を受ける権利の保障
【内容・方法　等】　教育の制度原理
「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章２節を読んでくる。
第４回　【授業テーマ】　学校体系のしくみ
【内容・方法　等】　段階性、系統性
学校体系の類型
学校の種類と設置者
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章１・２節を読んでくる。
第５回　【授業テーマ】　学校体系の現代的課題
【内容・方法　等】　選別・分離と接続・統合
「選抜・選別」について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第３章３節を読んでくる。
学校の機能に関する配布資料を読んでくる。
第６回　【授業テーマ】　教育条件整備の法制度と新しい動向
【内容・方法　等】　公教育を支える諸条件とは
条件整備はどのようになされるか
学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第７章２・３節を読んでくる。
学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。
第７回　【授業テーマ】　学校の組織管理
【内容・方法　等】　教職員配置と組織編制
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章１・２節を読んでくる。
第８回　【授業テーマ】　学校経営の新しい動向
【内容・方法　等】　「開かれた学校」
学校評議員制度、学校運営協議会制度
地域運営学校について簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第４章３・４節を読んでくる。
コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。
第９回　【授業テーマ】　教育課程経営
【内容・方法　等】　学習指導要領の性質と特徴の変遷
学力論争と教育評価論
学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章１・２節を読んでくる。
学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。
第10回　【授業テーマ】　教科書制度と指導行政
【内容・方法　等】　教科書検定
教科書採択
制度をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第１０章３・４節を読んでくる。
教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。
第11回　【授業テーマ】　社会教育行政
【内容・方法　等】　社会教育と生涯学習
社会教育の理念と展開
【事前・事後学習課題】　テキスト第８章１・２節を読んでくる。
第12回　【授業テーマ】　生涯学習社会への移行と生涯学習振興
【内容・方法　等】　社会教育行政の運営原則
社会教育の諸制度
社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第８章３・４節を読んでくる。
社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。
第13回　【授業テーマ】　教育行政のはたらきと地方教育行政組織
【内容・方法　等】　教育行政の原則
教育委員会のしくみとはたらき
教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章１節を読んでくる。
教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。
第14回　【授業テーマ】　国の教育行政と地方との関係
【内容・方法　等】　国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき
教育行政関係の新しい動向
【事前・事後学習課題】　テキスト第２章２・３節を読んでくる。
第15回　【授業テーマ】　教育費と教育財政
【内容・方法　等】　教育財政の考え方
国・地方の教育費と教育財政

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　299　2014/08/21　14:25:12

義務教育費国庫負担制度とその改革
学校財務
【事前・事後学習課題】 テキスト第６章を読んでくる。

評価方法（基準）
定期試験60％、レポート30％、受講に係る積極的態度10％の割合で総合的に評価します。定期試験を受験しなかった場合は成績評価をしません。

教材等
教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学　改訂版』学文社（1,800円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。
遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教育課程論」に関連する事項を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育課程論
Studies of Curriculum Development

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
（１）教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で編成されていったかについての歴史的経緯を考察する。また、同時に学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。
（２）わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点
テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進めるが、状況によっては学生主体の発表（プレゼン）を行うなど、学生皆さんの授業への主体的な参加が求められる。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】 教育課程とは何か／オリエンテーション
【内容・方法　等】 ・学校教育のもつ機能について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているテキストの該当する分を読んでおくこと。
第２回　【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・戦前から戦後（経験主義～系統主義：高度経済成長期）の教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。
第３回　【授業テーマ】 日本における教育課程の歴史的変遷
【内容・方法　等】 ・1970年代以降、「ゆとり」への標榜から「生きる力」、そして現在までの教育課程変遷について
【事前・事後学習課題】 課題：テキストの該当する部分と授業（第1回目）で配布する資料に目を通しておくこと。
第４回　【授業テーマ】 教育課程（カリキュラム）の概念と構造、および教育課程編成について
【内容・方法　等】 ・その編成要素（内部要因と外部要因）について
【事前・事後学習課題】 課題：シラバスに挙げているいずれかのテキストの該当する分を読んでおくこと。
第５回　【授業テーマ】 教育評価
【内容・方法　等】 ・発達段階にふさわしい評価の方法とその特質
【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。
第６回　【授業テーマ】 『総合的な学習の時間』について
【内容・方法　等】 ・導入の背景とそのねらいについて（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第７回　【授業テーマ】 学校化された社会
【内容・方法　等】 ・「隠れたカリキュラム」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第８回　【授業テーマ】 新しい教育課程　その１
【内容・方法　等】 ・「キャリア教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第９回　【授業テーマ】 新しい教育課程　その２
【内容・方法　等】 ・「人権教育／平和教育」について（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第10回　【授業テーマ】 新しい教育課程　その３
【内容・方法　等】 ・「シティズンシップ」教育とは（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第11回　【授業テーマ】 教育課程と教育改革　その１
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝小中編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第12回　【授業テーマ】 教育課程と教育改革　その２
【内容・方法　等】 ・特色のある学校づくり＝高校編（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第13回　【授業テーマ】 教育課程と教育格差　その１
【内容・方法　等】 ・学力格差と学力低下問題（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第14回　【授業テーマ】 教育課程と教育格差　その２
【内容・方法　等】 ・教育格差に抗する学校の取り組み（学生グループによる発表を予定）
【事前・事後学習課題】 課題：本時テーマについて調べてくる（A4一枚程度、詳細は授業で伝える）。
第15回　【授業テーマ】 総括：教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法　等】 海外の学校教育課程の動向と国内の問題（例：外国人児童生徒問題）
【事前・事後学習課題】 課題：事前に配布した資料を読んでおくこと。

評価方法（基準）
定期試験、レポート及び授業態度や授業への貢献度（発表を含む）など総合的に評価を行う。

教材等
教科書…田中耕治・水原克敏・三石初雄・西岡加名恵［著］　『新しい時代の教育課程　第3版』　有斐閣アルマ、2011年
参考書…その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験をふりかえり、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目
教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等
７号館３階(大野研究室)

備考
2009年度以前入学生は、（高校）教免取得上選択

商業科教育法
Business Education Method

河　合　隆　廣（カワイ　タカヒロ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	「商業」教免取得上必修	4

授業概要・目的・到達目標
【主 題】

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　300　2014/08/21　14:25:12

教育は、世界の政治や経済に大きく左右される。本講義は「国際経済と我が国教育の変遷」をテーマとして、戦後の我が国の教育と国際社会の変化を歴史的に分析することにより、今後我が国の教育が何をめざしていくべきかを考察する。
前半は「不易流行」の「流行」の面に重点を置き、「国際経済と我が国教育の変遷」をテーマとして、戦後の我が国の教育と国際社会の変化を歴史的に分析し、今後我が国の教育が何をめざしていくべきかを考察する。
後半は「不易流行」の「不易」の面に重点を置き、大局的な観点から教育の意義・在り方を追及し、現代社会にどのような教育が必要であるか、教育者としてどのような姿勢で教育に臨むべきかについて考察する。
【目 標】
グローバル化が進む不透明な時代において、商業科教員として、時代の変化に対応するとともに、普遍の真理を追究する資質と能力を育成することを目標とする。
学習の成果として、戦後の国際社会や日本の政治・経済についての知識が広がり、現代の政治や経済がいかにあるべきかを分析する力を身に付けることができる。
〔この授業で習得・向上できる社会で役に立つ能力〕
①人間関係を形成する力　②問題を発見する力 ③学習・勤労の意義を理解する力

授業方法と留意点

一方的な教授法ではなく、学生の意見や疑問に的確に答え、調査研究成果を発表させるなどの対話型授業を行う。

科目学習の効果（資格）

教員採用試験では、「公民」や「情報」などとの“複数教科の教職員免許”を取得していることが自身の強みとなる。
この授業で習得・向上できる社会で役に立つ能力
(1)人間関係を形成する力　(2)問題を発見する力　(3)学習・勤労の意義を理解する力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　教育の意義と商業教育の魅力
【内容・方法　等】　教育の意義と商業教育の魅力について考察する。
【事前・事後学習課題】　教職をめざす理由と心構えについて、レポート作成・発表をさせる。

第２回　**【授業テーマ】**　戦後の教育改革と社会的背景
【内容・方法　等】　戦後初の学習指導要領が民主主義教育を導入、アメリカ教育使節団の影響について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕アメリカ教育使節団の影響について研究させる。

第３回　**【授業テーマ】**　日本初の学習指導要領と商業教育（昭和23年）
【内容・方法　等】　デューイの経験主義的教授理論について学習し、「課題解決学習」が学習指導要領に活かされていることを考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕日本初の学習指導要領と商業教育について研究させる。

第４回　**【授業テーマ】**　国際社会の二極化の問題
【内容・方法　等】　国際社会の二極化（資本主義と社会主義）の問題について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕戦後の国際社会の問題について研究させる。

第５回　**【授業テーマ】**　日本経済の復興と社会的背景
【内容・方法　等】　国際社会の二極化が日本経済、国民生活に及ぼす影響について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済復興期に望まれた教育について研究させる。

第６回　**【授業テーマ】**　経済復興期の学習指導要領と商業教育（昭和25年）
【内容・方法　等】　経済復興期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済復興期に望まれた教育について研究させる。

第７回　**【授業テーマ】**　高度経済成長初期の日本経済と社会的背景
【内容・方法　等】　日本の独立と高度経済成長初期（神武景気）に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕高度経済成長初期に望まれた教育について研究させる。

第８回　**【授業テーマ】**　高度経済成長初期の学習指導要領と商業教育（昭和31年）
【内容・方法　等】　経験主義的学習から知識重視の教育に転換した社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕知識重視の教育に転換した社会背景について研究させる。

第９回　**【授業テーマ】**　高度経済成長中期の日本経済と社会的背景
【内容・方法　等】　高度経済成長中期（岩戸景気）における技術革新と国民生活などの社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。

第10回　**【授業テーマ】**　高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育（昭和35年）
【内容・方法　等】　高度経済成長中期（昭和35年）の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。

第11回　**【授業テーマ】**　高度経済成長後期の日本経済と社会的背景
【内容・方法　等】　高度経済成長後期（いざなぎ景気）と教育の現代化に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕教育の現代化に向かう社会的背景について研究させる。

第12回　**【授業テーマ】**　高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育（昭和45年）
【内容・方法　等】　高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕「４６答申」の経緯とその影響について研究させる。

第13回　**【授業テーマ】**　国際経済の混乱と日本の高度経済成長の終焉
【内容・方法　等】　国際経済の混乱（ブレトン・ウッズ体制の崩壊、オイル・ショック等）と日本の高度経済成長の終焉について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済成長終焉期と教育の混迷について研究させる。

第14回　**【授業テーマ】**　高度経済成長終焉期と教育の混迷
【内容・方法　等】　高度経済成長の歪み(公害、教育現場の混乱)と教育の転換について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済成長終焉期と教育の混迷について研究させる。

第15回　**【授業テーマ】**　高高度経済成長終焉期の学習指導要領と商業教育（(昭和53年）
【内容・方法　等】　高度経済成長終焉期の学習指導要領と教育の混迷について思考し、どのように教育が転換したかを考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕経済成長終焉期と教育の混迷について研究させる。

第16回　**【授業テーマ】**　教育転換期の社会的背景
【内容・方法　等】　国際社会が変動為替相場制に移行し、日本経済が混乱に陥る状況を考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕変動為替相場制の移行と日本経済の混乱について研究させる。

第17回　**【授業テーマ】**　臨時教育審議会と新しい学力観
【内容・方法　等】　国民的課題に対する臨時教育審議会と新しい学力観について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕臨時教育審議会と新しい学力観について研究させる。

第18回　**【授業テーマ】**　教育転換期の学習指導要領と商業教育（平成元年）
【内容・方法　等】　教育の転換期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕教育転換期の教育について研究させる。

第19回　**【授業テーマ】**　社会主義国家の崩壊と国際社会の混乱
【内容・方法　等】　国際社会の混乱（社会主義国家の崩壊）と日本国内の混乱について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕国際社会の混乱と日本国内の混乱について研究させる。

第20回　**【授業テーマ】**　バブル経済の崩壊と新しい教育への転換
【内容・方法　等】　バブル経済の崩壊と日本社会の混乱、教育の混迷について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕日本社会の混乱と教育の混迷について研究させる。

第21回　**【授業テーマ】**　ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育（平成11年）
【内容・方法　等】　ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕総合的な学習の時間と商業教育について研究させる。

第22回　**【授業テーマ】**　新学習指導要領改訂のねらい
【内容・方法　等】　新学習指導要領改訂の趣旨と目的について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕新学習指導要領改訂の趣旨と目的について研究させる。

第23回　**【授業テーマ】**　「確かな学力」育成のための工夫
【内容・方法　等】　新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について研究させる。

第24回　**【授業テーマ】**　新学習指導要領と商業教育（平成21年）
【内容・方法　等】　新学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕新学習指導要領と商業教育について研究させる。

第25回　**【授業テーマ】**　教育の現代的課題の分析
【内容・方法　等】　現代の教育的課題を協議させ、問題行動について考察する。
【事前・事後学習課題】　〔事前学習〕各自の経験に基づいた教育的課題について研究させる。

第26回　**【授業テーマ】**　問題行動メカニズム分析

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　301　2014/08/21　14:25:13

【内容・方法　等】 現代の教育的課題の改善方法について協議させ、問題行動メカニズムを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕問題行動について研究し、改善方法について研究させる。
第27回 【授業テーマ】 人格形成と自立に向けた教育手法
【内容・方法　等】 人格形成と自立に向けた教育手法について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕発達段階と自立について研究させる。
第28回 【授業テーマ】 アイデンティティの確立
【内容・方法　等】 心理社会的発達理論分析により、教育の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕アイデンティティの確立について研究させる。
第29回 【授業テーマ】 意欲を高めるための学習環境
【内容・方法　等】 脳科学による行動分析により、学習環境の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕よい学習環境をどうつくるのかを研究させる。
第30回 【授業テーマ】 商業教育研究

評価方法（基準）
小テスト・レポート40%、授業への参加度（学習意欲、発表等）60%とし、総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…レジメを配布する。
参考書…資料を配布する。

学生へのメッセージ
教員採用試験では、日本商工会議所簿記検定２級程度の問題が出題されるので、在学中に取得しておこう。

関連科目
経営学部や経営情報学部の専門科目は、商業科の専門科目として活かす魅力がある。
例えば、簿記、会計、原価計算、管理会計、情報処理、電子商取引、経営学、経済学、マーケティング、民法、会社法、ベンチャービジネス論など、幅広く履修しておこう。

担当者の研究室等
連絡があれば、経営学部事務室に申し出ること。

道徳教育の研究
Studies of Moral Education

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上必修(中免のみ)	2

授業概要・目的・到達目標
道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというものではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、「道徳」の授業構想及びシナリオづくりを行う。今日の中学生に、教師として「気づいてほしいこと・考えてほしいこと」は何かという「ねらい」をもった授業を構想することができ、その「ねらい」にふさわしい教材選択と教材研究をすることができる。

授業方法と留意点
教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、ＤＶＤ等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生による「道徳」の授業構想を発表し、検討する。

科目学習の効果（資格）
中学校教諭１種免許状の取得に必要です。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各項目に含める必要事項：道徳の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 道徳教育と人間形成
【内容・方法　等】 （１）道徳教育がめざすもの（２）道徳教育の現状と課題　（３）なぜ、いま道徳教育なのか－ＤＶＤ「崩壊？日本人のモラル－」視聴　（４）「道徳」の特別教科化を考える
【事前・事後学習課題】 予習：教科書「まえがき」「第３章」
第２回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－明治期－
【内容・方法　等】 （１）学制と「修身口授」（２）「教学聖旨」「教育議」論争（３）教育勅語の成立と修身科教育
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（９頁～１４頁）
第３回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－大正・昭和前期－
【内容・方法　等】 （１）大正新教育と修身科（２）総力戦体制下の教育と修身科
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（１４～１９頁）
第４回 【授業テーマ】 道徳教育の歴史－戦後から現在－
【内容・方法　等】 （１）修身科の廃止と教育勅語の取り扱い（２）社会科と新しい道徳教育（３）道徳教育の振興と特設道徳
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（１９頁～３８頁）
第５回 【授業テーマ】 学校道徳教育の計画・運営・実施について
【内容・方法　等】 （１）「道徳」の実施状況について　（２）「道徳」の時間と指導計画　（３）各教科・特別活動・総合的学習の時間との関係　（４）道徳教育推進教師の役割
【事前・事後学習課題】 予習：出身中学校における「道徳教育計画」をＨＰ等で調べておく。
第６回 【授業テーマ】 学習指導要領「道徳」の目的と内容
【内容・方法　等】 （１）学習指導要領「道徳」の目的　（２）「道徳」の内容分析　（３）指導上の留意点
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料の課題をしておく。教科書１３５頁～１４９頁を読んでおく。
第７回 【授業テーマ】 道徳性の発達と教育方法
【内容・方法　等】 （１）他律道徳から自律道徳へ　（２）ピアジェとコールバーグの発達段階論　（３）道徳的葛藤とシュチュエーションの創造　（４）モラルジレンマの授業
【事前・事後学習課題】 予習：教科書（３９頁～７６頁）
第８回 【授業テーマ】 子どもの実態と道徳の授業
【内容・方法　等】 （１）子どもの価値意識－「実態調査」から－　（２）道徳の授業と教材　（３）道徳教育の方法と技術
【事前・事後学習課題】 予習：配付Excel Data の検討及び教科書（７７頁～９９頁）を読んでおく。
第９回 【授業テーマ】 道徳授業の創造と特別授業
【内容・方法　等】 （１）実感ある「道徳」授業の創造（２）ＤＶＤ視聴「特別授業　差別を知る－カナダのある小学校の試み」
【事前・事後学習課題】 ＤＶＤ視聴の感想文提出
第10回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想（１）
【内容・方法　等】 （１）「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「スタート台のわたし」（２）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配布教材に基づいた指導案の作成
第11回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(2)
【内容・方法　等】 （１））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「じいちゃん長生きして」（２）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
第12回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想(3)
【内容・方法　等】 （１））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「アイバンク」（２）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
第13回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想（４）
【内容・方法　等】 （１））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「蜘蛛の糸」（２）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習・配付資料に基づいた指導案の作成
第14回 【授業テーマ】 「道徳」授業の構想（５）
【内容・方法　等】 （１））「道徳」授業の構想・シナリオづくり　教材「ぼくの名前呼んで」（２）学生による指導案の発表と検討
【事前・事後学習課題】 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
第15回 【授業テーマ】 討論　「現代に生きる子どもたちに考えてほしいこと・気づいてほしいことをめぐって」
【内容・方法　等】 （１）意見発表「道徳教育の研究を学んで」（２）道徳教材「１００万回生きたねこ」をとおして（３）質疑応答と課題の発見
【事前・事後学習課題】 討論資料の作成・準備

評価方法（基準）
定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…柴田義松編著『道徳の指導』（学文社）、1800円（本体）
文部科学省『中学校学習指導要領』平成20年、国立印刷局、232円（本体）
参考書…Ｌ．コールバーグ、永野重史監訳『道徳性の形成』新曜社

学生へのメッセージ
中学校時代の「道徳」の時間における学習体験を思いおこすとよい。道徳の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

関連科目
教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　302　2014/08/21　14:25:13

復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等

７号館３階(村田研究室)

備考

共同担当者　橋本はる美

特別活動論
Extra-Curricular Activities

大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

（１）人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要さが増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の３本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。（２）中学校，高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点

テキストやプリント教材等を中心に進めていく予定であるが、プレゼンテーションの力やまとめる力をつけるため、レポート作成や各自の中学校・高等学校時代の経験発表なども積極的に行う。よって、学生皆さんの主体的な授業への参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第１回　**【授業テーマ】**　特別活動とは何か

【内容･方法　等】　・学校教育、および子どもたちを取り巻く現状と課題

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で配布）を読む（詳細は授業で指示する）。

第２回　**【授業テーマ】**　特別活動の意義と目標

【内容･方法　等】　・特別活動の教育的意義について

【事前･事後学習課題】　課題：テキストの該当箇所を読んでおくこと。

第３回　**【授業テーマ】**　特別活動の特質と活動内容

【内容･方法　等】　・特別活動が担う部分とは～その特質と活動内容について

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第４回　**【授業テーマ】**　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容

【内容･方法　等】　・学級会（ホームルーム）活動の意義と目標、およびその指導計画

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第５回　**【授業テーマ】**　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容

【内容･方法　等】　・生徒会活動の意義と目標、およびその指導計画

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第６回　**【授業テーマ】**　学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容

【内容･方法　等】　・学校行事の意義と目標、およびその指導計画

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第７回　**【授業テーマ】**　特別活動における学校行事とボランティア活動

【内容･方法　等】　・学校教育における儀礼的行事・文化的行事・体育的行事・集団的行事等のねらいと具体的な取り組み

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第８回　**【授業テーマ】**　特別活動における学校行事とボランティア活動

【内容･方法　等】　・部活動について～そのねらいと教育的意義

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第９回　**【授業テーマ】**　特別活動における学校行事とボランティア活動

【内容･方法　等】　・ボランティア活動を含めた社会奉仕活動のねらいや効果と期待

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第10回　**【授業テーマ】**　特別活動の指導計画と配慮事項

【内容･方法　等】　・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第11回　**【授業テーマ】**　特別活動の指導計画と留意事項

【内容･方法　等】　・グループワークを行い、特別活動の指導計画を作成する際のポイントをまとめ、発表する。

【事前･事後学習課題】　課題：第10回までの授業内容を各自まとめてくる。

第12回　**【授業テーマ】**　特別活動の効果について

【内容･方法　等】　・特別活動を単なる「経験」に終わらせないための取り組みとしてのふりかえり（自己省察）と経験の共有、そして教師の役割について考える。

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第13回　**【授業テーマ】**　特別活動の課題とこれから

【内容･方法　等】　・中央教育審議会答申と特別活動の課題

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第14回　**【授業テーマ】**　特別活動の新たな動向

【内容･方法　等】　・教科教育との連環をめざして

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

第15回　**【授業テーマ】**　特別活動の新たな展開

【内容･方法　等】　・地域社会と学校教育～連携と協同

【事前･事後学習課題】　課題：テキスト、および配布資料（授業で事前に配布予定）を読んでおくこと。

評価方法（基準）

定期試験、レポート等及び授業態度、授業内での発表（プレゼン）等によって総合的に評価を行う。

教材等

教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（210円）

参考書…白井慎他著『新特別活動―文化と自治の力を育てるために―』学文社

その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと（傾聴）」への理解が大切である。そのため、自身の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れていくことが望まれる。

関連科目

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等

７号館３階(大野研究室)

教育方法論
Studies of Educational Method

深　川　八　郎（フカガワ　ハチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

（１）学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。（２）そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

授業方法と留意点

"テキストを中心にプリント,視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　303　2014/08/21　14:25:13

第１回　【授業テーマ】　教育方法と教育実践
【内容･方法　等】　・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。
【事前･事後学習課題】　課題　大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
第２回　【授業テーマ】　教育方法と学びの指導
【内容･方法　等】　・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。
【事前･事後学習課題】　課題　志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
第３回　【授業テーマ】　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・近代以前の教育方法
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp7-8
第４回　【授業テーマ】　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・中世の教会と大学の教育
・宗教革命と印刷術の発明
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp8-9
第５回　【授業テーマ】　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・教育学の成立―コメニウス
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp10-12
第６回　【授業テーマ】　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・合自然の教育学―ペスタロッチ
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp12-14
第７回　【授業テーマ】　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・国民国家の教育学―ヘルバルトとヘルバルト主義
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp14-18
第８回　【授業テーマ】　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・子ども中心の教育と学びの共同体―デューイ
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp18-20
第９回　【授業テーマ】　教育方法学の歴史（欧米の教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・効率主義の教育学―ボビットとチャーターズ
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp20-22
第10回　【授業テーマ】　日本の授業と授業研究（日本教育史を中心にして）
【内容･方法　等】　・授業の成立と制度化
・戦後の新教育
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp33-35
課題　テキストpp38-40
第11回　【授業テーマ】　授業の構想と計画(1)
【内容･方法　等】　・構想と計画の基本的視点
・指導案と教材研究
・教育における情報機器の活用
【事前･事後学習課題】　課題　指導案の作成(1)
第12回　【授業テーマ】　授業の構想と計画(2)
【内容･方法　等】　・授業と教授メディア
・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
【事前･事後学習課題】　課題　指導案の作成(2)
第13回　【授業テーマ】　授業の構想と計画(3)
【内容･方法　等】　・コンピュータを活用した授業デザイン
・授業改善の評価と方法
【事前･事後学習課題】　課題　コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ
第14回　【授業テーマ】　日本の授業と授業研究（戦後教育における校内研修を中心にして）
【内容･方法　等】　・授業研究と教職研修
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp40-46
第15回　【授業テーマ】　教職の専門性とは何か
【内容･方法　等】　・教師像の探究と実践的見識をめぐって
【事前･事後学習課題】　課題　テキストpp135-157

評価方法（基準）
定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

教材等
教科書…「教育方法学」佐藤　学著 岩波書店（2060円）
参考書…「教育の方法・技術」松平信久　横須賀薫編　教育出版(2000円)
その他授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

関連科目
教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(深川研究室)

生徒指導論（進路指導を含む）
Studies of Guidance and Counceling

朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

授業方法と留意点
プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目
各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　オリエンテーション
生徒指導の目標と意義
【内容･方法　等】　科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自分の生徒指導上の体験のふりかえり
生徒指導の目標と意義
【事前･事後学習課題】　「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定
テキストpp.3-10
第２回　【授業テーマ】　生徒指導の実践
【内容･方法　等】　生徒指導の実践課題と領域
【事前･事後学習課題】　テキストpp.10-24
第３回　【授業テーマ】　生徒指導の理論（１）
【内容･方法　等】　理論の重要性
発達に関する理論
【事前･事後学習課題】　テキストpp.32-39
第４回　【授業テーマ】　生徒指導の理論（２）
【内容･方法　等】　生徒指導における治療的支援に関する理論
相談理論など
【事前･事後学習課題】　テキストpp.39-42
第５回　【授業テーマ】　生徒理解の進め方（１）
【内容･方法　等】　生徒理解の意義と目的
【事前･事後学習課題】　テキストpp.43-46
第６回　【授業テーマ】　生徒理解の進め方（２）
【内容･方法　等】　生徒理解の方法
生徒の自己理解の支援
【事前･事後学習課題】　テキストpp.46-56
第７回　【授業テーマ】　生徒理解の進め方（３）
【内容･方法　等】　教師の生徒認知のありよう
【事前･事後学習課題】　テキストpp.56-61
第８回　【授業テーマ】　中間試験
【内容･方法　等】　これまでの授業内容についての試験
【事前･事後学習課題】　前回までの復習
第９回　【授業テーマ】　学級経営の進め方（１）
【内容･方法　等】　学級経営の意義
学級集団の役割・機能
【事前･事後学習課題】　テキストpp.63-68
第10回　【授業テーマ】　学級経営の進め方（２）
【内容･方法　等】　学級集団の力学
学級経営の方法
【事前･事後学習課題】　テキストpp.68-74
第11回　【授業テーマ】　学級経営の進め方（３）
【内容･方法　等】　教師のリーダーシップ
【事前･事後学習課題】　テキストpp.74-79
第12回　【授業テーマ】　生徒指導上の諸問題の理解と対応
【内容･方法　等】　生徒指導上の諸問題とは
最近の諸問題の動向
諸問題にどう対応するか
【事前･事後学習課題】　生徒指導上の諸問題に関する配布資料
第13回　【授業テーマ】　進路指導の意義と課題
【内容･方法　等】　進路指導の意義と課題
進路指導に関する諸理論
【事前･事後学習課題】　テキストpp.135-159

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　304　2014/08/21　14:25:13

第14回　【授業テーマ】　勤労観・職業観の形成と変容
【内容・方法　等】　青少年の勤労観・職業観
勤労観・職業観の形成と変容
【事前・事後学習課題】　テキストpp.176-195
第15回　【授業テーマ】　学校教育における進路指導の実践展開
【内容・方法　等】　進路指導における「ガイダンスの機能」
進路指導実践の展開モデル
【事前・事後学習課題】　テキストpp.215-234

評価方法（基準）
中間試験、定期試験の得点の他、レポートの内容、受講に係る積極的態度により、総合的に成績を判定します。定期試験を受験しなかった場合、成績判定はしません。

教材等
教科書…高橋超・石井眞治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房（2,500円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。
授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行おうとする者としての適格性が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階　朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教育相談（カウンセリングの基礎を含む）
School Counseling

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える.

授業方法と留意点
講義と演習を組み合わせて行う。

科目学習の効果（資格）
教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」４単位のうち２単位を充足。
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目
各科目に含める必要事項：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　イントロダクション
【内容・方法　等】　授業内容、授業の進め方、評価基準等について
【事前・事後学習課題】　――――
第２回　【授業テーマ】　カウンセリングの基礎
【内容・方法　等】　カウンセリングの基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド
【事前・事後学習課題】　テキスト第1章、第2章を読む
第３回　【授業テーマ】　グループ発表の準備
【内容・方法　等】　グループワーク
【事前・事後学習課題】　――――
第４回　【授業テーマ】　学校教育相談の全体像
【内容・方法　等】　校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法
【事前・事後学習課題】　テキスト第12章、第13章を読む
第５回　【授業テーマ】　学校におけるカウンセリング活動1
【内容・方法　等】　カウンセリング活動のいろいろ(1)……治療的カウンセリング活動、予防的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】　テキスト第10章を読む
第６回　【授業テーマ】　学校におけるカウンセリング活動2
【内容・方法　等】　カウンセリング活動のいろいろ(2)……開発的カウンセリング活動
【事前・事後学習課題】　テキスト第10章を読む
第７回　【授業テーマ】　パーソナリティ理解
【内容・方法　等】　パーソナリティを理解するために、パーソナリティ理解をゆがめるもの
【事前・事後学習課題】　――――
第８回　【授業テーマ】　問題の理解と対応1
【内容・方法　等】　問題とは何か、その原因・背景と対応、適応過程
【事前・事後学習課題】　テキスト第3章を読む
第９回　【授業テーマ】　問題の理解と対応2
【内容・方法　等】　ストレス、欲求不満，葛藤
【事前・事後学習課題】　テキスト第3章、第4章を読む
第10回　【授業テーマ】　心の発達と危機
【内容・方法　等】　認知の発達、自己意識の発達、道徳性の発達、仲間関係の発達
【事前・事後学習課題】　教育心理学の復習
第11回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際1
【内容・方法　等】　不登校……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第5章を読む
第12回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際2
【内容・方法　等】　いじめ……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第6章を読む
第13回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際3
【内容・方法　等】　学級崩壊・授業崩壊……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第7章を読む
第14回　【授業テーマ】　相談援助活動の実際4
【内容・方法　等】　反社会的行動……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】　テキスト第8章を読む
第15回　【授業テーマ】　教員のメンタル・ヘルス
【内容・方法　等】　教員自身が健康であるために，教員への対応
【事前・事後学習課題】　テキスト第14章を読む

評価方法（基準）
グループ発表50％　期末試験50％

教材等
教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫（編著）ミネルヴァ書房　（2200円）
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

関連科目
教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

担当者の研究室等
７号館３階（吉田研究室）

教育実習I
Teaching Practice I

村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上必修	1

授業概要・目的・到達目標
（１）教育実習校における実習に必要な教育実践の基本を理解して、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。（２）教育実習の実際についての情報を提供し、これらにもとづく討議ならびにビデオ等を用いた演習を交えて授業を展開する。（３）教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

授業方法と留意点
テキストを中心とした講義及び、視聴覚教材等を用いた演習方式で進める。授業構想等に関するレポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。

科目学習の効果（資格）
教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　教育実習の意義
【内容・方法　等】　（１）オリエンテーション（２）教育実習の目的と意義（３）免許制度の概要について
【事前・事後学習課題】　開拓した実習校における実習の基本情報を整理しておく。
第２回　【授業テーマ】　教育実習の現状について

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　305　2014/08/21　14:25:13

【内容・方法　等】　（1）求められる教師と教員養成制度について（2）中学校／高等学校での教育実習とその課題について
【事前・事後学習課題】　教科書から教育実習の現状を整理しておく。
第３回　【授業テーマ】　教育実習の内容と形態等について
【内容・方法　等】　（1）教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について
（2）グループディスカッション・生徒の人権に配慮すること
【事前・事後学習課題】　教育実習にのぞむ姿勢、心がまえを整理し、紙に書いておく。
第４回　【授業テーマ】　教育実習の実際　（中学校）
【内容・方法　等】　（1）ビデオ教材を通して中学校での実習への理解を深める（2）意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】　中学校の教育実習で不明な点を箇条書きにまとめ、討議に備える。
第５回　【授業テーマ】　教育実習の実際　（高等学校）
【内容・方法　等】　（1）ビデオ教材を通して、高等学校での実習への理解を深める　（2）意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】　高等学校の教育実習で、不明な点を箇条書きにまとめ、討議に備える。
第６回　【授業テーマ】　授業の方法と技術
【内容・方法　等】　教育メディアの特徴と使い方について検討する。
【事前・事後学習課題】　教育メディアの多様性とその特徴についてまとめておく。
第７回　【授業テーマ】　学習指導案・授業シナリオづくり（1）
【内容・方法　等】　（1）授業の準備と配慮事項、（2）学習指導案の書き方、（3）教科指導の学習指導案の作成、板書計画
【事前・事後学習課題】　（1）教育実習で担当する科目の授業・単元を構想する。（2）教材を準備する。
第８回　【授業テーマ】　学習指導案・授業シナリオづくり（2）
【内容・方法　等】　授業の自己評価とその観点の作成・検討
【事前・事後学習課題】　よい授業とは何かを考え、評価の観点とポイントを考えておく。
第９回　【授業テーマ】　授業の構想発表（1）
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容・方法　等】　「わかる授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」のアイデア
【事前・事後学習課題】　「わかる授業」とは何かを考えておく。
「授業シナリオづくり」の試み
「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
第10回　【授業テーマ】　授業の構想発表（2）
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容・方法　等】　「おもしろい授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」の試み
【事前・事後学習課題】　「おもしろい授業」とは何かを考えておく。「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
第11回　【授業テーマ】　授業の構想発表（3）
「授業シナリオ」に基づく授業構想の発表・検討を通じて、「授業シナリオ」の改善を行う。特に「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【内容・方法　等】　「役に立つ授業」の授業を考える。
「授業シナリオづくり」の試み
【事前・事後学習課題】　「役に立つ授業」とは何かを考えておく。「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
第12回　【授業テーマ】　生徒の人権への配慮と特別支援教育
【内容・方法　等】　生徒の人権に配慮した指導と合理的配慮について検討する。
【事前・事後学習課題】　生徒の人権意識等の具体的問題例について考える。
第13回　【授業テーマ】　教科外教育活動を考える。
【内容・方法　等】　道徳の指導・特別教育活動等の指導について検討する。
【事前・事後学習課題】　教科外の教育活動の必要性と指導のポイントを整理しておく。
第14回　【授業テーマ】　実習中の勤務の要領
【内容・方法　等】　学校の一日、一週間の流れ、学校の組織と運営の概要について
【事前・事後学習課題】　実習校のホームページを参考に、学校の一日、一週間の流れを把握しておく。
第15回　【授業テーマ】　授業の記録と評価について
【内容・方法　等】　授業と授業研究・話し方、授業構成、板書、補助教材など評価の観点への理解を深める。
【事前・事後学習課題】　教育実習の総合的な理解と実務の実際を確認する。

評価方法（基準）
期末レポート、模擬授業、学習指導案の作成等に関わる評価を行う。

教材等
教科書…「教育実習の手引き」（摂南大学）「教育実習記録」（摂南大学）「新編教育実習の常識－事例にもとづく必修66項」教育実習を考える会編 蒼丘書林（740円）
参考書…授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、「学ぶこと」を通して「教えること」への実践的理解を深めることが大切である。また、「教育実習」はこれまでの学習の総まとめであることを自覚して、実習に備えること。

関連科目
教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等
７号館３階(村田研究室)

教育実習ⅡB
Teaching Practice Ⅱ B

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
「教育実習ⅡB」は、２週間以上の実習を行うもので、授業研究を主体とした実習である。（1）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（2）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（3）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（4）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点
（1）教育実習校での実習を行う。（2）大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。（3）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　教育実習特別個人指導（4月）
【内容・方法　等】　教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】　個別の呼び出しに速やかに応じること
第２回　【授業テーマ】　教育実習事前指導（4月～5月）
【内容・方法　等】　教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】　申請書類等の記入・提出
第３回　【授業テーマ】　教育実習個人指導（4月～5月）
【内容・方法　等】　教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】　教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）
第４回　【授業テーマ】　前期教育実習開始（5月～6月）
【内容・方法　等】　実習校において授業を行なったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】　教材研究、学習指導案作成
第５回　【授業テーマ】　教育実習体験発表会（6月～7月）
【内容・方法　等】　教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】　体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第６回　【授業テーマ】　後期教育実習開始（9月～10月）
【内容・方法　等】　後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　306　2014/08/21　14:25:14

【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第７回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会（１０月）
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第８回 【授業テーマ】 教育実習総括講義（１０月）
【内容・方法 等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
第９回 【授業テーマ】 教育実践指導（１月～３月）
【内容・方法 等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
第10回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第11回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第12回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第13回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第14回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第16回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第17回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第18回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第19回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第20回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第21回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第22回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第23回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第24回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第25回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第26回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第27回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第28回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第29回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法 等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第30回 【授業テーマ】 ――――

評価方法（基準）
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等
教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ
『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目
教職関連科目全般

担当者の研究室等
７号館３階

備考
（１）中学校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡA」「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から４単位以上、高校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から２単位以上修得することが必要。（２）中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教育実習Ⅲ
Teaching Practice Ⅲ

吉田 佐治子（ヨシダ サチコ）
村田 俊明（ムラタ トシアキ）
朝日 素明（アサヒ モトアキ）
大野 順子（オオノ ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上選択必修	4

授業概要・目的・到達目標
「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において４週間以上の実習を行う。（１）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（２）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（３）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（４）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点
（１）教育実習校での実習を行う。（２）大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。（３）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導（４月）
【内容・方法 等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
第２回 【授業テーマ】 教育実習事前指導（４月～５月）
【内容・方法 等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
第３回 【授業テーマ】 教育実習個人指導（４月～５月）
【内容・方法 等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）
第４回 【授業テーマ】 前期教育実習開始（５月～６月）
【内容・方法 等】 実習校において授業を行なったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第５回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会（６月～７月）
【内容・方法 等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第６回 【授業テーマ】 後期教育実習開始（９月～１０月）
【内容・方法 等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
第７回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会（１０月）
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
第８回 【授業テーマ】 教育実習総括講義（１０月）

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd 307 2014/08/21 14:25:14

【内容・方法　等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
第９回 【授業テーマ】 教育実践指導（１月～３月）
【内容・方法　等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
第10回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第11回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第12回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第13回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第14回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第15回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第16回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第17回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第18回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第19回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第20回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第21回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第22回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第23回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第24回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第25回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第26回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第27回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第28回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第29回 【授業テーマ】 ――――
【内容・方法　等】 ――――
【事前・事後学習課題】 ――――
第30回 【授業テーマ】 ――――

評価方法（基準）
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等
教科書…摂南大学『教育実習記録』
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ
『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目
教職関連科目全般

担当者の研究室等
７号館３階

備考
中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

情報科教育法
Instruction Method for Information and Communication Science

栢　木　紀　哉（カヤキ　ノリヤ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	「情報」教免取得上必修	4

授業概要・目的・到達目標
本講義は、教科「情報」教員免許を取得するために必修となる。「情報科」成立の経緯および教科内容について理解し、情報教育のあり方について、学習目標、指導方法、評価方法などの視点から考え、担当教員に必要となる基礎的知識や資質を養う。また、指導案の作成、模擬授業の実施を通して、授業を展開できる能力を身につけることを目指す。

授業方法と留意点
テキストおよび配付資料を中心に、プロジェクターを用いて講義を行う。教員免許に関する科目であり、指導案の作成、模擬授業などを行いながら進めるため、無断欠席は厳禁とする。

科目学習の効果（資格）
教科「情報」の免許科目
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教育課程及び指導法に関する科目
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法　等】 授業の進め方、評価方法、情報の科学
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第２回 【授業テーマ】 新学習指導要領における情報教育
【内容・方法　等】 「情報科」とはどのような教科か、情報科について
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第３回 【授業テーマ】 教科「情報」の構成
【内容・方法　等】 普通教科「情報」の内容構成、専門教科「情報」の内容構成、指導の条件
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第４回 【授業テーマ】 普通教科「情報」の指導方法（１）
【内容・方法　等】 年間指導計画書の作成、学習目標の明確化
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第５回 【授業テーマ】 普通教科「情報」の指導方法（２）
【内容・方法　等】 課題分析の方法、進め方
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第６回 【授業テーマ】 普通教科「情報」の指導方法（３）
【内容・方法　等】 評価の目的と対象、評価対象の具体化
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第７回 【授業テーマ】 普通教科「情報」の指導方法（４）
【内容・方法　等】 学習課題に応じた評価方法の種類と特徴
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第８回 【授業テーマ】 魅力ある授業の展開（１）
【内容・方法　等】 学習意欲を高める方法、内発的動機づけと外発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第９回 【授業テーマ】 魅力ある授業の展開（２）
【内容・方法　等】 学習者の協同と活動、ワークショップとプロジェクト学習
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第10回 【授業テーマ】 魅力ある授業の展開（３）
【内容・方法　等】 ICT活用の実際、授業の記録・分析の方法
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第11回 【授業テーマ】 情報教育の実践例（１）
【内容・方法　等】 情報とコンピュータの指導法
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第12回 【授業テーマ】 情報教育の実践例（２）
【内容・方法　等】 アルゴリズムとプログラムの指導法
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　308　2014/08/21　14:25:14

第13回　【授業テーマ】　情報教育の実践例（３）
【内容･方法　等】　モデル化とシミュレーションの指導法
【事前･事後学習課題】　課題に基づいて教材設計を行う
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第14回　【授業テーマ】　情報教育の実践例（４）
【内容･方法　等】　問題解決の指導法
【事前･事後学習課題】　課題に基づいて教材設計を行う
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第15回　【授業テーマ】　前期のまとめ
【内容･方法　等】　----------
【事前･事後学習課題】　前期の内容を整理する
配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
第16回　【授業テーマ】　授業構想の検討
【内容･方法　等】　学習目標の明確化
【事前･事後学習課題】　次回の内容の予告をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
第17回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（１）
【内容･方法　等】　教育目標の設定、指定された題材による指導案の作成１
【事前･事後学習課題】　学習指導案を作成する
配付資料の該当箇所を読んでおく
第18回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（２）
【内容･方法　等】　評価方法の設定、指定された題材による指導案の作成２
【事前･事後学習課題】　学習指導案を作成する
配付資料の該当箇所を読んでおく
第19回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（３）
【内容･方法　等】　学習指導案の説明と修正
【事前･事後学習課題】　学習指導案を修正する
配付資料の該当箇所を読んでおく
第20回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（４）
【内容･方法　等】　講義ノート、配付資料の作成１
【事前･事後学習課題】　講義ノート、配付資料の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
第21回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（５）
【内容･方法　等】　講義ノート、配付資料の作成２
【事前･事後学習課題】　講義ノート、配付資料の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
第22回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（６）
【内容･方法　等】　講義ノート、配付資料の自己分析・評価
【事前･事後学習課題】　講義ノート、配付資料を見直す
配付資料の該当箇所を読んでおく
第23回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（７）
【内容･方法　等】　模擬授業の相互評価
【事前･事後学習課題】　相互評価の結果を振り返る
配付資料の該当箇所を読んでおく
第24回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（８）
【内容･方法　等】　各自で設定した題材による指導案の作成１
【事前･事後学習課題】　模擬授業の題材を決める
配付資料の該当箇所を読んでおく
第25回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（９）
【内容･方法　等】　各自で設定した題材による指導案の作成２
【事前･事後学習課題】　指導案を作成する
配付資料の該当箇所を読んでおく
第26回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（１０）
【内容･方法　等】　講義ノート、配付資料の作成１
【事前･事後学習課題】　講義ノート、配付資料の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
第27回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（１１）
【内容･方法　等】　講義ノート、配付資料の作成２
【事前･事後学習課題】　講義ノート、配付資料を作成する
配付資料の該当箇所を読んでおく
第28回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（１２）
【内容･方法　等】　指導案に基づく模擬授業
【事前･事後学習課題】　模擬授業の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
第29回　【授業テーマ】　模擬授業の展開（１３）
【内容･方法　等】　模擬授業の相互評価
【事前･事後学習課題】　模擬授業の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
第30回　【授業テーマ】　全体のまとめ

評価方法（基準）
授業中の課題、レポート、模擬授業、出席をもとに総合的に評価する。

教材等
教科書…山極隆（監修），岡本敏雄（編著）『情報の科学』（実教出版，2013年）、実教出版編修部（編）『（新課程）情報の科学学習ノート』（実教出版,2013年）、文部科学省『高等学校学習指導要領解説 情報編』（開隆館出版,2010年）
参考書…稲垣忠，鈴木克明 (著)『授業設計マニュアル―教師のためのインストラクショナルデザイン』（北大路書房，2011年）

学生へのメッセージ
学習者に対して授業を行うためには、周到な準備が必要になります。目的意識を持ち積極的に講義に参加して下さい。

関連科目
情報関連科目全般

担当者の研究室等
１１号館８階 (栢木准教授室)

教職実践演習（中・高）
Practicum in Prospective Teachers

吉　田　佐治子（ヨシダ　サチコ）
村　田　俊　明（ムラタ　トシアキ）
朝　日　素　明（アサヒ　モトアキ）
大　野　順　子（オオノ　ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標
○教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。
○中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。
○教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。
○教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

授業方法と留意点
○教職課程の専任教員４名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。１グループは15～20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。
○大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

科目学習の効果（資格）
○教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目（教職実践演習を除く。）の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。
○2013年度から４年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第１回　【授業テーマ】　「教職実践演習」のガイダンス
【内容･方法　等】　・科目の目的、内容方法についての確認
・各自の教育実習後の課題についての確認
・３回以降のグループ学習の各課題の確認
【事前･事後学習課題】　・教育実習ノートの点検と再確認
第２回　【授業テーマ】　専攻科目に於ける実践上の課題
【内容･方法　等】　・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。
【事前･事後学習課題】　・専攻教科における分野ごとの課題を整理
第３回　【授業テーマ】　専攻科目に於ける実践上の課題
【内容･方法　等】　・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。
【事前･事後学習課題】　・専攻教科における分野ごとの課題を整理
第４回　【授業テーマ】　生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容･方法　等】　地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。
【事前･事後学習課題】　中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
第５回　【授業テーマ】　生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容･方法　等】　地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。
【事前･事後学習課題】　中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる
第６回　【授業テーマ】　生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容･方法　等】　地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。
【事前･事後学習課題】　中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　309　2014/08/21　14:25:14

第７回　【授業テーマ】　教育格差：子どもの貧困と学力格差
【内容･方法　等】　近年の経済状況が子どもたちの生活、学力にどのような影響をもたらしているのか。
また、その結果子どもたちのあいだで広がったとされる教育格差は何を意味するのかについて講義、およびディスカッションを通して理解する。
そして、こうした社会状況に学校教育は、教師はどのように対応していく必要があるのかについても議論する。
【事前･事後学習課題】　第一回目の授業で配布する資料を読み、Ａ４サイズの用紙１枚（1200字程度）にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。

第８回　【授業テーマ】　学校の中のマイノリティ：外国にルーツをもつ子どもたち
【内容･方法　等】　1990年代以降、日本の入国管理政策の転換により、多くの外国人が家族とともに渡日するようになった。
それに伴い多くの外国人の子どもたちは日本の学校へ通うことになったが、彼らは日本語の問題や日本特有の学校文化など様々な問題に直面することとなった。
ここでは外国にルーツをもつ子どもたちの視点から日本の学校教育制度について講義、およびディスカッションを通して考えていく。
【事前･事後学習課題】　第一回目の授業で配布する資料を読み、Ａ４サイズの用紙１枚（1200字程度）にその要約と感想を書き、講義当日に持参する。

第９回　【授業テーマ】　カウンセリングマインドと生徒対応
【内容･方法　等】　カウンセリングの技法を生徒への対応,保護者への対応に応用する
(ロールプレイ)
【事前･事後学習課題】　（事前）カウンセリングマインドについての復習
（事後）小レポート

第10回　【授業テーマ】　「自分」を知る
【内容･方法　等】　教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り，そのための１方法としてのエゴグラム作成を行う
【事前･事後学習課題】　（事前）「自分」について考える
（事後）小レポート

第11回　【授業テーマ】　いじめの現状
【内容･方法　等】　問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前･事後学習課題】　(事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出

第12回　【授業テーマ】　いじめ問題への取り組み
【内容･方法　等】　日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前･事後学習課題】　(事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出

第13回　【授業テーマ】　教育実習と「道徳」の授業について―課題の確認―
【内容･方法　等】　教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論
―教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う―
【事前･事後学習課題】　事前：教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。
事後：話し合いから学んだことをまとめる。

第14回　【授業テーマ】　「道徳」の模擬授業と授業検討
―「道徳」授業のポイント確認―
【内容･方法　等】　受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。
【事前･事後学習課題】　事前：代表者による模擬授業（３０分）の実施準備を行う。
事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。

第15回　【授業テーマ】　授業改革と人権教育(元校長との研究交流)
総括レポートの作成
【内容･方法　等】　・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ
・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る
・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。
【事前･事後学習課題】　レポート作成

評価方法（基準）
教職教室教員４名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。

教材等
教科書…「教育実習記録」(摂南大学)
教育実習で使用した各教科書・教材
参考書…資料等は授業中に適宜配布

学生へのメッセージ
教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしながら、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力量を身に付けること。

関連科目
全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目

担当者の研究室等
教職教室(7号館3階)
吉田佐治子、村田俊明、朝日素明、大野順子

295-310_130_経営情報学部-1310_経営情報学科-06_教職科目.indd　310　2014/08/21　14:25:14